長女ヨシノ（明三四）は分家し三女ヒデヨ（明三九）は宮城縣人日野佐一に嫁す※山田作造の項參照

吉田貞一 西脇商店(株)東京支店長 東京市麴町區下二番町六

君は新潟縣人吉田シズの二男明治廿九年五月十八日同縣北魚沼郡堀ノ内村に生れ大正十一年分家す夙に西脇商店に入り同八年其株式組織となるや擧げられて東京支店長となり現在に至る 宗教眞宗 趣味將棋【家庭】妻富子（明三六）東京府人中西淺治郎長女 長男充（大一三）二男万三郎（大一五）三男和夫（昭四）

吉田鐵三郎 資產家 東京市本鄉區駒込曙町四 電小石川五五四〇

君は栃木縣人高木半次郎の二男明治元年五月廿日同縣に生れ後吉田姓を冒す同廿五年獨立煙草問屋を開業し同卅八年煙草元賣所となり後合資會社組織に改め之を退く 宗教眞言宗 趣味盆栽園碁【家庭】妻せい（明八）栃木縣人寺内藏之進長女 嗣子啓一（明四〇）慶大理財科在

吉田傳次郎 京都府多額納税者 京都取引所證券米穀取引員吉傳 直接國税二九三八 京都四條通高倉西東寺院入電本局一八二二

君は京都府人井上文兵衞の二男明治四年二月を以て生れ同廿三年先代佐助の養子となり同卅四年家督を相續す現時京都株式取引所取引員にして吉傳商店と稱し株式及米穀取引業を營む京都府多額納税者たり【家庭】養子つね（明一九）京都府人永松植次郎妹 男彥佐（明三九）養子義三（明二八）長女ナカ夫京都府人築山甚三郎三男 女ナカ（明三三）養子義三妻

吉田利行 大日本人造肥料(株)王子工場營繕課長 所得税七九 東京市外巣鴨町宮下一七〇三 電大塚二三五九

君は徳島縣人吉田茂左衞門の長男明治廿年十一月廿九日同縣に生れ大正二年家督を相續す明治四十二年大阪高工機械科を卒業直に鐘ケ淵紡績に入社東京電燈足尾鐵道に歴勤大正二年大日本人造肥料に入社後王子工場營繕課長となり今日に至る工政會機械學會員たり 宗教眞言宗 趣味尺八【家庭】妻千枝子（明二六）徳島縣人郡久太郎三女徳島高女卒 長男利正（大二）

吉田豐吉 正五勳三 陸軍大學校教授 早稲田大學講師 東京市外瀧野川町田端一一六 電小石川四六五一

君は新潟縣人吉田甲次郎の二男明治十四年十一月廿八日同縣に生れ同卅三年家督を相續す同卅八年東京帝大文科獨文科を卒業し陸軍省參謀本部に勤務し後陸軍教授に任じ現時陸軍大學校勤務たり昭和二年獨逸に出張を命ぜられ同四年歸朝す 趣味文學【家庭】妻たま（明一九）千葉縣人鳥居榮太郎長女 長男鍾助（明四四）東京府立五中卒 二男季（大元）同府立一中卒 長女咲子（大二）第二高女在 二女睦子（大六）

吉田豐吉 貿易商 東京市外目黒町三田六七 電高輪七三八

君は神奈川縣人先代豐吉の長男明治十六年六月廿九日を以て生れ同卅一年家督を相續し前名龜三を改む同卅六年横濱商業を卒業し洋酒食料品店尾張屋を經營し傍ら横濱洋酒食料品商組合長岡部商會經營者金線ミルクレモンクリーム發賣元横濱自動車極東煉乳日本アスフアルト工業各會社取締役たりし事あり現時貿易商を營む交詢社會員なり 宗教時宗 趣味繪畫【家庭】妻豐（明一三）吉田彌一郎二女 長男徳太郎（明四三）東京府立一中卒 二男隆一（大二）東京高校在 三男耕三麻布中學在

吉田豐彥 正四勳一功四 陸軍中將 陸軍技術本部長 陸軍技術會議員 東京市外落合町下落合一二四八 電大塚三四一四

君は舊鹿兒島藩士先代信之の長男明治六年十二月一日を以て生れ同廿八年家督を相續す同廿七年陸軍士官學校を卒業し砲兵少尉に任ぜられ累進し大正十三年陸軍中將に陞任す其間要塞砲兵射擊學校教官陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官陸軍省兵器局軍務局各課員陸軍技術審查部議員陸軍省兵器局銃砲課長同工政課長陸軍重砲兵射擊學校長兼陸軍技術會議々員等に歴補せり又明治卅二年より六年に亘り獨英米に大正七年歐米各國に各出張せり昭和三年三月陸軍技術本部長に補せられ今日に至る 宗教淨土宗 趣味讀書運動【家庭】妻きん（明一一）熊本縣人甲斐敬直養子 長男靖彥（明三三）商學士三井鑛山社員 同妻光子福岡縣士族不破熊雄二女跡見女學卒 二男又彥（明三八）陸軍砲兵少尉 四男友彥（明四四）東京府立八中卒 五男政彥（大二）曉星中學在 三男清彥（明四二）福岡高校在は陸軍中將竹上常三郎の養子となる

吉田尙彥 川崎第百銀行(株)營業部次長 所得税九一 東京市小石川區丸山町三四

君は茨城縣士族吉田尙政の長男明治廿一年十一月一日水戸市に生る同廿八年水戸商業學校を修業同年上京川崎銀行に入り神田支店長兼川崎貯蓄銀行神田支店長を經て現時前記の職に在り 宗教神道 趣味圍碁觀世流謠曲【家庭】妻康子（明二六）茨城縣人川上正義長女水戸高女卒 長男尙之（大九）長女和子（大六）二男隆（大一二）三男護（大一五）

吉田直吉 伊場仙商店 團扇商 東京市外澁谷町八幡通一ノ一五 電青山七七三〇（店舖）日本橋區小舟河岸三八電浪花二五八一

君は東京府人吉田辰五郎の二男明治七年一月廿日を以て生る夙に伊場仙商店と稱し團扇商を營み今日に至る 宗教淨土宗【家庭】妻テル（明八）長男源太郎（明四二）慶應商工學校卒 二男直次郎（大元）慶大經濟學部在 三男仙三郎（大六）長女千代子（明四〇）は東京府人青木壽美吉に嫁す

吉田直太郎 群馬縣多額納税者 碓氷商事 碓氷印刷各(株)代表取締 朝日商會(株)監査 吉田(名)代表社員 金融業 直接國税四五一五 群馬縣碓氷郡松井田町

君は群馬縣人吉田善太郎の長男明治十一年十月を以て生れ同卅五年家督を相續す現に碓氷商事會社代表取締役たる外前記會社の重役にして群馬縣多額納税者たり尙曩に松井田絹糸紡績會社碓氷精練會社等の重役に就任せり【家庭】母たか（慶應二）妻みか（明一〇）群馬縣人中曾根德次郎長女 養子喜代司（明二一）群馬縣人半田幸太郎二男 長女たか（明二八）喜代司妻 同長男喜久治（大九）同長女靜江（大七）同二男均（大一一）同二女公江（大一三）同三女美枝子（大一五）同三男義親（昭二）妹キン（明二〇）弟吉太郎（明二四）及其妻子 二女ちか（明三〇）は福島縣人松井吉太郎二男眞に三女こう（明三五）は群馬縣人武井才止郎に四女けさ（明三七）は東京府人内田自作に五女操（明三九）は群馬縣人城田種次に六女吉枝（明四一）は同

縣人松村美佐男に各嫁す

吉田仁三郎 地家主 東京市下谷區山伏町一三 電下谷二〇四

君は千葉縣人麻生權十郎の二男元治元年三月十二日同縣長生郡鶴枝村に生れ後吉田家の養子となる夙に豆腐商薪炭業に從事し大正十一年之を廢し爾來貸地貸家業を營み今日に至る傍ら山伏町會顧問同小學校奬勵會會計たり此間同町會會計となれり 宗教禪宗 趣味旅行【家庭】長男安太郎（明三〇）同妻治子（明三一）千葉縣人井上六郎六女 同長男建治（昭元）長女のぶ子（明三五）五男精一（明三八）六男新一（明四〇）二男金太郎（明三二）は大橋家を再興す

吉田信夫 三井生命保險(株)福岡支店長 所得税二五七 福岡市春吉町一七二ノ四 電福岡二〇一一

君は愛媛縣士族吉田信好の男明治十六年六月東京市麴町區に生れ大正十四年家督を相續す明治四十三年東京帝大法科政治科卒業直に三井鑛山會社に入り三池港務所本社調査部歴勤昭和二年三井生命保險に轉じ福岡支店長となり今日に至る 宗教淨土宗 趣味旅行漕艇

吉田信男 扶桑海上火災保險(株)代理店 東京赤坂榎坂町三 電青山六五三九

君は山形縣人吉田權二の長男明治廿五年三月一日を以て生る大正六年東京帝大法科英法科を卒業し横濱矢野上甲合名會社に入り尋で同十二年扶桑海上火災保險株式會社に轉じ現時火災部東京市及府下代理店主任たり此間米國視察を遂げし事あり保險協會員たり 宗基督教 趣味庭球【家庭】父權二（慶應三）母ふじ（慶應三）妻智惠子（明三三）山形縣人菊田行三長女山脇高女卒 長男智雄（大一四）長女信子（大一二）二男義雄（昭二）三男龍雄（昭三）

吉田格通（ノリミチ） 雜穀肥料輸入仲立業 東京市本鄉區森川町一新開三五〇（營業所）麴町區八重洲町八重洲ビル内 電丸ノ内四六二五

君は愛媛縣士族吉田格永の長男明治廿三年二月五日松山市に生れ同廿三年家督を相續す大正四年關西學院高等科を卒業し兵庫縣港務部に奉職後退きて増田貿易會社大阪支店長に就任同十二年神戸扶桑洋行に轉じ翌年吉田格通商店を創業して雜穀肥料輸入仲立業を營み今日に及ぶ 宗教基督教 趣味狩獵洋樂【家庭】妻千惠子（明三三）京都府人喜多泰次郎妹同府立第二高女卒 嗣子格康（大一一）

吉田初次郎 三井物產(株)生糸部長代理 東京芝區白金猿町二七 電高輪六二〇九

君は愛知縣人吉田幸七の二男明治十九年三月三日同縣下に生れ大正十三年家督を相續す明治四十年東京高商を卒業し直に三井物產會社に入り横濱支店員紐育支店生糸部長代理等を歴勤し本店生糸部長代理となり今日に及ぶ 宗教眞宗 趣味ゴルフ庭球【家庭】母ゑい（安政元）妻信子（明三四）東京府人岡崎正也二女東京府立第三高女卒 長男幸雄（大八）

吉田秀助 正七勳五 在鄉海軍軍醫大尉 吉田病院長 山形市旅籠町二八一（病院）同市七日町 電山形八五三 電山形九八八

君は山形縣人名古屋孝太郎の八男明治十八年十一月六日米澤市に生れ後吉田四郎の養子となる四高を經て大正二年九州帝大醫科を卒業して海軍に奉職累進して軍醫大尉に至る此間舞鶴佐世保吳横須賀各病院に勤務大正十年之を辭し山形市至誠堂病院内科醫長に就任昭和元年現地に開業して今日に至る 宗教眞言宗 趣味讀書運動洋畫【家庭】妻文江（明二六）山形縣人柏倉文藏長女山形高女卒 長女正子（大五）同校在 二女暉子（大一〇）

吉田秀人 正八 在鄉陸軍輜重兵少尉 日清印刷(株)取締 日清生命保險(株)取締兼總務理事 所得税八四〇 東京市本鄉區向ケ岡彌生町三 電小石川四六二三

君は熊本縣人角居源四郎の男明治廿二年四月十日同縣飽託郡錢塘村に生れ後吉田俊雄の養子となる同四十一年熊本縣立商業を卒業直に一年志願兵となり後陸軍輜重兵少尉に任ず大正四年早稻田大學商科卒業直に三菱合資會社に入り尋で日華窯業會社專務取締役東京スタンダード靴會社取締役日清印刷會社常務取締役同專務取締役を歴任し現に前記諸職に在り永樂倶樂部會員なり 宗教眞宗 趣味運動【家庭】妻千枝子（明二九）養父俊雄女共立女子職業卒 長男正男（大八）二男義男（大一三）三男忠男（昭二）長女レイ子（大六）跡見高女在 二女美子（大七）三女孝子（昭四）

吉田秀彌 京成電氣軌道(株)理事總務部長 成田電氣軌道(株)取締 東京市小石川區武島町一二 電小石川七八四五

君は福島縣人吉田誠一郎の長男明治十四年十一月十五日を以て生れ同卅六年分家す同卅六年東京專門學校英語政治科を卒業し更に研究科に於て政治經濟學を專攻後操觚界に入り電報新聞二六新報中央新聞の各社記者たりしが大正五年京成電氣軌道に入り電燈課長庶務課長等を歴勤して同十三年總務部長に同十四年理事に擧げらる傍ら成田電氣軌道會社取締役たり帝國鐵道協會員たり 趣味讀書【家庭】妻まさ（明一九）東京府人吉田富藏二女 長女輝代（明四三）跡見高女卒

吉田坦 近藤土木(資)代表社員 土木建築請負業 東京市外澁谷町神南二一

君は和歌山士族吉田豹次郎の長男明治廿六年六月廿八日同縣に生る大正九年東京帝大工科土木科を卒業直に信越電力會社に勤務後東京市電氣局に轉じ橋梁掛長を勤め後退きて前記の職に就く 宗教眞宗 趣味端艇野球【家庭】父豹次郎（安政五）妻靜子（明三四）東京府人神谷岩藏長女双葉高女卒 長女篤子（大一四）二女郁子（昭二）三女絢子（昭四）

吉田浩 從四勳三 鐵道局長 東京鐵道局長 東京市麴町區中六番町一八 電九段二六〇

君は福島縣人吉田太郎の弟明治十八年一月十八日を以て生れ大正十二年分家す明治四十二年東京帝大法科政治學科を卒業後文官高等試驗に合格し鐵道院書記同副參事同參事鐵道局參事鐵道書記官運輸局貨物課長等を歴任し門司鐵道局長を經て昭和四年七月東京鐵道局長となり現在に至る 宗教禪宗 趣味運動【家庭】妻美香（明二四）東京府人越智直長女東京女高師附高女卒 長男玄（大三）東京市立一中在 二男令（大五）同市立二中在 三男友（大九）

吉田博 西洋畫家 東京市外瀧野川町中里二七二 電小石川二二一三

君は明治九年九月久留米市に生る夙に洋畫家小山正太郎の不同舍に入り同廿二年歐米に遊び歸朝後中村不折

滿谷國太郎等と太平洋畫會を創立文部省美術展覽會第一回に「ピラミッドの月夜」「雨後の夕」を出品二等賞を獲得を發表爾來毎回出陳同展覽會審査委員に擧げられ大正十三年以降帝展委員たり山岳畫家として知らる

吉田廣見　吉田病院長　醫師　東京市神田區東紺屋町四〇　電浪花一九九八

君は山形縣人吉田廣山の二男明治十六年三月廿八日同縣東田川郡手向村に生れ後先代宗全の養子となり大正九年家督を相續す明治卅七年東京慈惠醫專を卒業し帝大附屬病院近藤外科に研究同卅八年內務省醫術開業試驗に合格し翌年獨立して現住所に吉田病院を設立一般外科診療に從事す傍ら吉田膏の發賣元たり東紺屋町會理事立志青年團分團長帝國精華會幹事長なり　宗教日蓮宗　趣味謠曲精神教育　【家庭】妻きくゑ（明三一）富山縣人高畠勝多妹　長男宗全（大四）獨逸協會中學在　長女きよ（明四一）淑德高女卒大妻裁縫技藝高等科卒　三女春子（大二）五女昌代（大一四）三男明雄（昭二）四男和雄（昭二）

吉田復三　在鄉陸軍輜重兵少尉　測機舍營業部代表幹部　東京市外代々幡町代々木富ヶ谷一四四一　電四谷六三八二

君は神奈川縣人吉田清太郎の長男明治十六年四月六日同縣に生れ大正四年家督相續す明治卅八年東京高等農林學校卒業後宮內技師に就任帝室林野局に勤務し大正十一年測機舍に入り現に營業部代表幹部たり　宗教禪宗【家庭】父清太郎（嘉永三）長男清（明三八）東京高等工藝卒　二男一次（明四〇）京都帝大在　三男三郎（明四三）東京高校在　長女正子（大二）東京女學館在　四男四郎（大四）武藏高校在　二女ツル子（大七）姉セン子（明一〇）は神奈川縣人木村六郎に嫁す

吉田文一郎　正六　農林技師　東京市本鄉區駒込西片町一〇

君は岩手縣人吉田文助の長男明治廿五年一月十八日同縣に生る大正五年東京帝大農科林學科を卒業直に農林省に奉職し技師に就任青森及大阪營林局に勤務し昭和四年山林局に轉じ今日に至る　宗教曹洞宗　趣味登山旅行【家庭】父文助（文久三）母さだ（明五）妻ひさ（明三〇）岩手縣人伊藤治兵衞二女盛岡高女卒　長男碩夫（大九）長女敬子（大一二）二男幸雄（昭四）弟英造（明三六）妹ウメ（明三七）盛岡高女卒　弟勝夫（明四二）東京農業大學在

吉田正明　淺草區會議員　ミシン業　東京市淺草區三筋町三七

君は福島縣人吉田正雄の長男明治十四年十月十四日同縣石川郡白水村に生れ大正二年家督を相續す明治四十四年ミシン販賣業を創め經營以て今日に至る昭和五年三月淺草區會議員に選ばる　宗教禪宗【家庭】妻積代（明二〇）宮城縣人佐々木孝長女　長男正文（明四〇）慶應大學在　三男正武（大元）長女光子（大三）二女綾子（大六）三女房子（大一〇）四男正義（大一二）四女明子（大一三）

吉田正男　正六　農博　東京帝國大學助教授　農學部勤務　東京市外目黑町駒場同農學部二構內官舍

君は福岡縣人吉田嘉五郎の長男明治廿六年七月七日同縣に生れ後分家す大正七年東京帝大農學部林學科を卒業後同大學助手講師を經て現時前記の任にあり昭和三年農學博士の學位を受け同五年三月獨逸に留學す「測樹學要論」の著書あり三州倶樂部會員なり　宗教臨濟宗　趣味讀書【家庭】妻道（明三二）東京府人稻田週之助二女御茶水高女卒　長女みゑ（大一四）二女よし（昭三）

吉田正延　大倉火災海上保險（株）監査役　東京市外千駄ヶ谷町原宿一九六　電青山三四〇

君は神奈川縣人青柳正余の五男慶應二年十二月十五日同縣に生れ先代フジの養子となり明治十九年家督を相續す現時大倉火災保險監査役なり曩に大倉護謨大倉商事各重役大倉組保險部長たり　宗教神道　趣味讀書【家庭】妻とき（明一〇）福井縣人山內錬太郎妹　長男寛二（明四二）東京高校在　三男修三（大三）同校在

吉田正美　東京府農工銀行（株）鑑定役　東京市外池上町德持四五〇　電池上三九

君は明治十九年十二月廿二日福島縣石城郡內鄉村に生れ後吉田知訓の養子となる大正三年慶大理財科を卒業直に東京府農工銀行に入り鑑定役となり今日に及ぶ　宗教禪宗　趣味園藝

吉田政治　三菱銀行（株）上海支店長　上海九江路二三菱銀行上海支店氣付

君は兵庫縣人吉田喜八の五男明治廿三年三月六日を以て生れ後分家す大正四年東京高商を卒業直に三菱銀行に入り紐育支店長を經て上海支店長に就任し現在に至る　宗教禪宗　趣味讀書ゴルフ【家庭】妻秋子（明三三）淺村三郎女神戶親和高女卒　長男正夫（大一五）長女公子（大一一）

吉田亦次郎　吉田商店　和洋酒食料品商　所得稅八一二　東京市赤坂區傳馬町二ノ一　電青山五二七五

君は福井縣人吉田仙藏の二男明治廿一年八月廿八日同縣吉田郡上志比村に生れ同四十一年先代くまの入夫となり家督を相續す現時食料品商店を營み陸軍省其他諸官衙の御用達を勤む　宗教眞宗　趣味營業本位【家庭】妻くま（明一〇）東京府人伊藤尙右衞門長女　長女喜代（明四四）武藏野高女卒　養子きみ子（大一〇）廣島縣人小川延子姪　繼子やすを（明三八）は分家せり

吉田松太郎　土木建築請負業　東京市赤坂區溜池町八　電青山五一一七

君は愛知縣人吉田作十の三男明治十二年三月八日を以て生れ同卅五年分家す同廿五年伊藤末松の許に入り在勤十數年に及びしが後之を辭し同卅八年獨立して土木建築請負業を始め以て今日に至る　宗教禪宗　趣味旅行【家庭】妻くに（明一七）東京府人小川松次郎女　長男忠保（明三八）工手學校卒　二女滿佐子（明四二）實踐高女卒　二男勇（明四〇）三女種子（大二）東洋家政女學卒　三男義郎（大九）四女幸子（大六）長女美代（明三六）實踐女學卒は東京府人松本誠三に嫁す

吉田萬吉　吉田工務所　土木建築設計監督製圖施工業　所得稅二三三　東京市外井荻町荻窪一三七八（事務所）京橋區松屋町一ノ六　電京橋一八四一

君は千葉縣人吉田音松の長男明治廿四年四月十一日同縣安房郡に生れ大正八年家督を相續す夙に鄉里に於て建築業に從事し同四十年上京大正四年獨立開業す傍ら同十五年料理旅館兼業第二天德溫泉を經營す　宗教眞言宗　趣味書畫骨董旅行【家庭】母ツル（文久三）妻きね（明二〇）長男實（大八）長女いち（大三）二男

龍雄（大一〇）三男信雄（大一三）二女吉枝（大一四）

吉田道夫　朝鮮京南鐵道（株）常任監査　合同酒精（株）監査　辯護士　東京市赤坂區青山南町五ノ四五　電青山九九四

君は大分縣人安倍佐平の三男明治六年十二月十五日を以て生れ同廿六年先代豐治の養子となり同四十五年家督を相續す同卅四年東京帝大法科英法科を卒業し二十三銀行日之出生命保險會社主事兼關東理事萬壽生命保險會社專務等を經て現時朝鮮京南鐵道常任監査役たる外前記會社の重役たり　宗教淨土宗　趣味圍碁謠曲書畫【家庭】妻ヨネ（明七）先代豐治長女　男稔（明二八）立教大學卒　同妻たみ（明三六）靜岡縣人杉山孝次郎三女三島高女卒　同長男道直（大一五）女威刀子（明三七）大分縣實踐高女卒は大連滿鐵病院醫師吉武惟陽に養子愛子（明三三）侯爵西鄉吉之助姉は東京府人齒科醫大鷹仁太郎に嫁す

吉田峯次郎　コールタール製造販賣業　所得稅一八八　東京市外大島町二ノ八一〇　電本所四六一八

君は東京府人吉田龜吉の二男明治十一年十二月十一日埼玉縣北足立郡新鄉村に生る夙に東京物理學校に學び後深川區猿江町長谷川製油所に入り塗料の研究を積み同四十二年コールタール製造業を創め以て今日に及ぶ大正十年大島町々會議員に擧げらる曩に南葛憲政會常任幹事たり　宗教眞宗　趣味書畫謠曲【家庭】妻しげ子（明一七）東京府人片岡仲之助養子　長女千代子（明四〇）實踐高女卒　二女靜江（大三）大妻高女在

吉田八百造　大理石商　東京市芝區高輪臺町四〇　電高輪六八三

君は茨城縣人中原幸之介の長男慶應元年十一月三日同縣眞壁郡谷貝村に生れ明治卅三年吉田政信の養子となり同四十五年家督を相續す同年大理石商を獨立開業し經營以て今日に及ぶ　宗教禪宗　趣味狩獵【家庭】妻壽々（明一一）東京府人小澤愼平姉　長男實（明三四）慶大理財科卒　三女貞子（明三七）立教高女卒アメリカンスクール在　四女良子（明四〇）東京英和高女卒　二男宏（大二）慶大豫科在　五女元子（大七）聖心女學院在

吉田彌平　正四勳三　東京高等師範學校教授　所得稅三三〇一　東京市小石川區高田老松町五二　電牛込三五六五

君は茨城縣人町田清七の長男明治二年一月を以て生れ同卅一年東京府人吉田たきの養子となり家督を相續す同廿七年東京高師文學科を卒業し同廿九年母校教諭兼訓導に任ぜられ同卅二年教授に進み現に其職に在り【家庭】妻しづこ（明六）京都府士族關口直理長女東京女高師卒　男健男（明三二）女ひで（明四一）東京府立第二高女卒　女さだ（明四三）同校卒　二男俊男（大二）七女みち（大八）長女しづ（明三四）は東京府人水原漸長男醫學博士豐に二女きよ（明三八）は奈良縣人由良市太郎長男哲次に各嫁す

吉田泰久　吉田泰久商店　酒造業　東京市京橋區四日市町一二　電京橋二三一五

君は東京府人吉田太七郎の長男明治十五年二月を以て生れ同卅九年分家す堀越商店に勤務する事廿五年の久しきに亘り大正十年同店を辭し酒問屋を創めしが後安福又四郎商店東京支店支助人に擧げられ同十二年同支店を吉田泰久商店と改稱し爾來經營以て今日に至る　宗教眞宗　趣味廣告考案【家庭】妻ゆき子（明一九）東京府人堤清七五女　長男喜一郎（明四三）長女琴子（明四〇）二男勘二（大四）三男僚介（大九）

吉田康太郎　正五勳四　廣島縣書記官內務部長　廣島市水主町縣廳內　電廣島六〇〇

君は大阪府人吉田正信の二男明治十九年九月大阪府平野鄉に生れ大正二年分家す明治四十年東京帝大法科政治科を卒業し文官高等試驗に登第し同四十五年五月青森縣警視に任じ爾來東津輕郡長兵庫縣養父郡長揖保郡長兵庫縣理事官高知縣書記官沖繩鹿兒島各縣警察部長鳥取縣內務部長を歷任昭和四年七月廣島縣書記官に任じ內務部長に補せられ以て今日に至る【家庭】妻一子（明二四）兵庫縣人嘉納彌兵衞長女　男康二（大八）二女康美（大一二）

吉田幸雄　日本製粉（株）高崎工場長　高崎市下和田町一七一ノ三　電高崎二一五

君は東京府士族吉田誠之輔の長男明治廿一年一月十九日を以て生れ後家督を相續す同卅七年日比谷中學校卒業直に日本製粉會社に入り東京神戶久留米高崎仙臺小山各工場本社等に歷勤現に高崎工場長たり　宗教淨土宗　趣味狩獵【家庭】母たみ（文久二）妻きく

吉田羊治郎　貴族院議員　滋賀縣多額納稅者　江若鐵道（株）監査　農業　直稅四〇七二　滋賀縣犬上郡高宮一八五一　電高宮二三

君は滋賀縣人吉田與三平の二男明治四年二月十一日を以て生れ同卅年家督を相續す夙に滋賀縣立商業學校を卒業し高宮町長滋賀縣會議員縣參事會員帝國農會議員等に擧げられ大正六年衆議院議員に當選す現時農を業とし滋賀縣多額納稅者にして貴族院議員に擧げらる傍ら江若鐵道株式會社監査役たり曩に近江商業銀行近江水力電氣會社滋賀縣農行銀行大正製綿會社川北電氣企業社等の重役たりしことあり　宗教眞宗西本願寺派【家庭】母登米（嘉永五）女隆（明四一）同志社高女卒　女惠美子（明四四）同校卒　弟新七郎（明一七）農學博士及其妻子　二女くに（明三四）日本女大師範家政科卒は東京府士族河西金城に嫁す

吉田洋之助　京橋區會議員　保險代理業　東京市京橋區弓町一四　電京橋四九二〇

君は長野縣白鳥彌三の五男明治十二年一月を以て生る夙に地主たる傍ら保險代理業を營み昭和四年十一月京橋區會議員に當選す【家庭】妻よし（明一〇）東京府人吉田幸次郎妹　長男濤（明四〇）日本中學修　長女豐子（明四四）東京府立第一高女卒　二女德子（大六）四男嘉治（大八）

吉田吉雄　吉田組　輸出入商　橫濱市磯子區磯子町宮ノ下八八九九　電長者町一二二三（營業所）東京市日本橋區通三ノ三　電日本橋三七九一

君は神奈川縣人吉田鈴之助の六男明治廿五年七月十九日を以て生る大正十一年橫濱商業を卒業後遠藤合資會社に入り同十四年辭して輸出入商吉田組を經營して今日に及ぶ　宗教曹洞宗　趣味ゴルフ【家庭】父鈴之助（元治元）現戶主　妻靜枝（明四二）神奈川縣人廣田勘治長女共立女子職業卒※吉田庄次の項參照

吉田芳五郎　本所區會議員　八軒町々會長　醫師　東京市本所區中ノ鄉八軒町三〇　電墨田一七四

君は埼玉縣人吉田常次郎の二男明治五年十月廿八日を

以て生れ同四十年分家す夙に東京英語學校濟生學舍に學び同卅一年內務省醫術開業試驗に合格同卅四年埼玉縣下に於て開業同四十三年現地に移轉し今日に至る傍ら本所區會議員八軒町々會長本所區小學校醫等たり　宗教曹洞宗【家庭】妻うめ（明二一）東京府士族內藤正命女　長女小枝子（大六）

吉田芳太郎　勳六　吉田藥局　藥劑師　所得税九六〇　東京市外澁谷町上通一ノ三　電青山二四七四

君は三重縣士族吉田守義の長男明治六年六月廿六日津市に生れ同廿五年家督を相續す同廿九年濟生學舍を卒業して藥劑師となり日本赤十社に入り大正六年之を辭す其間日清日露の兩役及北清事變に出征し功に依り勳六等を賜はる先是明治四十四年藥局を開業し經營以て今日に至る尙東京賣藥同業組合評議員東京府藥劑師會代議員たり　宗教禪宗　趣味觀世流謠曲【家庭】妻つね（明一七）德島縣人吉村因是四女第一實科高女卒　長女靜子（大六）

吉田芳太郎　吉田商店（株）社長　千代田毛織（株）監査　毛織物原料商　所得税三五〇五　東京市下谷三ノ輪町一〇〇　淺草三五九〇

君は大阪府人吉田太四郎の弟明治十年十月十六日を以て生れ同卅六年分家す夙に羅紗毛織物商を營み大正九年株式組織に改め社長に就任今日に至る尙前記會社の重役にして曩に睦商會株式會社取締役京濱羅紗商同盟會々長同相談役たりしことあり　宗教眞宗　趣味園藝【家庭】妻ちよ（明五）大阪府人廣瀨久藏四女　養子辰雄（明三七）東京府人小寺晉吉男慶大經濟學部卒　長女花子（大元）東京女學館卒

吉田良兼　從四　子爵　東京市牛込區市ケ谷仲之町四一　電牛込一九〇四

當家は從五位下卜部宮守の裔にして代々神祇官たり後十四世兼熙に至り昇殿を許さる夫より十數代を經て良義に至り子爵を授けらる君は其孫先代良正の長男なり明治四十四年十月を以て生れ大正二年家督を相續し襲爵仰付らる　宗教神道【家庭】母彝子（明二一）弟良久（大二）伯母銓子（文久三）叔父良貞（明二一）は伯爵淸閑寺經房の養子となる

吉田義孝　吉田病院長　醫師　東京市外日暮里町旭町一ノ三　電下谷四四七〇

君は福井縣人吉田太平の男明治十一年三月十八日同縣下に生る大正二年日本醫專を卒業醫師を開業し今日に至る現に濟生會囑託醫同町警察醫たる外町內衞生組合友交會組合等の顧問たり曩に町會議員國勢調査委員たり　宗教眞宗　趣味書畫骨董【家庭】妻トヨ濱田產婆學校卒　長男忠（明四二）日本醫大在

吉田義輝　富國徵兵保險（互）常務　東京市芝區高輪南町四五　電高輪一〇六三

君は山梨縣人吉田義久の二男明治七年二月十五日を以て生れ同四十一年分家す夙に甲府中學校を卒業同卅三年第一徵兵保險會社に入り東京支店長たりしが大正十三年富國徵兵保險相互會社常務取締役に就任す　宗教禪宗　趣味圍碁旅行【家庭】妻いくの（明二一）東京府士族小林順一郎妹千代田高女卒　長女繁子（明四〇）浦和高女卒

吉田嘉苗　十五銀行（株）本店員　東京市麴町區元園町一ノ一八　電九段六三七

君は東京府士族吉田温苗の孫明治卅年二月八日東京市麴町區に生る大正十一年帝大經濟科を卒業十五銀行に入り人形町支店に勤務後昭和三年本店に轉じ現在に至る　宗教日蓮宗　趣味大弓【家庭】妻ラン子（明三七）東京府人三輪信次郎長女御茶水高女卒　長男尙苗（大一一）長女紀美子（大一四）二女眞知子（昭二）

吉田良三　川崎第百銀行（株）常務　所得税九五一　東京市外代々幡町代々木初臺四七四　電四谷七四六

君は山形縣人佐藤孫夫の三男明治十年十月十六日山形縣南村山郡飯塚村に生れ同卅五年吉田佐藤治の養子となり同年家督を相續す二高を經て同四十一年東京帝大法科政治科を卒業し翌年第百銀行に入り橫濱支店支配人代理通旅籠町支店長代理丸之內支店長同營業部長等を歷勤昭和二年七月川崎銀行と合併するに及び常務取締役となり以て今日に及ぶ　宗教禪宗　趣味讀書圍碁【家庭】妻千代子（明一五）養父佐藤治長女　男光（明四〇）慶大經濟學部在　三男尙（大元）慶大在

吉田良三　正五　東京商科大學豫科教授兼同大學教授大學附屬專門部教授　東京市牛込區喜久井町三一　電牛込四二二七

君は高知縣士族宇賀茂久の二男明治十一年一月十日高知市に生れ吉田數馬の養子となり同卅八年分家す同卅四年東京高商を同卅六年同校專攻部を卒業し早稻田大學教授となり大正二年歐米に留學し同七年東京高商教授に任じ同九年東京商大附屬商學專門部教授兼豫科教授に任ぜられ同十三年在外研究員として海外に留學同十四年一月東京商大教授兼任現時に至る　趣味讀書【家庭】妻さう（明二〇）靜岡縣人秋山泰作長女　養子力（大一一）東京府人白石靖二男　長女豐美（明三八）は同府人沖電氣社員小沼恭に三女照子（明四一）は福井縣人三井物產社員伴周吾に各嫁す

吉田冷月　正風會長　華道御幸流家元　京都市富小路御池上　電本局一七二九

女史は滋賀縣の人本名をスミと云ひ明治元年八月八日を以て生る夙に夫君に死別し爾來華道の研鑽に專念し御幸遠州流を學び其蘊奧を究め傍ら茶道を千宗尤に師事し正風會を興し其會長となり華道及茶道の指南普及に盡粹す大正元年大正天皇皇太后兩陛下京都行幸啓遊されし砌り御座所に挿花申上げしを初めとし爾來其光榮に浴する事數回同十三年京都御所に於て皇太后陛下の御台覽の榮を賜はりしを以てより御幸流家元として許され以て今日に至る　宗教眞宗　趣味茶道華道

吉田禮文　札幌屋　北海道物產商　埼玉縣浦和町三三五〇（店舖）東京市京橋區銀座三ノ一五　電京橋五七一八

君は北海道人吉田甚松の三男明治廿九年十一月廿四日を以て生る大正十五年現地に札幌屋商店を開業して北海道物產販賣に從事す曩に青年團指導教員たり　宗教眞宗　趣味運動【家庭】妻みの（明三五）西村仁八四女　長男禮元（大一一）長女淸子（大一〇）二男莊六（大一三）二女智子（昭二）

吉武進　勳八　中央自動車（株）支配人　東京市外中野町二七〇一

君は東京府士族吉武一の三男明治十九年二月十三日東京市四谷區に生れ後家督を相續す當家は代々土井家の劍道指南たりし家柄なり夙に遞信省に奉職し在勤十三

年後大正十年中央自動車會社に入り現に支配人たり　宗教淨土宗　趣味劇【家庭】妻君代（明二四）岡山縣人赤木勝三郎妹順正高女卒

吉武長一　吉武建築事務所　建築士　東京市外調布町田園都市四〇九　電田園調布五三（事務所）日本橋區通一ノ五愛知ビル內　電日本橋三四七七

君は山口縣人吉武虎之進の長男明治十二年八月七日同縣佐波郡に生れ後家督を相續す夙に渡米建築學を研究し同四十二年海軍省囑託を受け翌年村井銀行建築部長となり大正二年獨立開業今日に至る建築學會々員なり　宗教基督教　趣味美術運動【家庭】妻キヨ（明一一）山口縣人高橋秀介長女

吉武鶴次郎　大阪毎日新聞社（株）取締　東京日日新聞社營業局理事　東京市小石川區關口臺町七三　電牛込九四八

君は大阪府人吉武英象の二男明治四年八月廿二日を以て生れ同卅年分家す同卅一年大阪毎日新聞社に入り廣告部長東京日日新聞理事營業局長等を經て現時前記の職にあり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】妻重（明一四）奈良縣人峰勝太郎長女堂島高女卒　男文人（明三八）明大獨法科在　二女露子（明四四）宣心高女在　三女藤枝（大三）雲雀ケ丘高女在　養子朋次郎（明三二）

吉武貞輔　從四勳　在鄉海軍少將　東京市四谷區三光町三〇　電四谷二一九

君は山口縣人吉武彌吉の三男同賀一郎の弟明治十二年三月廿五日を以て生れ大正十二年分家す明治卅三年海軍少尉に任じ大正十二年海軍少將に陞進す其間淺間航海長吳鎭守府參謀兼望樓監督官八雲副長海軍省軍務局々員海軍司令部參謀海軍省軍需局第三課長等に歷補し大正十三年豫備役編入され現時閑地に在り【家庭】妻ユキ（明二〇）山口縣士族田村壽雄長女同縣立高女卒　長男太郎（明四〇）慶大經濟學部在　二男次郎（明四三）北海道帝大在　三男三郎（大五）日本中學在　四男四郎（大七）

吉武正匡　東京市技師　東京市外高田町雜司ケ谷旭出六三

君は長野縣士族吉武正台の長男明治廿年三月一日を以て生る同四十二年七名古屋高工を卒業して東京市農商務省長崎市警視廳に歷職し大正十二年東京市技師に任じ現に土木局第三出張所工事係主任たり　宗教禪宗　趣味讀書旅行觀劇運動【家庭】父正台（安政二）現戶主　妻なつ子（明二六）長野縣人町田鐵雄二女上田高女卒　長男政春（大四）開成中學在　長女淸子（大二）文華高女在　二女久子（大六）二男政幸（大一三）

吉谷專吉　共同印刷（株）專務兼總務部長　京城電氣（株）取締　所得税三五九　東京市小石川區戶崎町三　電小石川二九八五

君は宮城縣人渡邊爲成の三男明治廿一年一月十五日を以て生れ後吉谷藤三郎の養子となり大正五年家督を相續す同三年東京帝大法科獨法科を卒業翌年一年志願兵として入營除隊後東京灣埋立會社に入り庶務課長たりしが同十二年之を辭し京城電氣會社に轉じ同社參事東京本店主任となる同十四年共同印刷會社に入社し現時專務取締役兼總務部長たる傍ら京城電氣取締役の任にあり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】養母いそ（慶應元）妻アイ（明三二）北海道人鎌田貞六長女東京女高師附高女專攻科卒　長男泉（大一一）長女光子（大一三）二男透（大一四）三男豐（昭三）

吉津度　正八勳四　在鄉陸軍三等軍醫　大阪高等醫學專門學校理事長　梅田病院長　醫師　所得税一二六二　大阪市此花區萬千町四八　電北一二一〇

君は廣島縣人吉津軍三の長男明治十一年一月一日堺市に生れ同廿年九月家督を相續す夙に醫學を修め廿八年內務省醫術開業試驗に合格三等軍醫として日露戰役に出征除隊後大阪細菌研究所長梅田病院長たる傍ら府會議員府參事會員府會議長大阪市會議員衆議院議員等に擧げらる又大阪醫專の創立者として知らる【家庭】母壽江（安政六）妻ヨネ（明一五）廣島縣人田邊省一長女　男信亮（明三九）女悅（明四二）弟良泰（明二九）

吉藤龜吉　日本製藥（株）監査　東京市外落合町下落合一九二三

君は岡山縣人吉藤元吉の二男明治廿五年四月三日同縣上房郡高梁町に生る岡山中學を經て中央大學に學び後本所銀行に入り大正十一年日本製藥に轉じ傍ら東京電話株式會社東京貯金新聞社の各取締役に就任せしが昭和三年之を辭し現に日本製藥監査役の任に在り　趣味旅行【家庭】妻コト（明三五）東京府人等々力菊藏長女　長男辰也（昭三）長女惠美子（大一四）

吉藤浩平　辯護士　明治漁業（株）專務　北辰漁業（株）監査　東京市外品川町北品川宿三一八　電高輪四三〇三

君は岡山縣人吉藤文次郎の三男明治廿一年九月三日を以て生れ後家督を相續す四十三年關西大學法科を卒業大正十年辯護士試驗に合格し開業す現に前記會社の重役たり第二東京辯護士會に屬す　宗教眞言宗【家庭】父文次郎（嘉永五）妻マサ子（明二三）奈良縣士族中田寅雄二女縣立高女卒　長男豐（大二）麻布中學在　長女文子（明四四）川崎高女卒　二女美津子（大五）田高女在　三女喜美子（大八）

吉富保之　東京市主事　築地病院事務長　東京市外千駄ケ谷町穩田四六

君は熊本縣人吉富大雲の二男明治廿年八月十八日同縣に生れ同四十一年家督を相續す同四十二年臺灣總督府官房に奉職し大正十五年東京主事に轉じ療養所事務長監査課員統計課員を經て昭和五年現職に就く【家庭】妻祝子（明二一）長男坦（大六）明治中學在　長女道子（大四）二女邦子（大九）二男迪（大一二）

吉富冷藏　松尾工場（株）取締兼支配人　東京市芝區白金今里町二五

君は佐賀縣人吉富榮次郎の八男明治廿一年九月六日同縣西松浦郡伊萬里町に生れ同四十五年分家す同年早稻田大學商科を卒業し大阪中山太陽堂に入る後松尾工場に轉じ現に同社取締役兼支配人たり　宗教禪宗　趣味旅行【家庭】妻リツ（明二四）佐賀縣人千住助七郎長女同縣立成美高女卒　長男敏行（大四）麻布中學在

吉永孝三　吉永商店（資）社員　伏見製茶（資）無限責任社員　橫濱市磯子區根岸町西芝生一〇五三　電本局二三四〇

君は神奈川縣人吉永恒の長男明治廿年十月廿八日橫濱市に生る同四十年橫濱商業を卒業後伏見製茶合資會社支配人に就職在勤十八年後前記の社員となりて今日に及ぶ　宗教神道　趣味讀書【家庭】父恒（安政六）母きみ（元治元）妻綾子（明二七）吉永仁藏四女神奈川縣立高女卒　長男靖（大一三）長女さく子（大四）フ

在エリス女學校在 二女たか子（大五）神奈川縣立高女在 三女ひろ子（大八）四女まき子（大一〇）二男昌司（大一五）義兄仁藏吉永商店代表社員

吉永恒 吉永(資)代表社員 貿易商 所得稅七八 橫濱市磯子區西根岸町一〇五三 電本局二三四〇

君は神奈川縣人內藤右一郎の三男安政六年六月十日を以て生れ吉永郡藏の養子となり後分家す現時吉永合資會社代表社員たり 宗教神道禊教【家庭】妻きみ養父長女 長男孝三（明二〇）橫濱商業卒 同妻あや（明二七）先代吉永仁藏六女神奈川縣立高女卒 同長女さく（大四）フェリス女學校在 二女たか（大五）同三女ひろ（大九）同四女まき（大一一）同長男靖（大一三）同二男昌司（昭二）

吉永仁藏 磐城セメント(株)取締 吉永商店(資)代表社員 貿易商 所得稅七七五 橫濱市磯子區磯子町廣地二三〇 電長者町三六七一

君は先代仁藏の長男明治廿二年十一月十四日を以て生れ大正十四年十一月家督を相續し前名禮二を改む同二年東京高商を卒業直に家業に從事し同十年四月組織を合資會社と爲し代表社員となり現に其職に在る外前記會社重役たり 宗教神道禊教 趣味釣魚飼鳥【家庭】妻ひさ（明二六）靜岡縣人杉浦佐兵次二女濱松高女卒 長男般三（大一三）長女テル子（大五）二女好子（大一一）三女セツ子（大一四）二男卓雄（昭二）

吉永良延 タイガー商會 賣藥業 東京市京橋區築地二ノ一一 電京橋五三〇二

君は東京府士族先代良延の長男明治廿一年九月廿九日橫濱市に生れ大正五年三月家督を相續し前名良雄を改む明治四十五年慶應大學理財科を卒業直に家業賣藥商に從事し其の傍ら西洋料理よか樓を經營以て今日に至る大正六年選ばれて京橋區會議員となる 宗教日蓮宗 趣味撞球觀世流謠曲【家庭】母ハナ（明二）妻みつ（明二七）神奈川縣人須藤求妹 長男良夫（大六）慶應普通部在 長女正子（大一〇）二女延美子（大一三）四男良四郎（大一五）

吉野圭三 正五勳四 遞信省貯金局長 東京市小石川丸山町四五 電大塚二五〇

君は千葉縣人吉野朝吉の二男明治十七年六月五日同縣に生れ大正六年家督を相續す明治四十四年東京帝大法科政治科を卒業し同年文官高等試驗に合格す爾來爲替貯金局事務官補遞信局副事務官遞信省臨時調查局事務官兼遞信書記官通信局事務官兼遞信書記官遞信書記官兼外務書記官電務局外國電信課長兼遞信大臣秘書官兼遞信監察官等を歷任し昭和四年貯金局長に任ぜられ今日に至る曩に蘭領印度比律賓濠洲米國及加奈陀に出張し又華府會議及北京山東會議に帝國政府委員隨員として參列せり 宗教天台宗 趣味讀書散步【家庭】妻美代（明二八）群馬縣人新井憲一妹東京府立第一高女卒 長男俊彥（大四）武藏高校在 二男恭二（大七）三男省三（大九）四男知行（大一四）

吉野源治郎 太陽生命保險(株)徵收課長 東京市牛込區赤城下町五三

君は東京府人吉野源吉の二男明治廿八年一月廿三日東京市に生れ後分家す大正五年東京高商を卒業同六年太陽生命保險株式會社に入社現に徵收課長たり 宗教天台宗 趣味庭球撞球【家庭】妻賴子（明三三）新潟縣人西脇新次郎長女長岡高女卒 長男量夫（昭三）

吉野佐平 大河原町會議員 薪炭商 宮城縣柴田郡大河原町字町二〇八 電大河原一二〇

君は宮城縣人吉野新藏の三男慶應二年二月廿一日同縣柴田郡沼邊村に生れ同廿九年分家す薪炭商を營み現時大河原町會議員たり【家庭】妻いさ（文久元）長男親平（明二九）同妻キクヱ（明三三）宮城縣人新田彥右衞門三女 同長女美惠（大一二）同二女きゑ（大一四）同三女智惠子（大一五）同長男一男（昭三）

吉野作造 從四勳四 法博 東京帝國大學法學部講師 同大學々生基督教青年會 財團法人賛育會 家庭購買組合各理事長 明治文化研究會主導者 著述業 所得稅一八三 東京市本鄉區駒込神明町三二七 電小石川二〇四八

君は宮城縣人吉野年藏の長男明治十一年一月廿九日同縣志田郡古川町に生れ大正十一年分家す明治七年東京帝大法科政治科を卒業し更に大學院に入る同卅九年淸國直隸總督袁世凱の聘に應じ北洋督練所飜譯官となり傍ら其長男袁克完の法政私教師を兼ぬ同四十年北洋法政學堂の創立に參與して教授に轉じ同四十二年歸朝し東京帝國大學法科助教授に任じ翌四十三年政治史及政治學研究の爲獨英米佛各國に留學大正二年歸朝す翌年教授に進み同十三年官を辭して講師となり今日に至る大正四年法學博士の學位を受く曩に朝日新聞社客員たり又社會民衆黨の創立に參畫す近時明治文化史研究を以て知られ「明治文化全集」を監修す著書論文頗る多し 宗教基督教 趣味演劇旅行【家庭】妻たまの（明一三）宮城縣人阿部彌吉長女同縣女子師範卒 嗣子俊造（大三）武藏高校在 四女秀（明四〇）東京女高師附高女卒 五女敬（明四二）同校卒 六女文子（大五）東京府立第一高女在 長女信子（明三三）東京女高師附高女卒は茨城縣人土浦市松長男工學士龜城に二女明子（明三五）同校卒は山口縣人社會民衆黨中央執行委員法學士赤松克麿に三女光子（明三八）同校卒は明治大學講師文學士小松淸に各嫁す

吉野修祿 淸水組(資)第三部現場主任 東京市外杉並町高圓寺五三七

君は東京府人齋藤晴海の六男明治廿八年三月一日東京市神田區に生れ後吉野龜次郎の養子となり家督を相續す工科學校第八回卒業生にして現に淸水組第三部現場主任たり【家庭】養父龜次郎（文久二）養母フサ（明四）妻榮（明三一）妹富貴（明三七）東洋家政女學卒

吉野信次 正五勳四 商工省工務局長兼臨時產業合理局事務官 失業防止委員會 肥料調查委員會各委員 東京市小石川區駕籠町一五八 電大塚一二〇七

君は宮城縣人吉野年藏の三男明治廿一年九月十七日を以て生る大正元年文官高等試驗に合格し同二年東京帝大法科獨法科を卒業し農商務屬となり米國に出張す歸朝後兵庫縣理事官臨時產業調查局事務官農商務大臣秘書官農商務書記官等に歷任し大正十四年商工書記官となり大臣官房文書課長兼統計課長を經て昭和三年七月商工省工務局長に任ぜられ今日に至る同五年六月臨時產業合理局事務官兼任を命ぜらる 宗教基督教【家庭】母こう（安政元）妻きみよ（明二三）宮城縣人阿部彌吉二女女子學院卒 長男孝雄（明四三）同縣立古川中學卒 養兄和平（文久三）現戶主及其子女 弟正平（明二三）及其妻 弟五郎（明三四）

吉野新吉 第三十六銀行(株)副支配人 八王子市神明町七 電八王子四一四

君は明治四年を以て生る幼にして安田家に入り累進して安田銀行青森支店長本店出納課長同用度課長に歷勤大正十四年六月第三十六銀行に轉じ副支配人に擧げられ今日に至る【家庭】男太郎（明三六）慶應大學卒 二男次郎（明四四）麻布中學卒 長女花子（明四〇）は安田銀行員田澤耕之助に嫁す

吉野忠雄 帝國キネマ演藝(株)關東代表者 東京市外西巢鴨町池袋大原一二一七 電大塚二三〇五

君は東京府士族吉野豐雄の男明治廿一年十一月十六日同府に生る夙に關西英學校を卒業して天然色活動寫眞會社大阪支店演劇商行等に歷勤大正九年帝國キネマ演藝に入り東京駐在員東京出張所經理主任東京支店長を經て現時前記の任にあり 宗教禪宗 趣味謠曲【家庭】妻きくの（明三二）東京府人齋藤政一二女夕陽ケ丘高女卒 男祐宏（大一〇）長女節子（大一二）二女政子（大一四）

吉野千代吉 辯護士 東京市外東調布町上沼部一八七ノ三 電田園調布一〇〇（事務所）京橋區新肴町一〇 電京橋四六七五

君は熊本縣人吉野彌三郎の長男明治十七年一月二日同縣天草郡手野村に生れ大正十年家督を相續す夙に天草郡役所に奉職し明治四十年法政大學法科を卒業同年辯護士試驗に合格す法學博士高橋義人の下に在りて研究する事五年大正元年獨立して法律事務所を設け傍ら日本興業銀行の庶務法律係たりしも同三年之を辭し專ら今日に至る法政大學評議員交詢社第一東京辯護士會各會員なり 宗教曹洞宗 趣味圍碁【家庭】母セキ（文久二）妻文子（明二五）辯護士牧龍太長女長崎高女卒 長男元（明四五）東京高校在 二男亨（大二）同校在 三男利夫（大六）四男貞夫（大八）五男和夫（大一一）六男鎭夫（大一三）長女園子（大一五）

吉野忠一 沖電氣(株)技師 東京市外大井町四四六九 電大森二七八六

君は千葉縣多額納稅者吉野傳治の長男明治卅一年十一月千葉市に生る大正十三年京都帝大工科電氣科を卒業後沖電氣會社に入社技師となり現に芝浦工場に勤務す 宗教神道 趣味寫眞撞球【家庭】妻いよ（明三七）長野縣士族王子電氣軌道常務取締役小平保藏三女東京女高師附高女卒 長女和子（昭三）※吉野傳治の項參照

吉野哲也 川北電氣企業社(株)技師 東京市外入新井町不入斗八五二 電大森九一〇

君は東京府人吉野定能の長男明治十六年十一月四日を以て生れ四十三年家督を相續す卅九年東京藥學專門學校を卒業遞信省技手を拜命し次で靜岡縣技手兼同縣警察部技手となり後沖電氣會社に轉じ參事電話課長たりしが大正十一年川北電氣企業社に入り工事部に勤務今日に至る 宗教禪宗【家庭】妻リン（明三四）埼玉縣人松律信次四女川越高女卒 長男久雄（昭三）

吉野傳治 千葉縣多額納稅者 東武鐵道(株)專務 千葉貯蓄銀行(株)取締 直接國稅八二六九 千葉市千葉二四七九 電千葉二六（東京宅）本所區向島小梅町二二二

君は千葉縣人粒良市郎右衞門の二男明治四年十月を以て生れ同廿八年先代忠吾の養子となり大正六年家督を相續す明治廿九年帝國大學工科電氣科を卒業して山陽鐵道會社に入り電氣技師たりしが同卅八年東武鐵道會社に轉じ支配人となり同四十一年推されて重役となる曾て房總鐵道專務取締役たり大正九年千葉貯蓄銀行を設立し現時其取締役たる傍ら東武鐵道會社專務取締役たり千葉縣多額納稅者なり【家庭】妻とみ（明一〇）養父忠吾二女 長男忠一（明三一）二男省治（明三四）法學士英國留學 四男協四郎（明三八）五男德五郎（明四〇）京都帝大在 六男新六（明四四）千葉高等園藝學校在 長女美惠（大二）千葉高女在 七男平八郎（大四）千葉中學在※吉野忠一の項參照

吉野兵作 裳華房(名)社員 東京市麴町區中六番町五四 電九段一〇一〇

君は東京府人先代吉野兵作の長男明治卅九年八月四日東京市日本橋區に生れ後家督を相續し前名宗平を改む大正十三年專修商業學校を卒業し家業の出版業に從事し今日に至る 宗教眞宗 趣味寫眞【家庭】妻千代（明四一）山形縣人安孫子信助長女同縣立高女卒 長女昭子（昭三）二女靖子（昭四）

吉野又四郎 從五勳四 荏原製作所 東京鐵筋コンクリート各(株)取締 東京市外高田町巢鴨三五七〇 電牛込三九六〇

吉野家は長崎市に住し世々長崎會所役人を勤めたる家柄なり君は長崎縣人吉野詮益の弟明治三年九月を以て生れ同廿五年一月分家す同廿九年帝大工科機械科を卒業し職を鐵道廳に奉じ日露戰役に出征し野戰鐵道隊に從軍し後南滿洲鐵道會社に轉じ大正元年之を辭して實業界に投じ荏原製作所日本機器製作所東京鐵筋コンクリート會社日本パイプ製造會社の創立に盡し其重役に擧げらる現時前記會社の重役たり【家庭】妻テル（明二〇）子爵川村景明二女 男申穆（明四〇）女櫻子（明三七）東京女學館卒 三男英二（明四三）

吉野隆三郎 日本橋區會議員 吉隆商店 建築材料金物商 所得稅一五四 東京市日本橋區龜井町四 電浪花六二七四

君は群馬縣人吉野良三郎の二男明治廿年一月卅日同縣に生れ同四十四年家督を相續す初め垣川商店員となり大正元年獨立して現地に吉隆商店を開業し建築材料金物販賣に從事して今日に至る傍ら日本橋區會議員龜井町會長青年團市評議員同分會長たり 宗教淨土宗 趣味謠曲【家庭】父良三郎（嘉永二）母たつ（嘉永六）妻千代子（明二六）東京府人吉江義三郎長女 長男隆一郎（大八）長女淸子（大元）二女春子（大三）二男邦佐（大一〇）三男高（大一三）四男敏郎（大一五）五男五郎（昭三）

吉場寅次郎 日暮里町大字日暮里町會長 同志會々長 暖房機械製作所 東京市外日暮里町五一五 電下谷六二九五

君は群馬縣人吉場善次郎の三男明治十七年三月同縣に生れ大正十四年家督を相續す夙に群馬縣立中學を卒業し明治四十年現事業を創め今日に至る傍ら前掲諸職に在り 趣味圍碁【家庭】妻やす子（明二〇）群馬縣人近藤爲三郎二女 二男八郎（大五）長女とよ（明四一）神田實科高女及同校專修科各卒 二女みよ子（明四三）同校卒 三女靜榮（大三）同校在 四女正子（大八）三男七郎（大一三）四男國造（大一五）

吉濱淸三郎 茶商 東京市本鄉區駒込曙町一七 電小石川一二一一

君は東京府人吉濱清三郎の長男明治十七年十二月四日東京市本鄕區に生れ後家督を相續し前名松之助を改む同十六年先代創業の茶商を繼ぎ經營以て今日に及ぶ東京茶業組合第十一區長並に常務員たり　宗教天台宗【家庭】妻さと（明二〇）　東京府人加納惣兵衞三女　長男隆雄（大二）　長女のぶ（明四二）　京華高女卒　二男榮二（大四）　三男文雄（大七）　二女みほ（大一一）

吉原恭三
啓明商會主　機械貿易商　東京市牛込區市ケ谷加賀町二ノ二（商會）京橋區實業ビル內　電京橋四四〇

君は東京府人吉原素夫の三男明治十三年五月十二日麴町區に生れ卅八年分家す卅五年東京高商卒業インターナショナル石油會社に入り次で高田商會茂木合名梅田商會等に歴勤大正十二年獨立機械貿易業を創め今日に至る　宗教禪宗　趣味乘馬謠曲【家庭】妻光子小山儀左衞門二女東京府立第一高女卒　長男象雄（明四〇）水戸高校在　二男公雄（明四三）　慶應義塾在　三男虎雄（大五）　東京府立六中在

吉原定次郎
大阪府多額納稅者　上海製油（株）社長　吉原製油所（名）代表社員　吉原油脂工業所主　大阪油卸賣組合長　植物性油粕及粉末石鹼製造卸商　直接國稅一一六四三　大阪市北區中之島町三ノ七　電土佐堀四五〇

君は兵庫縣人大家榮三郎の三男明治八年十二月を以て生れ後先代チヨの養子となり前名長平を改む夙に植物性油類の製造並に販賣業を營み前記諸職にあり大阪府多額納稅者たり【家庭】養母チヨ（文久二）　男治良（明三八）　女喜代（明四四）

吉原重威
明治電線（株）常務　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町扇ケ谷一八

君は東京府人吉原重隆の男明治十九年四月八日を以て生れ同四十三年七月東京帝大工科採鑛冶金科を卒業して同年七月大學院に入り同年十一月歐米に留學大正二年歸朝す翌年門司市外大里に於て金屬の製錬及加工業を創め同十年早稻田大學理工科講師となり同十五年三月明治電線株式會社常務取締役に就任す【家庭】妻ヒロ（明二九）　故陸軍々醫監渡邊泰造女廣島縣立高女卒外に女子一名（大一〇）あり

吉原昇三
臺灣銀行（株）神戸支店支配人代理　所得稅七二一　神戸市西須磨上池ノ下三ノ一　電須磨九四四四

君は長野縣人吉原喜作の二男明治廿二年四月廿四日同縣に生る大正六年東京帝大法科獨法科を卒業同年臺灣銀行に入り東京支店員新嘉坡及倫敦支店支配人代理東京頭取席支店課次長を歴勤後神戸支店支配人代理に就任して今日に至る　宗教禪宗【家庭】兄信治（明一六）現戸主　妻美壽（明二八）　廣川政吉妹日本大學英文科卒　長男瑞夫（大九）　二男邦夫（大一一）

吉原省三
末廣商事（株）專務　帝國輪業（株）支配人　東京市京橋區高代町四　電京橋一六〇三

君は千葉縣人中村登太郎の二男明治廿一年十一月十一日同縣に生れ大正七年吉原久太郎の養子となる明治廿九年慶應商工學校を卒業同四十二年二葉屋會社に入り大正六年辭し末廣商店を創め同九年株式組織に改め專務に就任後一時監査となり昭和四年專務に復任傍ら大正十五年帝國輪業支配人に就任して今日に及ぶ【家庭】妻啓（明二五）　養父久太郎長女　長男久光（大元）　長女喜代　二女省子　三女久子　四女ルリ子　二男正平

吉原武男
三泉工業（株）取締技師長　東京市外馬込町三四九三

君は長崎縣人吉原武七の長男明治廿二年三月廿五日長崎市に生れ後家督相續す同四十四年熊本高工機械科を卒業し三菱造船社員横濱船渠艤裝係長を歴勤昭和二年三泉工業會社に入社し同三年十二月現職に就く機械學會工政會造船協會々員なり　宗教禪宗【家庭】妻しま子（明二九）　長崎縣人都地儀三郎三女大村高女卒男茂明（大一三）　長女小枝子（大一〇）　三男達明（昭三）

吉原義雄
新潟縣農會長　農業　新潟縣南蒲原郡中之島村

君は新潟縣人吉原由太郎の長男明治五年九月を以て生れ同卅一年家督を相續す夙に慶大理財科に學ぶ村長村會長郡農會長郡會議員縣會議員等に擧げられ大正十三年新潟縣郡部より推されて衆議院議員に當選す農業を營み同縣農會長たり【家庭】母シン（嘉永五）　妻ワカ（明一一）　同縣人赤塚啓作長女　男義彥（明三二）同妻美（明三六）　秋田縣人矢野駒太郎二女　同長女文（大一二）　男重雄（明三五）　女ハル（明四〇）　四男靜男（大二）　三女ヤス（大二）　四女れい（大五）　養弟文一郎（大四）　新潟縣人小師シズ女　長女トシ（明二九）は同縣人齊藤虎次郎長男久保に養子チク（明一六）　同縣人齊藤キミ孫は同縣人小林純一長男廉夫に各嫁す

吉原謙亮（ヨシアキ）
正四勳三　公證人　東京市外瀧野川町上中里一三三　電王子八七六（役場）市外龜戸町五ノ一　電墨田三〇四五

君は山口縣人福田吉輔の二男明治元年一月十八日同縣熊毛郡島田村に生れ同廿六年叔父道馨の養子となり大正六年家督を相續す明治廿四年東京法學院を卒業同年辯護士試驗に合格辯護士となり同廿八年判事に任じ高岡區三次區廣島區同地方西江區各裁判所判事廣島控訴院判事下關區裁判所監督福井大津鹿兒島各地方裁判所長に歴補昭和三年官を辭し公證人となり今日に至る　宗教基督教　趣味喜多流謠曲盆栽【家庭】妻フヂ（明一二）　山口縣人河野郁太郎長女　長男道直（明四三）鹿兒島縣立第一鹿兒島中學卒　長女八重（明三二）　女子學院卒　三女麟子（明四〇）　同志社專門部家政科卒四女貞子（大二）　二男德蕃（大五）　三男一誠（大九）

吉原隆次
正五勳六　特許局事務官　總務部出願課長　中央大學講師　東京市小石川區大塚坂下町四〇　電大塚二二八五

君は愛知縣人吉原祐太郎の甥明治十九年十二月卅日同縣に生れ大正四年分家す同三年東京帝大法科獨法科を卒業同年文官高等試驗に合格し農商務屬鑛務監督官鑛業監督官商工局事務官農商務書記官農商務省參事官等を經て大正十一年特許局事務官に任ぜられ現時總務部出願課長にして傍ら中央大學講師たり「特許法詳論」「商標法詳論」の著書あり　宗教禪宗　趣味撞球圍碁【家庭】妻幹（明三四）　秋田縣人佐藤又六長女山脇高女卒　長男隆信（大五）　東京高師附中學在　長女節子（大九）　二女民子（大一五）　三女邦子（昭三）

吉平源六
地家主　所得稅四三二　東京市芝區新堀町一四　電三田一〇七〇（營業所）京橋區三十間堀二ノ七　電銀座三六七一

君は東京府人吉平要造の長男明治二年二月十二日を以て生れ昭和四年家督を相續す當家は先代要造の代より米穀商に從事す大正三年之を廢し地所家作貸付業を營み今日に至る　宗教淨土宗　趣味書畫骨董旅行【家庭】妻こう（明五）　東京府人鈴木榮次郎四女　長男英太郎（明三七）　明大卒　女貞子（明三〇）　女英子（明四三）東京府立第六高女卒　長女いと子（明二九）　同府立第一高女卒は東京府人國際通運會社參事野口雅雄に嫁し三女高子（明三四）は夫惣平と共に分家し三男袈裟助（大一〇）は東京府人中德まんの養子となる

吉弘嘉助
大日本製氷　茨城製氷　豆東製氷　佐原製氷冷藏　佐伯製氷　日銚製氷　氷冷藏各（株）取締　東京製氷共同販賣組合　事務所理事　東京市小石川區小日向水道町一〇八　電小石川三五七四

君は福岡縣人吉弘素一郎の三男明治十四年八月廿日を以て生れ大正二年分家す福岡縣立中學校を卒業後明治四十年石炭商を經營し同四十四年東洋製氷會社販賣主任となり大正八年同社の日本製氷と合併して日東製氷會社となるや其常任取締役に就任す現時前記會社の重役たり　宗教禪宗　趣味撞球日本音樂謠曲【家庭】妻久（明一九）　福岡縣人金子濟三郎二女　長男不二男（明四二）　慶應大學在

吉益啓藏
東京朝日無盡（株）社長　志の多壽司店主　所得稅五〇二　東京市日本橋區濱町二ノ一四（店舖）日本橋區蠣殼町二ノ一五　電浪花四〇一七

君は東京府人吉益七藏の長男明治八年二月廿九日を以て生れ同四十年家督を相續す同卅三年志の多壽司を創業傍ら同四十三年朝日無盡會社々長に就任今日に至る　宗教曹洞宗【家庭】妻ムメ（明九）　東京府人村山万藏長女　長男一郎（明二九）　錦城中學卒家業に從事　同妻オウメ（明四二）　東京府人細井一郎二女　同長男啓一（大九）　同長女京子（大一四）　同二男敏男（昭三）二男正次（明三三）　會社員　長女キヨ（明三一）　は深井半次に嫁す

吉益俊次
正四勳三　長崎控訴院檢事長　長崎市控訴院官舍

君は兵庫縣人吉益太平の長男明治九年十月十七日を以て生る同廿九年東京法學院英語法律科を卒業し同卅一年判檢事登用試驗に合格司法官試補を命ぜられ同卅三年七月判事に任じ爾來鳥取大阪各地方裁判所判事大阪地方裁判所部長を歴補同四十一年五月檢事に轉じ名古屋控訴院檢事名古屋東京各地方裁判所檢事水戸靜岡札幌各地方裁判所檢事正東京控訴院檢事横濱東京各地方裁判所檢事正等に歴補し昭和四年八月長崎控訴院檢事長となり今日に及ぶ【家庭】父太平（嘉永六）　現戸主妻わさ（明二〇）　兵庫縣人伊藤重藏長女　男俊郎（明四三）　女久子（明四一）　三男正次（大二）　四男禮三（大四）　五男駿作（大八）　六男道夫（大一二）

吉町太郎一
從三勳二　工博　北海道帝國大學工學部長兼教授　札幌市山鼻町四一七　電札幌二〇二四

君は青森縣士族吉町官輔の長男明治六年十月を以て生れ同四十一年家督を相續す先是同卅一年東京帝大工科土木學科を卒業し同年東京帝國大學工科助教授に任じ同卅四年土木工學研究の爲英獨に留學し歸朝後名古屋高等工業學校教授に任ぜられ同四十四年九州帝國大學工科教授を兼任し同年工學博士の學位を受く大正十年九州帝國大學工學部長を經て現に北海道帝國大學工學部長兼教授の任にあり【家庭】妻てつ（明二二）　東京府人小島重太郎長女　男貞一（明三三）　同妻通（明四二）　東京府人富田春房長女

吉松茂太郎
從二勳一功三　在鄕海軍大將　所得稅一五七　東京市麻布區笄町一五九　電青山五一八六

君は舊高知藩士吉松萬彌の長男安政六年一月を以て生れ後家督を相續す明治十六年海軍少尉に任じ大正五年十二月海軍大將に累進す其間浪速高砂各艦長佐世保鎭守府參謀長第一艦隊司令官海軍兵學校長教育本部長兼海軍大學校長軍事參議官第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官等に歴補し大正九年八月豫備役仰付らる【家庭】妻ふさの（明一一）　三重縣人森島謙三郎姉　男忠夫（明三〇）　同妻千代子（明三六）　神奈川縣人有賀初吉三女　同長男茂彌（大一三）　男常蔭（明三九）　養子信子（明二四）　廣島縣人吉松松博姉は宮崎縣士族外山宗八に嫁す

吉松忠敬
勳六　宮崎縣多額納稅者　農業　直接國稅一〇七五　宮崎縣南那郡福島村西方

君は宮崎縣士族吉松卓藏の長男慶應元年九月を以て生れ同四十五年家督を相續す農業を營み縣下に於ける有力家にして多年福島村長宮崎縣會議員同議長等にして大正十三年宮崎縣郡部より推されて衆議院議員に當選せり宮崎縣多額納稅者たり【家庭】妻イヨ（元治元）宮崎縣人鈴木良敬四女　男忠俊（明一八）　同妻リキ（明二六）　宮崎縣士族伊戸辰藏二女　男亭二郎（明二九）同妻操（明四〇）　宮崎縣人長尾福美長女　同長男昭一郎（昭二）　男亭三郎（明三一）　同妻浩子（明三三）　東京府人山口研吉妹　同長女美喜子（昭二）　男亭四郎（明三六）　孫林（明四三）　二女オク女　亡弟忠雄妻エツ（明二〇）　宮崎縣士族岩村卓一長女及其二男二女　二女オク（明二四）は宮崎縣人坂本唯次郎に嫁す

吉見乾海
從四勳二功四　在鄕海軍中將　私立海城中學校長　東京市外大久保百人町七三　電四谷一一八二

君は新潟縣士族吉見雲臺の長男元治元年十一月廿八日長岡市に生れ明治二年家督を相續す同十五年海軍兵學校に入り同廿一年海軍少尉に任じ大正四年海軍中將に累進す其間武藏艦長海軍兵學校監事長秋津洲周防鈴谷各艦長吳海軍工廠檢査官佐世保海軍工廠造兵部長吳海軍工廠水雷部長海軍造兵廠長等に歴補す現時海城中學校長たり　宗教日蓮宗　趣味釣魚【家庭】妻リヤウ（明一〇）　新潟縣人木村イワ三女　長男信一（明二七）　海軍少佐經理學校教官　同妻英子（明三二）　海軍造船中將山田佐久二女吳高女卒　同長男太郎（大一二）　同長女美智子（大一一）　同二女美惠子（昭二）　二男巖（明三九）　京都帝大法科在　三男滿佐夫（明四三）　學習院高等科在　四男博之（大五）　五男友嘉（大六）　二女君（明三四）は東京府人木村憲次に嫁せり

吉見靜一
東京電燈（株）理事營業部配電課長　所得稅八九四　東京市本鄕區駒込西片町一〇イノ一一號　電小石川三九三一

君は舊水戸藩士吉見輝の長男明治十六年三月八日鶴岡市に生る第五高校を經て同四十一年東京帝大工科電氣工學科を卒業して京阪電氣鐵道會社技師となり爾來名古屋電燈會社猪苗代水力電氣會社株式會社中村組京濱電力會社に歴勤大正十年東京電燈會社に入り同十三年理事に任じ電氣課長たりしが昭和三年三月配電課長となる傍ら京濱電力會社囑託たり先是大正八年歐米各國

へ電氣業視察に赴き翌年歸朝す電氣倶樂部會員なり 宗教神道 趣味圍碁撞球狩獵【家庭】妻キン（明二三） 大阪府人安永義章二女東洋英和女學卒 長男光一（明四三） 武藏高校在 長女敏子（大二） 自由學園在 二男泰二（大三）

吉見正雄 東京瓦斯(株)技師本所營業所長 東京市小石川小日向臺町三ノ八三

君は靜岡縣人吉見鑑一の二男明治十六年六月五日濱松市に生る濱松中學を經て同卅八年東京高工機械科を卒業後芝浦製作所東京キャリコ製織會社丸菱電氣商會等に歷勤大正二年東京瓦斯會社に入り昭和二年本所營業所長となる其間歐米に出張せり 宗教眞宗 趣味機械研究讀書寫眞【家庭】妻八重子（明二一） 靜岡縣人池上清三郎長女同縣立高女卒 養嗣子一雄（大六）

吉見義明 正六 特許局技師 審査官 東京市外池上町堤方七一七

君は東京府人吉見補義の長男明治廿五年二月三日東京市本鄉區駒込動坂町に生れ同四十五年家督相續す大正六年東京帝大工科を卒業し現に特許局技師審査官たり

吉水元三郎 正六 警視廳衞生技師洲崎病院醫長 東京市外蒲田町北蒲田三九六

君は兵庫縣人吉水重太郎の男明治廿六年十一月廿日同縣美嚢郡別所村に生れ大正十二年家督を相續す同六年長崎醫專を卒業後京都東京兩帝大に研究同九年三月東京帝大專科を卒業し洲崎病院勤務の後警視廳衞生技師に任じ品川病院長拜命同十年洲崎病院に轉じ現に前記の職に在り 宗教眞言宗 趣味書畫【家庭】父重太郎（慶應元）母イシ 妻貞子（明三二） 大峯吉郎女

吉村伊勢登 從七 辯護士 東京市四谷區右京町四二 電四谷五九一一

君は福岡縣人吉村仙三郎の二男明治廿六年七月十四日同縣糸島郡可也村に生る夙に辯護士試驗に合格し後辯護士となり現地に法律事務所を開設し以て今日に至る東洋拓殖會社囑託たり【家庭】妻愛子（明三二） 長男司（昭二） 二男理（昭三）

吉村右一 三共貿易(株)社長 東京株式取引所一般短期實物取引員 吉村右一商店 東京市外大崎町上大崎三一 所得税一四五二 八二 電高輪二一一〇（店舖）東京市日本橋區江戸橋一ノ八 電日本橋二九〇七

君は東京府人吉村官治の二男明治十三年二月十六日を以て生れ大正三年分家す夙に海城中學に學び後三共貿易株式會社を設立して社長となる東京株式取引所一般短期實物取引員なり 宗教眞宗【家庭】妻イト（明一三） 東京府人井上源次郎四女 長男太一（明三九） 慶應商工部卒 女松江（明四二） 二男弘治（明四四） 三男清（大二）

吉村丑之助 防水材料商 各官廳御用達 東京市本所區元町一五 電本所五一二九

君は石川縣人吉村儀作の四男明治十三年七月十三日同縣鳳至郡中居村に生れ後分家す大正七年福井市にて防水材料商を始め昭和二年現住地に本店を設置し經營以て今日に至る 宗教眞言宗 趣味旅行【家庭】妻タツ子 長男康三（明四〇） 福井縣立中學卒 長女キヨ（明三七）

吉村英吉 大連汽船(株)取締 大連市神明町六六 電大連三六六二

君は鳥取縣人吉村富吉の長男明治十五年二月十四日同縣に生れ同卅二年家督を相續す同四十三年京都帝大法科經濟科を卒業し大阪商船に入り大正七年山下汽船に轉じ歐米を視察し同十一年同社を辭し同十二年國際運送社員たりしが後大連汽船取締役に就任し今日に至る嚢に一ノ瀬回漕店取締役國際運輸取締役たり 宗教眞宗 趣味運動【家庭】妻晴子（明二六） 佐賀縣人相良利吉長女 長男健一（大二） 大連二中在 二男有二（大三） 同校在 三男道三（大七）

吉村勝太郎 門司商工會議所會頭 門司市會議員同參事會員 大橋商會(資)代表社員 門司土地(株)監査 所得税五三〇 門司市一坂町一八六五 電門司五九四

君は山口縣人吉村金兵衞の長男明治九年十月一日下關市に生れ大正五年家督相續す明治廿五年下關商業學校を卒業して門司田川採炭會社に入り同四十二年大橋商會代表社員に就任今日に至る傍ら前記諸職にあり 宗教眞宗 趣味書畫【家庭】妻イソ（明一〇） 山口縣人笹山勝意二女 長女美枝子（大七）

吉村儀兵衞 大阪府多額納税者 玩具商 直接國税五七一〇 大阪市南區瓦屋町一ノ四 電南一五三三

君は大阪府人先代儀兵衞の長男明治十九年五月を以て生れ同四十一年家督相續と共に襲名して前名眞四郎を改む玩具商を營み大阪府多額納税者たり【家庭】母ひさ（慶應三） 妻アサ（明二三） 大阪府人森下榮助長女 男晟治（大七） 二女景子（大三） 三女章子（大五） 二男淳（大九） 四女欣子（大一二） 五女俊子（大一四） 妹光枝（明二九） 弟英治（明三八）

吉村清尙 從四勳三 農博 鹿兒島高等農林學校長 鹿兒島縣鹿兒島郡中郡宇村郡元五六一 電鹿兒島一五二一

君は福岡縣人吉村源平の二男明治四年十一月を以て生れ同廿四年分家す同廿八年帝國大學農科大學を卒業し同卅八年盛岡高等農林學校教授に任ぜらる同四十二年文部省留學生として農藝化學研究の爲歐米諸國に留學する事滿三ヶ年同四十五年歸朝同年鹿兒島高等農林學校教授に轉任大正二年農學博士の學位を受く同十一年同校々長に任ぜらる著書數種あり 宗教神道【家庭】妻ヤソ（明一〇） 福岡縣士族荻原喜內二女 養子悌治（明一九） 鳥取縣人福谷正溫二男東北帝大理科卒日本石油會社勤務 長女美代子（明三〇） 養子悌治妻 同長女敏子（大九） 同長男清治（大一二）同二男達二（大一四） 二女馨（明三五） は鳥取縣人福谷君貞に三女正江（明四〇） は山形縣人佐々木周郁に各嫁す

吉村惠吉 小田原急行鐵道(株)副社長 東京市麻布區本村町一一六 電高輪七六〇一

君は舊幕臣吉村朝宗の四男明治十一年一月を以て生れ

大正十四年分家す明治卅四年東京帝大工科土木科を卒業し東京鐵道會社の技師となり同四十三年鬼怒川水力電氣會社に入り多年同社技師たりしが大正十三年之を辭し現時小田原急行鐵道株式會社副社長たり【家庭】妻こう（明一七） 東京府人名倉鋼太郎女 長男讓二（明四〇） 同府立第三高女卒 二女和子（明四二） 聖心女子學院卒 三男謙三（明四四） 四男四郎（大四） 五女總子（大六） 五男正夫（大八）

吉村孝一郎 豐島屋本店 酒類商 東京市芝區高輪北町三一 電高輪七二九七

君は東京府士族吉村政次郎の男明治廿八年五月廿七日を以て生る大正六年東京高商を卒業し現時父政次郎を扶けて家業に從事す 宗教日蓮宗【家庭】妻光子（明三一） 東京府人平山敢妹 長男光雄（大一一） 長女延子（大一四）、二女郁子（昭三） ※吉村政次郎の項參照

吉村佐平 國際通運(株)專務兼總務部長 通運保全社 運送相互保證各(株)常務 大北火災海上保險(株)取締 北陸汽船(株)監査 東京赤坂區傳馬町三ノ一五 電青山六九八〇

君は東京府人吉村甚兵衞の二男籾山仁三郎の兄明治三年十月を以て生れ同十六年家督を相續す夙に實業界に身を投し內國通運會社取締役專務取締役を經て現時國際通運會社專務取締役兼總務部長たる外前記會社の重役たり【家庭】妻セン（明一九） 東京府人林九兵衞二女 男泉太郎（大九） 長女榮子（大二） 二女薰子（大四） 三女久子（大六） 四女春子（大八）

吉村樹（シゲル） 甲斐田邊商會保險代理業 東京市四谷區三光町一（營業所）京橋區元數寄屋町二ノ九對鶴館ビル內 電銀座一三二三

君は東京府人吉村忠道の長男明治十七年五月十七日同府に生れ同卅七年家督を相續す同年錦城中學を卒業翌年東海銀行に入り大正二年辭して甲斐田邊商會を繼承し今日に至るフイニツクス火災海上ニユージーランド火災海上の總代理店たり 宗教曹洞宗【家庭】妻きん（明二八） 東京府人本多轉郎長女 長男正（大七） 長女靜枝（大四） 二女葉子（大一〇）

吉村繁 ユーエス貿易東京事務所代表者 東京市外大井町五四三八 電大森二八二五

君は福井縣人齋藤才助の五男明治廿一年八月廿五日同市に生れ同四十年分家す大正四年東京高商を卒業直に藤田鐵工所に勤務同九年日露實業に轉じ米國通商課長シャトル出張所長等に歷任同十四年ユーエス貿易に入社シャトル本店に勤務後東京事務所代表者となり今日に至る 宗教眞宗 趣味園藝【家庭】妻しん（明二九） 東京府人今井喜三郎二女東京府立第一高女卒 長男哲郎（大一〇） 二男通雄（大一一）

吉村信二 古河(名)理事兼秘書課長 古河鑛業(株)監査 所得税一二二七 東京市牛込區新小川町三ノ三 電牛込二三一五

君は東京府人吉村純興の長男明治十一年三月を以て生れ大正六年家督を相續す明治三十六年東京帝大法科政治科を卒業して古河合名會社に入り現時前記の職に在り嚢に天龍川水力電氣會社監査役たり【家庭】妻千代（明二〇） 東京府人木村長七長女 男信吉（明四〇） 東京帝大理科在 二男進（明四三） 三男純男（大八） 弟芳松（明一九）

吉村眞造 關西電療專門學院 吉村理學電氣療院各院長 大阪市西區本田町通二ノ六四 電西七二二五

君は山口縣人吉村歳吉の長男明治十四年一月六日同縣に生れ後家督を相續す夙に新嘉坡香港天津等に渡り電氣療法の研鑽に努め大正六年歸朝株式界に入りしが同九年電氣療法を創め現時前記學院並療院を經營す 宗教眞宗【家庭】妻ケイ（明一六） 嗣子泰助（大三）

吉村新作 東京衡機製造所(資)主任技師 東京市外入新井町新井宿四一六

君は長崎縣人中島伴之助の四男明治廿五年八月七日同縣に生れ吉村監四郎の養子となり後家督を相續す長崎三菱造船所造機部修業生たりしが同四十一年之を卒へ大正五年神戶三菱造船所勤務となり同十二年東京衡機製造所主任技師に轉じ今日に至る 宗教禪宗 趣味音樂散步【家庭】妻ツル（明三六） 大田尾貞一長女 二男光弘（昭三）

吉村新七 莫大小製造業 東京市本所區茅場町三ノ一〇 電本所四六三五

君は岐阜縣人吉村鶴吉の二男明治十七年一月卅一日同縣惠那郡坂下町に生れ大正五年分家す明治卅七年東京深川鈴鹿商店に入り勤續十二ヶ年の後大正六年莫大小製造業を獨立創業し爾來經營今日に至る傍ら重要輸出工業組合東京輸出靴下工業組合各理事茅場町會副會長たり 宗教神道 趣味謠曲將棋【家庭】妻すゞ（明二四） 東京府人瀧澤新太郎三女 長男興一（大一三） 長女俊枝（大九） 二女靜枝（大一〇）

吉村愼一 東京府農工銀行(株)鑑定課副課長 所得税七一 東京市外長崎町並木一四五二 電大塚二五七四

君は明治十七年三月一日新潟縣に生れ後吉村吉次郎の養子となり大正十二年家督を相續す明治四十三年早大商科を卒業直に東京府農工銀行に入り大正十年償還課長となり同十四年鑑定副課長に就任して現在に至る 宗教佛教【家庭】妻キト子（明二三） 養父吉次郎長女 女子大學家政科卒 長女初子（明四四） 新潟高女卒 二女俊子（大三） 女大附高女在 三女淑子（大八） 四女正子（大一〇）

吉村末太郎 各種板硝子卸問屋 東京市日本橋區蠣殼町一ノ三 電茅場町一九三八

君は東京府人片岡仙吉の長男明治廿七年八月廿八日を以て生れ後吉村由吉の養子となる硝子直輸入商を營み硝子卸問屋にして東京板硝子組合日本橋委員たり 宗教日蓮宗【家庭】養父由吉（慶應二） 妻ヤノ（明二九） 長野縣人村上筆吉二女

吉村鑄次 三丹商店 酒類商 東京市小石川區原町一ノ四 電小石川五八八五

君は東京府人吉村鎌三郎の三男明治十七年一月を以て生る三丹商店と稱し酒類商を營む【家庭】母くら（嘉永五） 妻ゆき（明二〇） 東京府人豐田惣五郎四女 女愛子（明四二） 兄喜六（明七） 現戶主及其妻 弟藤藏（明二八） 及其妻子

吉村宗次 大港木材(株)監査 辯護士 辨理士 東京京橋區濱町二 電京橋四〇八五

君は愛知縣人吉村喜兵衞の四男明治廿六年一月十日同縣丹羽郡犬山町に生れ後分家す大正七年東京帝大法學部英法科を卒業して同十年古河商事會社に入社し昭和四年獨立辯護士を開業し今日に至る傍ら前掲會社重役

たり　宗教神道　趣味長唄【家庭】妻久子（明三四）東京府人有馬純則養女仙臺高女卒　男哲郎（大一〇）

吉村武夫　日本石油(株)社員　東京市外大井町四四一八

君は鹿兒島縣人吉村牧雄の長男明治廿二年七月六日同縣に生れ同四十三年家督を相續す大正三年東京高商を卒業して浪速銀行日本人造肥料會社に歷任大正七年日本石油會社に入社現時庶務課に勤務す　宗教眞宗【家庭】母悅子（明四）妻友江（明三二）秋田縣人白根利助長女跡見高女卒

吉村忠夫　帝國美術院美術展覽會審査員　日本畫家　東京市外巣鴨町一一四一

君は東京府士族吉村貞雄の男明治卅一年十月五日福岡縣遠賀郡に生れ昭和三年家督を相續す大正八年東京美術學校日本畫科を卒業後三ヶ年間同校研究科に於て研鑽す大正七年以降文展帝展に入選すること數回同十一年には特選となり昭和三年帝展委員に推され同五年審査員に擧げらる東臺邦畫會日本畫會中日美術聯合研究會會員なり　宗教日蓮宗　趣味工藝【家庭】父貞（慶應三）母慧（明四）弟浩（明四一）二高在

吉村辰造　正七　京都市主事　社會課長　所得税一一五　京都市上京區小山大野町七三　電西陣三五五七

君は三重縣人藤井庄七の二男明治十九年一月一日同縣阿山郡花之木村に生れ先代貢の養子となり家督を相續す夙に廣島高師を卒業し栃木香川兵庫愛知各縣中學校教諭京都市視學同電氣局營業課長中京區長等を經て昭和四年京都市社會課長に轉じ現在に至る　宗教天台宗　趣味讀書【家庭】妻雅子（明二六）三重縣立阿山高女卒　長女照子（大三）二女靜子（大七）

吉村哲三　正五勳四　前官吏　東京市小石川區雜司谷町九八　電牛込五六〇六

君は鳥取縣人吉村英吉の弟明治廿年三月十日を以て生れ吉村德平の養子となる同四十四年東京帝大法科政治科を卒業文官高等試驗に合格し宮城縣理事官に任ぜらる爾來內務省土木局河川課長大阪府書記官內務部長青森佐賀各縣知事を經て同四年復興局部長修理部長に任ぜられ同五年三月之を辭し現時閑地に在り　宗教禪宗　趣味野外運動圍碁【家庭】養父德平（明三）現戶主　妻玉子（明二二）養父德平養子鳥取高女卒　長男德太郎（明四四）浪速高校在　二女喜代子（大四）三女美代子（大九）長女豐子（大三）鳥取高女在は鳥取縣人德山甚藏の養子となる

吉村鐵之助　大日本電球　吉村商會　吉村木工所　明昭電機　江若鐵道各(株)社長　石渡電機　北海道殖産　滿洲製粉　相模紡績各(株)取締　帝國製糖　東京テレヂング商會各(株)監査　東京芝白金臺町二ノ六　電高輪一〇五〇

君は滋賀縣人吉村源六の長男安政五年八月一日大津市に生れ明治廿九年分家す夙に同志社に學び後電氣諸機械業を營み選ばれて衆議院議員たる事二回現に前記諸會社の重役たり又家庭學校を創立せしことあり尙曩に江差鐵道南滿洲製糖の各會社長南滿洲鐵道會社理事箱根土地東京護謨岩手電力企業北海道製糖各會社取締役たりし事あり交詢社帝國鐵道協會日本工業倶樂部日本倶樂部各會員なり　宗教基督宗【家庭】妻ミネ（文久元）奈良縣人筒井佐久馬長女　嗣子孫鐵郎（明四二）亡養子五郎長男慶應普通部卒　亡養子五郎妻ユウ（明一七）は一男一女を伴ひ分家し孫甕子（明四五）亡養子五郎二女は絕家福井氏を再興す

吉村德之助　勳六　明治生命保險(株)總務主事助役　東京市麴町區元園町二ノ一〇

君は奈良縣人吉村定八の三男明治八年七月十日同縣に生れ後分家す明治卅一年東京高商を卒業して三菱總本店同大阪支店に歷勤同卅九年明治生命保險會社に入社し現に總務主事助役たり　宗教基督宗　趣味園碁將棋讀書【家庭】妻かず子（明一七）奈良縣人杉彰純姉　男德之（明三五）慶應理財科卒明治生命保險社員　二男壽雄（明三九）東京商大卒　三男文彰（大二）日本大學中學部在　四男泰彰（大三）東京府立六中在　二女智惠子（大六）女子學院在　五男彌之助（大八）三女小枝子（大一一）四女八重子（昭二）長女壽美子（明四一）双葉高女卒は九州帝大助教授田中和夫に嫁す

吉村利雄　醫博　日本赤十字社病院醫員　醫師　東京市赤坂區青山高樹町一四ノ三　電青山五四三五

君は東京府人山本慶次郎の二男明治廿六年一月十五日同府に生れ後吉村龍太郎の養子となる大正七年東京帝大醫學部を卒業して同大學法醫學教室に血淸學を研鑽す大正十二年日本赤十字社病院に入り今日に至る同十二年醫學博士の學位を授けらる　宗教淨土宗　趣味讀書【家庭】養父龍太郎（元治元）現戶主　妻智子（明三七）東京府人大賀宗恒長女東京女學卒　長女嘉子（大一三）三女道子（昭二）三女宜子（昭四）

吉村富之助　正八　陸軍工兵少尉　東京市技師　東京市外碑衾町碑文谷一五七三

君は鹿兒島縣士族吉村彰德の長男明治卅四年二月廿三日同縣薩摩郡平佐村に生れ大正十四年家督相續す七高を經て同十三年九州帝大工學部を卒業直に東京市に奉職技師に任じ現に土木局第一出張所に勤務す　宗教禪宗　趣味讀書旅行【家庭】弟兼正（明四二）法政大學在　同富次郎（明三六）東京外語卒は高江家に同富三郎（明三九）東大卒關西學院教授は渡邊家に各養子となり　姉多惠子（明三二）鹿兒島縣立高女卒は鹿兒島縣人醫學士藤田圭一に嫁す

吉村友之進　和歌山縣多額納税者　製絲業　直税一七六一　和歌山縣那賀郡山崎村

君は和歌山縣人吉村角次郎の二男明治六年二月を以て生れ同卅五年家督を相續す同廿四年中央大學を卒業し製絲業を營む現に和歌山縣多額納税者として知らる【家庭】母タケノ（嘉永二）妻イチ（明七）和歌山縣人平野權之助長女　男秀治（明四一）五男秀彥（明四二）六男謙三郎（明四三）三女貞子（大元）長女林（明三一）は和歌山縣人南方常太郎に二女綾子（明三七）は同縣人前田穰に各嫁す

吉村仁三郎　日野屋　金物商　所得税二六二　東京市本鄕區春木町一ノ三一

君は埼玉縣人土倉久兵衞の二男文久元年九月を以て生れ明治廿四年先代仁三郎の養子となり同四十三年家督相續と共に襲名して前名久次郎を改む現に日野屋と稱し金物商を營む【家庭】養母きむ（弘化四）養子德之助（明二三）東京府人桑原七兵衞五男　女小枝（明二五）德之助妻

吉村春枝丸　醫師　東京市神田區錦町三ノ八　電神田三六〇九

君は東京府士族吉村春峯の三男明治十一年三月十日東京市に生れ後分家す同卅八年千葉醫專を卒業同四十年現地に開業して今日に至る前神田區會議員にして現時神田衞生會幹事並東京醫師會神田支部評議員たり　宗教神道　趣味書畫盆栽【家庭】妻千代（明二三）神奈川縣立高女卒

吉村孫三郎　吉村商店(名)代表社員　東京輸出メリヤス工業組合幹事　菊神號本舖　メリヤス雜貨商　所得税一八〇　東京市日本橋區通旅籠町一一　電浪花二七七七

君は福井縣人吉村孫一郎の男明治十七年五月一日滋賀縣に生れ同四十三年家督を相續す同四十年上京人造絹絲販賣業を營む東都に於ける人造絹絲販賣の嚆矢とす後錯酸箔糸原料商を營み次で雜貨商を經營同四十三年會社組織となし代表社員に就任今日に至る嘗て東京莫大小同業組合評議員日本絹毛日本絹織各會社重役たりし事あり　宗教眞宗　趣味骨董【家庭】母かね（安政四）先々代彌助長女　妻フク（明二二）東京府人鷲尾政吉妹　長男武一郎（大二）東京府立第一商業在　長女啓子（大六）二女よし子（大一〇）三女千惠子（大一三）姉さと（明一五）は石川縣人田中宗助に嫁す

吉村政次郎　豐島屋本店　酒類商　所得税一五四一　東京市神田區美土代町二ノ一　電神田二六六〇

君は東京府人石橋重兵衞の二男明治五年九月を以て生れ同廿七年先代因是の養子となり同卅三年家督を相續す豐島屋と稱し酒問屋業を營む　宗教法華宗【家庭】妻あき（明八）養父因是二女　長男孝一郎（明二八）女きん（明三三）東京府立第一高女卒　女富子（明三六）山脇高女卒　五男俊雄（明四二）慶應大學在　六男正（大元）慶應商工在　七女喜代子（大五）※吉村孝一郎の項參照

吉村萬治　從四勳四　東京窒素(株)取締　南滿洲鐵道(株)囑託　所得税三三七　東京市麻布區山元町三二　電高輪一八九〇

君は兵庫縣人岡忠平の四男明治十四年三月一日同縣に生れ後吉村常吉の養子となり大正十一年分家す明治卅九年東京帝大工科採鑛冶金科を卒業し後文官高等試驗に合格し鑛山監督署技師となり爾來特許局審査官鑛務技師兼農商務技師鑛業監督官兼軍需局技師臨時產業調査局事務官燃料研究所長等を歷任し大正十三年十二月製鐵所理事を兼任し次で商工技師兼製鐵所理事たりしが同十五年官を辭し南滿洲鐵道會社囑託となり今日に至る傍ら東京窒素會社取締役たり曾て鑛業研究の爲歐洲に留學す　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻春子（明一七）養父吉村常吉長女　長男千里（明四二）靜岡高校在　長女和（明四〇）聖心女子學院高等科卒　二男健三（明四四）東京外語在　三男英吾（大三）東京府立六中在　二女郁子（大五）同府立第六高女在　四男正也（大九）

吉村萬治郎　古河鑛業(株)社長　古河(名)代表社員　富士電機製造(株)取締　東京市外澁谷町景丘三六　電高輪五

君は古河市兵衞の甥木村長兵衞の四男鈴木市之助の弟明治十九年三月を以て生れ先代ツルの養子となり同廿八年家督を相續す同四十一年慶應義塾法律科を卒業し獨逸ハレー及伯林大學に學び尋で歐米を歷遊し歸朝す現時古河鑛業會社社長たる外前記會社の重役たり【家庭】妻鶴（明三一）男爵古河虎之助妹　長女幸子（大五）二女彌壽子（大八）三女和子（大一〇）

吉村三木太郎　臺灣纖維工業(株)代表取締　東京市本鄕區駒込西片町一〇とノ四　電小石川三七〇九

君は三重縣人森陳義の長男明治八年十一月十八日同縣に生れ後吉村唯四郎の養子となる同卅年船舶業に從事し同卅八年轉じて貿易商となり同四十三年臺灣纖維工業株式會社創立と共に代表取締役に就任現在に至る　宗教淨土宗【家庭】妻靜（明二三）鹿兒島縣人村田一郎四女東京女學館卒　長男泰明（明四四）佐賀高校在　二男定明（明四五）東京高師附中在　長女鐵（大四）三輪田高女在　二女福（大八）

吉村幹三郎　從四勳二　海軍法務官　高等軍法會議法務官兼東京軍法會議法務官　東京市外大久保町東大久保四二一　電四谷四五四一

君は和歌山縣人吉村友之進の弟明治十年三月十五日同縣那賀郡山崎村に生れ同四十年分家す同卅年東京法學院を卒業し海軍法務官となり橫須賀鎭守府軍法會議法務官を經て高等軍法會議法務官に任ぜらる現に東京軍法會議法務官を兼ぬ【家庭】妻みつ（明二一）東京府人末岡惟精姉日本女大附高女卒　長男太郎（明四四）二男二郎（大二）三男穰（大四）四男芳夫（大七）五男啓（大一一）六男典夫（大一三）七男七郎（大一五）長女淸子（明四一）は杉山貞雄に嫁す

吉本國太郎　東京冷藏(株)專務　湘南軌道　大連製藥所各(株)取締　東京市外大井町三三四

君は湘南軌道會社長吉本天祥の長男明治十九年二月二日高知市に生る同四十二年東京帝大農科を卒業し山邑酒造會社に社員たりしが大正八年湘南軌道昭和二年東京冷藏同三年大連製藥各會社取締役となり今日に及ぶ　宗教神道　趣味讀書【家庭】父天祥（文久二）現戶主　母戊（元治元）妻敏子（明二五）大阪府人日野國明長女同市梅田高女卒　長男安祥（大二）東京市立二中在　二男國祥（大六）四男永祥（昭三）

吉本眞一　澁谷電氣商會社員　東京市麻布區霞町一　電青山七六一七

君は鳥取縣人上村平三郎の三男明治十六年一月同縣に生れ後吉本千代藏の養子となり同卅六年家督を相續す同四十一年東京帝大工科採鑛冶金科を卒業後赤池炭坑及入山採炭各會社に勤務大正十四年澁谷電氣商會に入り現在に及ぶ　宗教淨土宗　趣味圍碁【家庭】妻智重子（明二三）東京府士族三原經國長女女子學習院卒　二女芙美子（大七）東京女高師附高女在

吉本淸太郎　正七勳六　醫博　日本赤十字社病院主幹　所得税七六一　東京市麻布區櫻田町三〇　電青山五九五九

君は福岡縣人吉本和作の三男明治五年四月同縣京都郡白川村に生れ同廿六年分家す同卅五年東京帝大醫科を卒業直に大學青山內科助手となり同卅五年三月日本赤十字病院に聘せられ同卅九年赤十字病院より留學を命ぜられ伯林醫科大學に於て內科學を修め同四十二年歸朝し爾來引續き赤十字社病院に於て內科部長として勤務す大正元年醫學博士の學位を授與せらる著書に「腎臟炎の療法附治療的食餌及嗜好品」の著書あり日露役に際し同社篤志醫員として弘濟丸に乘組み勳功あり勳六等に叙さる　宗教眞宗　趣味讀書觀劇【家庭】妻てつ（明一六）東京府人井上惣太郎長女杉田幸五郎養女

吉本酉雄 小田組工事監督主任 東京市牛込區辨天町一二三

君は靜岡縣人吉本八郎の二男明治十八年十一月同縣に生る同卅八年横須賀海軍工廠に入り同四十年之を辭し爾來鐵道院工作局群馬縣營繕課牛込區役所に歷勤現時小田組工事監督主任たり 宗教日蓮宗 趣味旅行撞球【家庭】妻美野（明二五） 靜岡縣人土屋豐三郎長女和洋高女卒 長男芳雄（大四） 成城中學在 二男文夫（大一〇） 長女るり子（大七）

吉本平次郎 京都府多額納税者 直接國税三〇二七 茶染捺染業 京都市下京區松原大宮西 電本局五二六

君は京都府人吉本平次郎の弟明治十八年六月を以て生れ同卅七年家督を相續し前名眞三郎を改む現時茶染捺染業を營み京都府多額納税者たり【家庭】母キサ（嘉永五） 妻フク（明二三） 京都府人山本種三郎三女 男富太郎（大二） 二男惣吉（大六） 弟幸次郎（明三〇）

吉本與志雄 吉本建築事務所建築設計監督施工 東京市芝區車町三六 電高輪九六

君は東京府人山下與三郎の二男明治廿八年三月九日八王子市に生れ吉本家の養子となる大正五年東京高工建築科を卒業し同時に三菱地所部に入り建築部技師となり同十二年之を辭し櫻川小太郎建築事務所に轉じ翌年九月辭して父の業を繼承し以て今日に至る主として洋風建築を業とし鐵筋設計施工工事を請負ふ建築學會員なり 宗教淨土宗 趣味旅行水泳柔道庭球漕艇謠曲演劇【家庭】妻榮子（明三三） 吉本龜太郎二女 長男太郎（大七） 二男二郎（大九） 長女澄江（大一三） 二女克子（昭二）

好富正臣 正七 外務事務官 東京市四谷區愛住町六五 電四谷四二三〇

君は山口縣士族好富知明の二男明治卅二年四月十八日を以て生る大正十二年東京帝大法學部政治科を卒業後外務省在外研究員となりグルノーブル大學ボールド大學巴里大學等に學びドクトルアンドロアドクトルエスレットルの學位を受く昭和二年佛國日本大使館付となり同三年外務事務官に任じ歐米局第一課勤務を命ぜられ今日に至る 宗教神道 趣味讀書【家庭】兄道明（明二一） 現戸主 妻幸子（明四二） 臺灣總督府總務長官人見次郎長女女子學習院高等科卒 姉ちせ（明二七） 岩國高女卒は山口縣士族竹內春生に嫁す

芳川寛治 正四 伯爵 臺灣炭鑛 足利紡績各(株)取締 東京市外中野町小瀧一五二〇 電中野一三七

當家は代々醫師として知らる曾祖父を原田省博と云ふ其子民部亦祖業を繼ぐ先代顯正は其四男夙に參議伊藤博文と共に米國に赴き文物制度を視察す歸朝後紙幣頭外務工務內務各少輔東京府知事內務大輔同次官文部大臣官中顧問官兼內藏頭帝室會計審査局長司法內務遞信各大臣樞密院副議長皇典講究所長國學院大學長等に歷任し貴族院議員となり特に大臣禮遇を賜ふ明治廿九年勳功により子爵を授けられ日露戰役の功により伯爵に陞さる君は子爵曾禰安輔の弟明治十五年五月を以て生れ先代顯正の養子となり大正九年二月襲爵す明治卅八年東京高商を卒業す曩に磐城鑛業會社員々長日本鐵工所監査役たり【家庭】長女明子（大二） 養姉シン（明一一） 同セイ（明一四）

芳川赶 著述業 東京市牛込區若松町一二一 電牛込四七三二

君は長崎縣人吉田啓三郎の二男明治廿八年十月廿日同縣南高來郡島原村に生れ大正七年芳川家の養子となり其家督を相續す夙に明治大學法科に學び雜誌「女の世界」記者東京每日新聞社記者を歷勤爾來著述を以て業とし今日に至る曩に雜誌「美術春秋」を發刊せり著作に「大凡蓮如」「大凡觀音」「釋加及佛陀の女難」「戀の前科者」「徹底的愛の征服」其他あり 宗教禪宗 趣味圍碁【家庭】妻スマ（明三四） 東京府人田口辰三二女 長女千草（大一四）

芳澤謙吉 從三勳一 特命全權大使 佛國駐劄 Ambassade du Japon, 24, Rue Greuze, Paris, (16e) France.

君は新潟縣人芳澤襄良の長男明治七年一月を以て生れ同卅八年家督を相續す同卅二年東京帝大文科英文科を卒業同卅二年外交官領事官試驗に合格外交官補に任ぜられ爾來領事官補領事外務省參事官外務書記官政務局第一課長大使館一等書記官漢口總領事同外務省人事課長同支那公使館參事官同外務省政務局長同亞細亞局長兼歐米局長支那國駐在特命全權公使等歷任昭和五年二月特命全權大使に任じ佛國駐劄仰付られ現時任地に在り【家庭】妻操（明一九） 政友會總裁犬養毅長女 長男利雄（明四四） 二男季雄（大二） 三男定（大五） 四女和子（大七） 四男宗雄（大一一） 五女不二子（大一三） 長女恒（明三九） 双葉高女卒は外務事務官中村豐一に二女昌子（明四〇） 同校卒は外交官補井口貞夫に三女元（明四二） 女子學習院卒は元正金銀行リオン支店長川島忠之助二男愼平（明三八） 經濟學士正金銀行東京支店詰に嫁す

芳田寛一 大日本電球(株)電球課長 東京市外西巣鴨町宮仲二七五七

君は奈良縣人芳田秀太郎の四男明治廿二年十月十八日を以て生る大正四年東京高工電氣化學科を卒業し高田商會久原鑛業に歷勤し大正九年大日本電球會社に轉じ現に電球課長たり 宗教眞言宗【家庭】妻梅代（明三五） 岡山縣人大倉勘三郎三女西大寺高女卒

芳野幹一 從六 學習院大東文化學院各教授 東京市小石川區大塚坂下町一四七

君は東京府士族芳野世經の長男明治十八年三月廿八日東京市に生れ後家督を相續す大正三年東京帝大文科支那文學科を卒業後錦城中學校成蹊中學校各教諭成蹊高等學校教授を歷勤し同十五年學習院教授となり現時大東文化學校教授を兼ぬ此間滿洲を視察す 宗教天台宗 趣味旅行讀書【家庭】妻ヒデ子（明二八） 小西クユ長女鹿兒島縣女子師範卒 男赳夫（昭四）

芳野留吉 酸素販賣業 東京市深川區佐賀町二ノ一九 電本所二六九六

君は千葉縣人松井甚藏の二男明治廿一年三月廿五日を以て生れ後芳野伊勢松の養子となる大正十二年松原酸素商會に入り昭和三年獨立酸素販賣業を創め今日に至る 宗教日蓮宗 趣味撞球【家庭】養父伊勢松 養母せん 妻ちやふ養父伊勢松女 長女靖子（昭二）

善積武太郎 大阪商工會議所議員 善積商店 莫大小工業用諸機械直輸入商 カット・ウィリアム會社 ユニオン・ミシン會社各總代理店 所得税三五二六 大阪市東區本町二ノ四四 電本町一〇〇六

君は大阪府人善積治兵衛の長男明治十二年六月廿八日大阪市笠屋町に生れ大正八年家督を相續す夙に農商務省海外練習生として米國ニューベットホード・テキスタイルスクールにミシン學を修め卒業後更に二ケ年實地に研究する所あり同卅九年歸朝翌四十年現業を創む現に選ばれて大阪商工會議所議員たり 宗教基督教 趣味謠曲觀世流【家庭】妻君惠（明一九） 東京府人相原英賢長女青山女學院卒 長男英一（明四三） 尼ケ崎中學卒 女百合子（明四四） 甲南高女卒

葭村外雄 從五勳六 日本放送協會關東支部總務部長 東京市外入新井町新井宿子母澤一〇三二

君は石川縣士族葭村安壽の二男明治廿一年一月十七日金澤市に生れ同卅七年家督を相續す同四十三年遞信官吏練習所を卒業し通信事務官に任じ上海電信局長芝罘郵便局長を經て遞信局事務官に進み仙臺遞信局規畫課長たりしが昭和四年官を辭し日本放送協會に入り現に關東支部總務部長の職に在り 宗教日蓮宗 趣味讀書旅行運動【家庭】妻シツ子（明二八） 東京府士族栗山留尾三女豐橋高女卒 長女もゝ子（大八） 二女えみ子（大一〇） 三女べに子（大一一） 四女まり子（大一三） 五女他枝（昭二）

米井信夫 米井(名) 米井商店(株) 明治護謨製造所(資)各社長 明治屋(株)取締 所得税一二五五九 東京市麴町區上二番町一八 電九段六二二

君は東京府人米井源治郎の長男明治廿八年八月を以て生れ大正八年家督を相續す一高を經て同八年東京帝大經濟學部經濟科を卒業更に大學院に研鑽す現時前記會社の重役たり【家庭】母ツルマツ（明五）

米川正夫 正六 陸軍教授 陸軍大學校教授 所得税四一 東京府豐多摩郡高井戸村中高井戸三五 電荻窪二三七

君は岡山縣人米川常太郎の四男明治廿四年十一月廿五日同縣上房郡高梁村に生る大正元年東京外國語學校露語科を卒業し爾來三菱長崎支店第七師團語學教師大藏省橫濱露西亞總領事館中央購買組合神戶支店等に歷勤し大正九年陸軍教授に任じ現に陸軍大學校教授たり ドストイエフスキー「カラマゾフの兄弟」トルストイ「戰爭と平和」メレジュコフスキー「神々の復活」等飜譯書數種あり 宗教眞宗 趣味日本音樂旅行庭球【家庭】母りき（安政四） 妻蔦子（明三〇） 廣島縣人桑田遠吉長女山岡縣高梁高女卒 長男常夫（大五） 成蹊中學在 三男哲夫（大一四） 四男和夫（昭四）

米倉嘉兵衞 東京商工會議所常議員 毛織物商 所得税六六五 米倉屋 東京市日本橋區元大阪町一二 電浪花一一二四

君は福井縣人米倉忠七の三男明治十一年九月を以て生れ同廿六年先代嘉兵衞の養子となり同四十年家督を相續し前名泰治郎を改む夙に米倉屋と稱し毛織物商を營む東京商工會議所常議員にして曩に東京羅紗株式會社專務取締役たり【家庭】長女登世子（明四五） 二女加壽枝（大八）

米倉準平 高田商會(株)參事 所得税三九一 東京市外調布町下沼郡田園都市五一 電田園調布一四〇

君は石川縣人吉見五兵衞の二男明治十五年三月廿一日金澤市に生れ後米倉貢次の養子となる夙に札幌中學を卒業後東京電燈に入り累進して設計係長となり同四十四年高田商會に轉じ現に同商會參事たり電氣倶樂部及武藏野カンツリー倶樂部會員なり 宗教眞宗 趣味ゴルフ【家庭】妻松枝（明二五） 坂本登姉 長男寛（明四四） 東京府立四中在 二男正夫（大二） 成城中學在 長女清子（大七）

米倉昌達 從四 子爵 貴族院議員 京都藥學專門學校長 所得税五二 神奈川縣鎌倉郡鎌倉町雪ノ下(京都宅)上京區下鴨町川原九八

當家は甲斐守源義光の曾孫奈古十郎義行の後なり世々甲斐に住し武田氏の客將なりしも十四代昌純に至り德川氏に仕へ武州六浦一萬六千石に封ぜらる數代を經て先々代昌言に至り明治十七年子爵を授けらる君は子爵山口弘達の三男明治十九年七月を以て生れ大正元年先代昌藏の養子となり同五年家督を相續し襲爵仰付らる明治四十四年東京帝大藥學科を卒業し更に醫學科を修め大正六年傳染病研究所をに入り爾來東京帝國大學醫學部醫化學教室副手同附屬醫院分院藥局長日本醫學專門學校教授兼學生監千葉醫科大學講師等に歷任し同十二年京都藥學專門學校長に擧げられ同七年貴族院議員に互選せられ現に其任に在り【家庭】妻道子（明二八） 岐阜縣士族丸尾錦作長女々女子學習院卒 長女達子（大六） 二女安子（大八） 三女芳子（大一二）

米里紋吉 上海商工會議所會頭 日清汽船(株)取締兼上海支店長 上海佛租界福照路五五三 電西一四六二

君は德島縣人米里龜三郎の三男明治十六年九月十五日同縣に生る同卅八年東京高商を卒業し翌年上海に渡り日清汽船會社に入り現時取締役兼支店長たり昭和二年推されて上海商工會議所會頭となる 宗教佛教 趣味讀書旅行【家庭】妻ハナ（明二五） 石川縣人中島隆三長女奈良女高師卒 長男正明（大元） 長女淸子（大三） 上海高女在 二女敦子（大八） 三女美智子（大九） 四女安子（大一五） 二男恕（昭三） 兄國太郎（明元） 現戸主及其妻子

米澤吉次郎 兵庫縣多額納税者 五十六銀行 三十八銀行 日出紡績 神戸姬路電氣鐵道各(株)取締 江井ケ島酒造(株)監査 直接國税四六九四 明石市材木町八九 電明石三五

君は兵庫縣人米澤長衞の二男同長次郎の弟同德次郎の叔父安政五年六月を以て生れ明治五年分家す現に五十六銀行頭取たる外前記各會社銀行の重役にして兵庫縣多額納税者たり【家庭】孫作太郎（明三九） 故長男政太郎長男 故政太郎妻はる（明一九） 兵庫縣人高井利平養妹 孫由次郎（明四四） 同二男 二男彌次郎（明二四） 長女ひさ（明二一） 及其夫子 三女なか（明二八） 及其夫子は分家し 二女りく（明二七） は兵庫縣人孝橋謙次郎に嫁す

米澤助五郎 土木建築請負業 東京市外巣鴨町巣鴨平松一一九一 電大塚一二二二

君は富山縣人米澤友助の長男明治十五年十月廿四日同縣下新川郡入善町に生れ大正十年家督を相續す夙に土木建築請負業に從事今日に至る曩に入善町會議員に當選す 宗教淨土宗 趣味小鳥庭園【家庭】妻すん（明一八） 富山縣人上田幸次郎三女 男紋造（明四〇） 明治中學卒 長女花（明四二） 東洋女學卒 二男直次（大元） 東京府立八中卒

米澤房松 川崎第百銀行(株)庶務部文書係主任 東京市麻布區六本木町一

君は富山縣人米澤四郎右衞門の三男明治十五年三月十

五日を以て生れ後分家す夙に法政大學を卒業し大正十一年川崎銀行に入り庶務部文書課係主任に就任今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻菊子（明二六）富山縣人金森周作五女　長男俊雄（大一二）長女照子（大七）二男務（大一五）

米澤政治郎　正五勳五　鐵道省技師　監督局技術課兼電氣局勤務　東京市牛込區白銀町二九　電牛込五八七〇

君は鳥取縣人米澤庄次郎の二男明治十四年二月十四日鳥取市に生れ大正三年家督を相續す明治四十年東京帝大工科電氣工學科を卒業し同四十三年鐵道院技師となり電氣課に勤務す大正九年鐵道技師となり同十二年米國に出張す現時監督局技術課兼電氣局勤務たり　宗教佛教　趣味謠曲讀書【家庭】母まき（嘉永五）妻重子（明二二）東京府士族鼓包武二女跡見高女卒　弟利信（明二〇）及其妻子

米澤益二郎　米澤紡績所　東京市外瀧野川町西ケ原一三七五　電小石川六五

君は東京府人米澤秀太郎の二男明治卅八年八月廿一日東京市京橋區に生れ大正十三年家督を相續す現在慶應大學經濟學部學生たり當家は先代秀太郎發明の陸海軍各省消毒用噴霧器製造及紡績機製作に從事し大正十一年毛絲紡績業を創めて今日に至る　宗教淨土宗　趣味讀書スキー【家庭】母たま（明八）姉武子（明三五）は新潟縣人伊藤文吉に嫁す

米澤與三次　富山縣多額納税者　入善銀行(株)頭取　岡部呉服店　富山織物模範工場各(株)社長　小川溫泉　立山水力電氣各(株)取締　直接國稅一〇八二四　東京市四谷區右京町二八　電四谷二四七〇

君は富山縣人伊東祐賢の弟明治五年二月二日同縣に生れ先代實の養子となり同廿三年家督を相續し前名貞三を改む同廿八年專修學校を卒業し農業を營み縣下の多額納税者にして傍ら前掲銀行會社の重役たり嘗て衆議院議員に當選せし事あり　宗教眞宗　趣味書畫骨董【家庭】妻はつゐ（明二）養父耕多長女　長男元貞（明二五）早大專門部政治經濟科卒入善銀行黑部鐵道取締　同妻喜美（明三七）富山縣人正村六之助長女東京女學館卒　同長男一（大一三）同長女二葉（大一四）同二男功（昭二）二男順之助（明三九）東京農業大學在　長女百子（明四三）武藏野女子學院高女卒

米澤與三七　從四勳三　遞信技師工務局電話課長　所得稅二五三　東京市外荏原町中延大原北一一四〇ノ一三　電高輪三一〇〇

君は富山縣人先代與三七の長男明治十二年八月を以て生れ同十九年家督を相續し襲名す同卅九年東京帝大工科電氣工學科を卒業し爾來通信技手同技師名古屋郵便局電話課長鹿兒島郵便局工務課長遞信管理局技師長野郵便局工務部長遞信局技師等を歷任大正三年電話事業研究の爲英米に留學同九年遞信省臨時電信電話建設局第三課長となり同十二年再び歐米に出張現時工務局電話課長たり【家庭】妻きみ（明二三）千葉縣士族山崎直妹　長男滋（明四四）二男健（大二）三男治（大五）長女和代（大八）四男力（大一二）五男弘（昭二）

米城範兵衛　宮城縣多額納税者　古川町町會議員　直接國稅二二九四　宮城縣志田郡古川町

君は宮城縣人先代甚之助の長男明治八年七月を以て生れ同廿五年家督相續す醬油釀造業を營み現に宮城縣多額納税者なり【家庭】母みゑ（嘉永六）宮城縣人千葉英治三女　妻さと（明一二）宮城縣士族大內喜里長女　長男榮一郎（明二九）同妻タミ（明三六）岩手縣人石井善次郎孫　同長女美智子（大一一）同二女友子（大一二）同三女嘉代子（大一五）二男孝治（大二）四女たか（大五）長女さだ（明三三）は宮城縣人林一郎に嫁す

米田市右衛門　京都府多額納税者　果實青物問屋　直接國稅二二四三　京都市下京區油小路木津屋橋上ル　電下二二二六

君は京都府人米田市右衛門の三男明治十年二月を以て生れ同卅五年家督を相續し前名庄之助を改む現時果實青物商を營み京都府多額納税者たり【家庭】妻トク（明一二）京都府人山本六兵衛三女　男幸三郎（大二）養子彌三郎（明三〇）京都府人高坂德三郎長男　養子ゑん（明二九）養子彌三郎妻同府人山本富久子養母　同長男太郎（大六）同長女貞子（大九）同二女恒子（大一一）同二男嘉三（大一四）養母キヌ（明二）は分家す

米田規矩馬　正八　衆議院議員　辯護士　廣島市鐵砲町五二　電廣島四七四〇

君は廣島縣人米田養治の二男明治廿四年二月一日同縣に生れ後分家す大正七年京都帝大法科獨法科を卒業同年辯護士を開業し昭和五年衆議院議員に當選現に其任にあり立憲政友會に屬す　宗教日蓮宗【家庭】妻艶子（明三一）岡山縣人河本直一郎長女津山高女卒　長女澪子（大一一）二女琉美子（大一四）三女桂子（昭五）

米田喜次郎　富島組(株)艀船部長兼入貨部長　所得稅一一四　大阪市北區堂島濱通四ノ二一　電福島九六四

君は大阪府人米田定吉の長男明治十七年十一月九日大阪市に生る同卅六年大阪商業を卒業し直に富島組に入り累進して大正九年艀船部長となり後入貨部長を兼任し以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味狩獵寫眞【家庭】父定吉（安政元）妻こま（明二七）井上楳吉妹堂島高女卒　長男壽三（大四）甲陽中學在　長女輝尾（明四三）阿倍野高女卒　二女福子（明四五）明淨高女卒　三女純子（大六）樟蔭高女在　四女富美子（大八）五女良子（大一四）

米田幸次郎　千駄ケ谷町會議員　二葉屋商會(資)代表社員　東洋產業　秋田榑材各(株)取締　野田屋商會(資)社員　東京市外千駄ケ谷町原宿三〇八　電青山八七四

君は石川縣の人明治八年三月廿二日同縣能美郡根上村に生る夙に日本大學を卒業現に前記諸會社の重役にして千駄ケ谷町會議員たり【家庭】妻進（明一七）

米田權一　大阪府多額納税者　敷島倶樂部經營者　貸家業　直接國稅六〇四八　大阪市南區難波新地六番町六　電戎一九三二

君は大阪府人吉田權次郎の長男明治五年八月を以て生れ先代クニの養子となり同四十年家督を相續す夙に興業界に入り現時米田權一商會興行部敷島倶樂部の經營にして大阪府多額納税者たり【家庭】妻トミ（明二四）奈良縣人山本定治郎妹　男權之丞（明四三）

米田貞明　中國酒造(株)社長　三次實業銀行　雙三製絲各(株)取締　廣島縣吉舍町

君は廣島縣人先代覺郎の長男明治廿五年三月を以て生れ大正八年家督を相續す現時中國酒造會社々長の外前

記會社の重役たり【家庭】妻鈴子（明二八）廣島縣人土肥定長女　男富彦（大八）四男絃彦（大一二）三男和彥（大一〇）は廣島縣人藤井フサヨの養子となる

米田治郎兵衛　土木建築請負業　大阪市天王寺區逢坂上之町七　電戎八二一

君は大阪府の人明治廿一年十一月十二日大阪市に生れ同廿八年先代治郎兵衛の養子となり後家督を相續し前名慶二郎を改め襲名す夙に大阪府天王寺師範學校に學び現時土木建築請負業を營む　宗教淨土宗　趣味謠曲旅行土地開墾【家庭】養母マス（慶應二）妻フミ蒲生惣五郎三女　長男良男（大八）長女俊子（大一一）二男慶三（大一五）

米田眞一　日本興業(株)常務　大鐙閣(資)支配人　東京小石川大塚坂下町六二

君は和歌山縣人米田常吉の二男明治卅一年二月七日同縣に生る大正十年早大政治經濟科を卒業後操觚界に入り大和報知各新聞社に歷勤昭和二年大鐙閣支配人に就任傍ら日本興業常務取締役となりて現在に及ぶ　宗教淨土宗　趣味運動【家庭】妻茂子（明三五）笠井作造長女　長女典子（昭三）

米田季吉　日本毛織物新報社長　東京市小石川區久堅町七〇

君は三重縣人米田庄五郎の六男明治十年四月一日同縣に生る同四十一年日本毛織物新報社を創立し社長となり今日に至る　宗教基督教　趣味謠曲大弓【家庭】妻きん（明一八）長男宜夫（大七）長女美子（明四〇）日本高女同專科各卒　二女美智子（明四三）同校卒　三女治子（明四五）同校在　四女朝子（大五）五女富子（大一一）二男常男（大一四）

米田竹藏　資產家　東京市赤坂區青山高樹町三　電青山六九二三

君は明治十六年七月二日鳥取縣東伯郡下北條村に生る同卅七年早稻田大學專門部法科を卒業し更に同校高等專修科に學び大正元年東京電燈に入り倉庫業務課文書課に勤務し後同社を辭し現時閑地に在り　宗教禪宗　趣味園藝映畫觀劇【家庭】妻千本（明二九）東京府人吉野元雄長女共立女子職業卒

米田吉　中央毛絲紡績　白金莫大小製造　大阪鐵板製造　岩井商店　德山鐵板製造　日本橋梁　日本曹達工業　關西ペイント　各(株)監査　所得稅三九七　兵庫縣武庫郡精道村古新田五八三　電御影六七二

君は德島縣人米田新吉の二男明治十一年十一月を以て生れ大正七年家督を相續す同卅二年大阪高商を卒業日本化學染料會社取締役岩井商店大阪支店支配人等を經て現時前記會社重役たり【家庭】妻アサ（明二一）大阪府人西脇太七郎養子　女豐子（明四〇）女孝子（明四三）六女順子（大九）甥與一郎（明三六）亡兄武吉長男

米田傳四郎　帽子商　東京市京橋區金六町四　電銀座一七六八

君は東京府人米田傳四郎の二男明治八年四月二日東京市京橋區に生れ同卅年家督を相續し前名長吉を改む當家は舊幕府御用商人たりし家柄なり現時帽子商を營み主として外國製品を取扱ふ　宗教淨土宗　趣味園藝【家庭】妻こと（明八）東京府人松井米三郎三女　長男長次郎（明三三）日本濟美中學卒　同妻京子（明三四）東京府人安藤留吉長女　同長男壽一郎（大一二）同二男幸之助（大一三）同長女喜久子（昭三）長女喜代子（明三七）三男五郎（明四一）錦城商業卒　四男錦六（明四四）錦城中學卒　五男實（大二）東京府立一中在　二男忠三郎（明三五）日本濟美中學卒は相原家の養子となる

米田直作　辯護士　東京市牛込區市ケ谷田町二ノ五　電牛込五五二五

君は石川縣人米田武三郎の三男明治八年十月十九日同縣能美郡山上村に生れ同卅一年分家す同年中央大學法科を卒業辯護士試驗に合格翌年開業せしが同四十二年廢業し商業及製造工業を經營大正十年再度辯護士を開業して今日に至る　宗教禪宗　趣味運動讀書園碁【家庭】妻トヨ（明一八）大阪府人山田大吉長女

米田久能　凸版印刷(株)副支配人　東京市本鄕區湯島町兩門町六　電下谷九五四

君は石川縣人米田百太郎の長男明治十六年二月六日を以て生る同四十年日本大學を卒業直に凸版印刷會社に入り大正十五年同社副支配人となり同社小石川紙器工場管理人を兼ね以て今日に至る　宗教眞宗　趣味繪畫【家庭】父百太郎（安政元）母タミ（明元）妻政子（明二八）浦和高女卒

米田麟吉　從六　電氣試驗所技師　東京市赤坂區青山南町二ノ六九

君は東京府人米田喜作の長男明治卅年十二月二日同府に生れ大正四年家督を相續す同十一年東京帝大理學部を卒業して電氣試驗所技師に任じ今日に至る　趣味麻雀【家庭】母しづ（明八）妻美波（明三五）漆間民夫四女　男助（昭三）弟秀甫（明三四）商大卒　弟順三（明三六）早大卒　妹華（大元）東京府立第三高女卒

米谷卯三郎　正八勳六　在郷陸軍輜重兵少尉　東成區主事兼大阪市主事　庶務課長　大阪市東成區大今里町一〇九四　電東五七五〇

君は大阪府人米谷久雄の長男明治十五年十二月十五日同府に生る夙に關西大學を卒業し一年志願兵となり陸軍輜重兵少尉に任ぜらる同四十二年東成郡役所に入り大正十四年東成區主事に進み庶務課長となり現在に至る傍ら大阪市主事を兼ぬ　宗教眞言宗【家庭】父久雄（安政三）現戶主　母つや（安政五）妻ひさ（明二一）大阪府人山野九兵衛長女堂島高女卒　長男明尚（大二）八尾中學在　長女淳子（明四二）大谷高女卒　二男文夫（大三）天王寺中學在　四女千代子（大七）五女函子（大一二）六女和子（昭二）

米谷吉五郎　日本鑄造(株)支配人　東京市外大崎町上大崎三五七　電高輪一五三六

君は明治廿二年十月十日東京市日本橋區中洲町に生れ大正十一年家督を相續す夙に攻玉舍工學校を卒業して高田商會に入り後合資會社槌田工作所主任となり大正十一年日本鑄造會社支配人に轉ず　宗教禪宗　趣味運動【家庭】妻ソメ（明三〇）佐々木儀助女岩手縣立高女卒　長男徹也（大九）三男德也（大一四）

米谷藤作　安田銀行(株)牛込支店副長　所得稅五七　東京市外澁谷町常盤松四五　電青山二七一四

君は栃木縣人米谷重三郎の長男明治廿六年十二月廿日同縣に生れ後家督相續す夙に佐野中學を卒業大正三年安田銀行に入り昭和二年牛込支店副長となり現在に至る　宗教日蓮宗【家庭】妻しげ（明三五）中村高女卒

米津喜九郎 日魯漁業(株)經理課長 所得税二〇三 東京市本鄕區駒込千駄木町五二 電小石川五八五三

君は熊本縣士族米津富吉の三男明治十六年五月十八日同縣球磨郡人吉町に生れ後分家す長崎市立商業を經て同四十二年神戸高商を卒業茂木商店輸出部日本勸業銀行に歷勤後南洋貿易會社に入り經理部長となる大正九年日魯漁業會社に轉じ現時經理課長の職に在り曩に日本釀造機械會社取締役たり 宗教淨土宗 趣味讀書【家庭】妻博子（明二八）熊本縣士族佐藤亥十郎長女鹿兒島實踐女學卒 長男智夫（大三）京華中學在 長女惠子（大八）二男祐昌（大一一）

米津恒次郎 風月堂 菓子商 東京市京橋區南鍋町二ノ三 電銀座二〇〇七

君は東京府人米津松造の二男にして同松造の養弟慶應三年六月を以て生れ明治廿四年分家す屋號を風月堂と云ひ菓子商を營み傍ら西洋料理業を兼ぬ曩に米佛兩國に遊び斯業の見學す

米津豐次郎 廻米問屋 東京市日本橋區龜島町二ノ三 電茅場町一四七〇

君は東京府人米津豐七の長男明治廿三年四月廿六日神田區今川橋に生る夙に東京中學を卒業後父を輔けて家業に從事し以て今日に及ぶ 宗教眞宗 趣味銃獵旅行【家庭】父豐七（嘉永六）妻まさ（明二七）愛知縣人岡松安太郎長女同縣立高女卒 長男豐夫（大九）※米津豐七の項參照

米津豐七 廻米問屋 東京市日本橋區龜島町二ノ三 電茅場町一四七〇

君は東京府人米津豐吉の長男嘉永六年十一月を以て生る明治十七年米穀商を創め今日に至る曩に東京米穀取引所取引員たり【家庭】妻ちゑ（慶應二）東京府人岡田安右衛門長女 長男豐次郎（明二三）※米津豐次郎の項參照

米津政賢 從三勳三 子爵 貴族院議員 所得税二〇七 東京市外西巣鴨町宮仲二一九八 電大塚一三九六

當家は鎭守府將軍源賴光の裔三河押領使光時の後賴光十三代の孫時濟に至り三河國米津村に居住し爾來米津を姓とす廿八代左馬介勝政德川氏に從ひ世一代出羽守田盛に至り一萬五千石を領し諸侯に列す四十代政敏明治二年封邑を奉還し次で羽前國長瀞藩上總國大網藩常陸國龍ケ崎藩の各知事に歷任し明治十七年子爵を授けらる君は其嫡男同十六年三月を以て生れ同廿八年家督相續襲爵仰付らる同四十一年東京帝大農科農學科を卒業し農商務省畜產試驗場等に囑託たり大正四年貴族院議員に互選せられ現に其職に在り【家庭】妻益子（明一八）子爵戸澤正己叔母 男政福（明四五）五男泰世（大一二）二男賢之助（大二）は東京府人五井千惠に三男豐秋（大四）は同府人米津小次郎に各養子となる

米津松造 米津本店 風月堂 菓子商 東京日本橋若松町一一 電浪花五一一八

君は東京府人長谷川子之吉の四男慶應二年八月八日を以て生れ先代松藏の養子となり明治卅年家督を相續し前名德三郎を改む風月堂と稱し菓子商を營む曩に日本橋區菓子製造組合頭取たりし事あり 宗教曹洞宗 趣味長唄一中節【家庭】妻たか（明七）養父松藏長女 長男公太郎（明二四）慶應義塾卒 同妻てる子（明三四）長井長右衛門長女 同長男承之助（大一五）女多滿子（明四〇）東洋家政女學卒 五男壽吉郎（明四二）法政大學在 四女歌子（明四五）日本橋高女卒 養弟松三郎（明五）慶應義塾卒 同修二（明三二）慶應義塾卒 二男德次郎（明二七）養弟恒次郎（慶應三）は各分家し男三郎（明三一）慶應義塾卒は東京府人森友德兵衛に養子となり長女タミ（明二三）立敎高女卒は吳服商伊東百三郎に二女八重子（明三七）日本橋高女卒は大阪府人多田藤一郎に各嫁す

米原章三 鳥取縣多額納税者 鳥取縣會議長 八頭木材 木綿屋商店各(株)社長 大正鳥取銀行 鳥取貯蓄銀行 鳥取新報各(株)取締 鳥取縣八頭郡智頭町

君は鳥取縣人藤繩範介の叔父明治十六年十一月同縣に生れ先代富松の養子となり同四十一年家督を相續す先是同卅九年早大專門部政治經濟科を卒業し現時鳥取縣會議長にして前記銀行會社の重役たり鳥取縣多額納税者なり【家庭】妻八重（明二二）養父富藏長女 長男穣（明四〇）東大文科在 二男昶（明四二）三男脩（明四四）四男侃（大三）五男董（大五）六男弘（大八）長女彬枝（大一一）七男邦輔（大一三）二女雅子（昭二）

米村末喜 從四勳二功五 海軍中將 水路部長 海軍大學校教官 學術研究會議會員 測地學委員會委員 震災豫防評議會評議員 所得税一五四 東京市牛込區市ケ谷加賀町二ノ一三 電牛込四八〇六

君は熊本縣人米村國藏の二男明治十二年三月十三日を以て生れ後家督を相續す同卅四年海軍兵學校を卒業海軍少尉に任じ昭和四年十一月中將に陞進現時水路部長にして海軍大學校教官を兼ぬ其間淺間艦長横須賀鎭守府付伊勢艦長等を歷補し又歐米各國を視察し昭和四年二月再び歐洲に出張をす【家庭】妻富久（明二三）山形縣士族今井秀之助二女仙臺高女卒 二女壽美子（大六）四女房子（大七）五女百合子（大一三）

米村政彥 米村商會(株)社長 東京市麻布區笄町一〇 電青山三五五三

君は鳥取縣士族小谷務の二男明治六年七月一日を以て生れ大正元年七月米村長太郎の養子となる夙に明大法科及專修大學經濟部を卒業す大正元年八月住友銀行に入り大阪本店東京通油町支店に歷務し現時社長たり 宗教神道 趣味旅行【家庭】妻ちよ（明二五）養父長太郎長女英和女學卒 長女佐智子（大六）

米村雅二郎 帝國電氣(株)電球部長 東京市外入新井町新井宿二一一〇

君は廣島縣人米村柳八の二男明治十九年七月十二日を以て生れ後分家す夙に廣島縣立中學を卒業後銅鐵商を營み次で關東電氣に入り營業課長となり大正十五年帝國電氣に轉じ現時電球部長たり 宗教曹洞宗【家庭】妻とく子（明二二）愛知縣人堀田角平二女 長男賢二郎（大三）長女文子（明四〇）山脇高女卒は神奈川縣人飯田源太郎に嫁す

米本鐵太郎 富士屋 鼻緒製造業 東京市淺草區花川戸町一七 電淺草六五〇

君は東京府人吉田直吉の二男元治元年二月を以て生れ後先代鐵五郎の養子となり家督を相續す現時富士屋と稱し鼻緒製造業を營む【家庭】男芳太郎（明三四）男正三（明三七）四男勇（明四一）五男賢造（明四三）長女鈴（明二八）は東京府人田沼芳五郎の養子となる

米本彥太郎 赤坂區會議員 同區學務委員 一ツ木町會理事長 井口吳服店 吳服太物洋反物商 東京市赤坂區一ツ木町三一 電青山五六〇三

君は東京府人井出佐兵衛の二男明治八年七月六日東京市麻布區に生れ米本正三郎の養子となり同四十二年家督を相續す夙に父の後を繼承し吳服太物及洋反物商を營み以て今日に至る大正十四年赤坂區會議員に擧げられ昭和四年再選し現に其任に在り外に赤坂區青年團評議員赤坂區建築復興信用組合理事たり【家庭】宗教眞宗 趣味常盤津【家庭】妻しん子（明二五）群馬縣人木谷熊吉長女高崎高女共立女子職業各卒 長男正太郎（明三九）家業に從事 二男彥次郎（明四三）錦城中學卒 三男常三郎（大三）長女利都子（大七）四男德次郎（大一一）五男惠之輔（大一五）

米山梅吉 正六 對支文化事業調査委員 三井信託(株)社長 三井(名)參與 三井銀行(株)取締 所得税二九〇二五 東京市赤坂區青山南町六ノ一一六 電青山二〇七一

君は東京府士族和田竹造の三男明治九年二月を以て生れ先代藤三郎の養子となり同四十四年家督を相續す夙に青山學院を卒業し米國に渡航し在留八年法律及文學を研究し歸朝後日本鐵道會社に勤務し三井銀行に轉じて同行橫濱大阪各支店長等を歷任し同四十二年選ばれて常務取締役となり現時三井信託會社取締役社長たる外前記銀行會社の重役たり曩に帝國政府特派財政經濟委員東京商工會議所特別議員信託協會々長たり 趣味讀書【家庭】妻はる（明七）養父藤三郎二女 男桂三（明三九）長女愛（明三〇）は東京府人高木健弟逸雄に二女すみ（明三一）は神奈川縣士族荒川新十郎二男昌二に各嫁す

米山熊次郎 從六 資産家 東京市芝區白金三光町二七三 電高輪七二二九

君は舊金澤藩士先代專造の長男安政六年四月を以て生れ明治七年家督を相續す夙に金澤の漢學塾に學び後建築學に志して貴族院議員工學博士平井晴二郎の指導を受け同廿九年豐川鐵道會社の創立に與り其技師長に擧げらる次で大阪汽車製造會社囑託技師上武鐵道會社主任技師を歷任し同四十年鐵道技師に任じ後鐵道院技師となりしが同四十三年官を辭し秩父鐵道會社常務取締役秩父セメント會社取締役たりしが現時閑地にあり【家庭】妻ヤヱ（文久三）長崎縣人岩崎彌七二女 養子兆二（明一六）東京府人今井盛悦二男農學士 同妻よし（明二七）埼玉縣人中村房五郎養子 同長男尚志（大四）同長女ふき（大七）同二女せい（大一三）

米山正 勳六 日本ビクター蓄音器(株)相談役 東京蓄音器商組合顧問 所得税一五〇 東京市外西巣鴨町池袋一四〇一

君は宮城縣士族米山俊信の長男明治六年四月廿八日仙臺市に生れ同卅二年家督を相續す東北東華學院に學び後上京して英語を研修し同廿八年日本郵船會社に入り同社外國航路汽船事務長となり北清事變に際し陸軍輸送に功あり勳六等に叙せらる同卅四年村井兄弟商會に轉じ在職數年間にして日本蓄音器會社に入り蓄音器製造の方法を研究すること多年東京蓄音器會社を創立し其常務取締役に就任後合同蓄音器會社專務取締役を經て日本ビクター蓄音器會社相談役となり現在に至る 宗教日蓮宗 趣味洋畫【家庭】妻まさ（明二〇）東京府人保田永配二女實踐高女卒 長男正夫（大元）成蹊高校在 二男幸男（大三）同校在

米山辰夫 正五勳四 門司鐵道局長 門司市門司鐵道局內 電門司二一二〇

君は石川縣士族早川渡の二男明治十年一月廿五日金澤市に生れ後米山道生の養子となる同卅五年東京帝大工科土木科を卒業し後鐵道廳に入り九州門司保線事務所に勤務し次で同事務所長に歷任し名古屋鐵道局勤務を經て鐵道技師工務局技師東京第二改良事務所長たりしが昭和四年七月門司鐵道局長の職に就く曩に歐米各國に出張せり 宗教淨土宗 趣味謠曲【家庭】妻高麗（明一七）東京府士族岡倉覺三長女佛英和高女卒

米山伴治 建築金物業 東京市日本橋區高砂町一一 電浪花三〇六四（店舖） 同區大傳馬鹽町三 電浪花三六九

君は靜岡縣人米山藤江の二男明治十四年五月同縣に生る同卅九年上京陸軍工廠及獸醫學校御用商人たりしが同四十二年獨立して現事業を始め經營以て今日に至る 宗教神道 趣味書畫【家庭】妻たか（明一八）大野甚右衛門女紅葉川高女卒 長男邦也（明四五）赤坂中學在 長女能子（明四二）大妻高女卒

米山彥郎 世田ケ谷病院內科部長 土屋病院副院長 醫師 東京市芝區白金今里町一五八 電高輪三八六二

君は長野縣人米山鐵二の長男明治八年八月八日同縣東筑摩郡鹽尻町に生れ大正十五年家督相續す明治卅五年東京帝大醫科を卒業同病理教室助手三浦內科助手秋田小坂鑛山病院長等に歷勤し昭和三年世田ケ谷病院內科部長に就任今日に至る傍ら前記の任にあり 宗教眞言宗 趣味書畫骨董【家庭】妻百合（明一二）新潟縣人外川彥左衛門二女 養嗣子亘（明三七）弟重雄長男 同妻美子（明四三）長野縣人金井政雄長女松本高女卒 養子廣勝（明三八）慶應大學文科在

萬喜八郎 正五勳三 陸軍憲兵大佐 大阪憲兵隊長 大阪市北區相生町 大阪憲兵隊官舍 電東五一一五

君は奈良縣士族萬主米の長男明治十六年二月十三日同縣高市郡高取町に生れ同卅六年家督を相續す同卅七年陸軍步兵少尉に任じ昭和二年陸軍憲兵大佐に陞る大正十四年臺灣憲兵隊長となり昭和四年大阪憲兵隊長に補し以て今日に至る【家庭】妻久子（明二三）東京府人近藤棟一妹 長男尚（大八）長女美保子（大三）大手前高女在 二女郁代（昭三）

萬富次郎 從五 宮城縣書記官警察部長 仙臺市勾當臺通縣廳內 電仙臺二二〇六

君は東京府人大正五年東京帝大法科政治科を卒業し高文に合格す宮崎縣書記官愛媛縣書記官警察部長等に歷任現時宮城縣書記官警察部長たり

ラ之部

來仙平太郎　鹿兒島縣多額納稅者　直接國稅一八七一　鹿兒島縣出水郡野田村

君は鹿兒島縣人田淵平右衞門の二男明治八年十二月以て生れ先代藤左衞門の養子となり同廿二年家督を相續す農業を營み鹿兒島縣多額納稅者たり【家庭】妻カメ（明一一）鹿兒島縣人鷹取仁左衞門妹　長女ミヨ（明三一）二女喜代子（大七）

來田甚太郎　祝儀袋商　大阪市浪速區元町二ノ三　電戎一四二五

君は大阪府人來田榮次郎の二男明治十年一月を以て生れ同十九年家督を相續す祝儀袋商を營む【家庭】妻シゲ（明一六）大阪府人大野ハル叔母　男甚十郎（大三）養子善夫（明三五）奈良縣人淺井吉太郎三男　三女榮（明四〇）養子善夫妻　同長女登代子（大一二）同長男太一（大一四）女房子（明四四）三男博（大一二）

來田德右衞門　地主　大阪市西淀川區海老江町一四四二

君は大阪府人幸田市右衞門の二男明治十五年九月を以て生れ大正十年來田ヒサの養子となり先代澄の跡を襲ひ前名善次郎を改む地主として知らる【家庭】養母ヒサ（安政六）大阪府人來田善七長女　妻ライ（明一九）養父德右衞門二女　長男善夫（大六）

賴　猷太郎　製鹽業

當家は賴山陽の後裔にして先代俊直は夙に衆議院議員に選ばれ又竹原製鹽會社相談役に擧げらる君は其長男明治廿二年三月を以て生れ大正十五年家督を相續す同十一年東京帝大文學部を卒業し製鹽を業とし今日に至る【家庭】母ヨネ（明元）廣島縣人羽田庄左衞門長女妹和子（明三七）弟董二（明三九）弟桃三郎（明四三）

賴　成一　從六　東京高等學校教授　東京市小石川區久堅町七四

君は賴山陽五世の孫廣島縣士族賴彌次郎の長男明治廿四年八月廿一日を以て生る大正七年東京帝大文學部支那文科を卒業し中央大學教授となる同十一年東京高等學校教授に任じ今日に至る傍ら東京女子大學校講師たり　宗教眞言宗　趣味讀書【家庭】父彌次郎（明元）母捨子（明七）妻綠子（明三四）鹽谷時敏三女東京女高師附高女卒　長男惟勤（大一一）長女マサ子（昭元）

欄木德次郎　時計蓄音器修繕原料並時計ゼンマイ製造業　所得稅九六　東京市外瀧野川町田端四一六（營業所）小石川區西丸町二九番電大塚二六四

君は愛知縣の人明治廿五年七月廿五日を以て生る發明家欄木松次郎の親戚に當り大正四年同人經營の工場に入り松次郎を輔佐して其經營の衝に當り同十二年同工場を繼承し爾來獨力時計蓄音器修繕原料並時計ゼンマイ製造業を營み以て今日に至る　宗教禪宗【家庭】妻チヨ（明二三）長男百千萬（大二）慶應普通部在　二男雋（大四）三男敏郎

リ之部

李家 健一 東京海上火災保險(株)損害査定部副長 東京市外戸塚町諏訪二二七

電牛込四三七七

君は明治廿二年七月廿八日福井縣に生る大正二年東京高等商船を卒業同年日本郵船に入社後東京海上火災保險に轉じ同五年損害査定部長代理に就任して現在に至る 宗教曹洞宗 趣味旅行運動【家庭】妻キリ(明三〇)東京府人上村武吉二女 長男哲夫(大九) 長女文子(大八) 二女俊子(大一一)

李家 隆介 従三勲一 錦鶏間祇候 農園經營 京都市上京區河原町通三條上ル恵比須町二 電上二〇三五

當家は舊山口藩主毛利家の典醫たりしが後京都に轉住し西本願寺專屬醫を勤めたり君は先代隆彦の長男慶應二年八月を以て生れ明治十三年九月家督を相續す同廿三年帝大法科を卒業し內務省試補に任ず爾來大分富山各縣參事官岡山神奈川各縣書記官富山石川靜岡各縣知事を經て大正元年長崎縣知事に任じ同六年退官して錦鶏間祇候仰付らる 趣味劍道柔道讀書【家庭】妻キタ(明一四)長崎縣人木下永二姉 長男弘(明二六)法學士三井銀行員 同妻道子(明三〇)東京府人岡部惣五郎四女 同長男弘道(大六) 男勝(明三八) 大阪歯科醫專在 八男誠(明四三) 東京滋惠會醫大在 六男確介(大一一) 二男孝(明二八)は其妻子を伴ひ分家し三男健(明三〇)及四男清(明三五)も亦各分家し長女はま子(明三三)は愛媛縣人法學士清水禮三に二女靜子(明四〇)京都府立第一高女卒は長崎縣人中尾謹三郎二男中尾讓吾に各嫁す

陸 淵 江戸橋建物(株)代表取締 細井鐵工場(株)監査 東京市外品川町南品川一ノ一〇

君は福島縣人陸林藏の長男明治十九年六月十六日同縣に生れ同卅九年家督を相續す同卅七年明大法科を卒業後福島太幸銀行に入社副支配人及專務取締役に就任同四十四年上京し現時前記各會社の重役たり交詢社會員 宗教眞宗 趣味運動【家庭】妻里子(明二九) 長男愿卒 二女幸子(大一一) (大一二) 慶應普通部在 長女暢子(明四四) 精華高女(大一四) 五女和子(昭二) 三女順子(大一二) 四女道子

陸川 薫 長野縣多額納稅者 大垣商事(株)監査 製絲業 直接國稅三〇八七

長野縣諏訪郡平野村

君は長野縣人牛山源三郎の養子となり同四十二年家督を相續す生れ先代登喜治の養子となり同卅二年分家す大正三年明治製絲業を營み長野縣多額納稅者にして現に大垣商事會社監査役たり【家庭】妻まつゑ(明二四) 長野縣人小松榮吉長女 長男浩明(大八) 長女房子(大一二) 二女和子(大五) 二男容(大一〇) 三男泰彦(大一一) 三女俱美(大一五)

陸川 辰五郎 東京護謨(株)技師長兼工場長 東京市外落合町下落合一七七八 電大塚三〇二七

君は東京府人陸川仲吉の二男明治廿五年九月十八日を以て生れ後分家す大正三年明治藥專を卒業同五年千代田護謨に入り同八年東京護謨會社技師長兼工場長となり以て今日に至る 宗教眞言宗 趣味讀書觀劇【家庭】妻ヨネ(明三四) 五十嵐庄太郎長女 長女壽美子(大八) 二女富美子(大一一) 四女靜江(昭二) 三女貴美子(大一四)は外祖父五十嵐庄太郎の養子となる

陸口久次郎 えり久 半襟商 東京市京橋區銀座四ノ一二 電京橋五五二一

君は東京府人陸口重兵衛の長男明治元年六月を以て生れ後家督を相續す現時半襟商を營みえり久と稱す【家庭】妻リキ(明一三) 京都府人中村彌三郎長女 長男健次郎(明三四) 長女ヨネ(明三〇)は東京府人安藤秀次郎に嫁す

笠 五朗 金春流謡曲家 東京市麹町區富士見町五ノ七 電九段二九一二

君は熊本縣人佐藤求五の二男慶應三年五月廿三日同縣に生れ後同縣士族笠和吉の養子となり明治十七年家督を相續す同十三年以降櫻間伴馬に師事して金春流謡曲を修め尋で同廿四年上京金春流宗家金春廣成に學び後細川家の知遇を得て大正七年金春會を興し現に同會監事たり 宗教眞宗 趣味書畫圍碁讀書【家庭】妻ナヲ(明四) 熊本縣士族岩永重華妹 長男美雄(明四三) 立教大學商科在 三女保子(明三一)は大分縣人工藤素直に嫁す

柳亭 左樂 勳八 落語睦會頭取 落語家 所得稅一一三 東京市下谷區竹町一四

西二〇五 電下谷七一四八

君は本名を中山千太郎と云ひ東京府人中山定吉の長男明治三年十二月五日を以て生れ同卅三年分家す十八歳の時落語家先代左樂の弟子となり芝樂と號し同四十三年五代目を襲名して今日に至る人情話を特意とす睦會頭取たり日清日露兩役に從軍して功あり勳八等に叙せらる 宗教眞宗 趣味骨董【家庭】妻さよ子(明七) 東京府士族寺澤辰禮三女 妹末子(明四一)

劉 咸一 華中堂病院主 醫師 大阪市東區瓦町一ノ三三 電本局三三五五

曾祖父三吉は廣瀬淡窓の高弟にして學を好み書を能くし石秋と號し晩年禁裏に召され詩文局の長官となり勤番の諸士に講義せり其孫小一郎は東京帝大出身の醫學士にして德島病院大阪病院に勤務後開業せり君は其長男明治十八年四月を以て生れ大正六年家督を相續す同四年東京帝大醫科を卒業し大阪回生病院に勤務せしが同六年華中堂病院を創立し一般の診療に從事し今日に至る【家庭】母ちつ(慶應二) 京都府人侍醫中典檜山忠俊長女 妻こはま(明二四) 兵庫縣人梅谷善作三女 長男好一郎(大九) 長女昌枝(大七) 二男友博(大一二) 三男善夫(大一一) 弟四朗(明二九) 醫學士

良田與三郎 洋服商 所得稅六五二一 大阪市東區谷町三ノ二九 電東二六二五

君は大阪府人先代與三郎の長男明治卅五年七月を以て生れ大正三年六月家督を相續し前名伊三郎を改む現時洋服商を營む【家庭】母シウ(明一五) 弟富三郎(明三七) 妹あい(明四一) 弟秀藏(明四四)

兩口繁治郎 生絲商 所得稅三六〇 京都市大宮通今出川下ル 電西陣一三一三

君は三重縣人西井甚兵衞の二男明治十四年九月を以て生れ先代きしの養子となり同廿二年家督を相續す夙に生絲商竹内家に勤務する事十數年後同家の別家となり大正五年四月獨立生絲商を開業し今日に及ぶ【家庭】妻タカ（明二三）京都府人青合新吉女　長男晃雄（大一〇）長女節（大二）二女菊枝（大六）

兩部德太　勳八　四谷區書記　戸籍掛長　東京市四谷區永住町三三　託法寺内

君は岡山縣人兩部直太郎の二男明治十二年五月一日同縣久米郡神目村に生る同卅四年明治大學法科を卒業して大正十五年四谷區に奉職し衞生道路掛長を經て昭和三年戸籍掛長に就任今日に至る曾て警察界に奉職せし事あり　宗教眞言宗　趣味讀書旅行小鳥【家庭】妻けい子（明一九）岡山縣人細川浪次郎長女　長男美芳（明四四）岡山縣立工業卒　長女志津枝（大二）岡山實科高女在　二女清江（大七）

冷泉爲勇　正三勳三　子爵　貴族院議員　舊公卿家　東京市四谷區西信濃町七

當家は法性寺關白藤原道長の裔冷泉爲尹の後なり其男權大納言持爲將軍足利義持より一家を授けられ下冷泉と稱し播州細川の莊を貪む其れより四世を經て爲將に至る爲將干戈の間に起ちて仁義を唱ふ其れより八世の孫從三位爲柔に至り明治十七年子爵を授けらる君は爲柔の長男明治三年二月廿七日を以て生れ同廿七年九月家督相續し襲爵仰付らる貴族院議員に選ばるゝ事三回現に其任にあり【家庭】妻福子（明二）男爵北島貴孝叔母　嗣子爲篤（明三四）從五位　女順子（明二九）女萬龜子（明三七）女子學習院卒　三男爲見（明四二）四男爲人（明四五）五男爲安（大二）妹章子（明九）長男爲由（明二五）は男爵杉溪言長の養子となり由言と改名當主たり

冷泉爲系　從三　伯爵　殿掌　御歌所參候

京都市上京區今出川烏丸東入ル

當家は關白道長の六男權大納言長家の後にして世々和歌の家宗たり後二世を經て俊成定家爲家相紹き並に當代の巨匠と稱せらる夫より十八世を經て先代從二位爲紀に至り明治十七年伯爵を授けられ侍從式部職殿掌御歌所參候貴族院議員平安神社宮司神宮大宮司等に歷任す君は爲紀の長男明治十四年八月を以て生れ同卅八年襲爵仰付けらる現に殿掌にして御歌所參候たり【家庭】妻恭子（明二一）子爵水無瀨忠政妹　長男爲臣（明四四）長女須賀子（明四〇）二女比出子（明四二）三女伎與子（大三）四女布美子（大五）

冷牟田清　朝鮮銀行（株）紐育出張所支配人

c/o Chosen Bank, Ltd., Broadway, New York, U. S. A.

君は福岡縣人冷牟田啓太郎の弟明治廿一年五月を以て生れ大正十年分家す明治四十四年山口高商を卒業し朝鮮銀行に入り東京支店副支配人を經て現時同行紐育出張所支配人たり【家庭】妻トヨ（明三二）神奈川縣人長島與兵衞三女　長男達郎（大一三）長女和子（大一〇）

口之部

盧　貞吉　鹿島蘭園主　園藝業　東京市外駒澤町上馬七八　電世田ヶ谷一五三
（花園）市外澁谷町鉢山一四　電青山三五九五

君は東京府士族盧高朗の長男明治五年一月廿五日を以て生れ昭和元年家督相續す夙に東京農業大學を卒業して東京府立園藝學校教諭となり大正六年鹿島蘭園を創立し爾來園藝業に從事し今日に至る「花卉園藝」等の著書あり　宗教日蓮宗【家庭】妻とき（明二一）茨城縣士族越智元雄長女　長男芳夫（明四三）慶大在

蠑山　武夫　東京海上火災保險（株）社員　所得稅五七　東京市小石川區戸崎町三
電小石川五二八二

君は新潟縣人故正五位勳四等關東都督府外事總長蠑山長次郎の男明治卅六年二月を以て生る昭和三年東京帝大法學部法律科を卒業し東京海上火災保險會社に入り今日に至る

蠑山　政次郎　高崎商工會議所副會頭　上州銀行　高崎倉庫各（株）取締　上州絹絲紡績　蠑山酒造各（株）監査　高崎市歌川町一

君は新潟縣人蠑山政右衞門の長男明治五年八月を以て生れ後家督を相續す現時前記銀行會社の重役にして高崎商工會議所副會頭たり　宗教眞言宗　趣味盆栽【家庭】母トラ（明五）妻寛子（明一四）新潟縣士族牧口義矩妹　長男政道（明二八）女ソノ（明四二）五男芳郎（明四〇）五女フミ（大二）六女米子（大五）六男六郎（大一〇）二男勝次郎（明三〇）は群馬縣士族山田昌吉に四男長四郎（明三四）は新潟縣人村山愛三郎に各養子となり二女イク（明三八）は兵庫縣人中西淳三に嫁す※蠑山政道の項參照

蠑山　政道　正六　東京帝國大學教授（法學部）　東京市外中野町桃園三三四三

君は高崎商工會議所副會頭蠑山政次郎の長男明治廿八年十一月群馬縣に生る大正九年東京帝大法科政治科を卒業直に東大助手拜命同十一年助教授に任じ昭和三年教授に進む現に法學部勤務たり大正十四年文部省在外研究員として渡歐昭和二年歸朝す　宗教佛教　趣味讀書旅行【家庭】妻銀子（明三五）岡山縣人神崎二郎姉日本女大卒　長男道雄（昭三）長女雅子（大一三）※蠑山政次郎の項參照

六角　三郎　日立製作所（株）取締兼營業課長　所得稅二五七七　東京市牛込區市谷臺町一〇　電四谷三一〇一

君は長野縣士族六角鬼三の長男明治七年十二月を以て生れ同四十五年家督を相續す同廿八年東京商工學校を卒業し現に日立製作所取締役兼營業課長たり電氣協會電氣俱樂部各會員　宗教禪宗　趣味讀書スポーツ【家庭】妻多喜子（明四一）曉星中學卒　四女多喜子（明四三）四男悦三（大三）　四男康久（大一一）　長女千枝子（明三五）山脇高女卒　三男悦三（大三）東京女學館在　七女幸（大五）長女千枝子（明三五）は大阪府人小野正三に各嫁す

六角　英通　正五　區高輪南町五三　子爵　舊公卿家　東京市芝

當家は藤原鎌足十三世中御門右大臣賴宗の裔從一位准大臣園基福の猶子從五位上右少將基維の後なりその子從二位前參議益通姓を六角と稱す夫より五世を經て從五位玄通に至り明治十七年子爵を授けらる君は玄通の長男明治十七年五月十九日を以て生れ同四十年九月家督を相續し襲爵仰付けらる昭和二年東京帝國大學工學部電氣工學科を卒業す【家庭】妹忠子（明三二）女子學習院卒

六鹿　清治　京都府多額納稅者　京都商工會議所議員　京都取引所證券米穀取引員　有價證券賣買業　直接國稅七三七〇　京都市上京區烏丸通三條上ル　電本局三六〇三

君は愛知縣人六鹿清七の二男明治十年三月十二日を以て生れ同十六年十二月家督を相續す有價證券賣買業を營み京都府多額納稅者にして現に京都商工會議所議員たり【家庭】妻サト（明一四）京都府人河田寅吉妹　長男輝彦（明三六）二男健治（明三九）女多喜子（明四一）女綾子（明四三）三男正彦（大二）男鶴雄（明四四）男光彦（大三）女邦江（大五）長女千代（明三二）は岐阜縣人堀人玉應の養子となる

六車　脩　蒲田町會議員　松竹キネマ（株）蒲田撮影所次長　日本大學講師　東京市外蒲田町女塚

君は香川縣士族六車謙三郎の二男明治廿三年五月八日靜岡縣に生る夙に早稻田大學商科を卒業後松竹キネマに入り蒲田撮影所次長となり大正十四年映畫研究の爲米國を視察し同十五年歸朝し今日に至る昭和四年日本大學講師を囑託さる【家庭】妻はな（明三一）山梨縣人傳阪文吉妹　長男進（大一一）長女幸子（大一三）二男隆（大一四）男昭（昭三）

六所　靜一　富士電機製造（株）大阪販賣店長　兵庫縣武庫郡大社村森具北蓮毛八七七　電西宮一六四八

君は靜岡縣人六所平四郎の長男明治廿二年二月二日同縣富士郡今泉村に生る大正二年東京高商を卒業し爾來古河合名古河鑛業古河電氣工業に歷勤し同十二年富士電機製造會社の創立と同時に同社に轉じ同十四年獨逸國伯林シーメンス社に研究員として在留し昭和二年歸朝し現時大阪販賣店長たり　宗教神道　趣味園藝【家庭】妻嘉代子（明二九）今井晨一妹岐阜高女卒　長女利子（大一一）

六條　有直　從四　子爵　舊公卿家　東京市外大崎町上大崎三七九

當家は村上天皇の孫源師房の末久我通有の後なり通有より數代有繼を經て暫く中絕す有廣之を再興し夫より十代を經て先代有凞に至り明治十七年子爵を授けられ淑子內親王家祇候京都宮殿勤番殿掌賀茂神社別當賀茂御祖神社宮司等に歷任す君は其長男明治廿一年四月を以て生れ大正十三年家督を相續し襲爵仰付らる夙に學習院中等科に學ぶ【家庭】父有凞（文久二）正三位妻溫子（明二五）侯爵池田宣政姉　男有光（大一二）妹照傳（明二三）河內道明寺住職　弟有正（明三四）法政大學卒　弟有美（明三八）

ワ之部

和氣末次郎　關東蓄産(株)社長　下野興業(株)取締　宇都宮市三條町一三〇六
電宇都宮一七四
君は栃木縣人和氣吉五郎の弟明治十二年一月を以て生れ大正五年分家す夙に宇都宮中學校を卒業し下野銀行に入り日光支店次席支配人等歴勤宇都宮信託合資會社代表社員に轉じ次で宇都宮ビルブロカー專務たりしが現時前記會社の重役たり　宗教キリスト教　趣味園藝【家庭】妻せつ子（明一八）栃木縣人長嶋彦吉四女　長男見（明四二）早大在　三男享（明四四）宇都宮中學卒　長女雪子（大三）宇都宮高女在　二女信子（大九）三女一水（昭三）

和氣仲二　日本イースト(株)常務　銀座寶來パン(株)製造監督　東京市外駒澤町野澤七四
君は岡山縣人和氣與七郎の男明治廿年二月廿日同縣に生る同卅四年渡米製パン事業を研究大正十年歸朝於大阪製パン粉事業に從事し同十五年海軍軍需部製パン改良事業囑託となり昭和二年銀座寶來パン製造監督となり同四年日本イースト會社常務取締役に就任今日に至る著書に「製パン製菓の智識と實際」あり　宗教禪宗　趣味野球映畫【家庭】長男岩雄（大八）二男清雄（大一〇）三男忠雄（大一二）

和久新三郎　大阪府多額納稅者　地家主　直接國稅一五七五五　大阪市港區恩加島町一七　電櫻川九九〇
君は大阪府人和久伊兵衛の長男明治十七年二月を以て生れ同四十四年五月家督を相續す同卅六年大阪高商を卒業す地家主にして大阪府多額納稅者たり【家庭】母はま（安政四）大阪府人增田茂助長女　妻エツ（明一二）同府人田村卯兵衛二女　長男茂男（大元）長女ミヤ（明四四）二女比奈（大三）二男龍市（大五）

和久和一　從六勳六　逓信事務官　東京中央郵便局小包郵便課長　東京市外中野町本郷五〇二　電四谷五二二三
君は京都府人和久敬信の八男明治十四年八月十四日同府何鹿郡山家村に生れ後分家す同卅六年東京郵便電信學校を卒業して通信書記野戰電信技手東京遞信局監理課員中野小石川神田各郵便局長を經て現時前記の任にあり　宗教佛教　趣味運動【家庭】妻靜子（明二四）栃木縣人石川修示女　男一（明四三）日大齒科在　二男夏（大三）三男高（大九）二女秋子（大六）三女照子（昭元）

和久井淺之助　勳八　女子學習院講師　東京市外澁谷町常盤松三七電青山三五九三
君は山形縣人和久井助藏の長男明治九年一月五日同縣に生れ後家督を相續す夙に外人に就き料理法を研究す爾來實踐山脇東京女高師聖心女子學院等の各校講師に歴任後女子學習院講師となり今日に至る　宗教基督教　趣味書畫骨董園藝【家庭】母リノ（嘉永三）妻ヨシノ（明九）兵庫縣人日の本半兵衛三女　長男清治（明四〇）農業大學卒農林省勤務　二男健三（明四三）立教大學在　長女菊子（大二）淀橋精華高女在

和光米房　辯護士　辯理士　所得稅二三七　東京市神田區錦町三ノ二五　電神田一〇四六
君は山梨縣人和光藤一郎の長男明治十六年一月二日を以て生れ後家督を相續す同四十二年明治大學法律科を卒業更に同四十四年日本大學高等研究科を卒業し大正四年辯護士試驗に合格直に開業す蠹に東京辯護士會副會長たり　宗教日蓮宗　趣味義太夫圍碁演劇宗教書籍【家庭】妻よしの（明二三）長男勇精（明四二）日本大學法科在　女清子（大三）跡見女學校在

和合英太郎　大日本製氷(株)社長　日銑製氷冷藏(株)取締　多度津製氷　鹽釜港製氷　西宮製氷冷藏　關西製氷各(株)相談役　土佐製氷冷藏　長濱製氷冷藏　福知山製氷各(株)監査　所得稅一〇五一　電大森三一九三
君は東京府士族和合善男の長男明治二年八月十五日廣島市に生れ同四十一年四月家督を相續す夙に廣島中學校を卒業し實業界に入り現時大日本製氷會社々長たる外前記會社の相談役監査役として知らるゝ蠹に大井町々會議員たり　宗教神道　趣味育英【家庭】妻くに（明一八）井澤吉五郎四女　嗣子二郎（大二）東京高校在

和田秋之助　資產家　東京市四谷區東信濃町一〇　電四谷九三二
君は東京府人和田金次郎の四男明治廿二年二月十六日を以て東京市深川區に生れ大正十四年十一月家督を相續す大正三年東京高等商業學校を卒業しあかち貯蓄銀行月掛貯金課長支配人取締役に擧げられ尚東京渡邊銀行營業部長取締役支配人たりしが後之を辭す　宗教日蓮宗【家庭】妻保子（明三三）東京府人永田萬喜太郎長女双葉高女卒　女美穗子（大一三）長男秀郎（大一五）二男秋郎（昭二）弟稔郎（明三七）專修大學卒

和田淺香　醫博　得稅一六〇　和田小兒科醫院　醫師所　東京市麹町區飯田町四ノ三一　電九段三二九八
君は明治廿二年五月を以て生る大正五年東京帝大醫科を卒業して和泉橋病院北海道石毛農場木材合名會社三井病院小野田病院等に歴職し昭和元年醫學博士の學位を受け同二年獨立開業して今日に至る【家庭】妻りよ子（明三二）女子學院卒　長男瑞男（大一〇）長女央子（大一三）二女由紀子（昭三）

和田梓之介　東京電氣(株)社員　東京市下谷區上野櫻木町四八
君は山口縣士族和田梁亮の三男明治廿三年四月十一日同縣に生る札幌農大豫科を經て大正四年東北帝大理科化學科を卒業同年東京電氣に入社今日に至る日本化學會及照明學會會員たり　宗教基督教　趣味謠曲【家庭】兄琳熊現戸主同志社大學教授　母こと（嘉永二）妻鴻（明三〇）愛知縣人安藤淳造三女島根縣濱田高女卒　長男英一（大六）

和田猪三郎　正四勳三　理博　東京文理科大學教授兼東京高等師範學校教授　理化學研究所研究員　東京市小石川區大塚坂下町一〇　電大塚二五三
君は長野縣人和田五右衛門の弟明治三年六月廿五日同縣に生れ同四十二年分家す長野師範を經て同卅一年東京高師を卒業同卅三年米國に留學ジョンスホプキン大

學院に入り化學を專攻す同卅六年歸朝し東京高等師範教授に任じ明治四十五年米獨兩國に留學を命ぜられ滿期後ボストンテクの物理化學研究員に任じ大正四年歸朝し同五年理學博士の學位を受け同六年東宮御學問所御用掛仰付けらる同十年以來理化學研究所研究員たり　宗教淨土宗　趣味讀書【家庭】妻さと（明一四）埼玉縣人稻村龜之丞妹日本女子大卒　長男猪一（大五）東京高師附屬中學在　長女かず子（明四五）日本女大在　二女とよ子（大七）三女ふみ（大八）

和田一郎　日本勸業銀行(株)特別貸付課長　東京下谷竹町二六電下谷一三一六

君は東京府士族元大審院判事和田收藏の長男明治十九年三月一日を以て生れ同卅四年家督相續す大正二年東京帝大法科英法科を卒業し翌年日本勸業銀行に入り主計貸付調査各課勤務和歌山富山各支店長等に歷任昭和四年特別貸付課長に就任す　宗教禪宗　趣味觀劇野球【家庭】母いく（萬延元）長女愛子（大九）姉倉（明九）東京女高師卒　弟二郎（明二二）姉重（明一六）は海軍主計總監相良澄に嫁す　※和田二郎の項參照

和田一郎　第一生命保險(互)會計課長　東京市外大井町五一二七　電大森三六二五

君は岡山縣人和田萬次郎の長男明治廿二年四月廿五日津山市に生る夙に法律を學び大正三年辯護士試驗に及第し直に第一生命保險會社に入り會計課助役を經て現に同社の會計課長たり　宗教神道　趣味謠曲大弓【家庭】妻美津子（明三二）岡山縣人銅山小一郎長女津山高女卒　長男浩太郎（昭二）長女順子（大七）二女渥子（大九）三女類子（大一一）四女歌子（大一三）

和田稻吉　東京イーシー工業(株)專務　東京市四谷區坂町八　電四谷五五七三

君は高知縣人和田義祐の長男安政五年三月を以て生れ大正十年家督を相續す夙に日本郵船會社に入り同社副參事庶務部副長等を經て現に前記會社の重役たり【家庭】父義祐（天保八）母幸（天保一四）妻よし（明二）東京府人飯嶋一景妹　長男健一（明二三）慶大卒三菱倉庫會社社員　同妻竹（明三四）東京府人水崎鐵五郎姉　同長女和子（大一三）二男勇二（明三〇）三男武猪（明三三）青山學院卒日本郵船會社社員

國を視察歸朝す【家庭】妻照（明一〇）東京府人古下督太郎妹大阪高女卒　男太郎（明三四）東京帝大法科卒商工省勤務　二男敬道（明四一）陸軍士官學校在　長女一女（明三一）双葉高女卒は千葉縣人遞信省技師森秀に嫁す

和田英作　從四勳三　東京美術學校教授　帝國美術院會員　洋畫家　所得稅二三三　東京市麻布區笄町八　電青山六四八七

君は鹿兒島縣士族和田秀豐の長男明治七年十二月同縣肝屬郡垂水村に生れ大正十四年家督を相續す夙に大野義康原田直三郎に西洋畫を久保田米僊に邦畫を學ぶ又天眞道場に入り黑田清輝久米桂一郎に師事し後東京美術學校西洋畫選科を卒業す明治廿九年東京美術學校助教授に任じ同卅二年西洋畫研究の爲佛國に留學するラファエル　コランの門に入り同卅三年歸朝同卅六年東京美術學校教授に任ぜられ大正八年帝國美術院會員となる作品に「おうな」「まとものあかり」「黃昏」「佐用姬」「あけちかし」等あり洋畫家として知らる外面と號す昭和三年佛國よりコンマンドール　エトアル　ノアル勳章を贈られたり【家庭】父秀豐（安政元）妻シゲ（明一六）愛媛縣人高橋精一郎妹　妹イネ（明二四）妹愛子（大三）

和田鼎　東洋高等女學校長　東京市下谷區中根岸二二　電下谷二九七四

君は愛知縣人西照寺住職和田圓什の二男明治八年一月十五日岡崎市に生る同卅三年東京帝國大學史學科を卒業後眞宗中學校教諭天台宗大學教授同中學校豐山中學校各教諭眞宗大學教授等に歷任し同卅八年東洋高等女學校を創立し教授を經て大正五年校長に就任以て今日に至る　宗教眞宗大谷派　趣味讀書旅行【家庭】妻カナ（明一二）永稱寺住職和久隆寶妹

和田龜治　從三勳二功四　在鄉陸軍中將　兵役義務者及癈兵待遇審議會委員　中華民國北平陸軍大學校顧問　東京市外代々幡町幡ケ谷本村三五九　電四谷八〇二

君は大分縣人和田壽七の長男明治三年十一月を以て生れ大正二年家督を相續す夙に陸軍士官學校を卒業し同廿八年五月陸軍步兵少尉に任じ爾來累進して大正十二年陸軍中將に陞る其間參謀本部出仕陸軍省軍務局課員陸軍省副官步兵第三聯隊附麻布聯隊區司令官陸軍大學校兵學教官兼幹事參謀本部第三部長陸軍大學校長に歷補し大正十四年五月第一師團長に親補昭和三年八月待命被仰付次で豫備役に編入さる曩に日露戰役に第一師團參謀として出征し又大正二年及十三年の再度歐米各

和田千城　正七勳七　大阪浪花郵便局長　大阪市敎化委員　所得稅二三一　大阪市北區浪花町二四　電北五六一一

君は愛知縣人和田忠恕の長男明治十四年十月を以て生れ同四十三年家督を相續す同卅八年關西大學專門部を卒業し現に大阪浪花郵便局長たり曩に大阪遞信局調查課長昭和合同會社取締役たり　宗教眞宗　趣味宗教研究【家庭】妻ムラヨシ（明一四）大阪府人奧田安次郎妹　長女清子（大七）二女エミ子（大一三）

和田喜三郎　芝蓄電池商會　自動車用蓄電池業　東京芝濱松町四ノ一電芝二一五五

君は明治十一年四月八日八王子市に生る同廿三年廣瀨蓄電池製作所に入り大正三年辭して電球製作所を經營同十三年轉じて芝蓄電池製作所を創し自動車用蓄電池製造修理充電業に從事して今日に至る蓄電池業組合評議員たり　宗教眞宗【家庭】妻ふく　長男菊治（大元）二男（大三）長女年子（大五）三男清（大一〇）二女初子（大一二）三女豐子（大一四）

和田喜次郎　空中電氣鐵道(株)專務　東京市外大井町原五三〇七電大森一一三〇

君は福岡縣人石井猪太郎の弟明治十三年九月廿六日を以て生れ和田俊藏の養子となり昭和二年分家す現時空中電氣鐵道會社專務取締役たり曩に帝國倉庫會社專務取締江ノ島電鐵常務取締役たり又遞信大臣野田卯太郎の秘書官たりし事あり　宗教眞宗【家庭】妻ツネヨ（明一二）養父俊藏二女熊本尙絅高女卒　長男正俊（明三六）東京帝大大學院在　同妻スマ（明四〇）吉瀨一長女　二女彰子（明四四）東京高女卒　長女須摩子（明三八）同校卒は福岡縣人野村實に嫁す

和田吉三郎　辯護士　辨理士　秋田市中長町五　電秋田八六九

君は秋田縣人中野與吉郎の三男明治廿二年六月十七日秋田市に生れ後絕家和田家を再興し其の姓を冒す大正四年裁判所書記登用試驗に合格し同六年明治大學研究

科を卒業同八年十二月辯護士試驗に合格し東京に於て法律事務所を開設同十四年八月現地に移り今日に至る　宗教一向宗　趣味畫【家庭】妻菊枝（明二三）秋田縣人辯護士中西德五郎妹秋田高女卒　長男吉雄（大一一）長女愛子（大七）次女房子（大九）

和田久左衛門　大正信託(株)專務　鴻池信託(株)監查　所得稅六八九八　大阪市南區南炭屋町二五　電西二一七一

君は京都府人三井源右衛門の弟明治廿二年十月を以て生れ先代久左衛門の養子となり大正四年家督相續し舊名高隣を改む大阪屈指の資産家として知られ現に前記會社の重役たり昭和四年紺綬褒章飾版を賜ふ【家庭】母あゐ（文久二）男爵鴻池善右衛門姉　妻久子（明三二）伯爵大谷光暢叔母　長男安辰（大一二）長女鄰子（大九）二女久邇子（大一〇）

和田清　中央大學教授　東京市外大井町山中四三五三　電大森三〇二三

君は福井縣人和田文藏の長男明治十八年十月四日を以て生れ同卅年家督を相續す同四十二年東京高商を卒業し次で同校專攻部を卒へると共に同四十四年三井物產に入り後同社漢口輸出係主任に任じ大正十一年職を辭し同年中央大學教授に就任傍ら青山學院及早稻田大學講師として今日に至る　宗教眞宗　趣味庭球讀書【家庭】妻うめ（明二六）靜岡縣人橫山熊雄長女同縣立三島高女及津田英學塾卒　長女惠美子（大五）聖心女子學院在　二女あや子（大七）二男徹也（大九）三男謙三（大一五）三女幸子（昭四）

和田國次郎　從三勳二　林博　宮中顧問官　帝室林野局御用掛　所得稅二一七　東京市芝區白金猿町六七　電高輪一〇一四

君は福岡縣人和田廉之助の叔父慶應二年四月十二日を以て生れ後分家す明治廿一年東京農林學校林學科を卒業し後東京農林學校教授東京帝國大學農科大學助教授大林區署技師林務官農商務技師兼山林局森林監查官御料局技師同理事木會支廳長帝室林野局技師等に歷任し大正八年林學博士の學位を受く曾て林業視察の爲歐洲各國に派遣せらる　宗教眞宗【家庭】妻ちか（明一二）福井縣人鈴木準純妹　長男國男（明三〇）東京音樂學校卒　二男義男（明三五）早大商科卒王子製紙社員

三男武男（明四〇）東大農科在　四男鐵郎（明四三）四高在　長女富美枝（明三八）山脇高女卒は林學士堤時夫に嫁す

和田小六　從五　工博　東京帝國大學教授　航空研究所員　東京市赤坂區新坂町六二　電青山二六七〇

君は侯爵木戶幸一の弟明治廿三年八月五日赤坂區に生れ後絕家和田家を再興す大正四年東京帝大工學部造船科を卒業し大學院特選給費生として航空學研究同七年東京帝大工科大學助教授に任じ同九年英獨兩國に留學歸朝後同十二年東京帝大教授航空研究所々員となり現在に至る大正十五年工學博士の學位を授けらる　宗教禪宗　趣味自動車【家庭】妻春子（明三二）男爵吉川重國姉東京女高師附屬高女卒　長男昭允（昭四）長女正子（大六）二女綾子（大八）

和田幸治　中央製氷(株)支配人　東京市芝區芝浦二ノ一　電高輪三〇三三

君は鳥取縣人和田嘉造の二男明治廿九年四月十八日同縣東伯郡倉吉町に生る夙に鳥取中學を卒業し鄉里倉吉町山陰紡績に入り大正九年同社を辭し同十二年中央冷藏製氷會社に入り同十三年同社の中央製氷と改稱後其支配人となり以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味盆栽動物【家庭】妻トシ子（明二七）靜岡縣人在鄉陸軍二等軍醫正醫師瀨戶源一郎妹同縣高女卒

和田三造　帝國美術院會員　西洋畫家　所得稅一六一　東京市赤坂區福吉町一　電青山七九四一

君は明治十六年三月福岡縣に生る初め白馬會研究所に西洋畫を學び更に東京美術學校に入り同卅七年西洋畫選科を優等にて卒業す文部省美術展覽會第一回に「南風」第二回に「煒燻」を各出品二等賞を得同四十三年文部省海外研究員として佛國に留學歸途印度に滯在佛敎藝術を研究大正四年三月歸朝す第十回文展審查員となり第十一回に「バーの午後」を出品し畫壇を刺戟す大正七年「南蠻繪更紗」「海の幸」「山の幸」の大作を成し同年審查員を辭す同十二年大阪每日新聞社主催日本美術展覽會審查員となる又朝鮮總督府の大壁畫作成の傍新日本畫に筆を染め數十點の力作を成せしも大震災にて烏有に歸す同十三年東京美術院美術展覽會審查委員に擧げられ昭和二年六月同會員を命ぜらる【家庭】母秀子（弘化三）妻英子（明二一）故陸軍大將大久保春野二女學習院女學部卒　長男大作（大六）長女佐與子（大五）

和田二郎　日本郵船(株)大阪支店副長　所得稅七〇　大阪市住吉區天王寺町八七九　電戎二四八八

君は舊幕臣和田收藏の二男明治廿二年三月廿三日を以て生る大正四年東京帝大法科英法科を卒業し直に日本郵船會社に入り各地支店勤務本店貨物課長を經て同十五年香港支店副長に擧げられ次で大阪支店副長に轉じ以て現在に至る　宗教禪宗　趣味戶外運動【家庭】妻治子（明三四）實業家白石元治郎長女東洋英和女學卒　嗣子庸太郎（大一二）長女誠子（大一〇）二女治子（大一三）　※和田一郎の項參照

和田茂　日本綿花(株)橫濱支店次長　所得稅一八〇　橫濱市磯子區西根岸町一一一四　電本局一一七三

君は和田晋吉の長男明治十二年五月廿一日を以て生れ同十五年家督を相續す同卅二年大阪商業學校を卒業し翌年原合名會社賣込係となり四十二年A一番生絲部に歷職大正六年日本綿花會社に轉じ現時同社橫濱支店次長たり三四俱樂部會員なり　宗教日蓮宗【家庭】母てる（文久元）嗣子英雄（大五）

和田茂一　岡本洋行會計主任　東京市外入新井新井宿一八五〇　電大森三四〇二

君は島根縣人和田勘藏の長男明治廿三年九月一日を以て生れ大正十三年家督を相續す同九年早大政治經濟科を卒業同年東京市電氣局に奉職翌年岡本洋行に轉じ會計主任となりて今日に至る　宗教神道【家庭】妻いそ子（明三二）林吉藏長女淑德高女卒　長男克之助（昭三）長女房子（大一四）

和田靜雄　成田芝山電氣鐵道(株)創立委員　東京市芝區君塚町八

君は和田仙吉の三男明治廿二年九月を以て生れ大正三年分家す同四年早大政治經濟科に學び同八年帝國コルク會社專務取締役に就任昭和三年成田芝山電鐵創立委員に就任し今日に至る鐵道協會員たり　宗教天台宗

趣味文學劍道【家庭】妻孝子（明二六）千葉縣人村上文郎二女千葉高女卒　長女富子（大五）二女錦子（大七）

和田收藏　明治火災保險(株)總務部長　所得税三八五　東京市外駒澤町上馬八二六　電世田ヶ谷八六〇
君は長野縣人和田龍太郎の長男明治十五年十一月廿三日を以て生れ大正十二年家督を相續す明治卅九年慶應義塾法律科を卒業し明治火災保險會社に入り現に同社總務部長たり　宗教神道　趣味讀書圍碁運動【家庭】母とき（文久三）妻ふさ（明二二）茨城縣人海老原介太郎姪東京府立第一高女卒　長男收（明四五）慶應豫科在　二男稔（大二）東京府立八中在　長女昌子（大九）三男裕（大一一）弟覺二郎（明二一）同信三（明二四）同普（明三六）

和田順顯　建築士　神奈川縣中郡大磯町山手　電大磯二四〇（事務所）東京市麴町區丸ノ内丸ビル内　電丸ノ内三九九四
君は石川縣人和田順敎の長男明治廿二年四月廿一日金澤市に生れ後家督を相續す同四十五年東京美術學校建築科を卒業大正三年一般建築の設計及監督事務所を經營し今日に至る最近事業の主たるものに東京府立九中校舍日本電通ビル等在り建築學會工政會等の會員なり　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻薰（明二八）石川縣人能澤長太郎二女同縣立高女卒　長男一雄（大五）二男捷八（大八）長女節子（大一〇）三男瑩堂（大一一）

和田潤　從四勳四　白洋商工社顧問　東京市小石川區音羽町二ノ二〇　電牛込五〇五五
君は高知縣人和田多三郎の長男明治五年四月二日を以て生れ大正十二年家督を相續す明治廿二年和佛法律學校を卒業後文官高等試驗に合格同廿五年五月北海道廳警視に任じ爾來香川島根佐賀各縣事務官大分鳥取沖繩各縣内務部長に歷任後沖繩縣知事に就任大正十二年官を辭し現在前掲の職に在り同氣倶樂部會員なり　宗教眞言宗　趣味讀書【家庭】妻登茂代（明七）高知縣士族吉松政行三女　二男武揚（明三八）東京帝大農學部農業化學科在　二女幸子（大元）東京府立第一高女在　弟轍（明二三）於大阪辯護士開業　長女敏（明三五）は他家に妹民（明一六）は高知縣人立仙寅彌太に各嫁す

和田正三　和田商店　蠶絲貿易商　所得税五五　横濱市中區相生町五ノ九三　電長者町三九三八
君は神奈川縣人和田平兵衛の男明治十七年四月廿一日を以て生る夙に蠶絲貿易商を志し同卅二年小島商店に入りしが同四十年山崎商店に轉じ大正三年上甲信弘商店客員となり斯業の經驗を積むこと多年同七年之を辭し獨立して現住所に蠶絲貿易商を開業し以て今日に至る横濱蠶絲貿易商同業組合員たり　宗教日蓮宗【家庭】甥一郎（明二一）現戸主　妻チャウ（明二一）神奈川縣人松尾彌十郎長女　長男正一郎（明四二）神奈川縣立第一中卒　二男平吉（明四四）神奈川縣立商工實習學校卒　三男久滿三（大三）二女ふさ子（大九）

和田正平　辯護士　東京市麴町區永田町二ノ二九　電銀座三三一〇（事務所）京橋區銀座三ノ一七　三間ビル内　電京橋五三三八
君は鹿兒島縣士族和田用一の四男明治十六年九月十日同縣薩摩郡に生る同四十年法政大學を卒業大正二年法律評論社に入り同四年判檢事及辯護士試驗に合格同十二年辯護士を開業し今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁【家庭】妻むつ（明三〇）鹿兒島縣士族勝目實憲長女　長男光正（大八）二男吉正（大一〇）三男行正（大一二）四男安正（昭三）

和田新　和田工務所主　土木建築請負業　設計製圖監督　所得税二一〇　東京市小石川區指ヶ谷町一四〇
君は舊德島藩士和田門二の二男明治十七年九月七日德島市左古町に生れ後分家す夙に上京鈴木組に入り土木建築業に從事し同四十一年獨立開業和田工務所と稱す　趣味寫眞撮影【家庭】妻折枝（明二七）東京府人川戸勝太郎養女　男和義（明四三）二女安枝（大一一）

和田新太郎　勳七　極東運輸(株)取締兼支配人　所得税四八九　東京市本鄕區弓町一ノ二一　電小石川五五七九
君は東京府士族和田操の長男明治八年一月下谷區車坂町に生れ同廿四年家督を相續す明治廿六年成城學校に學び後臺灣サミュル商會に入りしが同卅八年日露戰役後茨城縣磯濱に於て漁業を營み後內國通運會社の在勤十四ヶ年にして之を辭し大正九年極東運輸會社の創立に參劃し創立と同時に同社主任となり現に取締役兼支配人の任にあり曩に日清日露北清臺灣日獨各戰役に出征し功あり勳七等に叙せらる鐵道協會々員なり【家庭】妻キヨウ（明一八）東京府人白須小平太二女神田錦華女學校卒　長男順一（大五）長女千代子（明四〇）佐藤高女卒　二女富美子（明四三）女子美術學校卒　三女喜久子（大二）京都同志社女學部在　四女幸子（大三）五女程子（大八）六女晉子（大一〇）

和田瑞　日本勸業銀行(株)庶務課長　東京市本鄕區元町一ノ五文化アパート四二二號　電小石川六四二〇
君は舊土佐藩士和田屯の長男鐵道局參事和田弘の兄明治十二年二月十八日東京市に生れ同四十三年家督を相續す同卅三年東京高商同卅七年同校專攻部を卒業し日本銀行に入り傍ら明治大學中央大學に講師たりしが後同行を辭して大和組を經營し對支貿易に從事し傍ら關東酸素會社外各會社重役となり後事業を廢して昭和二年日本勸業銀行に入り庶務課長に就任し今日に至る　宗教神道　趣味書畫骨董【家庭】長女しな（明四五）弟弘（明二〇）法學士鐵道局參事は分家し妹しげは工學士生駒勇に同まき（明三二）御茶水高女卒は東京府人三谷堅治長男錦太郎に各嫁す

和田助一　單式印刷(株)專務　神奈川縣鎌倉郡小坂村山ノ內一七九
君は大阪府人和田鉞次郎の長男明治十四年九月十一日同府に生れ後家督を相續す夙に實業界に在り大正十五年單式印刷會社の創立に際し專務となり以て今日に至る　宗教眞宗【家庭】母きぬ（安政二）妻八重（明三三）東京府人小村安五郎二女　長男和（大一一）二男洋（大一二）三男太（大一四）二女華（昭三）

和田善平　醬油並同附屬品商　東京市日本橋區蠣殼町一ノ四　電茅場町二〇七六
君は東京府人先代善平の長男明治廿二年八月廿八日現住地に生れ大正二年家督を相續す夙に東京府立三中を卒業し家業を繼承今日に至る　宗教曹洞宗　趣味讀書旅行【家庭】母あい（文久二）妻つる（明二九）

和田惣八　霰彈製造販賣直輸入商　所得税一〇三九　大阪市南區順慶町二ノ六一

一　電船場三四三七
君は大阪府人先代惣八の長男慶應元年八月を以て生れ明治四年家督を相續す夙に霰彈製造販賣直輸入商を營む曩に大阪琺瑯尼ヶ崎商事各會社重役に擧げらる【家庭】妻きく（明一〇）和歌山縣人吉田吉兵衛妹　長男惣治郎（明二六）同妻壽賀（明二九）大阪府人村田豐治郎長女　同二男幸三（大八）同二女富子（大九）同三女君子（大一一）二男福三郎（大二）二女花子（明三〇）は大阪府人梅溪新之助に嫁す

和田高彦　地家主　所得税四三二九　大阪市東區清堀町二九　電南一八三八
當家は曩祖和田作太夫備後より大阪に住居十三代を經て先代高英に至る君は其長男明治卅年三月を以て生れ大正八年家督を相續す夙に慶應義塾理財科に學び地家主として知らる【家庭】母やす（明元）大阪府人高橋義輝長女　妻笑子（明三八）大阪府人長谷川義市郎長女　男高明（大一五）長女倶子（昭二）弟高洪（明三四）妹忠子（明三八）弟高夫（明三九）

和田健雄　從四勳三　理博　京都帝國大學教授理學部勤務　所得税九七二　京都市上京區北白川西町八七　電上四二五
君は山形縣人和田朝次の長男明治十五年一月を以て生れ大正六年家督を相續す同卅八年京都帝大理科數學科を卒業し大學院に入り同四十一年同大學助教授に任じ大正六年數學解剖學研究の爲米英佛瑞各國に留學し同九年歸朝し理學博士の學位を受く同大學教授に任ぜられ現時に至る曩に同大學理學部長たり【家庭】母美屋（安政二）山形縣人富樫久兵衛長女　長男健一（明四〇）二男正雄（明四二）四男良雄（大二）五男和雄（大五）

和田忠治　正七勳六　水道土木工事設計監督調査顧問　和田事務所主　所得税八一　東京市芝區通新町七　電高輪二一九〇
君は京都府人和田盛英の二男同盛慈の弟明治八年十二月廿日同市上京區寺町通に生れ同卅四年分家す夙に三高工學部を卒業し直に山形縣廳に奉職爾來秋田縣函館陸軍横濱市各技師に歷任大正四年和田事務所を開き水道土木工事設計監督調査顧問の業に從事今日に至る和田式耐震管及和田式耐寒水道栓消火栓は特許を受く宗教淨土宗　趣味旅行書畫骨董【家庭】とよ妻（明一三）京都府人矢島鈞一姉京都府立第一高女卒　長男英太郎（明三四）明大政治經濟科卒　三男秀三郎（明四四）開成中學卒

和田鑄三郎　雜貨商　東京市神田區表猿樂町二三　電神田三五六四
君は明治廿年十月廿日東京市下谷區に生れ後和田小太郎の養子となり家督を相續す同卅年以來骨董商に從事傍ら同卅八年國民英學會を卒業同年雜貨商に轉じ同四十一年獨立し經營以て現在に至る　宗教禪宗　趣味寫眞旅行釣魚書畫【家庭】養父小太郎（安政元）妻ブン（明二四）岐阜縣人宮川莊太郎長女

和田長作　正八勳七　在鄕陸軍少尉　醫博　慶應義塾大學醫學部講師　東京市小石川區關口水道町五　電牛込五八七一
君は大阪府人和田長史の長男明治卅三年一月一日同府南河內郡に生る大正十二年慶應義塾醫科を卒業し一年志願兵となり少尉に任官す曩に慶應義塾醫學部講師に聘せられ以て今日に及ぶ昭和三年醫學博士の學位を受く　宗教淨土宗　趣味讀書【家庭】父長史（明一三）現戸主　母むらえ（明一四）妻智惠（明三八）大阪府人富岡久右衛門長女松陰高女卒　長女智惠子（大一五）二女敏子（昭二）

和田貞　大喜商店(資)代表社員　東京市外荏原町中延一一五二
君は京都府士族和田幸平の長男明治十九年十二月十六日同府加佐郡舞鶴町に生れ同卅四年家督を相續す夙に第百三十銀行に勤務同四十五年南米に渡航智利に於て農業を營み大正九年歸朝同年喜多組河內合名會社に入り後同社大阪支店開設と共に其支配人となり昭和二年東京支店支配人に轉じ次で石鹼原料取扱業大喜商店代表社員に就任し以て今日に至る　宗教眞言宗　趣味圍碁【家庭】妻富子（明三二）大阪府人爲川吉兵衛長女　長男健一郎（大一一）三男大藏（大一五）六女春子（昭二）弟信夫（明二八）神戶商業學校卒會社員

和田傳太郎　靜岡縣多額納税者　日本汽船漁業(株)取締役　不二商會(株)監査　直接國税一一八一　沼津市本町八六
君は靜岡縣人和田傳太郎の長男明治十一年十月を以て生れ同卅八年家督を相續し前名貢實を改む現に前記會社の重役にして靜岡縣多額納税者たり曩に御殿場銀行靜岡縣農工銀行沼津銀行沼津瓦斯靜岡瓦斯東海自動車日東製麥倉庫駿豆肥料各會社の重役に擧げらる【家庭】妻せつ（明一七）靜岡縣人本間春城妹　男元（明三七）沼津市役所書記　同妻重子（明四一）神奈川縣人岡田寅吉妹　男捷雄（明三八）三男金剛（明四〇）四男長雄（明四一）五男三千雄（大二）

和田德次郎　從四勳三　醫博　東北帝國大學教授醫學部勤務　所得税二四三　仙臺市堤通二六　電仙臺一六八三
君は和歌山縣人龜井與平次の二男明治十二年十一月を以て生れ先代秀の養子となり大正六年家督を相續す明治四十一年東京帝大醫科耳鼻科を卒業し同大學助手仙臺醫學專門學校教授東北帝國大學醫科大學助教授等を歷任大正七年米英佛獨に留學し同九年七月醫學博士の學位を受く同十年歸朝現時東北帝國大學醫學部教授たり【家庭】妻かね（明一七）和歌山縣人和田正造二女　女芳（明四〇）東京女高師附高女卒　女幸子（明四三）三女和（大元）

和田利之助　東京米穀商品取引所第一部取引員　所得税二一六七　東京市牛込區榎町五〇　電牛込五七七八（店舖）日本橋區蠣殼町一ノ二　電茅場町二七三九
君は東京府人和田利作の四男明治十四年七月十一日堺市に生る大正十一年一月米穀仲買業を開業して今日に至る　宗教日蓮宗　趣味謠曲圍碁【家庭】妻とく（明一七）群馬縣人山崎伴行三女　長男三郎（明三六）東京藥專卒藥劑師赤十字病院勤務

和田利彦　春陽堂　出版業　東京市日本橋區通三ノ八　電日本橋五一
君は廣島縣人今村義夫の二男同隆の弟明治十八年七月廿八日廣島市に生れ大正三年先代靜子の入夫となり家督を相續す和田家は其商號を春陽堂と稱し先々代篤太郎の創業に係り文藝書の出版を以て其の名顯はる君は明治四十五年早稻田大學商科を卒業後家業を繼承して今日に至る東京出版協會評議員なり曾て東京書籍商組合評議員に推さる　宗教禪宗　趣味美術觀劇【家庭】妻靜子（明二四）東京府人小林直造長女跡見女學卒

長男欣之介（大七）

和田歳夫　岩淵銀行(株)取締　靜岡縣庵原郡由比町
君は靜岡縣人和田源作の長男明治十一年十一月を以て生れ大正二年二月家督を相續す現に岩淵銀行取締役たり嚢に由比銀行重役に擧げらる【家庭】母ひさ（嘉永三）靜岡縣人和田富次郎長女　妻つや（明一二）同縣人影山熊吉二女　長男顯太郎（明三六）二男連二（明四〇）長女澄子（明四二）三男盛夫（明四五）二女龍子（大三）四男昌（大五）弟章五（明二七）

和田友三郎　大正堂藥局　東京市下谷區御徒町二ノ一六　電下谷五二〇六
君は明治十九年五月廿六日名古屋市に生れ後愛知縣人和田勝四郎の養子となる大正四年大正堂藥局を創立昭和三年現地に移り爾來今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻たづ（明三〇）服部文藏長女　長女正子（大八）二女勝子（大一二）三女光子（昭二）

和田豐秋　九州水力電氣(株)東京支社々員　東京市本所區向島須崎町二三七　電墨田四一八
君は大分縣人阿部勇五郎の四男明治廿九年十月十五日同縣中津郡古博多町に生れ和田豐治の養子となる大正十三年慶應義塾理財科を卒業し九州水力電氣會社に入社別府營業所大分福岡各管理部等歴勤現に東京支社に勤務す　宗教佛教　趣味運動【家庭】妻ハル子（明四一）養父豐治養女　長男光史（昭三）長女淑子（昭五）※和田文吾の項參照

和田豐種　從四勳三　醫博　在鄕陸軍二等軍醫　大阪醫科大學教授　大阪市北區南森町一七五　電北五一一二
君は大阪府人和田玄治の二男明治十三年八月六日大阪市に生れ同廿二年家督を相續す同卅二年大阪府立醫學校を卒業同卅五年同校助教授に任じ次で日露戰役に從軍し後京都及び東京兩帝大醫科に學び同四十二年教授に任じ獨墺兩國に留學を命ぜられ大正六年醫學博士の學位を授與せられ以て今日に至る昭和四年歐米を視察し同年十一月歸朝す【家庭】妻久子（明二二）京都府人佐々木甚藏長女　長男種久（明四五）天王寺中學在　二男種彥（大三）同校在　長女種子（大五）帝塚山學院高女在　二女豐子（大七）

和田直兵衞　大和屋　疊表花莚綠布和傘問屋　所得税二一一〇　東京市日本橋區堀江町一ノ一　電浪花四六一四
君は東京府人先代直兵衞の長男明治十三年二月十一日を以て生れ同四十二年家督を相續し前名兼吉を改む同廿六年東京高商を卒業し直に家業たる疊表花莚綠布和傘問屋業に從事し大和屋と稱す君はその四代目なり　宗教淨土宗　趣味書畫【家庭】妻アイ子（明一七）東京府人芳賀吉之助妹　長男吉藏（明三九）慶大法科在　二男秀藏（明四一）三男光藏（明四五）四男龜藏（大二）五男覺藏（大四）

和田信夫　正五勳五　遞信技師　經理局營繕課勤務　所得税一五八　東京市外澁谷町松濤七七　電青山二五〇
君は靜岡縣人和田五之作の二男明治十六年八月十六日を以て生れ大正二年分家す明治四十三年東京帝大工科建築科を卒業し遞信技手同技師臨時電信電話建設局技師兼遞信技師營繕係技師長に歴任現に前記の任に在り大正八年歐米各國建築事業を視察す【家庭】妻桃子（明二六）東京府人醫博田代義德二女東京女高師附高女卒　長男信之（大一三）長女好惠（大二）佛英和高女在　二女露子（大四）同校在　三女美代子（大一一）

和田信夫　大阪朝日新聞社經濟部長　所得税二四〇　兵庫縣武庫郡御影町郡家庄田二二六　電御影三一七
君は千葉縣人和田豐の長男明治十九年十月を以て生れ大正十五年三月家督を相續す明治四十四年東京帝大法科政治科を卒業し大阪朝日新聞社記者となり現に經濟部長の職にあり【家庭】父豐（元治元）妻フミ（明二一）新潟縣人岡本優五郎姪　長男津苗（大一四）長女墨江（明四五）二女咲也（大六）弟淺香（明二二）同妻リヨ（明三一）姉芳渟野（明三九）

和田信夫　合同油脂グリセリン(株)購買課長　東京市外入新井町新井宿山王下二四四五　電大森三二六四
君は舊牧野藩士和田幸平の二男明治廿八年三月十六日京都府に生れ後分家す同四十五年鈴木商店に入りしが大正十二年合同油脂グリセリン會社に轉じ現に同社購買課長たり　宗教眞言宗【家庭】妻菊江（明三七）兵庫縣人野田要吉二女櫻井高女卒　嗣子好郎（昭三）

和田彥次郎　從三勳一　貴族院議員　調査會委員　國有財產　同氣倶樂部理事　東京市麻布區霞町二二　電青山五七二九
君は廣島縣人世良都平の二男安政五年六月を以て生れ先代良治郎の養子となり明治五年家督を相續す夙に英漢學を修め朝鮮白佛諸國を歴遊し後農商務省農務局長同商工局長同總務長官同次官等を歴任し歐米各國清韓兩國に差遣せらる同廿五年以來衆議院議員に當選する事七回同四十四年貴族院議員に勅選せらる【家庭】妻スマ（明二）群馬縣人新井和市郎姉　長男正彥（明二二）長女ヒロ（明二五）は法制局參事官黑崎定三に嫁す※和田正彥の項參照

和田壽生　高橋東洋堂(株)製造部主任兼研究部主任　東京市牛込區矢來町九〇
君は三重縣人山本喜久松の四男明治廿八年八月廿六日同縣に生れ和田正信の養子となる大正十年東京高工應用化學科を卒業し大藏省に入り横濱神戶各稅關檢查課に勤務後同十四年高橋東洋堂に入社現に製造部主任兼研究部主任たり【家庭】養父正信（明八）現戶主　妻千代（明三二）滋賀縣士族中野宜次長女横濱元町高女卒　長女みどり（大一一）二女きみ子（大一五）

和田英松　從四勳三　文博　東京帝國大學史料編纂官　國學院大學教授　內閣官房總務課囑託　所得税九八　東京市外千駄ヶ谷町五三八　電青山七一八七
君は東京府人和田五平の長男慶應元年九月十日廣島縣沼隈郡鞆町に生れ明治廿六年家督を相續す同廿一年帝國大學古典講習科圖書課を卒業し同卅二年學習院教授に任ぜられ同四十年史料編纂官となり大正七年其研究宸記集及皇室御撰解題に對し恩賜賞を受け同十年文學博士となり同十五年勳三等旭日中授章を授けらる現時前記諸職に在り著書に「建武年中行事註解」「榮華物語詳解」「增鏡詳解」等あり【家庭】妻玉枝（明七）養子壽次郎（明三四）廣島縣人利田吉三郎孫經濟學士中外商業新報社員　弟邦松（明一〇）同妻末野（明一六）岡山縣人小林喜治太妹及其二子

和田弘　從五勳六　鐵道局參事　東京鐵道局教習所長　東京市外落合町上落合四六九　電大塚三九六八
君は舊土佐藩士和田屯の五男日本勸業銀行庶務課長和田瑞の弟明治廿年一月二日東京市牛込區に生れ後分家す同四十五年東京帝大法科英法科を卒業し鐵道省に奉職し爾來神戶鐵道局員神戶驛助役大阪市港町運輸事務所長本省人事課旅客課勤務を經て大正十五年鐵道局參事に任じ東京鐵道局教習所長となり以て今日に至る嚢に米國に出張せり　宗教神道　趣味讀書【家庭】妻トキ（明三三）長野縣人平野五兵衞長女小諸高女卒　長男不二雄（昭二）長女玲子（大一四）

和田文吾　東京帝國大學理學部講師　東京市麻布笄町一一六　電青山六五一〇
君は廣島縣人和知蓁一郎の男明治卅三年十二月十八日廣島市に生れ後先代豐治の養子となり昭和三年家督を相續す先代豐治は夙に慶應義塾を卒業し日本郵船會社神戶支店長鐘淵紡績會社支配人富士瓦斯紡績會社々長等歴任實業界の重鎭として知られ貴族院議員に勅選せらる君は大正十四年東京帝大理學部植物科を卒業一年志願兵服役後大學院にて研究を續け昭和三年東京帝大理學部講師となり現在に及ぶ　宗教眞宗【家庭】養祖母コウ（天保八）養母織衣（明六）妻米子（明四一）養母織衣養子大分縣人櫻井好一二女東京府立第三高女卒　長男修一（昭三）※和田豐秋の項參照

和田文七　藤澤町會議員　江ノ島自動車　洋水產各(株)取締　陶器竝に漆器商　神奈川縣高座郡藤澤町藤澤一八八三　電藤澤二八
君は神奈川縣人先代文七の長男明治十八年二月二日同縣高座郡藤澤町に生れ同四十二年家督を相續し襲名して前名善次郎を改む夙に上京甲中學舍に學び後家業たる陶器及漆器商に從事し傍ら前掲會社重役として今日に至る藤澤町會議員に選出せらるゝ事三回現に其任に在り　宗教眞宗【家庭】母ヤス（慶應三）妻タカヱ（明二三）南方武平治二女和歌山高女卒　長男弘（大六）弟愛助（明二九）同義英（明三〇）東京海上火災社員　同茂雄（明三三）横濱市役所技手　同垣廣（明三七）京都帝大工學部在

和田正男　九曜社(株)取締　一心社(株)監查　中央ホテル經營者　所得税二二八　東京市芝區白金今里町九六　電高輪五〇六
君は廣島縣士族和田寛一の弟明治十一年四月廿五日を以て生れ大正三年六月分家す同三年東京株式取引所仲買人となる其の間望月商事會社監查役たりしが同十三年中央ホテルを設立し其經營の衝に當り現に前記會社の重役たり　宗教眞言宗【家庭】妻セン（明一二）廣島縣士族甲島熊太郎妹　長男泰正（明三五）慶大經濟學部卒　二女文子（明四二）實踐高女卒　三女正代（大元）同校在　四女秀子（大四）二男正敏（大六）長女勝代（明三八）は慶大經濟學部卒東京府人加藤商店取締役社長加藤金之助に嫁す

和田正雄　並木製作所(株)專務　東京市芝白金三光町二七六　電高輪四一〇七
君は靜岡縣人和田仁三郎の二男明治十一年八月を以て生れ同四十一年分家す同卅六年商船學校を卒業し現に並木製作所專務取締役たり　宗教佛教【家庭】妻章（明一三）靜岡縣人古待千秋二女　長男正一郎（明四二）慶應豫科在　三女婦佐子（大四）二男雄次（大六）四女ミツ子（大一〇）

和田正一　信託仲介業　東京市外和田堀町大字和田七二（事務所）京橋區南傳馬町二ノ一八千代田ビル內　電京橋一九七二
君は和歌山縣士族和田林兵衞の長男明治廿二年七月廿六日同縣西牟婁郡串本町に生れ同卅三年家督を相續す同四十四年米國ユターシュ大學に經濟及法律を專攻次でコルチート大學に學びバチエラーオブローの稱號を受け爾來米國に在りて邦字新聞の經營に從事し其間農商務省囑託となりブラジル獨立百年記念博覽會日本政府委員に擧げられ亦ブラジル博覽會審查委員として同政府より名譽賞を贈らる後歸朝大正十三年信託仲介業を始め經營以て今日に至る嚢に倫敦會議に列席せり日本貿易協會々員なり　宗教眞宗　趣味野球乘馬觀劇【家庭】母やす子（文久三）妻ヱイ子（明三五）栃木縣人正田章次郎四女松頌高女卒　長女節子（昭四）妹靜子（明三六）

和田正彥　從五勳六　大藏書記官兼銀行檢查官　普通銀行課長　東京市麻布區霞町二五　電青山四五六五
君は貴族院議員和田彥次郎の長男明治廿二年九月廿八日東京市に生る大正二年東京帝大法科政治科を卒業し龜戶稅務署長名古屋稅務監督局經理部長間稅直稅部長營繕管財局書記官總務部總務課長等歴任昭和三年銀行檢查官に任じ同四年大藏書記官を兼任今日に至る　宗教日蓮宗　趣味圍碁【家庭】妻龍（明二八）男爵奧田剛郎妹御茶水高女卒　長男正明（大五）二男達夫（大七）長女淑子（大一〇）三男正之（大一二）四男正康（昭三）※和田彥次郎の項參照

和田昌訓　從七勳六　整形外科專門和田醫院長　醫師　東京市麴町區飯田町一ノ七　電九段二四〇四
君は愛媛縣士族和田昌孝の長男慶應元年一月廿四日松山市に生る明治廿一年東京帝大醫科を卒業臺灣臺中醫院內科等に勤務後獨立醫院を開設大正三年現地に移り今日に及ぶ著書數種あり　宗教淨土宗　趣味和歌書道【家庭】妻時子（明一〇）愛媛縣士族高村充長女英和高女卒　長女ふみ（明三六）は海軍少佐清水信英に嫁す

和田又夫　牧場經營　牛乳商　東京市外千住町二ノ一〇〇三　電千住二〇六二
君は東京府人和田該輔の四男明治廿八年二月十二日東京市下谷區に生る夙に東京農業大學を卒業牛乳商を營み府下西新井町所在の牧場を兼營す　宗教佛教　趣味柔道（三段）讀書【家庭】妻文子（明三三）岡山縣人波多野彌藏女東京府立第三高女卒　長男靜郎（大一二）長女久子（大一二）二女安子（大一四）三女弘子（昭二）二男末郎（昭四）兄重夫は獸醫學校出身にして現に下谷區二長町に於てミルクプラント經營

和田萬五郎　松屋町二丁目町會長　和田屋材木商　所得税五八四　東京市京橋區松屋町二ノ二　電京橋四六七八
君は千葉縣人鳥谷平吉の二男明治十年六月同縣に生れ同卅四年十一月先代しかの入夫となり家督を相續す當家は先代明治十八年の創業に係り和田屋と稱し材木商を營む君夙に家業を繼承し現時前記の職を兼ぬ曾て貸借價格調查委員商業會議所囑託所得稅調查委員東京材木問屋同業組合理事たりしことあり　宗教淨土宗　趣味釣魚【家庭】妻しか（明八）宮下五良兵衞二女　長

男治兵衛（明三五）中央商業卒　長女そで子（明三八）紅葉川高女卒　三男隈五郎（明四二）東京商工卒

和田巳之吉　安田銀行(株)營業部長代理　所得税一四八三　東京外大井町金子六一九六　電大森九九七

君は東京府人和田彌三郎の長男明治十年十月一日を以て生れ大正元年家督を相續す明治廿三年第三銀行に入り預金課長貸付課長を經て大正十二年同行の安田銀行に合併するや入りて其小舟町支店副長となり同十五年同支店長に進み昭和四年本店營業部長代理となり今日に至る　宗教淨土宗【家庭】妻はる（明一五）東京府士族中山長景二女　養子定幸（明三六）男爵富岡定俊弟慶大卒安田生命社員　長女芳枝（明四一）養子定幸妻東京府立第八高女卒　同長男定彦（昭三）弟傳次郎（明一五）同妻喜久惠（明二一）

和田　操　東京市會議員　印刷業　東京市芝南佐久間町一ノ三　電芝三一九六

君は群馬縣人和田龜代太の三男明治廿四年十一月三日同縣に生れ大正三年分家す明治卅九年上京安部磯雄に師事し後日本大學に宗教哲學を學び大正七年印刷業を創め今日に至る昭和四年三月東京市會議員に當選社民黨に屬す　宗教基督教　趣味讀書【家庭】妻とみ子（明二八）長野縣人新津喜六長女渡邊高女卒　長男一仁（大一三）長女信子（大一一）二女公子（昭二）

和田八重造　自由學院講師　東京市外井荻町上井草一四一三　電荻窪六三

君は奈良縣人和田淺七の長男明治三年十二月九日を以て生れ同卅八年家督を相續す夙に地質鑛物學に志し一高書記を經て同四十年同校助教授となり大正四年渡米オーベリ大學應用地質學教室に於て研鑽三年の後歸朝し一高講師となり同十一年自由學院の創立と共に講師に就任以て今日に至る傍ら浦和及武藏高校各講師たり　宗教基督教　趣味和歌動植物採集【家庭】長男重威（明三六）東京帝大工科卒　二男重正（明四〇）東京帝大法科在　三男重暢（明四三）武藏高校在　長女桂子（明三八）女子大學英文科卒は岸本武夫に嫁す

和田善雄　第三十六銀行(株)東京支店長　東京市四谷區南町一〇

君は東京府人西村專三の三男明治十九年十二月八日を以て生れ先代きよの入夫となり大正六年家督を相續す夙に佐倉中學を卒業して日本大學に學び明治四十一年安田銀行に入り爲替課次長山形支店長を經て大正十二年二月第三十六銀行詰となり次で同行東京支店長に擧げられ今日に至る智慧之輪倶樂部會員なり　宗教淨土宗【家庭】妻靜（明四〇）東京府人吉田マツ養子東京高女卒　長女登志子（大八）二女君枝（大一〇）

和田嘉衞　勳五　東京計器製作所　東洋酸素　八洲商會各(株)社長　日本光學工業(株)取締　所得税一三八一二　東京市麻布區永坂町六九　電青山一三六九

君は東京府人和田佐平の長男元治元年八月を以て生れ明治廿三年家督を相續す夙に計器製作に從事し現時前記會社の重役たり「東京實業雜誌」を發刊す【家庭】妻馨香（明一七）東京府人加藤覺長女　男鎭雄（明四〇）東京府立二中卒　四男重雄（明四三）五女奈津子（明四五）六女佐智子（大九）四女菊子（明三六）御茶水女學卒は佐賀縣人久米寛三に嫁す

和田隆治　東京貯藏銀行(株)神田支店長　東京市小石川區大塚仲町二六

君は兵庫縣人和田庄兵衞の四男明治廿年十月一日同縣に生る夙に中央大學に學び同四十二年東京貯藏銀行に入り累進京都支店長に就任昭和三年四月神田支店長に轉任して今日に至る　宗教曹洞宗　趣味旅行圍碁【家庭】父庄兵衞（弘化四）妻いく子（明二九）京都府人永田彌吉長女京都高女卒

和仁貞吉　從三勳二　法博　判事　東京控訴院長　法制審議會委員　王公族審議官　所得税二六二　東京市外目黒町三田五〇　電高輪七七八〇

君は東京府士族和仁元利の三男明治三年五月十二日を以て生れ同廿六年兄元英の家督を相續す同廿七年帝國大學法科英法科を卒業し同年司法官試補となり同廿九年判事に任じ爾來浦和地方東京區同地方裁判所判事東京地方裁判所部長同控訴院判事同部長大審院判事京都大阪各地方裁判所長を歷補し大正八年高等官一等に敍し翌九年檢事に任じ長崎大阪京都各控訴院檢事長を經て同十三年現職に補す親任待遇たり同七年歐米各國へ出張し同九年法學博士の學位を受く　宗教天台宗　趣味讀書【家庭】妻ツキ（明一〇）秋田縣士族原田種德長女福岡高女卒　長男壯造（明四二）麻布中學卒　二男勇造（明四五）同校卒　三男孝三（大二）東京府立八中在　長女きく（明三〇）は福井縣人古川淸治に二女久（明三二）は山口縣人池田熊雄に各嫁す

和邇秀恒　正五　醫博　鐵道局技師　大阪鐵道病院副院長兼內科醫長　神戶市大同町三ノ一二〇　電湊川二六〇

當家は宇多天皇十八世近江管領佐々木氏賴の四男信高を祖とし五代成覺に至り和邇の莊を賜る依て和邇を姓とす爾來相傳へ先代十八世秀博に至る君は秀博の長男明治廿一年十二月を以て生れ大正三年家督を相續す同九年九州帝大醫科を卒業し同大學助手講師となり同九年醫學博士の學位を受く同十一年鐵道局技師に任ぜられ神戶鐵道病院內科醫長を命ぜらる同十三年海外研究員となり歸省後鐵道局技師として前記の職にあり【家庭】母ちず（明五）妻美津（明二八）滋賀縣人奧村雅次郎三女京都府立第一高女卒　長男秀俊（大四）弟莞爾（明二八）京都帝大助教授

若井源左衞門　兵庫縣多額納税者　牡丹正宗釀造元　酒造業　兵庫縣武庫郡西灘村味泥　直接國税二二四九　電御影五六

君は大阪府人松本歡藏の二男明治廿四年十一月を以て生れ後先代源左衞門の養子となり大正十四年家督を相續し前名長藏を改む酒造業を營み牡丹正宗釀造元にして兵庫縣多額納税者たり【家庭】養母あい（明三）養祖父源左衞門長女　妻かよ（明二四）兵庫縣人若井得造五女　男芳太郎（大六）長女馥（大七）三男郁三（大一一）四男憲藏（大一四）養妹キミ（明三二）は其夫要四郎（明三二）と共に分家す

若井孝太郎　辯護士　辨理士　東京市外高田町雜司ヶ谷四八三　電牛込三〇一三

君は茨城縣人若井治平の男明治十九年一月廿日同縣に生れ後家督を相續す大正三年京都帝大法科獨法科を卒業し辯護士を開業今日に至る東京辯護士會員なり　宗教佛教　趣味庭園植木讀書【家庭】母てい（弘化元）妻あい（明二八）東京府人松田辰次郎三女日本橋高女卒　長女節（大六）京華高女在

若井佐吉　若橋屋本店　鰹節祝儀具商　所得税二一四　東京市本郷區本郷三ノ一三　電小石川三八一八

君は先代佐吉の長男明治四十五年二月十五日を以て生れ大正十四年七月家督相續と共に前名孝太郎を改めて襲名す京北實業學校を卒業後家業繼承若橋屋と稱し鰹節祝儀具商を營む明治廿二年來の老舖たり　宗教日蓮宗　趣味ハモニカ武道水泳【家庭】母テイ（明一七）姉美津子（明四三）東洋高女卒　弟福二郎（大三）京北實業在　弟榮三郎（大四）本郷中學在　弟潤四郎（大一〇）弟完之（大一三）姉喜美子（明三九）は東京府人向井正雄に嫁す

若井正吉　家主　東京市本郷區駒込吉祥寺一〇　電小石川二三三六

君は埼玉縣人白井久治の二男明治廿五年十月十三日を以て生れ後若井忠藏の養子となる夙に家業を繼承家主として今日に至る　宗教淨土宗　趣味庭園飼鳥【家庭】妻ウラ（明三〇）埼玉縣人內山文吉長女　長男孝雄（大一四）長女房枝（大一〇）二男秀司（昭二）

若井善三郎　酒造業　兵庫縣武庫郡西灘村味泥　電御影九五四

君は兵庫縣人小原喜太郎の三男明治卅年十二月を以て生れ若井卯三郎の養子となり大正十四年家督を相續す酒造業を營む【家庭】養母とみ（明六）兵庫縣多額納税者若井源左衞門養叔母　妻カツヱ（明二八）大阪府人川幡謙一妹　長女聰子（大七）二女美佐子（大一二）

若生直治　山田製菓(株)社長　宮城縣宮城郡七北田村

君は宮城縣人若生勘之助の三男明治十二年一月同縣に生れ若生ろくの養子となり同卅八年妻すてよの後を承け家督を相續す夙に山田製菓會社々長に擧げらる曩に青葉銀行取締役たり【家庭】母ろく（安政六）妻すてよ（明一三）養父長兵衞長女　養妹さとし（明四五）

若生巳之吉　大町外廿三ケ町市營貯金區々長　仙臺金物同業組合組合長　若生本店(株)社長　若生電機(株)專務　淺野セメント　岩谷冷藏各(株)　河合鋼商店各代理店　金物商　仙臺市本荒町七　電仙臺三一七

君は宮城縣人森幸吉の長男明治六年二月仙臺市に生れ若生倉造の養子となり大正十年分家す當家は先々代倉藏の創業する處君之を繼承し以て今日に至る傍ら前記の職に在り曩に仙臺商業會議所議員に擧げらる　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻トリ（明一六）宮城縣人加藤作之助女　養嗣子憲雄（明二二）同縣人百々準治三男長女あい夫　長女あい（明二七）二女小夜子（明四三）宮城縣立第二高女卒　孫光子（大四）養子憲雄長女　同とし子（大七）同二女　同敬一郎（大九）同長男　同八重子（大一二）同三女　同德子（大一五）同四女

若尾幾太郎　神奈川縣多額納税者　橫濱商工會議所常議員　若尾(名)　江ノ島電氣鐵道(株)各社長　橫須賀埋立土地(株)取締會長　帝國ホテル　平沼銀行　富士山麓電氣鐵道　ホテルニユウグランド　橫濱火災海上保險　富士土地　京濱電力　湘南電鐵各(株)取締　中央新聞　帝國蠶絲　中央電力　橫濱倉庫各(株)監查　橫濱取引所取引員　神奈川縣在鄉軍人信用組合理事長　蠶糸貿易商　直接國税一四三五八　橫濱市中區本町四ノ三四　電本局二九三一

當家は甲斐源氏の一族にして武田氏滅亡の後農となり曾て名主役を勤めたる舊家なり君は先代幾造の長男生絲王として知られたる若尾逸平の甥明治十七年三月を以て生れ大正十一年家督を相續す夙に橫濱商業學校を卒業し現に父祖の業を繼ぎて蠶糸貿易商を營み傍ら前記會社の重役を兼ね橫濱取引所取引員にして橫濱商工會議所常議員同縣多額納税者たり曩に川崎社會館を設立して館長たり大正十三年橫濱市より選ばれて衆議院議員となる　趣味謠曲漕艇【家庭】母詮子（明六）子爵小笠原長定大叔母　妻千代（明一八）山梨縣人若尾謹之助妹甲府女子師範卒　長男幾之助（明四〇）麻布中學卒　長女照子（明四二）東京女學館卒　二女壽子（明四二）フエリス女學卒　二男保（明四五）橫濱商業卒　三男定（大二）神奈川縣立一中在　三女光子（大四）同縣立高女在　四女信子（大五）四男榮（大八）

若尾晋造　甲斐電力(株)社長　武州鐵道(株)專務　東邦無線　笠原鐵道　大島拓殖電燈　三ツ引物產各(株)取締　渡良瀨水電　笛吹川水電各(株)監查　所得税一七五　東京市外入新井町不入斗四三五　電大森二七九

君は中込文吉の三男明治十四年七月を以て生れ同四十二年若尾民造の養子となり後分家す現時甲斐電力會社長たる外前記會社の重役たり【家庭】妻きみ（明一九）養父民造養子甲府英和女學卒　嗣子善太郎（明四一）早大商科在　男信次郎（明四四）長女睦子（大二）二女貞子（大四）東京高女在　五女まさみ（大一一）

若尾金造　若尾銀行　若尾貯蓄銀行各(株)取締　若尾地所部長　甲府市常盤町

君は山梨縣人相吉長造の弟明治廿二年一月同縣に生れ後若尾民造の養子となる資產家として知られ現時前記諸職にあり【家庭】妻政世（明二四）養父民造五女三輪田高女卒　男德平（大七）長女美枝子（大三）二女佐枝子（大九）※若尾謹之助の項參照

若尾謹之助　山梨縣多額納税者　若尾保全(株)代表取締　常磐生命保險　平沼銀行各(株)取締　直接國税三二六八三　東京市京橋區築地二ノ一〇　電京橋一〇〇〇

當家は甲斐源氏より出づ後世に至り歸農したるが先々代逸平に至り分れて一家を創立す逸平初め雜貨商を營み後甲府に吳服店を開く萬延元年橫濱開港に當り生絲棉花の貿易に從事し後幾多の銀行會社に關係して當家の基を建つ先代民造細田氏より入りて先々代の遺業を繼承し且甲府市政其他公共事業に盡瘁し從五位勳四等に敍せらる君は民造の三男同鐵之助の兄明治十五年十月を以て生れ大正六年家督を相續す明治四十四年東京帝大法科政治科を卒業し現時前記會社の重役にして山梨縣多額納税者たり曩に貴族院議員に勅選せらる【家庭】妻ハル（明二〇）子爵西勝男姉　養弟金造（明二二）及其妻子※若尾鐵之助　同金造の各項參照

若尾鴻太郎　東京商業銀行(株)頭取　東京瓦斯(株)取締　所得税二三五七八　東京市麻布區三河臺町　電青山六二〇七

君は山梨縣人貴族院議員若尾璋八の長男明治廿九年十二月を以て生る夙に慶應義塾大學を卒業し米國に學び現時前記會社の重役たり曩に歐米を視察す昭和五年六月父に從ひ外遊の途にのぼる　宗教禪宗　趣味圍碁狩獵聲樂書畫骨董【家庭】妻千代（明三二）東京府人厚母二良長女東京女學館卒　男初男（大八）長女喜久榮（大一二）※若尾璋八の項參照

若尾璋八　勳三　貴族院議員　東京市芝區三田一ノ三四　電高輪一七九〇

君は山梨縣人元衆議院議員廣瀨久政の弟同爲久神戶久

誠の兄若尾晉造同金造同鐵之助の養兄明治六年七月廿七日を以て生れ同廿九年若尾民藏の養子となり大正六年分家す夙に東京法學院を卒業し若尾銀行支配人水戸瓦斯會社取締役等に歷任す同六年以來衆議院議員に當選すること三回政友會總務委員たりしが同十五年之を辭し東京電燈社長に就任東京株式取引所理事外數多の會社の重役たりしが昭和五年六月實業界を隱退し外遊の途にのぼる先是同二年八月貴族院議員に勅選せられ同三年紺綬褒章を賜ふ【家庭】妻きよの（明一一）養父民造二女　長男鴻太郎（明二九）二女繁野（明三五）東京女學館卒三男謹吾（明三九）四男光平（明四二）四女經子（明四三）五男達郎（明四四）六男民彌（大二）長女富美（明三二）東京女學館卒は實業家淺野總一郎三男八郎に三女勝世（明三七）同校卒は東京府人森岡平右衞門三男三郎に各嫁す※若尾鴻太郎の項參照

若尾鐵之助　若尾保全　東京瓦斯　松屋呉服店　平和海上火災保險各(株)取締　石渡電機(株)監査　所得税二〇一五　東京市芝區高輪南町四五　電高輪五三一四

君は山梨縣人若尾民造の四男同謹之助の弟同璋八同金造の養弟明治廿二年五月を以て生れ現時前記諸會社の重役たり【家庭】妻百合子（明二四）東京府人醫博宮下左右輔妹東京女學館卒　男銳之助（大四）長女彌生（大二）二女千歳（大一二）※若尾謹之助の項參照

若尾濤作　丸三工業(株)社長　興電社(株)專務　淺野組(名)理事　丸三商會長　若尾法務部長　辯護士　横濱市中區南太田町二二〇　電長者町二四六三

君は山梨縣の人明治廿年六月を以て生れ夙に若尾民造に撫育せられ先代紋太郎の養子となり大正十一年家督を相續す同三年東京帝大法科獨法科を卒業し同年歐米及南支北滿を歷遊し同七年歸朝横濱正金銀行頭取席に勤務せしが現時前記銀行會社の重役たり【家庭】妻富美子（明二四）神奈川縣人若尾幾太郎從妹　長男元（大元）二男毅（大四）三男晃（大六）長女小百合（大九）四男宏（大一四）

若尾倫　川崎製氷　中央電力各(株)取締　帝國冷藏　帝國ホテル　横濱貿易倉庫各(株)監査　所得税一一〇九　横濱市中區北方町一四四　電本局一二四〇

君は山梨縣人新津十郎右衞門の三男明治元年四月十五日を以て生れ同卅一年先代しげの入夫となり家督を相續す夙に東京高等蠶糸學校を卒業し若尾商店に入り累進して支配人たりしが後之を辭し現時前記諸會社の重役に擧げられ若尾家の一門として知らる　宗教眞宗【家庭】妻しげ（明五）若尾幾造三女　長男潔（明三二）慶大理財科卒横濱火災信用保險會社員　同妻キサ（明三六）神奈川縣人服部重三長女同縣立高女卒　同長男侃（大一五）同三男寛（昭三）二男俊次（明三八）明治學院英文科卒京濱電力勤務　三男春雄（明四二）遞信省無線電信學校卒放送局勤務　四男正也（大三）神奈川縣立一中在　長女妙子（明三四）同縣立高女卒は子爵戸田忠雄弟三菱銀行員法學士五郎に嫁す

若尾義角　山梨縣多額納税者　富士撚絲工業(株)專務　生絲商　直接國税一三七四　甲府市春日町四

君は山梨縣人岡源八の弟にして同治光の叔父明治八年二月を以て生れ同卅二年先代保重郎の養子となり大正六年五月家督を相續す生絲商を營み傍ら前記會社の重役にして山梨縣多額納税者たり【家庭】母みわ（文久二）山梨縣人若尾謹之助叔母　妻うめ（明七）同縣人齋藤龍作長女　長男靜太郎（明三四）同妻照子（明三七）同縣人篠原俾孝五女　同長女陽子（大一四）同二女慶子（昭二）女光代（明四四）二男眞之助（明四二）四女愛子（大三）養妹はじめ（明四四）山梨縣人小野正二女　長女富貴（明三二）は同縣人三村驥逸に二女雪野（明三七）は神奈川縣人和田一郎に各嫁す

若麻積安治　東邦證券(株)取締　東邦電力(株)理事　所得税七四四　東京市外落合町下落合三八九　電大塚三五三九

若麻積家の本家は長野市に於ける舊家にして善光寺の開祖善光の後胤なり君は若麻積海穩の三男明治六年三月十一日を以て生れ同十年分家す同廿九年東京高工機械科を卒業し三井工業部新町紡績所工務主任郡山絹糸紡績工場長郡山電氣會社取締役支配人名古屋電燈調査課長等に歷任し大正十一年東邦電力會社調査課長に就任尋いで同社理事調査部次長に擧げられ傍ら東邦證券會社取締役を兼ぬ　宗教淨土宗【家庭】妻はな（明一一）長野縣士族田原秀人妹　男恒雄（明三三）東京帝大法科英法科卒安田銀行員　同妻直子（明三七）杉浦甲子郎二女跡見女學卒　長女幸（明三一）同校卒は愛知縣人高坂釜三郎に嫁す

若杉吉五郎　正六　特許局技師　審査官　東京市外駒澤町上馬二三五

君は新潟縣人若杉藤吉の男明治廿九年五月一日同縣に生れ後分家す大正十年京都帝大工科を卒業後特許局に奉職技師に任じ審査官を拜命して今日に至る　宗教眞言宗　趣味謠曲尺八運動【家庭】妻しづか（明三四）山梨縣人原田仁兵衞四女三田高女卒

若杉種三郎　長崎海運(株)常務　長崎市櫻馬場町八一　電長崎八〇二

君は佐賀縣人中山惣太郎の二男明治二年四月を以て生れ後若杉家に入り養兄米太郎方より分家す現時長崎海運會社の常務取締役たり【家庭】妻サト（明七）長崎縣人若杉米太郎養妹　孫健太郎（大八）亡長男種雄長男　二男秀（明三二）早大卒　同妻スマ（明三三）佐賀縣人池田醇吾妹　同長男廣太郎（大一四）三男雄三（明三七）東京帝大經濟學部卒　亡長男種雄妻スカ（明三一）佐賀縣人池田醇吾妹　四男豐太郎（明四四）長女靜子（大三）

若旅喜一郎　上州鐵道(株)社長　九州石炭礦業　群馬縣農工銀行各(株)取締　上毛銀行(株)監査　群馬縣邑樂郡小泉町

君は群馬縣人若旅九八郎の長男明治十三年十月を以て生れ同卅年七月家督を相續す現時前記銀行會社の重役たり【家庭】妻しま（明二〇）群馬縣人新島語三郎長女　男泰（大三）女安子（明四四）四男良治（大八）三女ヒロ子（大一〇）四女政子（大一三）

若槻道隆　正五勳五　臺灣總督府視學官　學務課長　臺北市文武町二ノ二官舍

君は長野縣人若槻佛導の二男明治十六年三月四日を以て生れ大正九年家督を相續す明治四十年東京帝大文科哲學科を卒業し岩手縣遠野中學茨城縣太田中學千葉縣松戸園藝學校教諭を歷任し大正三年桐生高工教授となる同八年米澤高工教授次で長野中學校々長を勤務同十四年臺灣總督府視學官に任じ現在に至る曩に昭和三年歐米視察を命ぜられ同四年歸朝す　宗教眞宗　趣味園

碁謠曲【家庭】妻トヨ（明一六）長男哲雄（大二）臺北高等學校在　長女美知惠（明四四）臺北高女卒　二女トシエ（大五）同高女在　三女文子（大八）

若槻禮次郎　從三勳一　内閣總理大臣前官禮遇　貴族院議員　立憲民政黨顧問　產業組合中央會理事　所得税三三三　東京市本郷區上富士前町一二九　電小石川七〇〇〇

君は島根縣士族奥村仙三郎の三男慶應二年二月五日松江市に生れ同縣人先代敬の養子となり明治卅四年家督を相續す夙に同縣簸川郡に小學校教員たりしが後上京同廿五年帝國大學法科佛法科を卒業し大藏省に奉職愛媛縣收税長大藏書記官兼參事官同主税官同主税局長同次官兼行政裁判所評定官釀造試驗所長兼臨時國債整理局長錦鷄間祗候等を歷任す大正元年桂同三年大隈の兩内閣に大藏大臣として入閣後野に入下り同十三年加藤高明内閣成立するや内務大臣となり加藤伯歿後内閣總理大臣に親任せられ内務大臣を兼攝す昭和元年十二月御前に召され左の勅語を賜る

朕新ニ大統ヲ承ケ先朝ノ丕績ヲ纘述セントス卿内閣ヲ總理シ正ニ國均ヲ秉ル其閣臣ト倶ニ協力戮力シテ朕カ志業ヲ輔翼弼成スル所アレ

同二年四月首相職を辭して特に前官の禮遇を賜ふ先是憲政會總裁立憲民政黨顧問となる明治四十四年貴族院議員に勅選せられ現に其任に在り昭和四年十月倫敦海軍會議全權委員として參列す同三年旭日桐花大綬章を授けらる【家庭】養母ナミ（嘉永六）妻トク（明五）養父敬長女　長男有格（明三〇）經濟學士日本銀行員倫敦海軍會議全權隨員被仰付　同妻ミネ（明三六）秋田縣人兒玉要助三女　同長男寛義（大一四）長女繁子（明二五）は島根縣人田原稻美二男法學士元内閣總理大臣秘書官和男に嫁す

若野政次郎　王子工業所(資)代表社員　東京市外王子町船方　電小石川七八一八

君は舊加賀藩士若野信清の三男明治十八年十二月八日金澤市に生れ後分家す夙に米穀仲買業次で寫眞臺紙製造商に從事し明治卅七年入谷町に獨立して臺紙製造商を創む同四十三年米穀商を經營せしも後白米商に轉じ更に大正四年ベニガラ製造業を始め又附帶事業とし顔料一般工業藥品の製造販賣を營み燈臺印木船塗料製造元として知らる現時王子工業所代表社員たり曩に帝國濟美信託會社取締役たり　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】妻ミサ（明一四）齊藤淸吉長女　養子三郎（明四四）平手銀次郎男東京府立化學工業學校卒　長女淑子（大七）女經子（昭二）

若林龜之助　若林保全(資)無限責任社員　人絹(株)監査　堺七内外材木問屋　東京市本所區菊川町一ノ一八　電本所一三三六

君は東京府人若林七五郎の四男明治廿二年六月十二日を以て生れ大正六年家督を相續す明治四十五年慶應義塾理財科を卒業し堺七と號し材木商を營む傍ら前記會社の重役たり交詢社會員　宗教佛教　趣味旅行【家庭】母たけ（安政六）妻信（明二六）東京府人杉村甚兵衞妹東京女高師附高女卒　弟鋼三郎（明三八）慶大卒　弟利德（明三三）※若林利德の項參照

若林義三郎　丸若商店(資)代表社員　材木商　所得税二七七　東京市神田區佐久間町河岸二九　電下谷六八七

君は滋賀縣人吉岡彌平の甥明治四年九月を以て生れ同十九年八月先代正太郎の養子となり家督を相續す夙に材木商を營み合資會社丸若商店代表社員たり【家庭】妻クラ（明一二）東京府人横山太左衞門二女　養子濱司（明二六）長女安夫栃木縣人竹澤龍平弟　長女安（明三四）同長女久江（大一一）

若林健之助　從四勳三　檢事　前橋地方裁判所檢事正　前橋市曲輪町官舍內

君は東京府人若林八尾造の長男明治七年六月を以て生れ同廿七年家督を相續す同卅二年東京帝大法科英法科を卒業し同卅四年檢事に任じ仙臺區同地方福島區同地方各裁判所檢事宮城控訴院檢事横濱富山旭川各地方裁判所檢事正名古屋控訴院檢事松江地方裁判所檢事正に歷補昭和四年九月前橋地方裁判所檢事正に轉じ今日に至る【家庭】妻カホル（明一三）新潟縣人石川眞澄妹

若林五郎平　那須商業銀行(株)取締　栃木縣那須郡大田原町

君は栃木縣人若林五郎二の長男元治元年四月を以て生れ明治廿三年家督を相續す現時前記銀行の重役たり曩に鹽那電氣會社長に擧げらる【家庭】妻タメ（明五）栃木縣人石井作平養子　男鐵太郎（明一九）同妻のぶ（明二二）同縣人大金專太郎姪　同長男秀雄（明三八）長女久壽（明一七）は其夫末造（明一四）同縣人齋藤亥之助弟及其一子を伴ひ三女こう（明二九）も其夫武寛（明二四）同縣人齋藤喜惣太三男及一子を伴ひ各分家し三男三郎（明四三）も亦分家し二女リウ（明二三）は同縣人高橋正司に四女八重（明三二）は同縣人柿沼綏に五女ワカ（明三四）は同縣人臼井暉に六女ヒロ（明三七）は茨城縣人黑澤禰壽に各嫁す

若林光造　洋品商　東京市下谷區竹町一二ノ一五　電下谷二三六二

君は東京府人若林吉之助の養子明治廿六年一月十五日甲府市に生れ大正四年家督を相續す夙に家業の洋傘商に從事せしが後ショール販賣を併營し以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味讀書旅行【家庭】妻和歌（明三〇）長男雄造（大六）長女溫子（大九）二男金次郎（大一二）三男健造（昭三）

若林駒之輔　辯護士　中央市場倉庫(株)監査　所得税三八四　京都市間之町丸太町南入　電上三二〇〇

君は明治四年三月十八日京都市に生れ後分家す同廿六年明治大學法科を卒業辯護士試驗に合格し宮崎縣に於て辯護士を開業同卅七年縣會議員に擧げられ其任に在る事二期後京都に轉し辯護士の傍ら中央市場倉庫監査役として以て今日に至る　宗教眞言宗　趣味圍碁擊劍【家庭】長男三捷（明三七）京大醫科卒　二男大輔（明三八）立命館大學卒　二女相子（明四五）京都府立第一高女卒　三男庫助は妹の養子となる

若林大次郎　若林保全(資)代表社員　堺七材木問屋業　所得税一九四　東京市小石川區關口駒井町一　電牛込二二四三

君は東京府人若林七五郎の五男同龜之助の弟明治廿三年六月を以て生れ同卅一年分家す大正三年慶應義塾理財科を卒業堺七と稱し材木屋を營む傍ら若林保全合資會社代表社員たり【家庭】妻滿壽（明三五）東京府人鈴木喜兵衞四女　長男成和（昭二）長女宏子（大一二）

若林孟夫　日本美術寫眞印刷所(株)技師長　東京市外大井町瀧王子四四二八　電大森三五六七

君は東京府人若林三右衞門の四男明治廿四年一月十三

日同縣南多摩郡忠生村に生れ後分家す夙に麻布中學を經て東京高工應用化學科を修業し傍ら東京美術學校に學ぶ後芝區日野製作所に入り大正八年日本美術寫眞印刷所の設立と同時に同社に轉じ技師長となり今日に至る　宗教臨濟宗　趣味登山寫眞自動車操縱【家庭】妻恒子（明三三）德島縣人仙石學三女同縣高女卒　長男倫夫（大一三）長女初子（大一〇）二女龍子（昭三）

若林忠四郎　仙臺市會議員　自彊堂藥種商　仙臺市荒町一二三　電仙臺一五三三

君は宮城縣人先代忠四郎の長男明治廿一年五月七日仙臺市荒町に生れ同廿八年三月家督を相續し襲名す藥劑師にして若林自彊堂と稱し藥種商を營み現に仙臺市會議員たり【家庭】妻たまの（明二六）宮城縣人金子清五郎二女　長男忠（大七）三男三慧（大一一）四男志郎（大一二）二男次男（大九）は同縣人渡邊巳代の養子となる

若林利德　若林保全(資)社員　東京市外千駄ヶ谷町五六二　電青山一九一四

君は東京府人若林七五郎の四男明治卅三年六月十七日東京市本所區に生る曉星中學を經て大正十三年早稻田大學商科を卒業後若林保全社員となり今日に至る　宗教佛教　趣味讀書旅行【家庭】妻千代子（明四〇）東京府人岩崎治三郎長女日本橋高女卒※若林龜之助の項參照

若林成昭　一色活版所　日本映畫劇場各(株)監査　辯護士　辨理士　東京市芝區南佐久間町二ノ一八　電芝六七七八

君は長野縣人若林左治右衞門の弟明治三年十月を以て生る夙に東京專門學校を卒業し同廿六年辯護士となり法律事務所を開設辨理士を兼ね傍ら前記會社の重役たり曩に東京市會議員同參事會員芝區會議長に擧げらる【家庭】妻稚野（明一一）長野縣人柳澤廣夫姉　男尚（明三四）※若林尚の項參照

若林尚　日本映畫劇場(株)秘書　東京市芝區南佐久間町二ノ一八電芝六七七八

君は長野縣人辯護士若林成昭の長男明治卅四年四月十一日同縣に生る昭和元年慶大法科を卒業し同三年日本映畫劇場に入社し現時同社秘書たり曩に米國を視察す【家庭】妻松子（明四二）東京府人四玉天數馬長女三輪田高女卒　長男昭夫（昭四）※若林成昭の項參照

若林廣松　銘酒忠勇釀造元　酒造業　所得稅一五〇九　兵庫縣武庫郡西灘村岩屋一九一　電御影一〇五

當家は享保年間より兵庫に定住し代々酒造業を營める老舖なり君は同縣人灘西鄕酒造組合長若林與左衞門の弟明治十三年五月を以て生れ若林與兵衞の養子となり大正十五年家督を相續す明治卅年大阪高商を卒業し爾來祖業を承けて酒造業を營み銘酒忠勇釀造元たり　趣味讀書【家庭】養父與兵衞（文久元）妻周子（明二四）兵庫縣人井上善右衞門長女同縣立高女卒　長女信子（大二）神戶女學院高等部在　二女孝子（大六）三女悌子（大一二）

若林不二雄　フェットウェル洋服店主　東京市赤坂區福吉町一　電青山五二五三

君は三重縣士族若林良雄の二男明治廿二年十二月二日津市に生れ大正十五年分家す明治卅七年大倉商業を卒業後三越及白木屋に入り大正十一年現地に洋服店を開業して今日に至ぶ曩に日獨戰役に出征せり磐常會常務理事東京洋服商工同業組合代議員たり　宗教淨土宗　趣味乘馬【家庭】妻こま子（明三三）東京府人小玉鐵太郎二女　二女幸子（昭二）

若林方雄　三菱電機(株)總務課長　東京市外杉並町高圓寺五四七

君は三重縣士族若林良雄の長男明治廿一年三月十四日同縣に生る同四十二年東京高商を卒業直に高田商會に入社材料部次長となり大正十四年三菱電機に轉じ昭和三年總務課長に就任し現在に至る大正三年以降四ヶ年間英國を昭和三年米國を各視察せり　宗教淨土宗　趣味ゴルフ【家庭】父良雄（安政六）妻貞（明三二）山口縣人松岡勇夫姉東京府立第三高女卒

若林松次郎　米穀問屋及小賣商　横須賀市岩松町八〇　電横須賀三四七

君は三重縣人若林象治の男明治十六年十二月同縣一志郡に生れ同卅九年分家す夙に横須賀に出で米穀商を開業横須賀鎭守府の御用を蒙る現時横須賀米穀同業組合員たり　宗教禪宗　趣味將棋【家庭】妻セイ（明一八）神奈川縣士族岡部雄妹　長男旭（明四一）横須賀中學卒　二男辰衞（明四四）開成中學卒　二女キヌ（大一二）横須賀高女在　三女ヨシ（大八）四女松枝（大一三）

若林求己　正五勳四　大阪機械工作所(株)技術部長　兵庫縣武庫郡精道村芦屋大僧一五九二　電芦屋一一七

君は廣島縣人若林次良の弟明治十六年十月を以て生れ大正四年分家す明治四十四年京都帝大理工科機械科を卒業し後海軍砲熕部に入り同四十五年海軍技師に任ぜられ呉海軍砲熕部副部員造兵監督官等に歷補し英國に留學を命ぜられ歸朝後砲熕部々員兼總務部員に補し昭和二年辭し大阪機械工作所技術部長として今日に至る【家庭】妻淸子（明二七）廣島縣人橋本又吉郞女廣島高女卒　長男高行（大三）二男鐵次（大八）二女靜（大一二）

若林彌一郎　工博　三菱鑛業(株)技術部顧問　東京市外高田町雜司ヶ谷一一一八　電大塚三五一三

君は石川縣人若林彌兵衞の三男明治七年八月十五日金澤市に生れ同卅年分家す同卅一年東京帝大工科採鑛冶金科を卒業直に三菱合資會社に入社し荒川鑛山に勤務同社爾來吉岡鑛山長同社東洋課員同社參事三菱製鐵會社員三菱鑛業會社員を經て現時三菱鑛業會社技師部顧問たり大正十一年十二月工學博士の學位を受く　宗教眞宗　趣味讀書登山旅行謠曲【家庭】妻高（明一六）石川縣人畝村與兵衞四女金澤高女卒　養子武夫（明三八）同縣人若林喜三郎二男慶應大學理財科卒

若林保治　六十三銀行(株)東京支店長代理　東京市外千駄ヶ谷町穩田一二

君は長野縣の人明治廿二年一月七日を以て生る大正七年六十三銀行に入り松本稻荷山各支店に歷勤同九年東京支店に轉じ昭和四年四月支店長代理に就任す　趣味園碁【家庭】妻みさと長野縣人北河重太郎三女

若林祐三郎　正五勳四　判事　盛岡地方裁判所長　盛岡市地方裁判所長官舍

君は長野縣士族若林慶太郎の弟明治五年二月を以て生る同卅二年日本法律學校を卒業し判檢事登用試驗に合格同卅五年判事に任じ爾來上田高崎各區前橋浦和各地方三條區各裁判所判事新潟地方長岡支部々長濱松區裁判所判事靜岡地方濱松支部々長樺太地方裁判所長等に歷補し昭和五年盛岡地方裁判所長に補せらる【家

庭】妻トヨ（明一七）群馬縣人岸村平妹　長男芳夫（明四二）二女靜子（明四四）二男武夫（大二）二女てい子（大五）四女すみ子（大八）三男英夫（大一一）長女ふみ子（明三九）は長野縣人神村光顯に嫁す

若林與左衞門　灘商業銀行(株)監査　灘西鄕酒造組合長　灘五鄕酒造組合聯合會長　若林(名)代表社員　兵庫縣武庫郡六甲村八幡宮山三　電御影六九三

若林家は累代酒造業を營み銘酒忠勇釀造元として知らる君は先代與左衞門の長男明治八年一月廿日を以て生れ同十六年家督を相續し襲名し前名雅之助を改む同廿五年東京高商主計科を卒業し祖業を繼承し後若林合名會社を組織して其代表社員たる外前記諸職にあり　宗教眞宗　趣味謠曲園碁【家庭】妻ちゑ（明一二）兵庫縣人嘉納治兵衞養妹　長男昌之助（明三六）神戶高商卒若林合名社員　長女靜江（明四一）聖心女子學院卒　二女節子（明四三）四男威夫（大三）五女馨（大九）

若林賚藏　從三勳一　貴族院議員　錦鷄間祗候　所得稅一六七　東京市麻布區笄町八　電青山六七〇六

君は新潟縣士族若林安靜の長男慶應元年十一月廿八日を以て生れ大正十四年家督を相續す明治廿六年帝國大學法科大學を卒業し山形縣事務官奈良山梨佐賀香川愛媛廣島各縣知事に歷任し現時貴族院議員錦鷄間祗候たり　宗教淨土宗　趣味園碁書畫【家庭】妻ツネ（明九）東京府士族桐野利村養妹　長男虎之助（明二九）同妻伊都子（明三九）東京府人野間口兼雄長女聖心女子學院卒　同長女敦子（大一五）亡弟壯藏妻チヱ（明八）新潟縣人宍倉道昌長女及其子女　長女貞（明三一）は三重縣人滕本晃正に嫁す

若林六策　廣川商店支配人　東京市芝區西應寺町二　電三田三七二八

君は東京府人若林岩治郎の三男明治廿九年十月六日東京市芝區に生れ大正七年家督を相續す同九年慶大理財科を卒業直ちに豐國銀行に入り同十四年廣川建築材料商店に轉じ現に支配人たり　宗教淨土宗　趣味長唄撞球野球【家庭】妻桃子（明四〇）東京府人兼宮水太郎二女精華高女卒　弟喜代治（明三八）慶大卒　妹たに子（明四〇）東京高女卒　弟安藝（大三）慶應商工在

若原收藏　小松製作所(株)東京出張所機械部技師　東京市外瀧野川田端五三五

君は岐阜縣人若原透の二男明治十七年八月十二日同縣に生る同卅九年東京高工機械科を卒業後竹內工業會社日本起重機會社服部製作所等に歷勤後小松製作所に入り現に前揭の任に在り　宗教眞宗【家庭】父透（文久元）母ヒサノ（慶應二）妻幸子（明三〇）京都精華高女卒　長男堯（大一〇）長女千惠子（大六）瀧之川聖學院女學部在　二男淸（昭二）

若原松太郎　丸玉商店(株)常務兼横濱支店長　所得稅六〇四　横濱市磯子區磯子町五四五　電長者町四二二六

君は神奈川縣人若原門四郎の二男慶應二年三月六日を以て生れ後分家す同十七年丸玉商店に入り爾來南仲通支店長横濱支店支配人等に歷任し大正六年常務取締役兼横濱支店長となり以て今日に至る曩に中澤商店專務取締役金線飲料會社監查役たりし事あり横濱酒類商組合相談役たり　宗教眞宗【家庭】妻はま（明一八）長野縣人龜山菊五郎三女

若松吉二　鹿兒島縣多額納稅者　九州木材(株)取締　鹿兒島火山灰珪藻土(株)監査　直接國稅一八二七一　鹿兒島市築町

君は鹿兒島縣人若松吉左衞門の長男安政元年九月を以て生れ明治十六年家督を相續す砂糖並金融業を營み現時九州木材會社取締役たる外前記會社の重役にして同縣多額納稅者たり曩に鹿兒島商業會議所議員同市會議員米穀組合長鹿兒島勸儉銀行取締役等に擧げらる【家庭】妻ユイ（慶應三）鹿兒島縣人海江田準一郎叔母　養子辰司（明一三）同縣人吉岸房吉兄　長女タケ（明二一）養子辰司妻　同長女靜子（大二）同長男吉彥（大七）妹シゲ（安政四）は同縣人海江田準一郎に嫁す

若松友吉　資產家　東京市芝區高輪車町四八　電高輪三九八七

君は新潟縣人仲野榮太郎の三男明治卅四年四月廿一日を以て生れ若松長藏の養子となる夙に慶應大學理財科に學ぶ現時資產家として知らる　宗教日蓮宗　趣味柔道劍道寫眞【家庭】妻わか（明四〇）東京府人山田新吉四女東京高女卒　長女節子（大一四）二女昌子（昭二）

若松虎雄　正六　大使館商務書記官　在英國大使館勤務　Embassy of Japan, 37 Portman Sq., London. W. 1. England.（東京宅）芝區白金三光町五一　電高輪六九九七

君は長崎縣人若松長次郎の四男明治廿三年一月一日同縣に生れ大正十年分家す同三年東京帝大法科經濟科を卒業直に久原鑛業に入社後倫敦支店長代理となり同十年辭して外務省に奉職在英國大使館商務書記官として今日に至る　宗教基督教　趣味ゴルフ【家庭】妻美代子（明三五）山口縣人佐藤市十郎女聖心女學院卒　長女富子（大一三）二女正子（昭元）三女淸子（昭三）

若宮貞夫　從三勳二　衆議院議員（兵庫縣第五區選出）鐵道會議臨時委員　東京市赤坂區表町四ノ一　電青山三〇〇

君は東京府人若宮正海の三男明治八年一月を以て生れ先代正晉の養子となり同卅五年家督を相續す同卅二年東京帝大法科政治科を卒業同年文官高等試驗に合格し遞信省に入りて管船局に勤務し累進して同四十一年海事局長兼地方海員審判所長に任ぜられ爾來北海道遞信局長北部遞信局長管船局長兼高等海員審判所長戰時管船局長等を經て大正十一年遞信次官となり翌十二年航空局長官を命ぜられ後官を辭し同十三年以降兵庫縣郡部より推されて衆議院議員に當選する事三回現に立憲政友會に屬す【家庭】養母よね（慶應三）愛知縣士族勝野秀雄長女　妻こと（明一四）福井縣人大和田莊太郞二女京都府立第一高女卒　長男甲太郎（明三八）長女糸（明四一）御茶水高女卒　二女文（明四三）三輪田高女卒　三女章（大元）四女正（大三）六女切（大八）二男乙二郎（大一一）

若目田利助　正五勳五　日本放送協會關東支部　日本ラヂオ協會各理事　京都電機(株)常務　所得稅一五二　東京市外目黑町三田五一　電高輪六二二六

君は栃木縣人若目田晉三郎の長男明治十二年十二月十二日を以て生れ大正十二年家督相續す明治卅五年東京帝大工科電氣科を卒業し電話事業研究の爲英米に留學し通信局工務課長大阪郵便局電話課長遞信技師等に歷任し後日本電話工業會社專務取締役たりしが現に京都電機常務取締役たり【家庭】妻タニ（明二〇）栃木縣

人崎尾新五郎三女宇都宮高女卒　男利夫（明三九）慶應大學在　女充子（明四一）東京府立第三高女卒　女春子（明四五）同校在　妹恭（明四三）

若森清治　白木屋(株)監査　所得税一六二一　奈良市西寺林町一三

君は京都府人織物商若森絲之助の長男明治十四年二月二日を以て生れ同廿四年十一月家督を相續す同廿八年白木屋呉服店京都支店に入り後本店に轉じ販賣部倉庫部各勤務販賣部仕入部各主任木綿係長營業部長取締役等を經て現時監査役たり【家庭】妻せん（明一八）東京府人佃松吉二女　長男良一（明四一）早大理工科在　二男利夫（大五）奈良中學在　三女美登里（大九）四女昌子（大一二）三男德三（大一四）長女喜代子（明四四）京都府立高女卒及び二女喜美（大元）同校卒は共に京都府人寺田とみに養子となる

若森直良　正六勳五　在郷陸軍三等藥劑官　警視廳技師　建築監督官　工場監督官　東京市外西巣鴨町池袋一四一二

君は千葉縣士族若森直正の長男明治十年八月十四日同縣東葛飾郡旭町に生れ大正元年家督を相續す明治廿四年千葉醫專を卒業翌年一年志願兵として入營日露の役に出征陸軍三等藥劑官に任ず後警視廳技師に任じ建築監督官工場監督官として今日に至る　宗教禪宗　趣味讀書旅行【家庭】母カネ　妻萬龜子東京府人上杉熊松長女山形縣立高女卒　長男直康（明三七）東京高等造園學校卒　二男直一東京府立四中在　三男直治明治學院在　五男直秀（大一三）長女良子（明四〇）東京女子專門卒同校教授　二女三重子渡邊高女卒　三女百子

若山孝二　資生堂石鹼(株)取締　千葉縣東葛飾郡市川町一三九　電市川二五三

君は福井縣人先代初五郎の二男明治廿二年同縣坂井郡三國町に生れ後分家す先代は夙に家業湯屋業を經營せしも明治卅二年六月之を廢して上京石鹼製造業に從事し太陽舍を創設す其間同業組合長東京石鹼製油會社專務取締役東京モスリン製造所長等に擧げらる君其後を承けしが太陽舍の昭和二年一月資生堂石鹼本舗と合併し資生堂石鹼會社の設立せらるゝや其取締役に就任し以て今日に至る　宗教報德宗【家庭】妻婦美（明二四）埼玉縣人西崎秀治妹　長男義雄（明四二）東北實業學校卒　二男雄二（大四）三男富雄（大一〇）四男幸雄（大一三）長女初子（大七）

若山庄造　資產家　京都市下京區東洞院通七條下ル二　電下一五〇三

君は京都府人若山庄造の長男明治四年八月を以て生れ大正八年四月家督を相續し前名政太郎を改む資產家として知らる【家庭】母カシ（嘉永四）長男正雄（明三七）同妻スヱ（明三八）京都府人金子良三妹　女はる子（明四〇）二男政次（大四）妹シカ（明二一）

若山善太郎　從四勳三功五　陸軍少將　工兵監　所得税一九二　東京市外杉並町天沼二一八五　電荻窪八五五

君は愛知縣人若山金作の長男明治十一年二月を以て生れ同卅七年分家す夙に軍籍に入り同卅三年陸軍少尉に任じ爾來累進して大正十三年少將に陞進す此間陸軍省軍務局工兵課長陸軍工兵學校長等を歷補昭和四年工兵監に補せられ以て今日に至る【家庭】父金作（嘉永二）妻津子（明二一）三重縣士族竹内久孝四女　長男一彦（明四〇）二男次郎（明四二）三男三津雄（明四三）長女久枝（大二）二女文江（大四）三女菊枝（大八）

若山瀧三　若山鐵工所主　大阪市住吉區濱口町二八四ノ一〇　電住吉二三二五（營業所）港區南恩加島町一ノ一一　電櫻川一〇四

君は大阪府人若山瀧三郎の長男明治卅一年十一月三日を以て生る大正六年大阪市立工業學校を卒業し同十一年米國に航し同十三年歸朝現時若山鐵工所を經營す　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】父瀧三郎（明六）現戸主　母ひさゑ（明二一）妻せい（明三三）京都府人津田常七二女京都第一高女卒　長女カヨ子（大一二）二女圭子（大一三）三女任子（大一四）妹千代子（明四三）大手前高女卒　妹光子（大一一）妹清子（大一三）

若山武彦　國民新聞社(株)廣告部勤務　所得税一〇〇　東京市外入新井町新井宿二七五六　電大森三〇〇四

君は神奈川縣人若山茂雄の長男明治廿一年八月六日を以て生れ同四十二年六月廿日家督を相續す同四十四年日本大學法科を卒業し大正四年中外商業新報社に入り廣告部營業課主任を經て廣告部長に擧げられ次で營業部長兼廣告部長たりしが昭和二年國民新聞社に轉じ現に同社廣告部に勤務す　宗教禪宗　趣味鬪犬【家庭】母キサ（慶應元）妻喜代（明二六）長崎縣人關龜吉長女東京女子學院卒　男俊輔（大二）立教中學在　女廣子（大一一）

若山德　辯護士　東京市神田區駿河臺南甲賀町八　電神田三五三六

君は埼玉縣人若山元之助の四男明治廿年三月十四日を以て生る大正四年東京帝大法科英法科を卒業直に辯護士を開業今日に至る東京辯護士會員たり　宗教曹洞宗　趣味讀書運動【家庭】父元之助（安政三）妻庸子（明三六）千代田高女卒　長男鐵雄（大一三）

若山要二　醫博　若山病院長　外科醫師　東京市本郷區駒込西片町一〇ほノ一四號　電小石川二六七一（病院）小石川區新諏訪町一三　電小石川三一八五

君は山口縣人宇野弘義の男明治十四年七月十五日を以て生れ後若山十藏の養子となり家督を相續す山口高校を經て同四十一年東京帝大醫科を卒業直に同大學佐藤外科助手となり傍ら日本醫學專門學校女子醫學專門學校各講師木澤病院副院長內務省醫術開業試驗委員日立鑛山病院長等を歷任大正十三年醫學博士の學位を受く震災當時赤十字社東神奈川臨時病院外科醫長となり同十四年六月小石川區に病院を開業し以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味圍碁戸外運動【家庭】妻芳子（明二二）山口縣多額納税者菊屋孫輔妹山口縣立高女卒　長男芳雄（大元）成城高校在　二男滋　三男德三郎　長女壽子

脇道譽　大倉商事　日本電池各(株)取締　所得税一八二二　東京市外品川町南品川宿淺間臺一五一七　電高輪五七五五

君は愛媛縣人高橋健齋の二男明治六年四月を以て生れ同十六年先代濟之助の養子となり同十七年家督を相續す同廿八年慶應義塾大學を卒業後直に大倉商事に入り現に取締役たる外前記諸會社の重役たり工業倶樂部交詢社會員なり　宗教佛教【家庭】妻タマ（明一八）東京府人中山幸次郎四女　長男健太郎（明三六）慶應義塾普通部卒　同妻民（明三五）香川縣人黑川晋十郎二女高松高女卒　同長女知惠子（大一四）同長男泰三郎

（大一五）二女壽美子（大一二）長女順子（明三八）は香川縣人高橋關晴に嫁す

脇坂貫一　從七　安中電機製作所(株)常務　日本國產(株)取締　日本信號(株)監査　共立電機(株)顧問　東京市麻布區笄町一七六ノ二六　電青山四八三七

君は兵庫縣士族脇坂武平の長男明治十五年十月二日同縣に生れ同廿八年家督を相續す同卅四年東京郵便電信學校を卒業後遞信省電氣試驗所に奉職遞信技手遞信技師に歷任後辭して大正八年藤倉電線會社に入社工務部長技術部長に歷任同十二年日本國產會社に入り昭和二年五月安中電機會社常務に就任し現在前掲諸職に在り電氣倶樂部會員なり　宗教淨土宗【家庭】妻かく（明二八）東京府人丸山子堅三女東京高女卒　長男達雄（大六）二女秀子（大八）二男俊彥（大一一）三男震三（大一二）

脇坂峯吉　唐津採炭(株)社長　山口炭礦(株)監査　所得税一五四　東京市芝區高輪北町三〇　電高輪一五六九

君は埼玉縣人脇坂信三の四男明治二年十一月廿一日同縣入間郡に生れ同十五年五月家督を相續す夙に實業界に入り大正八年八月山口炭礦會社創立と同時に監査役となり現に同社長たる外前記會社の重役たり　宗教神道　趣味角力旅行【家庭】妻すま（明一五）埼玉縣人横田德三郎二女香蘭女學卒　長男儀三郎（明三二）早大商科卒　二男安治（明三六）高千穗高商卒第一銀行員　四女みつ（明四〇）淑德高女卒

脇澤襲作　地主　所得税一三〇一　横濱市磯子町一六八六　電本局一三七〇

君は神奈川縣人脇澤金次郎の三男明治十八年六月二日を以て生れ大正四年家督を相續す明治四十二年慶應義塾大學理財科を卒業し同四十四年東京電燈會社に入り大正九年之を辭す資產家として知らる　宗教眞宗【家庭】妻たき（明二八）神奈川縣人地主小岩井義八長女同縣立高女卒　長男光雄（大九）長女榛子（大四）

脇田勇　勳六　脇田商行　馬來護謨公司各(株)社長　長岡銀行(株)監査　東京市赤坂區青山高樹町一七　電青山一五二一

君は舊金澤藩士脇田祐順の長男明治九年九月廿五日金澤市に生る同卅一年中央大學を卒業し京釜鐵道會社文書課長調査課長東京榮銀行專務取締役頭取を歷勤現時前記會社の重役たり曩に東京府會議員たり　宗教淨土宗　趣味謠曲圍碁觀劇讀書【家庭】母ステ（嘉永二）妻金（明一四）福島縣士族日下儀助三女　二男和（明四一）獨逸留學中　三男孝（明四四）二高在　二女外子（大二）双葉高女在　四男典（大四）東京市立一中在　五男弘（大八）六男明（大一一）七男敬（大一二）八男保（大一三）九男修（昭三）長女時子（明三六）は埼玉縣人飯野浩次に嫁す

脇田逸平　帝國社臟器藥研究所主任、藥劑師　東京市外代々幡町代々木八六四

君は岐阜縣人脇田平六の五男明治十二年三月一日を以て生れ大正十二年分家す夙に愛知藥學校を卒業明治卅八年藥劑師試驗に登第同四十年內務省衞生試驗所技手に任じ横濱東京各衞生試驗所に歷勤其間傳染病研究所に於て研究を爲し大正三年大正博覽會審査補を命ぜられ翌年官を辭し二田商會に入り同製藥工場主任となり同七年帝國社臟器藥研究所に轉じ同所主任として今日に及ぶ　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻さき（明一八）東京府人尾崎利吉長女　長男清（明四三）早稻田中學卒　長女花子（大元）東京府立第五高女專攻科在

脇田兼太郎　脇田自動車工場(資)代表社員　八洲自動車(株)取締　自動車修繕業　東京市芝區芝浦二ノ三　電高輪一一二三

君は愛知縣人脇田太七の三男明治十六年十二月六日名古屋市に生れ同卅六年分家す同卅四年横濱市佛人經營のジュランドコップコンパニイに入り在勤十二年後大正三年五月獨立して脇田自動車工場を興し同九年現地に移轉合資組織に改め現時其代表社員たる傍ら前記會社の重役たり　宗教眞宗　趣味演藝【家庭】妻はな（明二一）東京府人田中秋二女　長女正子（大六）

脇田邦一郎　大成火災海上保險(株)東京支店長　所得税一〇八　東京市外大久保町百人町二八五　電四谷一一三五

君は兵庫縣人脇田平五郎の長男明治十六年十一月廿六日同縣に生れ後家督を相續す同四十一年早大政治科を卒業同四十三年ライジングサン石油に入社後東京出張所副主任に就任大正九年大成火災海上保險の創立と同時に入社同十二年東京支店長となりて現在に至る　宗教眞言宗　趣味謠曲【家庭】父平五郎（安政六）妻フサ（明一七）兵庫縣人柏木庄三郎四女　長男一郎慶大豫科在　長女清子（明四四）東京府立第五高女卒

脇田耕四郎　東京市技手兼本鄉區技手　東京市土木局本鄉道路出張所長　東京市小石川區大塚町二四

君は三重縣人脇田幸次郎の二男明治廿一年四月廿一日同縣一志郡高岡村に生れ大正七年分家す明治四十一年同縣立農林學校を卒業直に一年志願兵として步兵第五十一聯隊に入營大正三年中央工學校土木工學科を卒業直に東京市道路課に勤務昭和四年本鄉道路出張所長となり今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書旅行【家庭】妻八重子（明三二）東京府人尾關鈖吉三女千代田高女卒　長男鴻洋（大六）二男瓛丕世（大九）三男南洋（大一二）長女桃子（大一五）二女泉子（昭三）

脇田貞三　西武鐵道(株)取締兼工務部長　所得税七一一　東京市外大久保町百人町六四　電四谷一四五〇

君は東京府士族脇田寬の長男明治十五年四月六日東京市麻布區に生れ同卅七年家督を相續す同卅九年京都帝大工科電氣科を卒業し直に淺野總一郎事務所に入り後武藏水電會社に轉ず大正十一年西武鐵道會社の創立と同時に入社取締役兼工務部長に就任今日に至る電氣倶樂部員なり　趣味旅行【家庭】妻ため（明二二）故男爵橋本正明二女　長男貞正（明四三）長女禎（大元）東京府立第五高女卒　二男寬貞（大九）

脇田久勝　辯護士　東京市日本橋區濱町一ノ一　電浪花三八七八

君は山梨縣人脇田勝芳の男明治廿二年十二月十四日同縣に生る大正八年中央大學法科を卒業し後辯護士試驗に合格同十年現地に於て開業し以て今日に至る現に江東市場東器商組合顧問たり　宗教日蓮宗樂　趣味圍碁撞球【家庭】父勝芳（安政三）現戸主　母てつ（慶應二）妻あき子（明四〇）靜岡縣人鈴木長次郎女常磐高女卒　長男正久（大七）二男博久（大九）長女任子（昭四）

脇谷撝謙　勸學　東洋大學　佛教學院　千代田女子專門學校　武藏野女子學院各教授　佛照寺住職　僧侶　東京市赤坂區青山高樹町二ノ一六滿征館　電青山三七二

君は大分縣人渡邊桂太郎の三男明治十年一月廿五日同縣西國東郡田染村に生れ後佛照寺住職故脇谷諦了の養子となり大正六年家督を相續す夙に本願寺大學林及京都佛教大學考察院を卒業天台宗比叡山大學及京都佛教大學教授となり同三年武庫佛教中學校長支那開教總長關東別院輪當等に就任す現時眞宗本願寺派法主(待遇)にして東洋大學及前記學校の教授を兼ね佛照寺住職たり著書に「華嚴經要義」「佛教五講」「眞宗概説」「親鸞聖人の信仰」「大聖釋學」等あり　宗教眞宗本願寺派　趣味讀書【家庭】妻敏惠（明六）養父諦了長女京都府立第一高女卒　二男義叡（明四一）本願寺大學修　同妻松枝（明四〇）山形縣人高木中晋妹天童高女卒　同長男謙二（昭五）長女芳野（明三四）は福證寺住職松山良純に嫁す

脇村義太郎
東京帝國大學助教授　經濟學部勤務　東京市本郷區富士前町四三

君は和歌山縣人田邊銀行監査役藥劑師脇村市太郎の長男同禮次郎の兄明治卅三年十二月六日を以て生る大正十三年東京帝大經濟學部商業科を卒業して同大學助手となり同十五年助教授に任じ現時經濟學部勤務たり　宗教淨土宗　趣味運動【家庭】父市太郎（明七）現戸主　母ゆき（明一三）妻信子（明三八）東京府士族藤田虎力二女同府立第二高女卒　長男友雄（昭三）長女淸子（昭四）※脇村禮次郎の項參照

脇村禮次郎
三菱銀行(株)四谷支店員　東京市本郷區駒込富士前町四三

君は和歌山縣人田邊銀行監査役藥劑師脇村市太郎の二男同義太郎の弟明治卅七年二月廿一日を以て生る昭和二年東京商科大學を卒業して同年三菱銀行に入社し現時四谷支店に勤務す　宗教淨土宗　趣味運動【家庭】
※脇村義太郎の項參照

脇本米司
從五勳五　鴻池組(株)專務　大阪市港區池島町一ノ三五

君は奈良縣人脇本傳次郎の長男明治元年八月を以て生れ同十六年家督を相續す同廿三年早稻田大學を卒業し現時鴻池組專務取締役たり【家庭】妻田鶴（明三七）高知縣人楠島信龜長女　男鎰郎（明二四）法學士尼崎土地支配人　同妻園（明三二）岡山縣人水田富太郎五女　同長女多喜子（大一〇）長女和（明三五）は宮城縣人鹽澤郁三郎長男誠に嫁し二男鎰二（明三二）は奈良縣人松岡菊三郎の養子となる

脇山啓次郎
長崎縣多額納税者　長崎商工會議所常議員　長崎紡織　長崎自山倉庫　長崎製鐵　九州鐵道　小濱地方鐵道　九州汽船　長崎電氣軌道各(株)取締　大日本製氷　九州製菓　長崎株式取引所　對馬商船各(株)監査　貿易商　直接國税三三六四　長崎市浦五島町二一

君は長崎縣人脇山兵五郎の長男安政六年十月を以て生れ明治二年家督を相續す入來屋と稱し貿易商を營み傍ら前記會社の重役にして長崎縣多額納税者長崎商工會議所常議員たり【家庭】妻トモ（慶應元）長崎縣人相部淸三長女　男良雄（明四一）養子勘助（明二一）長女信子夫福岡縣人岸丈夫弟　長女信子（明二六）同長男良一（大五）同長女タカ（大九）同二女アツ（大一一）同三女ノリ（大一三）二女ヒデ（明三一）は同夫寛（明二七）及其一子を伴ひ分家す

涌島利兵衞
鳥取縣多額納税者　獎惠銀行(株)取締　農業　直接國税二八三六　鳥取縣東伯郡西郷村

君は鳥取縣人涌島猪藏の長男明治十一年六月を以て生れ大正十一年家督を相續し前名保太郎を改む農を業とし傍ら前記銀行の重役にして鳥取縣多額納税者たり【家庭】妻さき（明一〇）鳥取縣多額納税者涌島長右衞門妹　男倫（明三七）女英子（明三九）女美子（明四三）五女眞佐子（大元）三男三郎（大五）弟禮二（明一八）一高卒及び其三子　長女照子（明三三）は鳥取縣人木下顯正に嫁す

涌島良吉
明治火災保險(株)社員　東京市外杉並町高圓寺下屋敷五五三

君は鳥取縣人涌島猪藏の二男同縣多額納税者同利兵衞の弟明治十三年九月廿三日を以て生れ後分家す明治四十年慶應義塾理財科を卒業して同四十三年明治火災保險會社に入社し現時營業係たり　宗教禪宗【家庭】妻壽美（明二四）鳥取縣人藤井安五郎二女鳥取高女卒

鷲尾久藏
從六　農林技師　農務局農產課勤務　所得税九五〇　東京市牛込區市谷河田町一一　電牛込三二三五

君は新潟縣人鷲尾庄八の四男にして同德之助の弟明治廿七年七月五日を以て生る大正八年東京帝大農學部を卒業直に靜岡縣農事試驗場に勤務後農林省に轉じ農林技師に任じ農產課勤務を命ぜられ今日に至る【家庭】妻しま（明三三）長男智一郎（大一〇）二男仁雄（大一二）長女ユウ子（大一三）※鷲尾德之助の項參照

鷲尾久太郎
洛東再整(株)監査　酒造業　兵庫縣武庫郡今津町西谷一四五三

君は兵庫縣人鷲尾政五郎の長男明治七年三月を以て生れ同十九年先代久太郎の死跡を相續し前名保太郎を改む酒造業を營み淸酒しら泉の釀造元にして傍ら前記會社の重役を兼ぬ曩に兵庫縣多額納税者たり【家庭】妻せつ（明一二）大阪府人阿部安次郎長女　男三郎（明三六）神戸高商卒　男正久（明三九）甲南高校卒　女貞子（明四一）甲南高女卒　五男恭助（大四）

鷲尾健治
從四勳三　山口高等商業學校長　山口市新道　電山口一六一

君は新潟縣人鷲尾政直の三男明治十三年一月を以て生る同卅七年京都帝大法科獨法科を卒業し山口高等商業學校教授を經て現に同校々長たり曩に渡歐獨佛兩國に留學す　宗教佛教　趣味謠曲【家庭】妻正（明一六）京都府士族河瀨克廣二女京都第一高女卒　男洋治（明四三）山口高商在　三男浩治（大二）三女直子（大一〇）兄精治（明一〇）現戸主　同妻アサノ（明一五）新潟縣人二宮順忠二女及其子女　兄長平（明五）長女道子（明四〇）山口高女卒は繩田千郎に嫁し弟信一（明一五）弟正吾（明一七）は各分家す

鷲尾弘準
正五勳四　內閣統計局書記官兼內閣恩給局長　人口課長　東京市四谷區東信濃町一〇　電四谷三〇五四

君は三重縣人鷲尾晝方の長男明治十九年八月二日同縣白子町に生る同四十四年東京帝大法科政治科を卒業高文合格後朝鮮總督府試補同府鐵道局參事臨時國勢調査局事務官等歷任現時前記の官職に在り　宗教眞宗【家庭】父晝方（萬延元）現戸主　妻いさみ（明二三）宮城縣人淺井春長五女　長男正弘（大八）長女操（大一二）三輪田高女在　二女とし（昭四）弟弘晉（明二六）同妻千枝子（明三九）三重縣人前川幸助二女　弟弘玄（明二八）同妻ひさ（明三四）三重縣人和田さだ孫　弟弘宣（明三六）妹りう（明三八）弟弘賢（明四二）

鷲尾淸太郎
酒造業　兵庫縣武庫郡今津町東通南一六二二　電西宮八〇

君は兵庫縣人先代萬介の長男明治十七年二月を以て生れ大正十年十一月家督を相續す酒造業を營む曩に兵庫縣多額納税者たり【家庭】母十九（慶應元）大阪府人中辻一二四女　妻とゑ（明一八）兵庫縣人三木堀二妹　男東太郎（明四一）長女美喜（大三）二女敏子（大五）三男二三雄（大七）三女三重（大一〇）四男亨之助（大一二）四女香都（大一四）弟龍藏（明三四）

鷲尾德之助
勳八功七　長岡商工會議所副會頭　六十九銀行(株)專務　長岡商業銀行　長岡拓殖　長岡商事　鮮滿開拓各(株)監査　長岡市表町五丁目

君は新潟縣人鷲尾庄八の長男にして同久藏の兄明治十二年四月を以て生る現時前記會社の重役にして長岡商工會議所副會頭たり昭和四年八月紺綬褒章を賜ふ【家庭】父庄八（弘化三）現戸主　妻キシ（明一二）新潟縣人駒形宇太七姉　長男英一（明三六）二男英治（明四二）三男三郎（明四五）※鷲尾久藏の項參照

鷲尾勇平
日清紡績(株)專務　川越紡績(株)取締　所得税二三七六　東京市本郷區駒込神明町三二〇　電小石川四四六八

君は新潟縣人鷲尾甚平の長男明治十六年十二月十日新潟市に生れ大正十一年家督を相續す明治四十一年東京帝大工科機械工學科を卒業し同年日清紡績會社に入り大正四年高岡工場長となり同六年東京紡績會社技師に轉じ後再び日清紡績會社に復し現時取締役たり　宗教淨土宗　趣味圍碁讀書【家庭】母クユ（安政五）妻タマ（明一七）新潟縣人伊藤仁太郎妹東京音樂學校卒　長男良平（明四四）東京府立五中卒　長女雪（明四三）同府立第一高女卒　二男忠平（大二）本郷中學在　四男龍平（大五）二女花子（大七）六男尙平（大九）三女八重子（大一一）七男勝丸（大一二）四女澄子（大一五）五女弘子（昭二）三男平三郎（大三）は伊藤家に五男俊平（大六）は小泉家に各養子となる

鷲尾義直
木堂雜誌主幹　著述業　東京市本郷區駒込神明町八五

君は秋田縣人鷲尾義富の男明治廿年九月十五日同縣山本郡東雲村に生る夙に秋田魁新報社に入り記者として勤務後秋田毎日新聞主筆萬朝報主筆となり現時月刊木堂雜誌の主幹たり溫軒と號す　宗教儒教　趣味酒【家庭】妻ヨシとの間に四男二女あり

鷲巢昌
建築技師　東京市外井荻町下荻窪三五九　電荻窪九〇七

君は舊幕臣鷲巢八十一の二男明治廿五年八月五日を以て生れ後家督相續す大正八年東京帝大工科を卒業して横河工務所に入り同十三年內務省社會局に奉職昭和二年再び横河工務所に復す曩に三信ビル設計施工監督たり　宗教曹洞宗【家庭】父八十一（明三）母つる（明六）妻りつ（明三四）東京府人櫻井成夫姉双葉高女卒　長男實（大一一）弟尙（明三四）慶大講師　妹彰（明四二）東京府立第二高女卒　同祥（明三〇）跡見高女卒は東京高商卒村岡賛三に嫁す

鷲野米太郎
從七　衆議院議員（京都府第一區選出）日本放送協會關西支部理事　神戸信託(株)取締　昭和金鑛(株)監査　京都市上京區岡崎南御所町二八　電上二八四〇

君は高知縣人楠武三郎の長男明治十六年七月を以て生れ同卅六年先代繁馬の養子となり同卅七年家督を相續す同四十二年東京高師大正四年京都帝大法科獨法科を各卒業し臺灣國語學校教授兼同中學校教諭京都府愛宕郡長京都市高級助役市長代理等に歷任後實業界に轉じ北大阪電氣鐵道會社專務取締役京阪土地取締役太平洋海上火災保險會社專務取締役等を經て現時辯護士にして傍ら前記會社の重役たり京都府より推されて衆議院議員に當選する事二回現に國民同志會に屬す　宗教禪宗　趣味旅行登山【家庭】養母兼代（安政三）高知縣人森木繁右衞門孫　長男駿一郎（明四三）二男雄二郎（大八）女富美子（大九）三男憲三（大一一）

鷲見知枝磨
文友堂　印刷業　東京府北多摩郡千歲村烏山三七一（工場）芝區神明町七六　電芝二一二三

君は岡山縣人鷲見高枝の長男明治十一年五月十五日同縣邑久郡尾張村に生れ同四十年家督を相續す夙に岡山日報社奉天社米子新聞山陰新報米子金井活版所津市伊勢日報に歷勤同卅二年東京築地活版所に入り同卅五年之を辭し獨立印刷業を創め文友堂と稱し今日に至る　宗教神道黑住教　趣味釣魚義太夫【家庭】妻わか（明二六）茨城縣人村田敏藏二女　長男靜雄（明三五）立教中學卒　長女米子（大九）二女幸枝子（大一二）三女房子（大一四）二男知臣（大一五）

鷲山直心
正八勳六　裏千家茶道名譽教授　京都市左京區岡崎北御所町四七　電上一二七九

君は京都府士族鷲山七郎の六男弘化元年二月十七日京都市に生る夙に司法官となり檢事に任じ在官卅六ケ年に及び德島地方裁判所檢事を以て官を辭して爾來直能齋又は宗宙と稱し茶道に專念し現時裏千家茶道名譽教授たり明治元年明治大帝御西下の砌り隨行仰付かりし事二回昭和三年御卽位式に際し金盃を下賜せらる曩に中立賣女子高等手藝學校長たりし事あり　宗教日蓮宗　趣味謠曲【家庭】長男直香（明一七）茶道的傳教授永和齋又は宗吾と號す　同妻初（明二三）同準的傳教授　同長女智惠子（大一二）

綿貫淸隆
正五勳四　判事　旭川地方裁判所長　旭川市七條通一七丁目

君は新潟縣人綿貫權四郎の長男明治八年十一月を以て生る同卅七年東京法學院を卒業し判檢事登用試驗に合格同卅九年判事に任じ爾來根室地方同區札幌地方同區函館區各裁判所判事函館控訴院判事釧路札幌各地方裁判所部長札幌控訴院部長に歷補し昭和二年旭川地方裁判所長に補され今日に至る　宗教カトリック教　趣味謠曲圍碁【家庭】父權四郎（嘉永三）現戸主　妻シゲ（明二五）岩手縣人神貞庸長女　長男正夫（明四四）札幌二中卒　三男隆夫（大一〇）二女百合子（大一三）女信子（大一四）四男光雄（昭二）長女淸子（明四一）札幌廳立高女卒は池田敬に嫁す

綿貫助次郎
荏原土地(株)社長　土地商會(株)常務　鐵屋　銅鐵商　東京市外馬込町八幡丸三三九九　電荏原二五〇三（店舖）日本橋區小舟町河岸二〇號　電浪花三八〇二

君は東京府人梅岡平七の叔父慶應三年九月を以て生れ先代知道の養子となり明治廿三年家督を相續す鐵屋と稱し銅鐵商を營み傍ら前記會社の重役たり【家庭】妻ゑい（明五）東京府人古田庄助妹　長男要之助（明二八）同妻マツ（明三二）東京府人潤岡喜久治郎妹　同長女孝子（大八）同長男順之助（大一三）二男武之助

（明三一）同妻美喜（明三六）栃木縣人小西喜一郎妹　同長男晉之助（昭二）男育之助（明三六）女光子（明三九）長女半（明二四）は大阪府人奥傳八郎に嫁し三女和鹿（明三八）は黑澤こうの死跡を相續す

綿野吉二　横濱商工會議所議員　横濱輸出協會副會頭　太平洋貿易　日本液體アスファルト工業各（株）社長　横濱市中區本牧町十二天町八二三　電本局五〇

君は石川縣人先代源左衞門の長男安政六年十二月廿八日を以て生れ明治廿年家督相續す同十三年横濱に於て九谷燒販賣業を創め同廿六年渡米セントルイス市に電氣事業を視察し歸朝同卅一年川崎電車鐵道專務取締役に就任大正五年太平洋貿易會社を創立社長に推され傍ら前記諸職にあり曩に綠綬褒章を下賜せらる　宗教眞宗【家庭】妻たけ（明二〇）石川縣人小倉六郎三女

亘理榮助　辯護士　辨理士　東京市小石川區高田豐川町四二　電牛込四七〇二

君は岩手縣人森鍵太郎の三男明治廿六年五月廿五日盛岡市に生れ後亘理姓を冒す大正八年早大法科を卒業同十二年辯護士試驗に合格花井卓藏法律事務所に入り翌年獨立開業して今日に至る高田豐川町會顧問たり　宗教禪宗　趣味旅行【家庭】妻なみ（明三一）新潟縣人中川大吉三女日本女子大家政師卒　長女俊子（昭二）

亘理左傳　齒科醫　宮城縣刈田郡白石町大字白石字亘理町四五ノ一

君は宮城縣人亘理盛の長男明治卅三年十一月卅日同縣刈田郡白石町に生れ大正五年七月家督を相續す同八年宮城縣立白石中學校を卒業し更に日本齒科醫專を卒業後現地に齒科醫を開業今日に至る【家庭】母みつ（明一〇）妻はるみ（明三八）宮城縣人菊地亨長女　長男昭太郎（昭二）弟二郎（明四二）弘前高校在　弟正夫（明四四）雜貨商　弟梧郎（大四）白石中在　妹梅（明三五）は宮城縣人山田專十郎に妹松（明三七）は福島縣人瓶子平六に妹竹（明三九）は宮城縣人伏見繁藏に各嫁す

亘理章三郎　正五勳六　東京高等師範學校教授　東京市小石川區小日向臺町一ノ四五　電小石川六三五一

君は兵庫縣人亘理直方の三男明治六年三月同縣に生れ同卅四年分家す夙に第一高等中學校を卒業し同卅五年高等師範學校附屬中學校修身科講師に任ず大正四年東京高等師範學校教授に任ぜられ傍ら商科大學日本大學各講師として現在に至る　宗教佛教　趣味讀書【家庭】妻八重子（明一二）東京府人谷政精長女女子學習院卒　長男俊次（明三九）山形高校在　長女英子（明四一）跡見女學卒　二女輝子（明四三）同校卒　二男達郎（大三）東京高師附中在　三男國郎（大七）四男民郎（大一〇）

亘理晉　松窓療院長　醫師　宮城縣刈田郡白石町元鍛冶小路　電白石一〇一

君は宮城縣人亘理盛の男嘉永六年七月十六日同縣刈田郡白石町に生れ明治十四年分家す同十三年帝國大學醫科大學別科を卒業現地に松窓療院と稱し醫院を開業以て今日に至る曩に縣醫師會長に推され又選ばれて宮城縣會議員となり同縣會議長たり初期以來郡醫師會長に推され多年その職に任ず今上陛下攝政に在せし頃陸軍大演習御統監の爲仙臺市に行啓の砌縣民を代表して拜謁の光榮に浴せり往年君等の唱道創設せる刈田中學講習會は實に白石中學校今日あるの濫觴たり　趣味和歌【家庭】妻きう（安政六）宮城縣人菊地源右衞門長女　長男杏造（明一四）醫學士陸軍々醫　同妻琴（明三〇）千葉縣人平山勘次二女　同二女家（大六）　同三女泰子（大一三）　同二男幸造（大一五）　長女しげ（明一六）は同縣人矢內彌一郎長男精に嫁し二男晉二（明一八）は其妻子を伴ひ三男晉三（明二一）は同妻ヨシ（明二九）福島縣人渡邊彌平治二女と共に各分家し四男四郎（明二五）は同縣人渡邊佐吉孫きうに婿養子となり二女ゑい（明二三）は同縣人鈴木隆平弟俊助に嫁す※亘理晉二　秦野章　上野威　新樂金橘　疋田運猷の各項參照

亘理晉二　驅黴院長　松窓療院副院長　醫師　宮城縣刈田郡白石町亘理町四五

君は宮城縣人元同縣會議長醫師亘理晉の二男明治十八年八月十日同縣刈田郡白石町に生れ大正十二年分家す明治四十二年仙臺醫專を卒業後東京帝大醫科內科介補となり傳染病研究所及佐々木杏雲堂病院に醫員として勤務すること四ケ年後父晉の經營に係る松窓療院に入り副院長となり一般內科小兒科婦人科の診療に從事す傍ら白石中學校白石高等女學校各校醫を兼ね郡醫師會評議員にして驅黴院長たり【家庭】妻まつよ（明二五）宮城縣士族栗原長敬五女　長女文子（大三）二女慶子（大四）三女雪（大七）四女壽子（大九）五女春子（大一一）※亘理晉　秦野章の各項參照

渡干城　武州銀行（株）東京支店支配人　所得稅八五二　東京市麴町區永田町一ノ一六　電銀座一二一三

當家は先代正元より顯はる正元夙に佛國に留學し明治元年外國官事務所鑛山司等出仕仰付けられ後陸軍少佐に任ぜられ兵學寮幼年學校次長參謀局諜報提理三等法制官太政官少書記官同大書記官參事院議官補同議官恩給局主事元老院議官等に歷任し次で貴族院議員に勅任せられ錦鷄間祗候仰付けらる君は其二男明治十四年六月を以て生れ大正十三年家督を相續す夙に早大を卒業して現に武州銀行東京支店支配人たり【家庭】母セツ（安政二）妻みつ（明二一）貴族院議員淺田德則二女東京女學館卒　女秀子（大二）弟久雄（明一八）陸軍步兵少佐及其妻子　弟亮之介（明二〇）及其妻子　弟左近（明二六）弟正監（明三〇）※渡正監の項參照

渡正監　從六　警察講習所教授　東京市外千駄ケ谷町四九六　電青山三七八二

君は故貴族院議員渡正元の九男同干城の弟明治卅年九月五日を以て生る大正十年東京帝大法學部政治科を卒業同年文官高等試驗及外交官試驗に合格し東京府屬となり爾來社會局屬大阪府警視保安課長を經て大正十五年警察講習所教授に任ぜられ今日に至る　趣味登山柔道昆虫蒐集【家庭】妻ツル子（明三八）東京府人尾高次郎女東京女高師附高女卒　長女千鶴（大一四）二女佐和子（大一五）三女惠美子（昭三）※渡干城の項參照

渡井八郎治　靜岡縣多額納稅者　吳服商　國稅九六三〇　靜岡縣富士郡今泉村

君は靜岡縣人先代八郎治の孫明治十七年九月を以て生れ大正十一年家督を相續し前名晴太郎を改め襲名す吳服商を營み現に靜岡縣多額納稅者たり【家庭】妻いま（明二二）靜岡縣人遠藤恒太郎三女　長男八郎（大二）二男長七郎（大五）三男友三郎（大九）長女和賀子

（大一四）二女越子（大一五）

渡瀨完三　昭和肥料（株）商務課長　東京市外入新井町新井宿山王下二四五三

君は鳥取縣人渡瀨幾次郎の二男明治卅三年二月二日同縣に生る大正七年鳥取中學を卒業し大阪市島田商會に入り營業部長となり昭和四年昭和肥料會社商務課長に就任し以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味スポーツ野球乘馬【家庭】妻君代（明三八）鳥取縣人三島千藏長女米子高女卒

渡瀨三郎　東京興農園（株）專務　渡瀨同族（株）副社長　智利硝子普及會日本農具種苗園藝品生花販賣輸出入業本部常務理事　東京市外澁谷町美竹三一　電青山五一五八

君は東京興農園監查役渡瀨雅太郎の弟明治廿八年二月十六日東京市赤坂區に生れ昭和四年分家す大正七年東京農業大學を卒業し現時前記諸職にあり　宗教基督教　趣味音樂庭球水泳園藝旅行讀書【家庭】妻長子（明三九）山口縣士族福原榮太郎長女　長男良道（昭三）

渡瀨正麿　國際汽船（株）設計係長　東京市外杉並町阿佐谷四七　電荻窪四七五

君は東京府士族渡瀨正秀の長男明治十七年八月卅一日東京市に生れ大正四年家督を相續す明治四十一年東京帝大工科造船科を卒業直に三菱長崎造船所技師に就任大正二年英獨見學同六年轉じて鈴木商店造船部設計部長となり同九年再度歐米視察昭和三年再轉して國際汽船設計係長に就任して今日に及ぶ造船協會員なり　宗教神道　趣味美術【家庭】母京子（元治元）妻折江（明二四）靜岡縣人島崎仁策長女東京女學館卒　長男眞生（大一五）二女道江（大四）双葉高女在　三女弘子（大六）四女英子（大八）五女純子（大一一）

渡瀨雅太郎　東京興農園　渡瀨同族各（株）監查　農具種苗輸出入販賣業　東京市外澁谷町美竹三一　電青山五一五八

當家は世々幕臣として德川家に仕ふ君は東京府人先代寅次郎の長男明治十七年十一月沼津市に生れ大正十五年家督を相續す先代寅次郎は夙に札幌農學校を卒業し茨城縣立水戶中學校同師範學校各校長となり後園藝に志し株式會社東京興農園を設立して社長となり又內國勸業博覽會審查官東京市會議員市參事會員赤坂區會議長大日本農會理事に擧げらる君夙に早稻田大學に學び後園藝視察の爲め渡米す歸朝後遺業を繼承して農具種苗輸出入業を營み前記會社の重役たり　宗教基督教【家庭】母かめ（文久元）妻キミ（明二四）北海道人佐藤藏之助長女　弟昌勝（明三七）法學士　弟成美（明四〇）學習院高等科在　妹はな（明一九）は衆議院議員小坂順造に妹はるゑ（明二二）は東京府人工學士遞信技師加藤成一に妹さと（明三四）は同府人小島虎之輔に各嫁し弟次郎（明二四）農學士は神奈川縣人田中平八に妹ゆう（明三〇）は叔父相田正述の各養子となり弟三郎（明二八）は分家す

渡部薰　辯護士　辨理士　横濱市磯子區磯子町一六六六　電長者町一三八六（事務所）中區本町六ノ五〇　電本局二二四〇

君は愛媛縣士族渡部美晴の長男明治十三年十月七日松山市に生れ大正三年家督を相續す明治卅六年明治大學法科を卒業後辯護士試驗に登第し同四十五年法律事務所を開設す横濱辯護士會常議員にして曾て同議長に推されしことあり　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻たま（明三〇）神奈川縣人菅原務姉同縣立高女卒　長女綾子（大六）二女琴（大九）

渡部龜吉　富士屋均一タクシー（株）取締　渡部ビルディング主　渡部自動車部　東京市京橋區濱町渡部ビル　電京橋二〇八〇

君は東京府人渡部淺吉の長男明治廿年五月廿四日を以て生れ後家督を相續す夙に錦城中學を卒業し後家業に從事して今日に至る同家は明治廿二年創業始め自轉車製造販賣に從事大正五年現業に轉じ傍ら寫眞部自動自轉車部撞球部を併營すシボレー副代理店にして事故防止會副會長並東京自動車業組合理事たり　宗教眞宗【家庭】妻よしの（明二五）東京府人沼田弘三妹同府立第一高女卒　長男泰助（大五）同市立一中在　二男眞年（大八）三男明雋（大一〇）長女房能（大一二）妹つる（明二三）は醫學士織本一雄に嫁す

渡部介　日本石油（株）會計課長　所得稅一〇三六　東京市外大崎町桐ケ谷宮ノ上二二八ノ一　電高輪二四五四

君は兵庫縣士族渡部臯の長男明治六年五月八日姬路市に生れ同十七年家督を相續す同廿五年神戶高商を卒業後村井兄弟商會上海英米煙草會社等に歷勤し同四十二年寶田石油會社に入り後支配人となり大正十年同社の日本石油會社に合併さるゝや其經理部副部長に就任し現に會計課長たり　宗教神道　趣味銃獵旅行【家庭】妻トシ（明一四）神奈川縣人中眞一叔母　長男進（明三七）慶大經濟學部卒　三男明（明四三）成城高校在　長女きく子（明三二）長岡高女卒は長崎三菱造船所技師工學士佐賀縣人江口勢太に二女てる子（明三六）同校卒は東京府人横濱正金銀行東京支店員明治學院卒石樽秀夫に各嫁す

渡部忠壽　從五勳四　辯護士　東京市外世田ケ谷町二〇八　電世田ケ谷三四五

君は愛媛縣士族渡部賢明の二男明治十年八月を以て生れ同四十二年家督を相續す同卅六年東京帝大法科獨法科を卒業し同年文官高等試驗に合格す爾來司法官試補判事埼玉縣屬兼警部內務屬京都府葛野郡長群馬縣警察部長農商務書記官兼同省參事官福岡縣警察部長群馬兵庫神奈川各縣內務部長に歷任し後官を辭して辯護士を開業す曩に北辰會專務取締役たりしが大正十五年北樺太石油會社の成立と共に顧問辯護士となる【家庭】妻サダ（明一四）愛媛縣人平野德五郎長女松山高女卒

渡部民治　從五勳六　秋田貯蓄銀行（株）常務　所得稅一三六　秋田市本町五丁目

君は秋田縣士族渡部仙彌の長男明治五年五月十八日同縣由利郡龜田町に生れ後家督を相續す同卅四年秋田縣屬となり爾來同縣事務官補庶務會計各課長川邊鹿島各郡長同縣理事官勸業課長等に歷任大正十年官を辭し實業界に入り秋田貯蓄銀行創立に際し取締役兼支配人に擧げられ同十五年常務取締役に推され今日に至る宗教曹洞宗　趣味圍碁大弓【家庭】妻タキ（明一五）秋田縣士族保士喜久松妹　長男光雄（明三六）日本齒科醫專卒　長女トミ（明三二）は秋田縣人三神正健二男正苗に嫁す

渡部貞次郎　渡部組　土木建築請負業　所得稅五七　東京市外大久保町東大久保四三七　電四谷五〇七

君は岐阜縣人渡部惣五郎の三男明治廿三年二月廿四日同縣不破郡赤坂町に生る夙に金澤商業を卒業後山本組の代表者となり建築業に從事せしが大正十二年獨立し

て土木建築請負業を營み以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味狩獵謠曲【家庭】母テツ（元治元）妻滿壽子（明二五）石川縣人石浦五平妹金澤高女卒　長男惣太郎（大一二）長女喜壽子（大一五）

渡部敏　從六勳五　通信書記　淺草郵便局長主事　東京市牛込區喜久井町二〇　電牛込六二四六

君は青森縣人渡部敏謙の長男明治十一年十二月二日青森市に生れ後家督を相續す夙に青森郵便局に入り遞信事務に從事すること多年爾來新潟郵便局遞信省遞信局規畫課勤務西比利亞野戰郵便局長東京遞信局監督課調査掛長牛込郵便局長を經て昭和三年淺草郵便局長となり今日に至る　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】妻ミツ（明一三）山口縣人後藤好輔妹　二男謙（大四）成城中學在　三男博（大七）

渡部廣正　山口銀行(株)檢査主任　東京市外杉並町高圓寺六〇五

君は秋田縣士族渡部廣晉の長男明治十年一月二日秋田市に生れ後家督を相續す夙に共立學校及東京專門學校に學び同卅二年山口銀行に入り其間商業銀行の整理及朝鮮商業視察の任に當り後檢査主任に就任して現在に至る　宗教禪宗　趣味園藝【家庭】妻よね（明二六）東京府人平間敬次郎長女　長男廣明（明四〇）松本高校在　長女光子（明四二）青山女學院卒　二女富美子（大元）櫻蔭高女在　二男廣德（大一三）

渡部信　從四勳三　宮內省參事官兼式部官兼內大臣府御用掛　大臣官房文書課長事務取扱　所得稅二二八　東京市本鄉區駒込上富士前町一二五　電小石川二三

君は野州壬生藩士渡邊邁の二男明治十七年八月十六日を以て生れ同卅五年家督を相續す先代邁は維新後會計檢査院に奉職し後二荒神社三島神社等の官司を拜命す君は明治四十一年東京帝大法科佛法科を卒業し遞信省書記官帝國大學法科大學講師宮內省式部官兼內務省參事官外務省書記官等歷任現時前記の官職に在り大正十五年勳三等旭日中綬章を授げらる昭和元年十二月大喪使事務官被仰付囊に歐洲を漫遊す日佛協會員たり　宗教眞宗　趣味圍碁【家庭】妻ノブ（明三〇）東京府人加藤利久藏妹

渡部道太郎　北海水力電氣(株)監査　電氣化學工業(株)囑託　王子製紙(株)秘書　東京市麻布區宮村町六六　電青山六一九三

君は明治十年東京市に生る同卅六年東京帝大法科政治科を卒業し日本銀行調査局に入り在勤七年北海道拓殖銀行に轉じ秘書役兼調査課長たりしが次で王子製紙會社に入り同社重役秘書となり大正十五年北海道水力電氣會社の創立と共に其の監査役に就任今日に至る傍ら電氣化學工業會社囑託たり柳絮子と號す

渡部三彥　渡部商會　船具雜貨商　東京市麴町區三年町二　電銀座一〇二五　（店舖）京橋區本湊町八　電京橋二七三〇

君は栃木縣人渡部渡の男明治十一年七月六日同縣に生れ後分家す同卅五年東京外國語學校西班牙語科を卒業三井物產會社に入り各地支店に歷勤し大正元年石灰店を自營後三井物產會社川崎埠頭構內に於て船舶用品販賣業に從事し現時渡部商會を經營す　宗教時宗　趣味書畫骨董圍碁【家庭】妻純江（明二〇）千葉縣人飯田佐次兵衞女立敎高女卒

渡部素　東京製線(株)取締　北斗工業所主　東京市外大井町林附二四八　電高輪四七八〇

君は渡部章の二男明治十四年三月八日廣島市に生れ同廿九年家督相續す一高を經て同四十四年東京帝大工科を卒業して天野工場技師東京市電氣局芝浦工場長に歷職し後北斗工業所を創立今日に至り傍ら前記會社の重役たり電氣倶樂部造船協會各會員なり　宗教佛教　趣味讀書撞球【家庭】妻與志子（明二七）茨城縣人林紫郎長女愛知縣立高女卒　長男俊介（昭二）長女御代子（大一二）二女素子（昭三）

渡部求　後藤風雲堂(株)取締　京三製作所(株)監査　所得稅七七　東京市外西巢鴨町宮仲二三九九

君は福島縣人渡部甚吾の長男明治廿六年三月廿九日を以て生る大正四年東京高工電氣科を卒業し直に後藤風雲堂に入り現時取締役たる外前記會社の重役を兼ぬ曩に歐米各國を視察す　宗教天台宗　趣味讀書旅行【家庭】母千代（慶應二）妻貞津（明三四）福島縣人江川鋼二郎長女會津高女卒　弟亮三（明三八）獸醫　同七郎（明四二）姉しん（明二〇）同たか（明二四）妹まさを（明三〇）は各他に嫁す

渡邊昭　勳四　辯護士　京都市柳馬場二條下　電上五八

君は福島縣人渡邊寅吉の三男慶應二年五月一日を以て生れ後分家す英吉利法律學校を卒業して辯護士となり後京都府會議員同參事會員同市會議員同市會議長同辯護士會長を歷任し衆議院議員に選出せらるる事三回に及ぶ　宗教曹洞宗　趣味圍碁【家庭】長男一郎（明二五）京都帝大法科卒辯護士　養子政雄（明二五）同志社大學經濟科卒三井物產哈爾賓出張所勤務

渡邊昭　正五　伯爵　所得稅二三二〇　東京市芝區高輪南町七　電高輪七八

當家は先々代千秋より顯る千秋は舊信州高島藩士にして夙に勤王の大志あり明治維新に際し東奔西走王事に盡瘁す明治二年伊奈縣に出仕し後鹿兒島縣知事行政裁判所評定官滋賀縣知事北海道廳長官內務次官錦鷄間祗候京都府知事內藏頭宮內次官等を歷補明治四十三年宮內大臣に任ぜられ大正三年之を辭す明治卅三年華族に列し男爵を授けられ同四十年子爵に進み同四十四年伯爵に陞る先代千春は東京帝國大學文科を卒業し獨逸に留學經濟學を修め歸朝後橫濱正金銀行に入り日本銀行に轉じ理事に擧げらる君は其長男明治卅四年十二月を以て生れ大正七年家督を相續し襲爵仰付らる同十一年學習院高等科を卒業し東京帝國大學文學部に學ぶ【家庭】祖母とし（嘉永元）母留子（明一五）公爵大山柏姉　妻春子（明四〇）男爵小畑大太郎長女女子學習院卒　弟光（明三六）妹幸子（明四〇）妹愛子（明四二）弟正（大元）

渡邊章　從二勳二功二　男爵　在鄉陸軍中將　廣島市上流川町二八

君は山口縣人村上久司の二男嘉永四年二月を以て生れ先代與右衞門の養子となり後家督を相續す明治四年陸軍少尉に任じ累進して同卅九年中將に陞る其間第一軍副官步兵第十八留守步兵第廿一各聯隊長近衞步兵第二混成第五步兵第十九各旅團長第三第八各師團長等を歷補し同四十年日露戰役の功に依り功二級金鵄勳章を賜り特旨を以て華族に列し男爵を授けらる大正七年退役となり今日に至る【家庭】養子コウ（明七）福岡縣士族志田靜馬孫

渡邊旭　日本金錢登錄機(株)常務　集成社(株)理事　專修大學講師　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町長谷二三〇

君は廣島縣人渡邊泰造の二男明治十八年九月八日を以て生れ後家督を相續す同四十四年慶大理財科を卒業後鐘淵紡績營業部員日本絹布支配人等を歷勤し大正十三年集成社に入社理事に就任し現時前記の諸職に在り　宗教眞宗　趣味運動【家庭】母ちか（安政五）妻はな（明二八）廣島縣人熊谷榮次郎五女廣島高女卒　長男泰一（大五）關東學院在　二男洋二（大九）長女美代子（大一四）

渡邊惇　十五銀行(株)檢査課長　所得稅一五四　東京市外世田ヶ谷町池尻二三七　電世田ヶ谷五七五

君は奈良縣士族渡邊安二郎の長男明治十七年九月六日同縣に生れ同卅一年家督を相續す同卅六年浪速銀行に入り後同行の十五銀行に合併後昭和三年十五銀行檢査課長に進み今日に至る　宗教曹洞宗　趣味撞球【家庭】妻ミツ（明二四）大阪府人鎌田林藏女　長男孝（大七）二男章（大一〇）二女加代子（大元）常盤松高女卒　三女豔子（大二）同校在　四女須惠子（昭二）

渡邊伊三吉　日本硫黃(株)監査　旭商會主　諸機械類販賣業並火災保險代理業　東京市小石川區原町六九　電小石川九五八（營業所）麴町區丸ノ內有樂館內　電丸ノ內一九一九

君は新潟縣高野家の人慶應三年三月廿五日同縣蒲原郡に生れ東京府人先代伊三吉の養子となり後家督を相續し舊名寅治を改め伊三吉を襲名す夙に早稻田大學行政科を卒業し日本石油會社に入り累進庶務課長たりしが後之を辭し旭商會を創立し諸機械類販賣並に火災保險代理業を營み今日に至る宗教佛教　趣味書畫骨董【家庭】長男吉次（明二七）東大文科卒東洋大學教授　三女美哉子（明四〇）は新潟縣人根津耤吏に嫁す

渡邊伊助　福岡縣多額納稅者　紙與商店(株)取締　紙與呉服店(株)監査　古着荒物商　直接國稅一五五三　福岡市下對馬小路町一四四四　電福岡六五八

君は福岡縣人岸田七作の二男嘉永三年十月を以て生れ明治八年一月渡邊與三郎の養子となり分家す古着及荒物商を營み傍ら前記會社の重役にして福岡縣多額納稅者たり【家庭】妻ヤヱ（安三）養父與三郎三女　二男正次郎（明一四）同妻キミ（明一九）福岡縣人西原秀太郎長女　同長男伊七郎（明三八）同養子鐵兒（明三三）同長女八重於夫福岡縣人野村直躬弟　同長女八重於（明三六）同二男與一郎（明四〇）同三男荒次郎（明四三）同四男六郎（大三）同六男洋輔（大一〇）同二女タキ（大二）同三女政子（大八）同四女千代子（大一二）曾孫喜養子（昭二）養孫鐵兒長女　四男信次郎（明二七）は同妻キチ（明二九）福岡縣人安永文治妹及其子と共に六男榮次郎（明三〇）は各分家す

渡邊伊助　民友社員　東京市外澁谷町羽澤八八　電青山一五〇五

君は千葉縣人池田竹次郎の男明治廿五年四月廿三日同縣に生れ後渡邊宗七の養子となる夙に宇田川清兵衞商店に入り船具商に從事し現時民友社鑄造部に勤務す　宗教禪宗　趣味旅行謠曲【家庭】養父宗七（文久二）現戶主　養母かま（文久元）妻ふき子（明三〇）神奈川縣人廣瀨善治妹元町高女卒　長男宗助（大一一）二男信次郎（大一三）長女ふみ子（昭元）

渡邊伊勢吉　天理敎權中講義　同敎東京敎務支廳主事　同敎明十支敎會長　東京市外日暮里町旭町一ノ四三　電下谷五六九八

君は愛媛縣人渡邊重吉の五男明治十八年七月七日同縣宇摩郡小富士村に生れ大正十五年分家す夙に機械學を學び後天理敎校別科を卒業して同敎敎師となり昭和三年明十支敎會長となり同年東京敎務支廳主事に進み今日に至る　趣味讀書旅行【家庭】妻增榮（明二四）奈良縣人山口善司三女　長男伊與藏（大三）天理中學在　長女美智（大八）二男喜德郎（大九）二女美代子（大一三）三女昭子（昭三）

渡邊伊太郎　石川縣多額納稅者　農業　直接國稅一〇九三　石川縣河北郡英田村

君は石川縣人渡邊與平の長男明治十一年十一月を以て生れ同四十三年家督を相續す農業を營み現に石川縣多額納稅者たり曩に吉田銀行監査役に擧げらる【家庭】母きた（文久元）石川縣人川端喜平二女　妻加男利（明二四）富山縣人上埜十右衞門妹　男兼武（明四二）長女千代子（明四五）三男信勝（大四）四男豐春（大六）五男國綱（大七）六男正俊（大一一）二女靜子（大一三）男外雄（大一〇）は富山縣人老田ハツの養子となる

渡邊郁二　京都府多額納稅者　京都商工會議所議員　京都火災保險　京都會館各(株)取締　京都日出新聞社(株)監査　布屋　西陣織物帶地卸商　直接國稅六五七六　京都市下京區東洞院六角下ル　電本局一五七

君は京都府人渡邊圭一郎の弟明治十一年四月を以て生れ同十八年兄の後を襲ひ家督を相續す西陣織物帶地商を營み傍ら前記會社の重役にして京都商工會議所議員京都府多額納稅者たり昭和三年紺綬褒章を賜ふ【家庭】妻アサ（明二〇）京都府人鳥居宗七三女　男郁太郎（明四四）女さだ（明四一）二女美代（明四五）二男四一郎（大一〇）三男定三（大一一）四男甲子郎（大一三）五女萬壽子（大一四）四女八重（大六）は京都府人鳥居米吉に養子茂（明二四）岐阜縣人福見一郎妹は同縣人長谷川二郎に各養子となる

渡邊幾治　東京染糸布(株)取締　東京市外戶塚町宮田三〇〇　電牛込五一三四

君は東京府人渡邊壯六の二男明治廿二年一月十八日同府に生る同四十五年東京高商を卒業して柴川商店に入り大正四年辭して支那貿易に從事し同七年東亞綿絲工業會社常務取締役となり同十一年現職に就く【家庭】妻文子（明三六）長女珠子（昭元）

渡邊一郎　醫博　東京慈惠會醫科大學助教授　東京病院泌尿器科部長　醫師　東京市麻布區笄町一八〇　電青山六四八八

君は栃木縣人渡邊午吉の長男明治廿三年四月廿六日同縣に生る同四十五年慈惠會醫事を卒業し直に同校病院に勤務次で米國に留學歸朝後阿久津病院副院長に擧げられ大正十二年東京病院に轉じ現に泌尿器科部長たり傍ら母校助教授を兼ぬ昭和二年醫博の學位を受く　宗教淨土眞宗【家庭】妻糸子（明二五）渡邊勘次郎五女栃木高女卒　男千春（大三）成溪高校在　長女百合子（大九）二女滿里子（大一四）三女瑠璃（昭二）

渡邊一郎　越後屋　駒形どぜうや　割烹業　所得税四〇四三　東京市淺草區駒形町四五　電淺草二五七〇〇

當家は創業以來百數十年駒形に住して越後屋と號しどぜう割烹業を營み其名を知られし老舗なり君は東京府多額納税者先代助七の長男明治卅三年九月を以て生れ昭和三年家督を相續す大正十四年東京商大を卒業し家業を繼承す【家庭】母たよ（明四）妻竹（明三四）東京府人大川錠吉長女東京府立第一高女卒　男昭一郎（大一五）弟得治郎（明三五）東京商大卒　妹婦美（明三七）東京府立第一高女高等科卒　弟繁三（明三九）弟祿郎（明四三）妹章子（明四一）東京府立第一高女卒　妹幸子（明四五）同校卒　妹正子（大三）同校在

渡邊市太郎　中外印刷　第二中外印刷　名古屋印刷各(株)社長　所得税四七五　東京市牛込區中里町一九　電牛込二四七三

君は愛知縣人渡邊市郎左衞門の長男明治六年十二月八日同縣寶飯郡御油町に生れ同廿五年家督を相續す同卅年合資會社光彰館を創立社長として印刷業に從事し後忠勇顯彰會委員を囑託され大正四年中外印刷株式會社の創立と同時に同社專務取締役に轉じ同十四年五月社長に就任し今日に至る傍ら前記會社の重役たり　宗教淨土宗【家庭】妻るい（明一八）東京府人望月宮太郎長女　嗣子一郎（明三〇）東京商工學校卒中外印刷取締役兼支配人　同妻とく（明三五）愛知縣人平松喜三治五女　同長男一夫（大一四）同長女昌子（大一〇）同三女文子（大一二）男淸（明三九）二女八重子（明四三）跡見女學卒　四男攸雄（明四五）京北實業卒　六男信雄（大八）七男元雄（大九）

渡邊岩吉　肉商　東京府荏原郡玉川村奥澤三一五　電田園調布一七六

君は東京府人渡邊繁二郎の長男明治廿六年七月九日東京府に生れ後家督を相續す大正十三年肉商を創め今日に至る　宗教佛教【家庭】妻まさ（明三〇）長男泰雄（大八）二男清治（大一〇）長女房子（大一四）二女艶子（昭二）三女照代（昭四）

渡邊巖　地主　東京市外品川町北品川宿二五七　電高輪二一一七

當家の先代正雄は東京府の人早稻田大學卒業後實業界に入り亞細亞ゴム株式會社を創立專務取締役に就任大正五年病歿す君は其長男明治四十年十月廿三日を以て生れ大正五年家督を相續す現に慶應大學豫科に在學中なり　宗教眞言宗【家庭】母よね（明二二）妹靜江（明四二）東京女學館卒

渡邊丑之助　常磐印刷(株)取締　東京市外蒲田町北蒲田九四一

君は東京府人渡邊藤太郎の長男明治十九年三月廿二日同府に生る大正三年早稻田大學商科を卒業し同七年常磐印刷會社取締役に擧げられ今日に至る　宗教眞言宗【家庭】母さと（安政二）妻ます（明二四）東京府人高野龜吉二女　長男淳（明四二）大倉高商在　長女那美子（明四四）大森高女卒　二女歌子（大二）東京府立第八高女在　三女艶子（大三）東京高女在　二男浩（大七）四女佳子（大一〇）五女富二子（大一四）

渡邊浦太　金庫製造業　横須賀市岩松町八五　電横須賀五六四

君は石川縣人石川香太の三男明治卅年十二月同縣に生れ後渡邊姓を冒す大正十二年中央大學政治經濟科を卒業す同九年友人木下與太郎と共同にて東京市深川區東元町に工場を起し金庫製造及酸素瓦斯製造販賣業に從事し後現住所に移轉獨立金庫製造業を創め今日に至る　宗教眞宗【家庭】養母ます（慶應二）現戶主　妻淸（明三三）養母ます長女　長女知世（大一三）

渡邊榮次　大阪府多額納税者　煙草元賣捌業　直接國税六五七八　大阪市港區北境川三ノ三五　電西六九九六

君は鹿兒島縣人渡邊清七の弟慶應元年一月を以て生れ大正四年分家す現に煙草元賣捌業を營み大阪府多額納税者なり【家庭】妻トモ（明一三）福岡縣人石村卯三郎三女　養子肇（明四三）同縣人石村卯三郎七男　養子勢伊（明三八）東京府人龜澤半次郎長女は京都府人藤木魁に嫁す

渡邊修　正六勳三　臨時電氣事業調査會委員　大阪商工會議所議員　大阪三品取引所(株)理事長　大阪電球　宇和水電各(株)社長　國光生命保險(互)第一火災海上　朝鮮鐵道　日本瓦斯　佐世保鐵道各(株)取締　朝日海陸運輸　東京電氣　關西聯合電球　大同電氣各(株)監査　中外印刷(株)相談役　伊豫鐵道電氣(株)顧問　電氣協會長　所得税一三〇一一　東京市麴町區平河町六ノ二〇　電九段六二九（大阪宅）天王寺區堂ケ芝町一〇五　電南七八三九

君は愛媛縣人渡邊宇平太の二男安政六年十二月十日を以て生れ明治十九年家督を相續す同十四年慶應義塾を卒業し爾來農商務省御用掛外務省參事官兼臨時臺灣電信建設部事務官長崎札幌各一等郵便局長愛媛香川各縣書記官等を歷任し次で佐世保市長に擧げられ後辭して實業界に入り横濱取引所理事長南豫製紙及京都電氣鐵道監査役大阪電燈常務取締役等たりしが現時大阪三品取引所理事長たる外前記會社の重役たり又商工會議所議員に推さる曩に北米合衆國を視察漫遊し愛媛縣より選ばれて衆議院議員たる事七回に及ぶ　宗教禪宗　趣味圍碁觀劇讀書【家庭】妻ソノ（明三）長男精一（明二四）慶應理財科卒　妹モト（元治元）は愛媛縣人高田清盈二男久五郎に嫁す

渡邊乙兵衞　ジヤパンツウリストビユーロー主事　東京市外中野町三〇四五（ジヤパンツウリストビユーロー事務所）麴町區丸ノ內一ノ一東京驛北口　電丸ノ內八〇一

君は宮城縣人渡邊りきの男明治廿一年九月廿日同縣刈田郡白石町に生る同卅九年白石中學を卒業後鐵道院中央教習所英語科を卒業鐵道書記に任じ次で渡米歸朝後ジヤパンツウリストビユーローに入り現に其主事たり【家庭】妻クニエ（明三一）男哲郎（大七）長女綾子（大一一）※纓片清次　鈴木俊一郎　村上雄治　渡邊又四郎　同豐吉の各項參照

渡邊音次郎　渡邊商事(株)常務　金森(名)理事　貿易商　東京市麴町區飯田町六ノ一九　電九段二八四三

君は北海道人渡邊四郎の二男明治廿九年十二月を以て生れ大正九年分家す同十年東京帝大經濟學部を卒業し貿易商及電氣工業を營み傍ら渡邊商事會社常務取締役たり　宗教佛教　趣味ゴルフテニス【家庭】妻辰子（明三六）埼玉縣人齋藤誠之丞五女跡見女學卒　長男文朗（大一二）長女禮子（昭二）二男允（昭四）

渡邊嘉一　勳五　工博　朝鮮鐵道　京阪土地　三信鐵道　諏訪電氣鐵道　櫻セメ

ント　東洋電機製造　伊那電氣鐵道各(株)社長　奈良電氣鐵道　新京阪鐵道　京阪電氣鐵道　東京山手急行電鐵　天龍川電力各(株)取締　大日本鹽業　京都電燈　鞍馬電氣鐵道　鞍馬電氣　臺灣電氣興業　大同電力各(株)監査　東京石川島造船所(株)相談役　所得税二六三四四　東京市赤坂區表町三ノ一三　青山三五〇〇

當家は代々德川の旗本能勢家に仕ふ先々代宗輔子なく因て忻三を養ふて嗣とす忻三は浦賀奉行の與力朝夷權十郎の三男なり維新の際榎本武揚等と五陵廓に據り歸順後政府に仕へ累進して海軍機關總監横須賀造船所長に陞り從四位勳三等に敍せらる君は長野縣人宇治橋八十太郎の弟安政五年二月を以て生れ明治十六年先代忻三の養子となり大正二年家督を相續す明治十六年工部大學校を卒業し工部技師を拜命同十七年職を辭して英國に航しグラスゴー大學に學び C.E.&B.SC の學位を得卒業後サア・ジヨン・フワウラー及びサア・ベンヂヤミンベーカー工務所技師となり世界第一の鐵橋たるフオース・ブリツヂの工事を監督す又在留中閑を得て佛獨蘭白等の工業狀況を視察し同廿一年歸朝し日本土木會社技師長を囑せられ同廿五年參宮鐵道會社技師長となり後社長兼技師長に同卅年北越鐵道會社專務取締兼技師長を歷任同卅二年工學博士の學位を受く後成田鐵道東京電氣鐵道京都電氣鐵道關西瓦斯福島木材各會社取締役たりしが現時前記會社の重役たり此間東京石川島造船所社長帝國鐵道協會々長東京鐵工機械同業組合長に擧げらる　趣味讀書【家庭】妻よし（慶應三）養父忻三長女　二男哲二（明二九）三男茂藏（明三一）は其妻を伴ひ分家し四男慶三（明三二）慶大理財科卒大同電力社員は姉くにの養子となり三女晴江（明二六）は理學博士本間賢介に四女幸枝（明二八）は法學士福井棨一に各嫁し長女くに（明一七）二女久江（明二二）は各分家す※渡邊哲二の項參照

渡邊楷助　金森商船　大東燐寸各(株)取締　函館市仲濱町四　電函館七三八

君は靜岡縣人長野豐太郎の弟明治十四年六月を以て生れ先代モトの入夫となり同卅九年家督を相續す　現時金森商船外前記諸會社の重役たり【家庭】妻モト（明二〇）北海道人渡邊熊次郎妹　長男孝一郎（明四二）二男孝二郎（明四四）三男忠（大二）長女ふじ代（大四）二女孝代（大八）

渡邊勝三郎　從三勳二　前東洋拓殖(株)總裁　所得税三五八　東京市外落合町下落合五五二　電大塚三四六八

君は岡山縣人渡邊德一郎の三男明治五年一月四日同縣後月郡井原町に生れ同廿九年分家す一高を經て同廿九年東京帝大法科英法科を卒業同年文官高等試驗に合格爾來奈良廣島各縣參事官福島和歌山各縣書記官香川縣京都府各事務官德島縣知事內務省地方局長新潟長崎各縣知事等を歷任し大正十年地方行政視察の爲歐米に出張し歸朝後横濱市長同十四年四月東洋拓殖會社總裁に任ぜられ後之を辭し現時閑地に在り日本俱樂部工業俱樂部會員　宗教眞宗　趣味旅行撞球讀書【家庭】妻ミサヲ（明一七）靜岡縣人松本三郎長女　長男正夫（明三四）東京帝大經濟學部卒　二男次郎（明四三）同大法學部政治科卒　三男和夫（明三九）二高卒　長女淑子（明四二）東京女高師附高女卒　二女富美子（明四四）東京府立第二高女卒　五男志郎（明四一）同府立四中卒　六男敬五（大四）

渡邊勝三郎　磐城炭礦　大和毛織　帝國火藥工業　石渡電機各(株)取締　東京土地住宅(株)監査　東京市外入新井町新井宿一八四九

君は東京府人渡邊六郎の兄磐城炭礦專務取締役同六藏の養兄渡邊銀行頭取同福三郎の甥同岱三横濱社會館長同利二郎の從兄なり明治六年十月を以て生れ同卅四年分家す曩に東京乘合自動車上毛モスリン東京瓦斯邦樂座各會社々長にして渡邊一家の經營に係る各銀行會社の重役たりしが現時前記會社の重役たり【家庭】妻よし（明一〇）東京府人鈴木吉五郎長女　男初男（明三三）男次男（明三八）男三男（明四一）女靜尾（明四四）二女伊都尾（大三）

渡邊兼義　土地貸付業　横濱市磯子區磯子町宮下九〇九　電長者町一〇六二

君は神奈川縣人渡邊文三郎の長男明治廿年三月十五日横濱市に生れ同四十二年家督相續す夙に立教中學に學び大正八年第一銀行横濱支店に入り同十三年同行を辭し現時家業土地貸附業に從事す　宗教淨土宗　趣味釣魚圍碁將棋【家庭】母俊（明一〇）弟義郎（明三一）東京高商卒東電社員　同妻喜代子牧昇妹神奈川縣立平沼高女卒　同長女文子（大一五）弟三郎（明三二）小樽高商卒　同正敏（明三七）東大卒　同安幸（明三五）東京商大卒古河銀行員は小島文子の婿養子となる

渡邊龜次郎　日本全國菓子同業組合理事　麴町區菓子同業組合長　鹽瀨會々長　有樂町一丁目町會長　鹽瀨總本家　菓子製造業　東京市麴町區有樂町一ノ五　電丸ノ內三九八八

當家は江戶時代以來の老舗にして菓子製造業を營む君は富山縣人北野伊兵衞の四男明治十四年三月九日富山市に生れ同卅五年先代利一の養子となり同四十五年家督を相續す夙に富山中學校を卒業して後家業を繼承す現時各宮家御用達を勤め日本全國菓子同業組合理事たる外前記の諸職に在り牛藏門俱樂部會員たり　宗教眞言宗【家庭】養父利一（明元）妻種子（明一三）養父利一長女德島縣立高女卒　長男貫次（明四三）東京府立六中卒　長女愛子（明三八）麴町高女卒　二女淳子（大二）文化學院在　三女房江（大四）同校在　二男治助（大六）四女文子（大一一）

渡邊菅造　東京書籍(株)支配人　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町長谷一四二一

君は富山縣人渡邊民治の長男明治十五年五月廿日を以て生れ大正十四年家督を相續す明治卅七年金港堂書籍會社に入社同四十三年東京書籍會社に轉ず爾來累進して現時同社支配人の職に在り　宗教眞言宗　趣味圍碁將棋讀書書畫【家庭】妻文子（明二六）富山縣人河田嘉太郎長女岡山縣玉島高女卒　長男東太郎（大六）長女貞子（明四四）鎌倉高女卒　家政專門學校在　二女壽和子（大二）鎌倉高女在

渡邊寬一郎　入山採炭(株)取締兼坑務所長　小出銀行(株)取締　越後林業(株)監査　東京市外戶塚町諏訪六　電牛込四二一七

君は新潟縣人渡邊敬太郎の長男明治廿三年十月を以て生る夙に早大を卒業し現時前記會社の重役たり【家庭】父敬太郎（慶應三）母マサ（明三）妻ヤウ（明二三）新潟縣人柳澤軍平長女

渡邊寬五郎　山屋(株)社長　和洋酒食料品問屋　所得税一〇九三　東京市淺草區並木町八　電淺草三五三四

君は茨城縣人渡邊誠の伯父明治二年五月を以て生れ同卅年先代みつの養子となり同卅七年家督を相續す同廿四年東京高商を卒業して和洋酒食料品商を營み山屋本店と稱す【家庭】妻きく（明八）養母ミツ長女　長男寛二郎（明三八）女壽子（明三四）女正子（明四四）二男寛二郎（明四〇）三男博（大二）五女義子（大四）妹くに（明二一）は醫學博士千葉眞一に嫁す※渡邊儀藏　同又四郎の各項參照

渡邊鬼子松　農民社長　東京市牛込區矢來町五四　電牛込二一五七

君は愛媛縣人渡邊條太郎の長男明治十七年九月廿八日同縣に生れ同卅四年家督相續す大正五年明治大學法科を卒業し帝國聯合青年會を創立し理事長たりしが同十三年農民社を興し週刊「農民」を創刊し今日に至る　宗教日蓮宗　趣味謠曲【家庭】妻マン（明三四）愛媛縣人保護次郎四女同縣立高女卒　嗣子徹郎（大八）

渡邊喜助　服部貿易(株)取締　東京市麻布區本村町一四四　電高輪四八一〇

君は東京府人渡邊捨三郎の長男明治十五年十一月十六日を以て生れ大正九年家督相續す明治四十年服部時計店に入り現に服部貿易株式會社取締役たり　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】母イク（慶應二）妻登滿（明二二）三重縣人藤井又一郎姉同縣立高女卒　長女君（大一〇）妹ちよ（明一九）妹はな（明四一）三輪田高女卒

渡邊喜八　米穀問屋　横濱市神奈川區神奈川町二フ谷八八九　電本局五三五二

君は神奈川縣人先代善八の二男明治卅二年五月廿二日を以て生れ大正十一年家督を相續し前名憲一を改む大正八年横濱商業學校を卒業し明治十五年先代の創業に係る家業米穀商を繼承經營傍ら生命保險代理業を營む　宗教禪宗【家庭】妻をみち（明二九）神奈川縣人大貫一郎妹横濱高女卒　長女綾子（昭二）

渡邊喜兵衛　名古屋味噌溜(株)社長　名古屋銀行　福壽生命保險各(株)取締　名古屋麥喜商店　味噌釀造業　直接國税二九七四　名古屋市西區傳馬町六ノ一五八　電本局一三九

君は靜岡縣人岡部喜右衛門の三男元治元年十月を以て生れ明治十年先代喜兵衛の養子となり同廿四年家督を相續し襲名す麥喜商店と稱し味噌釀造業を營み傍ら前記會社の重役にして同縣多額納税者たり【家庭】男林太郎　同長女道子（大四）同二女篤子（大五）同三女信子（大八）同四女友子（大一三）二女マサ（明三三）は靜岡縣人黒田慶治郎に嫁す

渡邊義介　從五勳六　製鐵所理事　販賣部長　所得税一一六　八幡市製鐵所官舍一

君は東京府人渡邊忠の二男明治廿一年四月十二日を以て生れ大正十一年分家す四高を經て大正二年東京帝大法科經濟科を卒業同年十一月文官高等試驗に合格し農商務省山林局屬に任じ爾來山林事務官補製鐵所副參事特許局事務官農商務事務官兼鑛山局書記官商工省水產局事務官商工書記官鑛山局鑛政課長等歷任昭和五年五月現職に就く　宗教神道　趣味讀書【家庭】妻恭（明三九）新潟縣人甲野棐二女東京女學館卒　長男愼介（大四）二男庸介（大六）三男敬介（大八）四男正介（大一二）五男誠介（大一五）

渡邊儀藏　宮城縣消防組頭會副會頭　刈田郡白石町農會副會長　白石消防組長　白石釀造　刈田自動車各(株)社長　仙南銀行　白石倉庫　白石製氷　白石興產各(株)取締　壽丸(名)代表社員　味噌醬油釀造業　宮城縣刈田郡白石町　電白石一一八

君は宮城縣人先代儀藏の三男文久三年十月同縣刈田郡白石町に生れ明治卅四年家督を相續し前名物吉を改む夙に同地の素封家として知られ味噌醬油釀造業を營み現に壽丸合名會社代表社員たる外宮城縣山林會評議員にして前掲諸職に在り【家庭】妻ちかの（明六）宮城縣人日下謙吉叔母　長男又四郎（明一七）慶應普通部卒壽丸合名代表社員　同妻シン（明二〇）福島縣人前衆議院議長堀切善兵衛前東京市長同善次郎妹　長女しづ（明二九）仙臺高女卒は宮城縣人村上勇吉長男京都區裁判所檢事法學士雄治に二女しく（明三三）白石高女卒は宮城縣人同縣亘理郡前亘理町長門澤惣藏に各嫁し三男儀兵衛（明二四）白石中學卒は其妻キク（明三一）福島縣人藪內宇兵衛妹及其一子と共に弟卯吉（慶應元）は其妻ひさ（明二）と共に各分家し二男豐吉（明二一）白石中學東京高商各卒は弟卯吉に四男勘六（明三五）白石中學卒は長男又四郎に各養子となる※渡邊又四郎　堀切善兵衛　村上勇吉　門澤惣藏　渡邊豐吉　吉岡鑛太郎　國分勘兵衛　渡邊寛五郎の各項參照

渡邊吉右衛門　埼玉縣多額納税者　川越渡邊銀行(株)頭取　吳服商　直接國税八二四一　川越市川越四九〇

君は埼玉縣人渡邊吉兵衛の長男明治十九年十二月を以て生れ大正十四年家督相續し前名仲治郎を改む吳服商を營み前記銀行の重役にして同縣多額納税者たり【家庭】父吉兵衛（明二）母うら（元治元）妻倭子（明三七）埼玉縣人大塚仲太郎長女　長男吉太郎（大一五）長女竹（明四二）二女歌子（大三）四女米子（大一一）

渡邊吉左衛門　渡邊組　土木建築請負業　所得税一二〇　横濱市中區花咲町四ノ一一九　電長者町三一七九三

君は靜岡縣人渡邊儀兵衛の二男明治十九年八月五日同縣加茂郡仁科村に生れ同卅七年家督を相續す同卅八年須田組に入り同四十一年代人に進み大正四年に至り須田組の事業を繼承獨立して渡邊組を創立今日に至る　宗教禪宗【家庭】母たか（明二）須田浦吉女　妻のぶ（明二）靜岡縣人石川寅吉長女　長男吉一（明四一）淺野綜合中學卒　長女喜代子（大四）蒔田英和女學在　二女玉子（大六）二男富夫（大九）三女純江（大一二）四女照子（大一五）弟義高（明二六）

渡邊吉太郎　兩羽銀行(株)常務　山形市四日町三八　電山形二一一

君は新潟縣人渡邊吉兵衛の長男明治七年十二月を以て生る曩に兩羽銀行に入り取締役兼支配人を經て現時常務取締役たり【家庭】父吉兵衛（嘉永五）現戶主　母キン（安政元）妻かよ（明九）宮城縣人菅原正三郎姉

渡邊行太郎　從六勳五　日本鋖釘(株)取締　浦賀船渠(株)支配人　東京市外大崎町上大崎町中丸四四四　電高輪二九六八

君は和歌山縣人渡邊綱五郎の弟明治十四年二月十三日を以て生る同卅八年東京帝大工科造船科を卒業直に遞信省技師となり鐵道省技師遞信省技師帝國海軍協會主事笠戶造船所庶務課長大島製鋼所營業課長を歷勤大正九年浦賀船渠會社に入り調查課長總務課長兼調查課長支配人事務取扱を經て支配人に選ばる外に日本鋖釘會

社取締役たり曩に日獨戰役の功により勳五等に敘し瑞寶章を授けらる【家庭】妻好（明二二）岐阜縣士族水谷貞治長女日本高女卒　長男行雄（明三九）同志社大學文科卒　二男力（明四〇）高輪中學卒は水谷家の養子となる

渡邊清　千葉縣多額納税者　農業　直接國税一一八九　千葉縣市原郡平三村

君は千葉縣人渡邊喜三郎の二男明治廿五年五月を以て生る夙に東北帝大農科豫科を卒業し祖業農を營み現に千葉縣多額納税者たり【家庭】祖母なを（嘉永二）渡邊彥太郎長女　父喜三郎（慶應元）現戶主　母くに（明二）祖父信太郎長女　妻とく（明二五）千葉縣人醫師大塚憲哉三女日本女大家政科卒　長男彥憲（大六）二男正男（大八）弟昇（明三五）東大經濟學士安田貯蓄銀行員　妹泰（明三八）日本女大卒　弟保（明四〇）

渡邊清松　鐵工業　東京市外品川町二日市二八九　電高輪六八八

君は大阪府人渡邊孫治郎の二男明治十六年八月大阪市に生る夙に家業鐵工業に從事同卅八年獨立經營今日に至る　宗教禪宗【家庭】妻しの（明一八）長男清一（明三九）正則中學卒家業に從事　三男錄郎（大八）長女美代子（大三）二女靜江（大六）三女いさ（大五）四女那美子（大一一）

渡邊金吾　從六勳六　白木屋(株)庶務課長　東京府澁谷町氷川五七　電青山七九三〇

君は鳥取縣士族渡邊立男の長男慶應三年一月廿六日を以て生れ明治卅九年家督を相續す夙に山陽鐵道會社に入り下關營業所運輸長となり後鐵道省神戶管理局に勤務次で日本石油會社販賣課運輸長たりしが大正十一年十月白木屋吳服店に入り神戶支店長に就任同十四年九月本店庶務課長となり現に其職に在り帝國鐵道協會々員なり　宗教天台宗　趣味謠曲書畫【家庭】長男界一（明四〇）關西學院中學部卒　六女二三子（明四一）神戶市立高女卒　長女初子（明二八）神戶女學院卒は兵庫縣士族大阪高工卒大阪商船會社技師太田幸三に三女光子（明三三）實踐女學卒は新潟縣人秋田鑛山專門學校卒日本石油會社技師瀨島信二に四女壽子（明三五）神戶女學院卒は岐阜縣人白木屋勤務平泉武三郎に五女都留子（明三八）實踐女學卒は鳥取縣人神戶高商卒長瀨商會員清水侃二に各嫁す

渡邊金之助　日佛銀行(株)副支配人　東京市外中野町桐ケ谷一〇六六

君は兵庫縣人小林久米七の三男明治十九年三月四日兵庫縣に生れ後同縣人渡邊滿壽太郎の養子となり大正六年家督を相續す明治卅八年神戶商業を卒業直に横濱正金銀行に入り神戶香港ラングンの各支店に歷勤大正十五年日佛銀行に轉じ支配人となり今日に至る凌霜會銀行俱樂部會員たり　宗教眞宗　趣味庭球【家庭】妻千代子（明二二）養父滿壽太郎長女湊東女學卒　長男頸（明四三）早稻田高等學院在　二男清（大二）青山學院中學部在　三男正（大四）成蹊中學在　長女貞子（大八）

渡邊錦太郎　芝橋鐵工所主　印刷及製本機械製作業　所得税九二　東京市芝區本芝一ノ二八　電高輪三二一二

君は東京府人杉本春吉の長男明治十七年五月廿五日東京市に生れ後實母の里方なる渡邊家を繼ぐ同卅年京橋區木挽町二丁目金津鐵工所に入り鐵工業を習得し同卅九年之を退き同四十年現住所に芝橋鐵工所を起し今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁將棋【家庭】長男總一郎（大四）長女文子（大二）三田高女卒　次男利郎（大六）二女あや子（大一一）三男力三郎（大一四）

渡邊銀造　朝庄商店　海苔商　東京市外大森町二六三三　電大森四〇

君は東京府人渡邊庄助の長男明治廿二年八月十八日同府に生れ大正五年家督を相續す同二年慶大理財科を卒業直に三井物產に入社北海道支店詰となり同十三年辭任現業に就きて今日に至る同十四年大森町會議員となり昭和四年再選せり　宗教日蓮宗　趣味相撲【家庭】妻たま（明三〇）神奈川縣人萩野長吉長女　長男庄助（大九）二男銀次郎（大一五）

渡邊熊四郎　第一印刷　函館貯蓄銀行各(株)取締　所得税二八八一　函館市末廣町一〇四　電函館一四七

君は北海道人林松右衛門の二男慶應元年十二月を以て生れ先代熊四郎の養子となり大正五年家督を相續し前名源太郎を改む現時前記會社の重役たり【家庭】妻ヒデ（明八）養父熊四郎長女　長男熊藏（明二七）東京高商卒　同妻壽榮（明三五）醫學博士弘田長六女御茶水高女卒　同長女洋子（大一四）同長男源太郎（大一五）三男源三郎（明三二）同妻德子（明四〇）北海道人藤田昌二女　同長男豐平（大一五）三女文（明三九）四女福（明四〇）四男競（明四一）五女ともゑ（明四二）六女貞（明四五）二男晋次郎（明二九）東京高商專攻部卒は分家し長女孝（明三五）は東京府人中村善吉に二女道（明三七）は兵庫縣人本山正名に各嫁す

渡邊郡逸　中央生命保險(株)總務部長　所得税一四八　東京市外高田町雜司ケ谷九四六　電牛込一八七四

君は渡邊鹿平の弟明治廿五年二月十五日を以て生る夙に東京物理學校を卒業して實業界に入り中央生命保險相互會社庶務課長兼統計課長を經て現時總務部長たり　宗教眞宗【家庭】兄鹿平現戶主　妻トク（明二六）長女幸（大四）長男鷹（大六）二女靜子（大八）二男得（大一〇）三女恒子（大一三）

渡邊敬二　正八　在鄉陸軍工兵少尉　白石町家屋税調查委員　仙南銀行(株)取締　渡邊製氷場主　宮城縣刈田郡白石町後小路二四　電白石三一

君は宮城縣人資產家故渡邊佐吉の二男明治十六年十月一日同縣刈田郡白石町に生れ同四十年分家す曩に一年志願兵として軍務に服し敘正八位任陸軍工兵少尉現に渡邊製氷場を經營する傍ら仙南銀行取締役たり【家庭】妻えい（明二五）宮城縣人顯川一三妹　長男喜男（大三）長女ゆき（大六）二男眞二（大九）三男孝輔（大一一）二女フミ（大一四）※渡邊眞一の項參照

渡邊賢三　東京開成館(株)常務　東京市牛込區辨天町四五　電牛込三四四四

君は茨城縣人渡邊金之助の三男明治廿四年一月四日同縣眞壁郡下妻町に生れ大正九年分家す夙に下妻中學校を卒業し明治四十三年開成館に入り大正八年株式組織に變更と同時に監查役に就任現時同社取締役たり曩に美濃部製本會社の取締役たり　宗教時宗　趣味撞球【家庭】妻タミ（明三七）大阪府人御田勘太郎長女　長男靜一（大一一）

渡邊謙藏　東洋工業社(株)社員　所得税五一　東京市外東調布町田園都市二六五　電田園都市一三六

君は福島縣人渡邊清六の二男明治十八年七月廿八日を以て生れ後分家す同四十二年東京高工機械科を卒業して新潟縣立工業學校教諭盤城炭礦會社員に歴勤し大正九年東洋工業社に轉じ今日に至る此間米國を視察す　宗教眞言宗【家庭】妻のぶ（明二三）新潟縣人小黑重德妹同縣立高女卒　長男清（大二）東京府立六中在　長女愛（明四五）同府立第八高女卒　二女八重（大四）同校在　三女孝（大五）二男淑夫（大八）四女君（大一一）三男昌夫（大一三）

渡邊源一　横濱正金銀行(株)東京支店員　東京市麻布區我善坊町四〇大河原一太郎方　電青山六五三二

當家は享保年間初代治右衞門伊勢より江戸に出で日本橋四日市町にあかぢやと稱し海産物商を開業したるに始まり爾來二百餘年間代々同所に於て海産物問屋を營み先々代十代目治右衞門に至る治右衞門二十七國立銀行東京灣汽船あかぢ貯蓄銀行を創立し實業界に重きをなす君は東京渡邊銀行頭取先代治右衞門の長男明治卅二年十二月十三日を以て生る大正十三年早稻田大學商科を卒業して横濱正金銀行に入り現時東京支店に勤務す駒澤倶樂部日本橋倶樂部各會員なり　宗教淨土宗　趣味庭球ゴルフ【家庭】母ふん（嘉永五）　妹仲子（明三六）女子學習院卒　弟善次（明四〇）

渡邊五郎　美濃屋　材木商　東京市深川區東晒場河岸七號　電本所一〇八一

君は渡邊常吉の二男明治廿六年一月十七日を以て生る同卅八年美波善商店に入り勤續十二年の後實兄佐太郎の創業に係る美濃屋材木店を繼承し爾來經營今日に至る　趣味旅行【家庭】父常吉（慶應元）　母るい（元治元）　妻よし（明三四）　長男興一（大一三）　長女きよ子（大九）二男榮二（大一五）　二女みよ子（昭四）

渡邊伍一　織田信託(株)營業部長　東京市外荏原町中延清水臺一一三〇

君は愛知縣人元名古屋商品陳列館々長故原規矩郎の男明治十九年八月一日東京市に生れ後東京府人渡邊榮吉の養子となり同卅五年家督を相續す同四十二年金澤商業學校を卒業し後三井銀行本店に入社す次で大阪野村銀行營業部に入り累進して部長代理たりしが大正十三年之を辭し同年四月織田信託會社に入社し營業部長となり今日に至る　宗教佛教　趣味運動【家庭】養母てつ（嘉永三）　妻トミ（明二八）　東京府人石田英壽三女大垣高女卒　長男祚郎（大三）　二男隆（大五）　長女淑子（大八）　二女京子（大一一）　三男信（大一五）

渡邊孝四郎　吉村商會(株)會計部長兼秘書役　東京市芝區片門前町一ノ三　電三田九三四

君は東京府人渡邊榮吉の三男明治七年九月廿九日を以て生れ後分家す夙に大藏省に入り後吉村商會明昭電機東洋無線電信電話各取締役たりしが現時吉村商會々計部長兼秘書役たり　宗教禪宗　趣味演藝【家庭】妻うめ（明一五）群馬縣人角田喜重郎二女　長女順（明四三）東京府立第三高女高等科卒　二女安江（大四）東京高女在　三女千代（大一〇）

渡邊孝平　金森商船(株)社長　百十三銀行　大東燐寸　北海道鐵道各(株)取締　大東海上保險(株)監査　勳七　所得税八四〇　函館市元町一〇　電函館一四八

君は北海道人大部彦三郎の三男明治九年五月九日を以て生れ後渡邊孝平の養子となり同卅九年分家し大正七年舊名三作を改む夙に實業界に入り現時金森商船社長たる外前記會社の重役たり曩に函館商業會議所副會長に擧げらる又北海商船會社取締役たりし事在り【家庭】妻カネ（明一八）　養父孝平二女　長男金一郎（明四四）　二女喜代子（明四〇）　三女孝子（大二）　四女淑子（大三）　二男勝次郎（大七）　三男恒三郎（大一〇）　四男要平（大一四）　長女節子（明三六）は分家す

渡邊幸吉　いろは　料理業　東京市赤坂區青山南町二ノ六三　電青山四五三

君は秋田縣人にして明治廿五年同縣河邊郡新屋町に生る先代創業の牛鳥料理いろはを營み赤坂區同業組合理事に推され今日に至る【家庭】長男保（大一四）　長女君子（大一二）

渡邊幸造　金田興業銀行(株)常務　丸共運送各(株)監査　曾我殖産　耕地整理組合長　神奈川縣足柄北郡山田村

君は神奈川縣人渡邊歌次郎の長男明治十五年四月を以て生れ同四十三年家督を相續す現時山田村耕地整理組合長にして金田興業銀行常務取締役たる外前記會社の重役たり【家庭】妻テフ（明一九）　神奈川縣人中野仁右衞門五女　長男凉作（明四一）　長女道子（明三九）　二男千里（明四三）　二女信子（大元）　三女春子（大四）　四女美穗（大七）　五女洋子（大一一）

渡邊浩吉　渡邊商店　貿易業　東京市京橋區木挽町六ノ五　電京橋四九六九

君は長野縣士族渡邊松五郎の男明治廿七年十二月同縣に生れ大正五年分家す松本商業學校を經て明大に學び同年十一月アンドリュースジョウジ會社試驗部に入社同十一年七月同社の事業を繼承して渡邊貿易部を創立し現在に至る　宗教佛教　趣味讀書【家庭】妻八重子（明三一）東京府人石井錀藏二女小松川女學卒　長男博信（大九）

渡邊定　醫博　安田生命保險(株)醫務部長　所得税二〇七　東京市外淀橋町柏木三七五　電四谷二五九七

君は愛知縣士族渡邊陸政の二男明治廿五年四月十四日名古屋市に生る大正七年東京帝大醫科を卒業入澤內科に在勤四年後藥物學教室にて研究し後歐米に遊學大正十五年醫學博士の學位を受く現時安田生命醫務部長たり　宗教禪宗　趣味讀書

渡邊三郎　工博　勳五　東京帝國大學工學部講師　渡邊銀行(株)取締　大東京鐵道　玉川水道　日本特殊鋼各(株)監査　渡邊同族(資)代表社員　所得税二三二五　東京市外品川町北品川一本木三四六　電高輪四八九七

君は群馬縣人大河原豐太郎の弟明治十三年十二月を以て生れ先代なべの入夫となり同四十一年家督を相續す同年東京帝大工科採鑛冶金科を卒業し後工學博士の學位を受く現時前記會社の重役たる外東京帝國大學工學部講師たり【家庭】妻あい（明二五）群馬縣人小林彌七妹日本橋高女卒　男誠一郎（大一三）　長女秋子（明四二）　二女樂子（大七）　三女松子（大一〇）　四女種子（大一一）

渡邊四郎　撫順炭販賣(株)取締　三井物產(株)石炭部長　所得税一六六七　東京市麹町區上六番町五　電九段一三四一

君は岐阜縣人渡邊章の四男明治十五年五月十四日を以て生る同卅九年東京高商を卒業し直に三井物產會社に入社門司支店勤務石炭部副長を經て昭和三年三月石炭部長に就任傍ら前記會社の重役たり曩に歐米各國を視察す　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻玲（明二七）福岡縣人横山貞嗣三女長崎高女卒　男眞一（大四）　長女妙（大六）　二女恭子（大九）　三女尙子（大一四）　四女友子（昭二）　兄一郎（明元）　現戸主及其妻子

渡邊次郎　日本銀行(株)檢查役　東京市芝區白金今里町八四　電高輪五五四二

君は東京府人渡邊兵吉の二男日本郵船専務取締役同水太郎の弟明治十六年一月二日を以て生れ昭和三年分家す明治卅八年慶大理財科を卒業直に日本銀行に入り秋田支店文書營業主任名古屋岡山各支店營業主任本店庶務主任調査役等を經て昭和五年三月檢查役に就任現在に至る銀行倶樂部會員なり　宗教眞言宗【家庭】妻よね（明三一）東京府人商工技師平野久保妹京華高女卒　二男嗣子謙（大九）　長女雪子（大八）　三男敦（大一二）　長男正廣（大四）は兄渡邊水太郎の養子となる

渡邊治湟　辯護士　横濱市中區常盤町二ノ一　電長者町二八一三

君は長野縣人渡邊源市の長男明治廿二年八月十四日同縣に生る夙に法律學を修め大正十一年第一次辯護士試驗に合格同年開業して今日に至る　宗教眞宗　趣味野球【家庭】父源市（明三）　現戸主　妻のり子（明三七）　神奈川縣人成井一郎三女　長女ゆり子（大一四）　二女ちづ子（昭二）　三女さち子（昭四）

渡邊茂藏　山手急行電鐵(株)工事課技師　所得税五五　東京市赤坂區青山南町二ノ五五　電青山五七一〇

君は工學博士渡邊嘉一の三男明治卅一年六月五日を以て生れ昭和四年分家す慶應義塾豫科を經て大正八年米國ハーバート大學を卒業し歸朝後東邦電力會社に勤務し昭和四年二月山手急行電鐵會社に轉じ工事課技師となり今日に至る電氣倶樂部帝國鐵道協會電氣協會各會員なり　宗教基督教　趣味運動圍碁【家庭】妻ノーラ・ガートルード（明二一）加奈陀ヂョージ・アレキサンダー・キトソン長女フェンチコンヴェント女學卒

渡邊重太郎　地主　東京市外千駄ケ谷町原宿二一二

君は東京府人波田野磯次郎の男明治十二年十月十三日同府に生れ後渡邊銀兵衞の養子となり大正十年四月家督を相續す同地地主として知られ同町學務委員たり【家庭】養父銀兵衞（安政六）　養母クラ（安政四）　妻モト（明一八）　長男武明（明四〇）　二男善次（明四三）　長女治代（大五）　二女美佐保（大九）

渡邊滋　勳六　東京女子專門學校長　東京裁縫女學校長　所得税三一二　東京市外瀧野川町中里三七五　電小石川四一七四

君は東京府人渡邊辰五郎の長男明治十年十二月廿六日千葉縣長生郡廳南町に生れ同四十一年家督を相續す明治卅年海軍豫備校を卒業し同卅三年米國に渡りシカゴ市チャールス・ゼー・ストーン裁縫專門學校を卒業し同卅五年英佛獨墺の諸國を漫遊して翌年歸朝し直に前記學校教員となり同四十一年父の後を承けて校長に就任今日に至る　宗教日蓮宗　趣味運動觀劇旅行【家庭】妻とし（明一五）岐阜縣人丸山守一郎三女京都府立第一高女卒東京女高師修　長男赳（明三七）　二男博（明四〇）東京高師附中卒　三男誠（明四二）文化學院卒　四男篤（大元）本郷中學在　長女禮子（大四）女子聖學院在　五男實（大八）

渡邊繁太郎　地主　東京市四谷區大番町八三　電四谷二九〇七

君は福島縣人渡邊市重郎の二男明治元年三月同縣に生れ同廿三年兄市重郎の家督を相續す同十九年福島縣師範學校を卒業し明治法律學校に學び鄉里小學校長學習院助教授等に歴任す同卅三年實業界に入る曩に東京市會議員東北石材株式會社取締役磐城水產株式會社取締役たりし事あり　宗教眞言宗　趣味圍碁【家庭】妻なか（明一二）　東京府人伊藤孝治姉普連土女學卒　長男繁（明三六）慶大法科卒　二男繁彌（明四一）慶大醫科在　三男繁三（明四四）慶大在　四男四郎（明四五）東京市立一中卒　五男五郎（大四）武藏高校尋常科在　六男六郎（大七）

渡邊七三郎　八百七　青物商　仙臺市肴町一五　電仙臺二四七

君は宮城縣人先代七三郎の三男元治元年七月を以て生れ明治廿七年家督を相續し襲名す現に家號を八百七と稱し青物商を營む曩に仙臺商業會議所議員たり【家庭】妻きん（明一八）　宮城縣人菊地喜藏二女　長男幸吉（明二二）　同妻はるゑ（明二五）　同縣士族葉山新治郎長女　同二女貞子（大四）　同二男幸太郎（大七）　同三女よし子（大一〇）　二男勘七（明二五）　同妻はな（明二七）　同縣人三木久吉二女　同長男正七（大三）　同長女とも子（大六）　同二男啓二郎（大八）　男七兵衞（明三六）　四女きぬ（大五）　五女直（大六）　養子喜吉（明一〇）　同縣人鈴木寅松弟　長女りう（明八）　養子喜吉妻は三子を伴ひ分家し二女はる（明二〇）は同縣人工藤亦治郎に三女みつ（明三〇）は同縣人安積利太郎に各嫁す

渡邊七郎　正四　子爵　貴族院議員　所得税一一六八　東京市小石川區西丸町一五　電大塚一九

當家は先代昇より顯る昇は舊大村藩士にして夙に勤王の大志あり維新の前後王事に盡瘁し明治元年諸郡取調掛に任じ爾來權辨事刑法官權判事兼勤待詔局主事中辯彈正大忠盛岡權知事大阪府大參事同權知事同知事元老院議官參事院議官會計檢查院長等に歴任し同廿年特旨を以て華族に列し子爵を授けらる君は其長男男爵渡邊汀は其從兄なり明治十八年四月を以て生れ大正二年家督を相續し襲爵仰付らる同四年慶應義塾大學法律科を卒業し同十三年三月貴族院議員となる研究會に屬す慶應倶樂部員なり　趣味劍道【家庭】妻男依（明二七）東京府士族林興太二女跡見高女卒　長男武宣（大四）學習院在　三男武治（大八）

渡邊周　旭紡織(株)專務　所得税一〇八二　東京市外入新井町新井宿一八六二　電大森一四三

君は靜岡縣士族渡邊寛の二男明治十五年二月十六日同縣富士郡大宮町に生れ同卅六年家督を相續す同四十年東京帝大工科機械科を卒業更に大學院に入り研究し後倉敷紡績會社工務部長となりて大正三年十月之を辭し翌年尼ケ崎紡績會社技師に就任翌五年二月同社東京橋場工場長となり同八年二月旭紡織會社の創立事務に參

畫し同十年八月同社專務取締役に擧げられ今日に至る尙大正八年十二月東京高等工業學校講師を命ぜらる著書に「綿糸紡績」あり　宗教日蓮宗　趣味讀書　【家庭】妻高子（明二四）東京府士族大平紀陳妹東京府立第一高女卒　長男氏（大一〇）二男準（大一四）

渡邊修二　正五　男爵　貴族院議員　東京赤坂青山南町一ノ一　電青山八〇三〇

當家は嵯峨天皇第十二皇子河原左大臣源融五代の孫渡邊綱の末裔渡邊半藏守綱の後なり守綱德川家康に從ひ各地に轉戰功あり武州松山其他を領す後家康の命に依り尾張藩祖德川義直に附屬し三州寺部に於て一萬五千石を領す爾來十數世尾張藩の國老たり先代半藏に至り明治卅三年特旨を以て華族に列し男爵を授けらる君は其二男同卅一年十二月三州寺部に生る大正六年東京帝大法科獨法科を卒業し同十一年襲爵仰付けられ同十四年貴族院議員に互選さる曩に檢事に任じ千葉東京各裁判所に勤務し後之を辭して辯護士を開業せり【家庭】妻德子（明三〇）侯爵中山輔親妹　長男壽綱（大一二）二男德綱（昭二）弟源五（明三三）兄芳綱（明一八）弟秀三（明二五）は各分家す

渡邊純一郎　ホテルニューグランド(株)會計課主任　橫濱市中區北方町小湊一八

君は東京府人渡邊忠助の二男明治卅三年一月廿五日同府に生れ昭和二年六月分家す大正三年慶大理財科を卒業直に東海銀行に入り後東洋汽船株式會社に轉じ大正六年サンフランシスコ支店會計課長に就任同十五年退社後小野貿易商會に入りアメリカ支店に勤務昭和二年前掲會社に入り會計課主任に就任して今日に至る　宗教禪宗　趣味劇謠曲【家庭】妻芳子（明三三）東京府士族水野信安妹東京府立第三高女卒　長男忠夫（大一〇）長女純子（大一二）二男豐樹（昭二）二女惠巳子（昭三）

渡邊順　日華萬歲生命保險(株)都市募集課長　東京市本鄉區駒込淺嘉町七〇

君は福島縣人渡邊豐松の三男明治十八年十二月一日同縣安積郡日和田町に生る同四十五年東京帝大法科政治科を卒業直に愛國生命保險會社に入り累進して大正八年契約課長となりしが後日華萬歲生命保險會社都市募集課長となり今日に至る　宗教眞言宗　趣味劍道【家庭】兄柳太郎現戶主　妻たか（明三二）宮城縣人佐々木重兵衞妹仙臺高女卒

渡邊順三　今井商店(株)支配人　東京日本橋村松町四同店內　電浪花二五六〇

君は新潟縣人渡邊良三の三男明治廿五年二月廿七日同縣北蒲原郡中條町に生る同卅八年今井商店札幌支店に入り次で小樽支店を經て札幌支店に復歸し昭和四年本店支配人に就任し今日に至る【家庭】妻セイ子後藤慶次三女旭川高女卒　二男進（大一一）三男稔（大一四）四男勤（昭三）

渡邊正次郎　渡邊商店　海運業　東京市外池上町石川一四　電荏原三〇三一（營業所）麴町區內幸町大阪ビル七階　電銀座四七五一

君は東京府人渡邊橘次郎の二男慶應元年四月八日東京市下谷區に生れ後家督を相續す夙に谷道商店に入り營業部主任たりしが大正六年獨立海運業を創め現に渡邊商店と稱して知らる　宗教日蓮宗　趣味將棋義太夫【家庭】妻鶴代（明三五）東京府人石川利吉長女　長女壽美江（大一二）

渡邊正太郎　渡邊自動車工場　自動車用品製作業　東京市赤坂區青山南町六ノ一四一　電青山三三〇三

君は東京府人渡邊重太郎の長男明治卅四年十二月東京市赤坂區に生れ昭和四年家督を相續す大正十一年工手學校機械科を卒業直に家業に從事傍ら同業組合麴町赤坂四谷各區支部長南町會會計青山會館寫眞同好會幹事等に就任今日に至る在鄉軍人會員たり　宗教天台宗　趣味寫眞俳句【家庭】妻ゐね（明四四）東京府人高野榮藏長女千代田高女卒

渡邊庄三郎　浮世繪研究會　東京市京橋區日吉町一四　電銀座四六八四

君は茨城縣人渡邊勇橘の二男明治十八年六月二日を以て生れ同四十二年分家す夙に足立良弼に師事して浮世繪版畫を研究し同四十年獨立店舖を設け爾來經營現今に於ては內地及外國に販路を有す美術協會審査員町會幹事たり　宗教淨土宗　趣味美術版畫【家庭】妻チヨ（明二三）東京府人近松於兎壽長女　長女初江（大元）家政女學校卒　二女和子（大三）麴町女學校在

渡邊省二　三井銀行(株)大阪西支店長　所得税二五四〇　大阪市東區仁右衞門町五一八　電東一四四二

君は東京府士族渡邊子之三郎の長男明治十九年九月を以て生る同四十一年東京高商を卒業し三井銀行に入り若松小樽福岡各支店長を經て現に大阪西支店長たり如水會員なり【家庭】父子之三郎（文久三）現戶主　母たみ（慶應元）千葉縣士族丸山極次郎長女　妻英（明二七）石川縣士族早川元次郎三女千代田高女卒　男正治（大四）三男進（大八）二女梅子（大一一）三女治子（大一三）弟福之助（明三一）同妻貞子（明三四）千葉縣人矢野助藏長女　弟德三郎（明三四）

渡邊省三　東京製綱(株)麻綱課長　東京市外大井町山中四三〇四　電大森九一一六

君は東京府人渡邊直邦の三男明治十四年十一月五日を以て生れ後分家す同卅八年早稻田大學政治經濟科を卒業同年東京製綱會社に入社爾來深川工場員小倉月島各工場長等歷勤大正十五年麻綱課長に就任し現在に至る　宗教禪宗【家庭】妻とよ（明二六）長女蓮子（大九）

渡邊省三　從七　辯護士　辨理士　辨理士協會理事　所得税五一　東京市赤坂區青山南町五ノ三五（事務所）麴町區丸ノ內三ノ一二仲通三號館ノ五號　電丸ノ內八八四

君は香川縣人渡邊廉平の二男明治十五年一月八日同縣三豐郡詫間村に生れ大正十年家督を相續す明治四十年東京帝大法科獨法科を卒業し直に外務省に奉職支那領事館に勤務後之を辭し同四十四年十二月法律事務所を開設主として民事事件を取扱ひ今日に至る第一東京辯護士會員なり　宗教眞言宗【家庭】母ヒデ（文久元）

渡邊錠太郎　正四勳二功五　陸軍中將　臺灣軍司令官（留守宅）東京市赤坂區青山南町六ノ一〇八　電青山三〇六八

君は愛知縣人和田武右衞門の長男明治七年四月同縣東春日井郡駒木町に生れ同廿五年先代庄兵衞の養嗣子となり同廿七年家督を相續す同廿九年十一月陸軍士官學校を卒業し陸軍步兵少尉に任じ更に同卅六年陸軍大學校卒業爾來累進して大正十四年五月陸軍中將に陞る其

間獨逸大使館附武官輔佐官參謀本部々員兼元帥副官步兵第三聯隊附和蘭公使館附武官參謀本部課長步兵第二十九旅團長參謀本部第四部長作戰資材整備會議々員陸軍大學校兵學校敎官第七師團長陸軍航空本部長陸軍技術會議々員に歷補し昭和五年六月臺灣軍司令官に轉ず　宗教佛教　趣味讀書【家庭】養母たい（弘化元）妻すゞ（明一六）愛知縣人野田九一郎長女　嗣子誠一（大一〇）二男恭二（大一三）二女和子（昭二）長女政子（明三八）東京女高師附屬高女卒は大阪府士族久保盛明長男醫學博士久保盛德に嫁す

渡邊讓吉　彌滿和製作所主　鐵工業　所得税二五〇八　東京市外入新井町新井宿二七三二　電大森一六六五（營業所）市外代々幡町幡ヶ谷二　電四谷二一一四

君は東京府人渡邊忠の長男同義介の兄明治十七年一月四日新潟縣北魚沼郡吉谷村に生れ大正九年五月家督を相續す明治四十二年東京帝大工科機械科を卒業月島機械製作所に入り技師たりしが大正三年之を辭し翌四年米國に留學在米二ケ年にして歸朝大正十二年彌滿和製作所を創立し鐵工業に從事す交詢社會員なり　宗教神宗　趣味旅行【家庭】妻繭（明二一）新潟縣人山口政治長女日本女大卒　長男弘（大二）東京府立一中在　長女ツネ（明四三）双葉高女卒　二女梅子（明四五）同校卒　三女吉子（大四）同校在　二男信（大七）四女喜久（大八）

渡邊信治　從五勳六　新潟師範學校長　新潟市二葉町一官舍

君は山梨縣人渡邊新之丞の二男明治十年四月十八日同縣南巨摩郡万澤村に生れ同四十三年分家す山梨師範學校を經て同卅八年東京高師地歷科を卒業し島津公爵家學問所郁文館中學校群馬和歌山各縣高等女學校敎諭沖繩愛媛各縣視學廣島福山各師範學校長に歷任し現に新潟師範學校長たり其の間廣島市廣島縣各敎育會長に擧げられ又支那歐米各國を視察す峽舟と號す　宗教日蓮宗　趣味讀書旅行乘馬支那研究【家庭】妻千代子（明一四）愛媛縣人宇野米子二女今治高女津田英學塾各卒　長男信太郎（大四）新潟中學在　二男雄次郎（大七）長女美智子（大一一）三男秀郎（大一四）

渡邊信太郎　山一證券(株)橫濱支店長　東京市外大井町森下四〇九四

君は山梨縣人渡邊仁三の長男明治廿年三月十六日同縣に生る夙に同縣立都留中學校を卒業し大正十二年一月山一合資會社に入り昭和二年十一月橫濱支店長に就任して今日に至る　宗教淨土宗　趣味謠曲【家庭】妻鈴世（明二七）山口縣人斧窪森丸養妹成女高女卒　長男宗治（大元）高千穗中學在　長女二三子（大五）成女高女在　二男厚三（大七）二女正子（大九）三女信子（大一二）三男芳郎（大一四）※渡邊仁三の項參照

渡邊信平　東京米穀商品取引所第一第二第三各部取引員　所得税四一八九　東京市京橋區築地二ノ四三　電京橋五〇〇四　場（店舖）日本橋區蠣殼町一ノ二　電茅場町二三〇四

君は東京府人渡邊平三郎の長男明治卅一年五月廿二日を以て生れ大正十二年一月家督を相續す大正七年慶應商工を卒業して後實業界に入り仲買業を營む現時東京米穀商品取引所第一第二第三各部取引員たり　宗教曹洞宗【家庭】母ツル（安政五）東京府人三橋與兵衞二女　妻壽々（明三二）東京府人富岡彥藏妹東洋高女卒　弟林平（明三二）弟義道（明三三）養妹りん（明三二）東京府人渡邊ツネ女は各分家す

渡邊眞吉　赤坂區會議員　青山北町六丁目町會長　渡邊藥局　藥劑師　東京市赤坂區青山北町六ノ四六　電青山一〇三六

君は山形縣人渡邊爲助の長男明治十年一月一日同縣東村山郡天龍町に生れ家督を相續す同卅八年藥劑師試驗に合格藥局を開業して今日に至る　宗教淨土宗　趣味讀書旅行【家庭】妻しな（明一八）山形縣人山川文七二女　長男眞輔（明四〇）東京藥專在　長女登志子（明四二）双葉高女卒　二男博（大二）東京府立六中在　二女政子（大五）双葉高女在　三女照子（大九）四女富美子（大一三）五女隆子（昭二）

渡邊紳一郎　東京朝日新聞記者　東京市小石川區小日向臺町一ノ四八　電小石川三六三〇

君は群馬縣人渡邊元吉の長男明治卅三年三月十六日東京市本鄉區に生る東京外國語學校を經て昭和二年東京帝大文學部支那文科を卒業す大正十三年東京朝日新聞入社外報部に勤務昭和二年二月社會部に轉ず曩に支那南京上海を視察す又高等學校に漢文を講じ日本中學幹事日本銀行員たりしことあり糸申と號す　趣味文藝【家庭】父元吉（慶應二）現戶主　母とき（明九）妹多花（明四二）東京府立第二高女卒　姉節子大阪金蘭會高女卒は海軍中將植村永學男帝國生命保險秘書直木に同秋子（明三〇）函館高女卒は樺太工業監査役春名喜四郎に各嫁す

渡邊新右衞門　大阪府多額納税者　茨垣　貸地貸家業　直接國税七三四〇　大阪市北區曾根崎上町三ノ一六三　電北一二一三

君は大阪府人先代新右衞門の長男明治廿年六月を以て生れ後家督相續と共に襲名して前名眞治を改む茨垣と稱し貸地貸家業を營みれ大阪府多額納税者たり【家庭】母カネ（明二）妻敬子（明二四）和歌山縣人前島十次郎三女　男眞明（明四三）長女多貴子（明四五）二女敏子（大三）二男治之（大六）三男新治（大八）三女ひな　四男修治

渡邊新作　四谷區書記　同税務課長　東京市四谷區北伊賀町一五

君は千葉縣人渡邊新之助の長男明治九年十二月一日同縣に生れ同四十二年家督を相續す夙に大野一松塾を卒業し四谷區役所に入り同四十年庶務掛主任となる爾來區會書記税務掛長を經て昭和三年税務課長に任じ現在に至る　宗教日蓮宗　趣味讀書寫眞圍碁【家庭】妻八重子（明一三）東京府人後藤芳次郎長女　孫たか子（大一四）

渡邊新次郎　龜屋本店　酒醬油商　東京市淺草區橋場町九八　電淺草六三九

君は東京府人松山久次郎の二男明治廿八年六月三日同府に生れ同四十四年渡邊吉右衞門の養子となり家督を相續す夙に家業を繼承して酒醬油商に從事し龜屋本店と稱し今日に至る醬油組合代議員なり　宗教淨土宗【家庭】妻千代（明三二）青森縣人永井宗郎長女同縣立高女卒　長女きみ子（大九）二女とき子（大一一）三女久子（大一三）

渡邊甚吉　岐阜貯蓄銀行(株)頭取　渡邊殖產(株)社長　濃飛農工銀行　十六銀

行各(株)取締　岐阜市松屋町一

君は故貴族院議員岐阜縣多額納税者渡邊甚吉の長男明治十二年十二月を以て生れ大正十四年家督を相續し前名榮吉を改む現時前記會社の重役たり　趣味謠曲【家庭】母あい（文久二）岐阜縣人上杉承翁三女　妻八重（明一二）三重縣人國分勘兵衞養妹　長男村吉（明三九）東京商大在　二男良吉（明四二）慶應大學在　三男三吉（明四三）三女由喜（大六）長女佐多子（明四一）縣立岐阜高女卒は京都府人船橋繁之助養子泰一郎に嫁す

渡邊壽以　世田ケ谷高等女學校長　東京市外日暮里町一〇三五電下谷四二九六

女史は新潟縣人山田修平の五女明治十年二月四日を以て生れ從四位勳三等功四級故陸軍少將渡邊兼二に嫁す同卅五年東京女高師を卒業昭和五年世田ケ谷高等女學校を創立校長に任じ今日に至る曩に山形縣立高女教頭たり　宗教神道　趣味園藝【家庭】長男新太郎（明四五）現戶主東京高校在　四男正二郎（大二）慶應普通部在　五男龜五郎（大四）四女齊子（大九）六男聰四郎（大元）二女瑞（明三五）女子學習院卒は高野重三に三女祥（明四一）日本女子大卒は松岡作市に各嫁す

渡邊助之丞　宮川　蒲燒料理業　宮ノ湯經營者　所得税一五一三　東京市京橋區築地一ノ三　電京橋二八三

君は千葉縣人渡邊安明の二男慶應三年十月十七日同縣君津郡神納村に生れ大正十五年兄直次の後を襲ひ家督を相續す明治十八年九月上京深川區富岡門前町の宮川に入りて蒲燒料理業を習得同廿六年六月獨立現住地に開業今日に至る傍ら日本橋區川瀨町淺草田原町及び神奈川縣鶴見町に宮ノ湯を經營す　宗教神道【家庭】妻さく（明一四）東京府人藤田市太郎姉　長男安彥（大一一）長女賴子（大九）

渡邊漸（ススム）　辯護士　辨理士　橫濱市常盤町四ノ一常盤ビル内（事務所）中區　電長者町二八六一　神奈川區青木町一六〇〇　電本局二八六九

君は熊本縣人渡邊文迪の三男明治五年八月十五日同縣益城郡年彌村に生れ後分家す同廿八年早稻田大學法科を卒業し判檢事登用試驗に合格同卅五年東京地方裁判所司法官試補となり同卅六年辭して法律事務所を開設主として民事々件を取扱ひ今日に至る基督青年會理事たり　宗教基督教　趣味讀書【家庭】妻やゑ（明一四）青森縣士族佐藤力二女共立女子職業卒　長男登（明三七）東大法學部卒　長女敎子（明三九）青山女學院家政科卒は伯父渡邊茂の養子となる

渡邊節　旭家具裝飾(株)取締　渡邊建築事務所(名)代表社員　電御影五九　兵庫縣武庫郡住吉村

君は福島縣人陸軍少將渡邊祺十郎の長男明治十七年十一月を以て生れ大正八年家督を相續す明治四十一年東京帝大工科建築科を卒業し韓國度支部技師に就任同四十五年歸朝し鐵道院技師に任命せらる大正六年職を辭し建築士を業とし其後建築學研究の爲歐米を漫遊する事二回目下渡邊建築事務所代表社員たる外前記會社の重役たり【家庭】父祺十郎（安政六）從四位勳二等功三級　母イチ（元治元）岐阜縣人菅原淸妹　妻さだ（明二六）工博山田文太郎長女　養子道輝（大三）宮城縣人梅澤銀造三男　養女八重子（大七）

渡邊專一　鐵工業　東京市本所區北二葉町三六　電墨田三二四五

君は宮城縣人渡邊爲成の二男明治十八年一月廿五日仙臺市に生れ後分家す夙に仙臺及北海道に於て實業に從事せしが大正六年上京同九年鐵工業渡邊商店を創業爾來電信電話架線材料裝飾金物等の製造に從事し今日に至る　宗教日蓮宗【家庭】妻テル子（明二〇）北海道人白濱園太郎三女札幌北星女學卒　長男正夫（大五）慶應商科在　長女美波子日本女大在

渡邊鏆四郎　松坂屋(株)仕入店長　京都上京區淨福寺椹木町下　電西陣五七四九

君は愛知縣人渡邊孫左衞門の四男明治九年十一月廿三日同縣に生れ同廿年分家す同廿年松坂屋名古屋本店に入り同四十五年京都仕入店長となり現在に至る　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻菊（明二〇）京都府人椎名常次郎長女　長男弘（大一一）長女初子（明四三）京華家政高女卒　二女盈子（大三）平安高女在　二男清（昭元）

渡邊全　正五勳五　林業試驗場技師　東京市外代々幡町幡ケ谷一三九九

君は大分縣士族渡邊薰の弟明治十五年五月を以て生る同四十年東京帝大農科を卒業し農商務省に入り山林技師農商務技師林務技師代野製材所長山林技師栃木縣技師農商務省技師山林局林產課長營林局技師兼農林技師等歷任し現時林業試驗場技師たり　宗教淨土宗　趣味旅行讀書【家庭】妻登女（明二三）埼玉縣人今川龜吉長女　長男彬（大二）東京府立四中在　長女房子（明四五）武藏野女子學院卒　二女道子（大五）三輪田高女在　二男毅（大八）兄薰（明七）現戶主

渡邊善十郎　日本橋區會議員　東京府多額納税者　東京株式取引所一般取引員　丸水渡邊商會(株)社長　渡邊保全(資)無限責任社員　東株代行　開運ビルヂング各(株)取締　第三銀行(株)監査　直接國税七六二五　東京市深川區安宅町九　電本所一三三四（店舖）日本橋區兜町六　電茅場町三四〇八

君は東京府人渡邊平吉の長男明治十六年二月を以て生れ大正十二年家督を相續す現時東京株取引所一般取引員たる外前記會社の重役にして東京府多額納税者たり推されて日本橋區會議員に擧げらる【家庭】母モン（萬延元）東京府人木村マサ姉　妻るい（明二二）同府人西村覺藏四女　長女芳子（大二）嗣子善次郎（大三）四男善四郎（大五）五男善五郎（大一一）四女悅子（大一三）六男善吉（大一四）五女泰子（大一五）

渡邊宗吉　日本銃砲店主　銃砲商　所得税一九七　千葉縣東葛飾郡市川町市川新田二五二　電市川一七二（店舖）東京市日本橋區通三ノ一　電日本橋六六三

君は神奈川縣人日高金平の長男慶應二年四月八日を以て生れ渡邊家の養子となり明治十九年養家を相續す同廿年橫濱に於て金丸謙次郎と共同し銃砲店を開設せしが同卅年獨立して東京に開業し同卅五年日本銃砲店と改稱し以て今日に至る曩に日本コンベーヤ會社監査役たり　宗教日蓮宗　趣味狩獵【家庭】長男俊郎（明二一）上海工部局在勤　同妻淑子（明二四）上海白石六三郎養女　二男宗光（明三二）三男宗文（明三五）三女甲子（明三九）東京高女卒　四男宗通（明四一）日本大學附屬中學卒　長女喜美江（明二五）は東京府士族守山修三に嫁す

渡邊宗三郎　川橋屋商店(資)代表社員　銅鐵機械商　所得税五八九　橫濱市保土ケ谷區神戶上町六九八　電長者町二九六一（店舖）中區日本大通四二　電本局六六

君は和歌山縣人故正四位勳二等陸軍主計監中村宗則の四男橫濱正金銀行シンガポール支店長中村宗信の兄明治十四年十一月四日を以て生れ後先代貞次郎の養子となり大正十一年家督を相續す渡邊家は先代より銅鐵機械商を營む君は明治卅六年橫濱商業學校を卒業家業に從事同四十年組織を變更して合資會社となし代表社員に就任し其經營の衝に當り今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻こう（明二〇）養父貞次郎長女　長男貞一郎（明三八）早大商科在　二男鍒之助（明四〇）青山學院商學部在　三男傳三郎（明四三）神奈川縣立一中卒　長女鉚子（大元）フェリス高女卒

渡邊惣五郎　鑄造業　東京市外瀧野川町西ケ原一四九七

君は新潟縣人建守多次郎の弟明治廿三年四月廿三日同縣に生れ後渡邊家の養子となり同卅三年家督を相續す大正十一年渡邊鑄造所を創設して鑄造業に從事し現在に至る　宗教眞宗　趣味釣魚【家庭】妻わきの（明三五）石川縣人赤坂與平四女　長男惣一郎（大一二）三男惣二郎（昭二）二女さわ子（昭三）

渡邊惣太郎　槻木町會議員　丸佐運送店　運送業　宮城縣柴田郡槻木町畑中五　電槻木一七

君は宮城縣人渡邊惣四郎の長男明治卅一年五月十日同縣柴田郡槻木町に生れ昭和四年三月家督を相續す丸佐運送店と稱し運送業を營み昭和四年四月槻木町會議員に當選現に其職に在り【家庭】祖母ゆき（嘉永四）母くめ（明九）妻ときを（明三九）宮城縣人加藤林七三女　長男日出夫（大一四）長女和子（昭三）弟潤二郎（明三三）同妻文代（明三五）山形縣人佐藤幾太郎六女　弟末吉（明四四）

渡邊泰三　京都府多額納税者　立花屋　醬油釀造業　直接國税二七五五　京都市上京區千本五辻上ル西入　電西陣七四五五

君は京都府人渡邊傳左衞門の四男明治廿二年一月を以て生る立花屋と稱し醬油釀造業を營み京都府多額納税者たり【家庭】母なほ（明二）京都府人林長太郎妹　兄傳一（明一四）兄專三（明一八）

渡邊大助　鳥安　割烹業　東京市日本橋區米澤町三ノ七　電浪花一〇三七

君は東京府人渡邊大助の二男明治卅年十二月を以て生れ大正九年家督相續と共に襲名して前名吉之助を改む夙に割烹業を營み鳥安と稱す曩に播金商店監査役たり【家庭】母キヌ（明五）東京府人小畑又七二女　妹トモ（明三六）

渡邊代五郎　辯護士　辨理士　東京市小石川區諏訪町五九　電小石川二六一八（事務所）麴町區丸ノ内三ノ一二仲通三號館　電丸ノ内二三七六

君は廣島縣人渡邊爲衞門の長男明治九年十月同縣深安郡湯田村に生れ後家督を相續す夙に廣島縣師範を首席にて卒業し小學校訓導となり次で同縣視學廣島高師職員等に歷任し後早稻田大學法科を首席にて卒業し大正元年辯護士試驗に合格し辯護士となり以て今日に至る東京辯護士會常議員たり永樂俱樂部會員なり　宗教眞言宗　趣味圍碁【家庭】長男義章（大九）

渡邊孝　京王電氣軌道(株)取締兼營業部長　甲州街道乘合自動車　京王砂利各(株)監査　所得税三七一　東京市外大久保町西大久保五〇八　電四谷六一一七

君は大分縣人渡邊衰作の二男明治十九年十二月廿五日同縣宇佐郡四日市町に生れ大正三年家督を相續す同四十四年京都帝大工科電氣工學科を卒業富士瓦斯紡績に入社大正三年迄勤務其間同四十五年玉川電氣鐵道會社の主任技師を兼務し大正六年京王電氣軌道に入り尋で王子電氣軌道に兼務同十一年七月玉南電氣鐵道會社創立と共に取締役に任ず現に京王電氣軌道取締役兼營業部長たる傍ら前記諸職に在り電氣俱樂部電氣協會電氣學會工政會各會員なり　宗教眞宗　趣味讀書旅行觀世流謠曲【家庭】妻達子（明二五）大分縣人井上莊三郎五女扇城高女卒　長男勔（大一二）二男健（大一五）

渡邊武　從五　大藏屬　預金部運用課勤務　所得税四一三　東京市麻布區本村町三五　電高輪四八三六

君は子爵司法大臣貴族院議員渡邊千冬の男明治廿九年二月十五日を以て生る一高を經て昭和五年東京帝大法學部政治學科を卒業同四年在學中高等試驗行政科に合格す現時前記の職にあり　趣味庭球スキー【家庭】父千冬（明九）現戶主※渡邊千冬の項參照

渡邊武夫　正六勳四　海軍造船中佐　艦政本部第三部勤務　東京市赤坂區青山北町六ノ四二　電青山三七七四

君は北海道人森斐司の二男明治廿三年六月北海道に生れ後北海道人渡邊徹三の養子となり大正九年家督を相續す同五年東京帝大工科造船科を卒業直に海軍に入り海軍造船中尉に任じ爾來累進して中佐に陞る大正十二年英國に出張を命ぜられ在英二年歸朝後艦政本部第三部勤務となり今日に至る　宗教眞宗　趣味繪畫旅行運動【家庭】養母はる子（文久三）妻はな子（明三一）林文次郎三女札幌高女卒　長女從子（大一一）二女默子（大一三）

渡邊武雄　三井銀行(株)日本橋支店員　東京市外池上町市野倉三一二

君は宮城縣人渡邊伊左衞門の長男明治卅二年十月十五日同縣に生れ大正五年家督を相續す同十四年慶大經濟學部を卒業直に三井銀行日本橋支店に入り貸付係員を經て現に預金係員に任じて今日に至る　宗教曹洞教　趣味謠曲【家庭】妻うの子（明三六）宮城縣人遠藤善作四女白石高女卒　弟年人東京高工卒富士瓦斯紡績技師

渡邊武平　渡邊工務所主　土木建築設計監督請負業　地家主　所得税二九八　東京市外大崎町居木橋七八〇　電高輪四一七三

君は故北海道廳巡査部長渡邊忠吉の二男明治十五年五月廿八日新潟縣西蒲原郡彌彥村に生れ明治十九年家督を相續す同廿九年上京同年淺野總一郎家の建築に世話人として從事し後三共株式會社品川工場木工部主任となり大正六年之を辭し同七年獨立開業して今日に至る其間主として三共會社東洋製菓會社品川白煉瓦會社の仕事に從事す又地家主たり　宗教眞宗　趣味盆栽書畫骨董【家庭】妻タセ（明一七）新潟縣人池榮作妹　嗣子武一（大九）長女竹子（大一五）

渡邊武良 日本樟腦(株)專務 兵庫縣武庫郡住吉村七三五 電御影七五七

君は岡山縣人渡邊武治の二男明治六年三月十五日を以て生れ同卅三年家督を相續す同卅一年東京帝大法科を卒業し同卅四年三井銀行に入り檢査課長京都廣島台灣各支店長等歷任せり現に日本樟腦株式會社專務取締役たり 宗教日蓮宗 趣味謠曲【家庭】長男良夫（明三三）三十四銀行勤務 同妻百合子（明四〇）岡山縣人山ノ内恕二女兵庫縣立第一高女卒 長女浪子（明四〇）神戶女學院卒 二女泰江（大二）同校在 三女壽美子（大八）

渡邊扶 東京瓦斯(株)千住製造所長 東京市外澁谷町景丘五四

君は福島縣士族渡邊長總の二男明治十九年一月廿一日同縣に生る明治四十三年東京帝大工科應用化學科を卒業後千代田瓦斯會社技師長滿鐵社員橫濱市瓦斯局長等歷任昭和四年八月東京瓦斯千住製作所長に就任して現在に至る【家庭】妻靜子（明二二）東京府人田岡忠次郎二女 長女敏子（明四四）家政學院在 二女淑子（大一〇）二男宏（大一二）三女綾子（大一四）

渡邊辰雄 東京瓦斯(株)社員 東京赤坂區青山南町二ノ四四 電青山一七六〇

君は佐賀縣人神代辰三郎の長男明治廿九年十二月八日同縣に生れ後工學博士渡邊嘉一の養子となり後分家す大正十年慶大理財科を卒業後東京瓦斯株式會社に入り現に株式掛に勤務す 趣味將棋撞球ゴルフ【家庭】妻久江（明二二）學習院女學部卒 長男昭雄（昭二）長女愛子（大一四）二女多美子（昭元）

渡邊辰三郎 一保堂 茶商 所得稅二一四 京都市上京區寺町二條上ル常盤木五二 電上三五三

君は滋賀縣士族戶塚半十郎の二男慶應三年五月を以て生れ先代タネの入夫となり明治卅三年二月家督を相續す一保堂と稱し茶商を營む曩に京都商工會議所議員たり【家庭】妻タネ（明三）京都府人渡邊利兵衛長女 男雅之助（明三〇）京都市立第一商業卒 同妻福子（明三三）京都府人松本善衛門三女 同長女ゆき（大一〇）晶子（大一四）同二女 男恒三（明三二）神戶高商卒 三女民（明二七）は京都府人渡邊松次郎に 女美代（明三三）は滋賀縣人中村吉藏に五女つる（明三五）は同縣人中村德三に各嫁し 男利造（明二八）は京都府人谷口米治郎に四男元藏（明三七）神戶高商卒は京都府人小林喜三郎に五男貞之介（明三八）京都府立一中卒は同府人後藤辰三郎に各養子となる

渡邊淡 勳五 東京市芝區白金三光町二五一 電高輪七二八三

君は福岡縣人渡邊茂四郎の長男明治元年九月同縣に生れ同廿七年家督を相續す同廿六年商船學校を卒業し日本郵船會社に入り勤續卅ヶ年に及ぶ現時閑地に在り【家庭】妻しん子（明九）福岡縣人渡邊十郎二女 長男渉（明三三）明治大學卒太平生命保險會社員 同妻操（明四一）東京府人小菅有道長女成蹊高女卒 二男亦男（明三六）文學士 三男季彥（明四一）東京高等音樂學院在 四男久茂（大六）赤坂中學在

渡邊千冬 從三勳二 子爵 司法大臣 貴族院議員 宗秩寮審議會審議官 宗敎制度調査會委員 所得稅二〇一〇 東京市麻布區本村町三五 電高輪四八三六

當家は先代國武より家名を揚ぐ國武は舊諏訪藩士にして故伯爵渡邊千秋の弟なり大藏省主計局長大藏次官大藏大臣（三回）遞信大臣等に歷任明治廿八年功により特旨を以て華族に列し子爵を授けらる君は渡邊千秋の三男伯爵渡邊昭の叔父明治九年五月を以て生れ先代國武の養子となり大正八年襲爵仰付らる明治卅三年東京帝大法科佛法科を卒業し曾て日佛銀行專務取締役兼東京支店代表者たりし事あり大正九年貴族院議員に互選せられ昭和四年七月濱口內閣に入りて司法大臣に親任せられ現に其任に在り曩に長野縣より選出せられて衆議院議員たりし事あり【家庭】妻芳子（明一八）東京府人本尾敬三郎二女 長男武（明三九）二男慧（明四三）※渡邊武の項參照

渡邊千代吉 小石川青年團 同女子青年團各理事 小石川圖書館監事 東京市茗荷谷町小學校長 東京市小石川區茗荷谷町七五

君は千葉縣人渡邊治左衛門の長男明治十四年八月三日同縣香取郡神代村に生れ後家督を相續す同卅八年千葉縣師範を卒業し同校附屬小學校訓導となり次で東京女子高師附屬小學校訓導東京市小日向台小學校長等に歷任し大正十五年窪町小學校長となり今日に及ぶ 宗敎眞宗、趣味謠曲讀書【家庭】妻かね（明一八）千葉縣人天野平助長女 長男良一（大二）高師附中在 長女溫代（明四二）文華高女女師各卒 二女恭子（大四）文華高女在 二男謙二（大一二）

渡邊千代三郎 正六 貴族院議員 瓦斯事業委員 南海鐵道(株)社長 大阪瓦斯 堺瓦斯 日本染料製造 安田信託各(株)取締 日本揮發油 大社宮島鐵道 東洋木材防腐各(株)監査 大阪株式取引所(株)理事 鐵道同志會理事 所得稅一三一六五 大阪東區谷町一ノ一 電東一五〇〇

君は岐阜縣人渡邊新次郎の二男慶應元年八月を以て生れ明治廿八年分家す同廿二年帝國大學法律科を卒業し日本銀行に入り辭して北濱銀行に入る次で取引所視察の爲歐米を漫遊歸朝後西成鐵道會社長に選ばれ後大阪瓦斯會社支配人同取締役尋で社長に擧られ傍ら前記會社の重役として今日に至る昭和二年五月貴族院議員に勅選せらる 趣味漢詩【家庭】妻ぎん（明元）東京府人岩山金次郎妹 男一雄（明三一）四男有美（明四四）長女和歌（明三三）大阪府立夕陽丘高女卒は山梨縣人蘆澤錄朗に二女滿壽子（明三九）同校卒は安田信託社員中田仲直に各嫁す

渡邊忠三郎 東京電氣製造(株)取締 東京市外南千住町六ノ八一 電淺草四七六八

君は茨城縣人渡邊與三平の三男明治三年十二月十二日同縣に生れ同廿二年家督を相續す同卅年二月日本車輛製造株式會社東京支店に入社昭和二年二月辭し同年より貸車庫業を營み傍ら東京電氣製造會社取締役に就任して今日に至る 宗教淨土宗【家庭】妻はつ（明八）鈴木彌次郎女 三男嗣子粂雄（明三七）四男弘（明四〇）城西中學卒 六男裕（明四四）東京府立七中卒

渡邊忠次 東京地下鐵道(株)小柳町出張所主任 東京市外尾久町上尾久一八三六 電下谷七〇一七

君は東京府人尾崎淸次郎の三男明治十四年二月廿八日日本橋區に生れ後渡邊嘉右衛門の養子となる工手學校を卒業後鐵道省に廿年間技手を勤務昭和二年東京地下鐵道株式會社に入社目下小柳町出張所主任技師たり 宗教眞宗 趣味讀書【家庭】妻せい子（明二一）群馬縣人皆川藤吉三女 長男正一（大二）東京府立工業在 長女千代子（明四二）共立女子職業卒 二女鶴子（明四四）東洋家政高女卒

渡邊長兵衛 伊藤銀行(株)取締 松坂屋(株)監査 所得稅五五三 名古屋市西區桑名町六二 電本局一六九六

君は愛知縣人杉村藤左衛門の五男慶應二年二月を以て生れ明治廿二年七月先代やゑの入夫となり家督を相續し前名乙治郎を改む曩に伊藤銀行常務取締役三線商店監査役たりしが現時前記銀行會社の重役たり【家庭】妻やゑ（明一二）先々代長兵衛長女 男信一（明三四）男英三（明三八）長女豐子（明四〇）二女愛子（大元）三女夏子（大六）四女つき（大九）五女彰子（大一一）六女榮子（大一二）

渡邊次一 福井銀行(株)常務 福井貯蓄銀行(株)取締 福井縣足羽郡上文珠村

君は福井縣人先代次郎左衛門の長男安政元年一月を以て生れ明治十四年家督を相續す現時福井銀行常務取締役たる外前記銀行の重役たり【家庭】妻ムメヲ（文久二）福井縣人窪田藤兵衛叔母 長男博（明二四）同妻たつ（明二五）同縣人西岡甚平六女 同二女次子（大二）同三女修子（大一四）二女政尾（明二一）は同縣人末吉時十郎養子正志に嫁す

渡邊勉 近江帆布(株)常務 渡邊商事(株)取締 所得稅二三二 大阪市住吉區住吉町九五五 電住吉一七四

君は奈良縣人渡邊愼の長男明治三年十月を以て生れ同四十一年家督を相續す同四十二年東京專門學校英語普通科を卒業し現時近江帆布會社常務取締役の外前記會社の重役たり【家庭】妻マス（明一七）大阪府人河野仁三郎長女 長男俊三（大五）四男孝藏（大八）長女登代（大一一）

渡邊綱吉 扶桑敎最高顧問 銀杏八幡宮々司 鳥越神社々掌 神官 東京市淺草區福井町一ノ一八 電淺草三二二四

君は山梨縣人故淺間神社々掌渡邊傳兵衛の長男明治三年四月三日を以て生れ後家督を相續す同十九年神道教導職となり同卅二年銀杏八幡宮社掌となり次で宮司に進み其職に在る傍ら前記諸職に在り曩に淺草區第一方面委員廿二地區々劃整理委員たり廣道渇挿花（十世家元として知らる）【家庭】妻幸子 長男源一郎在鄉陸軍一等主計淺草區三島神社々掌

渡邊綱治 埼玉縣多額納稅者 大宮渡邊製絲所 製絲業 直接國稅八五七一 埼玉縣北足立郡與野町上落合九九二 電大宮一〇

君は長野縣人渡邊豐治三男にして同縣多額納稅者同元得の弟明治廿五年八月を以て生れ同四十四年分家す製絲業を營み埼玉縣多額納稅者たり【家庭】妻花子（明二五）埼玉縣人花保智女 長男武男（明四五）長女雪子（大九）二女美枝子（大一一）三女久子（大一三）三男貞治（大一五）

渡邊恒太郎 オリエンタル寫眞工業 南洋商會各(株)常務 南洋貿易信用(株)監査 所得稅一二九 東京市外戶塚町下戶塚三五〇

君は山形縣士族渡邊正三郎の長男明治廿二年五月六日を以て生る大正二年東京帝大醫科藥學科を卒業し直に東洋商會に入り理事を經て常務取締役に擧げられ現に其職に在る外前記會社重役たり 宗教眞宗【家庭】父正三郎（明元）現戶主 妻シン（明二七）福島縣人根本祐太郎二女福島高女卒 長男良一郎（大九）長女繁（大七）二男謹次郎（大一一）二女芳（大一三）三女房（大一五）

渡邊競（ツヨシ） 從五勳五 鐵道局參事 東京鐵道局經理課長 東京市外戶塚町上戶塚五七五 電牛込五九〇四

君は岡山縣士族渡邊直三郎の弟明治十七年五月を以て生る同四十五年東京帝大法科政治科を卒業し文官高等試驗に合格し鐵道院副參事鐵道省事務官經理局調査課長を歷任し大正十二年鐵道局參事となり同年支那へ同十五年歐米に出張を命ぜらる現に東京鐵道局經理課長たり【家庭】妻雅子（明三三）岡山縣人目黑米二女 長男彥（大一三）長女至子（大一五）二女道子（昭二）兄直三郎（明五）現戶主

渡邊鶴三郎 絲鶴商店 蠶糸貿易商 橫濱取引所取引員 所得稅五一三八 橫濱市中區南仲通四ノ四六 電本局五二九七

君は愛知縣人渡邊彥八の三男同彥五郎の弟明治十五年十月六日を以て生れ同卅九年分家す同年愛知縣寶飯郡一の宮村に於て蠶絲業を創め同四十四年福井市に轉じ大正元年橫濱に出で〻蠶絲貿易に從事す現時橫濱取引所取引員にして橫濱貿易商同業組合員たり 宗教淨土眞宗【家庭】妻つるゑ（明一八）愛知縣人酒井秀賢長女 長男榮一（明四三）福井中學卒

渡邊貞一 仙南銀行(株)頭取 宮城縣農工銀行 大所渡邊 刈田自動車 白石興產 白石造釀各(株)取締 渡邊造釀部 白石精麥各(株)監査 酒味噌釀造業 宮城縣刈田郡白石町仲町二七 電白石二

君は宮城縣人前渡邊實業銀行頭取故渡邊佐吉の長男明治廿五年六月廿一日同縣刈田郡白石町に生れ大正十三年家督を相續す明治四十五年同縣立白石中學校を卒業し現に父祖の業を繼ぎて酒味噌釀造業を營む傍ら仙南銀行頭取たる外前記銀行會社の重役たり資產家として知らる【家庭】母まつ（明九）白石敬神自警主婦會長 妻ヨネ（明三二）福島縣多額納稅者川俣銀行頭取武藤茂平二女 長男佐男（大一四）二女貞子（大九）三女良子（大一〇）四女光子（大一二）五女靜子（昭二）※武藤茂平 渡邊敬二 木村德兵衛 渡邊彥四郎の各項參照

渡邊貞吉 白石二業組合長 玉幸 割烹業 宮城縣刈田郡白石町堂場二四

君は福島縣人寺井定吉三男明治十五年四月一日を以て生れ同四十二年九月先代まんの入夫となり家督を相續す玉幸と稱して割烹業を營み現に白石二業組合長たり【家庭】養母まつの（安政五）妻まん（明一六）宮城縣人星幸之助二女 養子淸（明三二）福島縣人大和田萬助長男 養女まさ（明三五）養子淸妻宮城縣人本田幸之助八女 同長男健治（大一二）同二男良吉（大一五）養子政治（明三四）宮城縣人鈴木喜市弟 養女イシ（明三二）宮城縣人庄子伊之助二女 同長女いま（大一五）

渡邊悌治 理化學工業(株)技術部長 東京四谷區左門町一六 電青山五六七六

君は山形縣士族故渡邊輝之助の長男明治十八年四月七日同縣に生れ後家督を相續す同四十五年東京帝大工科

造兵科を卒業し直に日本製綱所に入り機械課長となり昭和二年理化學工業會社技術部長に轉じ今日に至る　宗教日蓮宗　趣味寫眞謠曲【家庭】母てる（明二）妻雅代（明三三）廣島縣人武田嶷長女東京美術卒

渡邊哲夫　東京灣汽船　旭藥品工業各(株)取締　所得稅二六四九　東京市外大久保町百人町一八二　電四谷三四九五

君は大分縣の人明治十七年十二月十六日同縣臼杵町に生る同四十四年東京帝大法學部政治科を卒業す現時東京灣汽船旭藥品工業各會社の取締役たり【家庭】妻園（明二三）東京府人渡邊治右衛門女御茶水高女卒　長男達人（大六）長女田鶴（大五）二女悅（大八）

渡邊哲二　東京海上火災保險(株)社員　所得稅九二六　東京市赤坂區表町三ノ一三　電青山三五〇〇

君は長野縣人渡邊嘉一の二男明治廿九年月廿六日を以て生る大正十年京都帝大法學部經濟學科を卒業し直に第一銀行に入り後東京海上火災保險會社に轉じ現時火災部地方代理部係たり【家庭】妻廣（明三七）東京府人工學博士原田鎭治五女　長男嘉男（大一二）二男榮男（大一三）三男光男（大一五）※渡邊嘉一の項參照

渡邊鐵藏　從四勳四　法博　國產振興委員會臨時委員　東京商工會議所理事　所得稅二七七　東京市赤坂區青山南町一ノ二七　電青山三八三

君は大阪府人渡邊寅藏の男明治十八年十月十四日大阪市に生れ同廿六年家督を相續す同四十三年東京帝大法科を卒業し直に商學研究の爲英獨白へ留學を命ぜられ大正二年東京帝大助教授に任じ同五年同教授に陞任同六年法學博士の學位を授與せらる尋で同十五年東京商業會議所書記長に任ぜられて現時同理事にして前記の職を兼ぬ交詢社會員　宗教日蓮宗　趣味音樂運動【家庭】妻ヤス（明二六）男爵北里柴三郎長女學習院女學部卒　長男文夫（大六）二女愛子（大七）三女貴美子（大八）五女幸子（大一一）二男正雄（大一三）六女慶子（大一四）七女完子（大一五）

渡邊輝綱　妙布本舖　藥種商　東京市麻布區霞町二一　電青山二六二七

君は東京府人渡邊綱武の三男安政五年三月を以て生れ後家督を相續す藥種商を營み妙布本舖として知らる【家庭】養子又男（明二〇）東京府人渡邊寬鋼四男　同妻登美（明二四）靜岡縣人鈴木博夫三女　同養女妙子（大一〇）靜岡縣人塚本良三長女

渡邊傳右衛門　製茶貿易商　橫濱市中區元濱町三ノ二八　電本局七二九

君は神奈川縣人渡邊庄太郎の長男明治十二年一月六日橫濱市に生れ昭和元年家督を相續す明治卅一年橫濱商業學校を卒業し製茶貿易商に從事し以て今日に至る曩に製茶貿易業視察の爲歐米に數ヶ年渡航す【家庭】長女三松（明四二）東京女大在

渡邊傳七　渡邊合名商店　貝細工海草問屋　神奈川縣鎌倉郡川口村江ノ島　電片瀨一四〇

君は神奈川縣人渡邊三郎兵衛の長男明治六年五月廿五日同縣に生れ同廿三年家督を相續す大正十五年渡邊合資會社を創立其代表社員たりしが後之を解散し現時獨立して貝細工商を經營す曩に川口村會議員たり　宗教眞言宗　趣味旅行【家庭】妻ハル（明一九）神奈川縣人太田實女　養嗣子榮次（明三三）同妻キン（明三七）同縣人福島庄吉四女　女ヨシ子（明四五）鎌倉高女卒　養女トク（大一五）

渡邊登美次　從七勳六　在鄉陸軍二等主計　第一徵兵保險(株)出納課長　東京市外東調布町下沼部六七三

君は福岡縣士族渡邊榮次郎の二男明治十五年二月十八日橫濱市に生れ後分家す同四十年慶應大學を卒業三井鑛山商務課員福岡銀行十七銀行各支店長を歷勤後第一徵兵保險出納課長となり現在に至る【家庭】妻ツネ（明二一）中亥歲男妹神戶親和高女卒　長男利夫（大七）長女ミネ（明四四）日出高女卒　二女美子（大五）實踐高女在

渡邊藤一　守谷商會(株)電氣部長　東京市外東調布上沼部一四　電田園調布三二一

君は長野縣人渡邊與六の二男明治廿四年一月廿日同縣に生れ大正十三年家督を相續す明治四十三年守谷商會に入り現時電氣部長たり電氣倶樂部會員なり　宗教一向宗　趣味野球【家庭】母もと（萬延元）妻壽枝子（明三三）千葉縣人館岡由松妹　妹鈴江（明二九）は佐々木壽雄に同千野（明三一）は木下裕敬に各嫁す

渡邊藤吉　栃尾鐵道　新潟水力電氣　北越製菓　北越製絲各(株)社長　長岡鐵道　北越新報社　葡萄鑛山　長岡倉庫運輸各(株)取締　長岡鐵工所(株)監查　長岡市觀光院町九〇一

君は新潟縣人大塚米吉の三男安政六年二月を以て生れ明治七年十一月渡邊清松の養子となり分家す現時前記會社の重役たり曩に長岡商業會議所會頭に推さる【家庭】妻タツ（明五）新潟縣人渡邊六松長女　長男藤藏（明二二）明治大學卒長岡日報社取締役　同妻フサ（明二五）新潟縣人田邊忠吉三女　同長女昌（大三）同二女富志（大五）同三女美代（大六）同長男英一（大九）同二男英二（大一二）二男藤次郎（明三二）は新潟縣人渡邊清次郎の養子となり養子栁（明二二）同縣人渡邊六松五女は同縣人山田又司に嫁す

渡邊藤吉　福岡縣多額納稅者　渡邊鐵工所(株)社長　日本工業原料(株)取締　紙藤金物商　直接國稅四〇七二　福岡市博多上西町一六　電福岡五二八

君は福岡縣人渡邊藤吉の四男明治十五年二月を以て生れ大正八年一月家督を相續し前名愛次郎を改む紙藤と稱し金物商を營み傍ら前記會社の重役にして福岡縣多額納稅者たり曩に博多商業會議所議員に擧げらる【家庭】祖母ミエ（安政元）福岡縣人賀島春里二女　養母ヒサ（明元）同縣人小嶺佐七郎長女　妻タカノ（明一八）同縣人麻生藤市長女　養子良稻（明二三）同縣士族怡土東弟は同妻リクエ（明三〇）同縣人許斐貞吉長女及其三男と共に分家し　妹ハル（明一七）は博多商工會議所常議員渡邊福雄に嫁す

渡邊藤吉　土木建築請負業　東京市神田區淡路町一ノ一　電神田二二七一

君は東京府人渡邊慶次郎の長男明治廿年九月十一日神田區佐柄木町に生れ大正元年家督を相續し前名泰助を改む父の創業に係る土木建築業を繼承し今日に至る　宗教眞言宗　趣味將棋【家庭】妻喜代（明二三）長男泰助（大六）二男泰男（大一〇）長女浩子（大一一）二女たま（大一三）三男勝三（大一五）

渡邊藤十郞　鹽原電車(株)專務　日光登山鐵道　三共社印刷所　中宮祠電力　關東蓄產各(株)取締　宇都宮市中河原町九七五　電宇都宮七七五

君は栃木縣人澤喜一の弟明治十九年三月廿九日を以て生れ先代鐸三の養子となり大正九年家督を相續す明治四十二年早大を卒業し現時前記諸會社の重役たり曩に古河電氣會社代表取締役たり　宗教禪宗【家庭】養父鐸三（安政六）養母タネ（文久二）妻ハツ（明二〇）宇都宮養父鐸三長女宇都宮高女卒　長男勝二（大二）宇都宮中學在　三男敏夫（大三）同校在　四男達夫（昭三）

渡邊藤平　間組(資)東京支店次長　所得稅一一九　東京市赤坂區青山高樹町一二ノ一七　電青山四三六八

君は岡山縣人渡邊鹿吉の長男明治廿年十二月廿七日同縣に生る同四十三年鐵道省に奉職し技手となり大正三年辭して翌年間組に入り東京支店次長に就任昭和四年一月建築部長を兼任して今日に至る日本土木組合委員たり　宗教眞言宗【家庭】父鹿吉（明元）現戶主　母喜和（明四）妻小龍（明二八）岡山縣人草井森吉二女岡山西大寺高女卒　長男舟人（大五）岡山一中在　長女愛子（大八）二男準平（大一二）三男守夫（大一四）二女汀（昭三）

渡邊亨　ボルネオ護謨(株)取締　所得稅三五二　東京市外馬込町洗足三七六九　電高輪二一九二

君は千葉縣人渡邊紋右衛門の長男慶應三年九月を以て生れ明治廿九年分家す同十九年東京專門學校法律科を卒業し日報社に入り後東京株式取引所書記支配人を經て理事となり同卅九年之を辭し支那營口水道電氣會社專務取締役に就任後鬼怒川水力電氣會社常務取締役たりしが現時前記會社の重役たり【家庭】妻こう（明八）千葉縣人鈴木利兵衛妹　男嵩（明三〇）慶大卒古河電氣工業會社員　四女富士子（明三八）聖心女學院卒　五女さつき（明三九）同校卒　六女鶯子（明四〇）同校卒　二女慶子（明三三）は千葉縣人岩瀨悌に三女梅子（明三五）は法學士辯護士五十嵐治孝に各嫁す

渡邊徹　中外紡績(株)取締　渡邊商會代表者　東京市外瀧野川西ヶ原五五八

君は愛知縣人渡邊徹鑒の二男明治十四年一月二日を以て生れ同四十四年分家す同四十年東京帝大法科を卒業後富士瓦斯紡績に入り小名木及押上工場長を歷勤の後大正八年職を辭して中外紡績株式會社を創立し專務取締役に就任現時取締役たり尋で同十三年渡邊商會を創業し爾來經營今日に至る　宗教眞宗　趣味スポーツ【家庭】妻クメ（明二五）神奈川縣人三樹一平長女　長男徹郎（明四四）京華商業卒　長女玉枝（大四）東洋女學校在　三男禎二（大六）京華商業在　四男泰男（大八）二女和子（大一〇）五男正男（大一二）

渡邊得男　澁澤同族　東京帽子　帝國ホテル　農林社各(株)取締　志賀工業所(株)監查　所得稅二八〇九　東京市小石川區駕籠町一五四　電大塚六五九

君は埼玉縣人渡邊宗三郎の長男明治十七年二月を以て生れ同四十三年家督を相續す同四十一年東京帝大法科政治科を卒業し日本銀行を經て第一銀行に入り福岡支店支配人となり後澁澤同族會社に轉じ現時同社取締役たる外前記會社の重役たり　趣味旅行讀書【家庭】妻いと（明二七）東京府士族山口芳之助二女東京女高師附高女卒　長男太門（大四）長女貞子（明四四）二女すゞ子（大四）三女松子（大五）二男要（大八）三男潔（大九）四女綾子（大一一）五女喜久子（大一三）六女道子（大一四）

渡邊得司郎　東洋拓殖(株)元山支店支配人　朝鮮元山府洞東社宅內

君は新潟縣の人明治廿一年九月同縣に生る同四十五年東京帝大農學部を卒業して同年山口農學校教諭となり大正七年之を辭し東洋拓殖會社に入り奉天支店在勤裡里京城各支店支配人を經て現時前記の職にあり元山ゴルフ倶樂部會員なり【家庭】妻キソ（明三八）長女文子（明四四）京城高女卒

渡邊德三郎　勳七　本鄉區書記　稅務課長　東京市外中野町東中野一七一九

君は宮城縣人渡邊力三郎の三男明治十六年二月十八日同縣に生れ大正五年分家す明治卅五年宮城縣立第一中學を經て國學院大學に學び關東廳東京市等に歷勤後本鄉區役所に轉じ書記に任じ稅務課長に補し今日に至る　宗教淨土宗　趣味讀書旅行書畫【家庭】妻艷子（明二二）東京府人內田稅太郎長女精華高女卒　長男德勝（明四三）東京市立一中卒　二男裕（大八）長女富美子（明四五）精華高女在　二女俊子同校在

渡邊德助　中部電力(株)取締　蘇原銀行(株)監查　鑛業　岐阜縣土佐郡日吉村

君は明治四年を以て生る鑛山業を營み現時前記銀行會社の重役にして曩に岐阜縣會議員同議長衆議院議員に選ばる

渡邊雋太郎　從七勳六　在鄉陸軍騎兵中尉　所得稅八三　東京市本鄉區眞砂町二四　電小石川三二六二

君は新潟縣人渡邊幸平の長男明治十一年四月十六日同縣に生れ後家督を相續す同卅年慶大本科を卒業後北越商業銀行に入社取締役に就任同四十二年十五銀行に轉じ大正十年主事に就任し神田支店長となり次で兩國支店長たりしが後之を辭し現時閑地にあり　宗教禪宗　趣味登山【家庭】父幸平（弘化四）妻セツ（明一四）新潟縣人山崎元修二女跡見高女卒　長男一夫（明三四）東京帝大文科卒東京帝大講師東京高校教授　二男廣夫（明三七）東京帝大佛法科在　長女アツ（明四一）佛英和高女同補習科各卒　三男幸雄（明四三）曉星中學卒　四男喜年同校在

渡邊年　東京市臺町小學校長　東京市四谷區仲町三ノ二四

君は東京府人渡邊忠助の長男明治廿年十月四日同府に生る同四十四年東京高師博物科を卒業後東京市根津小學校主席訓導となり大正六年眞砂小學校長拜命同十二年臺町小學校長に轉任して今日に至る男子及女子青年團臺町分團長なり　宗教禪宗　趣味讀書運動【家庭】父忠助（元治元）現戶主　母きの（明元）妻いち（明二六）長男洸（大一二）長女美佐子（大五）東京府立第六高女在　二女玲子（大九）

渡邊俊雄　正四勳二　工博　京都帝國大學教授　工學部勤務　京都市上京區北白川追分町八七ノ三　電上二六一八

君は福岡縣人渡邊村男の弟明治十年六月を以て生れ大正二年分家す明治卅三年東京帝大工科採鑛冶金科を卒

業し同卅五年採鑛冶金學研究の爲米獨佛に留學し同四十年仙臺高工教授に任ぜられ同四十三年京都帝大理工科大學教授に轉じ今日に至る同四十四年工學博士の學位を受く曩に同大學工學部長たり【家庭】妻タミ（明二〇）岩手縣人新渡戸宗助女　長女ミドリ（明四一）長男晴人（明四四）二男英造（大三）二女彌生（大五）

渡邊俊雄　東京府多額納税者　徳商店（株）專務　渡邊殖産（資）代表社員　都製紙　茨木鐵道　中央證券　六鄉砂利各（株）取締　東京株式取引所一般短期實物取引員　直接國税六四〇一　東京市麴町區一番町二七　電九段二二（店舗）日本橋區南兜町　電茅場町一〇五〇

君は東京府人渡邊武四郎の長男明治十二年十二月五日を以て生れ昭和二年家督相續す夙に東京商業學校を卒業し株式界に入り現時前記諸會社の重役にして東京府多額納税者なり同氣倶樂部寶生會會員なり　宗教眞言宗　趣味謠曲【家庭】母ユリ（嘉永三）妻ふみ（明一九）東京府人莊晉一姉　長男圭一郎（明四五）東京府立四中卒　二男清（大四）四女禎子（大一〇）

渡邊敏　古屋商店横須賀出張所主任　横須賀市岩松町八一　電横須賀七二八

君は茨城縣人渡邊傳治の長男明治廿一年一月同縣結城郡江沼村に生る大正十年横須賀市役所海軍御用米穀問屋古屋米穀商店に入り同十三年三月同店横須賀出張所主任に擧げらる　宗教天台宗【家庭】父傳治（明五）母クマ（明一六）

渡邊敏之助　東京府多額納税者　資産家　直接國税四一七一　東京市外淀橋町角筈三三六　電四谷一三八五

當家は遠く元和年間に始まり代々里正を勤む先代雅之助町會議員府會議員等に選ばる君は其長男明治廿五年四月を以て生れ大正九年家督を相續す同六年東京帝大法科英法科を卒業し後判事に任じ新潟靜岡横濱各地方裁判所判事に歷補後之を辭し武藏土地住宅會社代表社員に擧げらる現時東京府多額納税者なり【家庭】妻富子（明三五）東京府士族山田暘朔四女　長男文男（大一三）長女柳子（昭二）弟通次郎（明三〇）同浩三郎（明三三）は各分家す

渡邊富三郎　日本車輛製造（株）社員　東京市外寺島町一二二七

君は東京府人にして慶應元年三月東京市に生る夙に大藏省主計局に勤務せしが明治四十年日本鐵道會社に入り大正元年日本車輛製造會社に轉じ以て現在に至る　宗教日蓮宗　趣味釣魚【家庭】妻ワカ（明五）東京府人成瀬高常長女　三男高康（明四二）日本車輛會社員　二女秀子（明四一）佐藤高女卒　四男高明（大三）

渡邊友次郎　大友味噌釀造所　東京市芝區芝浦二ノ三　電高輪三四〇二

君は千葉縣人渡邊仁兵衞の二男明治十四年九月十一日同縣南葛飾郡松戸町に生れ同四十年分家す夙に上京し祖業の味噌釀造販賣業を營み大正九年四月現在地に釀造所を建設し大友味噌の製造及販賣を營み今日に至る　宗教日蓮宗【家庭】妻ふく（明二〇）千葉縣人渡邊與之助二女　長男義一郎（大七）長女玉江（明四一）東京府立第三高女修　三女絢子（大二）四女幸子（大五）二男市衞（大八）三男三郎（大一〇）

渡邊知雄　正六勳五　領事　ニューオルレアンス在勤　Consulate of Japan, 918 Masonie Temple Bldg., Charles SN., New Orleans, La., U. S. A.

君は靜岡縣人渡邊壽太郎の長男明治十六年七月十六日を以て生る同四十年早稻田大學政治經濟科を卒業し翌四十一年外務省に奉職し同四十五年外務書記生に任じ晩香坡領事館に駐在を命ぜられ大正六年支那駐在となり同八年副領事に任じ翌年倫敦總領事館に轉じ同十一年領事に任じ孟買領事館詰で昭和二年ニューオルレアンス領事館駐在を命ぜられ今日に至る　宗教日蓮宗　趣味讀書【家庭】父壽太郎（慶應二）母スミ（慶應三）妻貞子（明二五）靜岡縣人福地賢士長女同縣立高女卒　長男敬（明四三）韮山中學卒　長女順子（大元）靜岡縣立高女卒　二女臨子（大二）同校在　三女恭子（大七）二男暢（大九）三男襄（大一一）四女哲子（大一三）四男修（大一五）

渡邊知照　電線社主　電線業　東京市芝區三田小山町三　電高輪四六五六

君は新潟縣人渡邊菟助の三男明治十六年九月同縣に生れ大正元年分家す京北中學を經て日本大學を修業し明治四十年藤倉電線會社に入り大正七年小石川製作所電線部主任に轉じ次で同九年明治電線營業部長たりしが同十五年電線社を創立し其經營に從事し今日に至る　宗教眞宗　趣味尺八【家庭】妻糸子（明二三）富山縣人松平嘉藤養女渡邊高女卒　長男陽一（明四四）慶大在　長女知子（大三）三田高女在　二女照子（大五）順心高女在　二男敬二（大七）三女花子（大九）四女恭子（大一三）

渡邊豐吉　渡豐商店　帽子商　東京市日本橋區若松町一　電浪花三八九一

君は東京府人渡邊喜平の二男明治十六年二月を以て生れ同四十五年五月家督を相續す渡豐商店と稱し帽子商を營む【家庭】妻まつ江（明二二）長野縣人中川晴司女　長男喜一郎（明四五）女愛子（明四三）二男政治郎（大三）二女清子（大六）

渡邊豐吉　紙茶溫麵業　渡邊紙店　宮城縣刈田郡白石町中町四　電白石二三

君は宮城縣人渡邊儀藏の二男明治廿一年八月三日同縣刈田郡白石町に生れ同四十四年同縣人渡邊卯吉の養子となり大正三年家督を相續す明治卅九年白石中學校を卒業し祖業を繼承紙茶及溫麵販賣業を營み以て今日に至る【家庭】養母ひさ（慶應二）妻ちよ（明二七）宮城縣人吳服太物商日下仁右エ門長女　長男宇藏（大五）二女きみ（大八）二男知治（大一一）四女謙子（大一四）三男明（昭二）五女省子（昭四）※渡邊儀藏　同乙兵衞　同又四郎　日下仁右エ門　堀切善兵衞　同善次郎　森時宜の各項參照

渡邊豐日子　正五勳四　朝鮮總督府山林部長　朝鮮京城府大和町官舍　電本局四

君は熊本縣人渡邊實の長男明治十八年十一月を以て生る同四十五年東京帝大法科獨法科を卒業し大正元年文官高等試驗に合格直に東京府屬兼內務屬となる爾來宮城縣理事官同視學官愛知縣理事官同視學官を歷任し同八年朝鮮總督府事務官に任じ內務局第一課長同局地方課長殖産局土地改良課長等を經て同十二年歐米各國に出張を命ぜらる現に朝鮮總督府山林部長たり【家庭】父實（萬延元）母クニ（慶應元）妻政子（明二九）法博馬場愿治二女　長男元輔（大六）京城中學在　長女

和子（大九）二男豐（大一一）三男達（大一四）

渡邊虎一　渡邊建築事務所主　東京市日本橋區三代町三　電茅場町一七八九

君は東京府人渡邊米三郎の長男明治廿二年七月を以て生れ大正十一年家督を相續す同二年早大理工科建築科を卒業同九年建築事務所を獨立創業主として工場建築に從事し今日に至る建築學會建築士會會員たり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】母ギン（慶應三）妻トモ（明二九）東京府人川村七藏三女日本橋高女卒　長男裕（大一〇）弟要之助（明二七）中央大學法科卒安田銀行員　同妻吟子（明三三）中村高女卒及其一男一女　弟昇三（明三三）同妻タミ子　妹トミ子（明三九）

渡邊直次郎　日本霰彈製造（株）取締　渡邊直次郎商店（資）代表社員　東京市日本橋區鐵砲町一五　電浪花三六七八

君は東京府人渡邊喜兵衞の二男明治十一年十月を以て生れ大正三年十一月家督を相續す現に渡邊直次郎商店代表社員にして傍ら日本霰彈製造會社取締役たり【家庭】妻とくゑ（明一六）兵庫縣人岩本伊太郎三女　長女智惠子（大元）二女ひさ枝（大四）

渡邊直達　正四勳二　宮中顧問官兼式部官　所得税一四四　東京市下谷區茅町一ノ九　電下谷四五六

君は伯爵松平直之の弟明治五年七月を以て生れ同廿三年六月群馬縣士族渡邊喜平の養子となり後分家す夙に式部官となり有栖川宮家令皇后宮主事皇太后宮主事宮內事務官大禮使事務官式部次長心得同次長等に歷任し昭和五年三月宮中顧問官に任じ式部官を兼ぬ曩に儀式研究の爲及貞愛親王殿下守正王同妃兩殿下に隨行して歐米に赴き依仁親王同妃兩殿下英國皇帝皇后兩陛下戴冠式に御參列の際隨行す又ポルトガル白耳義佛丁抹各國より勳章を贈らる【家庭】妻堯（明一五）子爵北條雋八姉　長男克（明三七）二男直經（大八）

渡邊仲藏　東關酒造（株）監査　本鄉區酒類商共睦會長　東京酒類商同業組合顧問　高崎屋商店　酒醬油商　所得税一七一　東京市本鄉區駒込東片町八　電小石川八三三

當家は七代以前の創業に係り先代仲藏維新後之を繼承す君は東京府人伊藤仙藏の四男明治十一年二月七日を以て生れ渡邊家の養子となり同四十三年分家す現に酒醬油商を營む同四十三年六月東片町郵便局長に就任大正十年推されて本鄉區會議員に就任し同十五年同待遇となる尚六年東京酒類商組合創立に際し其部長に任じ爾來副組合長組合長を歷任し現時前記の職に在り　宗教日蓮宗　趣味謠曲大弓【家庭】妻保（明一三）東京府人邑田彌平妹　嗣子福次郎（明三六）京北商業卒東片町郵便局長　長女延子（明四三）東京府立第一實科高女卒　三男伊三雄（明四五）三女淑（大二）佐藤高女在　四女喜代（大四）四男兼雄（大五）

渡邊仁　從六　建築士　渡邊建築事務所主　建築設計監督　所得税五四二　東京市本鄉區駒込林町三四　電小石川一三六四（事務所）麴町區丸ノ內丸ビル內　電丸ノ內六八五

當家は先代正四位勳二等工學博士渡より顯はる渡は明治十二年大學南校卒業同校准教授工科大學教授農商務技師佐渡鑛山技師宮內省御料局技師同佐渡支廳長農商務省鑛山局長東京帝國大學工科大學長等に歷任す君は其長男明治廿年二月十六日東京市赤坂區に生れ大正八年六月家督を相續す學習院を經て明治四十五年東京帝大工科建築科を卒業して鐵道院に入り大正六年遞信省に轉じ同九年之を辭して建築事務所を開設し建築設計監督の事務に從事し現時に至る同十三年斯業視察の爲各國に歷遊す建築士會照明學會會員なり　宗教日蓮宗　趣味美術繪畫【家庭】母すみ（文久元）妻ツル（明二八）菊地武夫五女東京女高師附高女卒　長女富士江（大五）弟誠明（明三六）工學士

渡邊仁三　山一證券（株）監査　小池銀行（株）取締　所得税二四四〇　東京市四谷區右京町二一　電四谷四〇九〇

君は山梨縣人淺川友八の四男小池厚之助の伯父文久元年十二月五日甲府市に生れ明治卅三年三月渡邊志平の養子となる夙に山梨徽典館幕府學問所に入り和漢の學を修め又斯文學校に學ぶ同卅一年弟小池國三の株式仲買店を開業するに當り入りて之を輔佐し大正八年同社の解散に際し山一合資會社に入り同十一年同社監事となり同十五年十月同社組織變更され山一證券株式會社となるに及び常任監査役に就任す尚小池銀行取締役の任にあり曩に日本化學紙料會社監査役たり　宗教淨土宗　趣味謠曲圍碁【家庭】妻まつよ（明一三）山梨縣人中村守武二女　長男信太郎（明二〇）四女はる（明四三）三輪田高女卒　四男四朗（大二）東京府立六中在　五男五郎（大四）六男俊作（大一一）長女タイ子は小林德平に二女セキは酒造業亡小野將玄に各嫁し三男金三（明三一）高千穗中學卒は分家す※渡邊信太郎の項參照

渡邊暢　正三勳一　貴族院議員　辯護士　所得税二三八　千葉市登戸宍川

君は千葉縣士族渡邊佐兵衞の長男安政五年四月を以て生れ後家督を相續す明治十七年司法省法律學校を卒業し判事に任じ千葉地方裁判所部長東京控訴院判事千葉仙臺横濱東京各地方裁判所々長に歷補し同四十一年韓國政府に聘せられて大審院長となり同四十二年統監府判事に任じ高等法院長に補せらる同四十五年歐米に出張仰付られ後官を辭し辯護士を開業大正十三年貴族院議員に勅選せらる【家庭】妻多津（明二）福岡縣士族寺尾喜平太二女　男修（明二一）工學士特許局技師　同妻清子（明二六）東京府士族牧山榮樹二女　同長女すみ（大三）同長男元（大五）同二男格（大七）同三男省（大一〇）同二女治（大一四）男良（明三六）男廉（明四三）三女ゆり（明二五）は京都府士族法學士中江種一に四女とみ（明二八）は八幡製鐵所技師工學士立花貫一郎に五女かず（明三三）は茨城縣人山口剛に六女ゑい（明三八）は理學博士石川千代松長男欣一に各嫁し二女せん（明二三）は法學博士寺尾亨の養子となる

渡邊昇　安田貯蓄銀行（株）行員　東京市四谷區坂町九七　電四谷五五三四

君は千葉縣人渡邊喜三郎の三男明治卅五年七月六日千葉市に生れ昭和四年分家す同三年東京帝大經濟學部を卒業直に安田貯蓄銀行に入り今日に至る　宗教天台宗　趣味讀書旅行玉突【家庭】妻ふき（明三九）松本眞平二女日本女大家政科卒

渡邊襄　從四勳三　商工技師兼海軍技師　中央度量衡檢定所第一部長兼水路部出仕　所得税一七〇〇　東京市小石川區茗荷谷町五三　電小石川六〇〇三

君は故一ノ關中學校長理學士渡邊讓の長男明治十四年

八月十六日を以て生れ大正六年家督を相續す明治卅七年東京帝大理科を卒業し同卅八年海軍大學教官に補せられ尋で海軍々醫學校教官を兼ね同四十五年海軍技師を兼ね水路部に出仕す大正三年海軍技師に任ぜられ海軍教授を兼ね翌年英國に出張し同八年農商務省技師兼海軍技師に任ぜられ現時前記の官職にあり【家庭】母たか（萬延元） 妻スミ（明二二） 工學博士金子恭輔妹東京女高師附高女卒 長男巖（大六） 女千鶴（明四一） お茶水高女卒 女萬龜（明四四） 同校卒 女壽代（大二） 同校在 二男洋（大八） 妹蓮（明一九）は北海道人本間隆信に嫁す

渡邊禮 横濱正金銀行(株)上海支店支配人 上海新開路同行支店内

君は東京府人渡邊克太郎の長男明治十一年十月十七日東京市に生る學習院高等科を經て同卅九年東京帝大法科政治經濟科を卒業翌年七月横濱正金銀行に入社大連桑港紐育各支店歷勤天津大連各支店副支配人長春青島各支店支配人頭取席東洋課次長大連支店支配人を經て昭和三年十一月上海支店支配人に轉じ今日に至る銀行倶樂部東京ゴルフ倶樂部各會員 宗教淨土宗 趣味ゴルフ【家庭】父克太郎（安政元） 現戸主 妻ウタ（明二七） 東京府人鈴木宇兵衞養子 長女貞子（大六）

渡邊八三郎 新湊銀行(株)頭取 神澤銀行(株)取締 富山縣射水郡新湊町

君は富山縣人先代八三郎の長男明治元年十月を以て生れ同卅年家督相續と共に襲名して前名三郎を改む現時新湊銀行頭取たる外前記銀行會社の重役たり【家庭】妻きよ（明六） 富山縣人徑谷彦八妹 長男純太郎（明二七） 同妻はる（明三一） 同縣人神澤新右衞門長女 同長男一雄（大六） 同長女貞子（大一〇） 同二女道子（大一三） 男龜雄（明三三） 同妻富子（明三七） 同縣人三谷長八郎長女 同長男俊男（大一四） 男勝巳（明三七） 女德子（明四三） 長女初（明三〇）は同縣人徑谷彦八長男彥一に二女しのぶ（明四〇）は同縣人神澤新右衞門弟重治に各嫁す

渡邊八郎 正六 秩父宮御用掛 學習院講師 所得税八六 東京市外西巣鴨町池袋一〇三一 電大塚一四九五

君は元會計檢查院長故渡邊昇の二男にして子爵渡邊七郎の弟明治廿年三月六日東京市に生れ大正二年分家す明治四十五年東京帝大法科獨法科を卒業し直に靜岡縣師範學校に教鞭を執る大正八年成蹊實業專門學校教授に轉じ同十一年學習院高等科教授に任ぜられ翌年秩父宮御用掛仰付らる先年殿下に隨伴して英國に渡航昭和二年殿下と共に歸朝す 宗教神道 趣味讀書登山【家庭】妻春江（明三三） 東京府人倉田幸嗣二女神戸高女卒 長男兵力（大五） 成蹊高校在 長女千江（大一一） 二女三江（大一二） 二男建日子（昭三）

渡邊彦 五洋商會(資)代表社員 東京市外大井町四六六〇 電大森一四六一 (營業所)麹町區内幸町太平ビル内 電銀座六五五六

君は鳥取縣人渡邊峯次郎の長男明治廿六年六月十二日同縣に生る夙に貿易業に志し大正三年大北商會に入り同八年辭して翌年合資會社五洋商會を創設原動機自動車附屬品硅藻土等の貿易に從事して今日に至る 宗教禪宗 趣味劍道【家庭】父峯次郎（明六） 現戸主 母きよ（明一〇） 妻敏子（明三五） 鳥取縣人三島松次郎長女同縣倉吉高女卒 長男德親（大一三）

渡邊彦三郎 日本橋家屋税調査委員 中央共益(株)社長 神道神習教中教正一等教務參事 計理士 所得税一一四 東京市日本橋區蠣殼町三ノ一一 電浪花四〇二五

君は栃木縣人渡邊岩藏の長男明治三年四月十九日同縣芳賀郡長沼村に生れ同廿年家督を相續す明治廿四年東京法學院を卒業後栃木縣警察部保安課に入り勤續十年に及ぶ同卅八年上京會計士事務所を設置今日に至る 宗教神道神習教 趣味將棋俳句【家庭】父岩藏（弘化六） 妻トメ子（明一二） 北海道人高並西造妹 長男岩男（明二二） 同妻こう（明二六） 栃木縣人横山定次郎四女 六男禎壽（明四二） 明大在 二女しず子（明四〇） 女子藥學校卒 三女たか子（明四三） 東京裁縫女學卒 四女りう子（大元） 東京府立第一高女在 五女みつ江（大一〇） 六女すみ江（大一二） 長女イヱ子（明二五）は茨城縣人野澤松次郎に嫁す

渡邊彦四郎 仙南銀行 白石商業銀行 山三カーバイト 白石興產 東北製麥倉庫 渡邊各(株)取締 伊達銀行 村田銀行各(株)監査 宮城縣刈田郡白石町

君は宮城縣人大沼彦助の二男明治六年六月を以て生れ渡邊佐助の養子となり同四十二年分家す現時前記銀行會社の重役たり【家庭】妻たけ（明一一） 養父佐助二女 養子孝四郎（明二二） 福島縣人永倉孝太郎二男 養子むめ（明二七） 養子孝四郎妻宮城縣人渡邊貞吉長女 同二男幸雄（大九） 同二女信子（大一二） 同三男章三（大一四） 同四男榮介（昭二） 養孫幸治（大四） 宮城縣人大宮彦吉五男※渡邊貞一の項參照

渡邊久雄 建築用金物製作請負 米國エールタウン(株)副代理店 東京市日本橋區鐵砲町一五 電浪花六三四一 (工場)本所區吉岡町一九 電墨田三四〇五

君は靜岡縣人渡邊芳雄の二男明治卅一年四月五日同縣駿東郡片濱村に生れ大正十三年分家す夙に沼津中學校に學び同年十月上京建築用金物商恒川商店に入り營業主任たりしが同十年六月獨立して現事業を創め經營以て今日に至る其製作に係る金物にて實用新案專賣特許を得しもの多數あり 宗教禪宗 趣味讀書【家庭】妻せつ（明三八） 福島縣人松本龜吉三女同縣平高女卒

渡邊久吉 土木建築請負業 家主 神奈川縣足柄下郡小田原町十字一ノ八一 電小田原七五三

當家は小田原地方に於ける舊家なり初代日下田高貞は小田原藩士にして芳賀駿河守淸原禪可入道と稱す二代正光は郡奉行を勤む九代祖父三右衞門明治初年姓を渡邊と改め松田屋と稱す君は先代長兵衞の五男明治廿一年十月十四日現地に生れ大正三年分家す夙に土木建築請負業に從事し鐵道省神奈川縣小田原電鐵等の工事を請負ひ今日に至る 宗教禪宗 趣味旅行【家庭】妻スヱ（明二六） 神奈川縣人楓川重太郎五女 長男數夫（大三） 長女ミス（大七） 二女久子（大一二）

渡邊壽 從三勳一功四 在鄕陸軍中將 東京市外淀橋町柏木三一八

君は岐阜縣人渡邊時哉の四男明治七年十一月を以て生れ同四十年分家す同廿八年陸軍士官學校同卅五年陸軍大學を卒業同廿八年歩兵少尉に任じ爾來累進して大正十三年陸軍中將に陞任す其間參謀本部々員滿洲軍總司令部參謀佛國大使館附武官補佐官陸軍歩兵學校研究部

主事同教官技術審查部議員陸軍歩兵學校教育部長兼研究部々員近衞歩兵第一聯隊長參謀本部附平和條約實施委員佛國在勤大使館附武官兼國際聯盟陸海空軍問題常設諮問委員會帝國代表者隨員歩兵第卅三旅團長陸軍歩兵學校長教育總監部本部長教科書調査會委員第十九師團長等に歷補し昭和四年八月待命被仰付現時閑地に在り【家庭】妻タカ（明一七） 德島縣人故從四位勳二等功三級陸軍中將木村有恒二女 長男武男（明四〇） 第一高校卒 二女重子（明四一） 女子學習院卒 三女博子（大一二） 五男修（昭二） 長女初子（明三六） 東京女高師專科卒は兵庫縣人鐵道省技師梶浦浩二郎に嫁し四男義雄（大五）は東京府士族兼常猪三の養子となる

渡邊秀雄 從五勳三 朝鮮總督府税關長 釜山税關長 朝鮮釜山税關長官舍

君は埼玉縣人渡邊駒次郎の長男明治十六年六月を以て生る同四十三年東京帝大法科政治科を卒業し文官高等試驗に合格し會計檢查院書記副司税官司税官丸龜税務署長朝鮮總督府事務官忠淸南道慶尙北道各財務部長仁川税關長を歷任し現に釜山税關長たり【家庭】父駒次郎（安政三） 母ふみ（明二） 妻ます（明二一） 東京府人岡元哉三女 長男一男（明四五） 二男辰二（大五） 四男龜彦（大一〇） 長女公子（大一四）

渡邊弘 鬼怒川工業(株)社長 常總新聞社長 水戸市上市南町

君は茨城縣人渡邊廣活の長男明治廿一年六月を以て生れ大正八年家督相續す明治卅九年下妻中學校を卒業大正八年常總新聞社社長となり傍ら前記會社の重役なり曾て蠶絲業調查委員水戸商業會議所特別議員たり 宗教眞言宗【家庭】祖父長三郎（嘉永二） 母よし（元治元） 妻富（明二四） 栃木縣人杉田恭助妹水戸高女卒 長男光（大三） 水戸中學在 長女文子（明四四） 水戸高女卒 二女五千子（大五） 三女米子（大七） 四女政子（大一一）

渡邊宏 千代田火災保險(株)社員 東京市外大井町寺ノ下一四四四

君は東京府士族渡邊謙の三男明治廿六年十二月十六日東京市に生れ大正六年家督を相續す開成中學を經て同六年慶大理財科を卒業後千代田火災保險に入社火災部に勤務して今日に至る 宗教日蓮宗 趣味讀書【家庭】妻テイ神奈川縣人内田善作妹東京女高師卒 長男暹（大六） 長女娃子（大七） 二男昭（大一一） 二女禮子（大一四）

渡邊寛 醫博 東京市技師 電氣局病院長 東京麻布笄町八 電青山四五〇六

君は廣島縣人渡邊泰造の四男明治廿四年十月廿八日廣島市に生る大正六年京都帝大醫科を卒業して廣島市に開業同十一年母校大學院に研究同十四年東京市に奉職學校衞生課長を經て現に電氣局病院長たり同十五年醫學博士の學位を受く 宗教眞宗 趣味運動撞球【家庭】妻久子（明三四） 廣島縣人荒瀨虎次郎三女同縣山中高女卒 長男正泰（大一一） 二男勉（大一四）

渡邊寛敏 友田(資)社員 東京市赤坂區丹後町三六 電青山七五八〇

君は島根縣士族元司法官渡邊輝彌の三男明治廿二年九月十日松江市に生る夙に慶應大學に學び古河合名に入り大正五年友田合資會社に轉じ同八年之を辭し獨立して渡邊商店を經營せしも同十一年友田合資に復歸し今日に至る 宗教眞宗 趣味謠曲運動宗教研究【家庭】妻秀（明三四） 東京府人入尾靜四女跡見高女卒 長男寛一（大一三）

渡邊廣 正六 臺灣總督府事務官 營林所庶務課長 臺灣臺北市大正町二ノ一五 電臺北三六二〇

君は熊本縣人渡邊久の三男明治卅年七月卅日を以て生れ大正十五年分家す同十年東京帝大法科政治科を卒業し直に臺灣總督府屬に任じ爾來專賣局事務官神戸專賣局支局長を歷任昭和二年臺灣總督府事務官に任じ營林所庶務課長に補し現在に至る 宗教眞宗 趣味圍碁【家庭】妻久惠（明三八） 兵庫縣人外山一郎長女神戸女學院卒 長女淑子（昭三）

渡邊福三郎 從六勳四 渡邊銀行(株)頭取 渡邊同族(株)社長 横濱正金銀行 横濱興信銀行各(株)取締 東京灣埋立(株) 日本特殊鋼(資)各監査 神中鐵道 帝國冷藏各(株)相談役 所得税三八五五九 横濱市中區本牧町一二六五 電本局一四六九

君は東京府多額納税者渡邊治右衞門の叔父安政二年一月十八日東京市日本橋區に生れ慶應元年分家す明治初年横濱に石福商店を開設海產物貿易商を營み次で東京府會議員となり同廿年金製黄綬褒章を賜はる現時渡邊銀行頭取たる外前記銀行會社の重役として知らる同卅七年貴族院議員に選ばる又曩に横濱商業會議所議員横濱五品取引所理事たり昭和二年紺綬褒章飾版を賜ふ日本工業倶樂部會員 宗教眞言宗 趣味政治【家庭】妻たま（安政五） 群馬縣人大河原太七二女 亡長男和太郎妻ヨシ（明二〇） 栃木縣人野澤泰次郎三女 同長女和子（明四四） 東京府立第二高女卒 同長男祿太郎（大四） 同二女正子（大七） 同二男禮次郎（大九） 三男富三郎（明二九）は同妻絹子（明三五） 醫學博士東京府人中濱東一郎四女を伴ひ五女なべ（明一九） 二男利二郎（明二〇） 六女晴子（明二五）は各分家し四女康（明一七）は東京府人小原達明に七女愛子（明二七）は群馬縣人大河原一太郎に各嫁す

渡邊房吉 醫博 關東病院長 神奈川縣醫師會長 横濱市中區相生町三ノ五五 電長者町二七〇〇

君は神奈川縣人鈴木瓢の二男明治十年九月十六日を以て生れ渡邊廣庵の養子となり後分家す同卅八年東京帝大醫科を卒業し同大學附屬病院に勤務同四十年野毛山病院々長を經て關東病院長となり現時神奈川縣醫師會長日本醫師會理事たり大正十四年醫學博士の學位を受く曩に歐米各國を視察す 宗教禪宗 趣味讀書【家庭】妻あき（明一八） 養父廣庵三女 嗣子健（大元） 東京府立四中卒 女節子（大元） 横濱フェリス高女卒 女幾久子（大六） 男哲夫（大七） 女幹子（大九） 女宏子（大一〇） 女萬里子（大一二） 女和香子（明三七）は醫學博士渡邊民夫に嫁す

渡邊文五郎 象潟酒造(株)代表取締 秋田木工拓殖(株)取締 秋田實用タクシー(株)監査 渡邊(名)代表社員 秋田縣由利郡象潟町 電象潟一

君は山形縣人加藤三治郎の孫明治廿二年八月廿九日を以て生れ後先代文八郎の養子となり大正十三年家督相續す現に前記諸會社の重役たり 宗教淨土宗 趣味圍碁自動車【家庭】妻ヲク（明三一） 秋田縣人柴田豐太長女 長女はつ（大六） 二女ゆき（大九） 三女みつ（大

一〇）四女シン（大一三）五女やえ子（大一五）

渡邊文三郎　蠶絲貿易商　横濱市保土ケ谷區神戸上七五四　電長者町一八〇一　（店舗）中區辨天通二ノ二六　電本局二五一

君は神奈川縣人渡邊文七の長男明治廿四年十二月を以て生れ昭和五年家督を相續す先代文七は夙に横濱商業學校を卒業し蠶絲貿易商を營み神奈川縣多額納税者横濱商工會議所常議員横濱撚絲織物横濱土地各社長横濱蠶絲貿易商同業組合長横濱實業組合聯合會長として當地實業界の重鎭たり君夙に早稻田大學に學び祖業を繼承して現時蠶絲貿易商を營む【家庭】母たね（明五）山梨縣人原潜長女　妻とよ（明二八）埼玉縣人平沼萬次二女實踐女學卒　二男敬次（大八）長女久子（大一〇）三男愼吉（大一二）二女和子（昭二）弟信藏（明二七）同妻俊子（明三七）東京府人浦山助太郎四女及其二子　弟金三（明三〇）同妻輝代（明四〇）東京府人雨宮義郎妹　弟秀四郎（明三三）妹いと（明三七）神奈川縣立高女卒　妹まさ（明四〇）同校卒　妹しづ（明四二）香蘭高女卒

渡邊平次郎　東京府會議員　全國藝妓屋同盟會本部會長　正交會長　葭町藝妓屋組合長　日鮮起業(株)取締　藝妓屋業　東京市日本橋區蠣殼町二ノ二〇　電浪花四一六二

君は舊長岡藩士渡邊龜之亟の二男明治二年十一月十四日長岡市に生れ渡邊駒吉の養子となり同四十年家督を相續す現時藝妓屋業を營み傍ら東京府會議員の外前揭諸職に在り立憲民政黨東京支部幹事たり　宗教日蓮宗【家庭】妻たか（明一〇）養父駒吉女　長男政雄（明三八）錦城中學卒清元延壽太夫門下靜榮太夫　長女とり（大二）

渡邊平太郎　宮下木材(株)東京支店長　東京市麹町區下二番町二〇

君は三重縣人渡邊與六の三男明治十六年十二月廿二日同縣に生る同廿九年宮下材木店に入り大正十二年東京支店長に就任して現在に至る襲に商業を自營せり　宗教眞宗　趣味謠曲義太夫【家庭】妻テル（明二四）長崎縣人川口治右衞門長女　長男利男（大七）

渡邊孫一郎　從四勳三　理博　東京工業大學教授兼東京商科大學教授兼東京商科大學豫科教授　所得税二六四　東京市外戸塚町源兵衞一四〇　電牛込五八〇九

君は栃木縣人渡邊藤太の長男明治十八年九月を以て生る同四十一年東京帝大理科數學科を卒業し同四十四年第八高等學校教授に任ぜられ爾來第一高等學校教授東京商科大學豫科教授東京商科大學教授に歴任し現時前記諸職にあり大正八年理學博士の學位を受く【家庭】母ハツ（文久三）栃木縣人小平濱次郎姉　妻政子（明二五）東京府人伊藤英夫二女　長男研一（大五）東京府立四中在　長女靜子（大三）東京女高師附高女在　二男隆二（大八）三男洋三（大一〇）四男芳郎（大一二）五男章吾（大一四）二女和子（昭三）

渡邊正明　ナンコク商事(株)常務　東京市本郷區彌生町一　電小石川五三三二

君は廣島縣人渡邊友衞の長男明治廿六年十月一日廣島市に生る大正五年東京高商を卒業後久原鑛業久原商事望月商店市河思誠堂等に歴勤後ナンコク商事に入社常務取締役に就任して今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁俳句【家庭】母ユウ（明五）妻ミネ（明三〇）廣島縣人小林才助妹東京府立第一高女卒　長男茂（大一一）長女信子（昭四）

渡邊政男　質業　東京市芝區白金三光町二〇八　電高輪一八五二

君は東京府人渡邊於莵の長男明治卅一年十一月一日東京市芝區に生れ昭和三年家督を相續す明治四十四年工學舍を卒業後質屋業を習修昭和二年十月現地に開業今日に至る　宗教曹洞宗【家庭】母リウ（明一一）妻千代（明三五）東京府人渡邊長作三女戸板高女卒　長男於菟吉（昭二）長女八重子（大一一）二女芳子（大一四）

渡邊政人　關東鋼材販賣組合支配人　所得税五〇　東京市外入新井町新井宿一九二八　電大森三四二七

君は宮城縣人渡邊德兵衞の二男明治廿五年十二月三日同縣に生る大正七年明大商科を卒業後日本鋼管會社に入社東京出張所鋼材係主任となり昭和二年十一月關東鋼材販賣組合支配人に就任し現在に至る鋼材聯合會主事たり丸ノ內倶樂部會員　宗教基督教　趣味事業【家庭】妻なみ（明三一）宮城縣人遠藤善作三女白石高女卒　長女照子（昭元）甥武雄（明三二）現戸主慶大經濟科卒三井銀行員　同妻うの子（明三六）遠藤善作四女白石高女卒　弟隼人（明三六）東京高工卒

渡邊十寸穗（マスホ）　正五勳五　辯護士　東京市牛込區東五軒町五四　電牛込一六〇〇（事務所）京橋元數寄屋町對鶴館ビル　電銀座一一〇〇

君は大分縣人渡邊德兵衞の五男明治十年六月十四日同縣に生れ後分家す同卅四年日本大學を卒業同四十二年七月判事に任じ前橋東京松山各地方裁判所宇和島松本東京各區裁判所東京控訴院判事等歴補大正十五年九月職を辭し辯護士を開業して今日に至る　宗教禪宗　趣味釣魚撞球圍碁【家庭】妻コト（明一一）大分縣人田畑鐵造養女　長女壽子（明四二）東京府立第五高女卒　二女久子（大二）同校在　三女道子（大四）女子學院在　四女紀子（大七）

渡邊又四郎　白石町會議員　白石町家屋税調査委員　仙南銀行(株)取締　壽丸(名)代表社員　味噌醬油釀造業　宮城縣刈田郡白石町　電白石四〇

君は宮城縣人實業家渡邊儀藏の長男明治十七年一月同縣刈田郡白石町に生る夙に慶應義塾普通部に學び味噌醬油釀造業に從事後仙南銀行取締役壽丸代表社員に就任今日に至る傍ら白石町會議員同家屋税調査委員等に擧げられ現に其の任に在り【家庭】妻シン（明二〇）福島縣人前衆議院議長堀切善兵衞妹　養嗣子勘六（明三五）父儀藏六男白石中學卒　※渡邊儀藏　堀切善兵衞　村上勇吉　門澤惣藏　渡邊豐吉　吉岡鑛太郎　國分勘兵衞　渡邊寛五郎　同乙兵衞の各項參照

渡邊又次郎　從三勳三　東京市外澁谷町伊達八六

君は舊武州川越藩士渡邊銈太郎の二男慶應二年十一月を以て生れ明治卅五年三月家督を相續す同廿六年帝國大學文科哲學科を卒業し同卅一年大學院の研究を修了す爾來中央大學及東洋大學講師帝國圖書館司書長第二第五各高等學校教授東京市日比谷圖書館主事東北帝國大學農科大學豫科教授北海道帝國大學附屬大學豫科教授同主事等に歴任次で水戸高等學校長たりしが大正十五年九月之を辭す【家庭】妻たつ（明六）東京府士族瀧川新長女　男泉（明三五）四男贊（明四二）長女タ

マ（明二九）は鹿兒島縣人豐平金助に嫁す

渡邊又治郎　從四勳二功五　藥博　陸軍藥劑總監　陸軍衞生材料廠長　陸軍省醫務局　陸軍々醫學校各御用掛　所得税二三〇　東京市牛込區拂方町一二　電牛込一五二〇

君は宮城縣人三品喜惣次の二男明治三年八月三日同縣亘理郡逢隈村に生れ同五年渡邊竹松の絶家を再興す二高を經て同卅三年東京帝大醫科醫學科を卒業し二等藥劑官に任じ爾來累進昭和四年藥劑總監に陞る其の間大學院に學び衞生材料廠員東京衞戍病院附第一師團軍醫部員陸軍軍醫學校教官等に歴補す日露戰役に出征し功に依り功五級金鵄勳章を賜ひ大正三年學位を授與せらる　宗教禪宗　趣味旅行讀書【家庭】妻すつ（明一六）宮城縣人渡邊英三郎二女　長男敏雄（明四〇）東大藥學部在　二女チヨ（明三七）二男久雄（明四二）昭和醫專在　三男健三（大五）成城中學在　長女キミ（明三五）は他家に嫁す

渡邊万治郎　安藤商店(名)東京出張所支配人　東京市赤坂區表町三ノ二六

君は大阪府人中川儀兵衞の二男文久二年三月三日大阪市東區に生れ渡邊宗兵衞の養子となり明治廿四年分家す夙に養家の業蠟販賣を營みしが同卅二年安藤商店に入り大正元年支配人に擧げられ以て今日に至る現時老齡の故を以て自由勤務たり　宗教日蓮宗【家庭】妻なつ（明一七）大阪府人伊東善吉二女　嗣子信次郎（明二七）同妻千代（明三七）渡邊宗兵衞三女　同二男恭男

渡邊操　第一火災海上保險(株)火災課長兼秘書　所得税七八　東京市麻布區本村町三九　電高輪七四五六

君は長野縣人渡邊恭藏の長男明治廿年十二月十九日を以て生れ同四十二年家督を相續す大正二年早稻田大學商科を卒業して川崎銀行本店に入社同四年漢冶萍媒鐵公司日本代表事務員東亞通商會社大連出張所長同大阪支店長に歴勤同十一年第一火災海上保險會社に轉じ調査課長秘書會計課長を經て現職に就く　宗教神道　趣味尺八【家庭】母けい（嘉永五）妻八千代（明三一）千葉縣士族岩淵善雄長女日本女子大學附高女卒　長男義一（大八）長女博野（大一〇）二女勝子（大一二）三女郁子（大一五）

渡邊水太郎　日本郵船(株)專務　東京市芝區白金今里町九八　電高輪四三八四

君は東京府人渡邊兵吉の長男明治十四年七月を以て生れ大正二年家督を相續す明治卅八年東京高商專攻部を卒業し同年日本郵船會社に入り庶務部長を經て昭和四年十一月專務取締役に擧げられ今日に至る【家庭】妻かつ（明一七）東京府人金澤大吉四女　養子正廣（大四）弟次郎長男

渡邊滿太郎　正四勳一功四　在鄕陸軍中將　所得税九四　東京市外高田町雜司ケ谷九四八　電牛込三一九五

君は東京府士族渡邊融の長男慶應三年十二月を以て生れ明治卅一年家督を相續す同廿一年陸軍士官學校を卒業し同年陸軍砲兵少尉に任じ大正七年七月陸軍中將に累進す其間參謀本部附陸軍砲兵學校陸軍士官學校各教官野砲兵第廿一聯隊長佛國大使館附武官教育總監部庶務課長佐世保要塞司令官陸軍野砲兵射擊學校長陸軍省兵器局長陸軍砲工學校長等に歴補し同十二年豫備役となり現時閑地にあり【家庭】妻須磨子（明一〇）山口縣士族山德信義長女　二男誠（明三六）長男弘（明三七）女芳枝（明四一）三男厚（明四四）

渡邊滿太郎　正五勳三　陸軍獸醫監　陸軍獸醫學校長　東京市外馬込町原丸三八三六　電高輪七七〇二

君は廣島縣人渡邊惣三郎の三男明治十二年七月十三日同縣安佐郡三入村に生る同卅七年陸軍二等獸醫に任じ爾來累進して獸醫監に任ず此の間第十七第八各師團獸醫部長等に歴補昭和三年陸軍獸醫學校長を命ぜられ現在に至る　宗教眞宗　趣味讀書運動【家庭】妻喜代（明三一）京都府人山崎重純二女京都第一高女卒　嗣子健二（明四四）東京府立八中卒　長女順子（明四一）平安女學校卒　二女京子（大四）青山女學院在　三女花子（大一〇）

渡邊明造　山口銀行(株)本店員　兵庫縣川邊郡立花村塚口住宅地

君は靜岡縣人氣賀賀子治の弟明治廿三年十月を以て生れ大正九年渡邊格二の養子となる同六年京都帝大法科政治科を卒業し同年山口銀行に入り同行丸之內支店長を經て現時本店詰たり【家庭】父格二（明三）靜岡縣人榛葉良男弟　母せい（明一〇）同縣人渡邊傳八長女　妻孝（明三三）養父格二長女

渡邊元得　長野縣多額納税者　製絲業　國税八四四八　長野縣諏訪郡長池村

君は長野縣人渡邊豐治の二男埼玉縣多額納税者同綱治の兄明治廿一年三月を以て生れ大正十四年家督相續す製絲業を營み長野縣多額納税者たり【家庭】父豐治（安政三）妻久惠（明二二）長野縣人平林富次郎長女

渡邊盛作　茨城縣多額納税者　釀造業　國税五二四三　茨城縣猿島郡幸島村

君は栃木縣人飯塚彌平の二男嘉永五年十一月を以て生れ先代盛作の養子となり明治卅一年家督を相續し前名弘を改む醬油釀造業を營み茨城縣多額納税なり襲に幸島銀行の頭取たりしことあり【家庭】妻こと（慶應元）茨城縣人渡邊淺之進養子　長男惇一郎（明一二）正八位勳六等陸軍步兵少尉　同妻モト（明一六）栃木縣人飯塚彌平姉　同長女貞子（明四二）跡見高女卒　同二女孝子（明四五）同長男弘（明四五）同三女良子（大九）同二男力（大一四）二男隣二（明一六）醫學博士　同妻文（明二八）故大審院判事永井岩之丞六女　同二男篤二（大六）同三男文次（大七）同長女久子（大九）同二女重子（大一五）三男健三郎（明一七）は茨城縣人大和田三郎左衞門に四男衡平（明一九）は千葉縣人堀切仗次郎に各養子となり養子さだ（明三三）茨城縣人薗部友次孫は同縣人鶴見計に嫁す

渡邊八十吉　白米商　所得税一六一　東京市芝區愛宕町一ノ一二　電芝一九二三

君は東京府人渡邊彌兵衞の長男安政三年七月十二日を以て生れ明治六年家督を相續す白米商を營む襲に東京府會議員芝區會議員に擧げらる【家庭】男鐐一（明二二）同妻ゑい（明二八）東京府人比留間民藏長女　同長男博一（大九）長女とら（明一三）は東京府人關口四郎吉に二女てい（明一五）は同府人小菅庄次郎長男二郎に各嫁し三女まさ（明二〇）は同府人峰島豐次郎の養子となる

渡邊彌幸　朝鮮殖產銀行(株)理事　東京市芝區高輪南町五三　電高輪三四〇五

君は明治廿五年八月十六日靜岡縣に生る大正四年京都

帝大法科を卒業し直に朝鮮銀行に入り同七年朝鮮殖產銀行に轉じ爾來秘書課長商業金融課長勸業金融課長に歷任し同十五年歐米を視察し歸朝東京出張員事務所勤務となり昭和四年理事に就任し以て今日に至る　宗教禪宗　趣味ゴルフ

渡邊彌太郎　山形貯蓄銀行(株)常務　山形市旅籠町四六八　電山形二三

君は山形縣人渡邊吉兵衞の二男文久二年十一月廿三日山形市に生れ明治十七年分家す夙に八十一銀行兩羽銀行取締役山形商業銀行頭取等に歷任同廿三年市制施行さるゝや市會議員に選ばれ爾來引續き其の任にありしが同四十三年之を退き山形貯蓄銀行創立と同時に常務取締役に就任今日に至る行政會員たり　宗教眞宗　趣味讀書旅行【家庭】妻とよ子（文久二）山形縣人渡邊儀兵衞長女　長男達太郎（明三二）慶大卒安田銀行盛岡支店勤務　同妻てう子山形縣人多勢慶助長女山形縣立高女卒　二男益次郎（明三四）慶大卒は大阪府人角田家の養子となる

渡邊安雄　森永製菓(株)仕入部長　東京市赤坂區新坂町一六　電青山二七六二

君は東京府人蜷川親治の二男明治廿五年七月を以て生れ後渡邊爲藏の養子となる大正四年早稻田大學商科を卒業し直に森永製菓會社に入り同十一年仕入部長に進む　趣味庭球【家庭】養母リウ（明三）妻さと江（明三一）養父爲藏長女東洋英和女學卒　長男正夫（大九）長女直子（大一一）二女明子（大一四）二男和雄（昭二）

渡邊安治　白石町會議員　醫師　宮城縣刈田郡白石町澤端七　電白石七〇

君は宮城縣人遠藤慶三郎の弟明治十三年十一月廿七日同縣刈田郡福岡村に生れ同卅六年九月渡邊文造の養子となり大正十一年十月家督を相續す明治卅八年仙臺醫學專門學校を卒業同四十年現地に開業以て今日に至る曩に刈田郡醫師會副會長同理事に就任昭和四年四月白石町會議員に當選現に其任に在り【家庭】養母ちか（安政六）妻ひさ（明一四）養父文造長女　長男福壽（明四〇）二男正一（明四三）二女やす（明四五）四男貞男（大三）四女くに（大七）六男兵衞（大九）五女たか（大一五）長女ふみ（明三七）は宮城縣人山內正男に嫁す　※秦野章の項參照

渡邊泰邦　衆議院議員（北海道第三區選出）渡邊(資)代表社員　靴毛皮貿易商　東京市麴町區元園町一ノ二七　電九段一五九〇　(事務所)神田區錦町一ノ一福原ビル　電神田二四一五

君は北海道人渡邊長藏の長男明治廿四年八月一日函館市惠比壽町に生れ後家督を相續す同四十四年早稻田實業學校を卒業して早稻田大學政治經濟科に學び貿易商に從事して渡邊合資會社を經營す傍ら函館市會議員に當選する事二回昭和五年二月衆議院議員に推され現時其任にあり立憲民政黨に所屬す此間支那及歐米を視察す交詢社永樂俱樂部會員　宗教眞宗　趣味圍碁撞球【家庭】妻松乃（明三一）東京府人福島高商教授井上兼雄妹實踐高女卒　長女和子（大九）二女富三子（昭元）三女博子（昭四）弟長太郎（明二六）早大政經科卒

渡邊寧祐　昭和銀行(株)營業部長　東京市外上大崎町四四四　電高輪一七四九

君は茨城縣人渡邊辰四郎の二男明治十六年九月廿五日を以て生る同四十年慶大理財科を卒業す現時昭和銀行營業部長たり【家庭】妻鶴子（明三〇）長女澄子（大六）二女美津子（大九）三女榮子（大一一）四女晴子（大一二）

渡邊祐策　勳三　山口縣多額納税者　宇部鐵工所　宇部紡織各(株)宇部電氣　宇部セメント　宇部鐵道各(株)社長　宇部銀行取締　日本煤煙完全燃燒(株)監査　宇部市宇部一二三四　直接國税二一九〇四

君は山口縣士族渡邊恭輔の二男元治元年六月を以て生れ明治十一年家督を相續す夙に實業に志し前揭銀行會社の重役にして山口縣多額納税者なり曩に同縣郡部より推されて衆議院議員に當選し又宇部市會議員同議長に推さる昭和四年紺綬褒章飾版を贈ふ【家庭】妻クミ（元治元）山口縣人名和田市之丞長女　二男剛二（明一九）同妻柔子（明三〇）京都府士族三宅淳二女　同長女セツコ（大元）同二女ミカコ（大四）同三女靜香（大七）同四女淳美（大一〇）同長男浩策（大一三）同二男忠淳（大一五）五男誠一郎（明三六）六男敏雄（明三九）七男悌介（明四一）三男哲郎（明二二）は山口縣人名和田一平の養子となり三女貞子（明三三）は福岡縣人小金井本次に嫁す

渡邊雄藏　井上屋渡邊商店(株)專務　工業藥品商　東京市外澁谷町大和田九八　(店舖)京橋區銀座一ノ一八　電京橋一〇九六

君は千葉縣人坂巻清作の二男明治元年一月同縣に生れ後渡邊義三郎の養子となり同廿二年家督を相續す同十六年上京實業に志し後渡邊商店繼承經營し大正九年株式組織となし現に專務取締役の任に在り同店は明治十七年の創立にかゝり東京市電氣局鐵道省等に販路を有す　宗教眞言宗　趣味事業【家庭】妻みさを（明一二）東京府人吉田英厚妹實踐高女修　養嗣子淸（大二）長女靜江（大一三）二女艷子（大一四）

渡邊雄太郎　白石町會議員　丸吉商店　吳服商　宮城縣刈田郡白石町　電白石五六

君は宮城縣人渡邊熊松の長男明治十七年十一月廿三日同縣刈田郡白石町に生れ大正十二年家督を相續す丸吉商店と稱し吳服太物商を營み現に白石町會議員たり【家庭】妻もと（明二一）宮城縣人齋藤儀左衞門長女　長男雄一郎（明四一）福島高商卒　長女こう（明四五）二女くに（大四）三女ひで（大七）四女よし（大一〇）三男恒男（大一四）四男和男（昭二）

渡邊鋻三郎　中井新右門酒店副支配人　東京市深川區永堀町二　電本所二〇九二

君は石川縣人濱野光忠の三男明治五年二月五日金澤市に生れ後渡邊彌三郎の養子となる同卅二年中井新右門酒店に入り現に副支配人たり　宗教禪宗【家庭】妻きく（明一〇）東京府人藤井由次郎姉　長男誠一（明三三）同妻知惠（明三九）千葉縣人小倉悟姉　同長男一成（昭二）

渡邊讓　正四勳三　工博　錦鷄間祗候　所得税八一　東京市外代々幡町幡ケ谷一〇　電四谷四四一八

君は舊幕臣工部省權少書記官故渡邊升の長男安政二年十月十七日東京市四谷區に生れ明治廿二年家督相續す同十三年工部大學校を卒業爾來工部省營繕局技手內務省技師補建築局一等技手臨時建築局技師建築局工事部長淸水組技師長海軍技師吳建築科主管臨時海軍建築部工務員舞鶴鎭守府建築科長海軍煉炭製造所設立委員兼

艦政本部部員臨時海軍建築部工務監海軍經理學校敎官に歷補す同卅三年工學博士の學位を受け同卅九年卅七八年戰役の功に依り勳三等旭日中綬章を賜はる同四十一年海軍經理學校建築學敎授を囑託せられ同年七月錦鷄間祗候仰付られ正四位に敍せらる曩に歐米に差遣せらるゝ事數次に及ぶ　宗教眞言宗　趣味詩賦骨董書畫讀書【家庭】妻コウ（元治元）東京府士族鈴木重葉長女　養嗣子辰一郎（大三）同府士族勝浦英三郎長男同府立六中在

渡邊ヨシ　資産家　所得税一一六二二　東京市外落合町下落合一二八四（事務所）橫濱市中區山手町一一八　電本局九八八七

女は栃木縣人野澤泰次郎の三女同武之助の妹明治廿年三月十四日同縣下に生れ後神奈川縣人渡邊銀行頭取渡邊福三郎長男和太郎に嫁す東京女子高等師範學校附屬高等女學校の出身にして夫和太郎の歿後は專ら遺兒の敎育に從ふ　宗教眞言宗　趣味文藝美術【家庭】養父福三郎（安政二）養母たま（安政五）長男祿太郎（大四）長女和子（明四四）東京府立第二高女卒　二女正子（大七）二男禮次郎（大九）

渡邊世祐　正五勳六　文博　史料編纂官　東京市小石川區林町九五　電小石川六〇〇二

君は山口縣人藏田精祐の弟明治七年三月十三日を以て生る同卅三年東京帝大文科國史科を卒業し埼玉縣熊谷中學校敎諭となる同卅六年史料編纂官となり現在に至る傍ら東京帝大立正國學院各大學講師たり大正七年文學博士の學位を授與せらる　宗教臨濟宗　趣味芝居讀書【家庭】養父蒿藏（天保一四）現戶主　長男克彥（明三八）東京帝大工學部機械科卒　三女悌子（明四三）東洋女學東洋音樂各卒　二男弘毅（大元）成城高校在　三男復三（大三）東京府立三中在　長女晴子（明三五）東洋女學卒は京都帝大醫學部助授內野仙一に二女周子（明四〇）は安木製鋼所技師小塚壽吉に各嫁す

渡邊芳郎　日本カーボン(株)總務課長重役秘書　橫濱市神奈川區立町一七一七

君は秋田縣人渡邊幸七の長男明治廿五年二月廿三日同縣に生れ昭和二年家督を相續す大正四年東京高商を卒業し橫濱電氣鐵道に入り同九年日本カーボンに轉じ現時同社總務課長兼重役秘書たり　宗教淨土宗　趣味庭球野球【家庭】母シゲ（慶應三）妻ミエ（明三三）秋田縣人管忠吉三女同縣立高女卒　長女キヌ（大八）

渡邊溫行　正五勳三功四　在鄕陸軍々醫監　渡邊檢溫器製作所長　檢溫器製造業　東京市外千駄ケ谷町七一三　電四谷二三七

君は愛媛縣士族渡邊仲藏の二男慶應元年一月十六日を以て生れ後兄幸安の後を受けて家督を相續し明治廿三年三月舊名孤太郎を改む夙に愛媛縣醫學校を卒業し同十八年一月陸軍三等軍醫に任ぜられ爾來累進して大正二年八月陸軍々醫監に陞り同月豫備役被仰付其間村松衞戍病院長步兵第二十四聯隊付兼福岡衞戍病院長善通寺衞戍病院長第五師團軍醫部長等に歷補し曩に日淸日露の兩戰役に參加功により勳三等に敍し功四級金鵄勳章を賜はる大正五年獨力渡邊檢溫器製作所を創立し所長となり今日に至る　宗教基督教　趣味書畫骨董【家庭】妻りう（明六）兵庫縣人辻退藏四女神戶女學院卒　長男直行（明二八）東京帝大工學部卒　同妻すて（明三〇）彥根高女卒　長女正惠（明二二）丸龜高女卒　四男信行（明三七）東京帝大工學部卒　五男光行（明四一）專修大學在　六男定行（明四二）二女シヅカ（明二四）弘前高女卒は埼玉縣人陸軍二等軍醫正梅田馨に三女艷（明二七）廣島高女卒は山形縣人陸軍二等軍醫正竹俣一三に四女壽惠（明三〇）山脇高女卒は東京府人理學博士窪田忠彥に各嫁し二男重行（明三三）は同妻郁子（明三四）山梨縣人伴ふみ五女及其の一子を伴ひて分家し三男知行（明三五）も亦分家す

渡邊義郎　從六　愛知銀行(株)頭取　中央信託(株)社長　朝鮮水電　朝鮮窯業肥料　愛知時計　大隈鐵工所　豐川鐵道　日本窯業肥料各(株)取締　日本貯蓄銀行　愛知物產組　愛知時計電機　昭和銀行各(株)監査　所得税九一〇五　名古屋市東區白壁町一ノ四　電東七四

當家は代々山梨縣都留郡谷村町に住せし農家なり君は同縣人渡邊甚右衞門の長男にして貴族院議員志村源太郎の弟明治五年九月廿四日を以て生れ同十六年家督を相續す同廿九年東京帝大法科を卒業し日本銀行に入り次で愛知銀行に聘せられ行務の整理擴張に務め頭取に推され傍ら前記銀行會社の重役たり曩に名古屋商業會議所特別議員に擧げらる　宗教淨土宗　趣味テニス散歩觀劇【家庭】妻ツルヂ（明一三）東京府士族藤岡正信長女　二男聖二（明四〇）第八高校文科在　四男義男（明四四）愛知縣立一中卒　五男淳（大二）同校在　六男進（大四）長女松子（明三二）愛知縣立第一高女卒は佐賀縣人山浦護に二女富美子（明三五）同校卒は東京府人櫻井俊記に三女喜代子（明三六）同校卒は富山縣人有川恒通に各嫁し長男精一（明三九）は兄志村源太郎に三男淸三郎（明四二）は大阪府人吉村可成に各養子となる

渡邊嘉夫　從四勳三　東京市外戶塚町一四六　電牛込三七一三

君は舊遠州掛川藩士渡邊誠記の長男明治六年十二月廿五日千葉縣に生れ同十六年家督を相續す同卅一年東京帝大工科土木科を卒業し鐵道技師に任じ鐵道院監督局技術課長東支鐵道管理官長及聯合鐵道管理部日本代表等歷任し大正十三年退職す曩に土木建築業田島組顧問たり　宗教日蓮宗　趣味讀書撞球寫眞【家庭】妻羊子（明一六）東京府人牧田義雄長女御茶水高女卒　長男亮（明三六）早大文學部英文科卒　二男耐三（明三八）東京帝大法科卒　三男謙二（明四一）慶大法科在　四男讓（明四四）東京高師附中在　二女博子（明四二）御茶水高女英語專攻科卒　長女恭（明四〇）東京府立第二高女卒は經濟學士西鄕幸雄に嫁す

渡邊嘉政　日本ダイヤモンド(株)專務　長岡鐵工所(株)取締　所得税六三一　東京市麴町區四番町四　電九段一八六〇

君は山口縣士族林政輔の三男明治八年九月八日同縣都濃郡富田町に生れ後渡邊玄包の養子となり同卅八年十一月家督を相續す同卅二年東京高等工業學校機械科を卒業同四十年渡米同四十三年歸朝す後長岡鐵工所に入り大正六年日本ダイヤモンド會社專務取締役となる交詢社會員なり　宗教神道【家庭】養母トシ（嘉永二）妻ハル（明一一）養父玄包二女東京女高師附高女女子學院各卒　長男本雄（明三九）東京帝大文科卒

渡邊利二郎　神奈川縣多額納税者　橫濱商工會議所常議員　橫濱社會館長　渡邊同族(株)副社長　渡邊銀行　ホテルニューグランド各(株)取締　復興建築助成(株)監査　日本特殊鋼(資)監事　直接國税六七三二一　橫濱市中區元濱

町三ノ一　電本局三八五
君は神奈川縣人渡邊銀行頭取渡邊福三郎の二男明治廿年七月十一日横濱市に生れ同四十年分家す大正三年東京帝大法科經濟科を卒業し同四年渡米同五年歸朝す現時前記會社の重役にして神奈川縣多額納税者たり曩に神奈川縣會議員同參事會員横濱聯合青年團常務理事に擧げらる日本倶樂部工業倶樂部會員　宗教眞言宗　趣味讀書將棋【家庭】妻壽子（明三〇）伯爵廣澤金次郎長女女子學習院卒　長男廣太郎（大八）長女國子（大一一）二男健二郎（大一二）三男忠三郎（大五）

渡邊龍聖　從三勳二　文博　名古屋高等商業學校長　小樽高等商業學校名譽教授　名古屋商工會議所顧問　所得税二八二　名古屋市中區陶生町二ノ二三　電本局五二七〇
君は新潟縣人加藤知正の兄慶應二年八月を以て生れ明治十九年七月先代傳藏の養子となり家督を相續す同廿年東京專門學校英文科を卒業し帝國大學文科哲學科に學び米國に留學ミシガン大學ビルスデール大學紐育州コーネル大學等に學びドクトル　オブ・フイロソフイーの學位を得て歸朝東京高等師範學校附屬東京音樂學校教授兼高等師範學校教授東京高等師範學校教授小樽高等商業學校長等に歷任せり曩に清國に派遣され直隸總督府袁世凱の學務顧問となり同四十三年倫理學修身教授法研究の爲獨逸に留學し大正九年更に歐米各國に出張を命ぜられ歸朝後文學博士の學位を授與せらる現時名古屋高等商業學校校長たる外前記諸職にあり　趣味圍碁將棋讀書【家庭】妻キヨ（明一四）東京府人今村繁三妹東京女高師附高女卒　長男龍策（明三六）東京帝大法科卒　二男津二（明三九）神戸高商卒　四男裕四（明四二）五男道五（大二）二女比佐子（大六）三男治三（明四一）は叔父加藤知正の養子となる

渡邊了武　臨海土木工業所主　東京市外大井町四六三一　電大森三二〇（事務所）麴町區丸ノ內一ノ一六　電丸ノ內三八八
君は熊本縣士族渡邊均の男明治十八年二月十八日同縣に生れ同四十五年家督相續す同四十年第五高校工學部を卒業し臺灣總督府技師東京灣埋立會社埋立部長等に歷任し後臨海土木工業所を興し其經營に任じ以て今日に至る　宗教佛教【家庭】妻ヒデ（明二八）熊本縣士族水上浩基二女　長男廉一（明四四）長女時子（大三）二女幸子（大五）三女昭子（大七）四女悅子（大一四）

渡邊良助　日本印刷製本(株)取締　東京開成館(株)相談役　所得税二九七九　東京市小石川區小日向臺町二　電小石川三〇五
君は茨城縣人渡邊竹三郎の弟明治十年十一月同縣眞壁郡下妻町に生れ同廿七年分家す夙に實業界に入り同廿二年出版會社東京開成館を經營し其專務取締役たりしが現時前記諸職にあり　宗教時宗　趣味讀書【家庭】妻千代（明一八）茨城縣人加藤平七妹　嗣子藤一郎（明四〇）專修大學在　長女けい（明四二）三輪田高女卒　三男文三郎（大二）慶應普通部在　二女しげ（大四）五男正五郎（大一一）五女てる（昭二）

渡邊亮作　富士製紙(株)會計部副長　所得税六九二　東京市麴町區平河町二ノ一〇　電九段二六八四
君は靜岡縣人渡邊和藏の長男明治廿年六月十二日同縣富士郡今泉村に生れ同四十年家督を相續す同卅三年富士製紙會社に入り現時會計部副長の職に在り資產家なり【家庭】母つき（嘉永三）妻文（明三二）故貴族院議員澤柳政太郎姪山脇高女卒　男薰（大六）

渡邊亮平　神奈川縣多額納税者　造船業　直接國税五五二七　横濱市中區青木町上臺一八二一　電本局五三八（營業所）神奈川區神奈川町三一八一　電本局一二七五
君は靜岡縣人齋藤佐七の二男明治十一年六月廿九日を以て生れ先代忠右衞門の養子となり大正九年家督を繼ぐ明治廿二年先代忠右衞門の創業に係る家業を繼承今日に至る神奈川縣多額納税者なり　宗教日蓮宗　趣味撞球釣魚【家庭】妻ソメ（明一五）東京府人阿實捨次郎長女　男清忠（大二）神奈川縣立二中在　長女敏（明三六）フェリス高女卒　二女悅子（明四一）同校卒東京女大在　三女愛子（明四四）私立明崎高女卒　四女智子（大六）

渡邊六藏　從六　磐城炭礦　東京乘合自動車　平和海上火災保險各(株)取締　東京市下谷區眞島町一　電下谷四〇四
君は埼玉縣人久米六右衞門の二男明治四年三月を以て生れ渡邊治右衞門の養子となり後分家す同廿九年東京帝大工科土木工學科を卒業し鐵道院技師となり市內高架鐵道の設計に從事す現時前記會社の重役たり【家庭】妻見尾（明一〇）東京府人渡邊治右衞門妹　男幸一（明三四）三女福子（明四〇）東京女高師附高女卒　長女初（明三三）同校卒は群馬縣人關根作三郎長男義喬に二女房（明三六）同校卒は愛知縣人太田德九郎長男德敬に各嫁す

渡邊六兵衞　萬六　酒類商　東京市麴町區飯田町二ノ五〇　電九段八六
當家は屋號を萬六と稱し代々酒類商を以て知らる君は其十一代目にして代先六兵衞の長男明治十一年十二月廿三日麴町區に生れ大正五年八月家督を相續し前名宗次郎を改む幼より家業の酒類商に從事し現時飯田町二丁目町會長に推さる　宗教眞宗【家庭】妻かつ（明二〇）神奈川縣人澁谷留五郎三女　長男清（明四四）曉星中學卒　長女麗（明四〇）三輪田高女堀越女學校各卒　二男貞次（大七）二女園（昭四）

渡邊六松　新潟縣多額納税者　長岡鐵工所(株)取締會長　寺泊海陸運輸取締　直接國税五三三〇　長岡市表三ノ町九〇三
君は新潟縣人渡邊金平の五男弘化二年七月を以て生れ先代清松の養子となり明治卅八年家督を相續す現時前記會社の重役にして新潟縣多額納税者たり曩に長岡商業會議員特別議員に推さる【家庭】妻コウ（安政六）新潟縣人加藤準治姉　長男清次郎（明一一）同妻シン（明一三）同縣人鈴木久藏妹　同二女重子（明三一）同三女京（大二）同四女セン（大四）同五女アヤ（大五）同二男義一（大八）二男祐吉（明一三）は同妻トシ（明二五）新潟縣人廣井一長女及其一男二女を伴ひ孫キミ（明三八）長男清次郎長女は其夫藤次郎（明三二）同縣人渡邊藤吉二男と共に各分家し三男良造（明二〇）も分家し五女柳（明二二）は同縣人渡邊藤吉の養子となり長女タツ（明五）は前記渡邊藤吉に六女豐（明二五）は同縣人阿部鐵藏長男鐵治に各嫁す

渡邊六郎　資產家　神奈川縣鎌倉郡小坂村大船新鎌倉夕日ケ丘二〇一
君は東京府人渡邊勝三郎の弟明治廿年四月十日東京市下谷區に生れ大正七年分家す六高を經て明治四十四年東京帝大法科政治科を卒業し土地經營事業視察の爲歐

米を巡遊す歸朝後東京實用自動車社長外渡邊一家の經營に係る諸銀行會社の重役たりしが後之を辭す　趣味水彩畫登山讀書【家庭】妻りき（明三一）東京府人宮前はつ養子　長男秀（大四）二女瑩子（大九）二男昶（大一〇）三男暢（大一一）三女尙子（大一三）四女淳子（大一五）女暎子（大一五）女繁（昭二）

渡邊脇次郎　善光寺登山鐵道(株)取締兼技師長　東京市下谷區金杉下町一二〇
君は東京府人渡邊傳藏の四男明治十七年三月十日を以て生る同四十一年東京商工學校本科電氣科を卒業後電氣器具商及工事請負業に從事昭和三年四月前掲の任に就き今日に至る　宗教天台宗【家庭】妻阿具利（明二七）群馬縣人齋藤巻太郎三女　長男敏（大五）二男正泰（大九）長女千榮子（大一四）二女豐子（昭二）

渡村桂藏　勳八　渡村鐵工所　船具用諸器械鐵ブロック製造販賣　東京市京橋區新榮町四ノ三　電京橋六三一八
君は千葉縣人渡村榮右衞門の長男明治十四年三月一日同縣安房郡館山町に生れ同四十五年家督を相續す先代榮右衞門は同十八年現地に斯業を創始す君之を繼承し經營以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味旅行【家庭】妻はつ（明二五）東京府人梶山之助長女　長男榮一（大六）長女光子（大三）二男作衞（大一〇）二女八重子（大一三）

渡利勉　羊毛整製(株)取締　東京織物用品(株)監査　東京市外大井町四四〇〇　電大森八七六
君は京都府人渡利定博の長男明治六年同府に生れ大正三年家督を相續す明治廿七年東京高工染色科を卒業後大阪モスリン上毛モス東京毛織等に歷勤後羊毛整製會社取締役東京織物用品會社監査役に就任し今日に至る其間三箇年歐洲に出張せり　宗教淨土宗　趣味謠曲【家庭】妻善（明一二）神奈川縣人宮尾麟妹　長男定張（明三七）東京藥專卒藥局經營　三男義雄（明四〇）慶大經濟學部在　二女美代（明四二）東京女學卒　四男郁夫（明四四）慶應商工卒住友銀行員　五男誠（大二）同校在　三女慶（大三）東京女學在　四女園（大七）

渡利安　渡利發動機製作所　東京市芝區日出町七ノ六號　電高輪四一一八
君は島根縣人渡利仙五郎の長男明治十三年二月七日を以て生れ大正十五年五月家督を相續す明治卅一年芝浦製作所に入り同四十年池貝鐵工所に轉じ仕上組立組長となり大正六年獨立して現事業を創め今日に至る君の發明せる無注水渡利式發動機は新案特許を得現時諸官省の指定工場たり　宗教眞宗　趣味落語【家庭】母ぶん（文久元）妻マサ（明三三）長女あ屋子（大元）東京高女卒　二女豐子（大六）弟高義（明二七）

藁科松伯　藁科小兒科醫院　醫師　東京市本鄉區臺町五〇　電小石川三七一八
君は山形縣士族先代松伯の長男明治二年十二月一日米澤市に生れ同十八年家督相續と共に前名健吉を改む同卅五年東京帝大醫科を卒業後山形市公立病院長代理を經て同卅八年東京神田に藁科小兒科醫院を開業大正十三年現地に移轉す嘗て神田區會議員たりし事あり現時小兒科學會理事外國語學校々醫東京醫師協會評議員たり　宗教日蓮宗　趣味謠曲圍碁和歌書畫骨董【家庭】妻なみ（明一三）山形縣人蘆川良輔長女　長男弘（明四〇）東京醫專在　三女八重子（明四二）東京女高師附高女專攻科在　四女裕子（大元）家政學院在　三男健（大四）京華中學在　四男誠（大八）長女恒子（明三五）は水戸高校教授野村正雄に二女德子（明三八）は野口重夫に各嫁す

蕨精一　小西工務所　建具製造業　得税七二　東京市外砂町八右衞門町五六二　電本所一七三六
君は千葉縣人蕨金造の長男明治卅六年四月五日同縣に生れ後家督を相續す大正十二年工學院建築學科高等科を卒業後父金造の經營に係る小西工務所建具請負業に從事し現時之を經營す　宗教日蓮宗　趣味旅行

割田平馬　從五勳五　專賣局技師　廣島地方專賣局製造課長　所得税一〇〇　廣島市南竹尾町三一二
君は群馬縣人割田勇八の長男明治十五年十二月を以て生る同四十一年東北帝大農科大學農經科を卒業し專賣局技師兼書記となり尋で專賣局技師廣島金澤大阪各支局製造課長を歷任し現に廣島地方專賣局製造課長たり【家庭】父勇八（安政三）妻モヨ（明一四）新潟縣人渡部館養妹

第三版

大衆人事錄補遺

安達俊介 從七勳六 在鄉陸軍砲兵中尉 電氣工事請負業 東京市本鄉區駒込動坂町三二七 電小石川六八四〇

君は東京府人安達乙熊の弟明治十二年四月卅日を以て生れ大正二年家督相續す福島縣立第五中學を經て明治卅七年工手學校電氣科を卒業す先是同卅二年原安商會に入り後同商會總務部長に擧げられ大正三年之を辭し獨立して電氣工事請負業を創め以て今日に至る夙に一年志願兵となり砲兵少尉に任ぜられ日露戰役に出征して砲兵中尉に陞進勳功に依り勳六等旭日章を賜はる 宗教神道 趣味書畫骨董【家庭】妻いし子（明一八）

安達祥三 正六 特許局事務官 審判部書記課長 東京市牛込區市谷船河原町一四 電牛込四〇三三

君は秋田縣人安達元之助の長男明治卅一年四月三日同縣に生る大正九年文官高等試驗に合格翌年東京帝大法科を卒業し特許局に入り後同事務官に任ぜられ昭和四年同局總務部登錄課長となり同五年六月審判部書記課長に轉じ今日に至る【家庭】父元之助現戶主 母榮子 妻憲子（明三八）東京府人田村藤四郎長女三輪田高女卒 長女祥子（昭五）

安倍四郎 勳六 日本銀行(株)調査局長 東京市赤坂區青山南町五ノ三五

君は東京府人安倍小次郎の四男明治十五年九月十七日新潟縣に生れ同四十五年分家す同四十二年東京帝大法科佛法科を卒業し直に日本銀行に入り金澤支店長を經て現に日本銀行調査局長たり 宗教日蓮宗 趣味圍碁撞球散步讀書【家庭】妻壽惠（明二四）福岡健良四女東京府立第一高女實踐家政科各卒 長男正雄（大一〇）長女秀子（明四五）縣立金澤高女卒 三女加根子（大五）二男知雄（大一二）三男文雄（大一三）

安部龜太郎 安部酸素工業所主 東京市芝區琴平町三九 電芝一五五六

君は島根縣人安部由平の五男明治十七年八月十八日を以て生る夙に九州八幡製鐵所吳海軍工廠橫須賀海軍工廠鐵道院等に歷勤す其間鐵道より東京高工機械製圖科及數學科就學を命ぜらる後鐵道院を辭し牧野鐵工場に入りしが大正五年獨立安部酸素工業所を創設し酸素鎔接並に旋盤加工業を營み今日に至る 宗教日蓮宗 趣味旅行狩獵【家庭】妻るい（明二八）長男勉（大九）長女道子（大六）東京府立第六高女在 二女康子（大七）三女豐子（大一一）二男宗昌（大一四）三男伊勢一（昭二）

安藏彌輔 東京電燈(株)技師工務部長 所得稅一四五 電大塚一七四四 東京市外西巢鴨町宮仲

君は東京府人安藏彌兵衛の長男明治廿二年八月七日を以て生れ大正三年家督を相續す明治四十五年東京帝大工科電氣科を卒業直に猪苗代水力電氣會社に入り技師たりしが大正十二年東京電燈會社技師に轉じ昭和二年三月同社工務部規畫課長となり現時同部長たり今日に及ぶ電氣俱樂部會員なり 宗教佛教【家庭】妻あさ（明二七）長男保次（昭五）長女敏子（大六）日本橋高女在 二女澄子（大八）三女光子（大一〇）四女豐子（大一二）五女昌子（大一四）六女久子（昭二）

安藤儀三 安藤鐵工所主 東京市京橋區月島通五ノ五 電京橋五六八〇

君は岐阜縣人安藤嘉助の二男明治廿五年一月廿三日を以て生れ後家督を相續す夙に工手學校を卒業し月島機械會社に入り大正七年鐵工業を創め今日に至る 宗教眞宗 趣味圍碁【家庭】妻フジ（明三二）長女多惠（大一一）二男儀明（昭元）二女壽美子（昭二）三女愛（昭四）

安藤時雄 從五勳五 地方技師 新潟縣林務課長 新潟市西大畑町五二〇七 電新潟二二〇三

君は東京府人安藤淳造の長男明治十四年十二月廿四日東京市神田區に生れ昭和五年家督を相續す山口高校を經て明治卅八年東京帝大林科林學科を卒業し京都府立奈良縣各農林學校教諭木曾山林學校長長野縣林務課長北海道廳技師宮崎縣林務課長等に歷補し昭和五年四月新潟縣林務課長となり今日に至る 宗教禪宗 趣味運動讀書旅行【家庭】妻とよ（明二二）東京府人齋藤利貞妹長野縣立高女卒 長男信時（明四三）二男直明（明四五）宮崎中學卒 他に子女六名あり

足立保 庭園土木建築請負業 東京市本所區綠町三ノ二〇 電本所六〇三八

君は兵庫縣人足立四郎兵衛の長男明治廿年二月廿二日同縣氷上郡神樂村に生る同四十年中央商業學校を卒業し同四十三年種苗商東京園藝商會に入り大正十一年ヤマト種苗農具株式會社支配人に轉ず同十二年庭園土木建築請負業を創め以て今日に至る 宗教佛教 趣味庭園【家庭】妻あさ（明二七）長男保次（昭五）長女敏子（大六）日本橋高女在 二女澄子（大八）三女光子（大一〇）四女豐子（大一二）五女昌子（大一四）六女久子（昭二）

足達疇邨 彫刻家 東京市麹町區隼町五 電九段五二〇

君は山梨縣人足達清左衛門の長男明治元年三月五日向縣に生れ後家督を相續す襲に漢籍村塾に學び後篆刻家濱村蕤山に師事す書は吉法帖に就て研鑽し襲に書を以て小松宮彰仁親王殿下に奉仕す篆刻家にして日本美術協會委員同審查員書道作振會審查員全國印刷業組合顧問國華俱樂部評議員等の職にあり 宗教禪宗 趣味圍碁將棋盆栽骨董【家庭】妻久米（明二九）長男靖（大九）二男春彥（大一四）

足達直次 圖案家 東京市小石川區武島町二 電小石川五四六九

君は東京府人足達渤次郎の長男明治卅年十一月卅日を以て生る夙に圖案家伊藤仙三郎に就きて圖案を研究し更に石塚市太郎に就き研修す現に裾模樣圖案專門家として知らる 宗教日蓮宗 趣味撞球【家庭】妻むゑ（明二九）馬場定八四女 長女美惠子（昭三）

阿南惟幾（アナミコレチカ）　従五勲四　陸軍歩兵中佐　侍従武官兼軍事参議院幹事　東京市赤坂区青山南町五ノ三三　電青山一〇三七

君は大分縣人阿南尚の二男明治廿年二月廿一日東京市牛込區に生れ後分家す夙に陸軍士官學校を卒業し歩兵少尉に任ぜられ爾來累進して歩兵中佐に陞る其間陸軍大學校を卒業し歩兵一聯隊付參謀本部々員歩兵四十五聯隊付等歴補昭和四年侍従武官となり今日に至る同五年六月軍事參議院幹事に兼補せらる　宗教禪宗【家庭】妻綾子（明三一）熊本縣人竹下半作二女水戸高女卒　長男惟敬（大一〇）二男惟義（大一二）長女喜美子（昭元）

阿部正胤（アベマサタネ）　本郷區會議員　辯護士　東京市本郷區臺町九　電小石川二〇一二

君は山口縣人阿部道忠の二男明治廿年四月廿六日同縣豐浦郡國枝村に生れ後分家す大正八年東京帝大法學部を卒業し中央郵便局外國課に勤務す現時辯護士たる傍ら本郷區會議員臺町々會副會長たり　趣味スポーツ撞球【家庭】妻むら子（明二四）石塚作五郎二女　長男雅夫（大一五）長女實（大一二）二女史江（昭四）

會田長平（アイダチョウヘイ）　海産物商　東京市日本橋區江戸橋一ノ一五　電日本橋二〇七二

君は埼玉縣人會田只一郎の二男明治十四年六月同縣に生れ後分家す夙に村濟商店に勤め後明治廿九年創業になる海産物商を營み今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻かつ　長男健一郎（明四四）錦城商業卒　長女玉江（明四〇）埼玉縣女子師範卒　二女壽子（明四二）東洋家政女學卒　三女美津子（大一三）四女喜榮子（大一五）三男農作（大二）京華中學在

青木磐雄（アオキイワオ）　従五勲四　辯護士　東京市麻布區霞町六　電青山六一一三

君は東京府人青木素堂の三男萬延元年六月廿八日東京市に生れ後家督を相續す明治廿二年東京帝大法科を卒業し檢事に任じ地方裁判所控訴院各檢事地方裁判所檢事正等に歴補し退官後東洋製糖取締役となり現時辯護士たり著書に「人生論」あり　宗教淨土宗　趣味將棋【家庭】妻みつ子（明六）西神常七二女　長男戰彦（明四一）慶大法科在　二男明（大三）慶應普通部在

青木戒三（アオキカイゾウ）　従三勲三　昭和水利組合囑託　朝鮮平壤府南門町一〇〇

君は秋田縣士族元札幌區長故青木定謙の長男明治十三年六月を以て生れ昭和五年四月家督を相續す明治卅八年東京帝大法科獨法科を卒業し大學院に學ぶ文官高等試驗に合格して同四十一年石川縣事務官に任ぜられ次で統監府書記官同警視朝鮮總督府書記官農商工部殖産局水產課長朝鮮總督府鐵道局長同專賣局長全羅北道知事を經て大正十五年平安南道知事に任じ昭和四年一月官を辭す現時前記の職にあり【家庭】母タカ（文久二）妻綾子（明三一）熊本縣人竹下半作二女水戸高女卒　長男惟敬（大一〇）二男惟義（大一二）長女喜美子（昭元）

阿部正胤（アベマサタネ）　本郷區會議員　辯護士　東京市本郷區臺町九　電小石川二〇一二

君は山口縣人阿部道忠の二男明治廿年四月廿六日同縣豐浦郡國枝村に生れ後分家す大正八年東京帝大法學部を卒業し中央郵便局外國課に勤務す現時辯護士たる傍ら本郷區會議員臺町々會副會長たり　趣味スポーツ撞球【家庭】妻むら子（明二四）石塚作五郎二女　長男雅夫（大一五）長女實（大一二）二女史江（昭四）

會田長平（アイダチョウヘイ）　海産物商　東京市日本橋區江戸橋一ノ一五　電日本橋二〇七二

君は埼玉縣人會田只一郎の二男明治十四年六月同縣に生れ後分家す夙に村濟商店に勤め後明治廿九年創業になる海産物商を營み今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻かつ　長男健一郎（明四四）錦城商業卒　長女玉江（明四〇）埼玉縣女子師範卒　二女壽子（明四二）東洋家政女學卒　三女美津子（大一三）四女喜榮子（大一五）三男農作（大二）京華中學在

青木磐雄（アオキイワオ）　従五勲四　辯護士　東京市麻布區霞町六　電青山六一一三

君は東京府人青木素堂の三男萬延元年六月廿八日東京市に生れ後家督を相續す明治廿二年東京帝大法科を卒業し檢事に任じ地方裁判所控訴院各檢事地方裁判所檢事正等に歴補し退官後東洋製糖取締役となり現時辯護士たり著書に「人生論」あり　宗教淨土宗　趣味將棋【家庭】妻みつ子（明六）西神常七二女　長男戰彦（明四一）慶大法科在　二男明（大三）慶應普通部在

青柳盛造（アオヤギモリゾウ）　富國水災海上保險（株）營業部長　東京市外世田ヶ谷町下北澤九五〇

君は岐阜縣人住伊兵衛の二男明治廿二年六月十五日を以て生れ後青柳久米次郎の養子となり家督を相續す明治四十四年東京高商を卒業し東京火災保險會社に入り大正五年之を辭し富士見軒を經營す同十四年富國火災海上保險會社に入社現時營業部長たり　宗教眞宗【家庭】妻久米（明二六）三輪田高女卒　趣味若流謠曲【家庭】妻久採子（大五）長女茂久（大二）長女榮子（大一四）二男義亮（昭四）

秋山泰亮（アキヤマヤスアキ）　南米拓殖（株）計算主任兼庶務主任　東京市外西巢鴨町池袋一〇一七

君は福島縣人渡邊新十郎の三男明治廿一年十二月三日同縣に生れ後秋山美枝の養子となる大正二年東京高商を卒業し直ちに臺灣銀行に入り宜蘭支店長を經て昭和三年南米拓殖會社に入り現時計算主任兼庶務主任たり宗教禪宗　趣味謠曲音樂【家庭】養父美枝（明四）妻富子（明三二）植村銑子二女下谷高女卒　長男泰義（大一四）長女義子（大一五）二男義亮（昭四）

秋山丑之助（アキヤマウシノスケ）　土木建築請負業　東京市外目黒町元金杉二〇四七　電下谷七九三四

君は群馬縣人土木建築請負業秋山松太郎の長男明治廿二年一月十九日同縣に生る同四十四年土木建築請負業を創め以て今日に至る東京土木建築組合日暮里警察管内區長たり　宗教眞言宗　趣味書畫【家庭】妻たま（明二六）養弟壽榮司（大六）日大附中學在

芥川安太郎（アクタガワヤスタロウ）　一般計器製造販賣業　東京市芝區白金三光町七　電高輪六〇二一

君は滋賀縣人里内清治の男明治廿年三月一日同縣甲賀郡石部町に生れ後芥川由信の養子となる大正二年慶應義塾大學理財科を卒業し東京電燈深川出張所主任大島製鋼會計係長山崎龜吉商店會計主任等に歴勤す昭和四年一般計器製造販賣業を創め以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味讀書【家庭】父山信（文久二）妻滿代（明二二）養父由信長女　長男隆行（大八）

赤神良譲（アカガミリョウジョウ）　明治大學教授　神奈川縣中郡大磯町清水二五五

君は新潟縣人赤神仁八の三男明治廿五年十月廿二日同縣に生れ後家督を相續す大正八年東京帝大文學部助手と同大學法科政治科を各卒業し東京帝大學部助手となり後明治大學教授に就任し今日に至る大正十五年社會學及政治學研究の爲歐米各國に出張し在留二年にして歸朝す　宗教眞宗【家庭】妻セイ（明二八）小川多助長女東京府立第二高女卒　長男瞭（大一三）長女至子（大八）二女輸子（大一一）三女諭子（大一五）二男光高（昭四）

赤木鐵夫（アカギテツオ）　正七　遞信局事務官　札幌遞信局規畫課長　札幌市南七條西一

君は岡山縣人赤木伊勢次郎の三男明治廿三年東京帝大法科を卒業後遞信省經理局主計課に入り後北海道釧路郵便局長中央電話局加入課長等を經て現時札幌遞信局規畫課長たり　宗教神道　趣味運動【家庭】父伊勢次郎（慶應三）現戸主妻阿倍利（明四〇）兵庫縣改田武馬五女夕陽丘高女卒

淺井實（アサイミノル）　従五勲六　地方農林技師　東京府立農事試驗場技師兼同府立農事講習所技師　東京市外杉並町高圓寺五五〇

君は愛知縣人先代岩田吉兵衛の二男明治廿年九月十七日同縣に生れ後淺井せきの養子となり家督を相續す明治四十五年東京帝大農科を卒業し同年地方農林技師に任じ現に東京府立農事試驗場技師兼農事講習所技師たり　宗教眞言宗　趣味音樂旅行圍碁【家庭】妻周子（明二七）岐阜縣人高木章妹岐阜高女卒　長男英是（大一

二）二男保幸　長女すま子　二女きよ子

淺川彰三（アサカワショウゾウ）　東京帝國大學教授　浦賀船渠（株）囑託　横須賀市中里町一六九　電横須賀四二七

君は長野縣人淺川愿三郎の二男明治十年四月三日を以て生れ後分家す同卅五年東京帝大工科造船學科を卒業し大阪鐵工所に勤務す明治四十四年浦賀船渠に轉じ取締役工作部長たりしが昭和五年五月帝國大學教授に任ぜられ工學部勤務となり傍ら浦賀船渠會社囑託を兼ねて今日に至る　宗教禪宗　趣味圍碁謠曲【家庭】父愿三郎（嘉永三）妻母屋（明一七）長男末三（大二）縣立横須賀中學在　女みや子（大七）

淺川眞砂（アサカワマサゴ）　第一銀行（株）京城支店支配人　京城府本町四ノ一二五

君は長野縣人淺川玉之助の三男明治十六年十一月を以て生る同四十年東京帝大法科大學政治學科を卒業し夙に第一銀行に入り兵庫支店副支配人門司札幌小樽各支店支配人を經て現に同行京城支店支配人たり　宗教禪宗　趣味圍碁謠曲【家庭】母りき（萬延元）妻道（明二三）東京府士族大日本セルロイド常務淺野修一妹　兄渉夫（明一四）亡兄淳人妻りい（明一二）長野縣人士屋文治郎長女　同長男基江（明三五）及其弟妹

淺田榮一（アサダエイイチ）　仁壽生命保險（株）主事兼外務部長　東京市外瀧野川町上中里一四一

君は石川縣人淺田伊左衛門の長男慶應三年十一月十日同縣石川郡鄕村に生れ後家督を相續す夙に石川富山各縣巡査陸軍參謀本部員等を歴勤後實業界に入り現時仁壽生命保險會社主事兼外務部長たり昭和四年東洋大學印度哲學科を卒業す　宗教眞宗【家庭】母なを（弘化三）妻秀子（明六）石川縣士族上田政吉妹

朝蔭恒雄（アサカゲツネオ）　丸五商會　建築材料商　東京市神田區旅籠町二ノ八　電下谷二三八

君は東京府人朝蔭玉次郎の三男明治廿八年五月五日を以て生る夙に順天中學を卒業し現に父業を繼きて丸五商會と稱し建築材料商を營む　宗教禪宗【家庭】母たみ（明三）妻さと（明三三）東京府人朝蔭秋次郎長女同府立第一高女卒　長男正雄（大一四）二男武司（昭三）妻秀子（明六）石川縣士族上田政吉妹

朝倉猛（アサクラタケシ）　横濱市學校醫會理事　朝倉病院長　醫師　横濱市中區上大岡町三〇三　電長者町二三七六（分院）同市日野町七（分院）同市日野町

君は宮城縣人故朝倉病院長朝倉強治の三男明治廿二年八月十四日橫濱市大岡町夙に宮城縣立白石中學を卒業後東京帝大醫科大學を卒業後東京帝大醫科大學教室に研鑽を積み永樂町分院長となる尋で昭和二年父の後を繼き至る　宗教淨土宗　趣味讀書旅行【家庭】妻キト子（明三三）佐賀縣士族池田亮次郎四女　長男亨（昭三）長女英子（昭五）※朝倉松吉の項參照

朝倉久（アサクラヒサシ）　三井銀行（株）員　東京市小石川區高田老松町三二

君は東京府人朝倉粂次郎の二男藤本ビルブローカー銀行顧問平賀敏の甥明治十六年十月三日を以て生る同卅六年六大倉商業を卒業し東京市街鐵道會社に入り同卅八年三井銀行に轉じ橫濱支店深川支店神戸支店に歴勤し大正九年本店內國課勤務となり以て現在に至る　宗教眞宗【家庭】妻眞咲（明二八）島根縣人美惠（大六）成女高女在

東恭平（アズマキョウヘイ）　臺灣製糖（株）東京事務所出納係主任　所得稅七二　東京市本郷區西片町一〇　電小石川一八二五

君は和歌山縣人荒木喜右衛門の四男明治十年五月廿九日を以て生る同卅四年東京高商を卒業後韓國政府屋となり次で同稅關事務官たりしが同四十一年之を辭し大正元年朝鮮船會社に入り營業助役たりしが同八年之を辭し現時朝鮮炭鑛會社外前記會社取締役たり　宗教臨濟宗　趣味角力闘犬圍碁【家庭】兄喜市郎（元治元）現戸主　母サン（弘化元）妻貞（明二〇）和歌山縣人宮本良哉二女　長男十起男（明三九）曉星中學卒石炭小賣商　長女李都子（大六）二男勝郎（大九）三男健三（大一三）四男辰男（昭三）二女嵩里子（昭五）

天方貞平（アマカタテイヘイ）　日本鉛筆製造（株）常務　化學研究所主任　神奈川縣三浦郡逗子一九三　電逗子二七二

君は靜岡縣人天方庄兵衛の長男明治十一年十二月七日靜岡縣立中學を卒業し明治四十一年エスエー鉛筆製造所を創設之が經營の任に當りたるが大正八年株式組織に變更と共に常務取締役に就任し以て今日に至り傍ら大正九年ジーシー化學研究所を設立し同所主たり蠻に支那各地を巡遊す　宗教禪宗　趣味圍碁【家庭】妻梅（明一四）靜岡縣人天方仁右衛門二女靜岡縣立高女卒　長女泰子（大四）鎌倉高女在

天野壯助（アマノソウスケ）　従六　地方農林技師　山形縣水產試驗場長　山形縣西田川郡加茂町

君は愛知縣人天野兵太郎の四男明治十七年二月一日同縣に生れ後分家す同四十一年水產講習所を卒業しトロール船漁撈長船長茨城長崎水戸各水產試驗場技師を經て昭和四年山形水產場長となり今日に至る【家庭】妻そう子（明二八）岐阜縣人太田氏女　長男嘉惠助（大七）長女千代子（大五）鶴岡高女在

荒井市郎（アライイチロウ）　三井鑛山（株）社員　埼玉縣浦和町四五一七　電浦和一六

君は埼玉縣人荒井儀右衛門の四男明治廿六年二月十五日同縣に生る夙に沖電氣會社東京電話工業會社等に歴勤大正十年三井鑛山會社に入り現時文書課用度係たり宗教曹洞宗　趣味釣魚【家庭】妻シン（明三一）埼玉縣人椎名孝吉長女縣立浦和高女卒　長男重幸（大九）二男弘治（大一〇）四男一成（昭三）

荒木菊藏（アラキキクゾウ）　帝國商業（株）取締　朝鮮炭鑛東京通運事務所　東京市外大井町六五九

君は和歌山縣人荒木喜右衛門の四男明治十年五月廿九日を以て生る同卅四年東京高商を卒業後韓國政府屋となり次で同稅關事務官たりしが同四十一年之を辭し大正元年朝鮮船會社に入り營業助役たりしが同八年之を辭し現時朝鮮炭鑛會社外前記會社取締役たり　宗教臨濟宗　趣味角力闘犬圍碁【家庭】兄喜市郎（元治元）現戸主　母サン（弘化元）妻貞（明二〇）和歌山縣人宮本良哉二女　長男十起男（明三九）曉星中學卒石炭小賣商　長女李都子（大六）二男勝郎（大九）三男健三（大一三）四男辰男（昭三）二女嵩里子（昭五）

荒野光雄（アラノミツオ）　大北火災保險（株）取締役　日本火災保險（株）營業課長兼地方課長　東

京市小石川區雜司ヶ谷町一二二　電牛込二五六九
君は茨城縣人にして明治十年二月同縣に生る同卅九年日本火災保險會社に入り現時營業課長兼地方課長たる傍ら前記會社の重役を兼ぬ【家庭】妻貞子（明二四）二男邦彦（明四三）早大在　長女はぎ子（大六）日本女大附高女在

荒蒔義勝　正五勳三功五　陸軍少將　所澤陸軍飛行學校長　陸軍技術會議員　埼玉縣入間郡所澤町同校内
君は茨城縣士族荒蒔嘉幸の二男にして茨城縣多額納稅者同義尙の弟明治九年八月を以て生る夙に陸軍士官學校を卒業し同卅三年陸軍砲兵少尉に任じ大正十四年陸軍少將に累進す其間陸軍大學校を卒業し近衛野砲兵聯隊長下志津明野各陸軍飛行學校長等に歴補し昭和五年六月所澤陸軍飛行學校長に轉じ今日に至る【家庭】妻きく（明一一）長男義次（明四一）二男義幸（明四四）二女芳江（大五）三女澄子（大七）長女勝枝（明三七）は岐阜縣人山田淸一に嫁す

新井吉郎　勳六　醫博　日本赤十字社病院治療主幹　東京市麻布區霞町六　電青山六五五九
君は福井縣人新井信哉の長男明治廿一年十一月廿六日同縣に生る大正四年東京帝大醫科內科を卒業し直に日本赤十字病院に入り同六年シベリヤ派遣救護班長となり勳六等に敍せらる現時同病院治療主幹たり曩に獨逸和蘭に留學し大正十二年醫學博士の學位を授與さる同十五年宮內省侍醫寮御用を兼務昭和二年之を辭す　宗教眞宗　趣味スポーツ【家庭】父信哉（安政五）現戶主　妻早子（明三一）福井縣人番匠岩吉長女福井高女卒　長男吉哉（大六）東京高師附中學在　長女和子（大九）二男吉衛（大一二）二女幸子（大一四）

新井久次郎　東洋鑿泉（株）社長　東京油脂（株）常務　四谷自動車商會主　新井鐵工所主　建築用諸機械製造業　東京市四谷區尾張町三　電四谷三七〇七（工場）東京市本所區柳原二ノ一一　電本所三七〇六
君は靜岡縣人新井喜曾衛門の長男明治六年十二月を以て生れ後家督を相續す同卅七年現事業を始め現時傍ら前掲の諸職を兼ぬ【家庭】妻せん（明一一）長男覺太郎（明三二）郁文館中學卒　同妻きよ（明三二）二男定則（明三四）三男孝（明四四）長女きみ（明三九）

有高巖　正五　東京高等師範學校教授　東京市小石川區林町七〇ノ二
君は福岡縣人有高泰三郎の二男明治十七年一月十五日を以て生る同四十一年東京高師本科を同四十四年京都帝大文科史科を各卒業大正九年佐賀高等學校教授となり同十五年歐米各國に留學を命ぜられ昭和二年歸朝す同四年東京高等師範學校教授となり以て今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】兄享（明元）現戶主　妻コマヨ（明二二）福岡縣人藤井喜三郎五女福岡縣立高女卒　長男扶桑（昭四）長女鈴枝（大五）東京府立第二高女在

井垣虎治　正八勳六　在鄕陸軍步兵少尉　所得稅七一〇　東京市外澁谷町伊達一九　電高輪五三五〇
君は兵庫縣人井垣源三郎の長男明治十四年十二月廿日同縣に生れ同卅九年家督相續す同卅六年滋賀縣商業學校を卒業し一年志願兵として姬路第三十九聯隊に入營日露の役に從軍す後兼松商店に入り神戶東京シドニー各支店に歴勤次で東京支店長となり取締役に擧げらる現時閑地に在り資產家として知らる　宗教眞宗　趣味スポーツ園藝【家庭】母よし（安政元）妻志津（明二九）兵庫縣人和多田鹿藏二女豐岡高女卒　長男泰尙（大二）麻布中學在　二女俊子（明四四）頌榮女學卒　二男龍男（大四）東京府立園藝學校在　四男快彥（大九）五男四郎（大一五）長女美千代（明四二）香蘭女學卒は東京府人岩谷秋雄に嫁す

井口第二郎　從四勳三功五　海軍少將　艦政本部事務囑託　東京市外入新井町新井宿六五六　電大森三七〇二
君は石川縣士族井口無加之の二男明治九年九月同縣に生れ後分家す明治廿六年海軍兵學校に入り同卅一年海軍少尉に任じ累進して大正十一年少將に陞る其間艦政本部出仕造兵監督官等に歴補し現時艦政本部事務囑託たり　趣味讀書【家庭】妻榮（明一二）愛媛縣人松山農工銀行頭取中田傳之駁妹　長男正澄（大二）東京府立一中在　長女靜江（明四三）佛英和高女卒

井關勇吉　日本勸業銀行（株）特別貸付課主事　東京市外目黑町中目黑一四九六
君は東京府人井關勇次郎の長男明治廿五年九月廿日を以て生る大正八年東京帝大法科獨法科を卒業後日本コルク製造會社に入る次で同十二年日本勸業銀行に轉じ現時特別貸付課主事たり　趣味讀書旅行【家庭】妻ゆり（明三四）長男誠而（大一一）二男晋作（大一三）三男雄三（昭二）

井上主計　正五勳四　朝鮮總督府新義州稅關長　朝鮮新義州常盤町四ノ五
君は山口縣士族井上義之の二男明治十六年十一月廿九日を以て生れ同四十三年家督を相續す同年東京帝大法科政治科を卒業し大正元年文官高等試驗に合格し直に朝鮮總督府試補に任じ同二年朝鮮總督府道事務官忠淸北道第一部長京畿道第二部長財務部長等に歴任し次で朝鮮總督事務官財務局關稅課長同十四年專賣局事務官同庶務課長等を經て新義州稅關長に任じ以て今日に至る　宗教神道　趣味運動ゴルフ【家庭】妻カツコ（明三八）山口縣人栓恒直右六女京城高女卒　長男宏三（大一三）三男隆夫（昭二）四男豐彥（昭四）

井上重則　正五勳四　帝室林野局技師　札幌支局長　札幌市北二條西一ノ一　官舍　電札幌一三六六
君は兵庫縣人井上靜則の二男明治十五年五月三日を以て生れ後井上良二郎の養子となる同卅九年東京帝大林科を卒業し農商務省に入り技師に任じ秋田青森大阪各大林區署技師林業試驗所技師宮內省林野局技師東京支局勤務を經て大正十三年東京支局長となり昭和四年札幌支局長に轉じ以て今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁撞球【家庭】妻キリヱ（明二一）兵庫縣人森忠三郎妹北條高女卒　長男良則（明四一）法政大學在

井上茂　從六　東京高等商船學校教授　東京市外碑衾町吉久保一〇五二ノ二
君は愛媛縣人井上藤松の二男明治廿三年十一月十六日を以て生る大正八年東京高商を卒業し大阪商船會社に入り同十年文部省より歐米各國へ留學を命ぜられ倫敦大學伯林商科大學に學ぶ同十三年歸朝彥根高等商業學校教授となり昭和二年東京高等商船學校教授に任じ今日に至る　宗教禪宗　趣味撞球【家庭】父藤松（安政

六）母ウメ（慶應三）妻マス子（明三六）愛媛縣人若松綱一長女三田高女卒　長男克己（大一五）二男善之（昭四）

井上四一　勳七功七　井上馬術倶樂部主　東京市外代々幡町代々木富ヶ谷一五二三　電四谷一八〇三
君は岡山縣人明治十四年六月廿日を以て生る夙に陸軍に入り同卅七八年戰役に出征す後下士官に進み姬路聯隊勤務陸軍士官學校馬術教官を經て井上馬術倶樂部を設立し現に其經營の傍ら馬術畜產組合長なり　宗教日蓮宗　趣味書道乘馬運動【家庭】妻けい子（明二二）兵庫縣立高女卒　長男秀一（明四二）早稻田大學商科在

井幡順造　從六　東京府立園藝學校教諭　東京市外世田ヶ谷町太子堂三五二　電世田ヶ谷一二二〇
君は富山縣人井幡助左衛門の長男明治十五年十二月卅一日同縣東礪波郡山田村に生れ後家督を相續す同卅九年東京帝大農科實科を卒業し鍋島公爵家園藝學校農大附屬農場等に歴勤し大正十一年東京府立園藝學校教諭となり今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻ます（明二五）富山縣人久保治兵衛妹　長男豐久（大二）青山學院在　二男秀三（昭二）三男光良（昭四）

五十嵐善兵衛　千葉縣多額納稅者　農業　直接國稅一四七七　千葉縣香取郡笹川町（東京宅）東京市小石川區大塚坂下町一一四
君は千葉縣人五十嵐善兵衛の長男明治十八年十一月四日を以て生れ同卅七年家督を相續し前名善次郎を改む現時農業を營み千葉縣多額納稅者たり　宗教眞言宗　趣味謠曲【家庭】妻千代子（明二四）畔蒜藤次郎長女　長男善夫（大二）京華中學卒　長女きよ（大五）跡見高女在

伊澤幾次郎　內田商事（株）參事　機械部長　東京市小石川區雜司ヶ谷町九八ノ二　電小石川三五二四
君は宮城縣人にして明治十一年八月廿七日同縣に生る大正二年東京帝大法科獨法科を卒業し直に村井銀行に入り同四年內田商事に轉じ紐育支店長を經て同九年機械部長に就任し現在に至る　趣味散步旅行【家庭】妻美雄子（明三一）山脇高女卒　長男定（大六）東京府立五中在

伊澤常三　匿名組合上田商店東京支店勤務　東京市外入新井町新井宿道免一八六七　電大森三七六三
君は東京府人四國銀行常務取締役伊澤竹衛の長男明治廿六年二月十日を以て生る大正五年慶應義塾理財科を卒業後藤田銀行に入り昭和三年上田商店東京支店に轉じ以て今日に至る【家庭】父竹衛（慶應元）現戶主　母ハマ（明五）妻歌九段精華高女卒　二男元次（昭二）長女米子（大一〇）二女鶴子（大一四）三男良三郎（昭四）弟雄次郎（明二八）慶應義塾卒三井物產社員　同妻ミドリ（明三三）東京府人吉永良延養子　弟三男（明三二）慶應義塾卒安田銀行員　弟光四郎（明三七）弟五郎（明四一）妹ひさフエリス高女卒　妹のぶ（明三四）東京女高師附高女卒

伊東喜八　千住町會議員　南足立郡立憲民政黨支部長　辯護士　東京市外千住町二ノ七九八　電千住二六五五
君は東京府人伊東松五郎の二男明治廿五年七月四日同府南葛飾郡本田村に生れ後家督を相續す夙に日本大學に學び大正十三年現地に辯護士を開業す現時傍ら千住町會議員民政黨支部長の任にあり　宗教佛教　趣味讀書【家庭】妻はな（明三四）長男松壽（大一〇）二男鎭雄（大一三）三男正和（昭二）四男正（昭五）

伊東佐內　內外化學製品（株）技師長　東京市小石川區大塚仲町三六
君は福島縣人伊東佐一右衛門の三男明治十一年八月十四日同縣に生れ後分家す同廿八年二本松工手學校を卒業し後海軍に入營し同四十三年海技免狀を受く爾來東京計器製作所材料倉庫課長日本化學製油會社機關長等を經て大正九年內外化學製品會社技師長となり今日に至る　宗教眞言宗　趣味俳句【家庭】妻ふよ（明一三）福島縣人武乘豐吉二女　長男學（明四一）日大法科在　長女千代子（明四四）二女美代子（大四）三女孝子（大九）四女かつ子（大一一）二男佐（大一三）三男三夫（大一五）

伊藤淺平　伊藤鐵工所主　東京市外吾嬬町小村井九二二　電墨田三四六四
君は新潟縣人伊藤梅吉の長男明治十五年六月十三日を以て生れ後家督を相續す大正十年鐵工業を創め以て今日に至る　宗教門徒宗【家庭】妻よし（明二三）長男博（明四二）二男忠（大元）早稻田工手學校在　長女まさの（大三）麴町高女在　二女あさ子（大六）麴町高女在　三男實（大八）

伊藤四良　丸善（株）支配人　東京市外大井町四七四一
君は千葉縣人伊藤仁兵衛の二男明治廿一年二月二日を以て生る同卅八年丸善に入り後名古屋支店長本店副支配人福岡支店長等を經て昭和四年本店に轉じ現時同店支配人たり　宗教禪宗　趣味釣魚【家庭】妻きく（明二九）千葉縣人木內佐平長女　長男宏（大一〇）長女良（大七）二女正子（大一四）三女淸子（昭三）

伊藤淸一　從六　東京府立第七高等女學校長　東京市下谷區上根岸町八二
君は愛知縣人伊藤庄十郎の三男明治九年十一月廿八日同縣に生れ後分家す同卅八年東京高師を卒業し後東京府立第一高女教諭東京府視學等を經て昭和三年東京府立第七高女校長となり今日に至る曩に滿洲に視察の爲出張す　宗教禪宗　趣味教育座禪【家庭】妻まき東京府人多田三彌三女御茶水高女專攻科卒　長男正一（大元）松山高校在

伊藤孝　國際工船漁業（株）商務部長　橫濱市神奈川區子安町溝下一九〇〇
君は神奈川縣人岩間已之助の二男明治廿六年十二月廿三日同縣に生れ後伊藤タツの養子となり家督相續す大正六年東京高商專攻部を卒業し三菱商事會社中川合資會社大洋漁業會社等に歷勤し昭和三年國際工船漁業會社に轉じ現時同社商務部長たり曩に業務視察の爲倫敦及歐米各國に出張す　宗教基督教　趣味ボート水泳【家庭】妻富喜子（明三四）神奈川縣人濱野啓太郎長女神奈川縣立第一高女卒　長男彌太郎（大一〇）二男良之助（大一二）長女陽子（昭五）

伊藤正雄　醫師　東京市牛込區柳町二六　電牛込三八七三
君は廣島縣人伊藤圓八の男明治十四年九月一日同縣に生れ後分家す同四十三年東京帝大醫科を卒業し財團法人泉橋慈善病院にて內科を研究す同四十五年醫師を開

業し今日に至る　宗教淨土眞宗　趣味謠曲【家庭】妻キクノ（明二四）溝下九一女私立山中高女卒　長男正洋（明四五）二男世英（大三）早稻田中學在　三男正士（大五）京華中學在　四男寛（大八）

伊藤眞雄　正五勳五　神戶高等商業學校長　神戶市野崎通四丁目七ノ三

君は新潟縣士族伊藤男松の長男明治十一年八月九日同縣に生れ大正九年家督を相續す明治卅七年京都帝大法科經濟科を卒業し大阪高商教授大阪商科大學教授等を經て昭和四年兵庫縣立神戶高商校長となり今日に至る　先是大正元年倫敦大學に學ぶ　宗教禪宗　趣味謠曲【家庭】妻幾子（明二一）新潟縣人京都電燈社長田中博長女京都平安女學院卒　長男眞誠（明四一）大阪商大在　長女雄（明四四）平安女學院神學部卒　三男英雄（大五）神戶第三中學在　二男德明（明四三）商科大學在は母方富樫家を再興す

伊藤由彌　雄谷川電力(株)取締會計部長　飛島組(株)　東京市麴町區富士見町五ノ一六　電九段四五六

君は福井縣人伊藤由太郎の長男明治卅年二月廿一日福井市に生る大正十年早大商科を卒業し家業たる絹織物業に從事し昭和四年飛島組に入社し會計部長となり今日に至る傍ら雄谷川電力會社取締役たり　宗教日蓮宗　趣味運動【家庭】父由太郎（明七）現戶主　妻コヨキ（明三七）福井縣人飛島文吉二女福井縣立高女卒

猪飼正雄　從五勳五　函館稅關檢查課長　函館市天神町七四

君は東京府士族猪飼正爲の長男明治十一年六月五日同府に生れ同四十二年家督相續す同卅五年東京高工を卒業し同卅七年大藏省に入る爾來長崎大阪函館各稅關監視部に歷勤大正十一年北米南米に出張同十二年歸朝函館稅關檢査課長となり今日に至る　宗教曹洞宗　趣味謠曲刀劍スポーツ【家庭】妻きく次（明一八）山梨縣人向山正貴長女山梨高女卒　長男正平（大八）長女文子（大七）函館高女在　二男正秋（大一三）三男正勝（昭二）

猪俣一郎　從六　臺灣總督府州事務官　臺中州警察部長　臺灣臺中市利國町三ノ四　電臺中一

君は福岡縣人猪俣爲治の長男明治卅二年十一月廿五日を以て生れ大正十五年家督を相續す同十二年東京帝大法科政治科を卒業後臺灣總督府に奉職殖產局臺中州臺北州內務局理蕃課長等を經て昭和四年十二月臺中州警察部長に補せられ今日に至る　宗教曹洞宗　趣味讀書圍碁【家庭】母トキ（明四）妻幸子（明三八）東京府人後藤和佐二長女臺北第一高女卒

飯島博　醫博　飯島ぢ疾診療所主　東京市外大森町木原山一七三五　電大森一〇六九（本院）東京市京橋區銀座六ノ五交詢社ビル二階　電銀座五八五九（分院）豐橋市東八丁　飯島外科病院

君は東京府人飯島道治郎の長男明治十四年三月十日東京市本鄕區新花町に生れ大正十一年家督相續す明治四十四年九州帝大醫科を卒業直に同大學外科教室助手となり大正四年渡米米國政府醫術開業國家試驗に合格布哇ホノルル市に於て開業同八年歸朝後九州帝大大學院に於て研究を續く同十三年豐橋市に外科病院を設立し昭和五年三月東京に本院を開設し痔疾診療に從事し以て今日に至る曩に大正十一年論文「胸腔手術ニ續發スル胸膜傳染ノ生成及原因ニ關スル研究」及「胸腔手術後ニ於ケル『ドレナーゼ』ニ就テ」を九州帝大審查會に提出し醫學博士の學位を授與せらる　宗教眞言宗　趣味繪畫【家庭】母ヒサ（安政四）妻福子（明二四）東京府人三菱銀行神田支店長代理吉田信姉跡見女學卒　嗣子正康（大四）開成中學在　弟俊雄（明三七）醫學士千葉醫大婦人科教室助手　妹シゲル（明一九）東京府立第二高女卒は工學士飯島善太郎に妹文子（明二四）同府立第一高女卒は京都府土木部長村山喜一郎に妹菊枝（明二九）佛英和高女卒は侍醫田中幸一に妹キシヨ（明三四）同府立第一高女は廣島控訴院判事法學士松南健彥に各嫁す

飯田歌吉　明電舍(株)技師　配電盤部長　東京市外杉並町馬橋二四四

君は神奈川縣人飯田留藏の長男明治廿五年四月廿四日同縣に生れ後家督を相續す大正三年東京高工電氣科を卒業し同年海軍造兵廠に入り同七年明電舍に轉じ現時同社配電盤部長たり　宗教淨土宗　趣味運動【家庭】妻ふみ子（明三一）東京府人澤野銀藏二女双葉高女卒　長男多見雄（大一二）二男佐知雄（大一四）長女絢子（昭二）

飯田倉松　紐類問屋　東京市日本橋區馬喰町二ノ一　電浪花二六四八

君は福井縣人飯田與三松の二男明治卅年十月廿日同縣に生れ後分家す夙に上野井部商店に勤務し大正十年紐類問屋を營み今日に至る　宗教門徒宗【家庭】妻一二三（明二七）長男忠男（大一二）二男芳男（大一三）長女富美子（昭二）二女美代子（昭四）

飯塚安喜雄　從五　獸疫調查所技師　東京帝國大學農學部實科講師　所得稅六五　東京市外高田町八六八

君は群馬縣人飯塚安治の長男明治廿一年十月十七日を以て生る大正三年東京帝大獸醫科を卒業直に獸疫調查所に入り同十五年歐洲に出張昭和二年歸朝し引續き獸疫調查所技師勤務傍ら東京帝大農學部實科講師として現在に至る　趣味運動【家庭】妻かをる（明二三）鈴木宜行女日本女子大國文科卒　長男嵩夫（大七）成城學園中學在　長女ふき（大八）二女喜子（大一一）二男恒安（大一四）三女喜（昭三）

飯樋眞　明治屋川砂販賣海陸運輸業　東京神田小川町二ノ五　電九段三五四四

君は福島縣人飯樋宇佐見の四男明治卅三年一月十二日福島縣双葉郡幾世村に生る東京商業學校を經て大正十三年中央大學經濟科を卒業後遞信省工務課に勤務せしが昭和三年辭職し同四年明治屋と稱し川砂販賣運輸業を創め今日に及ぶ　宗教佛教　趣味旅行讀書【家庭】妻松子（明三三）長男敏（大一四）二男實（昭四）

飯沼善一郎　洋服商　電氣材料商　德海屋電氣部(資)代表社員　東京市麴町區飯田町二ノ五四　電九段三〇四二

君は茨城縣人飯沼彌五右衞門の三男明治十二年十月十五日を以て生る夙に早大に學び後シカゴ大學に入り次でイリノイ州ホイトンカレーヂに轉じ同大學を卒業し大正十年長兄彥太郎の經營せる德海屋商店に入り電機部を宰理し同十三年之を引受け同店代表社員として今日に至る　趣味盆栽【家庭】妻しの子　長女元子

家村末熊　從五勳六　營林局事務官　熊本營林局庶務課長　所得稅一一八　熊本市京町本町熊本營林局內

君は鹿兒島縣人家村半太郎の五男明治廿三年五月廿五日同縣に生る大正四年京都帝大法科經濟科を卒業同六年農商務省に入り事務官に任じ爾來鹿兒島熊本秋田高知各營林局事務官等に歷任し後東京營林局事務官兼農林事務官となり現時熊本營林局庶務課長たり　宗教眞宗　趣味庭球圍碁【家庭】父半太郎（嘉永二）母ため（嘉永四）兒重吉現戶主　妻きぬ（明三三）宮崎縣人山本裕安長女同縣立高女渡邊裁縫女學各卒　長女昌子（大一〇）

池上又四郎　共同火災保險(株)東京支店海上運送傷害課長兼自動車保險課長　東京市外落合町上落合六二五　電中野三三一四

君は東京府人池上重吉の弟明治廿一年十二月十七日を以て生れ後分家す大正二年東京高商專攻部を卒業し共同火災保險會社に入り現時同社東京支店海上運送傷害課長兼自動車保險課長たり　宗教曹洞宗　趣味鐵砲撞球圍碁將棋【家庭】妻貞子（明二五）

池田政太郎　東京市芝西櫻小學校長　東京市下谷區上野花園町一七

君は愛媛縣人池田三平の二男明治九年六月一日を以て生る師範學校を卒業後日大專門部法科を卒業し泉橋小學校長に任じ現在西櫻小學校長たり傍ら心理學應用精神療法の研究をなす　宗教眞言宗　趣味教育日本畫心理學【家庭】妻しげ（明二二）柴田惣八長女　長男克己（大六）二男努（大一一）三男規矩男（大一四）

池邊瀧三郎　三井鑛山(株)目黑試驗所主事　東京市外駒澤町上馬七六四

君は長崎縣人池邊政五郎の六男明治十八年三月二日同縣に生る同四十三年東京帝大工科應用化學科を卒業し工業試驗所技師となり大正六年三井鑛山會社目黑試驗所に入り分析主任を經て現に同所主事たり　宗教佛教　趣味旅行【家庭】妻道子（明三二）長崎縣人林長太郎二女長崎高女卒　長男清（大九）

砂治國良　正六　內務技師　東京土木出張所勤務　東京市外井荻町上井草一四

君は兵庫縣人砂治加三の二男明治廿六年十一月廿六日同縣に生れ後分家す大正八年九州帝大工科土木科を卒業し內務省新潟土木出張所に勤め同十五年內務技師となり土木局第一技術課に勤務せしが現に東京土木出張所勤務たり　宗教佛教【家庭】妻淑（明三六）櫻井平三郎長女日本女大附高女卒　長男和久（昭二）長女昌重（大一四）

石井正　從六　醫博　昭和醫學專門學校教授　石井耳鼻咽喉科病院長　醫師　東京市外澁谷町榮通一ノ二二　電青山六八六二

君は故陸軍步兵少佐石井敏四郎の四男明治廿六年九月廿六日千葉縣東葛飾郡市川町に生れ大正十年分家す一高を經て同七年東京帝大醫科を卒業同九年海軍々醫大尉に任ぜられ歐米各國に遊學歸朝後愛知醫科大學助教授を經て昭和三年七月昭和醫學專門學校教授に任じ傍ら同年九月現地に耳鼻咽喉科病院を開設其院長となり今日に至る同四年三月醫學博士の學位を授與さる著書に「日本人成年男子の體格標準」「遠航萬浬」等あり日本體育協會贊助員たり　宗教眞言宗　趣味讀書園藝運動【家庭】妻モヨ（明三六）神奈川縣人末武文吉四女橫須賀高女卒　長男立（大一二）長女あき子（大一四）二男和夫（昭二）二女さえ子（昭四）

石井和三郎　日本窒素肥料(株)會計部出納課長　所得稅四六七　兵庫縣武庫郡魚崎町魚崎一七〇ノ五

君は大阪府人石井作市の二男慶應元年六月三日大阪市西淀川區大仁本に生れ後分家す明治十五年郵便汽船三菱會社に入社同十八年日本郵船會社に轉じ同社各地支店會計主任となる同四十一年日本窒素肥料會社に入り現時同社會計部出納課長たり　趣味園藝【家庭】養子新藏（明三九）兵庫縣人柳壯藏五男關西學院商科卒神戶海上火災保險神戶支店員　同妻久子（明三九）大阪府人岸部武松二女梅田高女卒

石龜喜之助　武藏工務所主　東京市外千駄ヶ谷町原宿六八（事務所）麴町區丸ノ內三ノ六　電丸ノ內二六三三

君は東京府人石龜政之助の五男明治廿七年一月十一日を以て生れ昭和三年家督を相續す大正五年東京高商を卒業し芝川商店久原商事會社武藏水電會社等に歷勤し現時武藏工務所主たり　宗教眞言宗【家庭】妻悅（明三二）長男健之助（大一二）長女久美子（大一〇）二男榮之助（大一四）三男準之助（昭二）四男城之助（昭三）

石川金三郎　三菱鑛業(株)技師　東京市外品川町南品川三ツ木鎗ケ崎九〇七

君は栃木縣人石川龜作の四男明治廿一年八月十七日同縣に生る大正四年九州帝大工科冶金科を卒業し直に三菱鑛業技師となり今日に至る　宗教天台宗　趣味運動【家庭】父龜作（安政五）現戶主　妻キミ（明三一）柳田嘉一長女宇都宮高女卒　長男洋（大五）芝中學在　長女美乎子（大一二）二男功（昭二）

石川金治郎　從六勳六　裁判所書記兼司法省事務官　東京控訴院書記　所得稅五〇　東京市四谷區大番町四五　電四谷五九五八

君は山梨縣人石川眞澄の二男明治七年四月六日同縣中巨摩郡五明村に生れ同卅年分家す同卅一年裁判所書記登用試驗に登第し裁判所書記に任じ鰍澤區裁判所書記となり爾來司法屬大臣官房人事課勤務司法屬兼裁判所書記東京控訴院書記等に歷任し同十五年裁判所書記兼司法省事務官に任じ今日に至る　宗教眞言宗　趣味園藝【家庭】妻初惠（明二七）早川仁三郎長女　長男清（明三六）東京帝大工科卒橫濱ドラック會社勤務　二男俊雄（大一二）三男昌雄（大一五）四男義雄（昭四）

石川佐久太郎　日本女子大學校教授　東京女子高等師範學校講師　所得稅五一　東京市小石川區林町六六

君は靜岡縣人石川春吉の二男明治廿一年七月卅日同縣に生れ後分家す大正三年東京帝大文科國文科を卒業し成蹊學園中學部教諭女子高等師範學校講師を經て昭和二年日本女子大學校教授となり今日に及ぶ　宗教眞宗　趣味旅行釣登山【家庭】妻ちかよ（明二四）宮城縣人長谷伯姉東京女高師卒　長男久夫（大一四）長女靜子（大九）

石川定俊　從六　臺灣總督府州事務官　新竹州警察部長　臺灣新竹市總督府內

君は秋田縣人石川龍助の長男明治廿八年三月廿四日を以て生る大正九年北海道帝大農科同十一年東京帝大法

科政治科を各卒業し臺灣總督府に奉職臺灣總督府郡守臺北市助役新竹州地方課長等に歴補し現時臺灣總督府州事務官にして新竹州警察部長たり　宗教日蓮宗　趣味大弓乗馬圍碁【家庭】父龍助（文久三）現戸主　妻禮子（明三八）福井縣人三村三平長女臺北高女卒　長女榮子（大一四）

石川鎭之助　東京旅行社主　東京小石川區水道端町二ノ一〇　電小石川七〇四五

君は栃木縣人石川平八の二男明治廿三年二月廿二日同縣芳賀郡中村に生れ後分家す夙に日本大學を卒業し現時東京旅行社を主宰し月刊「旅行案内」を發行す傍ら合資會社天然靈藥研究所無限責任社員たり曩に「現代之實業」を發行し又大木鐵工所常務取締役たり　宗教天台宗　趣味圍碁和歌【家庭】妻多嘉（明二九）埼玉縣人山口定道二女埼玉縣立浦和高女卒　長男眞一（大一四）長女壽滿子（大一二）

石川鐵彌　機械商　東京市麻布區笄町一五五　電青山五一八三

君は岡山縣人石川光輝の三男明治廿四年十月廿一日同縣に生れ昭和五年分家す大正五年京都帝大工學部機械科を卒業し東洋製鐵會社高田商會電機部ヱシヤウキス商會各技師を歴勤現時機械商を營む　宗教眞宗　趣味テニス圍碁【家庭】妻初子（明三五）東京府人中村次郎長女　長女章子（昭四）

石川時之助　辯護士　東京市京橋區炭町七　電京橋六八四一

君は福井縣人石川藤太郎の二男明治廿二年七月十二日同縣に生れ後分家す大正三年東京帝大法科獨法科を卒業直に古河鑛業會社に入り同十三年之を辭し同年辯護士を開業今日に至る　宗教淨土眞宗　趣味能謠曲【家庭】妻ミチ（明三三）栃木縣人田口柾平長女佐野高女卒　長男櫻爾（大一二）長女美登里（大九）二女よし子（大一〇）二男大慈（大一四）三男富夫（昭三）

石黒進　三井銀行(株)社員　東京市外蒲田町北蒲田九五二

君は兵庫縣人石黒定賢の三男明治廿年四月廿六月愛知縣に生れ昭和三年分家す明治四十三年專修大學を卒業し三井銀行に入社大阪支店員神戸支店調査係長下關支店預金係長本店調査課勤務等を經て現時内國課に勤務す　趣味讀書【家庭】妻キミ（明三〇）大阪府人岡本龜太郎三女大谷高女卒　長男杉雄（大八）二男春次（大一三）

石田貫一　從六　鐵道技師　工務局改良課勤務　東京市外馬込町三三〇七

君は滋賀縣人石田正太の長男明治卅年十二月三日三重縣に生る大正十一年京都帝大工科機械科を卒業後鐵道省に奉職し神戸鐵道局勤務を經て門司鐵道局工場長たりしが昭和五年四月本省工務局改良課勤務に轉じ今日に至る　宗教淨土宗　趣味庭球野球【家庭】父正太（文久三）母アサ

石塚利助　電球製造業　東京市外日暮里町金杉旭町三ノ二四一　電下谷八二五

君は福井縣人石塚利八の二男明治廿二年七月同縣に生れ後家督を相續す大正五年四月豆電球製造業を創め今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻むる（明二八）長男利夫（大二）郁文館商業在　長女愛子（大一〇）二男建三（大一二）

石橋智信　從五　文博　東京帝國大學助教授　東京文理科大學　日本大學各講師　東京市本郷區駒込林町二〇二

君は北海道人石橋政信の二男明治十九年五月十五日を以て生る同四十二年東京帝大文科宗教科を卒業直に獨逸に留學し伯林大學ライプチッヒ大學等に學ぶ歸朝後東京帝國大學講師となり現時同大學助教授東京文理科大學日本大學各講師たり大正八年文學博士の學位を授けられ又同十三年帝國學士院賞を授與さる　宗教基督教【家庭】父政信（安政五）現戸主　母モト（慶應三）妻トシ（明二八）愛知縣人井本利三郎五女愛知縣立高女卒　長男直（大五）東京府立五中在　二男裕（大一〇）三男祝（大一二）

石橋光治　安田保善社(名)業務部勤務　東京市麻布區笄町一七五

君は岡山縣人戸川松三郎の二男明治廿三年二月廿四日同縣淺口郡玉島町に生れ後石橋房太郎の養子となり同四十五年家督を相續す夙に岡山商業を卒業し二十二銀行に入り次で安田銀行尾道支店長廣島支店長大連正隆銀行總務部長等を歴勤し現に安田保善社業務部勤務たり　宗教曹洞宗　趣味讀書繪畫【家庭】母ミネ（慶應三）妻仲與（明二八）養父房太郎長女玉島高女卒　長男恭一郎（大二）東京市立一中在　長女淑子府立第三高女卒　二女妙子（大九）

石山龍雄　明電舍(株)技師　設計部長　東京市外大崎町谷山二四八

君は千葉縣人石山彌平の長男明治廿五年五月廿日同縣に生れ大正十年家督を相續す同五年東京帝大工科電氣科を卒業し同年明電舍に入り直流機械設計主任となり昭和四年十月設計部長となり今日に至る曩に歐米各國を視察す　宗教眞言宗　趣味弓術謠曲【家庭】妻きみ（明二八）法學博士花井卓藏長女女大附高女卒　長男祥一（大八）二男洋二（大一〇）長女民子（大一三）三男龍三（昭三）

和泉良之助　勳六　東京日日新聞社外國課員　東京市外杉並町阿佐ケ谷四五〇

君は茨城縣人和泉万右衞門の三男明治四年十二月七日を以て生れ昭和二年分家す明治卅五年東京外語を卒業し習志野騎兵第一旅團露語教官樺太水產組合樺太支部庶務主任等歴職同卅七年第三軍第九師團司令部通譯官として旅順奉天戰に參加し旭日章勳六等を賜ふ後浦鹽斯督日本商工會議所日本居留民會各理事露語學校々長浦鹽日報社長兼主筆大阪毎日通信員を歴勤大正十四年東京日日新聞社に入社現に同新聞社外國課員たり　趣味劍道書詩筑前琵琶【家庭】妻ふみ子（明二一）京都府人永野新吉長女　長男恭（明四〇）慶應大學在　二男謙（大三）日本中學在　二女節子（明四四）千代田高女卒

磯村增雄　三菱銀行(株)小樽支店長　小樽市花園町西三ノ九

君は大分縣士族磯村豐太郎の弟明治十七年一月を以て生れ大正十四年分家す明治卅七年慶應義塾に學び英國に留學す後三菱銀行に入り西長堀支店長を經て現時同行小樽支店長たり　趣味運動【家庭】妻マキ（明二五）福岡縣人松井伊太郎三女　長男英夫（大二）長女華子（大五）二男猛夫（大七）二女文子（大一一）三男勇夫（大一五）

磯谷秀次　三井物產(株)社員　東京市外中野町七九九七

君は磯谷杉松の男明治廿七年一月十二日小倉市に生れ家督を相續す大正五年東京高商を卒業後三井物產に入り漢口支店に勤務し同九年本店に轉じ現時同社保險部勤務たり　宗教淨土宗　趣味俳句讀書【家庭】妻富士子（明三六）東京府人中谷愛八女東京音樂學校卒

板倉武　醫博　東京帝國大學醫學部講師　東京市小石川區大塚窪町一　電小石川二八五二

君は千葉縣人板倉佐馬之助の二男明治廿一年九月十五日同縣に生る大正二年東京帝大醫科内科を卒業し大學院にて研究し同九年醫學博士の學位を受く同十二年文部省在外研究員として治療學研究の爲歐米に出張す同十四年歸朝後東京帝大醫學部講師として今日に至る　宗教佛教　趣味運動音樂柔道劍道【家庭】父佐馬之助（安政三）妻信子（明三一）京都府人塚本長治郎長女彦根高女卒　長男達夫（昭二）長女芳子（大一二）二女都美子（大一四）

板澤政治　第一生命保險(株)醫長代理　醫師　東京市外澁谷町伊達二八

君は岩手縣人板澤眞小雄の三男明治十七年十一月十六日を以て生れ後分家す大正三年九州帝大醫科内科を卒業後開業同八年大同生命保險會社醫務部次長となり昭和二年第一生命保險醫長代理に就任以て今日に至る　宗教神道　趣味讀書【家庭】妻多美（明二一）石川縣人鰐部康三郎三女東京女高師卒　長男忠男（大六）武藏高校在　長女百合子（大四）府立第六高女在　二女三重子（大八）

一宮余五郎　旭硝子(株)營業課長　東京市外杉並町阿佐谷二三〇　電四谷四四七三

君は東京府士族一宮忠雄の五男横濱正金銀行取締役一宮鈴太郎の弟明治廿一年十二月十五日を以て生る大正二年東京高商を卒業後旭硝子會社に入り同七年歐洲へ同十二年歐米へ各出張し歸朝後同社門司出張所長となり次で昌光硝子會社大連工場勤務本社商務課長等に歴勤し現時旭硝子會社營業課長たり　宗教禪宗　趣味運動ゴルフ庭球釣魚園藝【家庭】妻喜代（明二九）東京府人同志貿易社長田原利長女跡見女學卒※一宮鈴太郎の項參照

市村信虎　拓務政務次官秘書　東京市外世田ケ谷町九三八

君は長野縣人市村宗兵衞の二男明治卅年十月十五日同縣に生れ大正十四年家督を相續す同五年長野中學を卒業し昭和四年拓務政務次官秘書となり今日に至る　宗教禪宗　趣味テニス【家庭】母けさの（明七）妻まつゑ（明二六）山梨縣人雨宮惣右衞門女　長男泰一（大一四）甥昇（大元）東京府立一中在　姪一子（大五）東京女學館在

稻垣三郎　正四勳二功三　在鄕陸軍中將　閑院宮附別當　所得税一七七　東京市外澁谷町榮通二ノ四

君は島根縣人稻垣了齋の長男明治三年五月六日を以て生れ同卅年家督を相續す同廿四年陸軍士官學校を卒業し翌年陸軍騎兵少尉に任じ大正八年陸軍中將に陞る其間參謀本部員皇族附武官騎兵第一聯隊長印度駐在武官英國大使館附武官騎兵第一旅團長參謀本部附等を歴補し大正十二年豫備役仰付らる昭和三年閑院宮御用掛となり同五年三月閑院宮附別當を命ぜられ今日に至る【家庭】妻テウ（明一一）東京府人藤森吉兵衞養子　長男武雄（明二七）長女德子（明四三）二女道子（大七）二男正武（明三二）は外祖父藤森吉兵衞の養子となる

稻毛正一郎　臺灣製糖(株)社員　東京市外蒲田町女塚一二八

君は廣島縣人稻毛文太郎の長男明治十八年五月十八日同縣に生る同四十五年東京高商を卒業し臺灣製糖に入り本店に勤務し各工場事務係主任を經て大正十三年東京支店に入り現時同社商務部勤務たり　宗教眞宗　趣味テニス寫眞【家庭】父文太郎（慶應二）現戸主　妻知世子（明三一）岡山縣人藤原國太郎長女岡山就實女學卒　長女照子（大七）二女範子（大一一）

今枝秀太郎　東海燐寸社主　東京市芝區濱松町一ノ一五　電芝七五四

君は愛知縣人今枝新次郎の長男明治廿八年十一月三日名古屋市に生る大正三年名古屋商業學校を卒業し神戸春田商會に勤務後軸木製造に從事す同十五年燐寸製造業を創め今日に至る　趣味弓【家庭】父新次郎現戸主　妻かぎ子愛知縣人長谷川升次郎三女名古屋技藝女學卒　長男賢次（大一〇）二男新一（大一〇）長女歌子（大一三）三男豐（昭四）

今城彦三郎　勳八　古河町雜貨商組合長　日本土木工業(株)取締　下總官鹽山七各(資)代表社員　砂利繩莚販賣請負業　東京市日本橋區江戸橋二ノ一　電日本橋二一四八

君は茨城縣人今城定吉の五男明治廿四年三月廿八日同縣猿島郡古河町に生る現時砂利請負業を營み前記諸職にあり曩に古河町會議員たり　宗教日蓮宗　趣味讀書旅行庭園馬術狩獵大弓【家庭】妻はな　長女つね

入江克巳　三井銀行(株)堂島支店次長　大阪住吉區住吉七〇九　電戎一六九一

君は東京府人入江正幾の長男明治廿二年六月廿二日東京市に生れ後家督相續す大正二年慶大理財科を卒業直に三井銀行に入り本店營業部大阪西深川小樽各支店に歴勤日本橋支店調査預金係長京都支店預金係長本店營業部調查係長等を經て昭和五年三月大阪堂島支店次長となり今日に及ぶ　宗教日蓮宗　趣味實生流謠曲【家庭】妻博子（明三二）東京府人高橋光威二女東京女學館卒　長男祐光（大六）同府立高校普通科在　二男和光（大八）三男康光（大一一）四男知巳（大一四）

岩澤忠恭　從五　内務技師　東京市小石川區原町一一三

君は廣島縣人岩澤熊助の男明治廿五年六月七日同縣に生る大正七年京都帝大工科土木科を卒業後内務省大臣官房都市計畫課大分縣土木課等に歴勤同十年内務省土木局に轉じ昭和四年歐米に出張を命ぜられ同五年歸朝す現時内務技師にして土木局に勤務す　宗教佛教　趣味運動【家庭】父熊助（元治元）母ツネ（明二）妻美都子（明三〇）廣島縣人東條槌長女廣島高女卒　長女仁子（大七）二女聰子（大九）

岩田博藏　正五勳五　山口高等學校長　山口市野田町二七　電山口三七八

君は山口縣人岩田宗介の男明治六年三月十日同縣に生れ後家督相續す夙に山口高校卒業後五ケ年間同縣中等學校に勤務し明治卅六年東京帝大文科英文科を卒業し山口縣萩中學校教諭愛媛縣西條中學校長松山中學校長

山口縣立萩中學校長等に歷任し現時山口高校々長たり曩に歐米を漫遊す　宗教日蓮宗　趣味喫茶【家庭】妻ウメ（明一〇）長男芳夫（明三六）同志社高商專門部卒大阪合同紡績社員　二男貞夫（明四〇）遞信省官吏　三男忠夫（明四三）山口高校在　四男松夫（大元）山口中學在　五男孝夫（大五）長女豐子は藤本政雄に二女美代子は小野慶三に各嫁す

岩田正道　從六　醫博　日本醫科大學附屬病院産婦人科部長　東京帝國大學醫學部講師　所得税一〇二　東京市本鄕區駒込西片町一〇にノ三五　電小石川二七二五

君は東京府士族岩田正弘の長男明治廿七年八月十日東京市淺草に生れ後家督相續す大正八年東京帝大醫科を卒業し同大學産婦人科教室に勤務す同十年北海道帝國大學醫學部助教授に任ぜらる同十五年文部省在外研究員として獨逸に留學昭和二年歸朝す先是大正十五年醫學博士の學位を授與せらる現時日本醫科大學附屬病院産婦人科部長にして東京帝國大學醫學部講師を兼ぬ　宗教天台宗　趣味音樂乘馬書畫【家庭】妻たか（明三五）日向野善太郎二女淑德高女卒　長男正晴（昭四）長女とよ子（大一〇）二女ゆき子（大一一）三女ふく子（大一三）四女ます子（昭二）

岩本菊雄　研文社(名)代表社員　印刷業　所得税三四〇　東京市麻布區本村町五二（店舖）芝區南佐久間町一ノ七電芝二五四五

君は東京府士族岩本嘉治の二男明治十八年八月東京市に生れ後分家す夙に先代の創業に係る岩本印刷所を繼承經營し後之を株式組織に變更し專務に就任大正十五年株式組織を廢し合名會社となし研文社と稱し其代表社員となり今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻米子（明二四）岡山縣人馬場鑄吉妹　長男英夫（大二）明治學院卒　長女久子（大四）實踐女學在　二男光博（大六）麻布中學在　三男芳雄（大一〇）二女千代子（大一二）四男昭（昭三）

岩本啓治　從五勳六　横濱高等商業學校教授　横濱市磯子區根岸芝生二一九八

君は三重縣人岩本彌十郎の長男明治十九年八月廿四日名古屋市に生る同四十四年東京高商專攻部を卒業後四日市商業學校教諭山口高等商業學校關西學院神戸高等商業學校各教授を歷任大正十二年英米獨佛へ留學を命ぜられ同十四年歸朝し横濱高等商業學校教授に任じ以て今日に至る　宗教禪宗　趣味讀書散歩【家庭】父彌十郎（安政三）妻しな子（明二七）三重縣人岩脇林之丞二女四日市高女卒　長男治郎（大七）長女千鶴子（大四）二男龍平（大八）二女英子（大一一）三女芳子

岩本秀雄　麴町區長　東京市牛込區市ヶ谷臺町一二

君は石川縣人岩本智雄の長男明治十七年三月二日同縣に生れ同四十二年家督を相續す同年東京帝大法科政治科を卒業し石川縣廳に勤め次で滿鐵總裁秘書役安東地方事務所長に歷任し後同社を辭し東京市電氣局囑託たりしが現時麴町區長たり【家庭】妻みゆき石川縣人吉田宗一妹　養子文夫（大九）

巖野可明　横濱興信銀行(株)下谷支店長　東京市外巣鴨町宮下一八三二

君は長野縣人巖野牧太の長男明治廿一年十一月一日同縣に生れ後家督相續す同四十年信濃銀行本店に入る後左右田銀行東京支店支配人代理下谷支店長を經て昭和二年十二月横濱興信銀行に轉じ同行下谷支店長となり以て今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻いき（明二五）長野縣人平野由次郎長女長野高女卒　長男三樹（大九）長女節子（大三）三輪田高女在　二女靖子（大四）文化女學在　三女玲子（大一四）

印出井榮四郎　昭榮興業(資)代表社員　一般衞生煖房工事請負業　東京市外千駄ヶ谷町一六〇（營業所）神田區永富町五大同ビル内　電神田一一八五

君は栃木縣人印出井兵三郎の長男明治十三年十二月廿六日同縣下都賀郡野木村に生れ後家督を相續す夙に宇都宮中學を卒業し昭和四年二月昭榮興業會社を創立し代表社員に就任一般衞生煖房井戸喞筒タイル各工事請負業を營む　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】妻きん（明一七）長男治男（明四二）法政大學在　長女信子（大四）

宇佐川知義　從四勳二功四　在鄕海軍少將　洋々會常務幹事　東京市麻布區霞町二二　電青山五五四四

君は熊本縣人宇佐川知彦の長男明治十年九月十九日を以て生る同卅一年海軍兵學校を卒業同卅三年海軍少尉に任じ爾來累進して大正十一年海軍少將に陞る其間北清事變に陸戰隊日本隊長として從軍尋で日露役に出征し同四十一年海軍大學を卒業横須賀鎭守府參謀海軍省軍務局員東宮武官兼侍從武官春日香取八雲各艦長海軍省軍務局第二課長第一課長横須賀鎭守府參謀長等に歷補大正十四年豫備役に編入せらる現時麻布區教育會幹事同青年團理事洋々會常務幹事たり　宗教眞宗　趣味讀書園碁旅行【家庭】妻治子（明二〇）東京府人大木房英長女　長男知忠（大三）麻布中學在　二男知孝（大六）麻布中學在　三男知正（大一〇）長女靜子（明四一）東洋英和高女卒は海軍大尉永田茂に妹千代子（明二七）は海軍大佐五十鈴艦長高須四郎に各嫁す

宇敷元　勳六　日本赤十字病院内科醫員　醫師　所得税一六二　東京市四谷區舟町三二　電四谷四五二三

君は長野縣人宇敷則豐の長男明治十五年一月廿一日を以て生れ同四十二年家督を相續す同卅四年金澤醫專を卒業後醫師を開業し傍ら日本赤十字病院に勤め現時同病院内科醫員たり　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻しずよ（明一五）長野縣人勝山忠兵衞二女　長男茂（大二）東京府立六中在　長女里子（明四三）成女高女卒　二女道子（明四四）同校卒　二男保（大一〇）

宇田川直一　町會評議員　宇田川空氣枕製造所主　東京市本所區相生町五ノ三三　電本所三〇八六

君は東京府人宇田川善吉の二男明治廿年十一月十九日を以て生れ後分家す先代の創業せる宇田川空氣枕製造所經營に從事し今日に至る　宗教天台宗　趣味魚釣【家庭】妻まさ（明二六）東京府人倉田德次郎二女　長男隆一（大五）長女うた（大三）東洋家政女學在　二女市子（大六）二男貞雄（大一〇）三女三津枝（大一四）

宇都野整　從七勳六　在鄕陸軍二等軍醫　醫師　所得税二一三　東京市外巣鴨町二ノ六　電大塚二二二六

君は愛知縣人宇都野弌の二男明治十二年八月廿八日同縣に生れ後分家す同卅六年千葉醫專を卒業し鄕里にて開業し大正七年渡支歸朝後東京小兒科醫院に入り同十二年獨逸に遊ぶ現時宇都野醫院と稱し醫師を開業す　趣味音樂【家庭】妻セイ（明一七）太田彌次右衛門三女　長男正（明四三）立教大學在　二男哲（明四四）日本醫科豫科在　長女いそ江（大七）櫻蔭高女在

宇野信三　正八　陸軍歩兵少尉　日本能率技師協會長　會社經營顧問　東京市外戸塚町上戸塚七六一（事務所）東京市神田區花田町千代田ビル　電下谷九九七

君は德島縣人宇野鶴太の三男明治廿八年十二月十一日札幌市に生る大正八年慶應義塾大學理財科を卒業後日本工業倶樂部調査課に勤務す同十四年工場視察の爲渡米し同國能率技師に就き工場經營法を研究し昭和二年歸朝す後大阪府立産業能率研究所技師に任ぜられしが同三年獨立し日本能率技師協會を設立し其會長に就任會社經營顧問を業とし今日に至る　宗教佛教　趣味日本音樂【家庭】長男信一（大一〇）二男泰二（大一一）三男喜三太（昭四）長女多美子（大九）二女裕子（大一三）三女美年子（大一五）

上田孝吉　衆議院議員（大阪府第三區選出）　大南土地　大阪タクシー自動車各（株）取締　辯護士　大阪市北區曾根崎町上一ノ三　電北二五八九

君は石川縣人扇能長平の二男明治十九年九月十八日同縣石川郡金石町に生れ後叔父上田治郎吉の養子となり同卅三年家督を相續す大正四年東京帝大法科獨法科を卒業後辯護士を開業し今日に至る昭和五年選ばれて衆議院議員となり現に政友會に屬す曩に大阪市會議員同副議長たり　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻信子（明二五）東京府人大垣俊三三女　長男和夫（大五）豐中中學校在　長女多喜子（大一〇）二女民子（大一三）

上田佐助　土木建築請負業　東京市神田區美土代町三ノ七　電神田一六三〇

君は埼玉縣人沖山藤吉の弟明治十七年十月を以て生れ先代勇次郎の養子となり大正十三年家督を相續す土木建築請負業を營み以て今日に至る【家庭】養父勇次郎（文久三）男正雄（大三）三男丈男（大一二）

上野基三　衆議院議員（栃木縣第一區選出）　辯護士　宇都宮市四條町三三一　電宇都宮二一九

君は栃木縣人上野大太郎の三男明治廿三年十一月十八日を以て生る大正五年東京帝大法科獨法科を卒業直に西澤金山會社に入りて取締役となる後久原商事會社上海支店勤務第一生命保險會社營業課長下野電力會社支配人兼野州電氣會社專務取締役等に歷職大正十二年辯護士を開業し以て今日に至る昭和五年二月栃木縣第二區より衆議院議員に當選し立憲政友會に屬す　宗教神道　趣味圍碁麻雀大弓【家庭】妻縁（明三四）東京府人太田彌太郎三女双葉高女卒　長男仁一（昭三）長女智子（大一三）

上野太門　三井銀行（株）本店員　所得税一〇五　東京市牛込區中町二

君は三重縣人楠三郎兵衞の三男明治廿三年一月四日同縣に生れ後上野平一郎の養子となる大正四年東京帝大法科獨法科を卒業し司法官試補たりしが同六年三井銀行に入り現時同行内國課に勤務す　趣味讀書【家庭】養父平一郎（慶應元）妻敬（明二九）養父平一郎長女京都府立第一高女卒

植田理邦　ルノン圖案社主　圖案家　東京麴町平河町二ノ一二電九段一五五〇

君は奈良縣人植田理太郎の二男明治卅四年六月十日同縣北葛城郡磐城村に生れ後分家す大正十二年川端畫學校を卒業し直に廣告圖案業を創めルノン圖案社主たり　宗教眞宗　趣味寫眞【家庭】妻たつ子（明三七）京都府人和泉すみ長女女子美術卒　長男理彦（昭二）二男實（昭五）長女初夜子（大一一）二女玲子（大一三）

氏家清　衆議院議員（福島縣第三區選出）　移川水電（株）社長　農業　福島市宮町七　電福島一〇二二

君は福島縣人氏家爲重の長男慶應二年十月二日同縣石葉郡津島村に生れ明治廿七年家督を相續す同卅年臺灣總督府民政事務囑託となり現時農業を營み前記會社の重役たり明治四十五年以來福島縣會議員同縣參事會員に推さる丶事數回昭和五年衆議院議員に當選立憲民政黨に屬す　宗教眞言宗　趣味書畫【家庭】妻キセ（慶應三）福島縣人氏家良助三女　長男績（明二〇）早大政經科卒　同妻敏子（明三四）熊川祥長三女　同長男治平（昭四）同長女愛子（昭元）

内田菊藏　勳八　三河島ゴム（資）代表社員　東京市外三河島町字町屋五二七　電下谷四三六一（會社）同所

君は東京府人内田直右衛門の男明治十六年四月廿六日同府南足立郡江北村に生る夙に東京市淺草區履物製造問屋松井商店に入り勤續廿餘年大正五年獨立して履物問屋業を創始同九年東京府三河島町に工場を設けて護謨製品を兼營せしが同十三年之が組織を改めて三河島ゴム合資會社となし其代表社員となり以て今日に至る【家庭】妻あさ（明一七）嗣子正太郎（大一五）

江河利佐　三井物産（株）社員　東京市外千駄ヶ谷町四五〇

君は靜岡縣人江河勝太郎の二男明治廿六年五月十六日同縣に生れ後家督を相續す大正五年東京高商を卒業し後三井物産に入り紐育大阪各支店に歷勤昭和三年四月本店に轉じ現時金物部に勤務す　宗教眞宗　趣味テニス散歩讀書【家庭】母八重（慶應三）妻花子（明三五）靜岡縣立高女卒　長女千代子（大一三）二女澄子（昭元）三女博子（昭四）

江田鎌治郎　從四勳四　醸造試驗所囑託　所得税一八七　東京市外瀧野川町西ヶ原八七七　電小石川六二一四

君は新潟縣人風間忠七の二男明治五年五月十七日を以て生れ後先代益盛の養子となり同卅五年家督を相續す同廿六年新潟縣尋常師範學校を卒業し尋で工業教員養成所本科應用化學科研究科を修了す爾來蠶業講習所技手税務監督局技手兼税務署技手醸造試驗所技手税務監督局技師を歷任す後醸造試驗所技師兼大藏技師たりしが昭和四年十一月官を退き現時同試驗所囑託にして銘酒忠勇醸造元若林廣松月桂冠醸造元大倉恒吉金鵄正宗醸造元堀野久造各家顧問たり著書に「最新清酒醸造論」其他數種あり　宗教淨土宗　趣味讀書【家庭】養母ミナ（安政三）妻八重（明一一）京都府人生島梅吉長女　長男益美（明三六）東京帝大工學部機械科卒東京機械製作所勤務　四女千代子（大四）日本女大附屬高女在　五女富美（大一二）六女美智子（大一四）二男茂（昭四）二女靜子（明三九）東洋高女卒は齋藤一通に嫁す

頴川忠隆　大日本麥酒（株）社員　東京市外杉並町田端七四八

君は愛媛縣人和爾隆吉の二男明治廿一年一月廿四日同縣周桑郡小松町に生れ後母方の絶家頴川家を再興す明

治四十四年早大商科を卒業し直に大日本麥酒會社に入り輸出部勤務上海支配人等を經て昭和五年東京本店に轉じ現に輸出部勤務たり曩に支那印度に出張す　宗教基督教　趣味運動ゴルフ【家庭】妻榮（明一八）東京府人安藝晋長女宇都宮高女卒　長男一隆（大六）二男隆榮（大八）三男三隆（大一四）

海老原初太郎　從五勳五　農林技師　畜産局勤務　東京市外碑衾町碑文谷一六五四

君は千葉縣人海老原初太郎の長男明治十六年十二月廿五日同縣に生る同四十四年東京帝大農科獸醫科を卒業し馬政局技手同技師に任じ長萬部岩手各種馬所長等歷勤す大正十年露國に出張同十一年歐洲に出張同十二年歸朝後種馬所技師長野種馬所勤務兼農林技師となり昭和三年再び歐米に出張同年歸朝同四年農林技師專任となり現に畜産局勤務たり　宗教淨土宗　趣味圍碁芝居【家庭】父兼吉（慶應元）母はる（元治元）妻つき（明二五）千葉縣人齋藤與三郎長女第三千葉高女卒　長男一郎（大二）海城中學在　三女禮子（大一〇）四女蝶（大一二）五女敬（大一四）六女榮（大一五）

遠藤佐々喜　三井(名)社員　三井文庫勤務　東京市外品川町北品川三ツ木九七三

君は島根縣士族にして明治九年十二月十四日を以て生れ大正十一年一家を創立す明治卅九年東京帝大文科史學科を卒業後慶應普通部教員となり同四十年三井合名會社に入り現に同社々員にして傍ら三井文庫に勤務す　宗教神道　趣味書畫骨董【家庭】妻藤枝（明二〇）神奈川縣士族木野村政治姉東京府立第二高女卒　長男春雄（明四四）二男春彥（大二）三男春海（大一五）長女初枝（明四二）東京音樂學校卒　二女陽子（大一二）

小川瀧三郎　大日本理髮學校理事　小川理髮舘　東京市外馬込町谷中一〇五三

君は愛知縣人小川榮三郎の四男明治廿二年五月一日同縣に生る夙に大場理髮店臺灣鐵道ホテル理髮店等に勤務し大正四年理髮業を創め今日に至る傍ら大日本理髮學校理事たり　宗教眞宗　趣味魚釣【家庭】妻かく（明二九）長男淸（大四）高輪商業在　三男博（大七）高輪商業在　長女惠子（大一〇）三女奈美子（昭三）

小川只治　月島機械(株)經理部長　東京市外世田ケ谷町櫻木七四四

君は長崎縣人氏福峯太郎の二男明治十九年七月九日同縣に生れ後小川寅治の養子となり昭和三年家督相續す明治四十四年東京高商を卒業後月島機械會社に入社し現時經理部長たり　宗教日蓮宗　趣味謠曲圍碁【家庭】養母ヌイ（明一〇）妻ハタ（明二一）養父寅治長女長崎女子師範卒　長男正（大二）長崎縣立大村中學在

小川義章　正六　東京帝國大學學生主事　東京市本鄕區本富士町帝國大學構內官舍　電小石川五五二〇

君は岡山縣人小川常太郎の四男明治廿四年四月七日倉敷市に生る大正八年東京帝大文科哲學科を卒業し一年志願兵として入營大正十一年五高教授に任じ昭和四年四月東大學生主事に轉じ今日に至る【家庭】妻良子（明三一）光澤雄二女　長女千惠子（昭四）

小熊信藏　硝子業組合評議員議長　中野硬質硝子製造所主　東京市外吾嬬町小村井八七八　電墨田九二五

君は新潟縣人小熊知了の長男明治十一年十二月六日新潟市に生る夙に硬質硝子器製造業に從事す後斯界の元祖中野常次郎氏の後を繼承中野硬質硝子製造所主となり以て今日に至る此間各種の博覽會に其製品を出品し賞牌を受けし事數回に及ぶ海軍鐵道各省指定工場たり現時硝子業組合評議員議長たる外新潟縣人會吾嬬支部長たり　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻ツイ　嗣子一信（明三八）京都帝大卒中野硬質硝子製造所勤務

小澤文太郎　三井物産(株)社員　東京市外荏原町小山五一八

君は大阪府人小澤駒次郎の長男明治廿四年十月八日大阪市に生れ大正十三年家督を繼ぐ同三年東京高商を卒業直に三井物産會社に入り天津紐育各支店勤務を經て昭和三年本店調査課勤務となり今日に至る　宗教基督教　趣味讀書庭球【家庭】母ステ（文久三）妻次尾（明三二）京都府人田村克寬姉同府立第一高女卒　長男道生（大一一）長女惠智子（大五）大阪府立阿倍野高女在　二女章子（大八）

小關三平　從四勳三　神戶高等商船學校長　所得稅三三三　兵庫縣武庫郡本庄村青木一四　電御影七〇三

君は和歌山縣士族山本匡の三男明治十一年七月廿一日同縣に生れ先代維隆の養子となり同卅八年家督を相續す同卅三年商船學校を卒業し商船學校教授遞信技師兼高等海員審判所審判官臨時産業調査局技師戰時船舶管理局技師遞信技師兼文部省督學官管船局技師等に歷任し大正十二年十月現任に就く　宗教法華宗【家庭】妻まさ（明一四）和歌山縣士族喜多福武三郎妹　長男勝雄（明三八）東京中野農學校卒兵庫縣農事試驗場勤務　二男周一（明四四）橫濱高商在　三男英一（大二）五男眞一（大九）女洋子（明四一）兵庫縣立第一高女卒は坂本修神戶高等商船卒日本郵船社員に嫁す

小田賢郎　正六　農林技師水産局勤務　東京市外世田ケ谷町世田ケ谷一一四一

君は愛媛縣人小田藤五郎の長男明治廿年十一月を以て生れ後家督を相續す大正五年東京帝大工科土木科を卒業し明治水力電氣會社に入社同九年農林省に入り現に水産局勤務農林技師たり【家庭】妻好美（明三五）篠田治雄姉長野縣立高女卒　長男公郎（大九）長女美智子（大一一）二女富美子（大一四）二男史郎（昭三）

小田善作　東洋製疊(株)取締　三井鑛山(株)囑託　所得稅二〇二　東京市芝區二本榎町一ノ五九　電高輪四七四六

君は山口縣人小田善次郎の長男明治九年九月九日同縣三田尻町に生れ後家督相續す同卅四年東京高工機械科を卒業し直に三井鑛山會社に入り三池鑛務所本社調査課に歷勤昭和三年之を辭す現時東洋製疊會社取締役たる外三井鑛山會社囑託たり　宗教禪宗【家庭】母すみ（弘化三）妻鉚子（明一九）石川縣人松坂又吉二女　長女多喜（明三八）山脇高女家政專攻科卒　二女芳（明四〇）日本女大家政科卒　三女靜（大二）山脇高女專門科在　四女富美（大四）東京府立第六高女在　五女壽榮（大七）山脇高女在　六女喜代（大九）

小田部莊三郎　醫博　小田部病院長　東京慈惠會醫科大學講師　醫師　東京市芝區通新町一四　電高輪五七八〇

君は茨城縣人小田部床右衞門の三男明治十九年十月一日を以て生る同四十四年慈惠會醫學專門學校卒業翌年獨逸ハルレ大學に留學研究し大正十年歸朝同十四年醫

學博士の學位を受く內科呼吸器病理に關する研究多し現に小田部病院長たる傍ら慈惠會醫科大學講師たり　宗教禪宗　趣味文學運動【家庭】妻うめ（明三五）栃木縣人小林常吉五女日本女子大學英文科卒　長男莊吉（昭二）長女信子（昭三）

小野喜惣治　正五勳三功五　在鄕陸軍步兵大尉　辨理士　東京市麴町區三番町二六　電九段一三七一

君は舊伊達藩士小野雪松の長男明治三年二月十八日仙臺市に生れ同四十年家督を相續す同廿五年東京高工機械科を卒業特許局に奉職特許局審査官同技師同審判官等に歷任せしが大正四年之を罷め同年五月獨立辨理士を開業以て今日に至る曩に日露役に出征す　宗教曹洞宗　趣味日本畫及謠曲【家庭】妻じゅん（明五）宮城縣人增田永人三女宮城女子師範卒　三女節子（明三九）三輪田高女聖心女學院各卒　四女雪子（明四三）三輪田高女卒青山女學院專攻科在　長女初子（明三二）三輪田高女卒は宮城縣人工學士藤倉工業會社技師大立目四郎に二女喜美子（明三六）東京女高師附高女專攻科卒は東京府人商學士郵船社員橫田豐一に各嫁す

小野成彥　社團法人斯華會主　美術協會委員　戊辰書道會幹事　書道教授　東京市神田區猿樂町三ノ二梅香會　電神田三〇四五

君の父小野鐗之助は舊田中藩士にして文久二年二月十一日駿州藤枝田中城內に生る十五才にして上京書道を研鑽大に勉め遂に一家を成し鵞堂と號し書聖の名を博す同廿三年書道の自宅教授を始め又通信教授の途を開き斯華會と稱す尋で東宮職御用掛を拜命し學習院教授に任ぜらる君は其四男明治卅二年十月十三日東京市に生れ後家督を相續す大正十二年早稻田大學商科を卒業後斯華會を繼承鵞堂流肉筆の通信教授を爲すの傍ら前記の職に在りて書道の振興に盡力す　趣味實生流謠曲水泳【家庭】姉千代子　同翠　同須磨子　妹松枝　弟威帝大法科卒鹿島組勤務は分家す

小野秀雄　國際出版法調査會員　東京帝國大學文學部新聞研究室主任　東京市本鄕區駒込千駄木町五〇

君は滋賀縣士族小野秀圓の長男明治十八年八月十四日同縣栗太郡草津町に生れ同卅九年六月家督を相續す同四十三年東京帝大文科獨文科を卒業後萬朝報記者となり尋で大正五年大阪每日及東京日日新聞編輯局講演課囑託同十一年內務省警保局囑託等に歷勤同十二年新聞學研究の爲歐米に出張し昭和三年獨逸萬國新聞學會に出席せり現時東京帝國大學文學部新聞研究室主任にして國際出版法調査會員たり　宗教神道　趣味文學音樂旅行スポーツ【家庭】父秀圓（天保九）母光榮（安政三）妻津留（明二六）川窪兵吉長女山脇高女卒

小畠常吉　麒麟麥酒(株)社員　東京市外落合町上落合五七五

君は千葉縣人小畠啓二郎の長男明治廿二年一月十四日同縣に生れ大正十年家督を相續す同三年東京高商を卒業し日本製粉會社明治屋等に勤務し現時麒麟麥酒會社東京支店販賣課に勤務す　宗教日蓮宗　趣味運動讀書【家庭】妻とみ（明二九）千葉縣人川津安太郎三女　長男俊吉（大一〇）二男次郎（大一三）三男三津夫（昭元）

小原英一　從五勳五　鐵道局參事　東京鐵道局運輸課長　東京市外千駄ケ谷町新町裏官舍　電四谷四一七七

君は千葉縣人清水光司の二男明治廿二年三月三日を以て生れ同四十三年小原健夫の養子となり後家督を相續す大正三年東京帝大法科政治科を卒業文官高等試驗に合格し鐵道院副參事遞信局事務官を經て大正十三年在外研究員として英米各國に出張す歸朝後鐵道局參事に任ぜられ札幌門司各鐵道局運輸課長に歷職昭和五年四月東京鐵道局運輸課長に轉じ今日に及ぶ　宗教禪宗　趣味スポーツ圍碁【家庭】養母ぶん（明二）千葉縣人石井太一長女　妻けい（明二三）養父健夫長女千葉高女卒　長男英夫（明四五）大阪桃山中學卒

尾崎旦　陽明社印刷所(株)專務　東京芝區二本榎一ノ一七　電高輪八二八一

君は高知縣人尾崎旦爾の三男明治廿二年一月十七日を以て生れ後分家す大正二年慶應義塾理財科を卒業後內國通運會社臺灣總督府川北電氣企業會社等に歷勤大正十三年印刷業を創め現時陽明社印刷所專務取締役たり　宗教佛教　趣味撞球【家庭】妻ヨネ（明三一）高知縣人公文爲之助女高知實科高女卒　長男正（大一五）

織田小覺　前田侯爵家學事顧問　所得稅一三七　東京市外大久保町西大久保四二九　電四谷四〇三

君は舊加賀藩士織田忠の長男安政五年五月三日金澤市に生れ後家督を相續す夙に司法省法學校に學び司法屬となり大阪控訴院に勤務次で內務省地理局に轉じ明治卅三年官を辭し前田侯爵家學事顧問となり以て以て今日に及ぶ確齊と號す　宗教眞宗　趣味實生流謠曲詩文【家庭】養女道子（大元）醫學博士二木謙三長女東京女高師附高女修

織本道三郎　織本建築計算事務所主　東京市下谷區下根岸町五八　電下谷六四五九

君は栃木縣人馬場醇三の六男明治廿八年七月九日を以て生れ大正四年織本國太郎の養子となり昭和四年家督を相續す大正五年東京高工建築科を卒業直に鐵道省工務課に勤務す同十一年再び母校專攻科に學び鐵筋混凝土學を研究す同十三年獨立現地に織本建築計算事務所を開設鐵筋其他各種構造に關する强弱計算事務に從事し以て今日に至る　宗教佛教　趣味讀書旅行【家庭】妻せつ（明二九）養父國太郎女東京府立第一高女卒　長男錦一郎（大五）同府立一中在　二男健二郎（大七）長女綾子（大一三）二女和江（昭四）

及川古志郎　正五勳三　海軍少將　海軍々令部參謀兼海軍技術會議々員　第一班長　東京市麴町區霞ケ關海軍省構內軍令部氣付

君は岩手縣人及川良吾の長男同邊の甥なり明治十六年二月を以て生れ同卅八年家督を相續す夙に海軍兵學校を卒業し海軍少尉に任じ累進して少將に陞る其間東宮武官多摩艦長海軍々令部參謀第一課長海軍兵學校教頭兼監事長吳鎭守府參謀長等に歷補し昭和五年六月現職に補せらる【家庭】母スケ（安政四）岩手縣士族大島高任長女　妻タカ（明二四）同縣人駒嶺忠順長女　長男富士雄（大四）三男三千雄（大七）

大井武　朝日工業　大井吳服店各(株)社長　吳服商　東京市京橋區大鋸町一　電京橋七二七六

君は福井縣人大井藤助の五男明治廿六年四月廿二日同縣武生町に生れ後分家す大正六年吳服商を開業し今日に至る　宗教一向宗　趣味圍碁

大石幸八 スレート防水工事請負業 東京神田區東紺屋町二〇 電浪花五七八八
君は宮城縣人高橋孫兵衛の八男明治十九年十二月廿五日仙臺市に生れ後大石宇太郎の養子となり家督を相續す夙に宮城工業學校に學び野澤商店神戸支店に入り尋で同四十五年瀧山商店に轉じ在勤五ケ年スレート部を擔當せしが大正九年四月獨立スレート防水工事請負業を創め現時淺野スレート日本スレート日本鐵鋼壽工業諸會社の特約店なり 宗教眞宗 趣味旅行讀書【家庭】妻たつ（明二五）嗣子孝一（大四）京華中學在 長女幾子（昭三）

大石倫治 衆議院議員（宮城縣第二區選出）仙臺市會議員 同副議長 東北自動車學校長 大日本鑛泉(株)監査 仙臺市茂市坂二〇 電仙臺二三一二
君は舊伊達藩士大石親倫の長男明治十年六月十四日を以て生れ後家督を相續す夙に實業界に入り東北木地漆器會社專務取締役仙北畜産會社取締役に歴任し其間市會議員たる事三回昭和五年三月選ばれて衆議院議員となり現に立憲政友會に屬す傍ら前掲諸職に在る外仙臺露天組合仙臺市商和會仙臺豆腐組合各顧問たり 宗教曹洞宗【家庭】妻シゲ（明一四）宮城縣人小野寺守之進妹 長男武一（明四二）二高在 二男隆夫（大四）宮城縣立第二中學在 三女美惠子（大六）宮城縣立第一高女在 三男坦（大九）四女多美子（大一二）長女シク（明三六）宮城女學卒は宮城縣人佐藤十郎に二女アキ（明三八）宮城女學卒は秋田縣人醫學士會場清殿に各嫁す

大内信 正四勳四 公證人 東京市外淀橋町角筈八七九 電四谷一七九四
君は東京府士族大内幹の長男明治六年五月十八日を以て生れ同廿九年家督を相續す同卅二年東京帝大法科英法科を卒業同卅四年判事に任じ浦和區東京區神戸地方各裁判所判事を經て同卅五年臺灣總督府法院判官に轉じ臺南臺北各地方法院判官覆審法院判官等に歴補し大正五年判事に任じ名古屋地方敦賀區岐阜區各裁判所判事を經て同十年旭川地方裁判所長同十三年甲府地方裁判所長等に歴補す昭和三年八月官を辭し公證人を現地に開業以て今日に至る 宗教神道 趣味謠曲【家庭】妻雪子（明一七）岐阜縣人安藤源五郎四女函館高女卒 嗣子毅之介（明三五）東京藥學專門校卒赤十字社藥局勤務 同妻千歳子（明四〇）東京府人松岡懋女佛英和高女卒 同長男照之（昭四）

大岡哲吉 山叶商會(株)社員 東京市牛込區市ケ谷臺町一三 電四谷一二〇一
君は和歌山縣人大岡彌膳の二男明治五年十月同縣海草郡四ケ郷村に生れ同四十年分家す夙に縣立和歌山中學に學び同四十二年山叶商會に入り今日に至る 宗教眞宗 趣味野球【家庭】妻ゆき（明一三）和歌山縣人吉田伊兵衛姉 長男洋吉（明三五）帝大文科修 長女信子（明三七）日本女大家政科卒 二男健二（明三九）

大垣勝太郎 正七 北海道廳事務官 土木部土地改良課長 札幌市南二條西官舍
君は京都府人大垣喜代藏の二男明治廿六年十月八日を以て生る大正十四年京都帝大法科法律科を卒業し北海道廳に奉職現時前記の官職にあり 宗教神道 趣味乘馬謠曲寫眞【家庭】父喜代藏（安政六）母たみ（文久三）妻ちよで（明二八）京都府人大槻良右衞門妹京都女學卒 長男勝彦（大一三）長女和子（大八）二女愛子（大一一）二男智昭（昭二）兄清（明一六）現戸主

大木親雄 資産家 東京市外千駄ケ谷町原宿三二八 電青山一〇五一
當家は山梨縣中巨摩郡の舊家にして代々名主を勤めし家柄なり君は先代親の長男明治五年七月廿九日を以て同郡南湖村に生れ大正元年家督を相續す現時資産家として知らる 宗教日蓮宗 趣味大弓圍碁【家庭】妻はなよ（明一二）山梨縣人小林小太郎長女 長男直政（明四〇）一高在 二男次郎（明四一）早高在 三男壯助（明四三）東京高校在 四女博子（大三）四男健八郎（大七）長女松子（明三五）は東京府人高橋温に二女靜子（明四〇）は山梨縣人笠井兵助に各嫁す

大久保健一 東和護謨(株)取締 書畫骨董商 川分商店主 東京市日本橋區通三ノ一 電日本橋二六五〇
君は東京府人大久保與三右衞門の二男明治廿七年十月廿七日を以て生る夙に伯父川都利吉商店大阪山中吉郎兵衞商店に歴勤し大正七年書畫骨董商を營み今日に至る傍ら東和護謨會社取締役たり【家庭】妻三重子

大久保亮 正八 在郷陸軍輜重兵少尉 小兒牛乳(株)取締兼精乳部長 東京市外長崎町四二八三 電大塚五七一二
君は新潟縣人大久保修成の二男明治十九年四月八日同縣に生る大正七年北海道帝大農科畜産科を卒業し茂木合名會社に入り同九年小兒牛乳會社に轉じ同十年精乳部長となり昭和三年取締役となり今日に至る 宗教淨土宗 趣味乘馬【家庭】妻ツネ子（明三一）千葉縣人吉田安太郎二女日本女大卒 長男安夫（昭三）長女律子（大一二）

大島泰信 權僧正 大正大學教授 同大學高等師範部長 長泉院住職 東京市外目黑町中目黑七三四 長泉院 電高輪七五二
君は愛知縣人大島兵右衞門の二男明治七年三月廿四日同縣海部郡市江村に生れ後分家す同十七年得度し武田芳淳師に師事す同卅八年東京帝大文科宗教學部を卒業後宗教大學大正大學教授に歴任大正十五年大正大學高等師範部長に就任し今日に至る曩に潮泉寺住職たりし事あり 宗教淨土宗 趣味園藝【家庭】妻もと（明二〇）東京府人渡邊海旭妹 長男泰雄（明四一）東京帝大農學部在 二男覺（大元）浦和高校在 長女マユリ（大三）淑德高女在

大谷忠四郎 從六 臺灣總督秘書官 總督官房秘書課長 臺北市文武町總督府內（東京宅）東京市外東調布町下沼部三八九ノ二 電田園調布一一二
君は福島縣人大谷鶴吉の四男明治廿四年五月廿三日同縣白河町に生る夙に明治中央兩大學法科に學び後東京外語英語及佛語科を卒業し大正十年東京朝日新聞社政治部に入り昭和四年八月臺灣總督秘書官に任じ總督官房秘書課長を拜命し今日に至る 宗教眞言宗 趣味讀書

大塚金太郎 丸善(株)神田支店長 東京市外大井町三〇一三
君は東京府人大塚熊吉の長男明治十一年八月八日を以て生れ後家督を相續す同卅八年丸善に入り大阪京都福岡各支店長本店文具部勤務等を經て現時神田支店長たり 宗教天台宗【家庭】妻きく（明二九）京都府人川井正直妹 長男竹松（大七）東京府立一中在 長女華

子（明四二）自由學園卒

大塚隆次 土木建築請負業 東京市麴町區飯田町六ノ一 電九段三一四四
君は靜岡縣人大塚都平の二男明治廿四年九月四日同縣に生れ大正十年分家す同年東京高工建築科を卒業し直に土木建築請負業を創め今日に至る 宗教禪宗 趣味圍碁【家庭】妻とし子（明二八）東京府人小池久一長女跡見高女卒 長男友則（大一五）長女禮子（大一二）

大仲齋之助 三越(株)大連支店長 大連市楓町七〇 電大連七三二六
君は三重縣人大仲卯市の二男明治十八年四月廿八日同縣に生れ同卅八年家督を相續す同卅三年三越吳服店に入り庶務係長通信販賣係長等を經て昭和二年大連支店長となり今日に至る 宗教眞宗 趣味盆栽【家庭】妻安江（明二七）東京府人沖村猪之吉三女 長男一太郎（大八）長女光子（大五）大連高女在 二男貞吉（大一二）三女靜江（大一四）

大沼勝藏 意匠圖案並一般印刷業 千葉縣東葛飾郡松戸町（營業所）東京市神田區旭町七 電神田一二三六
君は千葉縣人大沼甚兵衞の二男明治元年八月同縣一ノ宮町に生れ後家督を相續す夙に鄕里一ノ宮町に於て田中重則に就て漢學を修め同十九年上京し京橋區中島勝之助經營彫刻社日本橋本町三島商店印刷部に歴勤同卅五年獨立し意匠圖案並一般印刷業を創め經營以て今日に至る曩に專賣特許を受けし發明品數種あり 宗教日蓮宗 趣味盆栽及小禽【家庭】妻せん（明一〇）金持權右衞門長女 長男浩（明三八）商工中學卒 二男眞（明四二）商工中學卒 五女菊江（明三九）六女壽枝子（明四三）七女由紀子（大四）普蓮土高女卒 長女佐喜子（明三二）は東京府人小畑由太郎に二女慶子（明三三）は同府人高井家に四女仲（明三六）は同府人大崎義太郎に各嫁す

大野定男 正六勳六 東京市主事 秘書課長 東京市外代々幡町幡ケ谷八五〇
君は東京府人大野角次郎の長男明治廿一年十二月廿五日東京市本所區横川町に生れ後家督を相續す同四十二年開成中學を卒業同四十三年普通文官試驗に合格し東京府屬となり後山梨縣理事官に進み大正十三年復興局事務官に任ぜらる尋で昭和五年五月東京市秘書課長に就任以て今日に至る 宗教佛教 趣味讀書旅行【家庭】妻もと（明三二）鹿兒島高女卒 長男恭男（大一二）二男敏男（昭二）

大場善藏 一般鋪裝工事請負業 東京市外入新井町不入斗九五七
君は千葉縣人片岡善太郎の四男明治廿四年一月十五日同縣君澤郡に生れ後絶家大場家を再興す同卅八年正則中學校を經て明治大學法科に學び次で南洋新嘉坡にゴム栽培に從事すること四年大正五年九月歸朝大阪に於て輸出文具製造業を營み同十一年日本アスファルト工業會社に奉職す昭和元年大英組を組織し板橋陸軍兵器廠岩淵より川口に至る橋梁の鋪裝工事請負をなす 宗教天台宗 趣味旅行【家庭】妻さわ子（明三一）東京府人福井文吉二女 長男文信（大一〇）長女昌子（大一三）二女美春（昭三）三女喜美枝（昭五）

大橋悌 第一銀行(株)釜山支店支配人 朝鮮釜山府本町三 電釜山五一一
君は東京府人三角方平の長男明治十五年三月十二日を以て生れ後富山縣人大橋平七郎の養子となる同四十二年東京帝大法科政治學科を卒業直に朝鮮京城東亞煙草會社に入り同四十五年之を罷め第一銀行に入り爾來本店詰四日市支店勤務伏見札幌福岡門司各支店支配人を經て現時釜山支店支配人たり【家庭】妻ミノ（明一七）松田周次三女 養子恒（明四四）長女三重子（大二）二女雪子（大四）

大間知庸吉 住友銀行(株)大塚支店長 東京市本鄉區駒込富士前町四三 電小石川四二八一
君は富山縣人大間知義治郎の長男明治廿八年四月五日富山市に生れ同廿六年家督を相續す大正二年富山商業學校を卒業し同年住友銀行に入り本店營業部勤務となり次で本店爲替係主任たりしが昭和五年三月大塚支店長に就任し以て今日に至る 宗教禪宗 趣味庭球【家庭】母シゲ（明一四）妻サト（明三五）富山縣人岡部藤藏三女富山實科女學校卒 二男邦治（昭三）長女和子（大一四）

大屋初太郎 陶磁器商 東京市日本橋區濱町三ノ一 電浪花七一八六
君は東京府人先代初太郎の長男明治十六年十月廿五日を以て生れ同卅八年九月家督を相續し前名龜次郎を改む現時陶磁器商を營む曩に同業組合組長たり 宗教佛教 趣味讀書旅行義太夫【家庭】妻くら（明二六）千葉高女卒 養子長次郎（明三五）

太田代唯六 正五勳六 理博 桐生高等工業學校教授 同校附屬商工專修學校主事 桐生市安樂土町
君は三重縣人松井萬助の六男明治十四年九月十六日を以て生れ太田代小兵衞の養子となる同四十一年東京帝大理科實驗物理科を卒業千葉縣立園藝專門學校教諭桐生高等染織學校宇都宮高等農林學校各教授等に歴任し大正十五年理學博士の學位を受け現時桐生高等工業學校教授にして同校附屬商工專修學校主事たり 宗教基督教 趣味讀書【家庭】養父小兵衞（安政四）妻ヱミコ（明二三）養父小兵衞長女東京府立第一高女卒 長男元彦（明四一）東北帝大法文學部在 三男享（明四五）水戶高校在 長女テル（大五）桐生高女在 二女タヅ（大八）

岡壽郎 醫博 東京市外千駄ケ谷町五〇一 電青山四七七五
君は大阪府人岡潔の男明治廿九年九月六日大阪市に生れ同四十一年家督を相續す大正十一年東京帝大醫科を卒業し三浦内科を經て現に島薗内科に勤務す昭和三年醫學博士の學位を受く同四年歐米各國に出張同五年歸朝す 宗教佛教 趣味乘馬謠曲【家庭】母小武（明二二）妻桃代（明三八）山谷德治郎長女東京女子高師附高女並英語專攻科卒 長男昭（昭二）二男博（昭四）

岡崎旭 臺灣銀行(株)東京支店頭取席秘書役 東京市外代々木山谷三〇〇 電四谷二四三四
君は岡山縣人岡崎久次郎の長男明治廿三年十月廿六日同縣に生れ同四十年家督を相續す大正六年東京帝大法科政治科を卒業し直に臺灣銀行に入り上海支店副支配人大連支店支配人本店調査課長等を經て現に同行東京支店頭取席秘書役たり 宗教天台宗 趣味圍碁將棋戶外運動【家庭】妻千代子（明三二）北海道人闞場不

彦長女東京女高師附高女卒　弟義次（明二七）東大工科卒　同妻美彌子　弟百幹（明三一）岡山中學卒　同妻智子

岡島　格（カクル）　正六勳四　在郷陸軍二等軍醫正　科醫師試驗委員　東京鐵道病院歯科醫長　内務省歯科醫師試驗委員　東京市外世田ヶ谷町經堂五九九

君は京都府人醫師岡島莞爾の七男明治十四年七月二日を以て生れ同四十年分家す同卅七年京都府立醫學專門學校を卒業後第七師團に入營日露役に出征同四十二年陸軍々醫學校教官に任じ内務省歯科醫師試驗委員を命ぜらる尋で大正九年東京鐵道病院歯科醫長となり以て今日に至る　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】妻福子（明二二）京都府人石田眞平三女龜岡高女卒　長男熙明（大元）成蹊高校在　長女マリ（明四三）東京女大英文科在　二男晟（大四）東京市立一中在

岡田　與吉　帝國堅紙(株)取締　東京市外西巢鴨町巢鴨二三二一

君は京都府人岡田小八郎の五男明治廿五年十月廿八日を以て生れ後家督を相續す夙に八幡商業を卒業し株式會社岡田商店に入り取締役桑港支店長たりしが昭和五年帝國堅紙取締役に轉じ以て今日に至る　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】妻とふ（明三三）岐阜縣人中川了介妹岐阜縣立中津川高女卒　長男敬三（大一三）長女須壽子（大一二）二男喜和男（昭二）

岡野　正俊　醫博　長竹醫院　醫師　東京市神田區金澤町二四　電下谷四六八〇

當家は代々醫を業とす君は埼玉縣人醫師長竹正德の二男明治廿五年九月十七日を以て生れ後父の實家岡野家を再興す大正六年東京帝大醫科を卒業後同大學皮膚科教室に勤務す尋で同七年泉橋慈善病院内科小兒科に勤務せしが同十二年之を退き醫師を開業す同十五年東京帝大藥理學教室にて研鑽昭和四年十月醫學博士の學位を受く　趣味運動讀書【家庭】父正德（安政六）母くに（萬延元）妻喜代子（明二七）大阪府士族谷石之助長女麹町高女卒　長男正博（大一三）長女正子（大一一）二男正光（大一四）二女和子（昭二）

荻　勉之助　織田信託(株)貸付主任　東京市外杉並町天沼四一九　電荻窪九〇五

君は舊出石藩士荻玄維の五男明治十年十一月二日を以て生れ後分家す夙に三井銀行に入り爾來神戸支店詰長係長等に歴任し後同行を辭して杉田工業所を共同經營し尋で貸自動車業に從事せしが幾許ならずして之を廢し大正十三年九月織田信託會社に入り貸付主任となり三年家督を相續す夙に土木請機械製造並輸入業東京市外世田ヶ谷町經堂五九九　趣味讀書【家庭】妻とも（明一九）長男正（大元）慶大在　二男宏（大五）慶大在　三男宏（大五）東京市立一中在　四女和子（大八）六女悌子（大一一）五女千里（大一〇）は兄荻元吉の養子となり三女文子（明四四）慶大醫學部在

荻原　善彦　近江セール(株)東京出張所長　東京市外澁谷町大山一四

君は鳥取縣人荻原弘通の長男明治卅二年二月廿二日を以て生る大正十二年早稻田大學法學部を卒業後近江セールス會社に入社し現時同社東京出張所長たり　宗教禪宗　趣味繪畫讀書【家庭】父弘通（慶應三）母は基督教　趣味繪畫讀書【家庭】妻豐（明四四）慶大醫學部在

荻村　脩一　小間物問屋　東京市日本橋區馬喰町三ノ六　電浪花一三三九

君は長野縣人荻村彌三郎の長男明治廿四年十二月八日同縣に生る先代の創業したる小間物商を繼承し以て今日に至る【家庭】妻テル（明六）中野大藏長女　長女テル（大六）二女美子（大一四）三女倫子（大一五）

奥　弘之　奥商會　サロン春各主　東京市芝區白金三光町二七六　電高輪五六五三

君は大阪府人田中工業常務取締役奥長造の長男明治廿八年十月廿五日大阪市に生る大正七年明治大學商科を卒業直に十五銀行に入り神戸支店に勤務同十二年之を辭し獨立又カフェーサロン春を創設經營以て今日に至る【家庭】母とく（明一〇）兄七右衞門メリヤス沓下製造業　兄貞吉（明二〇）沓下製造工場經營　兄惠三郎（明三〇）沓下卸商　妹清子（明三九）弟甚三郎（明四一）妹芳子（大元）

落合　忠禮　落合工業所主　東京市牛込區市谷臺町一三　電四谷三一八八

君は東京府士族落合忠義の長男明治十八年六月廿八日を以て生れ後家督を相續す夙に五高を卒業し茨城縣廳福島縣廳玉川電氣軌道電業社白河電燈會社等に歴勤後岩淵電氣工業會社主任技術者に就任現時落合工業所主たり　宗教淨土宗　【家庭】妻きむ（明二八）神奈川縣人小池三平養女　養子信夫（大三）岡山縣人津島龜次郎二男東京府立第一中在

恩田利兵衞　三井銀行(株)營業部出納係長　東京市外入新井町新井宿二四五三

君は愛知縣人恩田利兵衞の二男明治十七年一月廿七日岐阜縣に生れ後家督を相續す同廿七年七月三井銀行に入社し同行下關出張所長代理下關支店預金係長大阪西支店長代理川口出張所主任川口支店次長等を歴勤し昭和四年本店營業部出納係長に進み以て今日に至る　宗教禪宗　趣味園藝【家庭】妻仲子（明三三）長野縣人長井忠吾三女

可兒　德　正五勳六　國華高等女學校長　東京市小石川區大塚仲町三六

君は岐阜縣人可兒眞對の二男明治八年十一月七日を以て生れ後分家す同廿六年岐阜縣斐太中學校卒業後日本體育會體操傳習所に學び兵式體操科教員理科教員免狀を得同卅四年東京外國語學校獨語科を卒業前橋中學沖繩中學師範東京高等師範學校教授を經て現に國華高等女學校長たり　趣味讀書體育

加賀榮太郎　山田金庫(株)專務　東京市本所區南二葉町三七　電墨田三〇一一

君は明治廿二年八月横濱市に生れ後家督を相續す夙に神奈川第一中學を卒業大正七年獨立金庫商を創め同十年山田金庫會社專務取締役後に就任今日に至る　宗教日蓮宗　趣味運動【家庭】妻よし子（明二七）靜岡縣人斧市左衞門三女熱海高女卒　長男嘉男（大三）慶應在　二男孝德（大九）三男乾之助（大一三）

加賀谷眞一　第一銀行(株)函館支店支配人　函館市末廣町同行內

君は愛媛縣人加賀谷好太郎の長男明治十八年二月を以て生れ同廿五年家督を相續す同四十五年東京帝大法科獨法科を卒業し第一銀行に入り札幌支店支配人を經て現時函館支店支配人たり養に札幌商業會議所特別議員たり【家庭】妻琴子（明二六）千葉縣人宮田光妹　長男誠一（大七）長女慶子（大四）二女直子（大一〇）

加藤　乙松　勳八　風呂敷問屋　東京市日本橋區長谷川町二三　電浪花四七八六

君は福井縣人松尾久作の七男明治卅二年三月一日同縣丹生郡殿下村に生れ後加藤長三郎の養子となり大正十三年家督を相續す夙に海軍務に服し歐洲大戰亂に出征し第一特務艦隊對馬島に乘船南洋守備に當る後祖業たる風呂敷問屋を營み今日に至る　宗教淨土宗　【家庭】養母せき（明二五）妻むな子（明三二）埼玉縣人豐田德藏三女　長男禎一（昭二）二男佳男（昭四）

加藤　潤一　日本興業銀行(株)日本橋支店支配人　東京市外大久保町百人町三一

君は埼玉縣人加藤房太郎の長男明治廿一年二月廿九日生れ後家督を相續す大正三年東京帝大法科商業科を以て卒業後日本興業銀行に入り昭和四年同行日本橋支店支配人となり今日に至る　趣味運動讀書【家庭】妻クラ子（明二六）埼玉縣人篠原與三郎長女子大附屬高女卒　長男久男（大元）武藏高校在　二男謙三（大五）武藏高校在　三男達次郎（大六）東京府立六中在

加藤　正一　財團法人理化學研究所理研酒主任　理化學興業(株)酒食料品部長　大阪市外澁谷町松濤二一

君は愛知縣人加藤林之助の長男明治廿八年一月二日を以て生れ後家督を相續す大正八年東大農科を卒業現時財團法人理化學研究所理研酒主任たる外前記の職にあり　宗教禪宗　趣味運動【家庭】母つね（明五）妻啓子（明三二）川合晉妹東京女學館卒　長女治子（大一二）

加藤　信一　東京火災保險(株)業務課長　市外代々幡町幡ヶ谷一三五三

君は舊酒井藩士加藤信敏の長男明治廿一年十二月廿一日を以て生る大正三年早稻田大學政治科を卒業し直に東京火災保險會社に入り本店調査課勤務大阪支店副長等を經て現に本店業務課長たり智恵の輪倶樂部會員　趣味書畫【家庭】父信敏（安政六）母シゲ（明八）妻岩枝（明二七）山形縣人菅川安之助四女　長男正雄（大四）東京府立四中在　二男春三（大一〇）長女京子（大一二）

加藤　春三　大湊興業(株)常務　大湊水電(株)鑑査　青森縣下北郡大湊町　電大（東京宅）東京市外澁谷町綠岡二三

君は愛知縣士族加藤豐の二男哈爾賓商工會議所會頭同鶴岡女學卒　長男正雄（大四）東京府立四中在　二男春三（大一〇）長女京子（大一二）

加藤　雄吉　正五勳四　地方技師　京都府警察部衛生課長　市西ノ京大炊御門町官舍　電西陣二四六〇

君は愛知縣人河合泰二の四男明治十二年五月十九日同縣に生れ後先代專吉の養子となり同四十二年家督を相續す同卅四年愛知醫專を卒へ和歌山縣衛生技師縣立奈良病院長同縣衛生課長兵庫縣本京都各府縣技師に歴任大正十三年地方技師となり現時京都府警察部衛生課長たり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】長男成雄（明三九）京都府廳勤務　二男壽雄（明四一）京大文學部在

鹿俣　德四郎　朝鮮銀行(株)東京支店支配人代理　東京市本郷區駒込東片町一一

君は青森縣人杉沼永太郎の六男明治廿四年八月五日弘前市に生れ後鹿俣家に入り家督を相續す大正七年東京

樫谷政鶴　従四勲四　朝鮮水産會副會長　京城長谷川町一一一電本局二四六〇

君は高知縣士族樫谷政信の長男明治四年五月十日を以て生れ同廿二年家督を相續す同廿三年大日本水産會水産傳習所を卒業同廿二年更に東京法學院を卒業す爾來富山縣技師農商務省技師等に歴任し大正十二年朝鮮總督府技師に轉じ現時水産會副會長に就任して今日に至る　宗教佛教　趣味郊外運動【家庭】妻捨子（明九）高知縣人小八木修二女　養子功（明三一）佐野佐弟高知市信用組合勤務　四女富子（明三四）養子功妻　同長女直子（大一五）同二女惠子（昭三）同長男政躬（昭四）長女常子（明二七）は東洋生命保險會社仙臺支部長佐野佐に二女愛子（明二九）は北海道廳技師南部一男に各嫁す

柏木末吉　柏木（資）代表社員　東京市本所區緣町一ノ三九　電本所六八七

君は福島縣人柏木金助の三男明治廿年二月廿七日同縣に生る明治廿二年上京し同四十一年獨立貿易商を創め大正二年東京外語支那語科を卒業し同年田中商事會社監査役に就任昭和二年山東鑛業會社に入り現に同社東京出張所主任たる外中華企業會社取締役たり【家庭】妻よし（明二）長男正夫（明四三）慶應大學豫科在　二男卓士（大一〇）三男道雄（大一二）

勝田信　日本銀行（株）秋田支店長　秋田市保戸野町八　電秋田七七〇

君は東京府人勝田圭通の弟明治廿一年八月廿九日を以て生れ大正十三年分家す明治四十四年東京高商專攻部を卒業し日本銀行に入り審査部調査役營業局調査役大阪支店調査役を經て昭和三年八月秋田支店長となり今日に至る　宗教眞言宗　趣味庭球ゴルフ謠曲【家庭】妻瑛（明三一）東京府士族中島恭藏長女三輪田高女卒　長男猶與（大六）縣立秋田中學在　長女邦子（大一五）

金子日聰　檀僧正　日蓮宗修法副傳師　野方師　遠樹院住職兼蓮華寺住職　僧侶　東洋大學講師　町會議員　同副議長　東京市外野方町江古田蓮華寺

君は東京府人金子三吉の二男明治十九年十一月廿五日千葉縣東葛飾郡塚田村に生れ後分家す同廿年出家し同四十三年東洋大學を卒業後中山行堂に加行す大正五年日蓮宗常任布教師同十三年日蓮宗會議員となり昭和二年東洋大學講師に就任す現時野方町學務委員東洋大學橘香會長を兼ね前掲の諸職にあり　宗教日蓮宗　趣味讀書旅行【家庭】妻喜代（明二五）東京府人伊藤房八長女岩佐高女卒　長男實（大三）目白中學在　二男孝（大一〇）女桂子（大一三）

金子光太郎　出版業　東京市神田區錦町三ノ八　電神田二九七五

君は愛知縣人金子喜六の二男明治廿七年三月廿七日岡崎市に生れ後分家す夙に中西書店及丸善書店に勤務大正十四年獨立して三愛社と稱し出版業を營み以て今日に至る　趣味魚釣【家庭】妻きん子（明三九）長男猛（昭二）

金澤德彌　土木建築請負業　東京市淺草區神吉町一一　電下谷六六三三

君は茨城縣人金澤才吉の長男明治廿七年七月廿日同縣多賀郡松原町に生れ後家督を相續す順天中學を卒業し帝大法科獨法科を卒業し朝鮮銀行に入り東京青島各支店に歴勤現時東京支店支配人代理たり　趣味讀書【家庭】妻よう子（明三五）福島縣人戸澤六三郎長女東洋家政女學卒　長女惠美子（大九）

戒能義重　正五勲四　京城帝國大學豫科教授　同部長　京城府東四軒町三一京城帝國大學官舍

君は愛媛縣士族池田義知の二男明治四年十一月を以て生れ戒能家の養子となり同卅年家督相續す同廿七年第五高等中學校第一部を卒業し愛媛縣屬同縣師範學校教諭を經て同卅九年東京帝大文科英文科を卒業し爾來大阪府立天王寺中學教諭岐阜縣尋常中學校長京城元山各中學教諭京城醫專教授に歴任し大正十三年京城帝大豫科教授に任じ現時豫科部長たり此間同十年歐米に留學同十二年歸朝す　宗教禪宗　趣味讀書謠曲【家庭】妻チエ（明四）養父重治太長女愛媛縣女子師範卒　養女カズヨ（明二九）愛媛縣人近藤次郎二女同校卒は分家す

海原宏文　中華企業（株）取締役　東京出張所主任　東京市外落合町下落合六〇四

君は三重縣人海原曉の長男明治廿四年七月十六日同縣に生る大正二年東京外語支那語科を卒業し同年田中商事會社監査役に就任昭和二年山東鑛業會社に入り現に同社東京出張所主任たる外中華企業會社取締役たり　宗教眞宗　趣味テニス【家庭】妻清子（明三三）京都府人田中末雄長女惠順高女卒　長男文雄（大九）二男武二（大一〇）長女文子（大一三）三男三雄（大一五）四男都四夫（昭四）弟滉（明三六）弟光麿（明四〇）

覓干城夫（メテシロオ）　臺灣製糖（株）營業部長　臺灣高雄市屏東街同社宅　電屏東二〇五

君は東京府人覓武夫の二男明治廿二年三月一日秋田市に生れ昭和五年分家す明治四十五年東京帝大法科獨法科を卒業し同年臺灣製糖會社に入り現時營業部長たり　宗教佛教　趣味運動【家庭】妻ヨシ（明三二）新潟縣人島倉孝妹　長男武夫（大八）長女キク子（大五）双葉高女在　二男文夫（大一〇）三男信夫（大一一）二女シツ子（大一三）四男和夫（大一五）

築地鈴木組に入り大正十三年同組を解し獨立して土木建築請負業を創め以て今日に至る現に選ばれて東京土木建築組合第四支部理事たり　宗教日蓮宗　趣味旅行野球運動

蒲生治郷　従六勲六　高岡高等商業學校長事務取扱同教授兼生徒主事　高岡同校官舍

君は長崎縣士族蒲生林作の二男明治十一年九月七日同縣北松浦郡平戸町に生れ大正十五年分家す明治卅六年早稻田大學文科を卒業し大正八年外交官試驗に合格す長崎縣立平戸中學校教諭を經て大正十四年高岡高商教授となり現に前掲の職を兼ぬ　宗教淨土宗【家庭】妻康子（明一五）長崎縣人藤田修吉郎二女長崎高女卒　長男朝郷（明四一）京都帝大工學部在　二男千郷（大三）高岡中學在　三男萬郷（大六）同校在　四男眞郷（大一一）五男高郷（大一五）長女百合子（明三八）

神岡喜代司　臺灣銀行（株）東京支店不動產掛主任　所得稅七五　東京市外大井町四七八一　電高輪七八〇五

君は新潟縣士族神岡德次郎の長男明治廿五年一月二日同縣に生る大正八年京都帝大法科律科を卒業し直に臺灣銀行に入り大連支店及本店に歴勤昭和三年四月東京支店に轉じ現時不動產掛主任たり　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】父德次郎（文久三）現戸主　妻峯子（明三四）新潟縣人田沼儀三郎長女鎌倉高女卒　長女壽子（大一一）二女玲子（大一三）三女瑠璃子（昭三）

神川彦松（従五）　法博　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

神成彌七　住友生命保險（株）主事　東京芝區白金今里町七七　電高輪二一七四

君は福島縣人神成季壽の七男明治廿五年十一月二日同縣田村郡三春町に生れ大正十四年分家す同五年神戸高商を卒業直に川原儀六商店に入り輸入係主任たりしが同十二年東京支店主任となる後住友生命保險會社に轉じ現時主事たり　宗教曹洞宗　趣味圍碁【家庭】妻信子（明三七）茨城縣人弓削鷹之助長女浦和高女卒　長男重一（大一五）二男秀夫（昭二）

神吉正一　従六勲六　外務事務官　勅務　東京市麻布區本村町一一六

君は東京府人神吉常吉の二男明治卅年一月五日を以て生る大正九年東京帝大法科獨法科を卒業し同十年外務省に入り同十二年英國大使館書記官となり昭和三年外務事務官に任じ現時亞細亞局に勤務す　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】母トメ（明八）妻二（明三九）高知縣人公文三二長女東京府立第三高女卒　長男龍平（大一三）長女アサ（昭三）兄武吉（明二八）現戸主陸軍砲兵大尉及其妻子

神林美治　正六勲六　醫博　海軍軍醫中佐　醫務局勤務　東京市牛込區市ヶ谷

君は長野縣士族神林英三郎の五男明治廿三年十二月八日同縣更科郡稻里村に生る大正六年九州帝大醫科を卒業海軍省に出仕中軍醫に任じ累進昭和四年十二月海軍々醫中佐に陞る其間大正十年久邇宮殿下歐洲御巡遊に際し隨行被仰付歸朝後海軍省醫務局員たりしが昭和三年二月獨國駐在を命ぜられ伯林に於て內科及生化學の研鑽に勉め又海牙第十三回萬國赤十字總會羅馬赤十字國際委員會主催の人民保護法會議倫敦第五回國際軍醫學會及ジュネーブ赤十字條約改訂俘虜取扱條約會議等に日本委員として出席昭和五年四月歸朝し以て今日に至る先是大正十五年醫學博士の學位を受く　宗教眞宗　趣味運動【家庭】母ッル（元治元）兄三代太郎現戸主　妻光代（明三一）靜岡縣人南義親長女靜岡高女卒　長男博雄（大一二）長女德子（大八）二女和子（大一五）

神谷德次郎　日本信託銀行（株）東京支店長　所得稅一〇五　東京市麻布區笄町一

神谷正一　従六勲六　勅務　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

川口繁次郎　風呂敷問屋　東京市日本橋區新乘物町一〇　電浪花三二六九

君は福井縣人川口定次郎の長男明治七年一月卅日同縣敦賀町に生れ同四十一年家督を相續す同卅二年風呂敷問屋を創め經營今日に至る　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】母ふさ（明一五）妻千代子（明一五）東京府人高橋庄太郎二女　長男邦太郎（明三五）長女富美子（明四三）跡見高女卒　二女秀子（大五）跡見高女在

川島甚兵衛　織物商　京都市上京區東堀川通一條上ル　電西陣八九八

君は京都府人先代甚兵衛の長男明治四十四年三月を以て生れ大正七年家督を相續後襲名して前名文吉を改む祖業を承けて織物商を營み現時同志社大學在學中なり　宗教眞宗【家庭】弟春雄（明四五）三高在

川島廣吉　金物商　町一〇　電浪花六五二三

君は三重縣人川島喜八の二男明治十八年三月十四日を以て生れ後分家す同四十四年金物商を創め今日に至る　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻正（明二四）三重縣人加藤治三郎三女　長男弘（明四五）

樫谷政鶴　従四勲四　朝鮮水産會副會長　京城長谷川町一一一電本局二四六〇

君は高知縣士族樫谷政信の長男明治四年五月十日を以て生れ同廿二年家督を相續す同廿三年大日本水産會水産傳習所を卒業同廿二年更に東京法學院を卒業す爾來富山縣技師農商務省技師等に歴任し大正十二年朝鮮總督府技師朝鮮總督府技師に轉じ現時水産會副會長に就任して今日に至る　宗教佛教　趣味郊外運動【家庭】妻捨子（明九）高知縣人小八木修二女　養子功（明三一）佐野佐弟高知市信用組合勤務　四女富子（明三四）養子功妻　同長女直子（大一五）同二女惠子（昭三）同長男政躬（昭四）長女常子（明二七）は東洋生命保險會社仙臺支部長佐野佐に二女愛子（明二九）は北海道廳技師南部一男に各嫁す

柏木末吉　柏木（資）代表社員　東京市本所區緣町一ノ三九　電本所六八七

君は福島縣人柏木金助の三男明治廿年二月廿七日同縣に生る明治廿二年上京し同四十一年獨立貿易商を創め大正二年東京外語支那語科を卒業し同年田中商事會社監査役に就任昭和二年山東鑛業會社に入り現に同社東京出張所主任たる外中華企業會社取締役たり【家庭】妻よし（明二）長男正夫（明四三）慶應大學豫科在　二男卓士（大一〇）三男道雄（大一二）

勝田信　日本銀行（株）秋田支店長　秋田市保戸野町八　電秋田七七〇

君は東京府人勝田圭通の弟明治廿一年八月廿九日を以て生れ大正十三年分家す明治四十四年東京高商專攻部を卒業し日本銀行に入り審査部調査役營業局調査役大阪支店調査役を經て昭和三年八月秋田支店長となり今日に至る　宗教眞言宗　趣味庭球ゴルフ謠曲【家庭】妻瑛（明三一）東京府士族中島恭藏長女三輪田高女卒　長男猶與（大六）縣立秋田中學在　長女邦子（大一五）

金子日聰　檀僧正　日蓮宗修法副傳師　野方師　遠樹院住職兼蓮華寺住職　僧侶　東洋大學講師　町會議員　同副議長　東京市外野方町江古田蓮華寺

君は東京府人金子三吉の二男明治十九年十一月廿五日千葉縣東葛飾郡塚田村に生れ後分家す同廿年出家し同四十三年東洋大學を卒業後中山行堂に加行す大正五年日蓮宗常任布教師同十三年日蓮宗會議員となり昭和二年東洋大學講師に就任す現時野方町學務委員東洋大學橘香會長を兼ね前掲の諸職にあり　宗教日蓮宗　趣味讀書旅行【家庭】妻喜代（明二五）東京府人伊藤房八長女岩佐高女卒　長男實（大三）目白中學在　二男孝（大一〇）女桂子（大一三）

金子光太郎　出版業　東京市神田區錦町三ノ八　電神田二九七五

君は愛知縣人金子喜六の二男明治廿七年三月廿七日岡崎市に生れ後分家す夙に中西書店及丸善書店に勤務大正十四年獨立して三愛社と稱し出版業を營み以て今日に至る　趣味魚釣【家庭】妻きん子（明三九）長男猛（昭二）

金澤德彌　土木建築請負業　東京市淺草區神吉町一一　電下谷六六三三

君は茨城縣人金澤才吉の長男明治廿七年七月廿日同縣多賀郡松原町に生れ後家督を相續す順天中學を卒業し帝大法科獨法科を卒業し朝鮮銀行に入り東京青島各支店に歴勤現時東京支店支配人代理たり　趣味讀書【家庭】妻よう子（明三五）福島縣人戸澤六三郎長女東洋家政女學卒　長女惠美子（大九）

戒能義重　正五勲四　京城帝國大學豫科教授　同部長　京城府東四軒町三一京城帝國大學官舍

君は愛媛縣士族池田義知の二男明治四年十一月を以て生れ戒能家の養子となり同卅年家督相續す同廿七年第五高等中學校第一部を卒業し愛媛縣屬同縣師範學校教諭を經て同卅九年東京帝大文科英文科を卒業し爾來大阪府立天王寺中學教諭岐阜縣尋常中學校長京城元山各中學教諭京城醫專教授に歴任し大正十三年京城帝大豫科教授に任じ現時豫科部長たり此間同十年歐米に留學同十二年歸朝す　宗教禪宗　趣味讀書謠曲【家庭】妻チエ（明四）養父重治太長女愛媛縣女子師範卒　養女カズヨ（明二九）愛媛縣人近藤次郎二女同校卒は分家す

海原宏文　中華企業（株）取締役　東京出張所主任　東京市外落合町下落合六〇四

君は三重縣人海原曉の長男明治廿四年七月十六日同縣に生る大正二年東京外語支那語科を卒業し同年田中商事會社監査役に就任昭和二年山東鑛業會社に入り現に同社東京出張所主任たる外中華企業會社取締役たり　宗教眞宗　趣味テニス【家庭】妻清子（明三三）京都府人田中末雄長女惠順高女卒　長男文雄（大九）二男武二（大一〇）長女文子（大一三）三男三雄（大一五）四男都四夫（昭四）弟滉（明三六）弟光麿（明四〇）

覓干城夫（メテシロオ）　臺灣製糖（株）營業部長　臺灣高雄市屏東街同社宅　電屏東二〇五

君は東京府人覓武夫の二男明治廿二年三月一日秋田市に生れ昭和五年分家す明治四十五年東京帝大法科獨法科を卒業し同年臺灣製糖會社に入り現時營業部長たり　宗教佛教　趣味運動【家庭】妻ヨシ（明三二）新潟縣人島倉孝妹　長男武夫（大八）長女キク子（大五）双葉高女在　二男文夫（大一〇）三男信夫（大一一）二女シツ子（大一三）四男和夫（大一五）

神成彌七　住友生命保險（株）主事　東京芝區白金今里町七七　電高輪二一七四

君は福島縣人神成季壽の七男明治廿五年十一月二日同縣田村郡三春町に生れ大正十四年分家す同五年神戸高商を卒業直に川原儀六商店に入り輸入係主任たりしが同十二年東京支店主任となる後住友生命保險會社に轉じ現時主事たり　宗教曹洞宗　趣味圍碁【家庭】妻信子（明三七）茨城縣人弓削鷹之助長女浦和高女卒　長男重一（大一五）二男秀夫（昭二）

神吉正一　従六勲六　勅務　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

神林美治　正六勲六　醫博　海軍軍醫中佐　醫務局勤務　東京市牛込區市ヶ谷

君は長野縣士族神林英三郎の五男明治廿三年十二月八日同縣更科郡稻里村に生る大正六年九州帝大醫科を卒業海軍省に出仕中軍醫に任じ累進昭和四年十二月海軍々醫中佐に陞る其間大正十年久邇宮殿下歐洲御巡遊に際し隨行被仰付歸朝後海軍省醫務局員たりしが昭和三年二月獨國駐在を命ぜられ伯林に於て內科及生化學の研鑽に勉め又海牙第十三回萬國赤十字總會羅馬赤十字國際委員會主催の人民保護法會議倫敦第五回國際軍醫學會及ジュネーブ赤十字條約改訂俘虜取扱條約會議等に日本委員として出席昭和五年四月歸朝し以て今日に至る先是大正十五年醫學博士の學位を受く　宗教眞宗　趣味運動【家庭】母ッル（元治元）兄三代太郎現戸主　妻光代（明三一）靜岡縣人南義親長女靜岡高女卒　長男博雄（大一二）長女德子（大八）二女和子（大一五）

神谷德次郎　日本信託銀行（株）東京支店長　所得稅一〇五　東京市麻布區笄町一

神谷正一　従六勲六　勅務　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

川口繁次郎　風呂敷問屋　東京市日本橋區新乘物町一〇　電浪花三二六九

君は福井縣人川口定次郎の長男明治七年一月卅日同縣敦賀町に生れ同四十一年家督を相續す同卅二年風呂敷問屋を創め經營今日に至る　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】母ふさ（明一五）妻千代子（明一五）東京府人高橋庄太郎二女　長男邦太郎（明三五）長女富美子（明四三）跡見高女卒　二女秀子（大五）跡見高女在

川島甚兵衛　織物商　京都市上京區東堀川通一條上ル　電西陣八九八

君は京都府人先代甚兵衛の長男明治四十四年三月を以て生れ大正七年家督を相續後襲名して前名文吉を改む祖業を承けて織物商を營み現時同志社大學在學中なり　宗教眞宗【家庭】弟春雄（明四五）三高在

川島廣吉　金物商　町一〇　電浪花六五二三

君は三重縣人川島喜八の二男明治十八年三月十四日を以て生れ後分家す同四十四年金物商を創め今日に至る　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻正（明二四）三重縣人加藤治三郎三女　長男弘（明四五）

神岡喜代司　臺灣銀行（株）東京支店不動產掛主任　所得稅七五　東京市外大井町四七八一　電高輪七八〇五

君は新潟縣士族神岡德次郎の長男明治廿五年一月二日同縣に生る大正八年京都帝大法科律科を卒業し直に臺灣銀行に入り大連支店及本店に歴勤昭和三年四月東京支店に轉じ現時不動產掛主任たり　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】父德次郎（文久三）現戸主　妻峯子（明三四）新潟縣人田沼儀三郎長女鎌倉高女卒　長女壽子（大一一）二女玲子（大一三）三女瑠璃子（昭三）

神川彦松（従五）　法博　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

神成彌七　住友生命保險（株）主事　東京芝區白金今里町七七　電高輪二一七四

君は福島縣人神成季壽の七男明治廿五年十一月二日同縣田村郡三春町に生れ大正十四年分家す同五年神戸高商を卒業直に川原儀六商店に入り輸入係主任たりしが同十二年東京支店主任となる後住友生命保險會社に轉じ現時主事たり　宗教曹洞宗　趣味圍碁【家庭】妻信子（明三七）茨城縣人弓削鷹之助長女浦和高女卒　長男重一（大一五）二男秀夫（昭二）

神吉正一　従六勲六　勅務　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

神林美治　正六勲六　醫博　海軍軍醫中佐　醫務局勤務　東京市牛込區市ヶ谷

君は長野縣士族神林英三郎の五男明治廿三年十二月八日同縣更科郡稻里村に生る大正六年九州帝大醫科を卒業海軍省に出仕中軍醫に任じ累進昭和四年十二月海軍々醫中佐に陞る其間大正十年久邇宮殿下歐洲御巡遊に際し隨行被仰付歸朝後海軍省醫務局員たりしが昭和三年二月獨國駐在を命ぜられ伯林に於て內科及生化學の研鑽に勉め又海牙第十三回萬國赤十字總會羅馬赤十字國際委員會主催の人民保護法會議倫敦第五回國際軍醫學會及ジュネーブ赤十字條約改訂俘虜取扱條約會議等に日本委員として出席昭和五年四月歸朝し以て今日に至る先是大正十五年醫學博士の學位を受く　宗教眞宗　趣味運動【家庭】母ッル（元治元）兄三代太郎現戸主　妻光代（明三一）靜岡縣人南義親長女靜岡高女卒　長男博雄（大一二）長女德子（大八）二女和子（大一五）

神谷德次郎　日本信託銀行（株）東京支店長　所得稅一〇五　東京市麻布區笄町一

神谷正一　従六勲六　勅務　東京帝國大學（法學部）教授　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町三五九　電鎌倉一〇〇六

君は三重縣人奥山辻松の四男明治廿二年十二月廿三日同縣に生れ後神川亮吉の養子となる大正四年東京帝大法科政治科を卒業更に大學院に學び同六年東京帝國大學助教授となり同七年外遊し歸朝後東京帝大教授となり今日に至る昭和四年法學博士の學位を受く　趣味水泳散歩文學【家庭】父亮吉（安政二）現戸主　妻美知子（明三一）實業家下坂藤太郎長女日本女大附高女卒　長男信彦（大一三）長女惠美子（大一五）二男道彦（昭三）三男正彦（昭四）

川口繁次郎　風呂敷問屋　東京市日本橋區新乘物町一〇　電浪花三二六九

君は福井縣人川口定次郎の長男明治七年一月卅日同縣敦賀町に生れ同四十一年家督を相續す同卅二年風呂敷問屋を創め經營今日に至る　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】母ふさ（明一五）妻千代子（明一五）東京府人高橋庄太郎二女　長男邦太郎（明三五）長女富美子（明四三）跡見高女卒　二女秀子（大五）跡見高女在

川島甚兵衛　織物商　京都市上京區東堀川通一條上ル　電西陣八九八

君は京都府人先代甚兵衛の長男明治四十四年三月を以て生れ大正七年家督を相續後襲名して前名文吉を改む祖業を承けて織物商を營み現時同志社大學在學中なり　宗教眞宗【家庭】弟春雄（明四五）三高在

川島廣吉　金物商　町一〇　電浪花六五二三

君は三重縣人川島喜八の二男明治十八年三月十四日を以て生れ後分家す同四十四年金物商を創め今日に至る　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻正（明二四）三重縣人加藤治三郎三女　長男弘（明四五）

龜石竹次郎　矢口町會議員　日本事務器商會（資）鋼鐵家具部長　東京市外矢口町小林三〇七　電蒲田八五八

君は北海道人龜石金藏の四男明治卅年八月十五日を以て生れ後家督を相續す大正十一年早大商科を卒業し直にアンドリュース商會に入り昭和二年日本事務器商會に入り現時鋼鐵家具部長にして矢口町會議員たり　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】母ちせ（安政六）妻花（明二九）神奈川縣人中村新一妹橫濱英和高女卒　長女綾子（大一〇）

川口繁次郎　風呂敷問屋　東京市日本橋區新乘物町一〇　電浪花三二六九

君は福井縣人川口定次郎の長男明治七年一月卅日同縣敦賀町に生れ同四十一年家督を相續す同卅二年風呂敷問屋を創め經營今日に至る　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】母ふさ（明一五）妻千代子（明一五）東京府人高橋庄太郎二女　長男邦太郎（明三五）長女富美子（明四三）跡見高女卒　二女秀子（大五）跡見高女在

川島甚兵衛　織物商　京都市上京區東堀川通一條上ル　電西陣八九八

君は京都府人先代甚兵衛の長男明治四十四年三月を以て生れ大正七年家督を相續後襲名して前名文吉を改む祖業を承けて織物商を營み現時同志社大學在學中なり　宗教眞宗【家庭】弟春雄（明四五）三高在

川島廣吉　金物商　町一〇　電浪花六五二三

君は三重縣人川島喜八の二男明治十八年三月十四日を以て生れ後分家す同四十四年金物商を創め今日に至る　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】妻正（明二四）三重縣人加藤治三郎三女　長男弘（明四五）

龜石竹次郎　矢口町會議員　日本事務器商會（資）鋼鐵家具部長　東京市外矢口町小林三〇七　電蒲田八五八

君は北海道人龜石金藏の四男明治卅年八月十五日を以て生れ後家督を相續す大正十一年早大商科を卒業し直にアンドリュース商會に入り昭和二年日本事務器商會に入り現時鋼鐵家具部長にして矢口町會議員たり　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】母ちせ（安政六）妻花（明二九）神奈川縣人中村新一妹橫濱英和高女卒　長女綾子（大一〇）

川添重義 屋井乾電池(資)ラヂオ研究所長 東京市外碑衾町碑文谷一九五
君は鹿兒島縣人川添重義の四男明治卅三年三月十五日同縣に生れ昭和四年分家す夙に電機學校を卒業し電氣試驗所技手に任じ昭和五年官を辭し屋井乾電池會社に入りラヂオ研究所長となり以て今日に至る 宗教眞宗 趣味演劇映畫【家庭】父儀八(明三) 母セヌ(明五)

河野主馬 洋裝雜貨商 東京市淺草區上平右衞門町三 電淺草四八一四
君は廣島縣人河野安右衞門の長男慶應元年四月十五日廣島市に生る明治廿三年上京同卅八年創業洋裝雜貨商を營み以て今日に至る 宗教淨土宗 趣味謠曲【家庭】妻きさ(明九) 東京府人井上甚兵衞姪 長男主一郎(明四二)

河野雅男 正八 陸軍步兵少尉 昭和銀行(株)本店建築係主任 東京市外大久保町西大久保一三七
君は岩手縣人河野儀三郎の二男明治十七年四月一日を以て生る同卅七年岩手縣立工業學校專修科を卒業し山形煙草收納所に勤務同卅九年一年志願兵として弘前聯隊に入營同四十年除隊と同時に早稻田大學第二期擴張工事建築事務所に勤務し尋で大正十一年豐國銀行本店建築部主任となり昭和三年同銀行の合併と共に昭和銀行本店建築係主任に轉じ以て今日に至る 宗教神道 趣味旅行讀書【家庭】兄通男現戶主 妻すみ子(明二五) 岩手縣人柴田廣吉二女仙臺高女卒

河端貞次 上海行政委員長 上海信用組合理事長 醫師 上海海寧路一〇 電上海四川路二五二五
君は大阪府人河端幸三郎の長男明治七年一月廿六日を以て生れ後家督を相續す同廿九年京都醫專を卒業し京都帝大內科助手となり次で同地に獨立開業す同四十五年上海に轉住開業し現時前記の諸職にある外日本人クラブ理事たり 宗教眞宗 趣味義太夫【家庭】長男明(明三四) 大阪醫大卒刀根山病院勤務 同妻文枝(明四一) 鳥取縣人圓城寺規長女同縣立高女卒 長女泰子(明四三) 上海高女卒

河原作 従四勳四 久世子爵家評議員 元町會名譽會長 東京市麻布區森元町一ノ二五ノ一七號 電青山五二二一
君は舊下總關宿藩士塚原双捷の四男文久二年五月廿五日泉州久世村に生れ後先代直義の養子となり明治廿一年家督を相續す夙に會計檢查院檢查官帝室會計審查局審查官宮內事務官式部官等を歷任大正十年官を辭し現に久世子爵家麻布區教育會同兵事議會各評議員たる外森元町會名譽會長たり 宗教天台宗 趣味寶生流謠曲【家庭】妻禎(明六) 東京府人清家玄榮長女 長男直文(明一六) 三男春作(明二三) 二男直武(明一九) 慶大卒大同電力取締役兼名古屋支店長は東京府人齋藤清の入夫となる※河原直文 同春作の各項參照

河原直春 愛知銀行(株)四谷支店長 所得稅五〇 東京市外代々幡町代々木初臺四八九 電四谷九八〇
君は岐阜縣人河原源作の男明治廿八年三月十日同縣海津郡高須町に生る大正十年東京帝大法學部を卒業し愛知銀行本店に入り現時四谷支店長たり 趣味圍碁運動【家庭】父源作現戶主 妻なみ(明三四) 大野直人女名古屋市立第一女學卒 長男秀夫(昭二)

河邊益次郎 空壜商竝自動車業 東京市深川區安宅町八 電本所三七一
君は東京府人河邊重吉の弟明治十三年七月を以て生れ同廿五年分家す現時中屋本店と稱し空壜商竝に自動車業を營む 宗教佛教【家庭】妻みよ(明一六) 千葉縣人山本宇三郎妹 長男益次(明四〇) 中央商業修 長女八重子(明四二) 二女モト子(大元) 三女よね子(大四) 三男保次郎(大五) 四男實男(大七) 四女房枝(大一二)

簡牛凡夫 衆議院議員(福岡縣第一區選出) 大藏大臣秘書官 東京市芝區二本榎町一ノ六〇 電高輪一一二三
君は福岡縣人簡牛俊介の長男明治廿七年一月十日同縣糸原郡可也村に生る大正九年早稻田大學政治經濟科を卒業後獨逸に留學し歸朝後農林省囑託となり昭和四年遞信省囑託に轉じ同五年六月大藏大臣秘書官に任ぜらる福岡縣第一區より衆議院議員に當選し現に立憲民政黨に屬す 宗教眞宗【家庭】父俊介(元治元) 現戶主 母キク(明六) 妻チカ(明三一) 駿臺英和女學卒

木岡豐喜 豐年製油(株)社員 東京本鄕西片町一〇ほノ一〇 電小石川六二七七
君は高知縣士族木岡一の三男明治廿四年十二月廿五日同縣長岡郡三里村に生る大正六年東京帝大法科英法科を卒業後臺灣銀行東京支店に入り同十三年五月豐年製油會社に轉勤し以て今日に至る 趣味旅行【家庭】妻ノブ(明二九) 高知縣人谷呂方二女高知縣立高女卒 長男章夫(大一二)

木島平治郎 従六 東京高等商船學校教授 東京市日本橋區蠣殼町三ノ八
君は京都府人木島源次郎の三男明治廿三年七月二日を以て生れ後分家す大正六年東京帝大文科英文科を卒業後群馬縣立沼田中學校教諭遞信省管船局囑託等を經て東京高等商船學校教授に轉じ以て今日に至る 趣味運動讀書

木戶傳 辨理士 東京市麻布區森元町一ノ二七 電青山五九七四
君は長野縣人にして明治三年八月廿六日を以て生る同廿四年東京高工機械科を卒業し同卅一年母校助教授に任じ後芝浦製作所高田商會等に歷勤同卅九年辨理士を開業し以て今日に至る 宗教禪宗 趣味圍碁【家庭】妻ミツ(明五) 鹿兒島縣人山口たけ子妹 長男保一郎(明四〇) 慶大法科在 二男正次(大元) 立教大學豫科在 五女八千代子(明四二) 長女千代子(明三〇)は辨理士市川寛に二女ふさ子は工學士秋元不二三に各嫁し三女みき子四女みよ子も亦各他家に嫁す

木村丑之助 帝國製麻(株)調查課長 東京市外蒲田町女塚三三五
君は滋賀縣人木村熊次郎の六男明治廿二年五月一日同縣に生る夙に八幡商業學校を卒業し大正三年田附糸店に入り同六年日本麻糸會社に轉じ販賣課長たりしが同社の帝國製麻會社に合併せらるゝや大阪札幌各支店販賣課長を經て現に同社本店課長たり 宗教眞宗 趣味野球梅若流謠曲【家庭】妻さと(明二六) 滋賀縣人及川廣治長女 長男勳(大一〇)

木村幸次郎 東洋製罐(株)監查 山城屋本店洋酒食料品商 所得稅三〇八三 大阪市北區堂島濱通四ノ六 電福島五三三九

君は大阪府人木村幸次郎の長男明治卅二年二月を以て生れ大正十一年家督を相續し前名健一郎を改め襲名す現時山城屋と稱し洋酒食料品商を營み傍ら東洋製罐監查役たり【家庭】繼母スヘ(明一六) 大阪府人松下俊吉叔母 妻千代(明三五) 大阪府人小谷孫藏二女 二女葉子(大一二) 四女澄子(昭二) 妹綾子(大三)

木村大吉 山崎商店(株)監查 東京市小石川區林町一〇一 電小石川四二三二
君は東京府人田中太吉の四男明治廿年一月廿三日を以て生れ後木村角太郎の養子となる同四十年開成中學を卒業し直ちに山崎商店に入り大正十五年株式組織に變更と同時に監查役となり以て今日に至る 趣味旅行【家庭】養母千代(文久二) 妻サク(明二八) 東京府人清水房吉二女 長男吉郎(大四) 東京高師附中在 長女惠美子(大六) 文華高女在 二女禮子(大八)

木村近之助 東京市坂本小學校長 東京市外澁谷町宇田川八
君は東京府人木村米吉の四男明治十六年二月九日を以て生れ大正四年分家す同卅七年東京府師範を卒業し芝南海小學校長芝區西櫻小學校長を經て現時坂本小學校長たり 宗教眞言宗 趣味スポーツ讀書旅行【家庭】妻モト(明二四) 群馬縣人堀江次郎長女戶板女學卒 長男克己(明四二) 名教中學卒 二男正(大九) 長女菊江(明四〇) 神奈川縣師範第二部卒南山小學校教員 二女光子(明四四) 三田高女卒 三女ヨシ子(大三) 同校在 四女シヅ子(大五) 同校在

木村讓 三菱銀行(株)參事京都支店長 所得稅四八三 京都市中立賣通室町西三ノ四六六 電西陣二二〇一
君は茨城縣人木村順藏の長男明治十八年四月廿日を以て生れ大正二年家督を相續す明治四十二年東京高商を卒業し三菱銀行に入り大阪支店副長に擧げられ後名古屋支店長を經て昭和四年京都支店長に就任以て今日に至る曩に海外に遊べり 趣味讀書【家庭】妻こと(明二五) 茨城縣多額納稅者木村傳兵衞長女 男義男(大五) 長女輝子(大九) 二女惠美子(大一四) 姉よね(明一五) 同夫東馬(明一五) 茨城縣人榎戶連太郎二男及其一男一女

喜多博 三星 三ツ喜各(資)代表社員 所得四三六 東京市外大井町一三七一 電大森七四七(會社) 京橋區銀座西七ノ五三ツ喜ビル內 電銀座五五五四
君の父喜太郎は東京府士族文久三年二月を以て生れ夙に實業界に入り大日本人造肥料高砂生命保險其他各會社の重役となり資產家として知らる君は其の長男明治卅年七月廿九日を以て生る夙に早稻田大學法科を卒業後三星及三ツ喜各合資會社代表社員に就任し今日に至る 宗教禪宗 趣味投網【家庭】妻はる(明三三) 武下象一妹 弟小二郎(明三八) 藥劑士 弟彌助(明四一) 明治學院卒 姉貞(明二八)は島根縣人高橋千代司長男盈に嫁す※喜多喜太郎の項參照

喜多河德造 クロードネオン電氣(株)社長 兵庫縣武庫郡精道村芦屋毛賀金九〇四
君は滋賀縣人北澤理庵の二男明治廿三年十月一日を以て生れ後大阪府人喜多河榮助の養子となる夙に木材輸入商を營み昭和四年七月クロードネオン電氣會社を創立し其社長に就任以て今日に至る 宗教眞宗【家庭】養父榮助(文久三) 現戶主鑛山業 妻君子(明二八) 養父榮助二女 長男仙造(大一二) 二男育造(大一四) 三男順(昭四)

菊池恒藏 東京瓦斯(株)蒲田營業所長 東京府蒲田町新宿三七五 電蒲田一一七七
君は熊本縣人工藤寬三郎の二男明治廿八年二月十日を以て生れ後菊池むらの養子となる大正十年東京高商を卒業直に東京瓦斯會社に入り神田營業所集金主任小石川派出所主任等を經て現時蒲田營業所長たり 宗教眞宗 趣味撞球【家庭】養母むら(安政四) 妻きく(明二九) 廣島縣人渡邊右文妹熊本高女卒 長男寬(大一三) 長女芳子(昭二) 二男愼次(昭五)

菊地博 千代田生命保險(互)檢查課長 東京市本鄕區駒込林町一八二
君は東京府士族菊池半一郎の長男明治廿四年九月四日を以て生れ昭和二年家督を相續す大正四年慶應大學理財科を卒業後東京府農工銀行に勤務同八年千代田生命保險會社に轉じ會計課次長を經て昭和五年檢查課長に就任以て今日に至る 宗教禪宗 趣味讀書旅行【家庭】母はる(文久元) 妻やゑ子(明三六) 東京府人山口石太郎長女渡邊高女卒 長男市(大一二) 長女ちゑ子(大一四) 二男昇(昭四)

岸田治郎三郎 豐國殖產(株)常務 債券賣買業 所得稅一五二〇 大阪市南區日本橋筋三ノ一八 電戎二六八六
岸田家は大阪土着の商家にして代々傘製造を家業とせしが天保元年質屋を開業し大黑屋と號し數代を經たり
君は先代治郎三郎の二男明治十二年十一月を以て生れ同四十三年家督を相續し襲名して前名昌隆を改む夙に父を輔けて家業に從事せしが後之を廢し現時債券賣買業を營む傍ら豐國殖產常務取締役たり 趣味謠曲書畫骨董【家庭】妻ヱン(明一九) 大阪府人北村儀三郎妹 男慶治郎(大七) 女昌子(明四一) 樟蔭高女卒 三男幸三郎(大八) 四女泰江(大九) 五女美津子(大一〇) 六女隆子(大一三) 長女常子(明三九) プール高女卒は大阪府人植村平七二男忠治郎に嫁す

岸本正清 神國海上火災保險(株)專務 日本タンカー(株)代表取締 壽生命保險(株)取締 岸本共同(株)監查 所得稅二一〇九 大阪市西區西長堀通二ノ五 電新町二四七三
君は大阪府人奧田富太郎の弟明治廿七年一月を以て生れ大正十年岸本兼太郎の養子となり同十四年分家す夙に京都帝大法科經濟科を卒業し現時神國海上火災保險專務取締役たる外前記會社の重役たり【家庭】妻テイ(明三二) 養父兼太郎長女 男隆雄(昭二) 長女民子(大一三) 二女弘子(大一四)

北川淏(キヨシ) 醫博 日本醫科大學講師兼附屬醫院皮膚泌尿科部長 東京市本鄕區春木町三ノ三八 電小石川七七六一
君は福井縣人北川金作の四男明治廿一年五月廿一日同縣武生町に生れ後分家す大正十二年東京帝大醫學部を卒業し現に日本醫科大學講師にして前記の職にあり昭和三年醫學博士の學位を授與せらる【家庭】妻歌子金原虎作妹 長男龍一(昭三) 長女淑子(昭五)

北原阿智之助 衆議院議員(長野縣第三區選出) 上鄕村長 農業 長野縣下伊那郡上鄕村二五二 電飯田八七〇
君は長野縣人北原稻雄の二男明治元年同縣下伊那郡に生れ後北原清治郎の養子となり同廿二年家督を相續す夙に駿ケ臺成立學舍を卒業し長野地方森林會議員長野

縣會議員飯田瓦斯會社取締役たりしが現時上鄉村長にして衆議院議員たり立憲民政黨に屬す　宗教淨土宗　趣味和歌俳句【家庭】長男謙司（明三一）早大卒　同妻喜子（明三六）池上明妹飯田高女卒　同長女三江（大一五）長女須賀（明二三）飯田高女卒は海軍々人鹽澤幸一に嫁す

北村研　極東工業(資)代表社員　土木建築請負業　東京市外目黑町上目黑七五三　電青山一〇三

君は長野縣人北村喜左衛門の三男明治廿三年七月を以て生れ同四十五年家督を相續し前名喜作を改む同四十四年工手學校を卒業し內務省土木局に入り大正九年內務技師を辭し極東工業合資會社を創設して土木建築請負業を營み現時極東工業代表社員にして曩に丸五商事取締役たり【家庭】母らい（文久三）長野縣人大內相之助妹　妻喜代（明三五）福岡縣士族池田鬼勢治長女千葉縣立成田高女卒　二女幸子（大一一）三女信子（大一三）弟源治（明三三）

吉川貢　日本窒素肥料(株)庶務部營業課長　兵庫縣武庫郡鳴尾村西畑四五

君は山口縣人吉川靖吉の長男明治廿三年一月廿七日同縣玖珂郡岩國町に生る大正四年神戶高商を卒業直に日本窒素肥料會社に入社現時同社庶務部營業課長たり　宗教神道　趣味謠曲【家庭】父靖吉（慶應二）現戶主　妻松子（明二六）山口縣人中原保長女岩國高女卒　長男經雄（大五）甲陽中學在　長女千惠子（大元）西の宮高女卒　二女美枝（大三）同校在　二男健男（大七）

及能謙一　醫博　橫濱市十全醫院副院長兼呼吸器科醫長　橫濱市中區南太田町一九六七　電長者町三〇二〇

君は石川縣人及能鐵三郎の長男明治十五年七月一日金澤市に生れ大正七年家督を相續す同卅七年四高を經て同四十一年東京帝大醫科を卒業し三浦內科にて研究す大正十一年醫學博士の學位を受け同三年獨逸に留學し伯林大學に學ぶ同十三年十全醫院副院長兼呼吸器科醫長となり今日に至る著書に「糞便學」あり　宗教眞宗　趣味讀書和歌文學【家庭】母里子（元治元）妻磯子（明二七）石川縣人八十島保太郎四女御茶水高女卒　長女一子（大二）神奈川縣立第一高女在　二女幸子（大四）同校在　三女濱子（大一三）四女惠美子（大一五）

桐谷寅吉　土木砂利請負業　東京市日本橋區吳服橋二ノ三　電日本橋二九二三

君は千葉縣人桐谷富三郎の二男明治廿八年十月二日同縣に生れ後先代寅吉の養子となり昭和五年家督相續し前名撰を改め襲名す先代の遺業を繼承土木請負業を營む【家庭】養母きよ子　妻すゑ子　長女美代子（昭二）

久世勇三　大阪大鐙閣　出版業　所得稅四一九　大阪市住吉區松蟲通三ノ三四　電天下茶屋二一二〇

君は舊大垣藩士久世義之助の二男明治廿一年二月を以て生れ昭和二年家督を相續す夙に文學に趣味を有し大阪に於て大阪大鐙閣と稱し文學雜誌の出版に從事し以て今日に至る曩に今橋興業取締役たり【家庭】繼母ヒロ（慶應三）大阪府人山下八郎右衛門二女　妻あい（明二五）兵庫縣人牛田藤吉妹　男晴（明四三）

久保義雄　社團法人港灣協會幹事　東京市外瀧野川町西ケ原五四三

君は青森縣士族久保連の二男明治十九年二月十四日弘前市に生れ昭和三年家督を相續す大正二年京都帝大文科哲學科を卒業し海城中學校教諭となり同七年日本郵船會社に入り調査課勤務たりしが同十三年港灣協會に轉じ現に幹事たり　趣味思索讀書旅行【家庭】妻まさ（明三一）神奈川縣人長崎幸吉長女小田原高女卒　長男照雄（大一五）長女滿理（大一一）

草野時二　曹達晒粉聯合會理事　東京市外和田堀町堀ノ內二二二

君は大阪府人草野玄章の二男明治廿年五月三日を以て生れ大正二年分家す同四年明大法科を卒業し同八年曹達晒粉聯合會理事となり以て今日に至る　宗教基督教　趣味讀書【家庭】長男博（大二）橫濱高工在　長女雅子（大四）文化學院在　二女靜子（大七）同院在　二男愼（大一〇）

草野正慶　辯護士　東京市四谷區花園町三六　電四谷五五一二

君は福島縣士族草野正之の長男明治十八年五月十一日を以て生れ同廿二年家督を相續す大正四年東京帝大法科英法科を卒業後辯護士試驗に合格し同六年日米信託株式會社に入り同十二年調査部顧問となり後之を辭し辯護士を開業し以て今日に至る　宗教禪宗　趣味野外運動【家庭】母サダ（明元）妻けい（明二四）福島縣人熊川詳長長女福島高女卒

草間文七郎　土木建築請負業　東京市外千住町二ノ六五二　電淺草一一一三

君は群馬縣人富岡音太郎の二男明治廿三年八月十四日を以て生れ大正元年草間市五郎の養子となる大正二年攻玉社工學校土木科を卒業直に東京市電氣局に奉職し工務課勤務となり同五年之を辭し爾來東京信託下野電力各會社に歷勤し同十年松本組東京支店長たりしが同十三年獨立して土木建築請負業を創め以て今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻とく（明二二）長男淸文（大七）日本大學中學在　長女千代子（明四五）潤德高女卒渡邊裁縫在　二女登喜代（大一〇）

日下眞一　和洋酒味噌醬油食料品商　宮城縣刈田郡白石町中町三八　電白石五八

君は宮城縣人日下吉藏の長男明治廿五年一月四日同縣刈田郡白石町に生れ同四十五年家督を相續す先是同四十二年三月白石中學校を卒業して父祖の業を繼ぎ和洋酒味噌醬油食料品商を營み以て今日に至る又曾て白石釀造渡邊釀造所各會社重役たり【家庭】妻サキ（明二八）福島縣人沼崎市之助五女　長男眞太郎（大四）白石中學在　長女三惠（大五）二女壽（大七）三女啓（大九）四女禮（大一一）五女榮子（大一三）六女博（大一五）弟眞（明三〇）妹ひろ（明二六）は宮城縣人武者宗兵衛に妹みつ（明二八）は同縣人土井林吉弟良輔に各嫁す※太田勇治郎　木村惇　佐藤茂吉　新樂顯理の各項參照

國枝亨　辯護士　東京市深川區木場町一五　電本所四六五四

君は岐阜縣人說田兼三郎の三男明治卅四年一月九日を以て生れ後國枝捨次郎の養子となる大正十四年明大法科を卒業し昭和三年高等試驗に合格す同四年辯護士を開業し以て今日に至る　趣味圍碁【家庭】妻よし子（明四一）養父捨次郎長女跡見女學卒　長男昭一（昭四）

※國枝捨次郎の項參照

熊谷直三郎　從五　醫博　新潟醫科大學講師　山龍堂醫院長　醫師　東京市外杉並町高圓寺五二五　電中野二一三九

君は岩手縣人熊谷文之助の三男明治十九年二月十七日同縣西磐井郡一關町に生れ同卅五年家督を相續す第一高校を經て大正三年東京帝大醫科內科を卒業更に大學院に入り研究し同九年內務省囑託となり次で內務技師に任じ同十四年歐米各國に出張を命ぜられ國際勞働會議に出席す昭和四年官を辭し現地に山龍堂と稱し醫院を開業し傍ら新潟醫科大學講師たり大正十年醫學博士の學位を受く【家庭】妻きみ子（明二八）長男直秀（大五）東京高校在　長女美枝子（大六）東京府立第五高女在　二女小枝子（大一〇）三女美智子（大一五）四女都枝子（昭四）

熊谷平助　宮古銀行(株)頭取　山田灣製氷(株)社長　岩手水產冷藏　三陸水產冷藏各(株)取締　岩手縣下閉伊郡宮古町

君は岩手縣人先代平助の長男明治十年四月を以て生れ大正十五年家督相續と共に前名平次郎を改む夙に實業界に入り現時宮古銀行頭取たる外前記各會社重役を兼ぬ【家庭】繼母キク（明元）妻イシ（明一六）岩手縣人菊池理助三女　長男眞一（明四三）長女ウタ（明四〇）二女タツ子（明四一）二男誠二（大五）三男寛三（大八）四男達夫（大一一）弟巖（明一六）弟善四郎（明一九）同妻たつ（明三〇）宮城縣人佐藤卯吉三女及其子女　妹富子（明四四）弟常正（大六）※熊谷巖の項參照

倉賀野晉　從五　勳六　關東廳技師兼同廳種馬所長　同廳農事試驗場技師　旅順市吉野町一七官舍　電旅順二九一

君は福井縣士族倉賀野長次郎の長男明治十六年九月七日秋田市に生れ大正十年家督を相續す明治四十二年東京帝大獸醫科を卒業し沖繩長崎各縣技師を歷任後支那青島所在山東藥物研究所技師長となり獸疫血淸製造に從事す大正十二年關東廳技師に任じ前掲諸職を兼ね今日に至る　宗教眞言宗　趣味乘馬水泳繪畫園藝【家庭】母靜（慶應三）妻淑子（明二〇）福井縣人儀峨秀靈二女同縣小濱女學卒　長男忠（明四四）旅順中學卒　長女光子（大二）旅順高女卒神戶女學院在　二女ミユキ（大七）二男孝（大一五）

倉橋豐吉　建築請負業　東京市外馬込町一四二六　電大森三六七八

君は和歌山縣人倉橋丈右衛門の二男明治十七年四月十六日を以て生る夙に渡米しカルホルニヤ大學を卒業後桑港に於て倉橋建築事務所を經營す大正十一年歸朝し引續き建築業に從事し以て今日に至る　宗教基督教　趣味ゴルフ運動【家庭】妻靜（明三三）京都府人能勢安次郎長女神戶女學院卒　長男純一（大一五）長女澄子（大一三）

黑崎三市　北海道炭礦汽船(株)賣炭部總務主任　東京市本郷區丸山福山町二一

君は新潟縣人黑崎吉五郎の男明治廿四年九月十三日を以て生る大正四年東京高商を卒業後直に北海道炭礦汽船會社に入社し札幌支店北海道賣炭所等勤務を經て同十四年本店に轉じ現時本店賣炭部總務主任たり全日本スキー聯盟常務委員にして小樽スキー倶樂部名譽會長たり　宗教眞宗　趣味スキー【家庭】父吉五郎（慶應三）母トラ（明二）妻文子（明二五）長野縣人大野木順一女長野女子師範卒　長男泰朗（大六）開成中學在　長女十三枝（大九）二男文朗（大一一）

黑崎眞也　正五　勳四　山口縣知事　山口市嚴島縣廳內　電山口一

君は山形縣士族五十嵐力助の二男明治十一年五月五日を以て生れ同廿一年先代忠助の養子となり同廿二年八月家督を相續す同卅八年東京帝大法科政治科を卒業直に官途に就き後關東都督府事務官に任じ民政部庶務課長となり大正十三年樺太廳內務部長に同十五年滋賀縣知事に歷任昭和二年之を辭す同四年七月山口縣知事に任ぜられ以て今日に至る【家庭】妻ナヲ（明二一）秋田縣人川井鐵也長女　長男眞人（大四）長女郁（明四五）二女英（大六）

黑澤和雄　三井合名(株)社員　東京市外落合町下落合四六一

君は茨城縣人黑澤善九郎の二男明治十四年一月三日同縣久慈郡坂本村に生る同四十五年東京商大法科獨法科を卒業し大正元年三井合名に入り同社朝鮮支店農林事務所長を經て同十四年同社山林課勤務となり今日に至る　宗教禪宗　趣味旅行釣魚【家庭】兄龜太郎現戶主　妻ミネ（明二四）茨城縣人加山福一姉

黑澤禮吉　勳六　著述業　東京市外澁谷町青葉二一　電青山四五六九

君は秋田縣士族黑澤宗明の長男明治三年六月秋田市に生れ後家督を相續す先代宗明皇漢學に造詣深く勤王を唱へ藩校明德館副館長となり明治二年廢藩と共に私塾天開館を開設す祖父忠兵衛諱宗雄又同藩山林掛として治績あり君夙に東京府中學に學び後米國に航し在留十年其間太平洋大學を卒業す同廿九年歸朝後一時中等教育界に入りしが同卅二年支那稅關の招聘に應じ同地に赴任爾來淸國總稅務司サー・ロバート・ハート秘書官營口稅關長大連支那稅關長岳州蘇州各稅關長等に歷職し大正三年歸朝す現に著述を業とし東京支那公使館支那赤十字社顧問たり著書に英支文「支那歷代皇帝皇后御筆書畫集」あり蘇山と號す日米日佛日露日印各協會東亞同文會汎太平洋會各會員なり　宗教基督教　趣味俳句運動【家庭】妻織子（明二四）東京府人青木正太郎姪跡見女學卒　長男禮太郎（大四）曉星中學在　長女愛子（明四二）東京音樂在　二女禮子（明四四）日本女大在　二男正明（大六）曉星中學在

源田松三　從六　關東廳事務官　財務課長　旅順市高崎町三二官舍

君は廣島縣人源田春七の男明治廿二年十月一日を以て生る大正十二年東京帝大法學部政治科を卒業後大藏省に奉職理財局國庫課に勤務す尋で札幌稅務署長となり昭和二年一月關東廳事務官に任じ現時財務局財務課長たり　宗教眞宗　趣味庭球【家庭】父春七（明一〇）妻ノブ子（明四二）山口縣人宇都宮武雄三女廣島市立高女卒　長男一夫（昭三）長女正惠（昭二）

小泉吉道　日本徵兵保險(株)契約課長　東京市四谷區東信濃町一〇

君は東京府人小泉吉彥の長男明治卅二年十一月十五日東京市に生れ同四十四年家督を相續す大正十三年東京帝大經濟學部を卒業し直に日本徵兵保險會社に入社し現に同社契約課長たり　宗教基督教　趣味旅行讀書【家庭】妻香代子（明三七）東京府人猪俣吉平九女聖心女學院卒

小岩井貫榮　淺草寺營繕局長　天台宗精查局員　遍照院住職　東京市淺草區聖天橫

町二七　電淺草三七七九
君は埼玉縣の人明治元年四月十四日を以て生る十三歳の時中院に入り同廿年上野洞院に同廿三年遍照院に入る現時同院住職にして傍ら前記の職にあり　趣味讀書【家庭】妻ミキ（明一四）山形縣人西澤德藏女　長男尭眞（明三四）天台宗大學修　二男尭貫（明三七）同大學卒

小島　文藏　東都電球製造業組合幹事　小島電球製作所主　東京市麻布區六本木町六　電青山三四九一
君は神奈川縣人小島喜代藏の四男明治廿五年九月十九日を以て生れ後分家す夙に東京電氣會社に入り大正六年獨立小島電球製作所を創設しタカ印電球の製作を爲し今日に至る傍ら東京電球製造業組合幹事に擧げられ六本木町會幹事東京市聯合青年團麻布分團六本木顧問兼評議院を兼ぬ　宗教禪宗　趣味茶花卉【家庭】母やす（元治元）妻かね（明二三）東京府人野村新次郎二女　長男富重（大一〇）長女ふみ子（大四）二男高文（大一四）二女ひさゑ（昭二）

小島　與藏　東株一般取引員桐山商店員　東京市赤坂區青山北町六ノ三二
君は廣島縣人小島淺吉の長男明治廿三年七月十九日廣島市に生る大正五年慶應義塾理財科を卒業後大阪に於て株式賣買業に從事し同十五年桐山商店に入り以て今日に至る　宗教眞宗　趣味運動【家庭】父淺吉（元治元）現戸主　母つる（慶應二）妻八重子（明三三）廣島縣人佐伯政吉長女廣島高女卒　長男英二（昭三）長女綾子（大九）

小竹　保治　猿若町會副會長　猿若町青年團團長　小竹ゴム工業所主　東京市淺草區猿若町二ノ八　電淺草五六一六
君は石川縣人小竹重三郎の三男明治廿三年九月九日金澤市に生れ同四十四年家督を相續す夙に縣立小松中學を卒業後上京直に陸軍航空隊に入隊除隊後龜戸帝國ゴム製造所に入る大正三年獨立開業し以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味謠曲【家庭】妻けい子（明三一）東京府人宮山彌五郎三女　長男民彦（大一一）長女時子（大一二）二女弓子（昭元）三女まき子（昭三）

小中　公毅　正六　判事　東京地方裁判所部長　千葉市寒川町一四七九
君は京都府人小中政右衛門の六男明治廿三年三月十日を以て生れ後分家す大正六年東京帝大法科を卒業し司法官試補となり後判事に任ぜられ大阪神戸洲本各裁判所判事東京控訴院判事を經て昭和五年東京地方裁判所長に轉じ今日に至る　宗教基督教　趣味讀書旅行【家庭】妻千賀子（明三二）京都府人寺田淺吉二女千葉高女卒　長男正文（大一一）二男公平（大一三）

小西　善造　石鹸製造業　神戸市二宮町一ノ二ノ五九　電葺合一七八〇
君は兵庫縣人井上善治郎の三男明治十七年四月を以て生れ同廿四年先代よしの養子となり家督を相續す同廿七年獨立小島電球製作所を創設しタカ印電球の製作を爲し今日に至る傍ら東京電球製造業組合幹事に擧げられ六本木町會幹事東京市聯合青年團麻布分團六本木顧問兼評議院を兼ぬ　宗教禪宗　趣味茶花卉【家庭】母やす（元治元）妻かね（明二三）東京府人野村新次郎二女　長男富重（大一〇）長女ふみ子（大四）二男高文（大一四）二女ひさゑ（昭二）

小林　郁　從六　拓殖大學教授兼學務部長　東京市小石川區茗荷谷町三二
君は東京府人小林謙一郎の長男明治廿三年七月十九日廣島市に生る大正五年慶應義塾理財科を卒業後大阪に於て株式賣買業に從事し同十五年桐山商店に入り以て今日に至る　宗教眞宗　趣味運動【家庭】父淺吉（元治元）現戸主　母つる（慶應二）妻八重子（明三三）廣島縣人佐伯政吉長女廣島高女卒　長男英二（昭三）長女綾子（大九）

小林　珠子　生活改善調査委員　女子高等教育振興會調査委員　東京婦人會櫻風會代表委員　東京市外高田町雜司ヶ谷三一〇　電牛込二九四
女史は新潟縣の人明治十五年十一月三日同縣三島郡に生る夙に女子學院を經て同卅八年日本女子大學英文科を卒業し長岡高女教諭日本女子大學講師等に歴任し大正十三年米國シャトル兒童保護教育視察の爲出張す現に生活改善調査委員たる外前掲諸職に在り　宗教禪宗　趣味讀書音樂服裝改善研究【家庭】夫儀一郎（明一一）長男義明（大五）立教中學在　二男義明（大六）東京市立一中在　三男義治（大八）長女璧子（明四三）日本女大英文科修　二女待子（明四五）同校在　三女篤子

小林　采男　從五　課長　東京市外代々幡町代々木初台一四一四
君は奈良縣人小林藤右衛門の長男明治廿三年九月九日金澤市に生れ同四十四年家督を相續す夙に縣立小松中學を卒業後上京直に陸軍航空隊に入隊除隊後龜戸帝國ゴム製造所に入る大正三年獨立開業し以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味謠曲【家庭】妻けい子（明三一）東京府人宮山彌五郎三女　長男民彦（大一一）長女時子（大一二）二女弓子（昭元）三女まき子（昭三）

小林　贊治　醫博　診療所長　東京市赤坂區檜町四
君は兵庫縣人野竿源藏の二男明治廿八年二月五日を以て生れ大正十五年絕家小林家を再興す同九年京都帝大醫學部を卒業し同大學副手助手講師等を經て京都市技師に任じ衛生試驗所に勤務を命ぜられ現時東京市技師電氣局有樂町診療所長たり大正十五年醫學博士の學位を授けらる　趣味柔道劍道ボート旅行【家庭】妻貞子（明三九）太田垣隆準三女豐岡高女京都女子專門學校各卒　長男典夫（昭四）長女操（昭二）

小林　善剛　三井銀行（株）營業部調査係長　東京市外高井戸町大宮前三五五
君は東京府人小林周善の二男明治廿六年十二月十六日を以て生れ後分家す大正四年慶應義塾理財科を卒業同年三井銀行に入社横濱支店詰丸ノ内支店庶務調査貸付各係長大阪支店調査貸付各係長等に歴勤昭和三年歐米を視察し同五年本店營業部調査係長となり今日に至る　宗教禪宗【家庭】妻靜枝（明二七）東京府人高梨萬造二女跡見女學卒　長男道雄（大九）長女愛子（大五）立教高女在　二女美枝子（大一四）三女洋子（昭三）

小林　保治　辯護士　東京市下谷區御徒町三ノ六九　電下谷七二五五
君は愛知縣人小林忠治の長男明治廿五年一月十日同縣北設樂郡豐根村に生れ大正八年家督を相續す同十一年中央大學法科を卒業後內閣恩給局囑託となり同十三年司法科試驗に合格し名古屋市に於て辯護士を開業せしが昭和五年二月現地に移轉專ら行政事件を取扱ひ以て今日に至る　宗教禪宗　趣味撞球【家庭】母さとゑ（明一二）妻文（明三六）愛知縣人菅沼忠人長女淑德女學卒　長女美代子（大一五）

小林米太郎　左官工事請負業　東京市京橋區築地一ノ三　電京橋一六〇九
君は栃木縣人丸田政吉の四男明治卅三年八月三日宇都宮市に生れ先代米太郎の養子となり昭和四年家督相續と共に襲名し前名留吉を改む大正八年工手學校建築科を卒業し大林組に入り五ヶ年勤務後昭和四年養父の遺業を繼承す爾來大倉土木會社大林組を主なる得意先とし左官工事請負業を營み現在に至る　宗教日蓮宗　趣味旅行【家庭】妻母よね　妻とめ（明三七）長女芳子（大一四）二女貞子（昭二）

小牧　喬定　成女高等女學校副校長　東京市外千駄ヶ谷町五〇一　電青山二二五七
君は靜岡縣人小牧辰藏の五男慶應元年九月五日を以て生れ明治五年家督を相續す夙に哲學館に學び名古屋高等女學校三重縣立第二中學校日本女子商業學校各教諭を經て同四十五年成女高等女學校に轉じ現時同校副校長たり　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】妻錠（明一一）愛知縣人水野金次郎姉　養子政之助（明三二）東京府人遊馬榮藏二男東京高工電氣化學科卒資生堂在勤　長女藤世（明三三）養子政之助妻三島高女卒　同長男力藏（大一四）同二男勇藏（昭四）二女富江（明三六）千代田高女日本女子商業高等科各卒

小松傳一郎　辯護士　東京市外南千住町一ノ一九　電淺草四九六七（事務所）芝區愛宕町三ノ一　電芝二五七四
君は長野縣人小松金八の長男明治十九年十一月十八日同縣上伊那郡高遠町に生る鄉里に於て小學校教員中等學校教員等を歴任し大正十一年司法科試驗に合格し辯護士を開業して今日に至る傍ら三ノ輪町會顧問たり養に區劃整理委員副議長たりし事あり　宗教眞言宗　趣味謠曲讀書【家庭】母きせ（慶應三）妻みつ（明三〇）長男讓一（大一二）二男二郎（大一五）妹はつゑ

小村　俊一　衆議院議員（宮崎縣選出）　斗南新聞社長　宮崎縣南那珂郡飫肥町板敷　電三三
君は宮崎縣士族小村壽平の長男明治廿一年九月卅日同縣南那珂郡飫肥町板敷に生れ大正七年家督を相續す夙に東京高商に學び後父を補けて林業に從事す大正九年斗南新聞社長に就任現に其任に在り養に町會議員たる事二回又郡會議員たり那珂郡電氣組合會議員同郡林產組合長となり昭和二年宮崎縣會議員に當選し現に立憲民政黨に屬す　宗教眞宗　趣味運動【家庭】妻靜子（明二七）宮崎縣士族安井小太郎三女華族女學卒　妹孝子（明二八）鹿兒島女子職業卒　妹なみ（明三二）宮崎縣立高女卒　妹千葉縣人東京帝大法科卒臺灣銀行員本橋兵太郎に各嫁す

小柴與三郎　二本榎町會長　若松印刷所　印刷業　東京市芝區二本榎町二ノ七　電高輪九七四
君は兵庫縣人大熊茂吉の三男明治十年十月十三日同縣に生れ先代忠吉の養子となり同卅九年家督を相續す夙に三木鴻泉に就き繪畫を學ぶ同卅四年若松印刷所に入り現時同所を總營印刷業を營む　宗教眞言宗　趣味繪畫義太夫【家庭】妻るい（明一三）養父忠吉二女神戸高女卒　養子熊市（明三〇）大熊忠藏長男正則中學卒　同妻八重子（明三五）同長男治男（大一四）二男一男（明四三）早大文學部英文科在　三男忠男（昭二）

小柳　雪生　正七勳六　副領事　ベトロパウロフスク領事館領事代理　札幌市南十三條西八丁目五六
君は熊本縣人小柳德次の二男明治十二年八月廿一日東京市神田區に生れ後分家す同四十年東京帝大工科電氣科を卒業し日本電線會社技師長日本電池工業會社工務部長第一自動車相互會社監査役等を經て同八年小山工務所を興して辨理士を開業以て今日に至る傍ら明治四十年東京外國語學校露語科本科を卒業後哈爾賓駐在大阪朝日新聞社通信部記者となり大正三年外務省に奉職哈爾賓領事館勤務となり現時ベトロパウロフスク領事館領事代理たり　宗教眞宗　趣味油繪尺八【家庭】妻信子（明三三）北海道人東田次信長女札幌高女卒　長男紳一（大五）北海中學在　二男英二（大七）三男和生（昭二）

小山　一德　從五勳六　朝鮮總督府京城高等工業學校教授兼生徒監　朝鮮總督府中央試驗所技師　京城府東崇洞官舍四號館　電光化門一六四八
君は岡山縣人小山佐文二の甥明治十九年一月十日を以て生る同四十四年東京帝大工科應用化學科を卒業し磐城セメント技師同製造課長を經て大正二年朝鮮總督府中央試驗所技師兼工業傳習所技師に任じ同五年京城工業專門學校教授兼中央試驗所技師となり同十年歐米各國に出張を命ぜられ翌十一年朝鮮總督府京城高等工業學校教授兼同中央試驗所技師に任じ今日に至る　宗教眞宗　趣味運動【家庭】叔父左文二（明三）現戸主陸軍士官學校教授　同妻タキ（明一八）島根縣人湯川健之助三女及其子女　妻喜代（明二九）岡山縣人有森新吉長女神戸親和高女卒※小山左文次の項參照

小山　榮三　東京帝國大學文學部副手　同大學幡通り二ノ二七　電青山六四六三
君は東京府人久保與三郎の三男明治廿二年三月十二日北海道に生れ後小山秋作の養子となり家督を相續す大正十三年東大文學部社會學科を同十四年同大法學部政治學科を各卒業し直に研究室に入り大學囑託となる現時東大文學部副手たる外同大學新聞研究部員たり養に調査の爲南洋に出張す著書に「人種學總論」あり　宗教眞宗　趣味旅行【家庭】養母光衛（明一二）妻佐和子（明三八）養父秋作二女學習院女學部卒　長男昭元（昭四）

小山　憲次　發明學校長　小山工務所長　辨理士　フスク領事館領事代理　札幌市南十三條西八丁目五六
君は熊本縣人小山初太郎の二男明治廿二年八月廿一日東京市神田區に生れ後分家す大正六年東京帝大工科電氣科を卒業し日本電線會社技師長日本電池工業會社工務部長第一自動車相互會社監査役等を經て同八年小山工務所を興して辨理士を開業以て今日に至る傍ら明治四十年東京外國語學校露語科本科を卒業後哈爾賓駐在大阪朝日新聞社通信部記者となり大正三年外務省に奉職哈爾賓領事館勤務となり現時ベトロパウロフスク領事館領事代理たり　宗教眞宗　趣味油繪尺八【家庭】妻信子（明三三）北海道人東田次信長女札幌高女卒　長男紳一（大五）北海中學在　二男英二（大七）三男和生（昭二）

五年發明學校を創立し現に同校長たり　宗教禪宗　趣味セロゴルフ【家庭】妻百合子（明三三）元山形縣會議員阿曾伊惣治二女山形縣立高女共立女子職業各卒　長男祐一（大一〇）長女滿里子（大一二）二男明（大一二）三男徹（大一四）四男悟（昭三）妹俊子（明三九）精華高女卒

小山朝佐　從五　南滿洲工業專門學校長　大連市聖德街四ノ一五　電九四六九

君は東京府人小山朝寛の二男明治十二年一月十九日東京市神田區に生る同卅六年東京帝大工科電氣科を卒業し爾來東京電車鐵道名古屋電氣鐵道名古屋電力名古屋電燈愛知電氣鐵道函館水電釜石鑛山鑛業所等に歷勤大正九年米澤高工教授に任じ同十二年南滿洲工業專門學校教授に轉じ同十四年九月同校長に就任以て今日に至る　宗教眞宗　趣味弓【家庭】妻シヅコ（明二〇）山口縣士族木梨金一二女淑德女學卒　長男朝治（明三九）工學士　長女富美子（明四四）女子高等學園在　二女喜美子（昭二）二男武二（明四一）山口高校在は木梨金一の養子となる

小山松次郎　建築請負業　東京市下谷區下根岸町五七　電下谷四三八七

君は東京府人瀧谷嘉右衞門の二男明治十一年十一月十日を以て生れ後小山家に入る夙に小山工務所を創立し建築請負業を營み今日に至る曩に日露戰役に出征せり　宗教眞宗　趣味書畫骨董【家庭】妻フサ（明一五）東京府人大和佐助長女　長男昇（明四一）早大卒　二女志津江（明三八）三男博（明四五）東京保善商業修　四男進（大五）順天中學在　三女はる江（大九）四女喜美（大一四）長女ます子（明三五）上野高女修は北島金之助に嫁す

古池與吉　陶器商　家主　東京市日本橋區蠣殼町三ノ一三　所得稅二一五　電浪花二七八七

君は東京府人先代源四郎の長男明治十五年十二月五日東京に生る同四十年陶器商を創め現在に至る曩に東京陶磁器同業組合副組長に擧げられ現に町會相談役たり　宗教佛教　趣味旅行【家庭】妻アイ（明二二）養子勇（大二）東京高校在

古泉德子　本郷區同業者組合長　結髮聯合會幹事　結髮競技調査委員　東京美容學會々長　美容結髮業　東京市本郷區東片町八四　電小石川六四八九

女は福島縣人伊東廉藏の長女明治十六年四月十六日同縣相馬郡中村町に生れ後古泉姓を冒し大正十一年家督を相續す夙に同縣双葉郡富岡補習學校を經て大正三年高木美容學校を卒業同年東京美容學會を創設し其會長となり同九年結髮聯合會を組織同十年其幹事に擧げらる現時東京美容學會々長たる外前記の職に在り　宗教神道　趣味讀書音樂【家庭】嗣子光一（明三四）日本醫大卒石川島療養所勤務　同妻茂子（明三八）福岡縣人岡村久萬太郎長女同縣立博多高女卒　同長男元清（大一五）同長女光子（大一四）二女君子（明三八）錦秋高女福島縣師範各卒は高師卒高田通に嫁す

古島安一　東邦電力（株）理事　名古屋棧橋倉庫（株）社長　矢作開墾（株）常務　日本自動車道（株）專務　伊豆水力電氣　河津川水力　三信鐵道　新潟電氣各（株）取締　東京市外落合町下落合三六七　電大塚三九二六

君は新潟縣人山崎正八の二男明治十五年一月を以て生れ後先代理策の養子となり同四十年家督を相續す同卅八年早大專門部政治經濟科を卒業し現に名古屋棧橋倉庫會社々長たる外前記各會社の重役たり【家庭】妻ヨシ（明一七）新潟縣人玉川覺平長女　長男信（明四四）長女絢子（大三）二女麗子（大六）四男淸（大一一）

古茂田甲午郎　從六　東京市技師　土木局學校建築掛長　所得稅五〇　東京市外瀧野川町西ケ原六五

君は茨城縣人にして明治廿七年十月九日を以て生る大正八年東京帝大工學部建築科を卒業し直に文部省大臣官房建築課に入り大正十三年東京市に轉じ土木局建築課技師となり現時學校建築掛長たり曩に歐米を視察す　宗教神道　趣味運動美術

後藤末雄　慶應義塾大學　立教大學各教授　東京市本郷區彌生町三はノ三號

君は東京府人後藤吉五郎の六男明治十九年十月廿五日を以て生れ後分家す大正二年東京帝大文科佛文科を卒業同三年陸軍教授に任ぜられ陸軍士官學校に勤務す同八年慶應義塾大學教授となり立教大學教授を兼ね今日に至るロマン・ロオランの大作「ジャン・クリストフ」の飜譯あり　宗教日蓮宗　趣味東西文化研究及將棋【家庭】妻芳子（明三三）東京女高師附高女卒　嗣子淑（大一二）

後藤田千一　峰須賀侯爵家寶物整理者　東京市牛込區下宮比町五　電牛込一〇七三

君は德島縣人後藤田眞之助の長男明治十一年八月十二日を以て生れ同十九年家督相續す中學校卒業後四國銀行取締役德島水力電氣阿波電氣軌道各社長を歷任す昭和四年峰須賀侯爵家寶物整理方となり今日に及ぶ　宗教眞言宗　趣味書畫骨董謠曲【家庭】妻なか（明一一）德島縣人天羽俊二五女　長男利夫（明四二）東京帝大法科在　長女幸子（明四一）德島縣立高女卒　二男正明（明四五）東京市立二中在　二女弘子（大三）東京府立第二高女在　三男實夫（大五）東京市立一中在

後町禎一　小間物問屋　東京市日本橋區横山町二ノ一〇　電浪花四八一七

君は長野縣人後町春吉の長男明治廿三年四月廿五日同縣上諏訪町に生れ大正十年家督を相續す夙に徒弟に入り小間物商を見習ひ同六年獨立創業して今日に至る　宗教淨土宗　趣味釣魚【家庭】父春吉（文久元）妻濟枝（明二五）長野縣人若泉乙司女　長男英男（大九）

肥塚源次郎　長崎紡織（株）社長　南海鐵道（株）取締　日本生命保險（株）監査　肥塚商店　肥塚同族（名）代表社員　堺市熊野町西一ノ一六　電堺五二

當家は代々長崎市に在りて酒問屋を渡世とし同地屈指の老舗たり君は長崎縣人肥塚與八郎の長男同慶之助の兄慶應二年十一月を以て生れ大正十年家督を相續す祖業を繼ぎて酒造業を營み前記會社の重役たり　趣味謠曲書畫骨董【家庭】母りゥ（嘉永二）妻コノ（慶應三）男源一郎（明一七）同妻とめ（明二一）大阪府人宅德平養子愛知縣人奧田正吉妹　同長男榮一（明四三）同二男安雄（大三）同三男文雄（大四）同四男行雄（大一二）同長女光子（明四四）同二女孝子（昭二）女サキ（明一九）男儀三郎（明二四）慶大卒肥塚商店員　同妻ひさ（明三一）大阪府人市居久吉二女　同長女和子（大一二）同二女佳子（大一四）同長男守雄（昭二）

女イト（明二六）大阪府立堺高女卒　男篤次（明三二）早大卒　男俊三（明三五）立教大學卒　男悅三（明三七）男季雄（明四〇）二男宗次（明二一）肥塚商店東京支店支配人は分家す

肥塚宗次　正八　在郷陸軍歩兵少尉　肥塚商店（名）東京支店支配人　銘酒都菊發賣元　所得稅七八　東京市外千駄ケ谷町穩田一九　電青山五九二八　（店舖）京橋區本材木町三ノ一四　電京橋一三四〇

君は長崎縣人肥塚商店代表社員肥塚源次郎の二男明治廿一年一月廿三日堺市に生れ大正十四年分家す明治四十一年大阪明星商業學校を卒業後一年志願兵として第十八師團歩兵第四十六聯隊に入營歩兵少尉に任ぜられ同四十二年肥塚商店東京支店支配人となり今日に至る銘酒都菊福壽歡菊等の發賣元たり【家庭】妻きみ（明二八）東京府人佐藤茂兵衞妹東京府立第一高女卒　長女宏子（大一四）

上妻理人　從五　臺灣總督府專賣局技師　製造課長　臺灣臺北市兒玉町一ノ七　電臺北三四九四

君は東京府人上妻常松の二男明治廿二年十月二日を以て生る大正五年東京帝大林學部を卒業し臺灣總督府に奉職現時前記の官職にあり昭和二年歐米各國に樟腦調査の爲出張す　宗教眞宗　趣味運動【家庭】父常松（嘉永二）現戶主　母ケサ（安政四）妻哲子（明二六）神奈川縣人長尾折三長女高松高女卒　長男常英（大七）二男尚志（大一三）長女倫子（大一〇）

上郎やす　浦島保育院長　横濱市中區南太田町二一三三　電長者町一二〇一

女史は神奈川縣人上郎幸八の長女にして同縣多額納稅者同新二の姉なり明治七年二月廿一日横濱市中區に生れ後同縣人吉田三郎兵衞の弟清助を迎へて夫とす女夙に社會公共に盡すところあり横濱佛教日曜學校長佛教婦人會横濱市部副會長神奈川縣社會事業協會理事横濱市婦人自助會評議員横濱靈和會々長横濱市方面委員横濱孤兒院理事浦島佛教日曜學校長等に擧げらる現時浦島保育院長たり　宗教眞言宗　趣味讀書社會事業財團法人【家庭】※上郎清助の項參照

香坂昌康　正四勳三　岡山縣知事　岡山市弓之町官舍

君は山形縣士族香坂昌邦の長男明治十四年二月を以て生れ同十九年家督を相續す同四十一年東京帝大法科佛法科を卒業文官高等試驗に合格し千葉縣屬に任じ爾來內務屬愛媛縣事務官同縣理事官岡山熊本各縣警察部長秋田埼玉各縣內務部長を經て大正十三年福島縣知事に任ぜられ翌年愛媛縣知事に轉じ昭和二年之を辭し閑地に在りしが同四年七月岡山縣知事に任ぜられ以て今日に至る【家庭】妻郁江（明二二）東京府人西脇晉養妹　長男隆昌（明四四）長女愛子（明四五）二男龍彥（大五）五男昌武（大一一）

厚東禎造　從四勳三　在郷陸軍少將　東京牛込市谷谷町六八　電四谷三八〇〇

君は東京府人厚東吉太郎の長男明治六年五月十五日山口縣に生れ後家督を相續す同廿六年東京帝大工科電氣科を卒業し陸軍に奉職大正八年陸軍少將に累進す其の間陸軍技術審査部員中央電信隊附青島守備軍通信部員等歷補同八年砲兵工廠技師に任じ次で臺灣總督府囑託たりしが昭和四年辭任す　宗教眞宗【家庭】妻セン（明一〇）岩城信太郎妹　長男正造（明三三）慶大卒岐阜縣廳勤務　同妻磯子東京府人前田豐作長女荻女學卒　同長男昭元（大一四）同長女邦子（大一三）同二女佐喜代（昭五）

高津啓一　日本電力（株）秘書課長　所得稅一九四　大阪府三島郡新田村下新田三ノ一　電吹田七二

君は明治廿二年十月十七日愛知縣知多郡武豐町に生る大正八年京都帝大法科英法科を卒業直に日本電力會社に入社同十二年庶務課長となり昭和三年秘書課長に進み今日に至る　趣味旅行【家庭】妻靜子（明二七）松山高女卒　長男寛治郎（大一〇）二男正祐（大一四）三男秀剛（昭二）

駒井勝藏　ポリドール蓄音器（株）顧問　興行師　蓄音器商　東京市淺草區田島町八八　電淺草四九七九

君は東京府人油兩替屋駒井定七の四男明治十四年十二月神田區富松町に生れ後分家す夙に興行界に入り現時興行師にして傍ら蓄音器商を營む　宗教眞宗【家庭】妻すい子（明一八）長男唯一（明四四）東京商工學校建築科卒

近藤早一　芝浦製作所（株）技師　所得稅一四二　東京市外千駄ケ谷町原宿一七〇ノ一七　電青山二五六二

君は愛媛縣人近藤元吉の三男明治廿年一月廿五日同縣に生れ昭和四年分家す明治四十五年東京帝大工科電氣科を卒業し芝浦製作所に入り現時同社技師にして檢查掛たり　宗教禪宗【家庭】妻とみ（明二九）宮崎縣人淸原眞劍五女實踐女學卒　長男篤（大八）長女敏子（大四）東洋英和女學在　二男務（大一〇）二女淑子（大一二）三女壽子（昭三）四女章子（昭五）

近藤久男　春泉堂（株）社長　南海書院（株）專務　所得稅五六　東京市小石川區戶崎町三　電小石川一五八四

君は岡山縣人近藤千賀造の五男明治廿二年八月廿九日を以て生る大正十一年中央大學を卒業後南海書院を經營し昭和三年更に春泉堂を創立翌年株式組織に改め社長に就任し現に其任にある外南海書院專務取締役たり　宗教日蓮宗　趣味散步【家庭】兄彌壽太現戶主　妻德（明二五）兵庫縣人藤本吉助五女兵庫縣立高女卒　長女綾子（大二）佛英和女學卒日本女大家政科在　二女和子（大八）

近藤保業　從六勳六　通信事務官　東京中央郵便局外國郵便課長　東京市外代々幡町代々木上原一〇九七　電四谷四一七〇

君は兵庫縣人近藤幸衞の長男明治十八年十月廿一日を以て生れ後家督を相續す夙に遞信官吏練習所を卒業し直に遞信省郵務局に入り長崎敦賀各郵便局に歷勤し現に東京中央郵便局外國郵便課長たり【家庭】妻キミ子（明二五）武田光五郎長女　長男保正（大六）青山學院中學部在　二男保平（大九）三男保久（大一二）長女すゞ子（昭二）

近藤龍　正七　藥博　東京衞生試驗所技師　東京市外巢鴨町巢鴨平松一五二二

君は愛知縣士族近藤銑太郎の長男明治卅年四月十七日を以て生れ後家督を相續す大正十年東京帝大藥學科を卒業し同大學藥學科教室助手となり昭和三年東京衞生試驗所技師に轉じ今日に至る同四年藥學博士の學位を

補遺

授けらる　宗教淨土宗　趣味音樂【家庭】妻實（明三六）愛知縣人寺田松次郎二女岡崎高女卒　長男武（昭四）長女婦美子（大一四）

佐々茂雄　從四勳三　北海道帝國大學附屬水產專門部教授兼主事　札幌市南四條西一四丁目

君は北海道士族佐々俊雄の長男明治七年十月十二日北海道有珠郡伊達町に生れ同四十三年家督を相續す同卅一年札幌農學校を卒業し爾來福島縣豐津中學校教諭愛媛縣西條中學校教諭同教頭北海道廳技師を歷任し同四十一年北海道帝大附屬水產專門部教授となり大正九年同主事を兼ね今日に至る　宗教基督教　趣味音樂【家庭】妻辰（明一三）高知縣人依田寬正長女札幌北星女學卒　嗣子保雄（明四〇）理學士北海道帝大助手

佐々木一也　西應寺住職　東京市四谷區南寺町二七　電四谷四七二五

君は東京府人白尾巖雄の長男慶應二年十二月十三日東京市淺草區に生れ後佐々木祐寬の養子となり家督を相續す夙に內閣官房拓務局杵築中學校教諭參謀本部囑託等に歷勤し後德本寺住職となり明治卅五年西應寺住職に轉じ今日に至る　宗教眞宗大谷派　趣味漢詩【家庭】妻タカ（明一四）神奈川縣人伊藤大忍長女　長男寬英（明三一）東洋大學修　同妻トミ（明四二）東京府人青山淸造長女　女勢子（明三九）山脇高女卒　男英華（大八）男英與（大一三）女信子（明四四）千代田高女卒は東京府人座古金次郎に嫁す

佐々木高行　東京鋼材建築（株）專務　土木建築請負業　東京市赤坂區青山高樹町一四　電青山一八五二

君は鹿兒島縣人佐々木稽吉の三男同盛重の弟明治廿一年鹿兒島市に生る大正六年早稻田大學理工科建築科を卒業後關東廳土木局技師たりしが同九年之を辭し土木建築請負業志岐組に入り設計係長となり尋で大連出張所主任に轉ず同十二年土木建築請負業を創め同十五年東京鋼材建築會社專務取締役に就任し以て今日に至る　宗教神道　趣味旅行讀書【家庭】妻靜香（明三二）鹿兒島高女卒　長男重行（大一二）長女行江（大九）二女擲江（大一一）三女小夜子（大一四）

佐竹大雄　本願寺帝都復興委員　龍谷大學評議員　眞宗本願寺派關東總代　千代田女子專門學校　齊修會各理事　本願寺布教師　東洋大學講師　六華園主　正見寺　稱福寺各住職　東京市外中野町一八二八　電中野二九五〇

君は福岡縣人佐竹暢響の二男明治九年七月廿一日同縣遠賀郡中間町に生れ同卅九年分家す夙に本願寺大學林東京哲學館等を卒業同卅年十二月得度し同卅五年教悔師となり大正十年東洋大學講師を囑託せられ昭和二年本願寺布教師に任ぜらる現時正見寺住職にして傍ら前揭諸職に在り　宗教眞宗　趣味篆刻【家庭】妻さく（明一二）福井縣士族德山竹次叔母　嗣子圓照（大三）福岡縣東筑中學在

佐藤恕一　南滿洲鐵道（株）工作課長　大連市楓町一三　電大連七七九一

君は兵庫縣人佐藤秀廣の二男明治十六年四月九日を以て生れ後家督を相續す同四十二年東京帝大工科機械科を卒業し南滿洲鐵道株式會社に入り爾來累進して現時同社工作課長たり曩に米國に出張を命ぜられ大正八年歸朝す　宗教眞宗　趣味圍碁【家庭】妻辰尾（明一五）福井縣人加賀山學妹

佐藤信一　三井物產（株）社員　千葉縣東葛飾郡明村向山下四七三

君は長野縣人佐藤僖愷の長男明治廿五年七月廿五日同縣に生れ大正十四年家督を相續す同四年東京高商を卒業し三井物產會社に入り上海支店勤務を經て同十三年本店石炭部勤務となり今日に至る　宗教日蓮宗　趣味文學美術讀書旅行魚釣【家庭】母タネ（文久二）妻直枝（明三二）東京府人眞木鏘吉長女双葉高女卒　長女一枝（大一一）二女雅子（大一四）

佐藤保　佐藤保商店　地金問屋　所得稅五〇　東京市神田區柳町四　電浪花六五一六

君は千葉縣人佐藤壽三郎の長男明治廿一年一月廿日同縣香取郡大須賀村に生る同四十五年東京府師範を卒業し大正十二年地金問屋を創業今日に至る　宗教天台宗【家庭】父壽三郎現戶主　妻ふさ（明二九）長男千壽（大七）長女文子（大九）二女節子（大一二）三女直子（昭四）二男久壽（大一四）三男正壽（昭二）

佐藤貞一　日本郵船（株）貨物課次長　東京市小石川區表町一〇九　電小石川二二七五

君は栃木縣人佐藤貞三の長男明治廿年八月十五日を以て生る同四十五年早大商科を卒業直に日本郵船會社に入り神戶新嘉坡各支店副長を經て現時同社貨物課次長たり　宗教淨土宗【家庭】父貞三（嘉永六）母はる（慶應元）妻修子（明二六）鳥取縣人永井周芳二女弘前高女青山女學院各卒　長男正孝（大六）京華中學在　長女義子（大四）淑德高女在　二男久也（大七）三男直彌（大九）二女富佐子（大一一）四男延哉（大一三）弟桂次（明二八）早大理工科卒

佐藤文一　研究社（株）取締兼營業部長　東京市外杉並町高圓寺五四一

君は新潟縣人佐藤仁一郎の三男明治廿四年十一月四日同縣に生れ後分家す同四十五年研究社に入社大正十二年營業部長に轉じ昭和二年同社取締役となり現在に至る　宗教眞宗　趣味讀書禪【家庭】妻きゆ（明三〇）新潟縣人佐藤尙藏長女　長男誠（昭四）長女富美子（大一三）二女和子（昭二）

佐藤由吉　山藤商會主　アスベストセメント並ベストライト製造發賣元　東京市外蒲田町北蒲田三〇五　電蒲田四五（營業所）日本橋區本石町三ノ一九　電日本橋三〇八七

君は大分縣人佐藤彌吉の長男明治廿一年六月廿五日大分市に生れ後家督相續す夙に大分市立中學を卒業し大正六年大分日々新聞社東京支局に勤務次で日本建築紙工會社北海道出張所長に轉じ同九年之を辭し日本橋區三枝商會に入り建材部主任となる同大正二年獨立して山藤商會を設立し石綿入液体アスファルトアスベストセメントベストライトの製作販賣を創め今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁【家庭】妻こと（明二三）長男義博（大一一）長女八千代（大一〇）二女久子（大一四）

佐藤良文　日本郵船（株）船客課副長　東京市外杉並町高圓寺六一九

君は山口縣士族佐藤文亭の男明治廿二年六月十八日同縣阿武郡彌富村に生る同四十三年東亞同文書院を卒業し後同校助手となり大正三年日本郵船會社に入社上海シャトル各支店に歷勤後本社に轉じ現時同社船客課副長たり　宗教基督教　趣味園藝【家庭】妻梅野（明三

一）岡山縣人高田浦吉五女

佐藤林藏　東洋生命保險（株）徵收課長　所得稅六一　東京市外中野町中野三三三五　電中野二三七〇

君は福島縣人佐藤福藏の三男明治十一年六月十四日同縣に生る同卅八年東京物理學校を卒業し大正二年東洋生命保險會社に入り同社徵收課長となり今日に及ぶ傍ら東京物理學校常議員を兼ねアクチュアリー會々員たり　宗教日蓮宗【家庭】妻あい（明一六）和歌山縣士族紀川宗明長女東京女高師卒　男一郎（明四一）工學士遞信省研究所勤務　長女郁子（明四二）東京女師專攻科卒　二男二郎（明四四）一高在

佐野保太郎　從五勳六　文部省圖書監修官　東京市外澁谷町伊達八九

君は兵庫縣人佐野虎之助の長男明治廿年十月卅日を以て生る同四十四年東京帝大文科國文科を卒業更に大學院にて研究を積む後文部省囑託陸軍教授山形高校教授等に歷任し大正十一年四月文部省圖書監修官となり傍ら國士館專門學校講師を兼ね今日に至る　宗教曹洞宗　趣味旅行【家庭】父虎之助（元治元）母コウ（慶應三）妻光江（明二七）兵庫縣人吉田喜一郎長女神戶親和高女卒　長男厚（大一三）長女寬子（大四）聖心女學院卒　二男恭二（大一四）三男謙三（昭三）

齋藤伊太郎　齋藤組　土木建築請負業　東京市本所區向島請地四六　電墨田六四一

君は山梨縣人齋藤喜三郎の二男明治廿年一月九日同縣に生る大正十二年土木建築請負業を創業今日に至る　宗教禪宗　趣味書畫骨董刀劍【家庭】妻いし（明三一）長男喜太郎（昭四）女八重子（大三）千葉家政高女在

齋藤九一　三協エレベーター（資）社員　東京市外澁谷町上智四一

君は愛知縣人齋藤咲藏の三男明治廿一年十二月一日を以て生る夙に海軍工廠に入り大正八年電氣器具販賣業を營む次で小川商事米國貿易各株式會社に歷勤昭和四年三協エレベーター合資會社に入社し以て今日に至る　宗教眞宗　趣味運動【家庭】妻かつ（明二七）千葉縣人平松たか養妹　長男哲也（大一二）長女君子（昭四）

齋藤淸之助　飯田屋（株）取締　大和商會　貿易商　東京市京橋區入舟町五ノ一　電京橋四六三八

君は神奈川縣人齋藤六兵衛の二男明治廿五年六月廿六日同縣三浦郡に生れ後分家す大正五年東亞同文書院を卒業し日本郵船會社上海支店に勤務後上海にて貿易商を營みしが大正十一年歸朝現時大和商會と稱し貿易業を營み傍ら前記會社重役たり　宗教基督教　趣味骨董【家庭】妻幸子（明三四）菊池午之助二女三輪田高女卒　長男達也（大一一）長女敦子（大一三）二男裕（大一四）二女忠子（昭二）三男承三（昭四）

齋村五郎　警視廳武道師範　武德會劍道範士　所得稅六三　東京市外世田ヶ谷町一〇四　電世田ヶ谷一三七二

君は福岡縣人齋村霞栖の三男明治廿年五月四日福岡市に生れ後分家す夙に武術專門學校の前身武術教員養成所を卒へ同四十一年宮崎縣立中學校教諭となり大正元年武術專門學校助教授に轉じ同五年早稻田實業學校教諭同七年警視廳武道師範に任じ傍ら國士館中學早稻田大學宮內省皇宮警察陸軍戶山學校各囑託として今日に及ぶ竹林莊主人と號す　宗教日蓮宗　趣味讀書【家庭】妻葛（明二七）福岡縣士族萱强助妹福岡高女卒　長男龍雄（明四三）早大政經科在　長女友子（大二）實踐女學在　二女古都子（大四）同校在　二男虎雄（大七）三女國榮（大一〇）三男武藏（大一二）四女範子（昭三）

坂田源次郎　土木建築請負業　東京市外隅田町三九一　電墨田一四七八

君は東京府人坂田良造の長男明治卅五年十二月七日同府南葛飾郡隅田町に生れ大正十年祖父源次郎の家督を相續し昭和四年八月前名銀太郎を改め祖父の名を襲ふ夙に工手學校に學び家業を繼承し土木建築請負業を營む現に東京土木建築組合第六支部理事たり　宗教佛教　趣味讀書旅行【家庭】妻靜江（明三五）島田源次郎二女　嗣子銀太郎（昭四）養女緋沙子（大一四）

坂本鍵造　從六勳六　在鄉海軍少佐　日本郵船（株）海務課長　東京市麴町區丸ノ內日本郵船會社內　電丸ノ內二五一一

君は兵庫縣士族坂本廉二の長男明治九年八月十六日廣島縣に生れ大正四年家督を相續す明治卅二年商船學校を卒業し日本郵船會社に入り三等機關士機關長神戶支店屬品監督等歷勤昭和五年三月本社海務課長に就任以て今日に至る　宗教禪宗　趣味謠曲【家庭】妻ウメ（明一八）兵庫縣人下田次三女東京女子美術學校卒　長男正春（明四〇）文化學院在　二男泰正（大七）長女八重子（明四四）兵庫縣立高女卒　二女雪子（大五）兵庫縣立女學院在　三女照子（大一〇）

坂本正道　三井鑛山（株）調查部部長次席　東京市小石川區原町一二六

君は福島縣人坂本政藏の四男明治廿五年五月十七日同縣に生る大正八年東京帝大法科政治科を卒業後三井鑛山に入り現時同社調查部部長次席たり　宗教禪宗　趣味刀劍【家庭】妻良子（明三二）福島縣人林健藏四女會津高女卒

酒井菊雄　正七　醫博　東京市技師　保健局衞生課長　東京本鄉弓町一ノ二五

君は千葉縣人酒井戟助の長男明治廿七年十月一日を以て生る大正九年東北帝大醫科細菌科を卒業し直に同大學助教授に任ず昭和二年東京市技師に轉じ衞生試驗所都市衞生試驗部長土木局兼務等を經て同五年四月保健局衞生課長に任じ今日に至る大正十四年醫學博士の學位を受く【家庭】妻富士子（明三七）福島縣人酒井義孝長女　長男東海雄（昭四）

櫻井忠吾　神田區家屋稅調查委員　白木綿問屋　東京市神田區上白壁町九　所得稅四八四　電神田一七五〇

君は明治十九年八月十五日栃木縣に生る夙に藤倉紡績に勤務し大正六年獨立して白木綿商を創め今日に及ぶ昭和五年家屋稅調查委員に選擧せらる【家庭】長女久米代佛英和高女在

澤田章　國學院大學教授　三井（名）社員　東京市赤坂區青山南町五ノ四五

君は愛知縣人澤田新三郎の二男明治九年二月三日名古屋市に生れ同四十一年分家す同卅年國學院大學を卒業同卅五年北白川宮殿下御教育掛を拜命同卅六年東京帝大圖書館勤務兼文科大學教授たりしが同四十五年之を辭し同年三井合名に入社し現に文庫係たる外國學院大學教授たり　宗教眞宗　趣味讀書繪畫【家庭】妻方子

(明一二) 子爵藪篤麿叔母　長男潔(明四二) 一高卒　二男厲(大元) 青山學院卒　三男晋(大一〇)

澤野銀藏　萬成汽船(株)常任監査　東京四谷區仲町三ノ二七　電四谷五三三三

君は東京府人澤野金藏の二男慶應二年六月十九日を以て生れ明治十二年家督を相續す同十九年東京高商を卒業し同廿三年日本鐵道株式會社に入り同四十年合資會社有馬組汽船部支配人に轉じ昭和二年萬成汽船株式會社常任監査役となり以て今日に至る　宗教禪宗　趣味俳句寫眞大弓【家庭】妻のぶ(明六) 東京府人名兒小太郎叔母　長男鐵太郎(明二六) 東京高工卒明電舍部長　二女ふみ子は明電舍部長飯田歌吉に嫁す

志垣寛　文園社　出版業　東京市外野方町下沼袋九五〇

君は熊本縣人志垣權八の長男明治廿二年五月卅一日同縣菊地郡に生る夙に熊本師範學校を卒業し縣下小學校に奉職次で奈良女子高等師範學校教授に任ず後職を辭して平凡社編輯部長たりしが昭和四年文園社と稱し出版業を創め今日に至る其の刊行に係るものに「生活を教育にまで」「學園に芽む」「新學校の實際と其の根據」等あり　宗教眞宗　趣味著作演劇【家庭】妻みた子(明二九) 鹿兒島縣人齋藤三次長女熊本縣立女子師範卒　長男乾郎(大二) 二男民郎(大一一) 長女陽子(大一三) 二女美子(昭二)

鹽坂淺次郎　土木建築請負業　東京市麴町區飯田町六ノ一八　電九段二四三五

君は靜岡縣人鹽坂簑吉の長男明治廿六年を以て生る夙に靜岡縣立中學校を卒業し大正七年帝國コンクリート株式會社支配人に就任後獨立して現地に土木建築請負業を創め今日に至る　宗教禪宗【家庭】長男憲一(大八) 弟峰吉(明三一)

鹽田彌治郎　安田貯蓄銀行(株)白金支店長　橫濱市鶴見區鶴見町六三五

君は長野縣人神田彌五藏の二男明治廿年五月廿四日を以て生れ神奈川縣人鹽田作兵衛の養子となり後分家す夙に松本中學を卒業し千代田電氣會社神奈川銀行に歷勤大正五年安田貯蓄銀行に轉じ本店調査課長を經て現時同行白金支店長たり【家庭】妻さき(明二三) 養父作兵衛二女神奈川縣立高女卒　長女美惠子(大三) 鶴見高女在

階川良一　正六　北海道廳事務官　內務部地方課長　札幌市北一條西七官舍

君は廣島縣人階川榮助の長男明治廿六年十二月二日を以て生れ大正三年家督を相續す同八年東京帝大法科獨法科を卒業し東京府庶務課に勤務後宮城縣志田郡長同縣理事官等を經て昭和四年北海道廳地方課長に轉じ以て今日に至る　宗教眞宗　趣味運動【家庭】妻精子(明三六) 岩手縣人佐伯信長女盛岡高女卒　長男廣水(大一二) 長女萬里子(昭二)

島崎重福　土木建築請負業　東京市外龜戶町四ノ五九　電墨田二二四〇

君は東京府人島崎福松の長男明治卅年三月を以て生る夙に工手學校土木科を卒業し更に同校建築科に學ぶ後父業を扶け土木建築請負業を營み今日に及ぶ　宗教淨土宗【家庭】父福松(明三) 現戶主　妻ハナ(明三五) 東京府人青山元治郎長女　長男延富(大一五) 二男吉信(昭四)

島田武助　神奈川縣多額納稅者　朝田屋　吳服商　直接國稅一三八一　川崎市東町三ノ四三　電川崎一四

當家は舊幕時代の本陣朝田屋事島田武右衛門の分れにして川崎市に於ける舊家たり君は先代武助の長男明治六年八月を以て生れ同卅四年家督を相續し前名久吉を改む朝田屋と稱し吳服商を營み神奈川縣多額納稅者たり【家庭】妻はな(明一〇) 長男久吉(明三四) 二男俊吉(明四三) 長女あさ(明三二) は東京府人宮田藤左衛門長男城之輔に二女てい(明三七) は同府人野本傳七三男福三郎に各嫁す※島田久吉の項參照

島津義一　北海タイムス(株)印刷部長　札幌市南二條西一ノ一三　電二七六五

君は北海道人島津善藏の長男明治十年四月十五日東京市芝區に生れ同四十五年家督を相續す同卅四年北海タイムス創立と共に入社し現時同社印刷部長たり　宗教禪宗【家庭】妻フデ(明一六) 長男一郎(明二八) 北海道帝大土木專門部卒北海道廳旭川土木事務所技手　二男英次郎(明四一) 札幌工業卒札幌鐵道局勤務　三男昌三郎(明四三) 札幌一中卒　四男正一(大元)

島村正平　東京建立社長　スレートアスファルト並建築材料販賣及工事請負業　東京市芝區愛宕下町二ノ一八　電芝二二三五

君は東京府人島村彌次郎の二男明治廿二年三月廿六日同府北多摩郡小平村に生る夙に東京府立第二中學を經て慶應義塾商工學校を卒業し鐵道省に奉職す後官を辭し三榮商會に入社石綿板の對支貿易に從事す尋で酒井仙太郎商店に入り其支配人に擧げられしが大正十二年獨立現地に東京建立社を創立其社長となり爾來スレートアスファルト並建築材料販賣工事請負を爲し今日に至る其特許を得しもの〻中特許完生式防水裝置天然及石綿スレート島村式特許葺等は特に知らる主なる工事に霞ケ浦海軍押收格納庫及東京慈惠會醫科大學防水石綿スレート葺秩父宮家伏見宮家本邸李王殿下島津公司法省等天然スレート及防水石綿スレート葺等あり【家庭】妻倶代(明三二) 長男甫(大八)

島村達美　正八　在鄕陸軍步兵少尉　白木屋(株)配送係主任　東京市芝區白金臺町二ノ四一　電高輪四八四八

君は東京府人藤波龍名の二男明治廿四年十一月廿三日を以て生れ後絕家島村家を再興す大正七年慶應義塾理財科を卒業後上海に於て貿易業を營み昭和三年白木屋に入社現時配送係主任たり　宗教神道　趣味歌留多撞球柔道(二段)【家庭】母たか子(慶應三) 妻とく子(明三二) 東京府人山口孝次郎長女香蘭高女卒　長男達彥(大六) 世田ケ谷中學在　三男達芳(大八)

十藏寺宗雄　從七　辯護士　第一徵兵保險(株)顧問　東京市小石川區駕籠町一二　電大塚二八二八　(事務所) 麴町區丸ノ內丸ビル內　電丸ノ內四六六一

君は廣島縣人十藏寺幸房の三男明治廿五年九月三日同縣に生る大正十年京都帝大法學部佛法科を卒業更に大學院に學び後立命館大學小樽高商各教授に歷任し昭和二年辯護士となり今日に至る第一徵兵保險會社顧問たり　宗教佛教　趣味旅行讀書【家庭】妻榮子(明三三) 京都高女卒　長男務(大九) 二男秀郎(大一二) 長女璋子(大七) 二女篤子(大一四) 三女五十鈴(昭二) 四女千鶴子(昭四)

白石保太郎　從四勳三　在鄕海軍造船大佐　東京石川島造船所(株)顧問　東京市外世田ケ谷町太子堂四四九　電世田ケ谷一二〇二

君は東京府人白石定衛の長男明治十一年十月十六日を以て生れ後家督を相續す同廿六年東京帝大工科造船科を卒業直に海軍に入り爾來累進して造船大佐に陞る其間造船事務に携り同四十五年英國出張を命ぜられ大正三年歸朝同十二年豫備役仰付らる同十四年東京石川島造船所顧問となり以て今日に至る　宗教天台宗　趣味讀書【家庭】妻ナホ(明二六) 長男八彌(明四〇) 長女種子(明四二) 千代田高女卒　二男芳雄(大元) 京華中學卒　三男正八郎(大八)

信太武治　第九十八銀行(株)監査　辯護士　千葉市新通一二六六　電千葉四四六

君は秋田縣人迎十左衛門の二男明治三年一月七日を以て生れ後信太淺左衛門の養子となる同廿二年東京法學院を卒業し辯護士を開業す傍ら昭和四年第九十八銀行監査役に就任し今日に至る　宗教曹洞宗　趣味書畫【家庭】妻惠津(明一四) 高梨長助長女　長男一男(明三八) 慶大卒　二男啓二(明四二) 東京高工卒　長女美彌子(大元) 實踐女學高等部在　二女タカ子(大八)

榛葉可省　從五勳四　營林局技師　青森營林局利用課長　青森市營林局官舍　電青森二四五

君は靜岡縣人榛葉七左衛門の三男明治十二年九月十日を以て生れ同卅九年兒良男の養子となる同卅四年東京帝大農科林學科を卒業後同大學助手岡山縣農林學校教諭山梨縣林業技手同縣技師山林技師盛岡小林區署長東京營林局技師兼帝都復興院技師等を經て東京營林局に勤務せしが昭和二年青森營林局利用課長となり以て今日に至る　宗教禪宗　趣味圍碁將棋【家庭】養父良男(慶應二) 現戶主　妻ます(明一八) 靜岡縣人後藤佐一郎二女千代田高女卒

鈴木源德　正七勳六　三省中學校主　關東中學校幹事　三錦社主　出版業　東京市小石川區大塚仲町三六　電大塚二八〇一

君は東京府人鈴木誠中の長男明治十五年三月十八日を以て生れ後家督を相續す同四十年東京高商を卒業後鹿兒島市立商業神戶神港商業千葉縣立銚子商業各教諭を經て福島縣立商業教諭に轉じ同校長事務取扱を兼ぬ大正十二年之を辭し三錦社と稱し出版業を創め現時千葉縣三省中學校主同縣關東中學校幹事たり　宗教日蓮宗　趣味運動【家庭】母つね(元治元) 妻まき(明一九) 千葉縣人末吉德司妹實科女學卒　長男辰德(明四四) 專修大學商科在　二男平八郎(大五) 明治中學在　三男義德(大八) 長女梅世京華高女東京家政學院各卒は磯田嘉八郎に嫁す

鈴木茂　日本タクシー自動車(株)專務　大阪市港區九條南通り二ノ一　電西二五六一

君は香川縣人鈴木吉太郎の二男明治廿三年五月十七日高松市に生れ昭和五年分家す夙に渡米し市俄古羅府各都市に留學す大正十二年日本タクシー商會を創め昭和二年株式組織に改め專務取締役となり傍ら日本商會重役を兼ね以て今日に至る　宗教眞言宗【家庭】妻ます(明三二) 大阪府人中島幾三郎二女櫻田高女卒　長男啓介(大一五) 長女房子(大九)

鈴木重信　三井銀行(株)外國營業部送金掛長　東京市赤坂區新坂町八二　電青山二九二〇

君は明治廿八年一月四日長野縣に生る大正六年慶應大學を卒業直に三井銀行に入り同十二年倫敦支店に勤務同十三年歸朝後本店外國營業部送金掛長に任じ以て今日に至る　宗教禪土宗　趣味スポーツ

鈴木昌吉　從五勳六　農林技師　農務局勤務　東京市四谷區坂町八六

君は東京府士族鈴木鑄三郎の長男明治十九年八月七日を以て生れ同四十二年家督を相續す大正四年東京帝大理科鑛物科を卒業し農事試驗場技師農商務技師を經て大正十四年農林技師に任じ現時農務局耕地課に勤務す曩に同三年歐米各國に出張視察す　宗教日蓮宗【家庭】妻ソノ(明二四) 東京府士族竹尾淸澄姉東京女高師附高女卒　長男廣雄(大八) 二女キン(大一〇) 二男昌興(大一二) 三女茂子(大一五)

鈴木信之助　平和煙突社主　東京市神田區金澤町八　電下谷五二八五

君は茨城縣人鈴木淸作の長男明治十五年三月同縣東茨城郡竹原村に生る夙に群馬縣伊勢崎町練武館絲井柳見齋の門に入り二刀流の劍道を究む大正四年上京東京煙突社に勤務し同十二年獨立して平和煙突社を設立し以て今日に至る傍ら金澤町會幹事の任にあり　宗教禪宗　趣味弓道【家庭】妻ちか(明一二) 茨城縣人鈴木彌兵衛二女　長女登志子(大一三)

鈴木進一郎　從六　臺灣總督府技師兼養蠶所技師　同所長　臺北市東門町一一七　電臺北三一七七

君は福井縣人鈴木稻作の長男明治廿七年七月廿日を以て生る大正九年北海道帝大農學部農政學科を卒業後臺灣總督府に奉職し現時同總督府技師殖產局農務科農政係にして養蠶所技師同所長を兼ぬ　宗教眞宗　趣味テニス【家庭】父稻作(元治元) 現戶主　母トヨ(明一〇) 妻ハル(明四〇) 京都府人田中元次郎長女京都高女卒　長男穰(昭四) 長女薰子(大一四)

鈴木萬平　正七勳七　專賣局書記　事業部鹽腦課勤務　東京市外中野三九八三

君は茨城縣士族鈴木宗七郎の五男明治十四年五月を以て生れ同卅四年家督を相續す夙に水戶中學を經て中央大學政治經濟科を卒業後大藏省に奉職京都地方專賣局東京地方專賣局等に歷勤現時專賣局書記にして事業部鹽腦課に在勤す　宗教神道　趣味讀書園藝【家庭】妻ちか(明二〇) 栃木縣人原田彌五郎二女宇都宮高女卒　長男敏夫(明三七) 早稻田實業卒　二男秀次(大三) 同校在　三男英三(大七) 東京府立工藝在　四男寛(大九)

鈴木敏彥　川崎第百銀行(株)社員　東京市芝區白金今里町八九

君は埼玉縣人鈴木久兵衛の長男明治十六年二月同縣に生る夙に第百銀行に入り證券課長となりしが後川崎第百銀行柳原支店長岩本町支店長を經て現に同行本店總務調査課勤務たり【家庭】父久兵衛(安政五) 現戶主　妻まさ(明一八) 埼玉縣人早船喜右衛門二女　長男正(明四一) 二男尙(明四五) 三男淸(大一二) 四男竹雄(大一五) 二女千枝(大八) 三女ミチ(大一〇)

砂子正夫　平尾贊平商店(株)人事課長　東京市外荏原町東洗足小山五九五　電荏原三二九六

君は靜岡縣人砂子萬吉の長男明治卅三年九月を以て生る夙に濱松商業を卒業し大正六年平尾贊平商店に入社

し同十五年同店人事課長に任じ以て今日に至る　宗教禪宗　趣味芝居野球【家庭】父萬吉（明七）妻那美子（明四一）愛知縣人神谷彌惣治三女濱松高女卒　長男公昭（昭二）弟玆（明四〇）濱松工業卒　同英一（大六）妹はる（明三五）は鈴木半平に嫁す

瀬谷勇次郎　貴族院議員　茨城縣多額納税者　茨城鐵道(株)取締　農業　直接國税一〇〇一〇　茨城縣東茨城郡石塚町　電石塚五

君は茨城縣人瀬谷彌八郎の長男明治三年三月二日を以て生れ同卅七年家督を相續す農業を營み傍ら茨城鐵道取締役にして茨城縣多額納税者たり曩に貴族院議員に互選せられ現に其任にあり【家庭】養子勇（明二二）茨城縣人木村巳之助二男　長女ゑい（明二六）養子勇妻　同長女京子（大一〇）長男芳朗（明三六）同妻喜代子（明四四）茨城縣人皆川善助長女　同長女禮子（昭四）二男敬造（大三）二女てる（明二八）は茨城縣人宇野清左衞門に四女わくり（明三二）は同縣人根本英一郎に五女とよ（明三四）は同縣人谷津保夫に六女千代（明三九）は千葉縣人櫻井武夫に各嫁す

瀬戸慶之助　從四勳三　仙臺高等工業學校教授　仙臺市常盤町一四　電仙臺一八八三

君は宮城縣人瀬戸新三郎の長男明治九年十二月を以て生れ大正七年家督を相續す明治卅二年東京帝大工科機械工科を卒業し同四十一年製作機械及鑛山機械研究の爲獨英各國に留學し同四十五年東北帝大工學專門部教授に任ぜられ現時仙臺高工教授たり【家庭】母なか（安政四）妻わき（明一八）宮城縣人清野安妹　長男英雄（明四二）長女直（明三九）二女孝（明四五）三女敏（大三）二男孝雄（大五）三男和雄（大九）四男文雄（大一一）弟誠（明二五）及其妻子　弟國勝（明二七）及其妻子　弟八郎（明三二）及其妻子

瀬名貞利　東洋生命保險(株)統計課長　東京牛込區北町三〇　電牛込五〇六六

君は福岡縣人故陸軍少將遊就館長瀬名義利の三男明治卅二年十一月廿九日同縣に生る大正十四年東京帝大理學部數學科を卒業し直に東洋生命保險會社に入り昭和三年統計課長となり今日に至る　宗教日蓮宗　趣味洋樂スキー【家庭】母信（文久三）妻幸子（明四一）埼玉縣人坂本儀三郎七女東京府立第三高女卒　兄貞幹（明一七）現戸主

瀬山信次郎　唐木銘木商　東京市淺草區須賀町一六　電淺草一七五〇

君は東京府人瀬山濱太郎の長男明治卅年七月廿五日東京市に生る夙に東京中央商業學校を卒業し唐木銘木商を營み傍ら須賀町々會片町々會在郷軍人會等各會幹事の職に任じ以て現在に至る　宗教佛宗　趣味柔道【家庭】父濱太郎（文久三）現戸主　長女喜代子（大一四）二女眞壽子（昭五）

關口量平　實費國民齒科診療所長　齒科醫　所得税五〇　東京市日本橋區本小田原町一〇　電日本橋五一一九

當家は代々水戸家の侍醫にして先代勇伯は九代目たり君は其の二男明治廿四年五月九日茨城縣北相馬郡文間村に生れ後分家す大正五年東京齒科醫專を卒業直に齒科醫を開業し現時實費國民齒科診療所長たり　宗教基督教　趣味圍碁將棋音樂銃獵【家庭】妻愛子（明三二）大阪府人今井健次郎長女大阪岸和田實科高女卒　長女靜枝（大八）二女惠美子（大一〇）

關野貞　從三勳三　工博　東京帝國大學名譽教授　東京美術學校講師　國寶保存會委員　所得税八三　東京市外瀧野川町西ケ原一〇八　電小石川二七三八

君は新潟縣士族關野峻節の二男同長の兄慶應三年十二月を以て生れ明治十六年家督相續す同廿八年東京帝大工科建築科を卒業し奈良縣技師東京帝大助教授造神宮技師內務技師文部技師東京帝大教授兼文部技師等を歷任し昭和三年東京帝大名譽教授となり現時前記の任にあり曩に韓國清國に差遣され建築史研究の爲英佛伊支那印度に留學明治四十一年工學博士の學位を受く常盤大定博士との協同に成る「支那佛教史蹟」の大著あり【家庭】母ヤエ（弘化二）妻きよ（明一五）東京府士族中村孝禧四女　長男克（明四二）長女淑子（明四三）二女靜子（明四四）二男雄（大四）四女光子（大一二）弟長（明四）弟謙三（明八）及其子　三男達（大五）は東京府人足立訥の養子となる※關野長の項參照

切田太郎　正五　臺北高等商業學校長　臺北市千歳町二ノ三八　電臺北八五七

君は東京府人切田判治の長男明治九年三月一日盛岡市に生れ大正四年家督を相續す明治卅三年東京高商を同卅五年同校專攻部を各卒業し爾來大倉高商國民英學會日本明治各大學講師善隣商業講師同教諭大倉高商教授を經て同四十三年東京高商教授に任じ在職の儘支那政府の招聘に應じ北京京師大學堂講師となり傍ら同大學商學部設立を完成し後歸朝す大正七年中村組に入り紐育支店長たりしが同八年臺灣總督府臺北高商教授に任じ昭和四年同校々長事務取扱を命ぜられ同年歐米を視察す同五年同校長に就任し今日に至る　宗教基督教　趣味讀書【家庭】母キナ（安政六）妻ます（明一七）東京府人大木雲外二女跡見女學卒　弟次郎（明一二）

添田滋　三菱(資)地所部社員　東京市外碑衾町碑文谷一八一二

君は福井縣人添田良平の五男明治廿六年五月十四日を以て生れ衆議院議員添田敬一郎の養子となる大正六年東京帝大法科獨法科を卒業し直に三菱合資會社に入り現に同社地所部庶務課に勤務す　趣味圍碁【家庭】養父敬一郎（明四）養母てい（明一六）妻ゆき（明三一）山形縣人西野忠次郎妹山形高女卒　長男利一（大一〇）二男立也（大一二）三男敬夫（大一五）長女知子（昭四）※添田敬一郎の項參照

園田清彦　畜産業　東京競馬倶樂部　日本レース倶樂部各常務理事　所得税一一〇一　東京市赤坂區中ノ町九　電青山六一一二

君は實業家園田實德の二男明治十九年四月を以て生れ大正六年家督を相續す父實德は舊鹿兒島藩士にして維新の際南洲翁に從ひ各地に轉戰して勳功あり明治五年黑田清隆の北海道開拓使となるや其屬官となる同十四年官を辭して實業界に入り北海道共同運輸會社を創立し日本郵船會社函館支店長北海炭礦會社理事函館船渠會社社長其他銀行會社重役たり君其後を享け夙に學習院に學び明治卅七年英國に渡り劍橋大學及びレディング農科大學に學び後米國に轉じ華盛頓市ボタマック大學を卒業しバチェラア・オブ・アーツの稱號を受く歸朝後小樽電燈後志電氣各會社の取締役に就任し現に畜産業を營み前記倶樂部理事たり【家庭】長男實彦（大四）長女辰子（大五）二男實次（大八）

薗川武　藏前工業會理事　辨理士　所得税二二二　東京市外大井町出石五一四二　電大森一四八八

君は三重縣人薗川専太郎の長男明治八年十一月一日同縣阿山郡河合村に生れ後家督を相續す三重縣立中學を經て同卅二年東京高工機械科を卒業直に內務省土木監督局に入る在職四年の後農商務省山林局青森製材所に轉じ幾許ならずして之を辭し東京機械製造會社技師長に聘せられ在職三年の後大正十年辨理士の資格を得東京特許代理局に入り特許代理事務に從事以て今日に至る著書に「應用機械學」「工業概論」等あり　趣味日本音樂及南畫習作【家庭】妻きく（明一七）東京府人鈴木勘藏長女　養子龜郎（明三四）三重縣人薗川重延弟從七位海軍中尉赤城乘組飛行將校

田島一義　名古屋信託(株)取締　所得税三一〇二　名古屋市中區池田町一四

君は愛知縣士族田島常左衞門の長男明治十六年五月を以て生れ大正十年家督を相續す夙に早大を卒業し後市俄古大學に學びマスター・オブ・アーツの稱號を受く現に名古屋信託會社取締役たり曩に榮保險代辨會社々長たり【家庭】母うめ（弘化四）妻せつ（明三六）愛知縣人石垣仙治郎二女

田島武長　田島應用化學工業所(資)代表社員　東京市外尾久町下尾久三二一　電下谷六五六九

君は東京府人田島清三郎の六男明治廿三年十二月一日東京市小石川區に生る同四十五年東京高工應用化學科を卒業し直に道道院大井工場塗料部日本建築紙工會社帝國塗料會社等に歷勤し大正八年獨立して合資會社田島應用化學工業所を設立し三星印アスファルト便利瓦製造販賣に從事し今日に至る【家庭】妻かつ（明二九）長崎高女卒　長男榮一（大一三）長女ふみ（大六）田端聖女學院在　二女よう（大八）三女あや子（大一二）二男昭治（昭五）

田代寅吉　川崎第百銀行(株)業務部次長　東京市麴町區下二番町五五　電九段三一五六

君は新潟縣多額納税者田代三吉の二男明治廿三年三月三日新潟市に生る夙に新潟商業學校を經て同四十三年神戸高商同四十五年東京高商專攻部を各卒業し第百銀行本店に入り次で川崎第百銀行に轉じ現に同行業務部次長たり曩に大正十五年歐米を視察し昭和二年歸朝す　宗教淨土宗　趣味海上旅行讀書【家庭】父三吉（安政三）現戸主　妻キチ（明二六）新潟縣人田代吉藏姉新潟高女卒　長男豐彌（大六）麻布中學在　長女ヤイ（明四四）双葉高女卒　二男昌幸（大九）三男吉彌（大一一）二女福子（大一三）四女米子（大一五）五男德子（昭三）

田代由三郎　板硝子卸商　東京市日本橋區小傳馬町二ノ五　電浪花五六四三

田代家は舊幕時代遠州新居宿に於て代々本陣を勤めたる家柄なり君は先々代竹三郎の長男慶應元年三月を以て生れ明治十六年母ゆきの後を承けて家督を相續す夙に上京し輸出入業野澤組の後援にて輸入硝子の販賣に從事し現に硝子問屋を營む【家庭】妻スズ（明三）愛知縣人鵜飼信吉姉　養子義光（明三五）鵜飼信吉甥

田中桂吉　土木建築設計監督並請負業　田中工務所々主　電芝三二三一

君は新潟縣人田中桂作の長男明治十七年四月四日を以て生る同四十二年工手學校建築科を卒業し大正八年獨立して現事業を創む　宗教淨土宗　趣味旅行讀書【家庭】妻とみ（明二五）

田中啓次郎　日本事務器商會(資)支配人　所得税七五　東京市外井荻町上荻窪三三四　電荻窪二二二五

君は新潟縣人にして明治廿四年十一月廿四日を以て生る大正五年早稻田大學政治經濟科を卒業し直に日本事務器商會に入り現に同社支配人たり永樂倶樂部會員

田中惠　正五勳四　檢事　佐賀地方裁判所檢事正　佐賀市松原町佐賀地方裁判所官舍內

君は鹿兒島縣人田中納吉の二男明治四年十月を以て生る同卅一年日本法律學校を卒業し文官普通試驗に合格營林主事に任じ次で判檢事登用試驗に合格同卅八年檢事に任じ爾來小倉區柳河區延岡區佐賀區同地方松山地方下關區岡山地方同區津山區宇都宮地方各裁判所檢事盛岡富山宮崎各地方裁判所檢事正に歷補し現に佐賀地方裁判所檢事正たり【家庭】妻トク（明一八）鹿兒島縣人山口孫一長女　長男秀惠（明三九）二男豐惠（明四一）兄嘉吉（慶應二）現戸主及其妻子

田中謙吾　東京市深川區長　東京市外杉並町阿佐ケ谷二〇九

君は岡山縣人田中光太郎の長男明治十五年四月廿二日を以て生る同卅七年日本大學を卒業後岡山縣廳に奉職大正十三年東京市主事となり勞働掛長社會局福利課食堂掛長を經て昭和五年深川區長に轉じ以て今日に至る【家庭】父光太郎（文久二）祖母志賀子（弘化三）妻千賀子（明二六）岡山縣人山西元太郎長女　長男直一（大二）成城中學卒　長女久仁子（明四四）成女高女卒　二女紀江（大四）同校在　二男直二（大六）慶應普通部在　三男久助（大八）三女和賀子（大一〇）四女都紀子（大一二）

田中二郎　第一銀行(株)大阪支店支配人　所得税二六四三　兵庫縣武庫郡住吉村反高林一八七六ノ一〇　電御影七二四

君は貴族院議員田中一馬の弟明治十五年十一月を以て生る同四十一年京都帝大法科を卒業し第一銀行に入り大阪支店副支配人京都支店支配人等を經て現に大阪支店支配人たり【家庭】妻ミネ（明二二）醫學博士松山陽太郎妹　長男愼一（大三）長女千鶴子（明四四）二女慶子（大二）三男實（大六）四男宏（大九）五男雄（大一二）※田中一馬の項參照

田中重兵衞　小島屋本店　雜貨輸入商　所得税一七九八　東京市外中野一〇七七

田中家は代々江戸日本橋に定住し舊幕時代には鐵砲釜類を販賣す維新前先代重兵衞祖業を廢して一時俳諧師となりしが故大倉喜八郎と協力して洋品の直輸入商を創立す君は其長男明治二年三月を以て生れ同十六年家督を相續し襲名す同廿四年東京高商を卒業し爾來家業に從事雜貨輸入商を營み今日に至る【家庭】妻千代（明九）東京府人松橋ひさ叔母　長男英一郎（明二六）慶大理財科卒　同妻多喜子（明三五）東京府人手塚長三郎孫　同長男秀次郎（大一一）同長女登喜（大一三）同二男尊雄（大一五）二男敬治郎（明二九）三女八重子（明四〇）東京女學館卒　四女愛子（大二）四男秀雄（明四四）長女光子（明三三）は神奈川縣人相原晴

雄を養子とし分家し二女富子（明三五）三輪田高女卒は東京府人安藤福太郎に嫁す

田中誠一　従六　東京商科大學助教授　東京市本郷區曙町一九

君は東京府人田中稲城の二男明治卅年五月を以て生れ後分家す大正十年東京帝大法學部英法科を卒業し更に同大學研究室に入り研鑽を積み同十四年東京商科大學教授に任じ以て今日に至る嚢に東京帝大農學部講師たり　宗教日蓮宗　趣味ゴルフ庭球撞球讀書【家庭】妻美保子（明四〇）東京府人古西爲之助長女東京女高師附高女卒　長男誠之（大五）

田中辰郎　正八　在郷陸軍三等主計　三井鑛山(株)社員　東京市淺草區今戸町九三　電淺草九九二

君は舊肥後藩士辻啓一郎の四男明治廿五年一月一日東京市京橋區に生れ後舊久留米藩士田中家の養子となり家督を相續す大正七年慶應義塾法科を卒業同年三井鑛山會社に入社し現時販賣係たり慶應倶樂部會員なり　宗教禪宗　趣味野球旅行園藝【家庭】妻まき（明三三）久留米高女卒　長男義邦（大一三）長女紀子（昭二）二男信次（昭四）

田中八百八　正五勳五　農林局技師　山林局林務課長　東京市外武藏野町吉祥寺本田南二五四六ノ六一

君は福井縣人田中行司の長男明治十七年八月を以て生れ昭和二年家督を相續す明治四十二年東京帝大農科林學科を卒業して山梨岩手各縣技師山林技師農商務技師兼内務技師等に歴任し大正十四年農林技師兼内務技師となり歐米各國に出張同十五年伊國羅馬に開催の第一回萬國森林會議に日本政府委員として參列同會議の副議長に推され同年歸朝す現時農林技師山林局林務課長たり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】母のぶ（文久三）妻クニヱ（明二三）福井縣人吉井明十郎妹小濱高女卒　長男博（大一一）長女華子（大三）成女高女在　二女啓子（大四）城右女學在　三女恭子（大八）四女和子（大一三）

田中館操　東神倉庫(株)貨物係長　東京市外中野町三三〇〇

君は岩手縣人田中館惣吉の三男現戸主同廣の弟明治廿三年六月二日を以て生る大正五年東京高商を卒業し東神倉庫會社に入社現時貨物係長たり　宗教神道　趣味運動ゴルフ【家庭】母シマ（安政六）妻やへ（明二七）岩手縣人國分市郎二女盛岡高女卒　長男誠（大八）東京府立第六中學在　二男健夫（大一〇）長女榮子（大一二）

田原嚆（アツシ）　文武書院　書籍出版業　東京麴町飯田町六ノ二一　電九段二七三三

君は福井縣人田原長兵衞の四男明治廿七年四月一日を以て生る夙に東京商工學校に學び忠誠堂に多年勤務し大正八年文武書院を創め書籍出版業を營み以て今日に至る　宗教眞宗　趣味弓道【家庭】妻壽惠子（明三四）福井縣人出雲大秀三女松本市立高女卒　長男孝（大一二）長女淑子（大八）二女雅子（大一五）

田宮嘉右衞門　神戸製鋼所(株)專務　日本エヤブレーキ　紡機製造各(株)取締　兵庫縣武庫郡精道村芦屋平田四二七　電芦屋五〇二

君は愛媛縣人田宮伊平の弟明治八年八月を以て生れ同卅七年分家す現に神戸製鋼所專務取締役たる外前記各會社の重役たり【家庭】妻かね（明八）兵庫縣人井上たき妹　長男敏一（明三二）同妻登美子（明四二）愛媛縣人岡田悅三二女　二男豐治（明三五）二女美代（明三九）三男猛（明四二）四男鐵四郎（明四四）五男鋼藏（大二）六男直嘉（大六）長女滿壽子（明三七）は高知縣士族市川一郎に嫁す

田村金三郎　田村塗料商會(資)代表　東京市芝區愛宕町三ノ一四　電芝一八五七

君は東京府人田村朝直の三男明治十三年五月廿五日を以て生る大正九年合資會社田村塗料商會を設立しペンキ塗料請負並に材料販賣に從事し今日に至る傍ら東京ペンキ塗料組合理事たり又東亞ペイントオリエンタルワニスペイント岩城塗料製造各特約店たり【家庭】妻やま子（明二六）長男鐵彌（明四〇）法政大學卒三越呉服店勤務　長女ふみ子（明三八）二男正也（明四五）浦和高校在

田村孝次　從四勳四　在鄉海軍主計中佐　東京市主事　電氣局會計課調度掛長　東京市牛込區市谷富久町一七　電四谷四三九七

君は東京府の人明治十七年十二月十五日を以て生れ後分家す同卅九年東京高商を卒業し海軍主計少尉に任じ海軍造兵廠材料主管兼海軍航空機試驗所主計長を經て海軍主計中佐に陞り横須賀海軍工廠需品庫主管たりしが大正十二年豫備役仰付けらる後哈爾賓酒精公司に入り昭和三年之を辭し翌年東京市電氣局運輸課乘客掛長となり現時同局會計課調度掛長たり　宗教淨土宗　趣味運動圍碁【家庭】妻まさ子（明二三）茨城縣人富岡良夫妹土浦高女卒　長女周子（明四四）東京市立第一高女卒　二女貞子（大三）同校在　三女喜久子（大五）同校在　四女富久子（大八）

田村貞明　淺沼商店(資)出資社員　諸機械販賣輸出並電氣工事請負業　東京市外矢口町蓮沼一九九　電蒲田一一五九

君は熊本縣人田村健太郎の長男明治廿七年四月六日を以て生る大正六年神戸工業學校電氣科を卒業し現時諸機械販賣輸出並電氣工事請負業を營み淺沼商店出資社員たり　趣味旅行【家庭】父健太郎現戸主　妻康子（明三一）神戸高女卒

多久佐里曉治　東京建物(株)副支配人　東京市外中野町打越二一五〇

君は東京府人多久佐里政藏の長男明治九年三月五日盛岡市に生れ後家督を相續す夙に北海道根室中學を卒業し二十銀行北海道支店に入り同卅七年北海道所在安田商事鑛業所に轉じ大正三年八幡市所在安田製釘所副支配人に就任し後之を辭し昭和四年九月東京建物會社副支配人となり以て今日に至る　宗教禪宗【家庭】妻かう（明一八）新潟縣人中澤親知三女　長女チヨ（明三八）小倉高女函館師範第二部各卒

多田常太郎　從四勳三　判事　安濃津地方裁判所長　津市丸之内殿町安濃津地方裁判所官舍内

君は舊對馬國嚴原藩士多田興善の長男明治五年九月を以て生れ大正十年家督を相續す明治廿五年東京法學院を卒業し代言人の免許を得同卅年判事に任じ爾來田邊區大阪區各裁判所判事大阪地方裁判所判事京都區裁判所監督山口高知各地方裁判所長長崎控訴院判事に歴補し現に安濃津地方裁判所長たり【家庭】妻カツ（明一〇）廣島縣人栗田歸一長女　長男登（明三二）法學士第一生命保險會社員　同妻ちづ（明四〇）新潟縣人荒井賢太

郎四女　三女文（明四四）二男清（明四二）長女節（明三四）京都府立第一高女卒は陸軍砲兵大尉岸良四郎に二女久（明三八）同校卒は住友合資會社秘書役法學士妹尾城爾に各嫁す

多田吉宗　日本紙業(株)會計課長　東京市外杉並町阿佐ケ谷五八三

君は東京府人多田宗吉の長男明治廿四年五月廿日を以て生る夙に青山學院中學部を卒業し同四十三年安田銀行に入社大正十二年日本紙業會社に轉じ現に會計課長たり智慧輪倶樂部會員なり　宗教禪宗【家庭】母いち（慶應元）妻うめ（明三三）東京府人長谷川雅太郎長女青山女學院卒　長男宗彦（大一五）長女德子（大一一）二女輝子（昭四）

高崎保介　日本鉛筆製造(株)池袋工場長　東京市外大久保町西大久保二三四

君は山口縣人高崎均の長男明治廿八年十月七日横濱市に生れ大正十五年家督を相續す同九年早稲田大學理工科應用化學科を卒業し同年日本鉛筆製造會社に入り技師に任じ現時同社池袋工場長たり　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】妻幸子（明三六）山口縣人高橋清助二女山口縣立高女卒　長男正巳（大一五）

高島富次郎　玩具商　所得稅七八　東京市淺草區南元町一一　電淺草四一二三

君は岐阜縣人高島兼吉の二男明治廿六年十二月廿三日大垣市に生れ後分家す夙に大阪に出で雜貨貿易商科野商店に勤務する事多年大正四年獨立して玩具商を創め以て今日に至る　宗教門徒宗　趣味謠曲【家庭】妻春子（明三三）長女富美子（大七）

高田久五郎　メリヤスタオル風呂敷問屋　所得稅九五　東京市日本橋區橋町四ノ四　電浪花二九一六

君は滋賀縣人先代久五郎の長男明治十二年十二月十二日を以て生れ後家督を相續し襲名す同廿五年日本橋區富澤町小松太助商店に入り斯業を見習ひ同卅八年獨立してメリヤスタオル風呂敷問屋を創め以て今日に至る　宗教眞宗　趣味撞球【家庭】妻ひさ子（明二〇）靜岡縣人野呂松太郎妹　長男久一郎（大三）

高月駒吉　東華生命保險(株)醫長　東京下谷區萬年町二ノ四　電下谷七七一七

君は三重縣士族高月多吉の三男明治廿六年十二月十五日を以て生れ昭和二年分家す大正十年東京醫專を卒業し順天堂醫院に入り内科小兒科に勤務す昭和二年之を辭し獨立開業同五年五月東華生命保險會社醫長に聘せられ今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻錦子（明三七）東京府人小關梅吉二女淑德高女卒　嗣子一男（昭三）

高野武志　武藏野鐵道(株)支配人　東京府北多摩郡保谷村下保谷二六七

君は山梨縣人高野善輔の二男明治廿二年二月廿一日を以て生る同四十三年早稲田大學政經科を卒業王子電氣軌道東洋生命保險王子倉庫各會社に歴勤し大正十年八月武藏野鐵道會社に入社總務部長を經て昭和二年支配人となり現在に至る　宗教曹洞宗　趣味旅行【家庭】母くに（嘉永五）妻はる（明二六）山梨縣人野澤憲道二女甲府高女卒　長男宏（大一〇）二男亘（大一三）長女泉（大一二）三男茂（昭二）二女香（昭四）

高橋勝郎　塗裝請負業　東京市神田區美土代町一ノ二　電神田二四五二

君は福岡縣人高橋良藏の六男明治十六年七月三日を以て生れ後分家す福岡中學卒業後渡歐塗裝業の研究に從ひ歸朝後塗裝業を創め以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味盆栽讀書【家庭】妻すい子（明三五）東京府人野崎金藏妹　長男良夫（大一五）長女華子（大一三）二女勝子（昭四）

高橋慶次郎　建具製造請負業　東京市日本橋區濱町二ノ一一　電浪花四〇二九

君は東京府人高橋福太郎の二男明治廿三年六月廿七日を以て生れ後家督を相續す同卅九年工手學校建築科を卒業し直に建具製造請負業に從事し大正三年現地に開業以て今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書旅行【家庭】妻須賀子（明三〇）長男堅造（大四）東京府立第七中在　二男登（大七）三男廣美（大九）長女嶺子（大一二）二女春野（大一五）三女美雪（昭三）

高橋潛藏　正六　石川縣立金澤商業學校長　金澤市彥三二番町

君は福岡縣人高橋龍藏の長男明治十八年四月廿一日同縣に生れ大正十年家督を相續す明治四十一年山口高商を卒業し和歌山縣立商業學校教諭愛媛縣立八幡商業學校長埼玉縣立商業學校長等を歴任し現に石川縣立金澤商業學校長たり　趣味運動【家庭】妻あい（明二二）長男龍夫（明四四）二男律夫（大三）金澤一中在　三男秀夫（大一四）

高橋忠雄　從五勳六　藤永田造船所(株)東京出張所長　東京市外巣鴨町上駒込一一三　電小石川六七七

君は和歌山縣人高橋源一郎の長男明治十八年十一月廿一日同縣に生れ後家督を相續す同四十四年東京帝大法科獨法科を卒業し直に鐵道省に入り鐵道局參事となり昭和四年之を辭し同年藤永田造船所東京支店長に就任以て今日に至る帝國鐵道協會々員たり　宗教眞言宗【家庭】妻由起（明二九）住野源三妹堺高女卒　長男友良（大一四）長女玉惠（昭二）

高橋珍龍　慶應義塾大學庶務課勤務　東京市外澁谷伊達一七　電高輪五三四五

君は福島縣人高橋佐源太の三男明治二年三月十八日を以て生れ後家督を相續す同卅年慶應義塾を卒業し福島縣實業學館教諭慶應普通部教諭兼教務掛慶應商工學校教務掛等を經て慶應義塾大學庶務課に轉じ以て今日に至る　宗教禪宗　趣味謠曲漢詩盆栽【家庭】妻しん（明一八）長女みさを（明四三）日本女子大在

高橋恒次郎　北海タイムス(株)廣告部長　札幌市北五條西一五ノ一　電二八七九

君は新潟縣人高橋德三郎の三男にして現戸主同祐成の弟明治廿年十二月十一日を以て生る夙に新潟中學を卒業し同四十二年北海タイムス營業部に入り大正十一年同社廣告部長に擧げられ以て今日に至る　宗教眞宗　趣味釣魚撞球圍碁將棋【家庭】妻キヨ（明三二）北海道人岩城定行長女札幌高女卒　長男恒夫（大四）札幌第二中學在　二男晃（大一一）三男弘（大一三）長女君子（大五）札幌市立高女在

高橋鐵雄　貴族院速記技手　埼玉縣北足立郡浦和町四八五　電浦和八〇七

君は東京府人高橋金五郎の二男明治廿二年十月十四日東京市神田區に生る夙に荒浪市平に就き速記術を修め

大正七年貴族院に入り同九年貴族院速記技手に任ぜられ以て今日に至る著書に「各式ニ應用セル複音字法」あり【家庭】妻千代子（明三七）長男敏晴（大一四）二男永雄（昭二）三男重雄（昭三）

高橋　守　三井銀行(株)調査課産業主任　東京市外大崎町上大崎四四四
君は福岡縣人高橋謙の長男明治廿五年五月十日を以て生る大正六年東京帝大法科政治科を卒業直に三井銀行に入り深川若松各支店に歷勤し同十四年同行本店調査課産業主任となり以て今日に至る　宗教眞宗【家庭】父謙（元治元）母とわ（明四）妻たか（明三二）福岡縣人小川健次妹日本女子大卒　長男久（大一二）二男大二（昭四）

高橋林三郎　リーガル商會　歐米化粧品直輸入商　所得税五一九一〇　東京市麹町區元園町一ノ三一　電九段一一九一（商會）日本橋區本町一ノ一四　電日本橋三九六九
君は東京府人高橋善助の四男明治十二年十二月十八日東京市芝區に生れ同卅二年家督を相續す夙に義兄たる莊司七之助に就きて理髪業に從事し同卅八年獨立して一般化粧品輸入商を創めリーガル商會と稱す自製品としてベジリン香水ユーモリンクリーム等を發賣す　宗教日蓮宗【家庭】妻ヘウ（明一二）京都府士族吉井平八郎二女　長男進（明四四）慶大豫科在　四女敦子（明四一）東京女學館卒　二男信義（大二）東京高校尋常科在　五女御慶子（大四）三男公雄（大九）長女千代子（明三三）東京女學館卒は福岡地方學賣局長松崎漸吉に二女君子（明三五）跡見高女卒は東京市技師德重正夫に三女貞子（明三六）東京女學館卒は平岩米吉に各嫁す

高比良養次郎　高比良醫院　醫師　東京日本橋區品川裏河岸六　電日本橋二四二六
君は佐賀縣人中島甚吉の三男元治元年四月廿三日同縣藤澤郡に生れ後高比良道仙の養子となり家督を相續す明治十九年長崎醫專を卒業し長崎病院順天堂醫院等に勤務同廿六年高比良醫院を設立醫師を開業以て今日に至る　宗教禪宗　趣味書畫【家庭】妻龍子（明八）養父道仙長女　長男博男（明三六）二男靖男　二女慶子（明四一）東京女高師附高女卒　長女千代子（明三二）同校卒は他家に嫁す

高見　豊　早稻田第一高等學院教授　東京市牛込區辨天町七
君は東京府人高見淸九郎の四男明治十六年五月廿九日を以て生れ後分家す同卅八年東京物理學校を卒業後早稻田中學校教諭早稻田高等正則法政高等明治高等各豫備校教授を經て大正八年早稻田第一高等學院教授に轉じ傍ら早稻田高等豫備校講師を兼ね今日に至る　趣味芝居【家庭】妻シゲ（明一九）東京府人原田八十七妹渡邊高女卒　長男淸（明四一）東北帝大理科在　二男亘（大元）浦和高校在　四男孝（大五）東京府立四中在　長女幸子（大八）二女雅子（大一二）六男昭（昭二）

高柳直兵衛　大日本製帽(株)社長高柳保財(資)高柳商店(名)各代表社員　絲紡績(株)監査　綿絲染絲商　所得税二一三一　東京市赤坂區青山南町一ノ五五　電青山八四四四
君は東京府人大森加津の弟明治十三年十二月を以て生れ同卅五年家督を相續し前名辰三郎を改む綿絲染絲商を營み現時前記會社の重役たり【家庭】妻ふく（明一七）神奈川縣人深澤周藏二女　長男康夫（明四三）女秀（明四一）女縫（明四二）二男新次郎（明四五）三男辰三郎（大二）四男敏浩（大五）四女綾子（大七）五女尙子（大九）五男義治（大一〇）六男茂雄（大一二）七男多（大一五）

高山常哉　高山組工務店主　土木建築請負業　所得税六八三　東京市外中野町本鄕五〇　電四谷三四八六
君は宮崎縣人隈本淸吉の二男明治廿三年五月廿六日同縣南那珂郡飫肥町に生れ後先代弘一の養子となり同卅八年三月養家を相續す同四十三年工手學校土木科を卒業同年足尾鐵道會社に入り大正二年橋本組工業合資會社工事主任となり昭和三年九月之を退き現地に土木建築請負業を開業以て今日に至る其工事の主なるものに東京工業試驗所中間工業試驗工場保安設備工事及鹽素化罐製造据付其他工事陸軍兵器支廠淸凉火藥庫新設工事近衞騎兵聯隊兵舍其他震災復舊工事近衞師團經理部及中野電信隊第一聯隊兵舍其他震災復舊工事等あり　宗教神道　趣味大弓演劇【家庭】妻とく（明三一）茨城縣人黑澤ふく長女水戸高女卒　男文夫（大一〇）

鷹見五郎　大日本製糖(株)總務部參事　東京麻布區笄町二一八　電青山三三八三
君は新潟縣人鷹見茂德の五男明治十五年九月四日を以て生れ後分家す夙に東亞同文書院を卒業し大日本製糖に入り上海出張所長本社商務部參事東京工場長を經て昭和五年同社總務部參事となり以て今日に至る曩に瓜哇に出張視察す【家庭】妻八重子（明二四）新潟縣人本間仙平二女越後高女卒　長男嶺夫慶應高等科在

瀧川一則　川島甚兵衛商店東京支店長　東京市外杉並町天沼五二
君は鳥取縣士族瀧川一信の長男明治廿一年七月五日を以て生れ大正十一年家督を相續す鳥取縣立第一中學校を經て大正二年東京美術學校建築圖案科を卒業同年四月京都西陣川島甚兵衛商店織物所に入り現時同店東京支店長たり其間第五回勸業博覽會に室內裝飾圖案を出品入賞し又最近日本郵船會社淺間丸氷口丸特別客室の裝飾設計をなす　宗教禪宗　趣味日本音樂尺八【家庭】妻リユ子（明二九）東京府人眞岡雄次郎女同府立第二高女卒　嗣子一博（大六）同府立第四中學在　女笑子（大四）同府立第二高女在

龍口了信　勳四　高輪中學校主　高輪商業學校主兼校長　東京市外蒲田町北蒲田九〇〇　電蒲田七二九
君は廣島縣人龍口了海の二男慶應三年十月十日同縣に生れ明治七年東京帝大文科國史科を卒業直に廣島縣立第一中學校教諭同縣立第三中學校長本派本願寺文學寮教授同東京講習所長同臺灣教校監督に歷任同卅六年十二月高輪中學校を創立校主となり今日に至る傍ら前記の任にあり此間選ばれて衆議院議員たる事二回に及ぶ　宗教眞宗【家庭】婦千代（明三〇）養嗣子護信妻東京府人新見喜代槌長女廣島山中高女卒　同長男信義（大九）同二男信實（大一〇）同三男信宏（大一二）同四男信光（大一四）長女照子（昭二）

竹內仙次郎　米井商店(株)會計部主任　東京市外瀧野川町田端三二二
君は廣島縣人婁宇吉の二男明治十九年五月一日を以て生れ大正二年竹內家の入夫となり家督を繼ぐ同年慶應義塾理財科を卒業し第一銀行橫濱支店に入り同九年米井商店に轉じ現時同社會計部主任たり　宗教眞宗　趣

味圍碁【家庭】妻郁子（明二八）長崎縣人西田剛雄姉長崎縣立島原高女卒　長男俊夫（大八）長女明子（大一五）

竹村松三郎　梅島町會議員　同學務委員　若者組合長　吳服商　東京府南足立郡梅島町島根二六二五　電千住二五〇三
君は靜岡縣人竹村幸太郎の三男明治廿二年十一月廿八日同縣濱名郡に生る同四十年上京機械に依る中形々付法を考案工夫し大正四年獨立して該事業を創め同九年吳服商を兼營し以て今日の隆盛を致す現に選ばれて町會議員たる外前掲諸職を兼ね尙梅島町氏子總代たり　宗教眞言宗　趣味狩獵將棋【家庭】妻つね（明二七）長男壽夫（昭五）長女博江（大四）潤德高女在

武田勝藏　慶應義塾大學教授　宮內省圖書寮編修官補　高松宮編修囑託　東京市外代々幡町幡ヶ谷三六六四　電四谷四六八二
君は東京府人武田尙の長男明治廿九年九月廿七日を以て生る大正九年慶大文學部史學科を卒業直に宮內省圖書寮に入り傍ら有栖川宮編修囑託となり次で高松宮編修囑託に轉じ昭和二年慶應義塾大學教授に任じ今日に至る　宗教曹洞宗　趣味旅行【家庭】父尙（安政六）從四位勳四等高松宮囑託現戶主　妻富子（明三八）長野縣人山下成雄長女長野高女卒　長男尙和（昭四）長女昭子（昭二）

武田安司　武田安司商店主　木綿問屋　所得税一一九　東京市日本橋區富澤町二五ノ一　電浪花四〇〇
君は本名を門太郎と稱し愛知縣人武田龜太郎の三男明治廿四年九月七日同縣海部郡に生れ後家督相續す夙に兼松商店に入り支配人たりしが後之を辭し大正十二年斯業を創め以て今日に及ぶ　宗教眞宗　趣味將棋【家庭】父龜太郎（安政四）妻花子（明三〇）京都府人日下部延三郎長女京都市立高女卒　長男賢（大八）二女節子（大一二）

伊達正人　正四　男爵　舊仙臺藩國老　北海道石狩郡當別村
當家は仙臺藩主伊達家の一門にして世々同藩の國老として岩出山一萬四千六百石を食み先々代邦基に至る邦基明治二年北海道に移住し同道開拓に努力す君は其孫同十九年八月を以て生れ同廿四年父基理の家督を相續し同廿五年特旨を以て華族に列し男爵を授けらる【家庭】妻トモ（明二四）北海道士族和田直衞二女　長男邦泰（大二）二男宗篤（大五）二女千代子（大八）四女鶴代（大一四）弟直溫（明二一）及其妻子

棚橋一郎　郁文館中學校　郁文館商業學校　三田高等女學校　東京高等女學校　各校主　橫河橋梁製作所(資)出資社員　東京市本鄕區丸山新町一七　電小石川四〇〇
君は岐阜縣人棚橋大作の長男文久二年十一月十三日を以て生れ明治廿三年家督を相續す東京英語學校大學豫備門等を經て同十七年東京大學和漢文科を卒業し直に東京大學豫備門御用掛一高教諭等を經て現に郁文館商業學校外前掲諸學校々主たり　宗教禪宗【家庭】母絢子（天保一〇）長男勝太郎（明三七）慶大高等科卒　二男駿次郎（明三九）慶大高等科卒　五女須惠子（明四二）跡見女學駿河臺女學院各卒　長女鉉子（明三五）は高橋文雄に嫁す

谷川義男　大東海上火災保險　日本玩具製作所各(株)取締　所得税九九　兵庫縣武庫郡住吉村畦倉一一〇七　電御影二一二五
君は三重縣人谷川文七の四男明治十七年六月を以て生れ大正三年家督を相續す夙に米國に遊學し明治四十三年ハーバート大學を卒業しマスター・オブ・アーツの學位を受く歸朝後大阪高商教授たる事七ヶ年退官して實業界に入り現時大東海上火災保險日本玩具製作所各取締役たり餘暇親鸞主義普及會を起し雜誌及講演に親鸞教の宣傳に努む【家庭】母くら（嘉永五）妻タツ（明二七）長崎縣人宮田安次郎長女　長男義春（大五）二男義文（大八）四男正雄（大一四）二女喜美子（昭二）

谷口作治郎　順和公司　アイフ本舖　藥商　所得税一四四〇　大阪市東區淸水谷西之町三六五　電東五〇〇
君は奈良縣人谷口甚五郎の長男明治十八年七月を以て生る日露戰後支那貿易に着目し滯支數年大正四年獨力を以て順和公司を設立し現時胃腸藥アイフ外數種の賣藥を發賣す【家庭】父甚五郎（安政四）現戶主　妻こゆき（明二六）奈良縣人松井奈良松長女　男有恒（大五）長女妙子（大八）

谷口忠植　鋼鐵建材製作所(資)代表社員　スチールサッシュ建築金物入チーム煖房ドリアーシアッター裝置製作販業業　東京市本所區東兩國四ノ四八　電本所六二七四
君は東京府人谷口倉吉の長男明治廿九年一月十一日山口縣玖珂郡岩國町に生れ後家督を相續す大正三年大倉商業學校を卒業し昭和五年四月鋼鐵建材製作所を創立し其代表社員に就任以て今日に至る　宗教眞宗　趣味音樂【家庭】妻あや子（明三一）東京府人川端元松長女實踐女學渡邊裁縫高女各卒　長男英一（大一五）二男雄治（昭三）三男建三郎（昭五）

千葉　勉　正五　東京外國語學校教授　所得税五五七　東京市小石川區林町五七
君は宮城縣人千葉信安の長男明治十六年七月を以て生れ同四十一年祖父恭佐の後を承け家督を相續す同四十年東京帝大文科英文科を卒業し大正二年英國に留學し歸朝後同八年東京外國語學校教授に任ぜられ以て今日に至る【家庭】妻きみ（明二六）宮城縣人田代進四郎四女　男享（大一三）長女昌子（大七）二女恭子（大一〇）弟武夫（明二一）

千葉良祐　從五　大阪外國語學校教授　大阪市港區鶴町四ノ一七二
君は岩手縣人千葉晋藏の長男明治四年三月を以て生れ同廿年家督を相續す同廿五年岩手縣尋常師範學校を卒業し小學校訓導たりしが同卅三年更に東京帝大文科英文科を卒業し熊本縣立八代中學教諭となり次で私立明倫中學に奉職する事十一ヶ年大正十一年大阪外國語學校教授に任ぜられ今日に至る曩に米國に留學する事二ヶ年其他支那を漫遊す【家庭】妻元子（明一二）愛知縣士族橫井時儀三女　男庸夫（明四五）三男努（大六）

張　菅雄　正六　遞信技師　東京市外代々幡町代々木西山谷二二二
君は佐賀縣人張二男松の二男明治廿六年三月廿四日同縣に生る大正六年東京帝大工學部建築科を卒業し遞信省に入り次で文部技師となり後遞信省營繕課に勤務同十年遞信技師に任じ同十三年歐米各國を視察し同十四年歸朝經理局勤務となり今日に至る　宗教禪宗　趣味運動【家庭】父二男松（慶應元）現戶主　妻鈴子（明三三）東京府人足立英夫姉中村高女卒　長男俊一郎（大

一三）長女澄子（大一二）二女恭子（大一五）三女和子（昭三）

津田　鑿　建築士　東京市牛込區早稻田南町　電牛込五六一（事務所）麹町區丸ノ内三菱二一號館　電丸ノ内八八六

君は兵庫縣人津田龜太郎の長男明治十三年二月二日姫路市に生る夙に工手學校を卒業し三菱地所部に入り大正十年歐米視察の途に就く歸朝後建築事務所を開設し以て今日に至る　趣味寫眞【家庭】妻敏子（明二〇）成女高女卒

津田敏雄　正五勳四　地方技師　大阪府警察部建築監督官建築課長　大阪市西區江ノ子島東ノ町官舍　電土佐堀一〇〇七

君は愛媛縣人津田信介の長男明治十四年三月を以て生れ同卅二年家督を相續す同四十二年東京帝大工科建築科を卒業し陸軍技師愛知縣技師等に歷任し大正十三年地方技師となり大阪府土木建築課長に轉じ現時同府警察部建築監督官建築課長たり【家庭】妻秀代（明二六）愛媛縣人長野駒太郎三女　男敏之（大五）女初枝（大元）四女綠（大九）五女淑子（大一二）

津田野敬一　三井銀行(株)文書課長代理　東京市外大久保町百人町三〇二

君は廣島縣の人明治十八年九月廿七日を以て生る同四十五年東大法科獨法科を卒業直に三井銀行に入り各支店勤務を經て堂島支店長代理となり昭和五年四月本店文書課長代理に就任以て今日に至る【家庭】妻明子（明二六）長男敏（大四）長女わか子（大一〇）二女貞子（大一一）三男勇（大七）四男宏（大一五）

都築直三　東京朝日新聞社營業局庶務部長兼航空部次長　所得税六一　東京市牛込區市谷砂土原町三ノ八　電牛込六二四一

君は東京府士族都築直基の長男明治廿三年七月十二日東京市麹町區に生る大正二年東京高商を卒業後三菱に勤務同十四年東京朝日新聞社に入社し現時同社營業局庶務部長兼航空部次長たり　趣味ゴルフ【家庭】母佐津（文久二）妻きよ（明二二）長男龍一郎（大一四）

塚本岩三郎　東京造畫館主　出版業　東京市赤坂區臺町七七　電青山五〇一四（營業所）京橋區銀座西七ノ五　電銀座七一二三

塚本家は代々豐橋藩士にして先代岩三郎に至る岩三郎夙に工部大學附屬技藝科に入り繪畫及銅版印刷術を學び印刷所を開き商標社と號せり後米國に航し同業に就き視察し歸朝後東京造畫館と改稱し主に教育用掛圖の製作に從事せり君は其の長男明治廿年十月を以て生れ大正十二年家督を相續し前名丈助を改め襲名す同五年東京帝大理科植物學科を卒業し爾來父業を繼承して出版業を營み東京造畫館主として今日に至る【家庭】母ユウ（元治元）妻かね（明二九）東京府人大澤朝次郎妹　長男成雄（大八）妹千世（明二五）

司城元義　日本銀行(株)審査部主事　所得税八二七　東京市外千駄ヶ谷町原宿一〇九　電青山一三七九

君は大分縣人司城通義の長男明治十二年二月を以て生れ同卅九年家督を相續す同卅八年東京帝大法科政治科を卒業し日本銀行に入り調査部調査役を經て現時同行審査部主事たり【家庭】母カク（安政五）大分縣人盧刈杏平長女　妻タッコ（明二六）福岡縣人恒遠新妹　男重義（大二）二女久壽子（大三）三女彌智子（大六）四女多喜子（大八）弟正木（明二〇）同妻スナ（明二六）大分縣人布津紋吉二女及其子女

辻村太郎　從五　東京帝國大學助教授　理學部勤務　東京文理科大學　中央氣象臺技術官養成所各講師　東京市本郷區向ヶ岡彌生町三ほノ一四號　電小石川二八〇三

君は神奈川縣人辻村廷太郎の長男明治廿三年六月十二日同縣小田原町に生れ昭和四年家督を相續す大正五年東京帝大理學部地質學科を卒業し大學院に入り後東京高師教授となり同十年東京帝大助教授となり今日に至る傍ら前記諸職に在り　宗教禪宗　趣味旅行音樂文學【家庭】母靖子（慶應三）妻乙未（明二八）岡山縣人正宗浦二長女岡山々陽女學卒　長男初來（大八）

辻村芳太郎　日神海運商會　東海商事　昭和汽船各(株)社長　海運業　所得税三一九　神戸市山本通四ノ一五　電葺合三三三五

君は佐賀縣人辻村芳藏の長男明治十四年七月を以て生る夙に鎭西學院を卒業し海運業を營み現時前記會社の重役たり【家庭】父芳藏（文久元）現戸主　妻さめ（明二二）兵庫縣人澤村こいと姉　女芳子（明四一）弟善治郎（明二一）弟五兵衞（明三一）同妻きね（明三七）兵庫縣人向岡喜治郎長女　弟進一郎（明三三）妹增子（明三六）妹ハッ子（明四一）

土屋武芳　東京賣肉同業組合幹事　仕吉牛肉店主　所得税一九八　東京市日本橋區住吉町一八　電浪花五三七五

君は山梨縣人土屋三重郎の二男明治廿九年七月三日を以て生れ後分家す夙に東京市立商業學校に學び橘商店に多年勤務し大正十二年八月獨立斯業を創め以て今日に及ぶ　宗教淨土宗　趣味旅行【家庭】妻たけ（明三八）長男一（大一三）二男欣二（昭三）

筒井市太郎　筒井精米(名)代表社員　東京市本所區東兩國四ノ五八　電本所三六四六（別宅）千葉縣千葉郡蘇我町二三一

君は東京府人筒井久兵衞の長男明治八年十二月十八日東京市深川區に生れ後家督を相續す同卅六年以來精米業に從事し大正九年合資組織となし今日に至る　宗教淨土宗【家庭】妻ぎん（明一四）東京府人宇田川萬藏妹　長男久太郎（明四〇）專修學卒　長女文子（明四三）千葉高女卒　二女貞子（大五）千葉高女卒　二男誠次郎（大一一）

堤　祐三　東洋棉花(株)社員　神戸市北野町一ノ三　電葺合二八六八

君は兵庫縣人堤祐一の長男明治十五年七月を以て生れ大正七年家督を相續す明治卅九年東京高商を卒業し後東洋棉花に入り現時同社營業部に勤務す【家庭】父祐一（安政元）母ひさ（安政六）妻ひで（明二〇）長野縣人德武仙太郎妹東京女高師卒　男不二夫（大六）三男敏夫（大一〇）二女節子（大一五）

堤　瀧三　松坂屋(株)上野店洋服部貴金屬部靴鞄部各主任　東京市外巣鴨町上駒込七一〇

君は靜岡縣人堤瀧二郎の長男明治廿六年三月十二日神奈川縣に生れ大正十年家督を相續す同九年東京高商を卒業して長瀨商店に入り同十年五月辭して三越に入り同年十一月更に松坂屋に轉じ商事課陳列場係長食料品部主任を經て現時前掲の職に在り　宗教眞宗　趣味スポーツ旅行讀書【家庭】妻むつ子（明三三）東京府人

丸山多喜代姉立教高女卒　長男仁（大一四）長女はつ子（大九）二女昌子（昭四）

堤與吉郎　日本電氣サイン(株)支配人　管野ゴム工業(株)專務　東京市外荏原町戸越三四一

君は福岡縣人堤與次郎の四男明治十二年二月廿七日を以て生れ後家督相續す大正二年帝國工場協會專務理事となり同十二年之を辭す昭和二年五月管野ゴム工業會社專務取締役に就任同五年五月日本電氣サイン會社の創立せらるゝや其支配人を兼ね以て今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁【家庭】妻房（明二九）福岡縣人今里義一三女　長男昭三（昭三）

恒任寅男　婦人每日新聞社(株)專務　東京市小石川區茗荷谷町一五（新聞社）京橋區北槇町六　電京橋一〇二〇

君は大分縣人恒任銀兵衞の長男明治廿三年九月廿日を以て生れ後家督を相續す夙に操觚界に入り實業之世界副社長たる事六ヶ年次で實業時代社を經營する事七ヶ年にして昭和四年一月婦人每日新聞社長となり同五年四月株式組織に變更と共に其專務取締役に就任し以て今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻よしの（明三〇）大分縣人中島鶴松長女中津高女卒　長男民男（大九）女英子（大一一）女百合子（大一三）女實世子（大一四）女京子（昭二）

常賀松之助　正五勳五　愛媛縣書記官　學務部長　松山市出淵町一官舍

君は福岡縣人常賀淺市の弟明治十七年十二月十日同縣に生る同四十二年東京帝大法科政治科を卒業し文官高等試驗に合格す同四十四年大阪府試補となり福岡縣安達郡長同縣警視茨城宮崎沖繩富山各縣理事官島根縣警察部長等に歷任し現に愛媛縣書記官にして學務部長たり　宗教眞宗　趣味將棋讀書散歩【家庭】妻登美江（明二九）東京府人森麟長女東京府立第一高女卒　長女寛子（大八）二女尚子（大一〇）三女百代（大一三）

坪田脩吉　正五勳四　陸軍技師　陸軍技術本部員　所得税一〇八　東京市外淀橋町柏木三一三

君は福井縣士族坪田仲造の長男明治十五年十二月を以て生れ同廿九年家督相續す同四十一年京都帝大工科機械科を卒業し陸軍に入り陸軍技師に任じ現時陸軍技術本部員たり【家庭】妻重子（明二六）男爵德川好敏妹　男寛（大五）五男彰（大八）六男實（大九）弟民司（明二三）同妻くにゑ（明二九）長野縣人辰野龜男妹

鶴岡瀧吉　鶴岡スプリング製作所　自動車用スプリング製作業　所得税八七　東京市芝區愛宕町二ノ一五　電芝一七四八

君は東京府人鶴岡奥松の長男明治廿二年七月廿五日を以て生れ大正十一年家督を相續す夙に芝區眞島機械工場に入り在勤八ヶ年にして之を辭し先代の創業に係る自動車用スプリング製作業を繼承し現に弟榮五郎と共に之が經營に當れり　宗教日蓮宗　趣味旅行【家庭】母わか（慶應二）妻みつ子（明三二）兵藤治作三女　長女靜江（大一三）弟榮五郎（明三六）鶴岡スプリング製作所工場長　同妻かずゑ（明三九）同長男利男（昭三）

手塚喜三郎　麒麟麥酒(株)經理部計算課長　所得税八五　横濱市中區日ノ出町一ノ二一　電長者町一五九三

君は神奈川縣人手塚歌吉の長男明治廿四年五月廿二日同縣に生る同四十五年横濱商業を卒業し左右田銀行に勤務大正六年之を辭し麒麟麥酒會社に入社現に經理部計算課長たり　宗教眞言宗【家庭】母スエ（安政四）妻マン（明二八）神奈川縣人石塚紋次郎長女　長男喜久雄（大五）横濱商業在　二男俊夫（大九）三男福三郎（大一〇）長女歌子（大一二）二女美佐子（昭二）弟慶三郎（明三〇）慶大理財科卒東京搾油會社員

出崎鶴吉　大阪府多額納税者　つる家(資)代表社員　割烹業　直接國税一一六　大阪市東區北濱五ノ三三　電本局一三五二一七

君は廣島縣人出崎儀兵衞の二男にして同常三の兄明治九年六月を以て生れ同十五年分家す夙に大阪に出で料理人たりしが後つる家と稱し割烹業を營み大正十五年合資組織に改め現時其代表社員たり【家庭】妻さき（明九）大阪府人今中松之介長女　男準一（明四二）女はつ子（明三九）樟蔭高女卒　長女かよ（明三七）は分家し三女里子（明四三）は大阪府人中山德二郎の養子となる

寺井　忍　第一水産(株)社長　所得税三二八　神戸市榮町六　電元町九八六

君は熊本縣士族寺井十次郎の長男明治十二年九月を以て生れ同廿六年家督を相續す同卅八年東京帝大工科造船科を卒業後英國に遊び現時第一水産社長たり【家庭】母辰（安政三）妻モト（明三二）熊本縣人岩崎衞姉　男十輔（明四〇）二女ミワ（大八）三男良樹（大一一）三女町（大一三）四男清（昭二）

寺尾　進　從五勳五　商工書記官　大臣官房會計課長　所得税一七一　東京市四谷區大番町五〇　電四谷三〇一九

君は千葉縣人大西古筑の弟明治廿三年八月を以て生れ寺尾亭の養子となり大正十四年家督を相續す同三年高文に合格し翌年東京帝大法科獨法科を卒業し農商務屬となり爾來保險臨時産業調査局特許局各事務官農商務大臣秘書官農商務商工各書記官商務局貿易課長等に歷任し商務局取引課長を經て現時商工書記官大臣官房會計課長たり【家庭】妻須和（明二八）長崎縣人柴田悌姉

寺田四郎　報知新聞社(株)副社長　辯護士　所得税五二　東京市外目黑下目黑八四五　電高輪一九八八

君は福島縣士族寺田廣人の四男明治十九年二月を以て生れ大正二年分家す明治四十四年東京帝大法科英法科を卒業し辯護士を開業する事一年後獨佛英伊西米各國に留學し濠外滿八年に及ぶ歸朝後明治中央法政各大學講師となり現時辯護士たり昭和五年六月報知新聞社副社長に就任す傍に富士生命保險專務取締役たりし事あり【家庭】妻初代（明二六）長女瑞子（大一四）

十時　尊　東京市助役　東京市外澁谷町圓山七九　電青山二三九一

君は福岡縣人從五位十時惟泰の四男明治十二年九月同縣に生れ後分家す同卅八年東京市事務員を拜命次で主事に任じ大正九年內記課長となり同十四年本所區長に選ばる後東京市を辭し昭和二年以來代々幡町長の職に在りしが同五年六月永田秀次郎の東京市長に就任するや其助役に擧げられ以て今日に及ぶ【家庭】妻靜江（明二六）東京府人池田章長女　長男惟臣（大五）青山學院在　二男惟彥（大七）長女花子（大一一）

補遺

戸野周二郎　從六　四日市市長　四日市市長公舍

君は京都府士族戸野京造の弟慶應二年十二月を以て生れ大正五年分家す明治廿四年東京高師文科を卒業し後東京市下谷區長東京市助役等を經て大正十四年四日市市長に就任し現在に至る【家庭】妻みちゑ（明三）長男正亨（明二七）東京齒科醫專卒齒科醫　同妻かめを（明三〇）東京府人濱岡善次二女　同長女操子（大八）同二女まさ子（大一〇）同三女幸子（大一一）二男哲夫（明二八）同妻しづ（明三五）靜岡縣人松浦利八二女　同長女たか子（大一五）三男秀夫（明三一）六男威（明三九）七男元（明四〇）八男憲二（明四二）

※戸野みちゑの項參照

土井正司　千代田生命保險(互)取締兼東京支店長　所得税六七〇　東京市外澁谷町大山二〇　電青山五八七

君は千葉縣人土井七朗の長男明治十八年五月を以て生れ大正十三年家督を相續す夙に慶應義塾を卒業し現時千代田生命保險取締役兼東京支店長たり【家庭】繼母とみ（明二）妻富美（明二五）愛媛縣人兒島八二郎三女　男和夫（大五）弟清次（明二五）及其妻子

土岐二十八　三井物產(株)社員　東京市外品川町二日市二五一　電高輪二三九九

君は東京府人安達松太郎の六男明治廿八年一月廿四日を以て生れ後土岐文二郎の養子となり昭和二年家督を相續す大正九年中央大學商科を卒業し直に三井物產會社に入社以て今日に至る　宗教眞宗　趣味スポーツ【家庭】養母小菊（慶應三）妻芳子（明三四）大村仙次郎長女鳥取高女卒　長女花子（大一〇）

東郷昌武　內外化學製品(株)社長　所得税五〇　東京市赤坂區青山南町六ノ一〇八　電青山一四四四

君は鹿兒島縣人松本幸之助の三男明治四年十月を以て生れ先代カネの養子となり同卅七年家督を相續す同廿八年京都同志社を卒業し現時內外化學製品社長たり【家庭】妻モト（明一五）東京府人楢林建三郎長女　男城一（明三七）女輝（明三八）女賤惠（明四〇）三男泰武（大二）四男民安（大五）

東條良太郎　醫博　東條病院長　產科婦人科醫師　所得税五八一四　大阪市西區南堀江上通一ノ二五　電新町五〇五

君は千葉縣人東條彰の弟明治二年十一月を以て生れ同四十年家督を相續す同卅一年東京帝大醫科を卒業し現時東條病院長たり大正七年醫學博士の學位を授けらる【家庭】妻ヒサ（明一三）岩手縣人中原正虎姉　長男大平（明三四）二男龍平（明三七）三男周平（明三八）二女節（大三）四男雲平（大五）長女美津（明四〇）は滋賀縣人醫學博士宮本博人に嫁す

當眞嗣合　衆議院議員（沖繩縣選出）沖繩朝日新聞社長　那覇市若狹町一ノ八五　電那覇一三三

君は沖繩縣人當眞嗣正の長男明治十七年十一月廿日首里市に生れ同卅九年家督を相續す夙に國學院大學に學び現時沖繩朝日新聞社長たり昭和五年同縣より推されて衆議院議員に當選し現に立憲民政黨に屬し同縣支部顧問たり曩に首里市會議長たりし事あり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】母つる（明元）妻ちよ子（明二一）宮城安正長女市立實科工藝卒　男嗣光（大五）沖繩縣立一中在　長女よし（明四四）同縣立第一高女卒　二女とみ（大二）同校卒　二男嗣郎（大八）

遠山芳三　東京府多額納税者　遠山商店　東京株式取引所一般短期實物取引員　直接國税八二一七　東京市芝區白金今里町八九　電高輪一五二三　（店舖）日本橋區坂本町五　電茅場町二三一〇

君は埼玉縣人遠山近三の二男同一二の兄明治十八年一月を以て生れ同四十三年分家す現に東京株式取引所一般短期實物取引員にして東京府多額納税者たり【家庭】妻キン（明二八）東京府人市川里吉三女　長男泰三（明四四）二男雄三（大元）六男靜（大九）七男秀雄（大一二）長女千惠子（大一四）

堂本貞一　從五　朝鮮總督府仁川稅關長　朝鮮仁川府港町同稅關官舍內

君は大阪府人堂本源吉の長男明治廿六年十二月廿二日同府に生る大正五年東京外語獨語科を卒業同九年遞信省に奉職遞信局書記官となり爾來釜山郵便局監督課長朝鮮總督府遞信局事務官忠清北道財務部長大邱道財務部長等に歴任昭和四年十二月仁川稅關長に就任し今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書【家庭】父源吉（慶應三）現戶主　妻たみ（明二八）埼玉縣人齋藤傳次郎妹浦和高女卒　長女さち子（大一一）二女あさ子（大三）三女ふさ子（昭五）

時安一郎　日本窒素肥料(株)會計部計算課長　兵庫縣武庫郡今津町高潮一〇〇

君は兵庫縣人時安駒平の長男明治廿一年四月廿二日同縣三原郡加茂村に生れ大正十年家督を相續す夙に洲本中學を經て明治四十四年神戶高商を卒業し直に明治生命保險會社大阪支店に入社後日本窒素肥料會社に轉じ現に同社會計部計算課長たり　宗教眞言宗　趣味謠曲圍碁將棋【家庭】妻すみ子（明二五）兵庫縣人原口長平三女洲本裁縫高女卒　長男新一（大三）浪速高校高等科在　二男久（大九）長女松枝（大六）西宮高女在

德本孝也　正五　勳四　高知營林局技師　高知營林局長　高知市小高坂越前町八五　電高知四八五

君は山口縣士族德本審一の長男明治十六年四月廿四日同縣に生れ大正十一年家督を相續す明治卅九年東京帝大農科林學科を卒業し爾來鹿兒島大林區署技手大阪大林區署技師鹿兒島熊本各大林區署技師鹿兒島東京各大林區署技師林業課長青森大林區署長青森秋田各營林局長等に歴任し後高知營林局長に就任し以て今日に及ぶ曩に大正十五年歐米視察を命ぜられ昭和二年歸朝す防長俱樂部大日本山林會各會員なり　宗教眞言宗　趣味讀畫旅行【家庭】母リツ（萬延元）妻トシコ（明二五）山口縣人岸本貫一妹防府町女學卒　長男孝彦（明四四）山口高校在　二男良孝（大二）多々良中學在　長女タミ（大三）高知縣立第一高女在　三男健輔（大六）同縣立城東中學在　二女サト（大一〇）三女洋子（大一五）

德安實藏　芝區會議員　白金猿町會長　運輸通信社(株)代表取締　運輸通信社長　出版業　東京芝區白金猿町六一　電高輪一〇七

君は鳥取縣人德安定吉の三男明治卅三年二月十三日同縣に生る夙に操觚界に入り大阪時事新報社大阪新報社に歴勤し大正九年東京通信社記者となりしが同十年運輸社を創立し其代表取締役となり運輸通信を發行す昭

和四年芝區會議員に擧げらる【家庭】妻けい子（明三三）東京府人高橋春太郎二女

富岡逸治　神戶製鋼所(株)伸銅部東京倉庫主任　東京市外品川町南品川宿淺間臺一四八〇　電高輪八一一八

君は兵庫縣人富岡德治の長男明治廿四年十月卅一日同縣に生れ昭和三年家督を相續す大正二年大阪大倉商業を卒業し直に大阪瓦斯會社に入り同社書記となり同七年神戶製鋼所に轉じ廣島縣工場購買及倉庫主任門司伸銅工場倉庫購賣係板工場主任淘汰工場主任販賣主任等を歴任し現に同社伸銅部東京倉庫主任にして東京出張所營業係を兼任す　宗教一向宗　趣味讀書【家庭】妻房江（明三一）兵庫縣人富岡榮治二女龍野高女修　弟捨夫（明三四）及其妻子

富岡金平　渡邊倉庫(株)支配人　東京市外落合町下落合二一一四

君は茨城縣人助川作之助の二男明治廿五年四月十一日同縣に生れ後富岡家を再興す昭和四年渡邊倉庫會社に入り現に支配人たり　宗教禪宗　趣味讀書【家庭】妻民子（明三二）

富澤茂登子　戶部高等裁縫女學校長　橫濱中區戶部二ノ三三　電長者町一六三七

女史は神奈川縣人安室平兵衛の長女明治十五年三月十二日橫濱市に生れ後富澤貞藏に嫁す夙に東京和洋裁縫女學校を經て大妻技藝學校手藝部を卒業し大正五年三月現地に戶部高等裁縫女學校を開設し其校長に就任し以て今日に至る　宗教眞言宗　趣味讀書旅行【家庭】夫貞藏現戶主　養子幸吉早大卒戶部高等裁縫女學教諭　長女光永養子幸吉妻東京和洋裁縫女學校師範科及日本女大社會科各卒

富澤與三郎　東京製線(株)經理課長　所得税五五　東京市本鄕區丸山福山町二四　電小石川七〇三九

君は新潟縣人富澤梅太郎の五男明治六年七月二日を以て生れ後分家す夙に新潟中學を卒業し東京醫學院に學び郵便局を經營す同卅一年足尾銅山に勤務同卅四年十一月秋田院內鑛山に勤め後再び足尾銅山に勤む大正十年辭し日本電線會社に入社翌年之を退き同十四年五月東京製線會社に入り經理課長となり今日に及ぶ　宗教曹洞宗　趣味圍碁撞球【家庭】妻ユウ（明一七）秋田縣人岡見護妹　長男和雄（明三八）東京府立園藝學校卒　二男俊雄（明四〇）高千穗高商卒　三男暢雄（明四四）東京市立工藝學校卒　長女玉枝（大六）淑德高女在　四男卓雄（大一二）

富田莊次郎　富田商店(株)取締代表　諸機械工具輸入製作銅鐵材料販賣業　東京市京橋區銀座西八ノ七　電銀座五七七

君は京都府人富田元吉の長男明治十八年十一月六日京都市に生れ後家督を相續す大正八年富田商店を創立し現時同店取締役代表にして諸機械工具輸入製作銅鐵材料販賣業を營む　宗教眞宗　趣味讀書旅行【家庭】妻てい（明二六）松下龜次郎二女　長男正雄（大八）二男福三郎（大一〇）三男眞次郎（大一五）二女俊子（昭四）

富田淑雄　東京童話研究會長　東京藝術協會主事　日米子供親善會主幹　東京時事通信社(株)學藝部長　富田童話會長　東京市牛込區戶山町三〇　電牛込五五〇三

君は明治廿八年五月六日岐阜縣安八郡牧村に生る大正三年岐阜中學を同四年岐阜縣師範學校本科二部を各卒業後東洋音樂學校に學び神戶市雲中學校敎諭たりしが幾許ならずして之を辭し東京府青山師範學校專攻科に入る此間巖谷小波岸邊福雄久留島武彦の諸氏に師事して童話學童話史童話術を研究し後東京童話研究會々長及富田童話會々長に就任す昭和三年童話研究の爲渡米し全米國を視察巡回講演をなし同四年十一月歸朝す現時東京時事通信社學藝部長たる傍ら前掲の諸職を兼ぬ【家庭】妻俊子（明四一）東京府人故東京時事通信社長山本岩夫女精華高女林舞踊研究所各卒舞踊家

富田廣重　宮城縣會議員　仙臺市小田原裏山本丁

君は宮城縣人富田喜平治の長男明治廿一年十月十六日同縣柴田郡富岡村に生れ大正十二年一月家督を相續す現に宮城縣會議員にして立憲民政黨に屬す【家庭】母よし（慶應三）弟廣次（明二五）同妻ことし（明二八）宮城縣人太田榮七五女　弟廣四（明三五）弟廣五郎（明四〇）

富永靜雄　日本晝夜銀行(株)支配人　東京市麻布區霞町七　電青山六二一一

君は佐賀縣人富永寂一の三男明治廿二年四月十八日を以て生れ大正十一年分家す明治四十四年長崎高商を卒業後臺灣銀行東京支店頭取席安田銀行外國課長等に歴勤昭和三年日本晝夜銀行に轉じ調查課計算課長副支配人を經て現時同行支配人たり交詢社東京ローンテニス俱樂部各會員　宗教眞宗　趣味運動音樂【家庭】妻直子（明三一）佐賀縣人水頭碧長女佐賀縣立鹿島高女卒　長男雄一郎（大一三）長女京子（大一一）二男雄二郎（大一五）三男秀雄（昭四）

友田貞吉　旭倉庫(株)社長　大正製藥(株)取締　友田(資)代表社員　藥種貿易及製造業　所得税一一〇一三　東京市麴町區上六番町三〇　電九段一一八〇

君は新潟縣士族南部信近の三男明治五年九月を以て生れ友田嘉兵衛の養子となり同卅二年分家す同廿八年大阪高商別科を卒業し藥種貿易商を營み現時前記各會社の重役たり【家庭】妻ひて（明一三）大阪府人谷山ツル女　長男榮一（明三五）二男巖（明三七）女節子（明四〇）三男實（明四四）長女貞子（明三五）は神奈川縣人牧野カネの養子となる

鳥居龍藏　文博　國學院大學　上智大學各敎授　世界聯盟人類學院會員　所得税一一七　東京市麻布區霞町二一　電青山六〇四五

君は東京府人鳥居新次郎の二男明治三年四月を以て生れ同卅六年家督を相續す夙に人類學の研究に沒頭し斯界の權威として知られ曩に東京帝大助教授に任じ同校文學部及理學部に人類學講座を擔當す大正十年文學博士の學位を授けらる現時國學院上智各大學教授にして傍ら世界聯盟人類學院會員たり【家庭】妻キミ（明一四）德島縣士族市原弘之姉　男龍次郎（大五）女幸子（明四〇）女緣子（明四三）長女初香（明三七）は神奈川縣人大塚彌市の養子となる

名和助市　京都府多額納税者　證券米取引員　直接國税五二〇三　京都市東洞院錦小路下　電本六七〇

君は岐阜縣人戶崎多平治の四男慶應三年三月を以て生れ先代かつの養子となり明治卅五年家督を相續す現時證券米取引員にして京都府多額納税者たり【家庭】妻

やゑ(明一六)滋賀縣人井上文治郎妹　養子信吉(明三〇)京都府人岩崎長四郎兄　女祐(明三六)養子信吉妻　同長男和子(大一四)

內藤 正之　內外物產企業(株)取締　三陸水電(株)支配人　內外電車用品各　東京市芝區西久保廣町二四　電芝八五三

君は明治廿七年一月四日東京市に生る立教中學を經て大正九年慶應大學を卒業し現時前記諸會社の重役にして三陸水電支配人たる外電氣倶樂部電氣協會各會員たり　趣味撞球ゴルフ野球【家庭】妻蝶子三輪田高女卒　長女華子(大九)二女優子(大一一)

內藤 光次　クロードネオン電氣(株)取締兼大阪支店長　兵庫縣武庫郡岡本裏ノ山二六四

君は大阪府人內藤卯三郎の長男明治十九年一月十六日兵庫縣に生れ後家督を相續す同卅九年慶應大學豫科を修業し同年渡米同地に於て材木輸入商を經營し歸朝後米國ユリカ木材會社代理店をなり昭和四年七月クロードネオン電氣會社取締役に就任現に大阪支店長を兼ぬ　宗教禪宗【家庭】妻いの(明二二)岡山縣人武之一二長女日本女大國文科卒　長女一子(大一三)二女雅心(昭四)

中井 利正　關西鑄鐵所　精版印刷　日本エッチピー特許製版各(株)取締　所得税四一一八　大阪市天王寺區眞法院町七一　電南三一二五

君は奈良縣人秋山利平の二男明治十六年三月を以て生れ後中井德次郎の養子となり大正十三年分家す明治四十年東京高工紡織科を卒業し現時前記會社の重役たり【家庭】妻きみ(明二二)養父德次郎長女　長男正太郎(大二)長女まさ(大五)二男寛三(大八)二女よし(大一〇)三男道夫(大一二)

中井 光次　從五　千葉縣書記官警察部長　千葉市寒川九八五　電千葉一一〇

君は靜岡縣の人明治廿五年十月五日を以て生る大正六年東京帝大法科英法科を卒業し福井縣屬となり次で和歌山縣郡長を經て栃木縣東京府兵庫岡山鳥取千葉各縣等に勤務し昭和四年千葉縣警察部長に就任し以て今日に至る　宗教禪宗【家庭】妻ミチ子(明三〇)靜岡縣人黒田重平長女　長男和彦(大一一)

中澤 新　折原製作所(株)專務　東京市芝區白金志田町三〇　電高輪七〇六〇

君は埼玉縣人折原信忠の二男明治十三年二月廿五日同縣に生れ中澤さだ子の養子となり同廿九年家督を相續す大正三年中澤製作所を興し之が經營に當り同八年折原製作所專務取締役に就任以て今日に至る【家庭】妻かね子(明三三)男正春(明四三)攻玉社修　長女とり子(大五)東京府立第三高女在

中島 幾三郎　大阪商工會議所議員　奈良土地興業(株)取締　印刷機械商　所得税二三四八　大阪市西區土佐堀通五ノ六　電土佐堀四五二四

當家は岐阜縣より出で後大阪に住す君は先代幾三郎の長男明治十八年三月を以て生れ大正十三年家督を相續し前名種太郎を改む夙に大阪高工機械科を卒業し印刷機械商を營み現時大阪商工會議所議員奈良土地興業取締役にして曩に大阪鐵工業會館取締役たり【家庭】母スヱ(文久三)大阪府人川上梅造長女　妻イク(明二二)同府人横田梅太郎妹　男康治(大三)長女須美子(明四四)二女艶子(大五)三女繁子(大七)四女萬里子(大一〇)三男暉郎(大一三)

中島 德三　宇田商店(資)支配人　東京市外大崎町桐ケ谷五四六

君は東京府人山賀新太郎の二男明治廿一年九月廿一日を以て生れ後中島家の養子となり家督相續す同四十三年慶應商工學校を卒業し直に明治屋に入り倉庫係長となる大正六年日本石油株式會社に轉じ購買係たりしが昭和五年五月宇田商店に入り支配人となり以て今日に及ぶ　宗教基督教　趣味園藝【家庭】妻ミサオ(明二六)東京府人菅沼爲之助長女ウヰルミナ高女卒　長男讓治(大七)二男愛作(大一二)長女とみ(大一四)二女和子(昭三)

中西 逸平　中西醬油(株)監査　横濱市鶴見區鶴見町七二　電鶴見五六九

君は神奈川縣人中西重造の長男明治廿八年五月を以て生る現時中西醬油監查役たり曩に神奈川縣多額納税者たり【家庭】父重造(慶應二)現戸主　母フク(明元)神奈川縣人持丸秀則二女　妻トミ(明三三)同縣人小川道之助長女　長女美智(大一三)二女要(大一五)

中野 愛之助　住友(資)社員　東京市外入新井町新井宿二六七四　電大森三六七七

君は愛知縣人中野善右衞門の三男明治八年八月廿五日を以て生れ後分家す同卅四年工手學校を卒業直に住友合資會社本店に入り在勤三年の後四國別子鑛業所に轉じ後再び本社に復歸し大正二年以來東京支店工作部に勤務し以て今日に至る　宗教眞宗　趣味將棋讀書【家庭】妻トヨ(明一九)大阪府人原幸衞女堂島高女卒　長男俊郎(明四四)二男次郎(大二)東京府立一中在　三男茂(大四)芝中學在　長女道子(大七)二女寛子(大一五)

中村 郁次郎　東京タクシー自動車(株)專務　日本コルク　田林商店各(株)取締　日本味噌(株)監査　所得税四〇二　東京市外入新井町新井宿二六一一　電大森四七五

君は群馬縣人吉田修藏の弟明治十一年三月を以て生れ先代清藏の養子となり大正十一年家督を相續す明治廿二年東京高商を卒業し現時前記會社の重役にして曩に中村高等女學校長たり【家庭】妻さだ(明一七)養父清藏長女　長男清之介(明三五)二男清二郎(明三八)三男清三郎(明四〇)四男清四郎(明四二)五男五郎(明四四)六男六郎(大元)七男清七郎(大三)長女千代子(大六)二女福子(大八)八男郁雄(大一〇)三女なつ(大一三)養父清藏(萬延元)は養母せい(文久三)靜岡縣士族坂本復之長女を伴ひ分家す

中村 英三　日本勸業銀行(株)檢査役　東京市牛込區市谷臺町四

君は京都府人人見秀吉の三男明治廿二年二月十四日を以て生れ後同府人中村安治郎の養子となる同四十三年東京高商を卒業し京都府農工銀行に入り日本勸業銀行に合併後引續き勤務し後京都支店に轉じ昭和三年本店に入り現に同行檢查役たり　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】父安治郎(安政元)妻ふみ子(明二五)養父安治郎長女京都府立第一高女卒

中村 操　從六勳六　在鄉海軍少佐　日本郵船(株)船長　所得税四〇二　東京市外大井町四七四〇　電大森三二五一

中村家は先代專之助舊廣島藩士中村儀八郎の養子となり分家して一家を創立したるに創る君は其男明治十一年二月を以て生れ同四十五年家督を相續す同卅四年商船學校を卒業し日本郵船に入り現時同社船長たり日露日獨兩役に際し御用船に在りて航海に從事し功あり海軍少佐に任じ勳六等を賜る【家庭】妻ふみ(明二一)東京府士族長野貞一四女　長男路一(明四四)二男貞成(大三)長女澄子(大七)二女茂子(大九)三男幸夫(大一二)三女美佐江(大一五)

永田 歸三　第一銀行(株)堀留支店支配人　東京市日本橋區田所町二〇　同銀行內　電浪花二二八八

君は山口縣士族小野二郎の弟明治十三年十一月を以て生れ先代盛章の養子となり大正十四年家督を相續す同卅五年明治大學を卒業第一銀行に入り室蘭伏見各支店支配人を經て現時堀留支店支配人たり　趣味散歩讀書【家庭】妻花(明二八)三重縣人本崎武三郎二女

永田 良介　神戸商工會議所議員　家具商　所得税八〇七　神戸市三宮町三ノ四二　電三宮一二四〇

君は長野縣人飯島義治郎の弟明治十一年一月を以て生れ先代良介の養子となり同四十年家督を相續し前名千和重を改む家具商を營み現時神戸商工會議所議員にして曩に神戸市西洋家具商組合長たり【家庭】妻とわ(明一八)兵庫縣人太田新三郎長女　養子善從(明三一)三重縣人中野國松三男京都高等工藝卒　養子みつゑ(明三四)養子善從妻兵庫縣人太田新三郎孫神戸親和高女卒　同長男良一郎(大一四)同長女良子(昭二)妹たね(明一二)

永島 貞雄　勳六　外務省囑託　東京市赤坂區青山南町二ノ三四

君は熊本縣士族勤王家贈從四位永島三平の孫明治廿一年八月廿七日鳥取市に生れ大正十四年分家す明治四十年岡山中學を卒業後英人に就き英語學を研究し後牧師となる大正八年陸軍省通譯官に任じ西比里亞事變に從軍す尋で昭和三年不戰條約全權伯爵內田康哉の隨員として巴里に航し歸途歐米を歴遊す同九年外務省に入り現時同省囑託たり著書に「手相神秘」「手相と運命の見方」「第七感の神秘」其他あり　宗教基督教　趣味釣魚【家庭】妻滿子(明三三)香川高女卒　長男信義(大九)長女愛子(大五)普蓮士女學在　二男博(大一五)

永野 修身　從四勳二功五　海軍中將　海軍軍令部次長　東京市外池上町石川二二九　電荏原二九七二

君は高知縣士族永野春吉の四男明治十三年六月を以て生れ後兄正路の養子となる同卅三年海軍兵學校を卒業し同卅五年海軍少尉に任じ昭和二年海軍中將に累進す其間海軍大學校を卒業し米國駐在日進磐手各副長海軍省人事局々員人事第一課長平戸艦長米國大使館附武官を經て華府會議全權委員隨員被仰付爾來海軍々令部參謀兼海軍艦政本部技術會議々員第三戰隊司令官遣外艦隊司令官海軍々令部出仕海軍兵學校長等に歷補し昭和五年六月海軍々令部次長に補せらる【家庭】養父正路(萬延元)現戸主　養母マス(明七)北海道人東六三郎二女　妻ユウ(明二四)廣島縣人三浦市太郎叔母　長男浩(大八)三女壽子(大七)

長尾 優　從六　醫博　宮內省侍醫寮御用掛　東京高等齒科醫學校教授　東京市外杉並町高圓寺六一一　電中野二三六六

君は香川縣人長尾恂三の長男明治廿年五月廿二日を以て生れ昭和四年家督を相續す大正三年東京帝大醫科を卒業後同大學齒科學教室に於て研究同五年斯學研究の爲米國に留學同七年歸朝後文部省齒科醫師試驗所附屬病院に勤務す尋で昭和四年四月歐米出張研究を命ぜられ同五年五月歸朝現時東京高等齒科醫學校教授にして侍醫寮御用掛を兼ね又文部省齒科醫院に勤務す　宗教眞言宗　趣味スポーツ【家庭】妻なほ子(明二七)長野縣人小澤侃二二女三輪田高女卒　長男透(大六)成蹊學園在　長女くみ子(大六)二女晶子(大六)

長崎 芳次郎　勳八　風呂敷問屋　東京市日本橋區橘町三ノ一二　電浪花六一〇一

君は三重縣人長崎權兵衞の二男明治十五年五月卅日同縣惠比須町に生れ後分家す夙に文七元結店に勤務す嘗て横須賀野戰重砲兵として日露戰役に從軍す後同卅九年風呂敷問屋を創業し今日に至る　宗教淨土宗　趣味觀世流謠曲【家庭】妻光子(明二二)東京府人山崎吉太郎二女　男恒雄(大一三)三女久子(大九)

長澤 傳六　正五勳四　醫博　東京市技師　東京市立廣尾病院長　醫師　東京市赤坂區青山南町六ノ五一　電青山二七八三

君は福島縣人渡邊傳吾の弟明治八年四月を以て生れ後先代良中の養子となり同卅七年家督を相續す同卅四年東京帝大醫科を卒業し同大附屬醫院內科に入りベルツ三浦入澤各博士に就きて內科學を專攻し爾來滋賀縣立彥根病院長山梨縣病院長同縣技師熊本縣技師熊本醫科大學長等に歷任し現時東京市立廣尾病院長たり大正九年歐米各國に出張し同十一年醫學博士の學位を受く【家庭】養母ナツ(慶應元)福島縣人阿部健藏二女　妻タケ(明一一)養父良中長女　長男武夫(明三七)第一高校卒　女雪枝(明四三)東京府立第一高女卒　女綾(大二)同校在　二男正男(大六)長女菊枝(明三九)は新潟縣人關進一郎弟宏二郎に嫁す

長島 武治　東京市會議員　小石川藥業會長　藥劑師　藥種化粧品商　東京市小石川區武島町二〇　電小石川二四三四

君は明治十三年四月を以て生れ後家督を相續す夙に藥專を卒業す藥劑師にして現時藥種化粧品商を營み選ばれて現に東京市會議員たり　宗教日蓮宗【家庭】妻マツ(明三七)東京府人小野田長之助女　長男俊八郎(明四五)慶應大學高等科在

長田 光弘　丸菱商會(株)常務　東京市淺草區諏訪町一〇　電淺草四〇二三

君は岡山縣人長田義明の二男明治廿六年五月一日岡山市に生れ後家督を相續す夙に六高を經て京都帝大法科佛法科に學び在學中判檢事試驗に合格し司法官試補となり東京浦和各地裁判所に歷勤し後官を辭し大正七年合資會社丸菱商會を設立ナショナル宛名印刷機販賣業を創め昭和五年之を株式組織に改め現に同社常務たり曩に佛國に留學す　宗教眞言宗【家庭】妻登喜(明四一)東京府人松野忠松長女東京府立第一高女卒

長村 政七　木政商店主　小間物問屋　所得税一九三　東京市日本橋區馬喰町三ノ二　電浪花二七六八

君は東京府人先代政七の男明治廿四年十二月を以て生れ後家督を相續し政七を襲名す夙に千代田商業會社天野源七商店等に勤務す大正三年先代政七の創業に係る家業小間物問屋を繼承木政商店と稱し經營以て今日に及ぶ現時推されて東京小間物卸商同業組合副組長たり　宗教眞宗　趣味弓道【家庭】妻歌子東京府人貫井輝四郎妹　男圭造（大一四）長女治子（大一五）二女和子（昭四）弟文次郎　妹國子

並木伊之助　壁材料屋並倉庫業　撞球場經營　所得税九〇　並木商店主　東京市京橋區木挽町三ノ六　電京橋五八五二

君は廣島縣人瀧迫金四郎の二男明治卅六年一月卅一日尾道市に生れ後並木伊之助の養子となり大正十五年家督相續と共に幼名普久三を改む明治卅六年の創業たる壁材料問屋並に倉庫業を營み今日に至る傍ら撞球場經營主たり　宗教淨土宗　趣味觀劇

仁瓶平二　從六　拓務技師　拓務局勤務　東京市麴町西日比谷町拓務省氣付

君は新潟縣人仁瓶儀平の三男明治十七年十二月十二日を以て生る同四十一年東京帝大林學科を卒業し農商務省に奉職し山林技手茨城石川各縣技師を經て藤田組に入り現時拓務技師にして拓務局に勤務す曩に新嘉坡に出張視察す　趣味運動【家庭】妻ツル（明二〇）長野縣人花里藤吉長女　長男康平（大四）大阪豐中中學在　長女喜美子（大元）大阪市立高女卒　二男健二（大五）同校在　三男廉三（大七）四男誠五（大一二）

新田宗雄　東京電燈(株)勞務課長　所得税六〇　東京市外杉並町馬橋三七〇　電四谷四七五二

君は熊本縣人新田乘見の長男明治廿一年一月十七日同縣に生れ後家督を相續す大正五年東京帝大法科政治科を卒業久原製鐵東洋製鐵九州製鋼等に歷勤同十三年東京電燈會社に轉じ橫濱支店勤務を經て昭和三年同社勞務課長となり今日に至る　宗教眞宗　趣味音樂武道【家庭】妻誠子（明三一）東京府人相澤盤長女京華高女卒　長男英一（大一一）二女久子（昭三）二男信夫（昭五）

新納（ニイロ）靖（ヤスシ）　正五勳五　日本勸業銀行(株)鑑定役　東京市外落合町下落合三七〇

君は熊本縣人新納伊之彥の長男明治十三年一月七日同縣に生れ後家督を相續す同四十年東京帝大農科農學科を卒業し地方技師に任じ香川神奈川新潟岡山靜岡各縣技師に歷任し後中央開墾會社に入社す昭和二年都市計畫事業視察調査の爲歐米各國に出張し同三年歸朝し同年日本勸業銀行鑑定役となり今日に至る　宗教禪宗　趣味運動【家庭】母綾香（安政三）妻英子（明二二）千葉縣人增永洋吉長女東京府立第二高女卒　長男博男（明四四）慶大經濟學部在　長女慶子（大四）東京府立第二高女在　二男次夫（大八）三男英夫（大一一）

西池正顯　鹽野義商店(株)主事　東京出張所長　藥劑師　東京市外落合町下落合一三八四　電大塚三五五一

君は京都府人西池里顯の二男明治十八年十二月十七日を以て生れ後分家す同卅八年東京藥學校を卒業同卅九年藥劑師試驗に合格す後東京市養育院藥局長となり大正七年鹽野義三郎商店に入る同八年同店の株式組織に變更せらるるや同店主事東京出張所長に擧げられ今日に至る曩に滿洲支那各地を視察す　宗教神道　趣味運動歌澤【家庭】妻とよ子（明三五）東京府人數井七太郎妹神田高女卒　嗣子仲顯（昭四）長女幸枝（明四三）自由學園高等科卒

西川義方　正五勳五　醫博　侍醫　醫師　東京市本鄉區向ケ岡彌生町二ノ四九　電小石川三〇二五

君は和歌山縣人西川信一郎の長男明治十年六月を以て生れ同卅九年家督を相續す同四十年東京帝大醫科を卒業し內科を專攻す大正八年醫學博士の學位を受く現時侍醫を奉職し曩に歐洲各國に差遣さる【家庭】妻やすゑ（明二五）和歌山縣人尾崎榮之助養妹　長男一郎（明四四）二男次郎（大二）三男義久（大五）長女方子（大九）四男重次（大一一）五男五郎（大一五）

西澤重明　安田銀行(株)本鄉支店長　東京市本鄉區本富士町二同行支店內

君は長野縣人西澤貞治の長男明治廿五年十二月十二日同縣に生れ昭和三年家督を相續す大正七年長野縣立上田中學を卒業し信濃銀行安田保善社正隆銀行等に歷勤し後安田銀行伊勢崎支店長たりしが昭和五年同行本鄉支店長となり今日に至る　宗教眞宗　趣味麻雀【家庭】母すい（慶應二）妻早苗（明二八）長野縣人瀧澤楠太郎三女同縣立松本高女卒　長女哲（大四）三輪田高女在

西澤義徵　從五勳五　臺灣總督府稅關長　臺北市御成町一官舍

君は高知縣人西澤岩吉の長男明治廿一年十一月を以て生れ昭和二年家督を相續す大正二年京都帝大法科法律科を卒業し文官高等試驗に合格す同四年神奈川縣理事官となり爾來外務事務官大使館三等書記官同二等書記官領事兼關東廳事務官兼朝鮮總督府事務官等に歷任し同十五年總領事となり臺灣總督府事務官を兼ぬ昭和四年同總督府稅關長に轉任以て今日に至る【家庭】妻セイ（明二七）長崎縣人原秀太姬　姉晴喜（明一八）弟忠喜（明三二）同妻いと（明三二）埼玉縣人熊木まさ姉及其二男　弟正八郎（大九）

西端忠五郎　簾及日用雜貨商　東京市神田區豐島町二一　電浪花一八八三

君は大阪府人西端岩太郎の四男明治廿四年一月十六日を以て生れ後分家す現に簾及日用雜貨商を營む曩に日本妻揚子會社取締役たり　宗教眞言宗【家庭】妻たけの（明三四）長男侃志（大一二）長女美佐子（大一四）

西原嘉一郎　安田生命保險(株)東京支店次長　東京市麻布區三河臺町四

君は靜岡縣の人明治廿二年五月八日を以て生る大正六年共濟生命保險會社に入社名古屋支店勤務となり福岡支店次長たりしが昭和五年五月安田生命東京支店次長に就任以て今日に至る　宗教佛教　趣味圍碁撞球

西村活郎　早川ビルブローカー銀行(株)證券部長　東京市麻布區龍土町六五　電青山六四九四

君は島根縣人西橋忠昭の三男明治廿年二月九日を以て生れ後先代清太郎の養子となり同四十二年家督を相續す大正四年京都帝大政治科を卒業同年紅葉屋銀行に入社し尋で神田銀行總務部長紅葉屋商會信託部長等に歷任し大正十四年早川ビルブローカー銀行證券部長となり今日に至る　宗教神道　趣味釣魚【家庭】妻文子（明二八）長野縣人折井房之長女上諏訪高女卒　男清澄

（大八）長女孝子（大七）東京女學館在　二女和子（大一〇）二男忠澄（大一四）三女米子（大一五）三男龍雄（昭四）

西村治三郎　金剛商會(資)代表社員　紀ノ川製糸所(株)專務　直輸出入業　所得稅三三九三　兵庫縣武庫郡精道村　電芦屋二四七

君は大阪府人西村良政の三男明治十二年一月を以て生れ先代カメの養子となり同廿二年家督を相續す同卅年大阪高商を卒業し直に直輸出入業野澤組に入る商業視察の爲海外に渡航する事前後四回倫敦に滯留する事十ヶ年余後同組橫濱支店長となりしが大正六年之を辭し現時直輸出入業を營み前記會社の重役たり【家庭】妻千代子（明二九）長野縣人山下勝太郎長女東京女高師卒　男良男（大三）長女加千代（明四二）二女瑞代（明四四）三女滿喜子（大一〇）三男英男（大一二）四女鈴代（大一三）四男敏男（大一五）

西本啓　大崎町會議員　電線製造業　所得稅五三　東京市外大崎町下大崎二七　電高輪六三四七

君は廣島縣人佐久間重太郎の三男明治廿五年十月廣島市に生れ後西本うたよの養子となる大正三年早稻田大學理工科を卒業し遞信省に入り會計課監查係たりしが同五年之を辭し同年獨立して電線製造業を創め以て今日に及ぶ　宗教基督教　趣味運動圍碁將棋【家庭】養母うたよ（安政二）妻喜重子（明三二）東京府人吉田純治妹　長男正（大一二）二男威（大一四）長女孝子（昭二）三男保（昭五）

西山陸三　從七勳六　東亞煙草(株)囑託　中和公司各　東京市外碑衾町自由ヶ丘二七一三

君は大阪府人西山佐太郎の三男明治十六年三月三日岡山縣に生る夙に岡山縣淺口郡長となり同四十一年專賣局事業部煙草課係主任となり昭和二年之を辭し同年東亞煙草中和公司各會社囑託となり今日に及ぶ　宗教天台宗　趣味園藝【家庭】妻サク（明二六）京都府人勝山文三郎妹　長男秋郎（明四四）明大商科在　長女禎子（大二）川村女學院在　二女恒子（大六）

根上方次　根上病院長　醫師　東京市外品川町二日市町一四八　電高輪五八八八

君は山形縣人石川直介の四男明治十二年八月五日を以て生れ後根上新兵衞の養子となり同卅九年家督相續す同四十四年醫師開業試驗に合格次で北里研究所にて研鑽を積み大正五年現地に開業し今日に至る　宗教眞宗　趣味圍碁大弓【家庭】妻きよ（明二八）東京府人鈴木德松長女　長男正賢（大三）荏原中學在

根來與助　砂糖商　所得稅一四四一　大阪市南區鰻谷西ノ町三　電南一二五

君は大阪府人先代與助の長男明治廿一年十二月を以て生れ大正五年家督相續と共に襲名して前名顯二を改む明治四十三年大阪高商を卒業し祖業を繼承して砂糖商を營み以て今日に至る【家庭】妻ヱン（明二六）京都府人上田甚五郎妹　長男淳一郎（大五）二男昌二郎（大九）三男光三郎（大一一）長女美砂子（大一三）弟弘（明三六）

根岸貞次　日本興業銀行(株)文書部用度係主任　東京市外千駄ケ谷町八七〇

君は靜岡縣人根岸正次の二男明治七年八月十五日を以て生れ後分家す夙に大藏省に勤務し同卅五年日本興業銀行の創立と共に入行し大正十三年文書部用度係主任となり以て今日に及ぶ銀行倶樂部會員たり　宗教日蓮宗　趣味謠曲【家庭】妻さく（明一一）岐阜縣人服部伊三郎妹名古屋高女卒業　三女千枝子（大元）長女奈美子（明三六）三輪田高女卒は佐賀縣人法學士成立商業教諭に二女登志子（明四一）實踐高女卒は岡山縣人水川浩太橫濱ドック會社員に各嫁す

根岸博　從六　醫博　財團法人泉橋慈善病院皮膚泌尿器科部長　東京帝國大學助教授　醫學部勤務　日本性病豫防協會　日本皮膚學會各理事　東京市芝區高輪北町三一　電芝二七五四

君は埼玉縣の人明治廿二年十月十九日を以て生れ同廿五年同縣人醫師根岸三郎の養子となり後家督を相續す大正六年東京帝大醫科皮膚科を卒業直に傳染病研究所に入り次で東大醫科皮膚科教室に研鑽同十三年十一月東京帝大醫學部講師同十四年同大學助教授に任ぜられ昭和三年一月泉橋慈善病院皮膚泌尿器科部長に就任す同四年一月歐洲各國に出張を命ぜられ同五年五月歸朝す現時東京帝大醫學部助教授にして傍ら前記の諸職を兼ぬ先是大正十五年「皮膚疾患に於けるアルカリ量に就て」の論文を提出し醫學博士の學位を授けらる　宗教臨濟宗　趣味乘馬讀書音樂【家庭】養母美代子（慶應元）妻政子（明三四）埼玉縣人實業家松元文作二女熊谷高女卒

野上啓治　東京電氣(株)購買課長　東京市外馬込町三三三　電荏原三四五七

君は埼玉縣の人明治十六年三月六日川越市に生れ野上八重の養子となり後分家す大正二年慶應大學理財科を卒業し直に東京電氣會社に入り販賣部員門司出張所長東京小賣課長廣告課長等に歷任し現に同社購買課長たり大正十二年米國の電氣事業を視察す　宗教淨土宗　趣味散步圍碁俳句【家庭】妻ふく（明二五）埼玉縣人中川關三長女川越高女卒　長男一郎（大一四）長女はつ子（大八）二女ひろ子（大一一）

野口吉照　本所區會議員　林町々會長　野口活版所主　印刷業　所得稅六一　東京市本所區林町二ノ三　電本所三八〇五

君は東京府人野口吉正の長男明治七年五月廿五日を以て生れ後家督相續す夙に內閣印刷局東京印刷會社等に歷勤す同卅五年五月獨立して印刷業を創め今日に及ぶ傍ら前記諸職を兼ぬ曩に東京印刷同業組合幹事たりしことあり　宗教日蓮宗　趣味俳句【家庭】妻もよ（明一四）千葉縣人木塚萬五郎長女　長男健一（明三八）中央商業修　二男勇次郎（明四二）中央商業卒　三男宗三郎（明四五）二女富美子（大五）大妻高女在

野口信一　日本勸業銀行(株)秘書課長　日本勸業證券(株)監查　所得稅二七九　東京市芝區二本榎町二ノ二三　電高輪六五八〇

君は山口縣人野口權槌の長男明治廿一年六月を以て生れ同四十二年家督を相續す中學卒業後舊韓國政府官吏朝鮮總督府屬官を經て大正十年朝鮮殖產銀行に入り東京事務所主任たりしが昭和二年日本勸業銀行に轉じ現時同行秘書課長たる外日本勸業證券監查役たり【家庭】妻菊子（明三三）三重縣人佐藤當彰二女　男道生（大一五）長女京子（大一二）

野島秀吉　第一銀行(株)本店支拂掛長　所得稅一一二　東京市牛込區矢來町五二

君は東京府人野島鶴次郎の二男明治九年七月八日を以て生れ後分家す同卅四年第一銀行に入り本店仁川釜山各支店に勤務し大正五年再び本店に轉じ現時支拂掛長たり　宗教禪宗【家庭】妻みつ（明一八）埼玉縣人湯淺爲太郎長女　長男幹男（明三九）東京帝大卒第一銀行勤務　二男繼雄（明四四）慶應義塾大學豫科在　長女元子（大四）東京女學在　二女惠美子（大九）

野尻　薫　森永製品販賣(株)常務　東京市四谷區南寺町二三　電四谷六二五五

君は山梨縣多額納稅者野尻竹次郎の二男明治廿七年八月七日を以て生れ後分家す夙に甲府商業を卒業し後神戸高商に學び砂糖商を營みしが大正三年森永製品山梨販賣會社常務取締役に就任昭和四年一月森永製品販賣會社常務取締役に轉じ今日に至る　宗教淨土宗　趣味柔道【家庭】後愛子（明三五）山梨縣人小林康助姉同縣立高女卒　長女公子（昭二）

野口能敬　横濱正金銀行(株)內國課長　横濱市中區南仲通五ノ六〇同銀行內

君は佐賀縣士族川副正義同安一の弟明治十四年一月を以て生れ同卅四年先代能毅の養子となる同四十年東京帝大法科英法科を卒業し横濱正金銀行に入り龍動支店副支配人檢査人漢口桑港各支店支配人等を經て現時同行內國課長たり【家庭】養父能毅（萬延元）現戸主　妻ちよゑ（明一八）養父能毅長女　長男能夫（明四〇）東京帝大在　二男能信（大八）三男能敏（大一五）

野中熊吉　野中商店主　鐵物機械商　所得稅五四三　東京市外入新井町新井宿四四六　電大森二〇九八（店舖）芝區本芝町四ノ五　電高輪三〇一三

君は佐賀縣士族野中半平の長男明治六年十二月十日を以て生れ大正十五年一月家督を相續す同廿八年八月上京し東京鐵工場に入り精勵恪勤在職十ヶ年及びしが時偶々日露役に際會同卅八年獨立野中商店を創設爾來鐵物機械商を營み今日に至る　宗教眞宗　趣味義太夫園藝【家庭】母たけ（嘉永元）妻ひで（明一四）東京府人篠貞吉妹　嗣子榮吉（明四四）文化學院在

能登谷元吉　日清紡績(株)第二工場紡機係主任　東京市外龜戸町二ノ七八

君は群馬縣人能登谷藤之亟の四男明治廿九年十月四日を以て生れ昭和二年分家す大正三年長岡工業學校染色科を卒業し直に日清紡績會社に入り昭和二年現職に就き以て今日に至る　宗教眞宗　趣味運動【家庭】妻喜久子（明四〇）三重縣人樋口濱藏長女神奈川高女卒　長男親宏（大一五）長女慶子（昭三）

土師盛貞　從五勳六　朝鮮總督府事務官殖産局商工課長　京城市西小門町官舍

君は鹿兒島士族土師莊八郎の二男明治廿一年四月を以て生れ同卅二年家督を相續す大正三年文官高等試驗に合格翌年東京帝大法科政治科を卒業後石川縣警察部保安課長同警視和歌山縣日高郡長等に歷任同九年朝鮮總督府事務官に任じ道事務官全羅南道警察部長總督府事務官京畿道警察部長同府遞信事務官遞信局海事課長海員審判所長等を經て昭和四年同總督府殖産局商工課長に轉じ以て今日に至る大正十四年歐米に出張を命ぜらる【家庭】妻シマ（明三五）東京府人鄕田兼安妹東洋英和女學女子大各卒　長男盛道（大一二）二男政雄（大一四）

波多野弘　不動貯金銀行(株)九段支店支配人　所得稅一五四　東京市芝區神谷町一八　電芝二三一六

君は岡山縣人波多野彌藏の長男明治十八年五月十五日を以て生れ後家督を相續す同四十五年東京帝大法科佛法科を卒業大正三年不動貯金銀行に入り本店監理係となり現時同行九段支店支配人たり　宗教禪宗【家庭】母鋼（元治元）妻ちやう（明二七）東京府人中村貞方長女同府立第三高女卒　長男輝夫（大三）芝中學在

芳賀善次郎　福岡縣多額納稅者　大正(資)代表社員　貸家業　直接國稅一六七〇　八幡市枝光町

君は福岡縣人芳賀善五郎の長男安政元年一月を以て生れ明治十五年家督相續す貸家業を營み前記會社の重役を兼ね同縣多額納稅者たり【家庭】養子茂元（明二〇）福岡縣人芳賀善一郎二男　同妻キクノ（明四二）同長男善廣（明四二）同三男政友（大二）同六男次郎（大九）同七男久（大一一）

馬場齊吉　京阪電氣鐵道(株)常務　高野山電氣鐵道(株)取締　京都帝國大學工學部講師　所得稅四四七九　京都市烏丸上立賣上ル西入柳園子町三二九　電西陣三三六六

君は東京府士族馬場惟精の三男明治八年八月を以て生れ大正二年分家す明治卅三年東京帝大工科電氣科を卒業し現時前記會社の重役にして曩に攝津電氣重役たり【家庭】妻すゝ（明一九）故工學博士三好晉六郎長女　男有政（明四三）女麗枝子（明四〇）女美都江（大二）

馬場綠二　第一銀行(株)本所支店支配人　東京市外大井町庚塚四九一三

君は東京府士族岩崎恒心の三男明治十六年二月廿二日を以て生れ後馬場重任の養子となる夙に第一銀行に入り爾來累進調査役を經て現に同行本所支店支配人たり　宗教日蓮宗【家庭】妻しづ（明二四）東京府人篠部與七四女双葉高女卒　長男陸男（大一〇）長女登志子（大元）山脇高女卒　二女富美子（大三）同校卒　三女廣子（大五）同校在　四女芳子（大七）二男榮治（大一三）

萩原貞司　日本樂器製造(株)東京支店長　東京市外品川町南品川宿一二五二　電高輪二五五

君は靜岡縣人萩原伊太郎の長男明治廿三年九月六日を以て生れ明治二年家督を相續す大正五年神戸高商を卒業し同年茂木合名會社に入り紐育支店に勤務す同十年日本樂器製造會社に轉じ横濱工場長を經て昭和四年東京支店長となり以て今日に至る　宗教禪宗　趣味圍碁【家庭】父伊太郎（文久三）母サク（明二）妻節子（明三四）靜岡縣人各波修二長女靜岡縣不二高女卒　長男正士（大一一）長女不二子（大一〇）二女俊子（大一四）三女富美代（昭四）

橋本德次郎　橋本製藥(株)社長　濟生堂製藥所(資)代表社員　橋本濟生堂藥局主　東京市京橋區築地一ノ四　電京橋一〇二七

君は東京府人橋本健藏の弟明治十八年五月を以て生れ亡弟勝五郎の後を襲ひ家督を相續す濟生堂と稱し製藥業を營み傍ら前記會社の重役たり【家庭】妻ヒロ（明二二）神奈川縣人高田淺次郎長女　長男晴雄（大八）二男博次（大一五）

橋本靖次　東京無線電機(株)工場長兼技術部長　所得稅五三　東京市赤坂區靑山南町六ノ一四五

君は福島縣人橋本周輔の二男明治廿四年三月廿七日を以て生れ後分家す大正二年仙臺高工電氣科を卒業海軍省に奉職昭和二年東京無線電機會社に入社工場長となり技術部長を兼ね今日に至る　宗教曹洞宗【家庭】妻孝（明四〇）青森縣人九戸元太郎長女　長女弘子（大一二）二女美子（昭四）

畑　功　慶應義塾大學文學部教授　立正大學講師　東京市外東調布町田園都市二六四　電田園調布一二五

君は東京府人畑源治の三男明治七年十二月十日を以て生れ後分家す夙に豐津中學卒業後慶應義塾に學び米國に渡航エール大學を卒業し同卅六年歸朝直に慶應義塾大學教授となり今日に至る傍ら立正大學講師たり曩に歐米に漫遊す　宗教基督教【家庭】妻ジュン子（明一四）村上田長長女　長男康（大元）慶應大學豫科在　二女照子（明四〇）長女愛子（明三八）は福岡日日新聞記者櫛橋行一に嫁す

花島得二　日本勸業銀行(株)主事鑑定役　所得稅四六四〇　東京市外千駄ヶ谷町千駄ヶ谷八四四

君は靜岡縣の人明治廿三年四月五日を以て生る大正八年東京帝大農學部農政學科を卒業し家業たる農林畜産煉乳業に從事傍ら同大學經濟學部に於て經濟學を專攻す同十一年日本勸業銀行に入り現に同行主事鑑定役たり　宗教基督教　趣味洋畫【家庭】妻富美（明三三）男得三（大九）

濱崎　素　三井物産(產)業務課參事　神奈川縣鎌倉郡鎌倉町扇ヶ谷五二五　電鎌倉三五二

君は東京府士族濱崎康の長男明治十二年一月一日を以て生れ後家督を相續す同卅六年東京高商を卒業して直に三井物産會社に入社倫敦支店勤務を經て里昂支店長となり昭和二年歸朝と同時に現職に就任今日に至る　趣味運動【家庭】妻キヨ（明廿七）青森縣人江渡丈夫妹東京高女卒　長男歐（大四）曉星中學在　二男朗（大七）同校在

早川保太郎　東京瓦斯(株)淺草營業所工事主任　東京市本鄕區駒込富士前町二三

君は東京府人早川藤兵衛の三男明治廿二年十二月六日を以て生れ同四十四年分家す同年東京高工機械科を卒業直に東京瓦斯會社に入り同社神田倉庫係主任を經て現時淺草營業所工事主任たり　宗教禪宗　趣味觀世流謠曲運動讀書【家庭】妻千代（明二七）東京府人永瀬れい長女共立女子職業卒　長男浩（大五）本鄕中學在　長女壽美子（大三）東洋高女在　二女章子（大一〇）

林　曄　日本醫師共濟生命保險(互)監査　林病院長　東京瓦斯(株)囑託醫　濟生會病院本院醫務參與　醫師　所得稅三九七二　東京市牛込區辨天町七四　電牛込一〇〇〇

君は東京府士族山高信離の二男慶應二年五月を以て生れ後先代驚溪の養子となり家督を相續す明治廿五年帝大醫科を卒業スクリッパ外科に勤務し同廿八年獨逸に留學し歸朝後外科專門林病院を創立し現に其院長たり大正四年恩賜財團濟生會病院醫務參與を囑託せらる【家庭】妻しげ（明一五）東京府人益田達妹　長男暲（明三四）二男是（明三九）三男信男（明四一）女きよ（明四四）四男正夫（明四三）五男明雄（大二）四女きく（大五）五女ひろ（大九）二女アヤ（明三七）は埼玉縣人石坂祿朗に嫁す

林　讓治　衆議院議員(高知縣第二區選出)　高知縣多額納稅者　大正鑛業　大濱炭礦　九州酒精各(株)取締　農業　直接國稅一〇六六　高知縣幡多郡宿毛町

君は舊高知藩士林有造の二男にして男爵岩村一木の從兄男爵岩村博の再從兄なり明治廿二年三月を以て生れ大正十年家督を相續す先代有造は故板垣伯を輔けて自由黨を組織し同黨の樞機に與り後衆議院議員に列し後遞信大臣農商務大臣に歷任せり君は大正七年京都帝大法科獨法科を卒業し現に農業を營み高知縣多額納稅者たり昭和五年推されて衆議院議員に當選し現に立憲政友會に屬す曩に高知縣會議員に選ばる【家庭】母勝（文久二）妻靜（明三五）男爵新井淸一妹　長男迪（大一一）二男道（大一三）長女麗（大一五）

林　常夫　正五勳四　北海道廳技師　拓殖部地方林課長　札幌市北海道廳官舍

君は長崎縣士族葉山左內の二男明治十五年一月十三日を以て生れ同卅三年林釟藏の養子となり家督を相續す明治卅九年東京帝大農科林學科を卒業し山林技師に任じ大阪大林區署に勤務す同四十一年北海道廳技師に轉じ現時同廳拓殖部地方林課長たり大正十一年歐米各國に出張す　宗教曹洞宗　趣味謠曲運動【家庭】養母幾子（慶應三）妻みや（明二四）養父釟藏長女岐阜高女卒　長男哲夫（大元）北海道帝大豫科在　長女雪子（大三）札幌市立女學卒　二男英夫（大六）三男靜夫（大一二）四男和夫（昭二）

林　敏雄　醫博　市立札幌病院醫長兼院長　札幌市南一條西一二札幌病院內

君は三重縣士族木村一歩の五男明治廿一年四月を以て生れ林友太郎の養子となり大正九年家督を相續す同五年東京帝大醫科病理科を卒業し同十二年醫學博士の學位を受く現時市立札幌病院醫長兼院長たり【家庭】養父友太郎（萬延元）養母みち（明元）三重縣人橋本淸水長女　妻あや（明二九）東京府士族菅波允竹長女　男朴一（大六）長女貞（大八）二女千枝（大一二）

原　一郎　大倉商事(株)社員　東京市外淀橋町柏木三五三　電四谷四八七七

君は東京府人原彌吉の長男明治廿五年八月廿六日を以て生れ昭和三年家督を相續す大正六年東京高商を卒業後直に大倉商事會社に入り現時陸海軍係たり　宗教禪宗【家庭】令閨及子女三人

原龍三郎　正五勳四　工博　東北帝國大學教授　工學部勤務　所得稅一三〇　仙臺市角五郎丁四三

君は石川縣人原政矩の三男明治廿一年七月を以て生れ大正五年分家す同二年東京帝大工科應用化學科を卒業し九州帝大工科助教授東北帝大工學專門部教授同理科大學助教授等に歷任し大正八年米英佛に留學し現時東北帝國大學教授にして工學部勤務たり大正十四年工學博士の學位を授與さる【家庭】妻淸（明二一）東京府人堀達長女

原口武夫　正六　大藏事務官　支那駐在　東京市麴町區大手町一大藏省氣付

原口家は舊肥前國島原藩の御典醫なり君は先代工學博

士要の三男明治廿八年九月を以て生れ昭和二年家督を相續す大正八年東京帝大法科英法科を卒業し大藏省に入り淀橋稅務署長を經て大藏事務官となり米國駐在たりしが昭和四年支那駐在となり以て今日に至る【家庭】妻喜美（明三六）京都取引所理事長曾野作太郎二女第一高女高等科卒　弟信雄（明三〇）

原田庯雄　日本活動寫眞（株）取締兼支配人　東京市本鄉區湯島三組町八一　電下谷七五七四

君は京都府人原田庯藏の長男明治廿八年七月十八日を以て生れ同卅五年家督を相續す大正八年慶應義塾理財科を卒業し同年金半商會に入り同十二年之を辭す同十四年四月ラヂオ製造販賣業金屋商會を經營せしが昭和四年十月之を解散し同年十二月日本活動寫眞會社支配人となり昭和五年三月取締役に擧げられ支配人を兼任し以て今日に至る　宗敎眞宗　趣味機械【家庭】妻喬枝（明三六）東京府人故日本活動專務鈴木要三郎四女山脇高女卒　長男孝之助（大一二）　長女德子（大一四）

針ヶ谷好太郎　勳七　東京遞信局海事部庶務主任　東京市日本橋區箱崎町四ノ一

君は岡田源ヱ衛門の三男明治十五年一月廿一日埼玉縣に生れ後針ヶ谷昌齋の養子となる夙に埼玉縣第一尋常中學校に學び後遞信養生所に入り大正六年遞信省に入り同十年東京遞信局海事部に轉じ庶務主任となり今日に至る　宗敎禪宗　趣味園藝【家庭】妻壽（明二五）福島縣人海野正太郎長女　長男孝之（明三七）東京商大卒大阪旭レサー社員　長女クニ子（明四二）實踐高女卒　四男洋志夫（大一二）二女博子（大一四）三女和加子（昭三）

牛田光久　正六　遞信技師　工務局勤務　所得稅一〇四　東京市外高田町雜司ヶ谷一一四五　電大塚三九五八

君は福岡縣人牛田久雄の二男明治廿七年二月九日福岡市に生る大正六年京都帝大工科電氣科を卒業直に遞信省に入り金澤郵便局電話課長仙臺臨時電信電話建設局仙臺出張所機械課長に歷任大正十一年遞信技師に任じ現に工務局に勤務す　宗敎佛敎　趣味ゴルフ【家庭】父久雄（元治元）妻道子（明三四）東京府人早崎稉吉二女佛英和高女卒　長男惠一（大一四）長女明子（昭三）

日暮忠　正五勳四　水產講習所敎授　東京市外長崎町並木一四五七

君は東京府人日暮忠誠の長男明治七年十月を以て生れ大正六年家督を相續す明治廿九年大日本水產會水產傳習所を卒業し秋田縣水產事業手水產講習所助敎同所技師を經て現に水產講習所敎授たり曩に水產講習所在外研究生として獨墺伊各國へ出張す【家庭】母みの（嘉永三）妻藹（明一七）東京府人寺內章明二女　長男忠一（明四一）二男正次（大二）長女湑子（大四）四男秀雄（大一一）三女壽子（大一四）

日野國康　橫濱火災海上保險（株）大阪支店長兼名古屋支店長　大阪市住吉區天王寺町二〇四一　電天王寺一四九二

君は愛媛縣人日野國治の二男明治二年一月を以て生る夙に橫濱火災海上保險會社に入り累進して主事に擧げらる現に同社大阪支店長兼名古屋支店長たり【家庭】妻ハル（明一五）愛媛縣人青木茂妹　養子光雄（明三四）兄國明二男　二女政（大三）兄國明（慶應元）現戶主辯護士及其妻子

日野淸次郎　東京市十思小學校長　東京市外野方町新井四〇一

君は島根縣人日野淺市の二男明治十八年十一月九日同縣大原郡原村に生れ後分家す同卅九年島根縣師範學校を卒業後同師範附屬小學校訓導東京市常盤小學校首席訓導に歷任し昭和五年東京市十思小學校長に轉じ以て今日に至る　宗敎曹洞宗　趣味自然科學研究【家庭】妻百合子（明二八）島根縣人松尾明男妹　長男精一（大一三）長女和子（大四）東京府立第八高女在　二女敏子（大六）同高女在

樋口忠四郎　下村（株）取締兼東京支店長　京都府下太秦村門田　電西陣三六三二

君は京都府人樋口芳太郎の長男明治廿七年十一月十四日京都市に生る夙に立命館を卒業し現時下村株式會社取締兼東京支店長たり　宗敎眞宗　趣味旅行讀書【家庭】父芳太郎（明元）現戶主下村株式會社副社長　母ツイ（明六）妻ゆり（明三六）岐阜縣人平野履信二女京都第二高女卒　長男忠雄（大一三）二男俊男（大一五）三男不二夫（昭三）

樋田豐一郎　橫濱正金銀行（株）東京支店員　東京市外荏原町小山四八九ノ三

君は群馬縣人樋田宗平の長男明治十五年三月四日を以て生れ大正十四年家督を相續す明治卅三年橫濱正金銀行本店に入り旅順出張所勤務を經て本店に復歸次で長崎南洋各支店等に歷勤し現時東京支店計算課に勤務す　宗敎曹洞宗　趣味讀書旅行【家庭】母はな（嘉永四）妻昌子（明二二）長崎縣人宮田仁吉妹　長男達夫（大一三）長女幸枝（明四二）府立第八高女卒　二女良枝（大元）日の出高女卒　三女寬子（大四）同校在　四女不二子（大七）二男成夫（昭二）

東道太郎　從五勳六　水產講習所敎授　東京市牛込區余丁町四一

君は東京府士族東透の長男明治十六年二月四日を以て生る同卅八年水產講習所を卒業し翌年母校敎授に任じ以て今日に至る海藻類に關する著書あり　宗敎禪宗　趣味文學【家庭】父透（安政三）現戶主　妻チカ（明一八）長男道彥（明四五）日本中學卒　長女喜久子（大二）精華高女卒外に四男一女あり

人見常五郎　綿絲卸商　京都市下京區綾小路通烏丸東　電下九二四

君は滋賀縣人人見又藏の長男慶應元年六月を以て生れ明治十四年家督を相續す現に綿絲卸商を營む曩に江華綿業代表取締役たり【家庭】妻千代鍋（明六）滋賀縣人市村與惣次養子　長男平次郎（明三〇）正八位京都第一商業卒　同妻とよ（明三五）京都府人渥美新一郎妹同府立第二高女卒　同長男武一郎（大一四）長女廣子（昭二）二男和三郎（明三三）は其妻子を伴ひ分家し長女きし（明二五）は京都府人松居ひさゑの家督を

兵藤修　地主　大阪市西區立賣堀南通六ノ一　電新町一一四六

君は茨城縣人兵藤祐三郎の長男明治十七年九月を以て生れ大正十年家督を相續す明治四十四年東京帝大工科機械工科を卒業地主たり曩に原田造船會社專務取締役たりし事あり【家庭】母はる（文久三）妻邦（明一九）島津公爵家々令野元驍長女　養子直彥（明二九）父祐三郎三男農學士　弟益男（明二六）及其妻子　弟孝（明三四）

兵藤嘉門　藤倉電線（株）社員　東京市外千駄ヶ谷町八八九　電四谷五八一（別宅）市外高田町雜司ヶ谷旭出四八　電大塚三八九一

君は栃木縣人兵藤治助の四男明治卅一年十一月廿八日を以て生る大正十二年慶應大學法學部政治科を卒業し直に藤倉電線株式會社に入社し現に經理課に勤務す曩に歐米各國を視察せり　宗敎眞言宗　趣味謠曲圍碁【家庭】母やす（安政五）現戶主　妻俊子（明四一）岩手縣人八幡松吉五女三輪田高女卒　長男禎一（昭三）長女惠久子（昭二）甥一雄（明四三）兄貞助長男慶大在　兄傳吉（明一四）は金井田家を嗣ぎ姉サダ（明二二）は木村義隆に姉イマ（明一七）は增田治平に各嫁し姉コト（明二五）は萩原定治を養子に迎へ分家す

平川淸風　東京日日新聞社整理部長　東京市芝白金三光町七一　電高輪五一三七

君は熊本縣人平川淸音の二男明治廿四年四月七日熊本市に生れ大正十年家督を相續す同四年東京帝大法科政治科を卒業し大阪日日新聞社に入り上海特派員神戶關門各支局長整理部長東西連絡部長を經て昭和四年東京日日新聞社整理部長に轉じ以て今日に至る曩に歐米に出張す著書に「支那共和史」あり　趣味讀書【家庭】妻シゲル（明二七）岡山縣人窪田次郎二女　長女葵（大八）二女綱（大一〇）三女敏（大一二）

平木德治郎　神戶市會議員　大正商事信託（株）社長　地主　所得稅二八〇四　神戶市平野梅元町九四　電元町四一一三

君は兵庫縣人平木松太郎の長男明治十一年三月を以て生れ大正七年家督を相續す地主にして現に大正商事信託會社々長を兼ね神戶市會議員たり【家庭】母みつ（文久三）妻とゑ（明一三）兵庫縣人藤枝龜市長女　長男德男（明四一）四女正子（大元）五女俊子（大三）長女靜枝（明三一）は岐阜縣人須田武雄に二女千久（明三三）は兵庫縣人柳田富士松二男義一に三女妙子（明三五）は同縣人上田福見に各嫁す

平島巳之松　土木建築請負業　東京市深川區木場町一三　電本所三四三二

君は千葉縣人平島三吉の三男明治十九年三月四日を以て生れ後分家す夙に上京し土木建築業の見習を爲す同四十年獨立して土木建築業の下請負業をせしが後自己名義にて土木建築請負業を營み以て今日に至る　宗敎日蓮宗　趣味旅行【家庭】妻はな（明三二）長男鑛吉（明四三）二男悅男（大二）明治中學在　長女とく（大七）櫻陰高女在　三男伴之助（大九）二女いせ（大一二）四男鋤藏（昭二）

平田義太郎　大阪毛織（株）取締　芝川商店（株）監査　所得稅七八　大阪市西區江戶堀北通一ノ二八　電土佐堀三一八七

君は廣島縣人平田儀一郎の長男明治廿二年五月を以て生る現時大阪毛織會社取締役たる外芝川商店監査役たり【家庭】父儀一郎（安政六）現戶主　母セイ（慶應元）妻ヒサ（明二九）大阪府人芝川榮助長女　長男隆治（大七）長女花子（大九）二女豐子（大一〇）三女綾子（大一三）三男昭三（昭二）妹カツコ（明三九）

平高寅太郎　昭和產業　昭和商會各（株）社長　東神土地興業（株）專務　鈴木商店　日本輪業　別府觀海寺土地　臺北カネタツ　日本冶金　臺南カネタツ各（株）取締　所得稅七六　神戶市籠池通二ノ三　電葺合三七五

君は高知縣人平高庄三郎の長男明治十二年八月を以て生れ大正五年家督を相續す米穀肥料商を營み現に前記會社の重役たり【家庭】母久（文久元）妻比佐喜（明一二）高知縣人齋藤淸次養姉　長男彌之助（明三五）大日本製糖會社員　二男恭平（大三）三男健市（大五）長女照子（大八）四男利雄（大一〇）五男昇（大一二）六男靖夫（大一五）弟辰馬（明一五）及其妻子　妹芳（明二二）弟茂三郎（明三四）弟留喜（明三九）

平野好一　東京火災保險（株）檢査主事兼經理課副長　東京市外大井町三三四

君は山口縣人平野仲之進の長男明治廿二年七月十六日を以て生る夙に大倉商業及國民英學會高等科を各卒業し同卅九年東京火災保險會社に入社京城出張所內勤主任會計課副長經理課副長を經て現に檢査主事に任じ傍ら經理課副長を兼ぬ　宗敎淨土宗【家庭】父仲之進（安政元）現戶主　妻あさ（明二五）神奈川縣人渡邊春吉三女御所高女卒　長男好之（大二）早稻田實業在　二男好博（大一一）三男好也（大一四）長女喜代子（大四）日出高女在　二女麗子（大六）三女佳子（大九）四女恒子（昭三）

平松德三郎　田村駒商店（株）副社長　所得稅一五九三七　兵庫縣武庫郡住吉村七一五ノ一　電御影四三八

君は大阪府人笹部九兵衛の三男田村駒治郎の弟なり明治三年八月を以て生れ先代彌之助の養子となり同四十二年家督を相續す夙に大阪に出で洋反物商を創む大正七年同商店の株式組織と成るや擧げられて取締役となり現に同社副社長たり曩に和歌山染工京都染工各會社取締役等たり　趣味圍碁謠曲【家庭】妻ライ（明一三）京都府人高田恒次郎妹　長男健一郎（明三六）同妻ヨネ（明三九）大阪府人笹村竹造長女　二男勝二郎（明三九）三男彌三郎（明四〇）三女千代（明四三）四男彥四郎（大元）五男正五郎（大四）長女トク（明一八）二女ハル（明三二）は各其夫子と共に分家し六男六郎（大七）は京都府人高田恒次郎の養子となる

廣海幾太郎　廣海商事（株）監査　廣海商會直輸出入商　所得稅八〇七　大阪市北區中之島二ノ四八　電本局二三六

君は石川縣人廣海二一郎の弟同二三郎の甥同四郎の從兄なり明治九年一月を以て生れ後分家す同卅一年慶應義塾理財科を卒業し三井物產會社に入り大正四年同社を退き大阪に於て兄二一郎の業を繼承して輸出入業を營み傍ら廣海商事會社監査役たり曩に豐田商店取締役たり【家庭】妻梅子（明二一）大阪府人豐田善右衛門叔母　長男晉平（明四一）長女小枝（明四四）

廣瀨誠一　正六　鐵道技師　大臣官房研究所勤務　東京市外落合下落合五四四

君は東京府人廣瀨銀六の長男明治廿七年一月二日を以て生る大正八年東京帝大工科應用化學科を卒業後鐵道技師に任じ鐵道省大臣官房研究所に勤務し以て今日に至る　宗敎日蓮宗　趣味圍碁將棋長唄水泳【家庭】父銀六（元治元）現戶主　母モト　妻靜女（明三八）東京府人上原群一郎妹御茶水高女卒　長女扶美（昭二）弟六三（明三三）秋田鑛山學校卒磐城炭礦社員　弟孝四郎（明三四）日大工學校卒

廣瀨千秋　大日本石油鑛業（株）取締　神戶市西須磨新田町二〇

君は長野縣人黑澤市治郎の長男明治十二年六月を以て

生れ同卅六年先代ヤヱの入夫となり家督を相續す同年東京帝大法科政治科を卒業し實業界に入り現に大日本石油鑛業會社取締役たり曩に神戸商業會議所副會頭神戸取引所理事長東京米穀商品取引所理事等に擧げらる【家庭】長男滿敏（明三七）泉商會取締役　同妻智子（四〇）子爵日野西資博四女　二男滿直（明三八）英國留學　三男滿義（明三九）英國留學　長女加智子（明四〇）は伯爵中川久任嗣子久順に嫁す

廣瀨和一　三井銀行(株)行員　所得税一三〇　東京市京橋區東湊町將監河岸四三號　電京橋一六五四

君は東京府人廣瀨鐘太郎の長男明治卅一年十月東京市神田區に生れ昭和二年家督を相續す大正十二年中央大學商科を卒業直に三井銀行に入り現時同行營業部に勤務し傍ら廣瀨商會出資社員たり　宗教日蓮宗　趣味園藝旅行【家庭】妻みな子（明二七）東京府人永田東一郎妹東京女學館卒　長男信雄（昭二）弟忠三（明三六）早大商學部卒廣瀨商會社員　同妻貞子（明四〇）北海道人萩原庄治郎二女

廣田傳藏　東京市視學兼講師　教育局視學課長　東京市外碑衾町碑文谷二四七

君は青森縣人宮本傳吉の三男明治廿五年四月を以て生れ後廣田雄太郎の養子となる大正六年東京高師を卒業し沖繩縣師範教諭たる事二年の後同十二年米國コロラド師範大學を卒業同年文部省に入り普通教育調査課囑託となり同十四年東京市教育局に轉じ現時同局視學課長兼講師たり著書に「米國現代の教育」あり【家庭】妻けい子（明二六）養父傳吉長女跡見高女卒　長男哲夫（大一五）長女倭文子（大一一）二女美保子（昭三）

不二門龍觀　從五　所得税五四　横濱高等商業學校教授　横濱中區大岡町三〇八

君は三重縣人不二門龍諦の長男明治十九年一月十五日同縣三重郡鵜川原村に生る大正三年京都帝大法科を卒業し後判事に任じ高知神戸各地方裁判所判事を歷補大正十年歐米各國に留學同十三年歸朝と同時に横濱高商教授を拜命以て今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書運動【家庭】父龍諦（文久三）現戸主　妻あや子（明二七）愛知縣人塚田八重吉三女同縣立高女卒　長男勝（大三）神奈川縣立一中在　四男章（大九）二女雅代（昭二）

福井順平　從四勳二功四　在鄉海軍少將　實工務所メンバー　東京市外駒澤新町八綠園住宅地　電世田ケ谷七一九

君は靜岡縣人大橋彌平の男明治五年十月六日同縣磐田郡池田村に生れ後福井姓を稱す一高を經て明治卅五年東京帝大工科造船科を卒業し同年海軍造船中技士に任じ爾來累進海軍造船少將に陞る其間橫須賀吳佐世保舞鶴各工廠に勤務し大正十五年豫備役編入仰付けられ海軍省囑託となり昭和四年之を辭し現に實工務所メンバーたり水交社造船協會有終會各會員　宗教淨土宗　趣味書道畫道謠曲【家庭】妻すゞ（明一三）杉浦善之丞女フエリス女學卒　長男良平（大九）

福井文吉　油文　魚問屋　東京市日本橋區伊勢町米河岸一六　電日本橋四五八四

當家は代々油文と稱し魚河岸に於ける舊家を以て知らる君は先代文吉の長男明治卅三年十一月廿八日東京市日本橋區安針町に生れ昭和二年家督を相續し先代文吉を襲名す夙に開成中學に學び後吉田豐吉の經營に係る尾張屋に勤續數年後父業を繼承魚問屋を營み以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味競馬【家庭】妻とよ子（明三五）茨城縣人馬場治平三女東京女大附高女卒　長女秀子（大一二）

福島三郎　日立製作所(株)營業部電線係主任　東京市外西巢鴨町池袋一〇八四

君は東京府人福島安正の三男明治十四年二月九日を以て生れ大正八年分家す夙に第二高校に學び明治四十年東京日日新聞記者となり同四十三年以來支那貿易に從事せしが大正六年日立製作所に入り現に營業部電線係主任たり【家庭】妻くま子（明二五）長男忠夫（明四三）四高在　長女安子（明四二）成女高女卒　二男勇夫（明四五）八高在

藤井虎之助　オブラート製造業　東京市芝區白金三光町二二七　電高輪七九〇六

君は廣島縣の人明治六年八月十六日を以て生る同卅三年オブラート製造業を創め以て今日に及ぶ【家庭】妻いね（明二〇）長男彌一郎（明三四）二男彌二郎（大二）三男增藏（大六）女靜子（明三七）及女貞子（明四三）は各他家に嫁す

藤田敬二　從五勳六　鐵道技師　大臣官房研究所大井分室勤務　東京市外大井町鹿島谷二九二〇

君は大阪府士族藤田守の二男明治十七年九月五日を以て生れ藤田忠平の養子となり後家督を相續す同四十四年東京帝大工科機械科を卒業直に札幌鐵道局に勤務し大正七年東京鐵道局に轉じ同十一年鐵道技師に任じ運輸局勤務となり昭和二年大臣官房研究所大井分室に轉じ以て今日に至る　宗教淨土宗【家庭】妻ミツ（明三六）群馬縣人鹽谷貞康三女日本女大卒

藤田外次郎　正四勳五　日本女子大學校教授　東京市外大久保町東大久保四七四

君は石川縣士族藤田作男の二男明治七年五月十五日同縣に生る同卅一年東京帝大理科數學科を卒業し陸軍教授に任じ陸軍砲工學校教授たりしが後日本女子大學教授に轉じ以て今日に及ぶ　宗教眞宗　趣味謠曲讀書【家庭】妻貞子（明一八）京都府人三高教授半田正身妹　長男武（明四〇）東大理學部在　長女富美（明四五）千葉高女卒　二女綾子（大四）日本女大附高女在　三女光枝（大七）二男輝夫（大八）

藤田尚德　從四勳二功四　海軍中將　海軍艦政本部長　東京市外澁谷町神泉一七　電青山二〇四〇

君は青森縣士族藤田貞固の弟明治十三年十月を以て生れ大正十三年分家す明治卅四年海軍兵學校を卒業し海軍少尉に任じ累進して昭和四年十一月中將に陞る其間霧島艦長艦政本部總務部長海軍省人事局長第三戰隊司令官橫須賀海軍工廠長等を經て昭和五年六月艦政本部長に補せられ現時其任にあり【家庭】妻壽（明二四）東京府人西川晉長女　長男博禮（明四四）三男旭（大七）長女明子（大八）

藤山勝彦　大日本製糖(株)社員　東京市芝區白金今里町一四　電高輪一五四五

君は貴族院議員藤山雷太の二男明治卅八年七月十四日東京府に生る慶應義塾普通部を卒業し米國ウイルミナ大學哲學科に入り昭和四年之を卒業ヴアチエラ・オブアーツの稱號を得て歸朝す現に大日本製糖に勤務す睦

カントリイ倶樂部會員なり　宗教佛教　趣味ゴルフ庭球讀書※藤山雷太の項參照

船越辨三郎　松竹興業(株)社員　明治座(株)支配人　所得税七〇　東京市麴町區上二番町二　電九段二二四三

君は京都府人船越三郎兵衞の長男明治廿四年六月十一日を以て生る大正二年松竹興業會社に入り現に明治座支配人たり　宗教眞宗　趣味演藝【家庭】父三郎兵衞（明一三）妻幾世（明三〇）東京府人木野留吉養子縣立名古屋高女卒

古川邦彥　從四勳四　東亞同文書院教授　上海東亞同文書院內

君は山口縣士族古川龍藏の二男明治十二年八月廿一日を以て生れ大正七年家督相續す明治卅七年京都帝大法科獨法科を卒業し第二高等學校高松高等商業學校各教授を歷任昭和二年東亞同文書院教授に任ぜられ今日に至る　宗教淨土宗　趣味庭球謠曲【家庭】妻ミツ（明二六）東京府人高木靜治二女宮城縣第二高女卒　長男一郎（明四二）二男良夫（大四）長女八千枝（大七）

古川清治　古川化學研究所長　北辰香料(株)取締　古川養兎研究所長　東京市芝區君塚町一〇　電高輪二七八五

君は福井縣人古川清義の長男明治十九年九月五日同縣に生る同四十四年東京帝大農科農化學科を卒業し一年志願兵として入營後御園研究所を創立し其間大學院にて研究を積む後御園研究所を廢し佐野生物化學研究所長たりしが之を辭し現に古川化學研究所長たる外前記會社重役たり　宗教神道　趣味尺八【家庭】父清義（元治元）現戸主　母ベン（明元）妻きく（明三〇）東京控訴院長和仁貞吉長女　長男清太郎（大六）東京府立六中在　二男英次（大八）三男健治（大一〇）四男眞弘（大一二）五男浩三（大一五）長女園子（昭四）

星野佐紀　日本罐詰協會東京罐詰同業組合各書記　東京市外駒澤町上馬五六八　電青山一八九四

君は新潟縣人星野多仲の二男明治五年六月廿日同縣に生れ大正十年分家す明治廿三年農商務省水產講習所を卒業次で大日本水產會水產傳習所に學び實業界に入り大正十二年現職に就き今日に至る昭和五年七月商工省囑託として歐米の罐詰業を視察す　宗教禪宗　趣味讀書旅行【家庭】妻登茂（明四）磯野喜作長女　長女百合（明三二）東京英和女學卒は養子星野直太郎水產講習所卒東洋製罐會社員及其二女と分家す

星野庄藏　星バター商會　バター製造業　東京市小石川區高田豐川町六〇　電牛込三二一七

君は千葉縣の人舊姓を正木と言ひ明治十七年十一月三日同縣に生れ後星野やすの養子となり家督を相續す大正十一年星バター商會を創立しバター製造業に從事し今日に至る　宗教淨土宗【家庭】妻みね（明二四）東京府人高岡松治郎女　長女八千代（大五）成女高女在

星野直太郎　東洋製罐(株)取締兼高雄工場長　高雄市三塊五〇八

君は大阪府人西島熊治郎の二男明治廿五年一月十五日同府豐能郡豐中町に生れ後星野佐紀の養子となり大正十年一家を創立す大正三年水產所講習を卒業し渡米同地漁業會社に在勤後メキシコ及カナダを漫遊農商務省囑託となる尋で同九年東洋製罐會社に入り同十一年臺灣製罐會社を創立取締役支配人たりしが同十四年同社の東洋製罐會社に合併せらるや其取締役兼高雄工場長に就任以て今日に至る　宗教佛教　趣味旅行【家庭】妻百合（明三三）養父佐紀長女東京英和女學校卒　長女富美子（大一〇）二女富佐子（大一三）

堀常吉　近江屋商店　風呂敷問屋　東京市日本橋區長谷川町八　電浪花四九一一

君は滋賀縣人野田德兵衞の三男慶應元年三月十日同縣愛知郡葉枝見村に生れ後堀猪三郎の養子となる夙に京都の綿布問屋早瀨久七商店に勤め明治十九年上京し篠原商店に勤務す同廿二年獨立し近江屋と稱し風呂敷問屋を營み以て今日に至る　宗教眞宗【家庭】妻しず（明一四）滋賀縣人西川勝助四女　長男猪三郎（明四〇）二男德平（明四二）三女幸子（大一二）實科高女卒　長女八重子は北川馬之助に二女春子は岸久次郎に各嫁す

堀朋近　旭絹織(株)常務　日本ベンベルグ絹絲(株)取締　所得税一〇五三　大阪府豐能郡箕面村平尾一二三六　電箕面五三三

君は石川縣士族野崎安近の弟明治廿三年十二月を以て生れ同四十四年大阪商船會社長堀啓次郎の養子となる大正五年東京帝大法科獨法科を卒業し直に三菱合資會社に入り本店調査部紐育支店銀行部に勤務し同八年轉じて日本電力會社庶務課長同社營業部長等を經て現に旭絹織會社常務たる外前記會社重役たり曩に黑部鐵道會社監査役たり【家庭】養父啓次郎（慶應三）妻順（明三二）福岡縣人中村啓三郎長女　長男啓作（大六）二男正作（大一〇）長女雪子（大一一）三男友三郎（大一三）※堀啓次郎の項參照

堀井兵次郎　津田電線(名)東京出張所長　東京市芝區濱松町一ノ三〇

君は京都府人堀井兵吉の長男明治十七年七月十五日京都市に生れ後家督を相續す夙に大阪商業學校に學び日露戰役に從軍す大正三年津田電線合名會社に入社同八年東京出張所長に就任以て今日に至る　宗教眞宗　趣味撞球【家庭】妻リヨ子（明二四）京都府人中川万吉長女　養子要（明三九）內藤盛英弟京都第一商業卒　長女タキ子（明四一）養子要妻精華高女卒

堀岡正家　正六　電氣試驗所技師　東京市外大井町山中四三一五

君は京都府人堀岡治三郎の長男明治廿九年九月廿四日和歌山縣に生る大正九年京都帝大工科電氣科を卒業遞信省に入り現時同省電氣試驗所技師たり　趣味旅行運動【家庭】父治三郎（安政元）妻都子（明三五）東京府人利根川守三郎長女女子學習院卒　長男正義（大一一）二男正定（大一四）

堀田豐　正八　在鄉陸軍三等主計　三菱銀行(株)丸之內支店長代理　東京市外世田ケ谷町太子堂三四九

君は東京府人深瀨賴水の四男明治廿一年十二月六日東京市神田區に生れ東京府士族堀田知義の養子となり大正十一年家督を相續す同二年慶大理財科を卒業直に三菱銀行に入り本店外國課營業部等に勤務し昭和二年丸之內支店長代理となり今日に及ぶ　宗教眞宗　趣味ゴルフ釣魚【家庭】養母くら（安政六）妻たつ（明二四）東京府人大野元次郎二女　長男正義（大五）東京府立

四中在　長女富美（大三）双葉高女在　二女喜美（大七）同校在　二男春雄（大九）三男義之（大一一）四男知明（大一五）

本庄徳太郎

三菱鑛業(株)社員　所得税九九　東京市外澁谷町景丘三三

君は福岡縣人本庄兵三郎の長男明治十二年三月三日を以て生る夙に東亞同文書院を卒業し直に三菱合資會社に入社營業部に勤務次で上海北京各支店營業部を經て船舶部大冶出張所主任となり大正十二年本店總務部重役祕書人事係に任じ以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味讀書【家庭】父兵三郎（萬延元）妻トク（明一九）福岡縣人粟生義郎妹久留米高女卒　長男順三（明四一）靜岡高等學校在　三女優子（大六）精華高女在　四男史郎（大一〇）五男廣海（大一二）

本城杢三

麒麟麥酒(株)横濱工場清凉飲料部長　所得税一〇五　横濱市鶴見區子安町溝下一九〇五

君は鳥取縣人本城竹次郎の三男明治廿三年四月廿二日を以て生る大正六年東京帝大醫科藥學科を卒業直に金線飲料會社に入社工場長に就任昭和二年麒麟麥酒會社に轉じ同社横濱工場清凉飲料部長となり今日に至る曩に日本飲料會社取締役たり　宗教日蓮宗　趣味大弓圍碁【家庭】妻なつ（明二一）靜岡縣人菊地儀作妹　男松博（大一二）長女道子（大七）二女厚子（大一〇）

本堂龍三

建設電業社主　東京市小石川區大塚仲町三六

君は東京府人本堂幸次郎の長男明治十五年十二月十八日東京市に生れ明治卅五年家督を相續す同卅二年工手學校電氣科を卒業し東京電燈會社に入社八ヶ年勤務後原安商會工事部長秋山小林商店電氣部兼營業部各主任東洋電業會社主事兼技手營業部技術部各主任川北電氣企業社技師東京銀座工事出張所主任同都市電氣工事係主任等歴勤昭和四年建設電業社を創立し現に其社主たり　宗教禪宗　趣味圍碁【家庭】母サヨ（嘉永六）妻リヨ（明一八）新潟縣人五十嵐茂吉長女渡邊裁縫女學卒　長女富美子（明四四）文華高女卒　二女喜代子（大二）同校在　三女智惠子（大八）

馬屋原實

資産家　東京市牛込區市谷鷹匠町六　電牛込二四七〇

當家は桓武天皇の皇子式部卿葛原親王の孫上總介高望の裔石馬之介平忠政の子正友より出づ正友源賴朝に仕へて吉備に封地を賜はる馬屋原は其地名なり因て氏となす後數世を經て元詮に至る元詮毛利輝元に仕へ長州萩に移り世々山口藩士として祿二百石を食む先代彰は其の九世の孫なり後東都に遊び政治經濟學を修め民部省に奉じて〻務大佑に任ぜらる後太政官書記官權大書記官法制局參事官行政裁判所評定官等を歴任し貴族院議員に勅選せられ錦鷄間祗候仰付けらる君は東京府士族三浦泰輔の二男同直介の兄なり明治廿五年九月を以て生れ同卅二年先代彰の養子となり大正八年家督を相續す同七年外語を卒業し遞信省宮內省等に歴勤し同十三年之を辭す爾後佛語學研究をなす【家庭】長女淑子（大一一）

間庭秀夫

正五勳六　藥博　千葉醫科大學附屬藥學專門部教授　主事　千葉市千葉寺通

君は舊幕臣間庭閑秀の長男明治十五年十一月を以て生れ大正十年家督を相續す明治四十三年東京帝大醫科藥學科を卒業し千葉醫學專門學校教授となり大正七年藥物學研究の爲英米獨瑞佛各國に留學し現時千葉醫科大學附屬藥學專門部教授兼主事たり曩に藥學博士の學位を受く【家庭】母はな（元治元）妻マツヨ（明三〇）福島縣士族黑田儀一郎長女九段精華高女卒　長男秀正（明四四）二女愛（大六）三女英（大八）二男秀世（大一一）妹千代（明三七）伯母まさ（安政二）

眞野文二

正三勳一　工博　貴族院議員　九州帝國大學　東京帝國大學各名譽教授　所得税二七八　東京市外代々幡町代々木本村八一四　電四谷五六三

君は舊幕臣眞野肇の長男文久元年十一月を以て生れ明治廿六年家督を相續す同十四年工部大學を卒業し同十五年工部大學助教授となり後英國に留學し歸朝後同廿二年工科大學教授に任じ同廿四年工學博士の學位を受く同卅年農商務省特許局審判官を兼任し同卅四年文部省實業學務局長となり東京帝大工科大學教授を兼任す次で大正二年九州帝大總長に任ぜらる昭和二年貴族院議員に勅選され東京九州兩大學名譽教授となり今日に至る【家庭】妻サク（明元）東京府士族井深梶之助妹　長男正雄（明一六）

前川嘉三郎

資産家　京都市上京區元誓願寺通千本東六四ノ四二七　電西陣五八七

君は京都府人前川嘉吉の長男明治廿五年二月を以て生れ大正十五年家督を相續す資産家たり昭和三年紺綬褒章を賜ふ【家庭】母イト（慶應元）妻操（明三一）京都府人岡崎廣一長女　長男嘉一（大一一）長女數江（大六）二女初枝（大七）弟勝治（明三九）

牧野次郎

從五　子爵　横濱正金銀行(株)東京支店計算係　東京市麴町區富士見町二ノ四五　電九段一五七二

當家は越後長岡藩牧野駿河守忠成の二男內膳康成の後なり康成父の所領中一萬石を分與せられ別に一家をなし其子康道を經て康重に至り信州一萬五千石に移封せらる其れより七世を經て養父康强に至り明治十七年子爵を授けらる君實は侯爵嵯峨公勝の二男明治廿八年九月四日を以て生れ昭和四年子爵牧野康强の養子となり家督相續し襲爵仰付らる大正七年中央大學商科を卒業し横濱正金銀行に入り本店勤務を經て同九年東京支店詰となり現時計算係たり　宗教神道　趣味釣魚【家庭】養父康强（明一一）從三位　妻當子（明三三）京都府人白木屋社長大村彥一郎妹同府立第一高女卒　長男實愛（大一二）長女今子（大一四）二男公積（昭二）

蒔田鉄次

日本自動車(株)大森工場長　所得税五八　東京市本郷區駒込吉祥寺町二〇　電小石川四九九七

君は靜岡縣人蒔田治作の二男明治廿一年五月廿七日を以て生れ後分家す大正二年東京高工機械科を卒業白楊社自動車工場長となり同十五年秀工舍自動車工場經營の衝に當りしが昭和三年一月同舍の事業一切を日本自動車會社に移すや同社大森工場長となり今日に至る　宗教禪宗　趣味義太夫刀劍【家庭】妻幸子（明二八）山口縣士族品川十一郎長女共立女子職業卒　嗣子稔（大一〇）長女美穗子（大一三）二女昭子（昭二）

升山甚太郎

鐵道省主事　工務局保線課勤務　東京市外澁谷町上智九

君は富山縣人升山庄治郎の長男慶應元年十一月廿八日同縣婦負郡八尾町に生れ後家督相續す明治廿九年豐川鐵道に入り同鐵道の九州鐵道に合併後引續き勤務し同四十四年國有鐵道となるや後藤寺保線區主任となる爾來直方保線區主任水戶保線區主任新宿保線區主任新橋保線事務所保線主任等に歴補し昭和四年三月本省工務局保線課勤務となり以て今日に至る　宗教眞宗　趣味讀書旅行鐵道に關する書籍蒐集【家庭】妻コト（明四）富山縣人福山直之叔母　長男悦久（明三一）東京帝大法學部卒水戶運輸事務所庶務主任　二男恒夫（明四二）青山學院高等部在

松井末次郎

松井號本店　化粧品商　大阪市東區博勞町五ノ三二　電船場一〇七二

君は滋賀縣人原七彌の三男明治廿六年一月を以て生れ先代末次郎の養子となり家督相續と共に前名富三郎を改む大阪商業卒業後支那天津に航し支那語を研究す歸朝後化粧品商を營み今日に至る【家庭】母クニ（明一〇）妻のぶ（明二八）大阪府人高田源四郎妹泉南高女卒

松井宗兵衛

奥井京店(資)代表社員　京都上京區小川通今出川下ル西陣一一三八

君は京都府人先代宗兵衛の長男明治十九年十一月を以て生れ同卅五年家督を相續し前名宗一郎を改む吳服商奥井家と共同し合資會社奥井京店を設立し現に其代表社員たり【家庭】母きみ（慶應元）妻つね（明二五）北海道人佐野半治郎妹　長男憲一郎（大六）二男澄（大一四）養姪みさ（明四四）京都府人細井源次郎孫

松井等

從七勳六　在鄕陸軍步兵中尉　國學院大學教授　東洋大學　東京女子高等師範學校　大正大學　日本大學各講師　東京市牛込區矢來町六九

君は東京府士族大藏平三の長男明治十年六月十二日を以て生れ後母方の實家の姓を冒す明治卅四年東京帝大文科史科を卒業し國學院大學教授となり以て今日に至る傍ら前記の諸職を兼ぬ曩に一年志願兵として服役日露の役に從軍す　宗教禪宗　趣味和樂和歌圍碁【家庭】母マツ（安政五）長男英一（大元）水戶高校在　二男英仲（大七）三男英季（大九）二女壽久江（大二）千代田高女在　三女美都江（大四）同校在　四女比奈江（大一〇）

松井文二郎

從五勳四　特許局技師　特許局審判官兼審査官　所得税一一一　東京市外井荻町下荻窪五七

君は理學博士松井直吉の二男關根秀三郎の兄なり明治十七年八月を以て生る同四十年東京帝大工科機械科を卒業し同四十二年東京市技手となり同年技師に昇進す大正五年特許局技師に任じ特許局審判官兼審査官となり今日に至る【家庭】母きい（慶應三）妻ち榮（明二二）東京府人吉村甚兵衞長女　長女きよ（明四五）二女不二榮（大七）兄元太郎（明一五）現戶主及其妻　弟彥四郎（明二二）妹阿佐（明三八）

松浦嘉一

正六　東京高等學校教授　東京市外代々幡町代々木初臺六〇八

君は愛知縣人松浦範の二男明治廿四年九月一日名古屋市に生れ後分家す大正五年東京帝大文科英文科を卒業後千葉縣立千葉中學教諭法政大學豫科教授等を經て東京高等學校教授に轉じ以て今日に至る　宗教禪宗【家庭】母かね子　妻民子（明二九）巖本善治女實踐女學卒　長男文一郎（大九）男高嶺（大一二）女嘉子（昭二）男崇（昭四）

松浦俊次郎

西野田新家郵便局長　所得税六五〇　大阪市此花區新家町一ノ三五　電土佐堀五五三四

君は兵庫縣人淺野源里郎の弟明治十八年十二月を以て生れ先代儀助の養子となり大正三年家督を相續す現に西野田新家郵便局長たり【家庭】妻ハナ（明二二）養父儀助二女　長男義春（明四一）長女ハル子（明四三）三女テル子（大三）弟正之亮（明二八）及其妻

松尾忠二郎

紡機製造　播磨造船各(株)社長　神戶製鋼所(株)常務　北九州鐵道　日本冶金　東京無線電機各(株)取締　所得税一九〇一　神戶市野崎町七ノ九　電葺合八六八

君は佐賀縣人松尾忠左衞門の二男明治十二年十二月を以て生れ同廿八年分家す同卅七年大阪高工を卒業し直に母校の教職に擧げられ後之を辭す爾來實業界に入り現に紡機製造會社々長たる外前記會社の重役たり【家庭】妻スマ（明二〇）福岡縣人田中護叔母　長男忠政（大三）長女初枝（明四一）二女澄子（明四三）

松岡潤吉

大和田紡績　松岡農場　松岡汽船各(株)社長　加島信託　吳羽紡績各(株)取締　大日本人造肥料(株)監査　所得税一七〇九〇　兵庫縣武庫郡精道村芦屋大僧一六二

君は大阪府人馬場三右衞門の弟明治廿一年九月を以て生れ後ち松岡修造の養子となり大正十四年家督を相續し前名敬三を改む慶應義塾大學理財科を卒業し現に大和田紡績松岡農場松岡汽船各會社々長にして傍ら前記各會社の重役たり曩に紡績並に造船業視察の爲歐米各國を漫遊す【家庭】父修造（安政六）妻千惠子（明二五）養父修造長女　長女節子（明四二）

松岡長一郎

醫博　横濱市十全醫院內科醫長　横濱市中區北方町小港一二九　電本局二六六二

君は神奈川縣人松岡良助の長男明治廿二年五月九日横濱市に生れ大正五年家督を相續す一高を經て同五年東京帝大醫學部を卒業し更に同大學附屬醫院入澤內科及同大學藥理學校教室に入り研鑽を積み大正十五年歐米各國に研究の爲出張昭和二年歸朝し同年醫學博士の學位を受け同三年横濱市十全醫院內科醫長に就任以て今日に至る　宗教禪宗　趣味讀書美術鑑賞和洋音樂【家庭】妻政香（明三九）神奈川縣人田中新七二女跡見女學卒　長女禮子（大一三）二女良子（昭四）

松岡道治

正五勳六　醫博　松岡外科病院長　所得税三二七二　大阪市東區北濱町三ノ四三　電本局二一八二

君は山口縣人松岡藤藏の二男明治二年十一月を以て生れ先代俊吉の養子となり同十三年家督を相續す同卅一年東京帝大醫科を卒業し後京都帝大醫科助教授に任ぜられ曾て獨國に留學す歸朝後同大學教授に進み大正四年官を辭し大阪に松岡外科病院を創設す現に其院長たり【家庭】妻つな（明一九）三重縣人山本伊兵衞長女日本女大卒　姉ミツ（慶應三）

松川長雄

資産家　東京市芝區新堀町二八　電三田三四二三

君は東京府人松川仙次郎の長男明治卅四年九月を以て生れ昭和二年家督を相續す資産家たり【家庭】母もと（明九）妹喜久（明四一）東京女學館卒　妹浩子（大三）妹鶴子（大四）妹益枝（大七）弟藏雄（明四四）

松木弘　新潟商工會議所顧問　新潟縣會議長　新潟市會議員　新潟水力電氣　阿賀川水力電氣　新潟港灣倉庫各(株)監査　辯護士　新潟市東仲通二ノ二七　電新潟四二〇

君は新潟縣人松木幸太郎の長男明治十二年四月を以て生れ同廿三年母カツの後を襲ひ家督を相續す同廿九年東京法學院を卒業し辯護士試驗に及第す初め鳩山和夫博士の事務所に入り後新潟市に開業す現時新潟縣會議長市會議員にして前記會社の重役たり曩に新潟辯護士會長新潟商業會議所特別議員同縣貯蓄銀行取締役等たり【家庭】妻三木枝(明一七)新潟縣士族廣瀨吉彌長女實踐女學卒　長男明(明三九)二男治(明四〇)二女富美(明四二)双葉高女卒　四男勳(明四三)五男武(明四五)三女惠美(大三)六男正(大四)七男博(大八)八男進(大一一)長女コシエ(明三八)東京女學館卒は新潟縣人鍵富謹治に嫁す

松崎漸吉　従五勳五　專賣局參事　福岡地方專賣局長　福岡市地行東町六ノ一六五　電福岡二七二

君は東京府士族小菅幾太郎の弟明治十九年四月を以て生れ大正五年松崎きよの養子となりて同十三年叔父重義方より分家す同二年東京帝大法科政治科を卒業し大藏屬兼税務監督局屬司税官司税官税務監督局事務官大藏事務官税關事務官專賣局副參事等に歷任し其間横須賀税務署長横濱税務署長名古屋税務監督局經理部長廐橋税務署長薩哈連軍政部附大藏省主税局勤務東京税務監督局經理部大阪税關監視部長總務課長金澤地方專賣局長に歷補し現に福岡地方專賣局長たり【家庭】妻千代子(明三四)東京府人高橋林三郎長女

松澤有治　三井物產(株)石炭部上海支部長代理　支那上海四川路同社支店内　(留守宅)東京市外大森町不入斗五七三

君は佐賀縣人松澤庚太郎の三男明治十六年十二月を以て同縣唐津町に生れ後家督を相續す同四十年東京外國語學校を卒業し直に三井物產に入社大正元年香港支店大正六年英國支店等に歷勤す昭和二年歸朝本社に勤務せしが同五年六月同社石炭部上海支部長代理となり以て今日に至る　趣味運動【家庭】妻かめよ(明二八)長谷川監四郎五女

松澤庄次郎　板硝子塗裝請負業　東京市本所區東兩國町一ノ八

君は東京府人松澤福太郎の二男明治卅年六月十四日東京市淺草區小島町に生る夙に鈴木辰雄硝子商店に徒弟として入り大正十年獨立して深川御船藏町に於て現事業を創む曩に昭和博覽會東京府立第三中學等の塗裝請負を爲す傍ら大本山中山法華經寺世話役町會評議員江東橋硝子同業組合幹事東京塗裝組合本所支部評議員の任にあり　宗教日蓮宗【家庭】妻せき子(明三五)靜岡縣人佐藤留三郎長女　長女ぬい子(大一二)二女琴子(昭元)

松田孫治郎　正五勳四　判事　水戸地方裁判所長　水戸市水戸地方裁判所官舍

君は福岡縣人松田汰の二男明治十四年四月を以て生れ同廿七年家督を相續す同卅三年和佛法律學校を卒業し判檢事登用試驗に合格す同卅六年判事に任じ爾來佐賀地方同區飫肥區武雄區各裁判所判事那覇地方裁判所部長小倉區裁判所長崎函館各控訴院判事長崎地方裁判所同控訴院各部長德島地方裁判所長安濃津地方裁判所長に歷補し現に水戸地方裁判所長たり【家庭】母モト(安政五)妻キヨシ(明一二)福岡縣人平川謹一郎長女　長男齊(大元)二男啓(大四)長女節子(大一二)二女順子(昭二)弟啓介(明一六)及其妻子　弟茂(明二四)及其妻子

松田操　大阪築港鹽湯業　所得税一三三九　兵庫縣武庫郡精道村芦屋平田四二〇ノ四　電芦屋一二一

君は神奈川縣人松田助八の二男明治卅四年一月を以て生れ大正八年家督を相續す夙に慶應義塾普通部を卒業し松田商事會社取締役たりしが現に大阪築港鹽湯業を營む【家庭】妻鷹枝(明三四)大阪府人巖又兵衞長女清水谷高女卒　弟桓(明三六)弟勝(明三八)妹キクヨ(明四〇)

松平康國　早稻田大學高等師範部教授　東京市外戸塚町諏訪六

君は長崎縣士族大久保主膳正の三男文久三年四月を以て生れ松平康豐の養子となり後家督を相續す夙に大學豫備門を卒業後渡米しミシガン大學を卒業明治廿二年歸朝し讀賣新聞記者となる次で袁世凱張子洞政法顧問等に任じ同四十一年大東文化學院講師を經て早稻田大學高等師範部教授に轉じ以て今日に至る　趣味健康法【家庭】妻修(明七)長男紀光(明三二)陸軍中尉戸山學校教官　同妻文子關口之丞女　同長男康昭(昭三)長女愛子は成蹊高校教授奧田正造に嫁す

松永祐次郎　松永工務店主　土木建築請負業　所得税一五五　東京市牛込區赤城下町五三　電牛込三一六三

君は三重縣人松永增次郎の二男明治廿七年六月廿九日東京市牛込區に生れ後分家す夙に中學を卒業し先代增次郎の創業に係る斯業を繼承し以て今日に至る　宗教禊教　趣味謠曲美術【家庭】妻ます(明三一)

松波直秀　荏原製作所(株)技師　東京府碑衾町碑文谷一四三九　電荏原二九三四

君は東京府士族松波秀實の長男明治卅四年四月五日を以て生れ大正十一年家督を相續す大正十五年東京帝大工科機械科を卒業後荏原製作所に入り技師となり勤續今日に至る　宗教基督教　趣味運動【家庭】母壽美(明一一)妻華(明四〇)東京府人菅田繁二女双葉高女卒　長女八重(昭四)

松丸憲正　松丸鐵工所主　東京市外王子町豐島二二四七　電王子一一二

當家は先代松丸圭佑より顯れ圭佑明治四十五年松丸鐵工所を創業衡器の製作を專業とせしに始まる君は栃木縣人二宮牧平の二男明治廿八年四月廿五日同縣那須郡野崎村に生れ大正九年圭佑の養子となる同二年栃木縣立大田原中學を卒業後兵役に服せしが同十年東京高工專修科を卒業し養父を扶けて鐵筋鐵骨橋梁鐵塔タンク鐵管等の請負製作業に從事し今日に至る　宗教日蓮宗　趣味野球庭球乘馬柔道書畫【家庭】養父圭佑現戸主　妻せつ(明三六)長男興正(大一二)

松村亥三郎　正五勳四　專賣局技師　大阪地方專賣局京都工場長　所得税二〇六　京都市大將軍通西町　電西陣五〇一

君は舊松江藩士今村左衞の三男明治九年六月を以て生れ先代淺水の養子となり大正五年家督を相續す明治卅一年專賣局技手となり同卅九年米國に出張す同四十三年歸朝專賣局技師となり同四十四年再び米國に出張し大正元年歸朝後京都製造所作業課長同支局製造課長名古屋地方專賣局製造課長等を經て現に大阪地方專賣局京都工場長たり【家庭】母タマ(安政二)妻ヨネ(明二五)島根縣人柳原房之丞二女　長女翠(大一五)

松村定次郎　明治大學教授　正則豫備學校講師　東京市本鄕區駒込曙町一六ノ二二號　電小石川二六七六

君は東京府人にして明治七年一月一日を以て生れ同廿二年家督を相續す同年東京帝大理學部數學科を卒業し陸軍教授學習院教授等を經て同四十二年明大講師となり大正九年教授となり同校柔劍道相撲各部々長を兼ね今日に及ぶ外に正則豫備學校講師たり　趣味運動【家庭】妻多滿子(明九)長男圀松(明三五)早大政經科卒正則豫備校教諭　二男日勇(明四四)明大商科在　長女神子(大二)共立女子專門卒　三男明(大五)京北中學在

松村政吉　東京左官組合壹等頭領　左官工事請負業　所得税五〇七　東京市京橋區因幡町一　電京橋四四三四

君は東京府人先代松村政吉の長男明治廿七年十一月七日東京市京橋區松川町に生れ昭和四年家督を相續し前名兼治郎を改め政吉を襲名す夙に中等教育を修め先々代の創業に係る左官工事請負業を繼承し經營以て今日に至る其得意先に三菱地所部岩崎三井住友各男爵西園寺松方各公爵加藤伯其他都下華族實業家の大部分を網羅し現時東京左官組合壹等頭領たり　宗教眞宗【家庭】妻鶴(明三〇)長男惠充(大九)二男利文(大一一)三男正三郎(大一三)長女愛子(大一四)二女保子(昭二)四男恒雄(昭五)

松本一作　二幸商會(株)練馬工場長　東京市麻布區森元町一ノ二七

君は大分縣人松本壽一の二男明治八年一月十二日を以て生れ後分家す同廿五年明治法律學校を卒業後京都絹糸紡績會社工務庶務各主任大日本鹽業東京支店長本社營業部長日本石油秋田製油所主任京華社營業課長等を經て昭和二年二幸商會創立と共に庶務部長兼製造部長に就任次で西之宮工場長となり同四年練馬工場長に轉じ以て今日に至る　宗教禪宗　趣味圍碁【家庭】妻つる(明一一)大阪府人安井宇乃長女　長男馨太郎(明三四)慶大醫科卒同校病院產婦人科助手　二男保壽(明三七)慈惠醫大卒赤十字社病院内科勤務　四男正肆郎(大元)慶大醫科在　三女辰子(大五)山脇高女在　四女秋子(大七)長女眞砂(明四二)山脇高女卒は辨理士中村武に嫁す

松本收　日本電氣(株)社員　東京市外荏原町中延一〇九五

君は埼玉縣人松本與雅の六男明治十四年二月廿五日を以て生れ後分家す同廿三年郵便電信學校を卒業直に遞信省に奉職し工務課に勤務す同廿八年官を辭して日本電氣會社に入り現に同社工場產出部勤務たり　宗教眞宗　趣味謠曲【家庭】妻あゑ(明二三)埼玉縣人石川新左衞門三女　長男實(大元)長岡高工在　長女寧子(明四三)東京府立第三高女卒女子美術在　二男昌次(大五)三男和雄(大一三)三女美和江(昭元)

松本源　従六勳六　工業試驗所技師　大阪工業試驗所勤務　大阪市西淀川區大仁町二工業試驗所官舍

君は廣島縣人松本ユウの二男明治十七年十二月を以て生れ同廿七年家督を相續す同四十二年東京帝大工科應用化學科を卒業し小樽高商講師同教授大阪府囑託等を經て大正七年工業試驗所技師に任ぜられ現に大阪工業試驗所勤務たり曩に歐米各國を視察す【家庭】妻たつ(明二五)岐阜縣人棚橋久一郎妹　長男道男(大五)長女民子(大三)甥英夫(明三七)

松本信一　正五勳四　醫學博士　京都帝國大學(醫學部)教授　所得税一三三　京都市上京區淨土寺西田町　電上八二五

君は福島縣士族松本爲八郎の長男明治十七年十一月を以て生れ同四十年家督を相續す同四十三年京都帝大醫科を卒業し大正二年京都帝大醫科助教授に任じ同五年米佛瑞西各國に留學し同六年醫學博士の學位を受け同八年歸朝後同大學教授となり今日に至る【家庭】母セツ(慶應二)妻マツ(明二三)田中章四女　長男博(大二)長女綾子(大五)二女壽子(大九)

松本千太郎　質業　大阪市港區九條通二ノ六四七　電西陣二六三

君は大阪府人松本與兵衞の弟明治十年八月を以て生れ同四十年分家す分讓の土地家屋を擁して貸家業を營み傍ら父の遺業たる質商を營み尙印刷業掬文舍を經營し今日に至る昭和四年紺綬褒章を賜ふ【家庭】妻トク(明一一)大阪府人松本與三郎二女　長男與四雄(明四四)長女八千穗(明四一)三女トミ(大五)

松本天治郎　日本醫科器械學會委員　松本商事(名)代表社員　醫療器械商　東京市日本橋區本石町四ノ八　電日本橋一七一九

君は東京府人松本仁三郎の二男明治廿六年十一月東京市日本橋區に生れ松本儀兵衞の養子となる先代の後を繼ぎ醫療器械商に從事し大正十三年組織を變更して合名會社となしその代表社員となり以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味應用化學研究【家庭】妻久子(明三四)養父儀兵衞長女日本橋高女卒　長男誠一(大一〇)長女佳子(大一二)二女恭子(大一四)二男龍次(昭三)三男祐三(昭三)

松本誠　正五勳三　朝鮮總督府專賣局長　朝鮮京城府西小門町總督府官舍

君は東京府人松本秀發の三男明治十六年十月を以て生れ同廿五年家督を相續す同四十二年京都帝大法科政治科を卒業し同年文官高等試驗に合格し同四十三年朝鮮總督府屬となり同四十四年同書記官に進み内務部庶務課長朝鮮總督府事務官財務局理財課長兼朝鮮總督府鐵道局理事等を經て昭和三年朝鮮總督府專賣局長に任ぜられ今日に至る【家庭】妻京(明二五)山口縣人山根正次二女　長男龍三(大五)長女正(大元)三男達郎(大八)二女公子(大一〇)四男完(大一二)弟清治(明一九)及其妻子

松本光三　日本郵船(株)會計課副長　東京市本鄕區駒込西片町一〇ろノ二三

君は松本源七の二男明治廿一年十一月十二日神戸市に生れ後分家す同四十五年東京高商專攻科を卒業し直に日本郵船會社に入り本店神戸支店等に歷勤し現に同社會計課副長たり　宗教淨土宗【家庭】妻道子(明二九)大阪府人江森鄕太郎二女梅田高女卒　長男和夫(大八)長女千枝子(大四)東京府立第二高女在　二女英子(大一〇)二男利夫(大一二)

松本與兵衞　中島製作所(株)監査　大阪市港區九條北通二ノ三五　電西四四七七

補遺

當家は舊くより大阪九條に定住せる豪農にして君は先代與兵衞の長男明治七年一月を以て生れ同四十年家督を相續し前名米次郎を改む現に中島製作所監査役たり【家庭】妻ふく（明一三）大阪府人遊佐武平二女　長男米三郎（明四二）長女千代（明三五）大谷女學卒　四男與八郎（大元）二女モン（大六）三女秀（大一〇）養子トミ（大五）弟千太郎三女

松本由太郎　松筒自動車同好會　馬具金物商　所得税五八三　大阪市東區谷町四　三九　電東八四五

君は先代由太郎の長男明治廿八年三月を以て生れ大正八年家督相續と共に襲名す父の遺業を繼承馬具金物商を營み傍ら松筒自動車同好會を起し自動車運轉手の養成に努む【家庭】母ふさゑ（明六）妻千世（明三〇）大阪府人三輪むつ孫　長女毬子（大八）妹カツ（明三六）及其夫子

松本芳藏　長島屋　材木商　東京市深川區靈岸町一二二　電本所二四四四

松本家は古くより江戸深川に土着して代々長島屋と稱し材木商を營む君は先代芳藏の長男にして長島吾助の甥なり明治十二年一月を以て生れ同卅年家督相續と共に襲名す夙に祖業を繼承して今日に至る【家庭】妻トキ（明一七）東京府人齋藤政吉長女　長男惠太郎（明四〇）長女登美子（明三八）東京女學館卒　弟米三郎（明二一）及其妻子

松山茂　正五勳三功五　海軍少將　海軍水雷學校長兼海軍通信學校長　神奈川縣三浦郡田浦町水雷學校内　電田浦一七

君は長崎縣士族松山雲八の五男明治十四年七月を以て生る同卅五年海軍兵學校を卒業し海軍少尉に任じ爾來累進して大正十五年少將に陞る其間海軍兵學校教官兼監事長五十鈴艦長舞鶴要港部參謀長第二艦隊參謀長軍令部參謀等に歷補し昭和四年海軍水雷學校長に補し同五年六月海軍通信學校長に兼補せらる【家庭】妻龍（明二五）東京府人殿井隆興二女　長男昂夫（大八）

松良善凞　宮城送電興業　宮城電氣鐵道各（株）取締　常盤木學園主　所得税三二四三　仙臺市東四番丁一八　電仙臺五

君は宮城縣人松良盤植の長男明治十六年五月を以て生れ大正七年家督を相續す現に宮城送電興業宮城電氣鐵道各會社取締役たる外常盤木學園主たり曩に宮城商業銀行等の重役たり【家庭】母たき（慶應元）妻みつ（明二八）宮城縣人武田吉平五女

待山義雄　正六　朝鮮總督府技師　沙里院土木出張所長　朝鮮黃海道鳳山郡沙里院土木出張所内

君は長崎縣人待山卯一郎の長男明治廿三年十一月廿七日を以て生る大正六年東京帝大工科土木科を卒業三菱礦山會社に入り同九年朝鮮總督府技師に任じ釜山京城各土木出張所勤務を經て現時沙里院土木出張所長たり昭和四年七月歐米各國へ出張を命ぜられ同五年五月歸朝す　宗教淨土宗　趣味運動【家庭】父卯一郎（文久元）現戸主　妻靜子（明三三）佐賀縣人福島謙一養女奈良女高師卒　長男義彥（昭二）長女由美子（大一二）

丸井淸泰　正五　醫博　東北帝國大學（醫學部）教授　仙臺市北六番丁二三三

君は大阪府人丸井平次郎の弟明治十九年三月を以て生れ大正十年分家す同二年東京帝大醫科を卒業し東北帝大醫科助教授に任じ同五年米瑞英各國に留學し同八年同大學教授に任じ今日に至る同年醫學博士の學位を受く【家庭】妻茂尾（明二九）大阪府人川瀨善平二女　二女澄子（大一三）

萬膳源五郎　從五勳三　在鄉陸軍主計監　東京市外世田ヶ谷町下北澤八四六

當家は舊鹿兒島藩主島津家の舊臣なり君は三島源太郎の三男明治六年十月を以て生れ大正三年先代悅子の入夫となり家督を相續す夙に陸軍經理學校を卒業し明治卅六年陸軍三等主計に任じ後主計監に累進す其間第六師團監督部附步兵第十二聯隊附野砲兵第十九聯隊附近衞師團經理部附陸軍糧秣廠宇品支廠長第一師團經理部附第十四師團經理部長等に歷補す曩に陸軍事務官千住製絨所庶務課長兼會計課長たり【家庭】妻すゑ（明一二）三重縣人菊本直次郎妹　長男章（明三八）同志社大學在　二男軌（明四四）

三井久次　從四勳四　少年審判官　東京少年審判所勤務　所得税一五八　東京市外荏原町洗足東臺一三

君は大阪府人三井久吉の長男明治八年二月を以て生れ大正七年家督を相續す明治卅一年東京帝大法科英法科を卒業し同卅三年判事に任じ前橋東京各區裁判所判事前橋地方裁判所判事東京地方裁判所部長東京控訴院判事等に歷補し大正十二年少年審判官に任じ東京少年審判所勤務となり今日に至る【家庭】妻セイ（明三）東京府人大竹義造妹　長男久（明三五）二男生喜雄（明四一）長女ゆり子（明四四）三男薰（大三）弟榮次郎（明一〇）及其妻子

三浦捷一　有朋堂書店　出版業　東京市神田區錦町一ノ一九　電神田四七二

當家の先代理は舊遠州川藩士三浦正幹の二男夙に書肆三省堂の店員となり後有朋堂を興し書籍出版業を營み有朋堂文庫其他の名出版あり君は其長男明治廿八年一月を以て生れ昭和三年家督を相續す父業を繼ぎ出版業を營む【家庭】母みき（明一二）姉綾（明三三）弟正（明三九）同四朗（明四三）同五郎（明四四）同啓助（大二）同邦介（大四）妹潤子（大六）

三浦碌郎　從四勳三　關東廳内務局長　旅順市大迫町關東廳官舍内

君は京都府士族三浦覺の長男明治十五年九月を以て生れ大正十年家督を相續す同四十一年東京帝大法科法律科を卒業し文官高等試驗に合格す爾來永代橋稅務署長警視廳警視深川扇橋四谷各警察署長熊本縣宇土郡長臺灣總督府警視兼同府警務官臺灣總督府事務官高雄臺中臺北各州知事等に歷任し昭和五年五月關東廳内務局長に任ぜられ現に其任にあり　宗教眞宗　趣味ゴルフ漢詩【家庭】母こあや（元治元）妻美好（明二五）千葉縣人野尻丈夫姉宇都宮高女卒

三上豐夷　中華企業（株）社長　中華取引場（株）會長　三上（株）監査　所得税二四〇四　神戸市山本通二

君は舊越前丸岡藩士三上八郎の長男文久三年二月を以て生れ後家督を相續す夙に神戸に出で回漕店に奉公し後獨立して海運業を營み今日に至る現に前記會社の重役たり【家庭】妻みさ（明三）兵庫縣人大塚繁藏長女　長男淸一郎（明二五）三上株式會社々長　同妻節（明三二）福岡縣人安部正也長女　同長男豐成（大一一）

同二男大多（大一二）同長女美榮子（大一五）長女光（明二三）は石川縣人片山拓弟海軍大佐登に嫁し二男武治郎（明二八）農學士は兵庫縣人伊東又市の死跡を相續し二女琴（明三〇）は同縣人林田家を繼ぎ東京府人岩田三平弟法學士七郎を養子に迎ふ

三田定則　從四勳三　醫博　東京帝國大學教授　醫學部勤務　東京市外目黑町三田四〇　電高輪五二二〇

君は岩手縣士族關定昌の三男明治九年一月を以て生れ同卅六年三田俊次郎の養子となる同卅四年東京帝大醫科を卒業し同大學助手同助教授を經て法醫學研究の爲獨佛兩國に留學し大正三年醫學博士の學位を授く現に東京帝大教授にして醫學部に勤務す【家庭】養父俊次郎（文久三）現戸主　養母てる（明五）東京府士族小泉やま姉　妻トミ（明一七）同府士族中田薰妹　男義勝（大一二）二男義治（大五）

三根繁太　正五勳五　特許局技師　機械部第一課長　神奈川縣逗子町一一二八

君は福岡縣人三根嘉三郎の孫明治十八年一月を以て生れ大正三年家督を相續す明治四十一年東京帝大工科機械工科を卒業し特許局審查官補同審查官を經て大正七年特許局技師に任じ現に機械部第一課長たり【家庭】祖母ハキ（嘉永五）母ミツヨ（慶應二）妻ミヤ（明一八）東京府人杉本七百丸三女　長男繁知（明四四）二男繁威（大三）弟二三（明二五）

三羽則文　大日本放射製藥（株）取締　大阪市東成區鶴橋天王寺町五八四五　電天王寺二五七〇

君は岡山縣人高草八十八の二男元治元年七月を以て生れ後三羽則長の養子となり明治十一年家督を相續し前名鶴男を改む同廿三年明治法律學校を卒業し現に大日本放射製藥會社取締役にして曩に神戸土地會社社長たり【家庭】妻宜室（明一三）和歌山縣人堀田恒夫長女　長男嘉彥（明四〇）二女千鶴子（明三九）二男武彥（明四二）四男正彥（大二）五男勝彥（大三）六男康彥（大六）長女萬龜子（明二四）は岡山縣士族菊地良六の養子となる

三橋逢吉　東京高等工藝學校教授兼生徒主事　東京本鄕向ヶ岡彌生町三とノ二六

君は神奈川縣人三橋要也の二男明治卅年八月廿日三重縣に生る大正十二年東京帝大文科社會學科を同十五年同大學法科政治科を各卒業す先是同十四年内務省警保局囑託となり昭和三年東京高等工藝學校教授に任じ生徒主事を兼ね以て今日に至る【家庭】父要也（元治元）妻桂（明三八）東京府人中島得藏長女日本女大卒　男勉（昭三）

三好貴次　別府溫泉土地（株）常務　大阪朝報社副社長　大阪市天王寺區南河堀町七八　電天王寺四五

君は大阪府人生形貴一の弟明治十七年三月を以て生れ同四十二年先代コマの養子となり家督を相續す同四十四年京都帝大法科政治科を卒業し文官高等試驗に合格し大阪府警察部に勤務せしが後之を辭し現に大阪朝報社副社長たる外別府溫泉土地會社の重役たり【家庭】妻コマ（明二五）大阪府人平井保德長女梅田高女卒　長男貴士（明四五）

三輪政記　大日本土地（株）取締　大日本工業（株）監查　東京市外澁谷町北谷二四　電靑山二六一七

君は廣島縣人三輪宇彌雄の四男明治廿二年十二月十三日同縣に生る夙に慶應大學理財科に學び現に前記會社重役たり　趣味スポーツ音樂

深山亦右衞門　天滿屋　銘木商　東京市外淀橋町角筈七六五　電四谷三七九

當家は代々江戸に住し槽製造業を營みしが七代に至り祖業を廢し銘木販賣を業とす君は先代亦右衞門の長男明治四十三年八月廿八日日本橋區に生れ大正五年前名を改め九代目亦右衞門を襲名す高千穗中學に學び家業を繼承し以て今日に至る　宗教淨土宗　趣味大弓乘馬水泳登山【家庭】母はる　弟正明（大元）高千穗中學修

水崎正次郎　正六勳三　海軍中佐　海軍省教育局文庫主管　所得税五〇　東京市外世田ヶ谷町下北澤九一四

君は和歌山縣人水崎利兵衞の男明治廿二年一月十四日同縣有田郡田殿村に生れ後分家す同四十三年海軍兵學校を大正八年海軍砲術學校を各卒業す先是海軍少尉に任じ昭和四年同中佐に陞任し現時前揭の職に在り　宗教眞宗　趣味劍道【家庭】妻靜（明二七）山梨縣人靑柳春雄長女甲府實科女學卒　男正一（昭三）長女正子（大七）二女利子（大九）三女妙子（大一一）四女澄子（大一五）

水谷政次郎　大阪商工會議所議員　浪花無盡（株）社長　讃岐倶樂部　阪神土地建物　マルキ號各（株）取締　麵麭製造業　所得税一〇〇五一　大阪市西區北堀江通二ノ三　電新一六八六

君は香川縣士族中村マツの叔父明治十年一月を以て生れ先代淺吉の養子となり同卅六年家督を相續す現に阪神土地建物會社監查役にして推されて大阪商工會議所議員たる外前記諸會社の重役たり昭和四年紺綬褒章飾版を賜はる【家庭】妻ゆき（明九）大阪府人木田山三郎妹　長男元一（明四四）四女愛子（明四一）女淸子（大一二）二男幾造（大三）女岸子（大五）長女朝子（明三四）は夫子と共に分家し二女利子（明三七）は奈良縣人福井松治郎養子東三郎に嫁し三女政子（明四〇）は大阪府人木田山三郎に五女實子（明四二）は同府人淺井治郎吉長男猪之助に各養子となる

溝口德太郎　金融業　所得税五三二　大阪市住吉區北田邊町文の里三〇六

君は大阪府人溝口德松の長男明治廿二年三月を以て生れ大正十一年家督を相續す明治四十一年市立大阪高商を卒業し祖業を繼ぎかるた問屋を營みしが現に金融業を營む【家庭】母タネ（慶應元）妻富子（明三六）奈良縣人保井增造二女東京裁縫女學卒

道田貞治　從五勳五　遞信技師兼特許局技師　遞信局技師　工務局勤務　東京市外澁谷町神泉一八　電靑山五四八

君は大阪府人道田貞五郎の長男明治廿七年一月を以て生れ大正九年家督を相續す明治四十五年京都帝大理工科電氣工學科を卒業し遞信管理局技手遞信局技師通信技師兼遞信局技師等に歷任し大正七年遞信技師となり同十一年遞信省海外研究員として英米獨各國に派遣せられ同十二年歸朝現に工務局に勤務し現時前記の職に在り【家庭】母シン（元治元）妻マスヱ（明二六）大阪府人新田久三郎三女　長男秀男（大二）長女多鶴（大元）二女富美子（大八）三女敏子（大一一）四女正子（大一三）五女孝子（大一四）妹シカヱ（明三四）

南德太郎 榮喜堂 雜記帳商 東京市日本橋區馬喰町三ノ八 電浪花四四六四

君は奈良縣人南龜太郎の長男明治十九年五月四日を以て生る同卅九年上京し芝川商店に勤務する事多年大正四年獨立して雜記帳商を創め今日に至る 宗教門徒宗【家庭】父龜太郎(慶應元) 妻りん(明二三) 弟金太郎 同悦次郎 同忠文(明四三) 日大法學部在

南方米吉 辰巳屋製紐(株)東京營業所代表 東京市神田區花房町一(營業所) 麹町區內幸町一ノ五 電銀座五七三

君は和歌山縣人三橋喜代之助の男明治十五年十二月十六日和歌山市に生れ後家督相續す夙に鐵道省に入り保線課に勤務す同四十一年亡兄保一郎の創始に係る製紐業を繼承し大正元年合名會社となし次で同七年四月株式組織に改め常務取締役常任監査役に歴任す現時同社東京出張所代表社員たり 宗教淨土宗 趣味旅行登山【家庭】妻はる子(明一五) 山本良平二女 長男康三(明三五) 明大商科卒家業に從事 二男辛三(明三九) 明大商科在 長女鈴子(明四四) 金蘭會高女卒

宮地貞顯 公證人 所得税一七三三 東京市淺草區馬道三ノ五 電淺草二八五五

君は舊幕臣宮地貞堯の長男明治十四年六月を以て生れ同卅二年家督を相續す同卅六年法政大學を卒業司法屬となり臺灣總督府高等法院囑託を兼ね辯護士試驗に合格し辯護士を開業し大正六年公證人となり今日に至る【家庭】妻富士枝(明三一) 靜岡縣人北島鉞養妹 長男貞友(昭二) 長女清(大四) 妹しげ(明二〇)

宮林操三 宮林商會(株)社長 鍍金材料商 所得税二一六七 大阪市東區宮林町五 電東三二三九

君は愛知縣人宮林要人の二男明治三年四月を以て生れ後先代うたの養子となり同十三年家督を相續すニッケル鍍金業を營み宮林商會社長として今日に至る【家庭】妻いと(明三) 奈良縣人松宮宇七長女 長男憲一(明三四) 同妻泰(明三八) 東京府人周防初次郎長女 二男次郎(明三九) 二女濱子(明四三) 三女美子(大元) 長女安枝(明四〇)は靜岡縣人鈴木壽六に養子あや(明二二)愛知縣人中西圓藏三女は大阪府人赤松熊七長男喜太郎に各嫁す

宮部光利 正五勳三 在鄉海軍大佐 大阪製鎖所(株)東京出張所長 所得税一三六 東京市外井荻町上荻窪九三五

君は愛媛縣人宮部春和の長男明治十五年十月同縣宇和島市に生れ後家督相續す同卅三年海軍兵學校を卒業し累進して中佐となり後豫備役被仰付其間日露日獨の兩役に從軍す尙海軍省教育部員聯合艦隊副官第三驅逐隊司令水雷學校教官舞鶴防備司令等に歴任し昭和二年支那動亂の際は八雲艦長として上海に駐在す現時大阪製鎖所東京出張所長たり【家庭】妻美子宇野友治女音樂學校卒ピヤニスト 長男嶠(明四三) 二男晃子(大元) 東京府立五中卒

宮村通三 大日本製氷 高松製氷冷藏 池田製氷 四國製氷各(株)監査 所得税一一二八 京都市上京區河原町通廣小路下 電上二五九

君は滋賀縣人清水又兵衛の五男明治廿二年五月を以て生れ大正十年宮村よしの入夫となり家督を相續す即ち龍紋氷室主山田家の分家にて先代啓助の生家を繼ぐ同四年早稻田大學理工科機械工科を卒業し現に大日本製氷會社を初め前記諸會社の監査役たり【家庭】妻よし(明三一) 京都府人山田啓之助妹京都市立高女卒 長男暎泰(大一二) 二男敬邦(大一三) 長女和子(昭二)

宮本俊三 大倉鑛業(株)銑鐵掛主任 東京市外矢口町小林二六三 電蒲田九五九

君は香川縣人宮本新五郎の長男明治廿八年三月廿二日を以て生る大正六年早稻田大學商科を卒業し直に大倉鑛業株式會社に入社し現に同社銑鐵掛主任たり先に數回支那に出張せり 宗教日蓮宗 趣味圍碁水泳庭球【家庭】父新五郎(慶應三) 妻テル子(明三一) 東京女學修 長男亮祐(昭元) 長女俊子(大七) 二女敏子(大九) 三女和子(大一四)

向坊盛一郎 南滿洲瓦斯 南滿洲電氣各(株)取締 南滿洲鐵道(株)業務課長 大連市星ケ浦町

君は福岡縣人向坊次八の二男明治十七年八月十八日を以て生れ昭和二年兄强哉方より分家す現時南滿洲鐵道會社業務課長にして前記會社の重役を兼ぬ【家庭】妻つま(明二五) 東京府人森野光精妹 長男隆(大六) 長女鈴子(大九) 二男壽(大一一)

村井醇 民衆タクシー代表 新潟市街自動車(株)取締 東京市外入新井町新井宿五三九 電大森三一三

君は千葉縣人村井孝一郎の長男明治十八年一月を以て生れ同四十一年家督を相續す同年日本大學を卒業し實業界に入り東京乘合自動車實用自動車部長を經て現時前記會社の重役にして曩に京濱乘合自動車會社社長常磐タクシー會社專務小型自動車取締役たり【家庭】祖父龜三郎(弘化元) 妻タカ(明三四) 新潟縣人松浦ミヨシ養子 長男洪(大四) 二男晃(大八) 三男穣(大一〇) 二女豐子(大一二) 四男隆(大一四) 三女和子(昭二) 弟英男(明四〇) 長女妙子(大七)は新潟縣人丸井シンの養子となる

村井隆三 土木建築請負業 前橋市榎町三九 電前橋五四一

君は群馬縣の人明治十二年五月一日前橋市に生れ後家督を相續す先代は村井組に關係せしが君に至り獨立して土木建築請負業を創め昭和四年東京小石川區に出張所を設置し以て今日に至る傍ら前橋市會議員同參事會員前橋土木組合長群馬縣土木建築同業組合副組合長等の諸職に在り

村上嘉七 西須賀町會長 大和館 旅館業 所得税二六八六 東京市本鄕區根津西須賀町一五 電小石川三九六二

君は三重縣人村上梅吉の長男明治十一年十月十日同縣一志郡倭村に生れ同卅三年家督を相續す夙に三重中學を卒業後上京して旅館業を營み今日に至る傍ら根津西須賀町會長たり 宗教天台宗 趣味圍碁將棋旅行【家庭】妻冬子(明二二) 神奈川縣立女學卒 長男竹夫(明四〇) 明大英法科在 二男嘉男(大三) 東京府立五中卒 長女靜枝(大五) 東京府立第二高女在 三男正雄(大六) 二女惠美子(大一〇) 四男光春(大一二) 三女瞳(昭四)

村上定 南武鐵道 日本絹紡績各(株)取締 玉川電氣鐵道 目黑玉川電氣鐵道 玉川製氷各(株)監査 所得税二七〇 東京市外大井町一一九二 電高輪二四四一

君は廣島縣人村上恒四郎の長男安政四年八月を以て生れ明治卅三年家督を相續す同十三年慶應義塾を卒業し直に熊本新聞主宰となる爾來東京同盟改進新聞栃木新聞神戸又新日報各主筆に歴任し後實業界に入り山陽鐵道荷物係三井銀行前橋出張所主任同本店調査係長三井倉庫支配人等を經て現時前記會社の重役にして曩に內國貯金銀行加富登麥酒日本麥酒鑛泉の重役たり【家庭】妻きん(元治元) 埼玉縣人松本鐵五郎三女 長男一郎(明二二) 慶應義塾理財科卒三井物産砂糖部外國掛主任 同妻よし(明三二) 福井縣人北川禮弼四女 同長女小枝(大一四) 二男二郎(明二六) 慶應義塾理財科卒富士瓦斯紡績大分工場勤務 同妻ふさ(明三三) 三重縣人岡村清兵衛二女 同長男英一(大一三) 同長女幾久子(昭二) 三男三郎(明二九) 慶應義塾理財科卒大阪商船社員 四男四郎(明三一) 慶應義塾理財科卒三井銀行員 長女靜子(明二一)は福井縣人寶來茂太郎弟勇四郎に嫁す

村上關藏 帝國信榮(株)取締 阪神工業(株)監査 所得税二八一六 神戸市楠町五ノ三四ノ一 電元町六二六

君は廣島縣人村上定八の五男明治二年十一月を以て生れ同廿八年分家す現時帝國信榮取締役阪神工業監査役にして曩に神戸發動機製造所社長湊川土地建物大神土地建物各會社重役たり【家庭】妻あさ(明一一) 兵庫縣人平井精二姉 男貞雄(明三四) 女靜子(明四三)

村木喜三 計理士 東京市麻布區本村町一一六 電高輪五六四五(事務所) 日本橋區江戸橋三丁目武田ビルブローカー內 電日本橋七五九

君は岐阜縣人村木嘉助の二男明治廿八年六月廿三日岐阜市に生る大正九年明治大學商科を卒業更に渡米コロンビヤ大學に學び昭和二年歸朝現時計理士を業とす 趣味謠曲庭球ゴルフ【家庭】父嘉助(慶應元) 母八重 妻寛子岐阜縣人青木千代助長女岐阜高女卒

村社輝三 津村順天堂支配人 東京市日本橋區通リ三ノ三(津村順天堂) 同區通三ノ八 電日本橋六二

君は埼玉縣人村社榮三郎の二男明治廿四年十月十日を以て生る同卅六年津村順天堂に入り大正三年支配人となり今日に至る 宗教日蓮宗【家庭】妻智惠子(明三四) 村社恭一郎長女養子しげ子(大六) 田代三五郎長女

村田吉五郎 村田屋 象牙商 東京市日本橋區橫山町二ノ一三 電浪花九〇七

村田家は舊幕時代より江戸日本橋に定住し象牙小間物類の製造販賣を業とせり君は先代吉五郎の長男明治十年二月を以て生れ大正六年家督を相續し襲名して前名鐵太郎を改む夙に祖業を繼承し象牙商を營み以て今日に至る【家庭】男仁太郎(明三五) 同妻芳枝(明四〇) 東京府人佐藤壽五郎長女 女文子(明三七) 東京府立第一高女卒 弟喜三郎(明三二) 及其妻子女美(明三一)は同夫甲子造(明三〇) 千葉縣人石渡政吉四男と共に分家す

村田次三吉 安田信託(株)東京支店證券課長 東京市外千駄ケ谷町八五六

君は石川縣人村田次右衛門の二男明治十年十一月十五日を以て生れ後分家す同卅三年中央大學を卒業後東京興信所小樽支店長を經て大正九年日本信託銀行に轉じ同十四年安田信託に入り昭和二年同社東京支店證券課長となり今日に至る 宗教眞宗 趣味運動【家庭】妻やす(明八) 陸軍中佐內桶義安四女堺高女卒 長女喜美子(大元) 日本女大家政科在 二女美代子(大三) 東京府立第五高女在 三女富美子(大五) 同校在 四女登美子(大九) 五女壽美子(大一三)

村田蕃 從五勳五 遞信技師 工務局勤務 東京市四谷區北伊賀町二四

君は德島縣人立木信造の二男明治廿二年一月六日を以て生れ大正四年村田駒吉の養子となる明治四十五年京都帝大理工科電氣工學科を卒業し通信技師兼遞信技師廣島長崎各郵便局名古屋遞信局各勤務大阪遞信局工務課市外線路係長を經て昭和五年遞信技師に任じ現時工務局に勤務す昭和三年英米を視察し同五年歸朝す 宗教眞宗 趣味テニス水泳文學長唄【家庭】養父駒吉(明六) 北海道人白石太右衛門二男現戸主 養母セイ(明五) 東京府人水野斧三郎長女 妻サタ(明二五) 養父駒吉長女學習院女學部卒 長男勝(大三) 茨木中學在 養妹正子(大七)

村田虎雄 村田工務店 土木建築請負業 所得税八〇 東京市下谷區上根岸町五一 電下谷六七九八

君は東京府人村田卯之助の二男明治廿三年二月廿七日東京市下谷區上野町に生る明治四十四年工手學校土木科を卒業神奈川縣廳大倉土木會社東京市水道課等に歴勤し大正十三年獨立土木建築請負業を創め今日に至る金杉壽永寺淺草道林寺廣德寺正行寺中野町矢崎病院等の鐵筋混凝土建築物は君の手になれり寺院納骨堂の建設は君の得意とする所なり 宗教日蓮宗【家庭】妻ふさ(明三一) 長男武(大一〇) 二男茂(大一二) 三男保(大一四) 二女靜江(昭二) 三女洋子(昭四)

籾山仁三郎 時事新報社(株)常務 籾山書店(資)業務執行社員 東京市麴町區丸ノ內三ノ二 電丸ノ內七三一

君は東京府人吉村甚兵衛の三男同佐平の弟籾山半三郎の養兄に當る明治十一年一月を以て生れ籾山家の養子となり大正八年分家す明治卅四年慶應義塾を卒業し現に時事新報社常務取締役籾山書店業務執行社員たり【家庭】長男泰一(明三七) 二男虎之助(明三八)

森金次郎 正六勳六 東京博物館學藝官 所得税一七〇〇 東京市小石川區中富坂町一九 電小石川五一〇六

君は愛知縣人森勳の三男明治十三年八月二日を以て生れ後分家す同卅九年東京高師を卒業し教鞭を執る事數年大正六年文部省囑託となり同十五年東京博物館學藝官に轉じ以て今日に至る昭和四年歐米博物館事業視察の爲出張し同五年歸朝す 宗教眞宗 趣味謠曲運動旅行【家庭】妻こう(明一四) 愛知縣人鈴木釘次郎長女名古屋高女卒 長男滋(明三七) 大倉高商卒東洋海上社員 二男直治(明四三) 東京府立高校在

森昌次郎 新橋保善(株)取締 新橋演舞場(株)監査 新橋藝妓屋組合常務理事 藝妓屋 東京京橋區銀座八ノ四 電銀座一一三〇

君は群馬縣人先代昌次郎の長男明治五年四月十八日を以て生れ同卅四年家督相續し前名を改め襲名す夙に先代の後を享け藝妓業を經營す大正十年新橋演舞場監査役となり同十一年新橋藝妓屋組合常務理事昭和四年新橋保善會社取締役等に就任す同五年在鄉軍人京橋第三

班評議員に擧げられ今日に至る　宗教眞宗　趣味美術【家庭】長男政雄青山學院卒　二男利夫中央大學卒

森　傳　著述業　東京市外戸塚町源兵衞一五六　電牛込三五五三

君は明治廿四年九月十三日愛媛縣温泉郡川上村に生る夙に早稻田大學理工科を卒業後縱横倶樂部を組織して政治の硏究に勉めしが昭和四年之を解散し專ら著述業に從事し今日に至る「社會改造の要諦と世界的日本の創造」等政治に關する著書數種あり【家庭】妻須磨（明二七）長男高明（大二）早稻田中學在　長女靜子（大四）二女幸子（大七）二女道子（大九）　四女泰子（大一一）五女潔子（大一四）

森　可修（ヨシナガ）　三菱銀行（株）日本橋支店出納係長　所得税一〇一　東京府北多摩郡砧村喜多見東ノ原二五一　電砧一五〇

君は富山縣人森可理の弟明治廿年十一月を以て生れ後分家す同卅一年大倉高商を卒業し三菱銀行に入り各支店勤務を經て大正十年丸ノ内支店出納係長兼倉庫係長となり昭和二年十一月同行日本橋支店出納係長となり今日に至る　趣味繪畫俳句釣魚【家庭】妻とみ（明二八）東京府人川口和三郎三女　長男啓爾（大一五）長女祥子（大一三）

森田小六郎　日華興業（株）專務　東京市牛込區矢來町二一　電牛込三一八二

君は愛知縣人森田治郎の弟明治十年十二月を以て生れ大正十二年分家す明治卅六年東京帝大法科政治科を卒業し米國に渡航し同地の日本雜貨店に入り支配人となり又同地に於て日刊邦字新聞櫻府日報を興し之が經營の任に當る歸朝後愛知縣より推されて衆議院議員に當選す現時日華興業專務取締役にして曩に松江商店代表取締役富貴織布内國石材工業各監査役たり【家庭】妻サヨ（明一八）栃木縣人入江榮吉長女　男虎二郎（明三九）四男克彦（大五）

森田三郎　從五　東京市技師　河港課長兼橋梁課長　東京市外岩淵町一九九五

君は東京府人森田多喜三の男明治廿三年一月廿二日を以て生る大正四年東京帝大工科土木科を卒業し内務技師に任じ同十三年復興局技師に任じ第三出張所長第四出張所長を經て昭和五年東京市河港課長兼橋梁課長に就任し現在に至る　宗教佛教　趣味運動【家庭】妻あや富田金平女山脇高女卒　長男英丸（大一一）二男光丸（大一三）長女美江（大一四）二女美船（昭三）

森田德松　正八　在鄕陸軍工兵少尉　地家主　所得税四四九　大阪市東淀川區長柄東通三ノ六　電堀川一七一五

君は大阪府人森田晉松の長男明治卅四年四月を以て生れ大正七年家督を相續す夙に大阪府立北野中學を卒業し一年志願兵として工兵第四大隊に入營し大正十四年工兵少尉に任ぜらる現時貸家貸地業を營む　趣味謠曲【家庭】母リキ（明四）大阪府人島井勘四郎長女　弟義一（明三八）慶大法學部在　妹好子（明四五）大阪府立大手前高女卒

森永太平　森永製菓（株）社員　東京市外代々木大山一〇七六　電四谷五六六三

君は森永製菓株式會社長森永太一郎の長男明治卅三年三月佐賀縣に生る大正十三年明治大學商科を卒業し森永製菓會社に入り大阪工場に勤務す昭和二年歐米各國の斯業視察に出張同五年五月歸朝す　宗教眞宗　趣味寫眞ゴルフスケート撞球※森永太一郎の項參照

諸留勇助　從五勳四　朝鮮總督府判事　同總督府光州地方法院長　全羅南道光州面明治町官舍

君は北海道士族諸留良助の弟明治十一年七月鹿兒島縣に生れ同卅七年分家す同四十四年判檢事登用試驗に合格し司法官試補となり大正二年判事に任ず爾來水戸區横濱地方兼同區靜岡地方各裁判所判事に歷補し同九年朝鮮總督府判事に轉じ京城覆審法院判事を經て同府事務官に任ぜらる同十三年再び同府判事となり全州地方法院長たりしが昭和三年光州地方法院長に轉じ以て今日に至る【家庭】妻ミヱ（明三〇）北海道士族角猪三郎三女　長男寛（明四〇）京城帝大法文學部在　長女敏子（大四）光州高女在　二男濱男（大六）光州中學在　二女英子（大七）六男文男（大一四）

八木善助　千葉縣多額納税者　佐原興業銀行（株）取締　帝國酒造（株）監査　釀造業　直接國税一一九二　千葉縣香取郡佐原町

當家は兜善と稱し千葉縣佐原町に於ける屈指の資產家たり君は先代善助の長男慶應二年七月を以て生れ明治十七年家督を相續し後前名慶太郎を改む釀造業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして縣下の多額納税者たり【家庭】男愿（明二一）男剛（明二三）男文男（明二七）男彌六（明三八）七男周之助（明四三）長女とは（明二六）は千葉縣人瀧谷今助に四女益（明三三）跡見女學卒は同縣人重田嘉七に各嫁す※八木剛の項參照

八木　剛　瀧谷油脂工業所員　東京市外大井町三〇一八　電大森三四七九

君は千葉縣多額納税者佐原興業銀行取締役八木善助の男明治廿三年九月を以て生る大正四年東京帝大農科を卒業現時瀧谷油脂工業所に勤務す※八木善助の項參照

矢内兼治　播磨造船所（株）主事東京事務所主任　東京府入新井町不入斗五三一

君は兵庫縣人矢内勘次郎の三男明治十七年八月五日姬路市に生れ大正十五年分家す明治卅九年大阪高工造船科を卒業同年三菱長崎造船所技士となりしが大正六年四月之を罷め鈴木商店に入る尋で帝國汽船會社播磨造船部技師神戸製鋼所造船部主事等に歷勤昭和四年十一月現職に就任し今日に至る　宗教神道　趣味庭球【家庭】妻かずを（明三四）兵庫縣人西村三五長女姬路高女卒　嗣子正（大二）赤穗中學在　長女はるみ（大一一）

矢野佳年春　久松尋常小學校長兼同商業補修學校長　日本橋第一青年訓練所主事　東京市外駒澤町上馬九一（學校）日本橋區久松町四五　電浪花二九四九

君は京都府人矢野武一郎の長男明治廿年十一月十四日京都市上京區に生る夙に京都師範を卒業し東京市赤坂高等小學校訓導愛宕高等小學校長等を經て昭和五年久松尋常小學校長に轉じ以て今日に至る傍ら前記の諸職にあり　宗教眞言宗　趣味スポーツ【家庭】父武一郎現戸主　妻ミサオ愛媛縣人渡邊政長女松山高女卒　二男健夫（大一二）三男昭三（昭三）長女節子（大二女貴美惠（大一一）

安川正彥　東京火災保險（株）外國課副長　東京市外中野町桃園三三四三

君は愛媛縣人安川雋美の三男明治廿二年五月三日を以て生れ後分家す夙に東亞同文書院を卒業直に三井物產に入り上海青島各支店に勤務す昭和二年東京火災保險に轉じ現時同社外國課副長たり　宗教禪宗　趣味運動ゴルフ【家庭】妻貞子（明三一）愛媛縣人高須久吉長女愛媛縣立高女卒　長男敏彥（大七）京華中學在　二男靜男（大八）三男通春（大一〇）長女智子（大一四）二女典子（昭三）

安田秀吉　安田秀吉商店（名）代表社員　定吉商店（株）取締　電線路用工事材料諸金物腕木木具指物商　所得税一八七　大阪市北區東堀川町二九　電北三三八二

君は大阪府人先代秀吉の長男明治廿二年六月を以て生れ大正七年家督を相續し襲名して前名正次を改む電線用工事材料諸金物腕木木具指物商を營み現時前記會社の重役たり【家庭】母しな（明二）大阪府人木村辰五郎長女　妻しみ（明三一）同府人辻井彌一郎二女　男進一（大一〇）長女益子（大一二）二女輝子（大一五）弟秀次（明二七）弟實造（明三一）妹さだ（明三五）妹幾子（明四一）

柳澤金作　蒔繪師　宮内省用度掛　東京市小石川區白山御殿一一〇　電小石川二七六六

君は東京府人柳澤庄之助の長男慶應三年三月八日東京市小石川區に生る夙に帝室技藝員平山松哉に師事し又繪畫を渡邊省亭に學ぶ大正天皇御前製作の光榮に浴する事數回現に蒔繪師として知られ一抱と號す宮内省用度掛たり　宗教日蓮宗　趣味生花【家庭】養子一作（明三五）長女里子（明三五）養子一作妻京華高女卒　同長男一哉（大一五）同二男錦哉（昭四）

柳田直吉　臺灣銀行（株）理事　東京支店駐在　東京市小石川區鷺籠町一五二　電大塚二一三一

君は鹿兒島縣多額納税者柳田直次郎の弟明治廿年十月十八日鹿兒島市西田町に生る同四十一年神戸高商を卒業し臺灣銀行に入り本店支那各支店に勤務し爾來香港上海各支店長等に歷任し昭和二年理事となり現時東京支店に駐在す保土ケ谷ゴルフ倶樂部會員なり　宗教眞宗　趣味圍碁テニスゴルフ【家庭】兄直次郎（明一九）現戸主　母タメ（慶應元）妻歌（明二八）同縣人山下盛之助二女　長男誠一（大五）東京府立一中在　長女可津子（大八）二男雄二（大一〇）三男三郎（大一一）二女豐子（大一五）

藪原鐵五郎　壁材料問屋　東京市京橋區桶町三二　電京橋四五六

君は長野縣人藪原爲治郎の二男明治八年六月廿二日同縣伊那郡片桐村に生る同卅五年壁材料問屋を創め現時左官材料商組合評議員たり　宗教臨濟宗【家庭】妻辰惠（明一六）長男鐵之助（明三六）中央商業卒　外に男八名女三名

山内幾馬　富士製紙（株）知取工場長　樺太元泊郡知取町同社宅　電知取二三〇

君は福島縣人山内熊三郎の長男明治十八年八月一日同縣若松市に生る同卅九年東京高工機械科を卒業直に鐵道省に奉職し北海道鐵道管理局勤務たりしが同四十一年官を辭して北海道炭礦汽船會社技師となり夕張炭礦に勤務大正二年富士製紙會社に轉じ爾來同社江別池田落合各工場に歷勤し大正十二年知取工場の建設に從事し其完成と共に同工場長に就任し以て今日に及ぶ　宗教日蓮宗　趣味讀書【家庭】父熊三郎（安政六）現戸主　妻キタ（明二一）新潟縣人堀三郎三女函館高女卒　男愼一郎（明四一）長女キク（明四三）札幌高女卒　二女キヌ（大元）同校卒　三女タカ（大五）札幌北星高女在　三男三郎（大一三）

山岸鶴五郎　土木建築請負業　東京市下谷區北稻荷町三九　電下谷七九二一

君は新潟縣人山岸兵吉の三男明治十九年二月廿五日を以て生る同卅七年上京し建築事業に從事す同四十年獨立して土木建築請負業を創め大正六年陸軍省指名請負人同十四年遞信省請負指名人となり以て今日に至る　宗教眞言宗【家庭】妻ユシ子

山崎光次郎　讀賣新聞主筆　東京市本鄕區駒込千駄木町二三六　電小石川三〇二

君は愛媛縣人山崎茂太郎の長男明治十八年二月十五日同縣温泉郡興居島村に生る夙に鄕里の西條中學校を經て東京高商を卒業し直に大阪毎日新聞社に入り英獨墺各國に三ケ年間留學す歸朝後同社整理部長となり次で東京日日新聞に轉じ政治部長聯絡部長等に歷任し昭和五年讀賣新聞社主筆に就任し爾來其職に在り　宗教日蓮宗　趣味謠曲讀書【家庭】妻タマヨ（明二六）愛媛縣人田中庄太郎四女濟美高女卒　嗣子弘（大九）長女妙子（大八）

山下誠一　從五勳四　在鄕海軍機關中佐　三菱航空機（株）參事　東京市外千駄ケ谷町三八辻方

君は舊尾州藩士山下義方の四男明治十六年二月廿八日東京市に生れ後家督を相續す同卅七年二月海軍機關學校を卒業後海軍機關少尉に任じ累進して機關中佐に陞る其間日露役に於ては軍艦常盤に乘組日本海々戰に敵艦「セニヤビン」捕獲回航に從事し戰後軍艦松島驅逐艦夕立潛水艦及軍艦薩摩等に乘組同四十三年海軍大學校選科生を命ぜられ又臨時軍用氣球硏究會委員となり爾來航空事業に從事す尋で同四十四年七月「パルセバール」飛行船購入檢査の爲獨國に派遣せられ翌年六月歸朝後海軍航空調査會委員横須賀海軍工廠部員海軍艦政本部々員等に歷補し歐洲大戰に際しては戰時視察員として派遣せらる同十年三菱航空機會社に入社後更に海外に出張する事二回現時同社參事たり　宗教曹洞宗　趣味圍碁將棋【家庭】妻浪（明二四）元外國語學校教頭辻高衡妹女子學園及津田英學塾卒洋行中

山瀨德次郎　酒造業　所得税一八七八　大阪市北區朝日町九九　電北四五六五

山瀨家は代々酒造を業とし大阪に土着せる舊家なり君は大阪府人泉孫三郎の二男安政五年十二月を以て生れ初め小學校に教鞭を執りしも後先代德次郎の養子となり明治廿五年家督を相續し襲名して前名市三郎を改む祖業を繼承し酒造業を營み以て今日に至る【家庭】妻ユキ（明九）京都府人澤村芳之助妹　養子信三（明二二）愛知縣人中川小兵衞弟神戸高商卒　同妻喜佐（明二七）大阪府人井上弘之姉　同二女椅子（大八）同三女光子（大一二）同四女呂子（大一四）

山田金雄　千代田生命保險（株）會計課長　所得税一四五　東京市外大崎町下大崎七九　電高輪四八〇四

君は岡山縣人高取長貫の長男明治十八年九月を以て生

れ先代萬太郎の養子となり大正四年家督を相續す明治四十三年慶應義塾大學理財科を卒業し現時千代田生命保險會計課長たり【家庭】養母とき（慶應三） 千葉縣人柿内則誠長女 妻千波（明二八） 同縣人柿内則誠孫

山田熊雄 東京海上火災保險(株)營業部長代理 所得税一四一 東京市外碑衾町衾二六九六 電田園調布三七九

君は東京府士族山田毅の男明治十四年九月廿四日同府に生れ大正七年一月家督を相續す明治卅七年東京高商を卒業し直に大阪商船株式會社に入社大正元年之を辭し同三年東京海上火災保險會社に入り營業部長代理となり今日に至る 宗教基督教 趣味散歩登山音樂【家庭】母キク（萬延元）

山田堅三郎 三井家淸泉學寮幹事 東京市小石川區音羽町六ノ二八

君は新潟縣人山田善藏の二男明治十五年九月五日同縣西蒲原郡岩竇村に生れ後分家す夙に東北帝大數學科を卒業し新潟縣立新潟中學校教諭外各府縣中學校教諭を經て大正八年三井家淸泉學寮幹事となり今日に至る 宗教眞宗 趣味書道大弓【家庭】妻みよし（明二一） 福島縣人佐藤蕃妹八戸高女卒 長男堅一（大七） 獨逸協會中學在 長女信子（明四三） 日本高女卒 二女まさる（大二） 同校卒 三女富子（大五） 東京女學館在 二男正夫（大一二）

山田正 大倉火災海上保險(株)營業部勤務 東京市四谷區麹町一二ノ二〇 電四谷四六九五

君は愛知縣人山田正三九の長男明治廿六年十月一日岡崎市に生れ後家督を相續す大正五年早稻田大學商科を卒業し同六年中日實業會社に入り尋で東洋鹽業に轉じ青島在勤を命ぜらる同十年大倉組食料品部關東販賣部長に就任昭和三年大倉火災海上保險會社營業部勤務となり以て今日に至る 宗教禪宗 趣味麻雀野球ゴルフ【家庭】母すゑ 妻紀子（明三五） 愛知縣人成田久助妹名古屋高女卒 長女律子（大一三）

山田恒之丞 紀伊國屋 金鋼商 東京市下谷區御徒町一ノ一 電下谷五五五九

君は和歌山縣士族山田常員の六男明治九年十一月二日を以て生る同四十三年紀伊國屋と稱し金鋼商を創め經營以て今日に至る現時東京金物組合代議員にして曩に御徒町會理事たり 宗教天理教 趣味圍碁釣魚【家庭】妻いく 長男昌員（明四五）

山中清七 高砂館 簞笥嫁入道具商 所得税一二八九 大阪市西區南堀江上通一ノ一〇 電櫻川三六三九

當家は元播磨國より出づ祖父清兵衛文政年間大阪に來り古物商を營む先代淸七是を繼承せしが後佛具商に轉ず君は其長男明治四年十二月を以て生れ同四十三年家督を相續し前名松次郎を改む父業を繼ぎて佛具商を營みしが後簞笥嫁入道具商を創め以て今日に至る【家庭】妻タツ（明一三） 大阪府人中村由松二女 長男文之助（明三二） 同長女キヨ（大一二） 同文和（昭二） 二男慶治郎（明三七） 女サト（明四三） 三男榮三郎（明四四） 四女菊代（大七） 弟清三郎（明二一）

山本源吉 山本商事(株)社長 所得税七七一六 大阪市住吉區住吉町七五八 電天下茶屋二一三六

君は廣島縣人山本富助の弟慶應三年六月を以て生れ明治卅二年分家す石炭商を營み傍ら海運業に從事し夙に住友鑛業所に於ける石炭の一手販賣を司る大正七年山本商事株式會社を創立し社長として經營の衝に當り以て今日に至る曩に山本海運取締役たり【家庭】妻セイ（明一〇） 大阪府人宮本安吉姉 長男弘一（明三三） 同妻貞乃（明三九） 大分縣人元田龍佐長女 同長男秀夫（大一五） 二男和雄（明三六） 長女登美子（明三八） 大阪府立夕陽丘高女卒 二女玉枝（明四一） 三女艶子（明四四） 四女勝子（大三） 五女常代（大六） 三男健治（大一〇）

山本武夫 日本郵船(株)香港支店長 香港日本郵船會社香港支店内

君は岡山縣士族山本賢次の二男明治十八年三月廿三日を以て生れ大正十二年家督を相續す明治四十三年東京高商を卒業し同二年日本郵船に入り盆買甲陀谷新嘉坡各支店本社貨物課大連橫濱各支店に歷勤桑港支店長を經て照和五年香港支店長に轉じ以て今日に至る 宗教神道 趣味釣魚狩獵【家庭】母滋（文久二） 妻ふし（明二一） 東京府人島田藤三郎養子 妹富子（明二四） 日本女大卒女學教師 弟虎之助（明二八） 陸軍歩兵大尉 大牟田中學教諭 同妻幸子

山本文輔 コンプリート商會主 コンプリート製造販賣 東京市外西巣鴨町巣鴨宮仲二六七二 電大塚二二二八

君は三重縣人中村善吉の四男明治八年三月一日同縣志摩郡濱島町に生れ後山本忠平の養子となる同卅六年工手學校造家科を卒業し直に日本銀行文書局建築課に入る爾來東京帝大文部省出張所建築課住友總本店等に歷勤す昭和三年獨立してコンプリート商會を創立し今日に至る建築學會建築協會各會員たり 宗教曹洞宗 趣味圍碁撞球旅行讀書【家庭】妻ゆき（明二〇） 福村正衛四女 長男駿平（明三九） 東京帝大法科在 二女豐子（大六）成女高女在 二男文平（大九）三男良平（大一四）

油田尚郎 日本鑄鋼(株)常務 正六 所得税五〇 東京市外碑衾町碑文谷一四七六 電荏原一三四一

君は三重縣人油田金太郎の三男同篤太郎の弟明治廿四年四月廿六日同縣に生る大正三年東京帝大工科機械科を卒業し隅田川精鐵所に入り同十三年警視廳技師に任じ工場監督官たりしも昭和四年官を辭し現時日本鑄鋼常務取締役たり曩に第十一回國際勞働會議に出席し歐米各國を視察す 宗教眞宗【家庭】兄篤太郎現戸主 妻八重（明三一） 愛知縣人太田伊八三女岡崎高女卒 長男達一（昭二） 長女みつ（大一三）

湯山芳香 天龍川電力(株)主事 庶務課長 東京市外西巣鴨町池袋一一七五

君は靜岡縣人湯山半七郎の八男明治十二年七月十五日を以て生る同四十年東京帝大法科政治科を卒業し三重縣農林學校橫須賀中學等に教鞭を執り大正七年大同電力に入り同十五年天龍川電力に轉じ現時同社主事庶務課長たり 宗教神道 趣味圍碁銃獵【家庭】妻こと（明二二） 靜岡縣人鹽坂清姉靜岡高女卒 長男匡秀（明四〇） 東北帝大在 長女德子（明四二） 名古屋杉山高女卒日本音樂學校卒同研究科生 三女榮子（大四） 縣立名古屋高女在 三男雍（大一〇）

饒平名智太郎 世界社主 出版業 東京市牛込區市谷田町三ノ二 電牛込五五八六八

君は沖縄縣人饒平名智太郎の長男明治廿四年二月同縣に生れ後家督相續す夙に東亞同文書院を卒業し改造社に勤務す大正十五年出版業を創め世界社を興し今日に至る著書に「ガンヂーと眞理の把持」「ソヴエート學生の日記」あり 趣味讀書【家庭】妻八重子（明二二） 香川縣人三野繁治姉日本女大卒 長男智郎（大七） 長女八重子（大一一） 二男文郎（大一四） 三男明（昭二）

横井甕吉 東京木材興業(株)專務 鶴見倉庫(株)常務 横井製材所(資)代表社員 東京市深川區吉永町五 電本所九四四五

君は東京府人天野幸三の男明治廿年五月十三日同府西多摩郡三田村に生れ同四十一年横井桐三郎の養子となり大正二年家督相續す夙に深川區松村材木店に入り同卅八年吉永町松村商店支配人となり大正七年東京木材興業株式會社專務取締役に擧げらる同年更に吉永町に横井製材所を開設其代表社員となる同十五年鶴見倉庫會社を創立其常務を兼ね以て今日に至る 宗教禪宗 趣味讀書【家庭】妻トミ（明三二） 新潟縣人平田豐次郎女新發田高女卒 長男弘（昭二） 長女登代子（大八） 二女とし（大一一） 三女孝子（大一三）

横井太郎 前丸菱呉服店(株)專務 東京市外淀橋町柏木七九六

君は東京府人横井七兵衛の長男明治十六年二月を以て生れ同四十五年家督を相續す夙に橫濱英語專門學校及米國バルチモーアインスチチユートに英學を專攻し同四十年故朝田又七の社長たる日本安全油會社の專務取締役となり次で横濱プレート會社取締役明治製糖會社囑託東京菓子會社營業部長神谷商事神谷產業各會社取締役等に歷勤す後獨立横井商店と稱し棉花及砂糖貿易業を營みしが後丸菱呉服店專務取締役に就任し昭和四年之を辭す【家庭】妻久子（明二二） 東京府士族渡邊武姉東京府立第二高女卒 男一豐（大四） 長女依於子（明四三） 双葉高女卒 二女絢子（大二） 東京府立第三高女在 三女治子（大六） 二男八郎（大九） 四女信子（大一二） 弟二郎（明二〇） 法政大學教授 同妻まさ子（明二八）東京府士族荒川重豐三女及其間に五子

横井武次郎 本郷區會議員 同家屋税調査委員 家主 浴場經營 所得税一八一 東京市本郷區眞砂町三七 電小石川一二〇八

君は愛知縣士族横井弘勝の長男明治十五年九月五日を以て生れ後家督を相續す夙に浴場を經營し家主として知られ現時本郷區會議員同家屋税調査委員同青年團長同浴場組合長たり 宗教淨土宗 趣味音樂芝居【家庭】妻ふッ（明二六） 東京府人澤田一姉

横溝治郎 横溝組(資)代表社員 砂利販賣並土木建築請負業 所得税一五二〇 東京市四谷區新宿二ノ五八 電四谷六〇六八

君は明治四年十一月一日神奈川縣平塚町に生る大正十年七月斯業を創め横溝組合資會社代表社員となり今日に至る現時東京土木建築組合第三支部第二區長にして尚日本赤十字社有功社員たり 宗教日蓮宗【家庭】長男梅太郎（明三二） 二男春道

横山見造 從六勳六 鐵道事務官 運輸局勤務 東京府碑衾町碑文谷一四七四

君は靜岡縣人横山件一の二男明治八年二月十四日を以て生れ後分家す夙に遞信省郵便電信學校を卒業後遞信省に勤務す同卅年日本鐵道會社に入り同卅九年鐵道省に轉じ現時鐵道事務官にして運輸局に勤務す 宗教禪宗 趣味書畫【家庭】妻マサ（明一八） 埼玉縣人大野德太郎叔母 長男桂朗（明三八） 東京高等工藝卒伊賀實業社員 二男玄治（明三九） 東京帝大經濟科卒日本徵兵保險社員 長女澄子（明四二） 東京府立第五高女卒家政學院專科在

吉井隆 十五銀行(株)文書株式主任 東京市外入新井町新井宿長田二

君は明治廿二年五月卅一日岡山縣上道郡金岡村に生る同四十四年神戸高商を卒業し朝鮮農興銀行に入る大正六年川崎銀行神戸支店に入り預金計算調查各主任に歷任同九年十五銀行に轉じ同行文書主任となり今日に至る 宗教眞言宗【家庭】妻初野（明二七） 岡山縣人大森安吉長女岡山高女卒 長男豐（大八） 長女榮（大一三） 叔母なか（元治元）

吉岡助次郎 東京朝日新聞社電信電話課長 所得税七六 東京市外大井町瀧王子四四〇五 電大森三五〇四

君は茨城縣人吉岡愛治の三男明治十九年十月十一日同縣猿島郡に生れ後分家す同四十二年仙臺日日新聞社に入り同四十三年衆議院速記課に勤務す同四十四年大阪朝日に入社大正十年東京朝日に轉勤昭和四年四月同社電信電話課長となり今日に至る 宗教眞言宗 趣味旅行【家庭】妻カネ（明二七） 福島縣人鈴木晋二女愛住實科高女卒 長男健（大一〇） 長女康子（大一二） 二男秀夫（大一四） 三男典男（昭三）

吉岡秀爾 勳八 醫療器械メス鋏ピンセット製作業 東京市本所區向島中ノ郷町二八 電墨田三三七〇

君は廣島縣人吉岡市郎右衛門の二男明治二年十一月廣島市に生る夙に南滿洲鐵道會社に入り撫順炭礦に勤務する事十ケ年の後大正七年同社を辭し現時醫療器械製作業に從事す 趣味圍碁【家庭】妻かつ（明七） 養子筆二（明二三） ※吉岡筆二の項參照

吉岡不二彦 東京電氣(株)副參事 日本電興(株)專務 所得税二六一 東京市外品川町北品川宿御殿山七一八 電高輪七一七一

君は山口縣士族吉岡悌輔の長男明治廿年二月九日を以て生れ後家督を相續す同四十二年山口高商を卒業し直に東京電氣會社に入り爾來累進現時同社副參事にして傍ら日本電興會社專務取締役たり曩に米國を視察す電氣倶樂部會員 宗教神道 趣味圍碁ゴルフ書畫【家庭】母加代子（嘉永四） 妻壽美子（明二七） 山口縣人平佐半助妹山口縣立高女卒 長男直彦（大五） 東京府立六中在 二男昌二郎（大九） 長女美代子（大一二） 二女富美子（昭五）

吉岡筆一 醫療器械メス鋏ピンセット製作業 所得税五〇 東京市本所區向島中ノ郷町二八 電墨田三三七〇

君は明治廿三年一月十七日を以て生れ後廣島縣人吉岡秀爾の養子となり後家督を相續す夙に醫療器械製作特に刄器に就て研鑽を積み大正二年獨立して醫療器械メス鋏ピンセット竝に陸軍衛生材料廠特殊刄器類製作に從事し今日に至る 趣味圍碁【家庭】養父秀爾（明二） 妻すみ子（明二九） 養父秀爾長女旅順高女卒 長男昇（大六） 東京府立三中在 二男保（大一一） 三男隆夫（大一四） 三男三千男（昭三） ※吉岡秀爾の項參照

吉岡幸雄 日清生命保險(株)會計課長 東京市外井荻町下荻窪一四

君は島根縣人吉岡民衛の二男明治十四年十二月一日を以て生れ後分家す同四十三年東京物理學校を卒業直に日清生命保險會社に入社統計課長徴收課長等を經て昭和三年會計課長となり今日に及ぶ 趣味圍碁【家庭】妻リウ（明二五）鳥取縣人石田靖一三女島根縣松江高女卒 長男格（大五）東京高等學校尋常部在 長男和子（大三）東京府立第五高女在 二男陽（大八）三男皎（大一二）二女郁子（大一五）

吉川龜次郎 從四勳四 工博 湯淺蓄電池製造(株)顧問 高山耕山化學陶器(株)監査 所得税六四九 京都市上京區中筋石藥師下ル 電上一九〇六

君は奈良縣人吉川善重郎の弟明治二年十二月を以て生れ大正四年分家す第三高等中學校を經て明治廿八年東京帝大工科應用化學科を卒業し同卅年東京帝大工科助教授に任じ翌年京都帝大理工科設立の際轉じて同大學理工科教授となり獨逸に留學し後歸朝す同卅九年工學博士の學位を授けられ同大學教授に任ぜられしが大正二年之を辭し湯淺蓄電池會社に入り取締役を經て現に同社顧問たり傍ら前記會社の重役を兼ぬ著書「工業電氣化學及蓄電池と其取扱法」あり【家庭】妻ヒロ（明一〇）奈良縣人三濱善逸四女 長男巖（明三二）二男昴（明四三）長女靜子（明三五）第一高女卒は岡山縣人多賀寛に嫁す

吉川秀雄 早稻田第一高等學院教授 女子英學塾講師 東京牛込區辨天町六六

君は長崎縣士族吉川喜多藏の長男明治十五年七月十五日を以て生れ後家督を相續す同卅九年東京帝大文科國文科を卒業後早稻田中學教諭東京女子大學講師等を經て大正八年早稻田第一高等學院教授に就任傍ら女子英學塾講師を兼ね以て今日に至る國文學に關する著書あり 宗教禪宗 趣味圍碁芝居音樂旅行【家庭】妻ユウ子（明二二）長崎縣人酒井誠治二女櫻ヶ崎高女卒 長男恒彦（大元）早稻田第一高等學院在 長女文子（明四三）實踐女學卒 二女房子（明四四）女子英學塾卒 三女衣子（大四）成女高女在 二男行彦（大七）四女芳野（昭三）

吉崎鉀之助 吉崎(名)代表社員 帝國護謨電線(株)取締 高橋製帽所(株)監査 手帛毛布輸出入商 所得税三三九 大阪市東區南久寶寺町三ノ一七 電船場一八九

君は京都府人竹内赳夫の弟明治三年二月を以て生れ同廿八年先代クスの入夫となり家督を相續す織物商を營む傍ら前記會社の重役たり【家庭】妻クス（明七）大阪府人吉崎常七養姉 長男百藏（明二五）大阪高商卒 同妻ユキ（明三〇）大阪府人高橋清藏妹 同長女博子（大九）同二女喜美子（大一一）同三女靖子（大一三）同四女佳代子（大一五）二男正之助（明二八）大阪高商卒 同妻幸（明三三）大阪府人安藤善五郎四女 同長男弘一（大一四）三女美智子（明四五）三男貞三（明三一）は廢家桑原家を再興し二女千代子（明三六）相愛高女卒は大阪府人田中半三郎五男信五郎に嫁す

吉田追風 相撲司家 熊本市北千反畑町七九 電一二三一

當家は相撲司家として知られ其祖を豐後守家次と稱す家次源義仲の臣たりしが退いて越前に住す後鳥羽帝の朝相撲節會に當り志賀清林の古法に精通するを以て召されて從五位に敍し名を追風と賜はり朝廷相撲の司行司の家と定めらる可き勅命あり木劍並に獅子王の團扇を賜ひ代々相撲節會の御式勤む可き旨仰付られ爾來朝廷或は德川幕府等の相撲に立合ふ十五代追風に至り二條關白家の許可を得て細川家の家臣となり肥後熊本に住し連綿廿三代を經て君に至る君は本名を善門と稱し廿二代追風善衛の長男安政三年現地に生る夙に熊本相撲常設館を設置し相撲振興に力む横綱及び行司木村式守服部三家の免狀は共に同家の發する所なり 宗教日蓮宗 趣味銃獵釣魚水泳柔道【家庭】妻きく（慶應元）熊本縣人清田家女 長男長助（明一八）陸軍步兵中佐第十二師團副官同妻あや（明二七）熊本縣人蓑田喜太郎長女尚絅女學卒 同長男長善（大二）濟々黌卒 同二男壽喜（大八）二男次男（明三〇）明大卒 佐竹合名會社代表社員 三男丈夫（明三三）早大卒東京日日新聞社員 四男季雄（明三六）同校卒 長女留喜子（明二二）は菅愼雄に嫁す

吉田公輝 日本寫眞工業(株)技師兼營業部長 東京市外大久保町東大久保四九八

君は福井縣人吉田良平の長男明治五年十一月同縣に生れ同廿四年家督相續す夙に東京高師附屬中學を卒業同卅年米國に渡航寫眞業を修得傍らサクラメント日本人會長となる同卅八年歸朝翌年櫻府新聞を創始し其社長次でオリエンタル寫眞會社技師に就任大阪出張所長となる昭和四年日本寫眞工業會社に轉じ技師兼營業部長に就任今日に至る 宗教淨土宗 趣味刀劍釣魚狩獵【家庭】妻菊枝（明二〇）東京府人荒野武姉千代田女學卒 長男公英（明四四）東京高等工藝在 長女妙（大三）二女馨（大四）實踐女學在 三女喜美（大六）東京府立第六高女在 二男公威（大九）三男公利（大一三）

吉田三郎 彫塑家 帝展審査員 東京市瀧野川町田端一〇五 電小石川七一六八

君は石川縣人吉田吉太郎の三男明治廿二年五月廿五日金澤市に生れ大正六年分家す明治四十五年東京美術學校彫塑科を卒業し文展帝展に出品入選する事數回第四回以後帝展委員東京府美術館評議員に擧げられ現に同審査員にして日本美術學校講師たり彫塑家として知らる 宗教眞宗【家庭】妻澤（明二七）石川縣人坂野耕作二女縣立金澤第一高女卒 長男穰（大一二）二男渉（昭二）長女恭子（大八）二女彰子 三女朝子

吉田新太郎 從七 東京市囑託 東京市方面委員 辯護士 東京市小石川區下富坂町一九 電小石川一三四二

君は山形縣人吉田直孝の長男明治八年八月廿七日を以て生れ後家督を相續す同廿九年和佛法律學校を卒業後判檢事登用試驗に合格し同卅三年司法省民刑局に勤務し同卅五年司法官試補に任じ東京地方裁判所に勤め同卅七年福井地方裁判所判事となる同卅九年辯護士を開業し現時東京市囑託東京市方面委員たり曩に小石川第一區下富坂町會長に擧げらる 宗教眞言宗 趣味書畫【家庭】長男直（明三五）二男明中央大學法科在 三男巖法政大學法科在 女みゑ佛英和高女在

吉野五運 賣藥業 人蔘三臟圓本舗 大阪市南區鰻谷仲町三五 電南二〇四

吉野家は十數代前舊幕時代より大阪に定住し高麗人蔘を原料とせる强壯劑三臟圓の製造販賣元たる老舖たり君は先代五運の長男明治十九年八月を以て生れ大正十五年家督相續と共に襲名す明治四十二年大阪高商を卒業し爾來父を扶けて家業に従事し今日に至る【家庭】父德義（安政六）妻なり（明二三）兵庫縣人柴田長右衛門姉 長男隆太郎（大五）亡弟祐三郎妻榮（明三四）及其一子あり

吉本彦太郎 家主 所得税二三四 大阪市東淀川區三津屋町七四

君は大阪府人吉本五郎右衛門の伯父慶應三年六月を以て生れ先代ことの養子となり明治十三年家督を相續す現に地家主たり曩に區會議員大阪市會議員同市參事會員等に推さる【家庭】妻ハナ（明元）婦テイ（明三四）亡長男彦一郎妻大阪府人島田正晴姉堺高女卒 同長男晴彦（大一二）四男五郎（明三六）大阪齒科醫專卒 二女君子（明三九）金蘭會女學卒同志社豫科卒 二男彦次（明二五）は分家し三男彦三（明二八）大阪高商卒日本綿花會社々員は大阪府人水野富三郎の養子となり長女富美（明三四）金蘭會女學卒は大阪府人和田半兵衛孫攝津製油會社員半三郎に嫁す

吉屋忠明 日本木煉瓦(株)社員 横濱市神奈川區平沼町五ノ一六四

君は島根縣人吉屋雄一の三男明治廿三年六月廿三日を以て生れ後分家す大正四年東京帝大林學科を卒業秋田縣立鷹巢農林學校に奉職す次で日本皮革東洋木材防腐各會社に歷勤し昭和五年二月日本木煉瓦會社に入社し以て今日に至る 趣味旅行讀書釣魚【家庭】妻はな（明三二）東京府人久島重藏四女 長女勝（大一一）長女明子（大一三）二男武（大一五）三男達（昭四）

米村六松 河合樂器(株)取締 東京市外岩淵町稻付一一九二

君は福井縣人米村逸平の五男明治三年六月一日を以て生れ後分家す同廿八年早稻田大學法科を卒業後大日本文華會社支配人東京履物取締役大正鑿泉監査役等を經て現時前記會社の重役たり 宗教基督教 趣味盆栽【家庭】妻うめ（明二〇）

和久隆道 川崎第百銀行(株)庶務部通信主任 東京市外瀧野川町田端五九四

君は東京府人和久隆宏の二男明治十三年八月を以て生れ後分家す夙に第一銀行に勤務大正十年牛込中央銀行支配人となり同十二年第百銀行千東町支店長に轉じ昭和二年同行の川崎銀行と合併して川崎第百銀行と改稱後も引續き千東町支店長たりしが同二年本店庶務部通信主任に就任し今日に至る 宗教眞宗 趣味音樂旅行【家庭】妻タカ子（明一七）北海道人山口安太郎長女

和城一作 天工舍 日本瓦並洋瓦問屋 東京市日本橋區濱町三ノ一 電浪花七〇五四

君は埼玉縣人和城隆光の長男明治十四年六月廿四日を以て生れ後家督を相續す現時天工舍主にして日本瓦並に洋瓦問屋を營み東京瓦問屋組合副組長東京瓦營業組合理事たり 宗教眞言宗 趣味釣魚旅行【家庭】妻くら（明二二）長男昇（明三四）同妻米（明三六）二男光一（明四二）三男清（大二）四男五三雄（大五）

和田榮一 安田銀行(株)協議役 東京市外澁谷町金王四五 電青山二五二二

當家は元祿時代より酒造業を營みたる舊家なり君は埼玉縣士族中井安篤の二男安政五年六月十七日東京市に生れ明治廿年四月先代郡平の養子となり後家督相續す先是同十四年農商務省御用掛となり北海道札幌農學校外十一工場の拓殖事務整理に從事し同廿年之を辭して歸鄕酒造業に從事す同廿八年以來信濃銀行常務取締役の職に在りしが大正十二年信濃銀行の安田銀行に合併さるゝや其相談役となり信越統轄店地方監督を兼務す後協議役專任となり今日に至る曩に長野商業會議所特別議員たり 宗教禪宗 趣味讀書【家庭】妻なか（明三）養父郡平長女 長男順平（明二二）慶應義塾卒書家 同妻光（明二五）東京府人洋畫家石井柏亭妹 同長男白馬（大六）成蹊中學在 同二男象二（大七）同校在 同三男超三（大九）同長女マヤ子（大一三）二男芳郎（明三一）酒造業 同妻ツギジ長野縣人小山五郎四女 同長女善江（昭二）同二女明子（昭三）三男三良（明三七）京都帝大卒大學院在 四男政祐（明四一）京都帝大經濟學部在 五女英子（明四二）日本女大卒 六女初穗（大元）双葉高女卒 長女陽（明一六）は東北帝大教授醫學部長和歌山縣人佐武安太郎に二女收（明二九）は元臺灣銀行調査役衣斐齋吉に四女須磨（明三四）は三井銀行上海支店次長森江恒次郎に各嫁し三女富裕（明三〇）は分家す

和田龜太郎 辯護士 日本橋區會議員 東京市日本橋區蠣殼町一ノ四 電茅場町二五八八

君は神奈川縣人和田喜三郎の三男明治廿七年一月廿三日同縣に生る夙に日本大學を卒業し大正十三年辯護士を登錄直に開業今日に至る傍ら現に日本橋區會議員たり東京辯護士會員 宗教禪宗【家庭】妻俊子（明三五）神奈川縣人小泉馬吉長女神奈川高女卒 長男浩（大一一）長女喜代子（昭三）

和田孝造 前岡田商會(資)代表社員 東京市芝區白金臺一ノ七五 電高輪九六〇

君は富山縣人和田晉吉の長男明治廿三年十二月十七日富山市に生る大正四年慶應義塾大學理財科を卒業し貿易商岡田商會に入り支配人となり大正十一年同商會を繼承し合資組織となし其經營に鞅掌せしが昭和四年之を廢し現時閑地に在り 宗教眞宗【家庭】父晉吉現戶主 妻きの子（明二七）石川縣人金田豐二長女金澤第一高女卒 男孝晴（大三）青山學院在 三男吉孝（大八）二女眞砂子（大一二）三女君子（大一四）四男孝則（大一五）

和田禎純 昭和製藥(株)社長 東京市外澁谷町大和田二五 電青山六一〇一

君は大阪府人和田九四郎の二男明治十年一月七日同府中河內郡玉川村に生れ同卅二年家督を相續す夙に第三高校上海日清貿易研究所等に學び同四十年東亞同文會に入り後彌滿登音影取締役蓄音器部長日本薪炭取締役東陽魚業專務取締役等を經て現時昭和製藥取締役社長たり 宗教日蓮宗 趣味政治社會問題【家庭】長男誠（明三九）大阪府立園藝學校在 二男正德（明四三）法政大學政治科在

和田農男 靈岸島病院長 東京市外澁谷町上通一ノ一 電青山一五二五(病院) 京橋區越前堀町一ノ四 電京橋七一四

君は東京府人松田太郎左衛門の弟明治十八年十二月十日福井縣に生れ後和田劍之助の養子となり分家す大正元年大阪醫科大學を卒業し同大學附屬醫院精神神經科助手兼醫員となり同十二年靈岸島病院副院長に轉じ昭

和五年院長に就任今日に至る　宗教基督教　趣味寫眞俳句【家庭】妻とも（明二五）養父劍之助長女橫濱フエリス高女卒　長男謙太郎（大四）青山學院在　二男裕二郎（大六）曉星中學在　三男尚慶（大八）四男康喜（大一〇）二女惠美子（大一五）五男正直（昭五）弟稔（明三七）大阪醫科大學在

若栞金次郎　三井銀行（株）社員　東京市四谷區內藤町一ノ五　電四谷四四五九

君は福島縣人東條吉六の二男明治卅三年五月六日同縣河沼郡笈川村に生れ後若栞福朗の養子となり家督を相續す大正十二年慶應大學經濟學部を卒業し直に三井銀行に入り名古屋支店勤務たりしが同十四年本店に轉じ現に營業部調査課勤務たり　宗教淨土宗　趣味ゴルフ將棋【家庭】妻茂子（明三七）東京府人日本火災保險支配人大原祥一長女聖心女學院卒

渡邊勝家　ボルネオ護謨（株）支配人　東京市麴町區丸ノ內三ノ六同社內　電丸ノ內一八三八

君は宮城縣士族渡邊與市の長男明治卅一年六月十日仙臺市に生れ昭和四年家督相續す夙に仙台中學を卒業し南洋に於て護謨園を經營し後南國護謨支配人第一合同ゴム常務取締役等を經て大正二年ボルネオ護謨會社に轉じ現時同社支配人たり　宗教佛教【家庭】妻きよ（明三〇）宮城縣人山中政太二女　長男昇（大七）仙臺二中在　二男仁（大一五）長女富美子（大三）仙臺第一高女在　二女哲子（大四）仙臺女學在　三男亨（昭二）

渡邊喜多夫　正六勳六　東京地方專賣局技師　東京市外中野町三七九四

君は東京府人渡邊豐の四男明治廿二年七月四日を以て生れ後分家す同四十四年大阪高工機械科を卒業し專賣局に入り技師に任じ現に東京地方專賣局技師にして製造課に勤務す　宗教日蓮宗　趣味旅行【家庭】妻ムメ（明三一）岩手縣人中村熊太郎三女三輪田高女卒　長男秀夫（大九）長女喜久子（大一一）二女幸（大一四）三女喜美（昭二）

渡邊眞平　川崎第百銀行（株）取締兼大阪支店長　川崎貯畜銀行（株）大阪支店長　川崎信託　博多銀行各（株）監査　所得稅一九七二　大阪市西成區南吉田町六三　電戎一一二二

君は茨城縣人宮內準藏の弟明治廿年十月を以て生れ同卅七年渡邊八郎の養子となる同四十五年東京帝大法科獨法科を卒業し川崎銀行取締役を經て現時前記會社の重役たり【家庭】養父八郎（安政三）現戸主　養母はる（安政五）妻てつ（明二〇）養父八郎長女　男天津男（大七）

渡邊祐吉　東京鐵筋コンクリート（株）專務　神奈川縣中郡大磯町山王町四一五

君は新潟縣人渡邊六松の長男明治十三年六月五日長岡市に生れる同四十年農業大學を卒業爾來長岡市農業技師長岡鐵工所專務等に歷任昭和二年東京鐵筋コンクリート會社に入社現時專務取締役たり　宗教眞言宗　趣味花火【家庭】妻とし（明二二）北越新報社副社長廣井一長女長岡高女修　男正太郎（大三）湘南中學在　二女美代（大元）平塚高女卒　三女眞波（大五）同校在　四女すみ子（大七）六女さち子（昭三）長女靜子（明四三）長岡高女卒は新潟縣人井口吟次郎に嫁す

渡會敬一　日本興業銀行（株）社員　東京市外千駄ヶ谷町千駄ヶ谷八四四四

君は愛知縣人渡會瀧藏の長男明治廿八年六月三日同縣渥美郡赤羽根村に生る大正九年東京帝大法科經濟科を卒業直に日本興業銀行に入り以て今日に至る　宗教禪宗　趣味野球【家庭】父瀧藏現戸主　妻きよ（明三三）茨城縣人田中五郎七妹濱松高女卒　長男和美（大一四）長女富久子（昭三）

藁谷廣之助　東京市立今川尋常小學校長　同今川專修女學校長　所得稅五〇　東京市外高井戸町大宮前四五五

君は福島縣人藁谷傳次郎の長男明治七年一月十日を以て生れ後家督相續す同卅年福島縣師範學校を卒業し同四十年上京し和泉小學校に奉職す大正十三年一月今川尋常小學校長となり次で大正十四年四月今川專修女學校長を兼任し今日に至る　宗教日蓮宗　趣味書畫寶生流謠曲【家庭】妻あい（明一一）鈴木豐太郎二女　長男政雄（明三三）中央大學法科卒辯護士　同妻百合子（明四二）高知縣人大谷定三女高知高女卒　二女貞子（大五）長女ふみ子（明三九）は鈴木兵次に嫁し二男道雄（明四四）は北海道人鈴木重成の養子となる

矢吹義夫　日本郵船（株）名古屋支店長　所得稅一三九　名古屋市中區天王崎町三ノ一三

君は岡山縣人矢吹金一郎の二男明治廿年十月一日津山市に生る同四十四年東京高商專攻部を卒業し大正二年日本郵船會社に入り本社及孟買倫敦各支店勤務を經て同十五年紐育支店副長となり昭和五年名古屋支店長に擧げられ以て今日に至る【家庭】母しよう子（安政六）兄貞夫現戸主　妻貞子（明三〇）東京府人石原鍋藏長女實踐女學卒　長男正純（大四）麻布中學在　二男利英（大九）長女美津子（大一〇）三男節夫（大一三）四男英夫（昭二）

保田長夫（タケヲ）　菊屋食料品店支配人　東京市外澁谷町鶯谷二六

君は兵庫縣人保田勘左衞門の長男明治廿二年二月十六日同縣城崎郡豐岡町に生れ大正十三年家督を相續す豐岡中學を經て明治四十五年神戸高商を卒業し中江本店伊藤長商店鑛山部次長大阪產業會社支配人等に歷職し大正八年金物商保田商店を興す同十年菊屋食料品店副支配人に轉じ現に同店支配人たり　宗教眞宗【家庭】妻みよ子（明三三）兵庫縣人石原廉吉三女豐岡高女卒　嗣子昌一（大六）東京府立第一商業在

柳田德助　柳田育宏商店　盆景請負業　東京市下谷區仲御徒町二ノ六六　電下谷一三一二

君は岩手縣人柳田春吉の二男明治廿五年二月三日を以て生れ後分家す同四十二年上京玩具商を營み傍ら正則英語學校日本簿記學校等に學び大正七年盆景請負業に轉じ柳田育宏商店と稱して今日に至る現に東京陶磁器同業組合評議員たり　宗教禪宗　趣味旅行

由本邦藏　三井物產（株）社員　東京府北多摩郡砧村喜多見三二八　電砧一五四

君は鳥取縣人由本庄一の二男明治十六年十二月廿一日鳥取市に生れ後分家す鳥取第一中學を經て同四十一年神戸高商を卒業し直に高田商會に入る大正五年三井物產會社に轉じ現に本店營業部藥品掛に勤務す　宗教日蓮宗　趣味謠曲【家庭】妻園子（明二六）鳥取縣人吉田久治長女同縣立高女卒　長男正秋（大元）東京高校高等科在　二男碩亮（大一二）

吉岡藏二　東京太物商同業組合副組長　稻元屋吳服店（株）專務　中村屋吳服店（株）取締　東京市赤坂區青山南町五ノ七五　電青山四三九〇

當家の先代信德は舊小田原藩士にして維新後司法省に入り福井地方裁判所檢事に補せられ退職後上京して吳服商を創む君は其二男明治十年二月廿日神奈川縣足柄下郡小田原町に生る夙に父業を繼承して吳服太物商を營み各地に支店を設置す昭和四年組織を株式に改め稻元屋吳服店と稱し現に同社專務取締役たる外前記の職を兼ぬ　宗教淨土宗　趣味育英【家庭】妻さだ（明一五）東京府人石井忠次郎養妹　二男敏彌（明明）慶大法學部豫科在　長女幾代（明四一）跡見女學卒　二女綾子（大二）同校卒　三女典代（大四）同校在　三男要（大一〇）四男康之（大一三）

吉田賢男　從五　在鄉陸軍砲兵少尉　沖繩縣書記官　學務部長　那覇市美榮橋町沖繩縣廳學務部內　電那覇一三一

君は鳥取縣人吉田定七の長男明治十七年七月廿三日同縣に生れ同四十二年家督を相續す大正四年東京帝大法科政治科を卒業し岡山縣屬同警視朝鮮總督府稅關事務官全羅北道財務部長廣島縣內務部地方課長愛知縣額田郡長等を經て昭和四年十月沖繩縣書記官に任じ現に學務部長たり　趣味圍碁將棋撞球【家庭】妻知加（明三〇）栃木縣人加藤兵一郎二女實踐女學校卒　長男朋正（大一一）

米山鶴次郎　氷問屋并酒類販賣業　東京市日本橋區橋町三ノ二　電浪花八三一

君は長野縣人米山淸兵衞の四男明治十年八月一日同縣上伊那郡赤穗村に生る夙に上京し金物商森田商店に勤務後同卅九年獨立酒類販賣業を創め氷問屋業を兼營し以て今日に至る　宗教淨土宗【家庭】兄熊太郎現戸主　妻ひさ子（明二二）東京府人海貝金太郎妹　長男健一郎（明四〇）二男富次郎（明四二）三男淸三郎（明四五）四男彰四郎（大五）長女政子（大八）二女花子（大一一）三女近子（大一二）四女市子（大一四）五男廣（昭四）

若野定次郎　從五勳六　大和釀造（株）法律顧問　辯護士　東京市外大久保町百人町一九〇　電四谷四四九〇

君は和歌山縣人若野定右衞門の二男明治八年三月三日を以て生れ後分家す同廿六年和佛法律學校を卒業し判檢事登用試驗及文官高等試驗に各合格司法官試補稅務監督官等となり大正七年退官す同十一年辯護士を登錄現に大和釀造會社法律顧問たり　宗教淨土宗　趣味圍碁釣魚【家庭】妻ハツ子（明一八）東京府人高原孝助長女　長男秀穗（大元）第一高校在　長女雪子（明四二）三輪田高女卒　二女榮子（大三）東京府立第五高女在　二男精二（大七）三女タキ子（大一〇）

渡邊寬治　愛知銀行（株）四谷支店長　東京市外代々幡町佐々木初臺四八九　電四谷九八〇

君は山梨縣人渡邊安太郎の長男明治廿五年一月十四日同縣西八代郡富里村に生れ後家督を相續す大正七年東京帝大法科獨法科を卒業し茂木合名會社に入る同十年愛知銀行に轉じ大阪支店長を經て昭和五年四谷支店長に擧げられ以て今日に至る　宗教日蓮宗　趣味釣魚【家庭】妻春子（明三六）神奈川縣人石井謙輔長女同縣立高女卒　長男英一郎（大一一）二男俊二（大一五）

渡邊幸太郎　中央電氣商店（株）監査　渡邊電氣商會（資）代表社員　電氣器具商　東京市本鄕區本鄕三ノ一〇　電小石川四〇一六

君は福井縣人青木彌右衞門の二男明治七年十一月五日同縣に生れ後渡邊常八の養子となる夙に上京し莫大小雜貨商を經營同卅六年渡邊電氣商會を興し電氣器具商を營む昭和四年合資組織に變更し現時代表社員たる傍ら前記會社の重役を兼ね本鄕區名譽職に擧げらる　宗教日蓮宗　趣味將棋【家庭】操（明二七）東京府人渡邊安太郎女　長男保幸（大三）本鄕中學在　長女里子（大一三）

渡邊聰　正六　遞信局書記官　保險課長　東京遞信局　東京市四谷區東信濃町二八　電四谷三九九〇

君は佐賀縣士族渡邊嘉四郎の三男明治十八年六月六日同縣に生る同四十四年東京帝大法科政治科を卒業し通信事務官となり神戸三宮金澤熊本各郵便局長に歷任昭和五年六月遞信局書記官に任じ現に東京遞信局保險課長たり　宗教佛教　趣味撞球テニス團碁山岳【家庭】妻信子（明三三）南米拓殖會社々長福原八郎妹神戸市立高女卒　長女典子（昭三）

本書は隔年毎に改版の上發行を繼續するものに有之候に付き内容の誤謬等に御氣付の方は何卒左記へ御一報被成下度奉願候　斯くて弊社は内外相呼應して内容の改善充實を圖り版を重ぬる毎に其の面目を一新仕る可く候

東京市日本橋區小網町三丁目(鎧橋際)

帝國秘密探偵社編纂部

電話茅場町(66)　〇九三五　一六一三
　　〇五八　一七八七
　　三五六三

大正十四年十二月五日第一版發行
(當時之ヲ現代人事調査錄ト題セリ)
昭和二年十月廿日第二版發行
昭和五年七月十八日第三版印刷
昭和五年七月廿二日第三版發行

不許複製

發行所

正價　金五拾圓

編輯兼發行人　東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町原宿百七十番地六號　猪野三郎　電青山(36)三四八一

印刷人　東京市小石川區久堅町一〇八　君島潔

印刷所　東京市小石川區久堅町一〇八　共同印刷株式會社

東京市日本橋區小網町三丁目鎧河岸卅號地

帝國秘密探偵社
帝國人事通信社

電茅場町(66)　一〇九三五　一六一三
　　一〇五八　一七八七
　　三五六三

振替貯金口座東京八五九三

資本金　壹億貳千萬圓

本社　東京市麹町區丸之內貳丁目四番地

三菱合資會社

地所部　營業科目（土地建物の賃貸）

東京府荏原郡入新井町不入斗一三ノ三

玉川水道株式會社

取締役社長　栗原幸藏

専務取締役　野口長次郎

電話高輪(44)〇三五一二八七四

宮內省御用

銘酒

日本盛

釀造元 樽壹 詰

發賣元 詰

西宮酒造株式會社

富士本商店

電話茅場町 六五七番 二八七〇番 二九七〇番

純粹 榮冠

清酒 泰德 クトウシ

發賣元

東京市京橋區南新堀一ノ四

株式會社 丸玉商店

電話京橋 二二九一 三三八〇 一二八七

東京市日本橋區江戸橋壹丁目

龜清兩替店

東京株式取引所
一般取引員
短期取引員
實物取引員
國債取引員

山中清兵衛

電話日本橋(24)
〇九二四番 二一〇五番
〇九七七番 二一〇六番
一〇〇七番 二一〇七番
二一〇八番

電信略號（カメ）或ハ（カ）
振替貯金口座東京一一八六〇番
自宅電話九段(33)八七九番

證券投資及事業資金
仲介に關する一般業務

山一證券株式會社

本店 東京市日本橋區兜町三番地

支店及營業所

東京市京橋第一相互館
大阪市東區北濱二丁目
名古屋市中區南大津町
岡山市内山下三〇番地
新潟市上大川前通九番町
濱松市鍛冶町
横濱市辨天通り三丁目
福岡市下新川端町十八
京都市四條河原町下ル富士生命ビル

京橋營業所
大阪支店
名古屋支店
岡山支店
新潟支店
濱松支店
横濱支店
福岡支店
京都出張所

東京市京橋區疊町八番地

片倉製絲紡績株式會社

電話京橋（自三一六〇 至三一六九）

純國産
アイデアル（シルク…コットン…フエーザー…）レインコート

常に流行の尖端に立つて
合着として……
雨着として……
100%の特性を發揮す！

販賣店　全國有名百貨店及洋服店、洋品店

定價十五圓以上各種

類似品あり
歐文アイデアルと鐘獅子の商標に御注意を乞

發賣元　東京銀座一丁目　有住商店

計IX-22

婦人良薬

中將湯

産科婦人科諸博士推奨

人妻美を

保つにも、安産の秘訣にも
婦人諸病をすつかり治す
中將湯が最も合理的です
——次の症狀にはお迷ひなく
急いで中將湯を……

主効

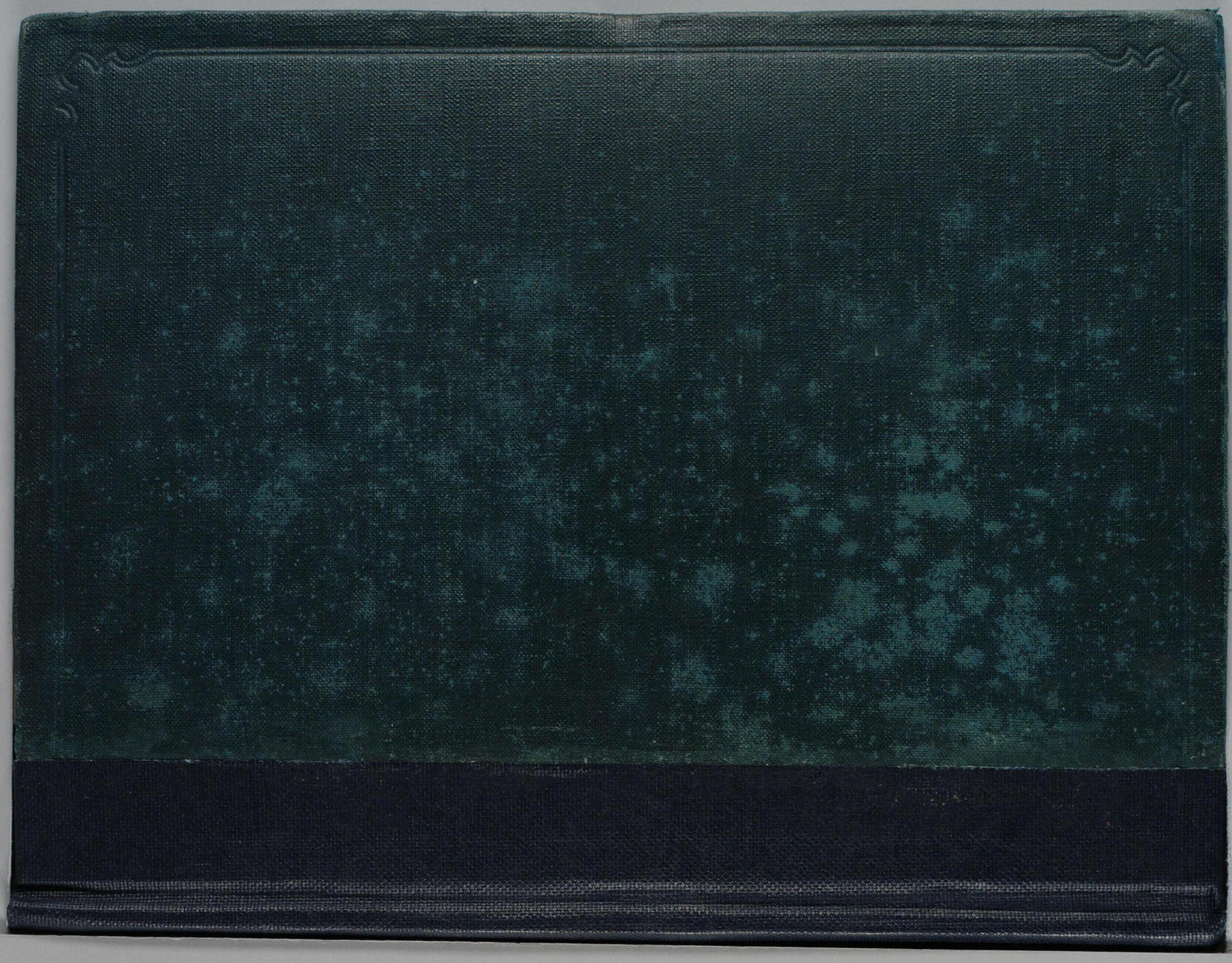
●子宮病●月經不順●下腹痛み
●血の道●頭痛肩腰●下腹引つり
●ヒステリー●神經衰弱●こしけ
●産前産後●不眠症●血の道●脚氣
●浮腫惡阻●腰足冷込●疝氣感冒

定價

試用分	二十錢
三日分	五十錢
七日分	一圓
十五日分	二圓
二十三日分	三圓
四十日分	四圓
八十五日分	十五圓

參圓以上は新案振出容器附

本舖 津村順天堂

本店 東京市日本橋區通三丁目
電話日本橋三振替東京六〇八

支店 大阪市南區長堀橋筋一丁目
電話南二五振替大阪四五六